2026年度

シラバス

不動産学部

Faculty of Real Estate Sciences

明海大学

2026年度

シラバス

不動産学部

Faculty of Real Estate Sciences

共通科目（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育・特別科目）

専門科目

目　次

共通科目

基礎教育

学修の基礎Ⅰ …… 相川野々香 8
阿方由紀枝 8
稲田　環菜 8
遠藤　信一 8
大黒　章子 8
佐々木文彦 8
杉浦　雄策 8
高野　紀子 8
中村　元紀 8
萩尾由貴子 8
濱﨑あゆみ 8
遠藤　信一 10
佐々木文彦 10
学修の基礎Ⅱ …… 小野寺樹璃 12
髙橋　眞人 12
髙橋亜里沙 12
高柳　奈月 12
富樫　里真 12
中村　佑衣 12
荷見　美有 12
藤本　陽子 12
小野寺樹璃 14
高柳　奈月 14
荷見　美有 14
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 16
遠藤　信一 16
後藤　英樹 16
佐々木文彦 16
高橋　奈佳 16
中村　元紀 16
萩尾由貴子 16
前田新太郎 16
渡部　綾子 16
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 18
遠藤　信一 18
後藤　英樹 18
佐々木文彦 18
高橋　奈佳 18
中村　元紀 18
萩尾由貴子 18
前田新太郎 18
渡部　綾子 18
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 20
中村　元紀 20
萩尾由貴子 20
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 22
遠藤　信一 22
中村　元紀 22
萩尾由貴子 22

人間力形成教育

人間存在の課題 …… 中根　弘之 24
社会生活と倫理 …… 中根　弘之 26
文学の世界 …… 川勝　麻里 28
森　晴彦 30
人類と文化 …… 山本早良紗 32
美とは何か …… 髙久　馨 34
記号と論理 …… 土屋　真一 36
コミュニケーション論 …… 小野寺樹璃 38
海谷　千波 40
心理学 …… 中嶋　一恵 42
林　哲也 44
からだと健康 …… 宮澤　慶 46
日本人の生活意識 …… 中根　弘之 48
堀内　貴子 50
性格とは何か …… 樋口　倫子 52
生命と遺伝子 …… 桑山　秀一 54
スポーツ科学講義 A …… 杉浦　雄策 56
矢島ますみ 58
スポーツ科学講義 B …… 杉浦　雄策 60
矢島ますみ 62
スポーツ科学演習 A …… 杉浦　雄策 64
矢島ますみ 66
矢島ますみ 68

スポーツ科学演習 B …… 杉浦　雄策　70
矢島ますみ　72
矢島ますみ　74
ボランティア講義 …… 小川　正純　76
人間形成ゼミナール …… 伊藤　直樹　78
樋口　倫子　80
矢島ますみ　82
矢島ますみ　84
ボランティア活動 A …… 単位認定科目　86
ボランティア活動 B …… 単位認定科目　88
日本の歴史 …… 野田有紀子　90
国際関係論 …… 東　夢子　92
国際貢献論 …… 小川　正純　94
民族と宗教 …… 岩田　成就　96
異文化コミュニケーション論 …… 岡田　麻唯　98
日本語と日本文化 A …… 川勝　麻里　100
日本語と日本文化 B …… 川勝　麻里　102
フランス語とフランス文化 A …… 馬越　洋平　104
西村　美穂　106
フランス語とフランス文化 B …… 馬越　洋平　108
西村　美穂　110
ドイツ語とドイツ文化 A …… 諏佐ランカ　112
ﾘｰｽｻｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ　114
ドイツ語とドイツ文化 B …… 諏佐ランカ　116
ﾘｰｽｻｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ　118
スペイン語とスペイン文化 A …… ｺﾞﾝｻﾞﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ　120
スペイン語とスペイン文化 B …… ｺﾞﾝｻﾞﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ　122
韓国語と韓国文化 A …… 全 イジョング　124
韓国語と韓国文化 B …… 全 イジョング　126
中国語と中国文化 A …… 于　明明　128
中島　祝　130
中国語と中国文化 B …… 于　明明　132
中島　祝　134
英語文化研究 A …… 諏佐ランカ　136
英語文化研究 B …… 諏佐ランカ　138
国際理解ゼミナール …… 小川　正純　140
異文化実地研修 A・B …… 単位認定科目　142
法学 …… 櫻井　博子　143
日本国憲法 …… 吉田　成利　145
経済のしくみ …… 野口　尚洋　147
社会と生活 …… 櫻井　博子　149
田川　麻央　151
政治のしくみ …… 河野　武司　153
社会思想史 …… 上野　大樹　155
日本企業論 …… 粟沢　尚志　157
地理と環境 …… 池田　和子　159
小野寺樹璃　161
自然環境論 …… 磯田　尚子　163
都市と生活 …… 中嶋　久人　165
生活と安全 …… 笠嶋　義夫　167
行動科学 …… 樋口　倫子　169
データのまとめ方 …… 新井　啓　171
数理の世界 …… 中島　達洋　173
中島　達洋　175
身近な物理 …… 中島　達洋　177
現代物理のはなし …… 中島　達洋　179
身近な化学 …… 藤井　大輔　181
笠嶋　義夫　183
科学技術と社会 …… 遠藤　信一　185
社会生活ゼミナール …… 新井　啓　187
中島　達洋　189

キャリア形成教育

キャリアプランニング Ⅰ …… 阿方由紀枝　191
稲田　環菜　191
大黒　章子　191
高野　紀子　191
濱﨑あゆみ　191
阿方由紀枝　193
小野寺樹璃　195
行田　悦子　195
髙橋亜里沙　195
林　苗　195
範　弘宇　195
小野寺樹璃　197
範　弘宇　197
キャリアプランニング Ⅱ …… 阿方由紀枝　199
稲田　環菜　199
大黒　章子　199
高野　紀子　199
濱﨑あゆみ　199
大道　和夫　201
荷見　美有　203
範　弘宇　203

キャリアプランニングⅢ…… 阿方由紀枝 205
稲田 環菜 205
大黒 章子 205
高野 紀子 205
濱﨑あゆみ 205
大道 和夫 207
荷見 美有 209
範 弘宇 209
キャリアデザイン …… 阿方由紀枝 211
稲田 環菜 211
高野 紀子 211
濱﨑あゆみ 211
大道 和夫 213
範 弘宇 215
インターンシップ A・B・C・D…… 単位認定科目 217
特別聴講科目 A・B・C・D …… 単位認定科目 219
ビジネススキル A・B・C・D…… 単位認定科目 220
ツーリズム概論 …… 松山 豊浩 221
エアライン概論 …… 松山 豊浩 223
航空サービス論 …… 大嵜史眞子 225
フライトアテンダント・グランドスタッフ研究… 青地 香里 227
ホスピタリティ論Ⅰ(ホスピタリティ基礎・マナー演習)… 大嵜史眞子 229
ホスピタリティ論Ⅱ(ホスピタリティと産業)…. 井元 千穂 231
ビジネスコミュニケーション A・B .. 豊田 順子 233
資本市場の役割と証券投資…… 廣部 恒忠 234
はじめての起業講座 (Start up Basics)… 飯田 信一 236

特別科目

アカデミック日本語Ⅰ …… 富樫 里真 238
高柳 奈月 240
髙橋亜里沙 242
荷見 美有 244
範 弘宇 244
堀内 貴子 244
アカデミック日本語Ⅱ …… 林 苗 246
富樫 里真 248
髙橋亜里沙 250
小野寺樹璃 252
行田 悦子 252
荷見 美有 252
アカデミック日本語Ⅲ …… 範 弘宇 254
林 苗 256
沈 伽迪 258
小野寺樹璃 260
髙橋亜里沙 260
田川 麻央 260
アカデミック日本語Ⅳ …… 荷見 美有 262
髙橋亜里沙 264
小野寺樹璃 266
行田 悦子 266
範 弘宇 266
藤本 陽子 268

専門科目

不動産基礎演習 / 不動産学基礎演習… 不動産基礎演習担当教員/不動産学基礎演習担当教員 272
不動産社会演習 …… 安藤 章 274
上地 聡子 276
片川 卓也 278
兼重賢太郎 280
金 東煥 282
小杉 学 284
小松 広明 286
斎藤 千尋 288
杉浦 雄策 290
西村 愛 292
秦 瑞希 294
浜島 裕美 296
原野 啓 297
藤木 亮介 299
麻 剣英 301
前島 彩子 303
山本 卓 305
ライフプランと資産形成…… 北原 淳 307
土地と建物の金融 …… 上地 聡子 309
金 東煥 309
藤木 亮介 309
土地と建物の経営 …… 西村 愛 311
浜島 裕美 311
麻 剣英 311

土地と建物の投資 …… 兼重賢太郎 313
秦　瑞希 313
原野　啓 313
土地と建物の流通 …… 兼重賢太郎 315
秦　瑞希 315
原野　啓 315
土地と建物の開発 …… 角野公一郎 317
西村　愛 317
浜島　裕美 317
土地と建物の管理 …… 上地　聡子 319
北原　淳 319
金　東煥 319
藤木　亮介 319
麻　剣英 319
法と社会ａ …… 浜島　裕美 321
法と社会ｂ …… 兼重賢太郎 323
経済と社会ａ …… 原野　啓 325
経済と社会ｂ / マクロ経済学…… 金　東煥 327
工学と社会ａ …… 小杉　学 329
工学と社会ｂ …… 前島　彩子 331
不動産の統計 …… 麻　剣英 333
社会生活と英語 …… 上地　聡子 335
金　東煥 335
西村　愛 335
都市と不動産の歴史 / 不動産政策史… 上地　聡子 337
兼重賢太郎 337
鑑定評価理論Ⅰ …… 小松　広明 339
花輪　志保 339
不動産行政法規 …… 小松　広明 341
花輪　志保 341
山本　卓 341
不動産取引演習 …… 片川　卓也 343
蒲原　茂明 343
不動産取引論Ⅰ …… 片川　卓也 345
田中　淳 345
都市計画の基礎 …… 小杉　学 347
秦　瑞希 347
建築一般構造論 …… 佐々木留美子 349
前島　彩子 349
都市計画…… 小杉　学 351
ハウジング論…… 金指有里佳 353
都市と建築の基本法 …… 秦　瑞希 355
藤木　亮介 355
環境法…… 浜島　裕美 357
集合住宅管理論 …… 小杉　学 359
不動産経営計画 …… 角野公一郎 361
まちづくり演習 …… 浅川　潔 363
斎藤　千尋 363
不動産管理演習 …… 石井　大吾 365
小杉　学 365
角野公一郎 365
都市開発と社会基盤 …… 安藤　章 367
都市環境と防災 …… 西村　愛 369
デザインの基礎演習 …… 塚原　光顕 371
秦　瑞希 371
建築計画…… 藤木　亮介 373
建築史…… 岸　佑 375
設計製図Ａ…… 塚原　光顕 377
長川　哲 377
建築ＣＡＤ演習 …… 町田　敦 379
住宅計画…… 藤木　亮介 381
建築環境計画 …… 斎藤　千尋 383
物権法…… 勅使河原由紀 385
建築材料学…… 中里　侑司 387
建築構造計画 …… 前島　彩子 389
住宅地計画実習 …… 塚原　光顕 391
前島　彩子 391
インテリアデザイン演習…… 川島真由美 393
建築環境デザイン …… 町田　敦 395
建築設備…… 斎藤　千尋 397
材料学実験…… 中里　侑司 399
構造力学Ⅰ …… 町田　敦 401
設計製図Ｂ…… 塚原　光顕 403
建築生産…… 前島　彩子 405
構造力学Ⅱ …… 町田　敦 407
不動産と社会の課題演習Ⅰａ/不動産特別講義Ⅰ… 北原　淳 409
原野　啓 409
藤木　亮介 409
不動産と社会の課題演習Ⅰｂ/不動産特別講義Ⅱ… 北原　淳 411
原野　啓 411
藤木　亮介 411
財産法の基礎 …… 藤田　有紀 413
ミクロ経済学 …… 山本　卓 415
不動産学のための数学と統計…… 塩尻　康夫 417
不動産学卒業演習 …… 不動産学部専任教員 419
不動産取引演習Ａ …… 片川　卓也 421

不動産取引演習Ｂ …… 片川　卓也　422
島本　昌和　422
不動産取引演習Ｃ …… 片川　卓也　423
田中　　淳　423
不動産法入門…… 上地　聡子　425
不動産公法…… 兼重賢太郎　427
Basic English for Real Estate Business… 上地　聡子　429
角野公一郎　429
ﾊﾅｼﾞｰ ﾓｳﾐﾀ　429
Advanced English for Real Estate Business… 上地　聡子　431
角野公一郎　431
ﾊﾅｼﾞｰ ﾓｳﾐﾀ　431
不動産学研究…… 安藤　　章　433
上地　聡子　435
片川　卓也　437
兼重賢太郎　439
金　　東煥　441
小杉　　学　443
小松　広明　445
斎藤　千尋　447
杉浦　雄策　449
西村　　愛　450
秦　　瑞希　452
浜島　裕美　454
原野　　啓　455
藤木　亮介　457
麻　　剣英　459
前島　彩子　461
山本　　卓　463
担保物権法…… 勝田　信篤　465
債権法…… 勅使河原由紀　467
藤田　有紀　467
土地と住宅の経済学 …… 小俣　幸子　469
会計学の基礎…… 八幡　浩伸　471
経営分析…… 八幡　浩伸　473
測量と地図…… 安藤　　章　475
地籍と不動産登記 …… 佐用　朋貴　477
不動産情報処理演習 …… 古川　　傑　479
借地借家法・区分所有法…… 浜島　裕美　481
開発行政法…… 兼重賢太郎　483
会社法…… 原田　宜彦　485
家族法…… 浜島　裕美　487
藤田　有紀　487
不動産トラブルと法 …… 兼重賢太郎　489
不動産金融法・不動産税法…… 片川　卓也　491
都市と環境の経済学 …… 麻　　剣英　493
計量経済学…… 小俣　幸子　495
原野　　啓　495
不動産金融論 …… 小松　広明　497
不動産鑑定評価論 …… 花輪　志保　499
不動産会計財務論 …… 山本　　卓　501
不動産ファイナンス …… 小松　広明　503
法と政策の経済学 …… 原野　　啓　505
不動産経営戦略 …… 山本　　卓　507
不動産数理…… 塩尻　康夫　509
地理情報システム …… 安藤　　章　511
不動産キャリアデザイン…… 後藤　　智　513
山本　　卓　513
海外不動産事情 …… 金　　東煥　515
曹　雲珍　515
卒業論文…… 上地　聡子　517
兼重賢太郎　519
金　　東煥　521
小杉　　学　523
小松　広明　525
斎藤　千尋　527
西村　　愛　529
秦　　瑞希　531
浜島　裕美　533
原野　　啓　535
藤木　亮介　537
麻　　剣英　539
前島　彩子　541
山本　　卓　543
不動産特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ…… 単位認定科目　545
不動産特別実習 …… 単位認定科目　546
不動産実務演習Ⅰ …… 花輪　志保　547
八幡　浩伸　549
不動産実務演習Ⅱ …… 花輪　志保　551
八幡　浩伸　553

［共通科目］

○基礎教育

○人間力形成教育

○キャリア形成教育

○特別科目

学修の基礎 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**阿方　由紀枝**（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**杉浦　雄策**（すぎうら　ゆうさく）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

この科目は「スタディ・プロモーション」を目的とし、新入生のみなさんが明海大学での４年間をどのように過ごし、どのような自分をつくっていくのかを考えるための授業です。大学について知り、自分自身を理解し、周囲と協力しながら学ぶ姿勢を育てます。授業では、自己理解を深めるワークや大学理解に加えて、探究型 PBL（IBL：Inquiry Based Learning）を取り入れた学生主体のグループワークを行います。自ら問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く経験を通して、課題解決力を高め、有為な人材として成長するための基盤を築いていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：明海大学の建学の精神のキーワードである「社会性」「創造性」「合理性」が、社会に貢献するための課題解決の鍵となることを理解する。大学での主体的な学び方を身につけ、探究型 PBL（IBL）を含むグループワークを通じて、課題解決に取り組むための基礎的なスキルを養うことを目標とする。

個別目標：①明海大学について理解を深め、建学の精神に掲げる「社会性」「創造性」「合理性」について説明できる。
②自らの考えを整理し、相手に伝わるようにわかりやすく説明できる。
③自分の特性を理解し、それを踏まえて「なりたいじぶん」の姿を描くことができる。
④大学生活を通じて「なりたいじぶん」を実現するためのロードマップを設計できる。
⑤探究型 PBL（IBL）を通じて、問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く力を身につける。

▌履修条件

2026 年度新入生（アカデミック日本語の履修対象者を除く）

▌評価基準・方法

①提出物、プレゼンテーションスライドなどの作成　40 %
②発表など　40 %
③授業中の活動などアクティブラーニングの評価　20 %
（提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない）
発表資料などが間に合わない場合は、「事前学修」「振り返り」が出来ていないものと判断し、減点する
※なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって協働ワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （自分のノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特にないが、manaba を通してコンテンツを配信する。
毎回自分のノートパソコンを持参すること。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／学び方（ノートテイキング），図書館の利用方法** 授業内容：授業の目的や進め方を理解し、大学での学びに必要な姿勢を確認します。効果的なノートテイキングの方法，図書館を利用した情報収集方法などを学び、今後の授業で活用できる基礎を身につけます。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の目的や進め方を確認する。大学での学びに対する不安や期待を整理しておく。 事後学修 2.0hr：学んだノートテイキングを使い、授業内容をまとめる。今後の学び方の改善点を振り返る。
2 回	**授業テーマ：大学からのメッセージ１　学長講話** 授業内容：学長から明海大学の理念や教育方針について話を聞き、大学で学ぶ意義を考えます。大学生活を主体的に過ごすための視点を得る機会とします。 事前学修 2.0hr：明海大学の建学の精神について事前に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：学長講話で印象に残った点をまとめ、大学での学びの意義を自分なりに言語化する。講演で印象に残ったことを記録する。
3 回	**授業テーマ：大学からのメッセージ２　特別講演「グアムの文化と歴史」（課題探究のための予備学修）** 授業内容：第 10 回～ 12 回の探究学修で取り上げるグアムについての予備知識を学ぶために、グアム政府観光局、JTB による特別講演を聴きます。 事前学修 2.0hr：グアムの観光地などについて調べる。 事後学修 2.0hr：講演で印象に残ったことを記録する。
4 回	**授業テーマ：自己を知る１　PROG テスト受験** 授業内容：PROG テストを受験し、自分の思考力・人間力の現状を把握します。今後の成長目標を考えるための基礎データとして活用します。PC を必ず持参してください。 事前学修 2.0hr：PROG の目的を理解し、自分の強み・弱みを予想しておく。 事後学修 2.0hr：受験の感想をまとめ、今後伸ばしたい力について簡単に整理する。
5 回	**授業テーマ：大学での学びの方法１　学修ポートフォリオの記入・探究型 PBL（IBL）の導入** 授業内容：ポートフォリオの書き方を学び、自己理解を深めます。探究型 PBL（IBL）の考え方を導入し、課題解決のプロセス (明海スパイラルメソッド) を理解します。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオの意義を確認し、自己理解に関するメモを準備する。 事後学修 2.0hr：PBL の特徴を振り返り、探究における自分の課題や役割を整理する。
6 回	**授業テーマ：大学での学びの方法２　グループワーク開始・コーチングスキル（教育用カードゲームを活用）** 授業内容：教育用カードゲームを用いて、相手の話を引き出すコーチングスキルを学びます。IBL に向けた協働の基礎をつくり、グループワークを開始します。 事前学修 3.0hr：コーチングの基本姿勢（傾聴など）について簡単に調べておく。 事後学修 2.0hr：カードゲームで得た気づきをまとめ、グループでの関わり方を振り返る。

7回	**授業テーマ：大学での学びの方法３　IBL ①「身近なものを比較する」１ 課題設定** 授業内容：身近なテーマから問いを立て、比較の視点を設定します。IBL の第一歩として、課題設定の重要性を理解し、グループでテーマを１つに決め、解決案を探ります。 事前学修 3.0hr：身近な比較テーマをいくつか考え、問いの候補を準備する。 事後学修 2.0hr：設定した課題の妥当性を振り返り、必要な追加調査を整理する。
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法４　IBL ②「身近なものを比較する」２ 分析・議論・解決策立案** 授業内容：集めた情報をもとに分析し、グループで議論を深めます。比較から見える特徴を整理し、解決策や提案をまとめていきます。提案するための発表スライドを作成します。 事前学修 3.0hr：比較対象に関する情報を集め、何によって分析するのか、制約条件などを考えておく。 事後学修 2.0hr：発表スライドを完成させ、提案の根拠となるデータや視点を補強する。
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法５　IBL ③「身近なものを比較する」３ 成果発表・立案・フィードバック** 授業内容：グループごとに成果を発表し、他者からのフィードバックを受けます。比較の視点や分析の深さを振り返り、次の探究に活かします。 事前学修 3.0hr：発表スライドの最終確認を行い、伝えたいポイントを明確にする。 事後学修 3.0hr：聴衆に伝わったか否かなど、受けたフィードバックをまとめ、次の探究に活かす改善点を整理する。
10回	**授業テーマ：大学での学びの方法６　IBL ④「社会課題に取り組む」１ 課題設定** 授業内容：グアム島が抱える社会課題について、みなさんに解決策を考えてもらいます。観光や地域経済の課題を IBL のプロセス (明海スパイラルメソッド) で探究します。まず、現状の課題を整理し、問題が生じた背景や要因をグループで設定します。 事前学修 3.0hr：グアム島の観光地の現状や観光課題について簡単に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：設定した社会課題の背景を深掘りし、追加で調べるべき視点をまとめる。
11回	**授業テーマ：大学での学びの方法７　IBL ⑤「社会課題に取り組む」２ 分析・議論・解決策立案** 授業内容：グアム島が抱える社会課題の背景を調べ、原因や影響を分析します。分析と議論を行い、実現可能な解決策を立案し、グアム島を活性化させるための発表スライドを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマを１つに絞るための話し合いをグループでしておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを行うための発表スライドを完成させる。
12回	**授業テーマ：大学での学びの方法８　IBL ⑥「社会課題に取り組む」３ 成果発表・立案・フィードバック** 授業内容：グアム島を活性化させる提案内容を発表し、他グループからのフィードバックを受けて改善点を明確にし、社会課題に向き合う姿勢を養います。 事前学修 2.0hr：発表内容を整理し、伝わりやすい構成を確認する。 事後学修 2.0hr：フィードバックを受けて提案の改善点を明確にし、学びの成果を記録する。
13回	**授業テーマ：自己を知る２　PROG の返却とフィードバック 行動指針の策定** 授業内容：PROG の結果を受け取り、自分の強みと課題を確認します。結果を踏まえて、今後の大学生活で意識する行動指針をつくります。 事前学修 2.0hr：PROG 結果の見方を確認し、振り返りの準備をする。 事後学修 3.0hr：返却結果をもとに、自分の行動指針を文章化し、今後の学びに反映させる。
14回	**授業テーマ：ポートフォリオ記入・ロードマップ作成** 授業内容：これまでの学びをポートフォリオに整理し、「なりたい自分」に向けたロードマップを作成します。成長の軌跡を可視化します。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、ロードマップに入れたい内容を整理する。 事後学修 2.0hr：作成したロードマップを見直し、実行可能な行動に落とし込む。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化** 授業内容：ロードマップを完成させ、１年間の学びを振り返ります。経験を言語化し、今後の大学生活で活かす視点を明確にします。 事前学修 2.0hr：1 年間の学びを振り返り、言語化したい経験を整理する。 事後学修 2.0hr：完成したロードマップをもとに、今後の大学生活で実践する行動を明確にする。

学修の基礎Ⅰ

開講学科等：日英中不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

遠藤　信一（えんどう　しんいち）**・佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

本科目は再履修科目として位置づけられており、これまでの大学生活を振り返り、学び直しを通してより良い大学生活を再設計することを目的とします。「自己を知る」「情報整理術」「学修計画やロードマップの作成」等さまざまな課題について考えます。明海大学での「自分さがし、自分づくり」を再スタートさせましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：再履修者がこれまでの経験を踏まえて自己理解を深め、改善点を明確にし、大学生活を再構築できるようにする
個別目標：①自分自身の特性を理解し、わかりやすく伝えることができる
②明海大学を理解し、わかりやすく伝えることができる
③大学生活でどのような自分を創り出すか、明確に描くことができる

▌履修条件

授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること

▌評価基準・方法

①毎回の「事前学修」および「振り返りシート」(提出および内容) 60 %
②提出物　40 %
(提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない)
※なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業回によって使用する場合がある）

▌教科書

『学修の基礎Ⅰ』(入学年度に購入した教科書)

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：再履修者は、前回の学修経験を振り返りながら取り組むことで、より深い自己理解と実践的な学修計画の構築を目指す。 事前学修 2.0hr：シラバス及び教科書を読み、授業全体の流れを確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：大学での学びの方法①：メールと LMS の活用** 授業内容：大学での学びの準備として、大学の基本ツール(メールと manaba)を使えるようにする。 事前学修 2.0hr：「メールの書き方」について、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：自己を知る①：これまでの自分を整理する(ポートフォリオ)** 授業内容：過去の経験を整理し、自己理解の土台をつくる。 事前学修 2.0hr：e ポートフォリオ・ポートフォリオについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：大学での学びの方法②：大学の仕組みと学修環境を知る** 授業内容：大学の理解を深めるため、大学の制度・施設を理解する。 事前学修 2.0hr：明海大学の大学公式ウェブサイトで、学内の施設について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：自己を知る②：時間の使い方から自分を知る** 授業内容：行動パターンから特性を理解した上で、自分のスケジュール管理を見直す。 事前学修 2.0hr：「スケジュール管理」について、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、スケジュール帳などにこれからの計画を記入する
6回	**授業テーマ：大学での学びの方法③：ノートテイキングの基礎** 授業内容：学修スキル(ノートテイキング)の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：これまでの受講した授業のノートを見直し、良い点と問題点を考える 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：情報整理術　アイディアの発想と情報の整理** 授業内容：大学で必要な思考の 1 つである「発想」とそれを整理する方法を知る。 事前学修 2.0hr：教科書「情報整理術」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法④：情報検索の基礎** 授業内容：図書館・Web 検索の基礎を理解する。 事前学修 2.0hr：明海大学メディアセンターについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法⑤：学部での学びを理解する** 授業内容：自分の学部の学修内容を理解する。 事前学修 2.0hr：履修ガイドや大学公式ウェブサイトで、自分の学科について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：自己を知る③：マインドマップで自分を可視化する** 授業内容：自分の興味・価値観を広げて捉える。 事前学修 2.5hr：マインドマップについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：自己を知る④：マインドマップから強みを見つける** 授業内容：マインドマップから、自己の強みを抽出し、自分自身の強みを見つける。 事前学修 2.0hr：作成したマインドマップの中から「キーワード」を探す 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：自己を知る⑤：ジェネリックスキルで客観的に理解する** 授業内容：自己評価を客観化し、強み・課題を整理する。 事前学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：学修計画を立てる　e ポートフォリオの記入** 授業内容：自分自身の特性を再確認し、大学生活でどのような自分を創り出すかを考える。 事前学修 2.0hr：教科書「学修計画を立てる」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したポートフォリオを見直し、修正する
14回	**授業テーマ：ロードマップを考える　ロードマップの作成** 授業内容：大学生活でどのような自分を創り出すかを明確に描く。 事前学修 2.0hr：教科書「ロードマップを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する
15回	**授業テーマ：大学での学びを考える　ロードマップ実行のための指針** 授業内容：自分自身の特性を理解し、目標を持って改めて大学生活をスタートさせる。 事前学修 2.0hr：教科書「大学での学びを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　眞人**（たかはし　まさと）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**高柳　奈月**（たかやなぎ　なつき）・**富樫　里真**（とがし　りま）・**中村　佑衣**（なかむら　ゆい）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）・**藤本　陽子**（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

広く社会に目を向けると、様々な立場の人、背景の異なる人がいて、相互理解を図るためにコミュニケーションが欠かせないことが分かります。親しい人であっても自分とは異なる他者です。大学生として新たに身につけて欲しいのは、このような自分とは異なる他者と一緒に共同体や社会を作っていくためのコミュニケーション力です。そのために、他者の言ったことや書いたことを正しく論理的に理解する力や、自分の考えや主張を理由や根拠を示して他者に正しく論理的に伝達する力が必要です。この授業では、読解、文章作成、会話などの活動を通して、それらの力を育成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：社会問題に対して自分の意見を持ち、その意見を論理的な文章によって分かりやすく表現したり、他者に正しく理解されるような発表ができる。
入門書レベルの文章を一定の時間内に論理性に注意して正しく読み取ることができる。
大学の教員や職員、インターンシップや就職活動で出会う社会人など、大学生が実際に接する機会が多い目上の人との対面コミュニケーションにおいて適切な会話スタイルで相互理解を図ることができる。

個別目標：支持する理由や根拠を複数あげて、社会問題に対する自分の意見を書くことができる。資料やデータ、論文などの先行研究を正しい引用方法で引用することができる。読解力(文の基本構造を把握する力、指示代名詞・省略された語を把握する力、含意関係・同義文を判定する力、基本的知識と推論により文の意味を理解する力、図やグラフを参照して内容を理解する力、定義を読み合致する具体例を認識する力)を身につける。場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、人間関係を保持しつつ自分の伝達意図を伝えることができる。

▌履修条件

期限までに課題の提出をしてください。授業内の活動に積極的に参加してください。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とします。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、最終試験 30 %で評価します。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

必要な時に授業で指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
5回	**授業テーマ：文章の構造を理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。

9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
11回	**授業テーマ：論理的なつながりを検討する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
12回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
13回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
14回	**授業テーマ：発表、コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：最終試験を行う。コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や読解で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：試験の準備を行う。 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**高柳　奈月**（たかやなぎ　なつき）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。
その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。
短文の文章を正しく読み取ることができる。
また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。
論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。
入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。
場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

▌履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題提出（小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、期末試験 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方２を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回
5回	**授業テーマ：文章の構造を理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第４回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第５回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第６回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第７回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回
9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第８回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回

10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第9回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第9回
11回	**授業テーマ：論理的なつながりを検討する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１０回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回
12回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回
13回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回
14回	**授業テーマ：発表、コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**後藤　英樹**（ごとう　ひでき）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生がＢＹＯＤの学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・Microsoft 365 の活用方法を通じて、ＢＹＯＤの学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること

・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること

・データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

個別目標：1. ＢＹＯＤの学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）

2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。

3.Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。

4.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、数理課題（15 %）の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）（電子テキスト）

ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1 ／ PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、（数理課題なし）** 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。 ＢＹＯＤの学習環境を整備する（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2回	**授業テーマ：オリエンテーション 2 ／ウェブポータルシステム・manaba・START、（数理課題なし）** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：PowerPoint 1（プレゼンテーションの基礎）、数理課題（割合・比）** 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4回	**授業テーマ：PowerPoint 2（効果的なプレゼンテーション）、数理課題（表・集合）** 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5回	**授業テーマ：Word 1（報告書作成）、数理課題（場合の数）** 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6回	**授業テーマ：Word 2（レポート作成の基礎）、数理課題（確率）** 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7回	**授業テーマ：Excel の基礎①：セル操作、SUM・AVERAGE などの関数、数理課題(図形と空間)** 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGE など代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することで Excel の基礎的な仕組みを理解する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
8回	**授業テーマ：Excel の基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題)** 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
9回	**授業テーマ：Excel の基礎③：グラフと可視化１　グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ 1)** 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
10回	**授業テーマ：Excel の基礎④：グラフと可視化２　見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ 2)** 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
11回	**授業テーマ：Excel の基礎⑤：グラフと可視化３　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 3)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
12回	**授業テーマ：Excel の基礎⑥：グラフと可視化４　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 4)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
13回	**授業テーマ：Excel の基礎⑦：簡単な分析１　標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰)** 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excel で計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
14回	**授業テーマ：Excel の基礎⑧：簡単な分析２　ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ 1)** 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ 2)** 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**後藤　英樹**（ごとう　ひでき）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の発展編として位置付け、前学期のⅢ-a で身につけた基礎的知識をもとに、データ分析や AI を活用するためのスキルを育成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができる力を身につける。

個別目標：1. 情報社会で必要な判断ができる…個人情報やプライバシーの重要性を理解し、SNS や AI 利用時に適切な判断と行動ができる。(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)
2. 生成 AI を目的に応じて使い分けできる…要約・分類・質問応答など、生成 AI の特性を踏まえて適切なプロンプトで活用できる。
3. データを可視化し、読み取りができる…Excel や BI ツールを使い、データを整理・可視化し、指標の意味や傾向を読み取って説明できる。
4. データから課題を発見し、仮説を立てられる…駅カルテなどの実データを分析し、地域や社会の課題を見つけ、根拠ある仮説を設定できる。
5. 分析結果をもとに提案をまとめ、発表できる…データに基づく改善案を資料として構成し、根拠を示しながらわかりやすく発表できる

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft 365 の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題により評価する。
なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

なし

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：情報モラル：個人情報とプライバシー　SNS 事例，データの扱い方，法律との関係** 授業内容：本科目の目的を理解する。 SNS 事例を通して、個人情報の扱い方やプライバシー保護の重要性を理解する。データ流通の仕組みや関連する法律にも触れ、情報社会で必要な判断力とリスク認識を身につける(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)。 事前学修 2.0hr：SNS や個人情報に関するニュースを 1 つ調べ、気づきを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだリスクと対策を自分の行動に照らしてまとめる。
2回	**授業テーマ：生成 AI ①：基礎と仕組み　ChatGPT、Copilot など生成 AI の概要、言語モデルの概要** 授業内容：生成 AI の特徴や活用領域を概観し、言語モデルの基本的な仕組みを学ぶ。ChatGPT、Copilot など身近な AI を例に、入力と出力の関係、得意・不得意を理解し、適切な使い方の基礎をつかむ。 事前学修 2.0hr：生成 AI に関する記事を読み、疑問点をメモする。 事後学修 2.5hr：生成 AI の仕組みについて理解した点を短くまとめる。
3回	**授業テーマ：生成 AI ②：活用と体験　実際に使ってみる(要約、分類、質問応答など)** 授業内容：要約・分類・質問応答など複数のタスクを実際に試し、プロンプトの工夫による出力の違いを体験する。自分の関心に沿ったテーマで生成 AI を操作し、適切な使い方を理解することを目的とする。 事前学修 2.0hr：生成 AI で試したい作業(要約・質問など)を考えておく。 事後学修 2.5hr：体験して得た気づきと、活用できそうな場面を整理する。
4回	**授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験①：見せ方の工夫と操作体験** 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータを可視化し、見せ方による印象の違いを体験する。基本操作を学びながら、グラフや指標の選び方が意思決定に与える影響を理解する。 事前学修 2.0hr：身近なグラフを 1 つ探し、良い点・気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：作成した可視化の工夫点と改善点を振り返る。
5回	**授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験②：ストーリーテリングと提案づくり** 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータから読み取れるストーリーを構築し、提案につなげる演習を行う。可視化と説明の組み合わせを学び、データを根拠にした説得力ある資料作成を体験する。 事前学修 2.0hr：伝えたいテーマを 1 つ選び、理由を整理する。 事後学修 2.5hr：データから導いたストーリーを短く文章化する。
6回	**授業テーマ：駅カルテ①：データの読み取り— 実際の駅データから指標の意味を理解する** 授業内容：実際の駅データを用いて、人口・乗降客数・商業施設などの指標の意味を理解する。データから現状を把握する力を養い、地域分析の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：対象駅の周辺情報を簡単に調べておく。 事後学修 2.5hr：扱った指標の意味と気づいた特徴をまとめる。
7回	**授業テーマ：駅カルテ②：課題発見 — 駅周辺の課題をデータから読み解く** 授業内容：駅周辺の課題をデータから読み解き、仮説を立てる演習を行う。数値の背景を考え、地域の状況を多角的に捉える思考力を育てる。 事前学修 2.0hr：前回のデータを見返し、気になる点を整理する。 事後学修 2.5hr：立てた仮説の根拠と背景を文章化する。

8回	**授業テーマ：駅カルテ③：仮説検証― Excel で分析し、仮説を検証する** 授業内容：Excel を使ってデータを分析し、前回立てた仮説を検証する。分析結果をグループで共有し、解釈の違いや新たな視点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：Excel の基本操作を復習しておく。 事後学修 2.5hr：分析結果と仮説の関係を整理し、次回に向けて課題を明確にする。
9回	**授業テーマ：駅カルテ④：提案づくり ― 改善案を考え、資料にまとめる** 授業内容：分析結果をもとに改善案を考え、資料としてまとめる。根拠と提案を結びつけ、読み手に伝わる構成を意識した資料作成を行う。 事前学修 2.0hr：改善案の方向性を個人で考えておく。 事後学修 2.5hr：資料の構成案を整え、発表準備を進める。
10回	**授業テーマ：駅カルテ⑤：発表とフィードバック　グループ発表と相互評価を実施する。** 授業内容：グループごとに提案を発表し、相互評価を行う。データに基づく説明力やプレゼンテーション力を高め、他者の視点から学びを深める。 事前学修 2.0hr：発表内容を最終確認し、役割分担を明確にする。 事後学修 2.5hr：他グループの良い点を参考に、改善点を振り返る。
11回	**授業テーマ：社会課題とデータ活用①　各学部あるいは学部を横断した課題とデータの関係を考える。** 授業内容：各学部の専門領域に関連する社会課題，あるいは学部を横断した社会課題を取り上げ、データがどのように理解や解決に役立つかを考える。学問とデータ活用の接点を体感する。 事前学修 2.0hr：自分の学部に関係する社会課題を 1 つ調べる。 事後学修 2.5hr：課題とデータの関係について気づいた点を整理する。
12回	**授業テーマ：社会課題とデータ活用②** 授業内容：第 11 回での意思決定に応じて，課題探究を深める。汎用的な内容とする場合は、複利計算などデータを使った意思決定のプロセスを体験する。 事前学修 2.0hr：前回扱った課題の追加情報を調べておく。 事後学修 2.5hr：意思決定にデータがどう役立つかをまとめる。
13回	**授業テーマ：自分の生活とデータ①　課題とデータの可視化** 授業内容：自分の生活に関するデータ(時間、行動、支出など)を収集し、可視化する。日常のパターンを客観的に捉え、気づきを得るための基礎をつくる。 事前学修 2.0hr：1 日の行動や時間の使い方を簡単に記録する。 事後学修 2.5hr：可視化したデータから得た気づきを整理する。
14回	**授業テーマ：自分の生活とデータ②　データから自分の行動を振り返る。メタ認知活動** 授業内容：可視化したデータをもとに、自分の行動や習慣を振り返る。改善点や新たな目標を考え、データを使った自己理解とメタ認知を深める。 事前学修 2.0hr：前回の可視化データを見返し、気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：行動改善のアイデアや今後の目標をまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめと展望　　学びの言語化，今後の学びへの接続** 授業内容：これまでの学びを言語化し、データ活用・AI 活用の可能性を再確認する。今後の学びやキャリアへのつながりを考え、学修成果を整理して締めくくる。 事前学修 2.5hr：これまでの学びで印象に残った内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：今後の学びに活かしたい点を言語化し、提出する。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後　｜　備考：再履修クラス

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）

▌授業の概要

【再履修クラス】数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生がＢＹＯＤの学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・Microsoft 365 の活用方法を通じて、ＢＹＯＤの学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること

・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること

・データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

個別目標：1. ＢＹＯＤの学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）

2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。

3.Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。

4.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、数理課題（15 %）の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）（電子テキスト）

ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1 ／ PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、（数理課題なし）** 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。 ＢＹＯＤの学習環境を整備する（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2回	**授業テーマ：オリエンテーション 2 ／ウェブポータルシステム・manaba・START、（数理課題なし）** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：PowerPoint 1（プレゼンテーションの基礎）、数理課題（割合・比）** 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4回	**授業テーマ：PowerPoint 2（効果的なプレゼンテーション）、数理課題（表・集合）** 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5回	**授業テーマ：Word 1（報告書作成）、数理課題（場合の数）** 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6回	**授業テーマ：Word 2（レポート作成の基礎）、数理課題（確率）** 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7回	**授業テーマ：Excel の基礎①：セル操作、SUM・AVERAGE などの関数、数理課題(図形と空間)** 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGE など代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することで Excel の基礎的な仕組みを理解する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
8回	**授業テーマ：Excel の基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題)** 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
9回	**授業テーマ：Excel の基礎③：グラフと可視化１　グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ 1)** 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
10回	**授業テーマ：Excel の基礎④：グラフと可視化２　見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ 2)** 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
11回	**授業テーマ：Excel の基礎⑤：グラフと可視化３　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 3)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
12回	**授業テーマ：Excel の基礎⑥：グラフと可視化４　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 4)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
13回	**授業テーマ：Excel の基礎⑦：簡単な分析１　標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰)** 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excel で計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
14回	**授業テーマ：Excel の基礎⑧：簡単な分析２　ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ 1)** 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ 2)** 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）

▌授業の概要

【再履修クラス】生成 AI の登場により、データサイエンスの分野も大きく変革を遂げようとしている。本学の学生として身につけるべき基礎教養として、Society5.0 社会・ビッグデータ・IoT・AI・ロボットなどについて学ぶ。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・生成 AI の利活用とその前提として必要な情報モラルについて理解すること
・データの利活用に関わる安全対策、情報モラルについて理解すること
・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
・データの利活用し、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができるようになること。

個別目標：1. データの利活用、AI(生成 AI を含む) 利活用の役割と事例を具体的に説明することができる。
2. データ利活用の倫理、セキュリティについて的確に説明することができる。
3. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
4.Excel による実データの分析と可視化ができる。
5.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題で評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報処理演習室を利用する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）
ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行がことなります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方・インターネットの利活用** 授業内容：学修の基礎Ⅲ-b での授業の目的を理解する。また、大学のメール設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。合わせて、大学で利用している LMS である「manaba」の利用方法を確認する。タイピング練習方法を確認する。 現在進行中の社会変化(第４次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：シラバスおよび担当教員の指示内容を確認する。
2回	**授業テーマ：Windows の基礎：Windows の概要とウィンドウやファイルなどの操作方法・データサイエンスの役割** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、データや AI の活用によって起きている社会の環境の変化について確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
3回	**授業テーマ：情報モラルと情報セキュリティ：データを扱う上での留意事項** 授業内容：データ・生成 AI を扱う際の留意事項や、それらに対する取り組みについて学修する。また、データの中には機密情報や個人情報も多く含まれていることから、データを守るための原則と方法を確認する。 事前学修 2.0hr：データの扱いについて調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(1)：ビッグデータと生成 AI の活用領域と利活用のための技術** 授業内容：データ・生成 AI が利活用される領域・分野は広がりを見せている。そこで、データ・生成 AI が利活用される領域について学修する。また、生成 AI などを利活用する上で必要な留意点について学ぶ。 収集したデータを活用するために、データを解析する方法や技術について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用事例を調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(2)：ビッグデータと AI の課題解決への活用場面と最新動向** 授業内容：人がどのようにデータ・生成 AI を利活用しているのかについて具体的な例を確認し、利活用の方法や可能性について学修する。また、データ・生成 AI が活用されている最新のビジネスモデルや用語、技術を確認する。中でも生成 AI 等を活用した新しいビジネスモデル (シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用したビジネスモデルを調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。

6回	**授業テーマ：Excel（1）：Excel の基本** 授業内容：ビッグデータ、IoT 、生成 AI などによる社会の変化とデータ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の最新技術の活用例などを学び、データ解析と推論や流通システム、金融等におけるデータ・生成 AI 利活用事例などについて学ぶ。 データ分析には Excel を用いる。その前段階として、Excel の基本であるデータ入力、セル操作、ワークシート操作・計算式について説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：Excel（2）：相対参照と絶対参照・基本の関数** 授業内容：Excel でデータを分析するときに利用する「関数」と、セル参照を使った計算方法について演習形式で説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：Excel（3）：「データを説明する、扱う」方法（顧客分析）** 授業内容：データ分析の練習として、データの集計（和、平均、代表値を計算したのち、グラフを作成する。グラフ作成では、優れた可視化と不適切なグラフ表現があるため、これについて理解し、「データを説明する、扱う」ための演習を実施する。。 事前学修 2.0hr：データの種類について調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：Excel（4）：「データを読む」方法・タイピング試験（仕入れ体験）** 授業内容：データの種類（量的変数、質的変数）・データの分布 (ヒストグラム)、代表値・代表値の性質の違い・データのばらつき、データに含まれる誤差の扱い、相関関係・相関係数について理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。これまでの課題の修正をする。
10回	**授業テーマ：Excel（5）：データを用いたデータ分析（公的統計データ）** 授業内容：POS データや公的統計データから実践的なデータ分析の演習を行う。タイピング試験を実施する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：Excel（6）：データを用いたデータ分析（公的統計データ）** 授業内容：POS データや公的統計データを用いて、実践的なデータの集計の演習を行う。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：Excel（7）：実データを用いたデータの可視化と考察（公的統計データ）** 授業内容：第 11 回授業で集計したデータを可視化し、これまで学修した内容を踏まえてデータ分析の結果を考察する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：PowerPoint（1）：プレゼンテーションの概要、スライド作成・編集** 授業内容：学修の基礎 I に関連させ、明海大学独自の問題解決メソッドによりながら、プレゼンテーションで利用する PowerPoint の基本的な操作を学修したのち、スライドのレイアウト、わかりやすいプレゼンの展開、色の表現方法などについて理解する。 その際、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：PowerPoint（2）：プレゼンテーションの適切な準備** 授業内容：第 15 回授業で発表するためのスライドを作成する。スライド作成には、第 13 回の授業で学修した内容を活用する。 なお、スライド作成にあたっては、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。発表練習をする。
15回	**授業テーマ：PowerPoint（3）：プレゼンテーションの適切な実行・まとめ：到達度の自己評価** 授業内容：第 14 回で作成したプレゼンテーションをグループで発表し、相互評価を行う。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。 事前学修 2.5hr：発表練習をする。本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。

人間存在の課題

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

現代は様々な物質的発達の影で人間のあり方が問われている時代であると言うことができる。なぜなら「生きるために物質的に豊かになる」という本来の手段と目的が逆転し、「物質的に豊かになるために生きる」という状況に、人間性が押しつぶされるような状況が生じているからである。本講義では、西洋哲学・思想を中心に学習しながら、自己と世界のあり方を反省し、生きるの意味を自ら問いただすために必要な事項について講義する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：　合理的思考力形成のため西洋哲学の基礎的思考をたどり、世界と人間に対してどこまでも論理的に考える思考力を身に着ける。さらに実存思想に属する哲学を学ぶことで自身が置かれた環境の中で自発的に考えることの大切さを学び、主体的に思考して自分自身を創造するという視点を獲得する。

個別目標：（1）西洋哲学の基礎的術語や諸命題について説明することができる。
（2）実存思想に属する哲学者の思想の特徴を説明することができる。
（3）過去の哲学的諸問題を論理的に現代社会に当てはめて考えることができる。

▌履修条件

主体的に自己のあり方、世界のあり方を考え、哲学思想を学ぶ意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。プリント資料は教室で配布する。

▌参考書

指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：西洋哲学思想とは何か　導入** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋哲学の学問範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：哲学と呼ばれている学問について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容の確認と自身が調べた内容の違いをノート学習する
2回	**授業テーマ：哲学入門　認識論１** 授業内容：真理判断に用いられる基準について学ぶ。具体的には対応説、整合説、有用説、合意説の 4 つであり、それぞれの該当する真理概念について検討する。 事前学修 2.0hr：「真理」と呼ばれるものの成立条件は何かを考える 事後学修 2.0hr：「真理」に関する様々な立場を説明できるようにノート整理を行う
3回	**授業テーマ：哲学入門　認識論２** 授業内容：認識の起源論として合理論と経験論、そしてカントの認識論雄それぞれについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：「物を知る」条件とは何かを考える 事後学修 2.0hr：経験論の限界について自分なりにまとめる
4回	**授業テーマ：哲学入門　認識論３** 授業内容：認識の妥当範囲について学ぶ。また実在論の中から、哲学の歴史的論争となった「普遍論争」について検討する。 事前学修 2.0hr：「何を知る」のかその対象となる範囲について考える 事後学修 2.0hr：実在論と観念論の違いについて自分なりに答えられるようにしておく
5回	**授業テーマ：哲学入門　存在論１　アリストテレスのカテゴリー論** 授業内容：アリストテレスの『形而上学』を中心として、「存在」の条件について検討する。 事前学修 2.0hr：アリストテレスの存在論について調べておく 事後学修 2.0hr：カテゴリーについて全て答えられるように自主学習する
6回	**授業テーマ：哲学入門　存在論２　存在の量について** 授業内容：一元論や多元論といった存在の量的差異の検討を行う。また、二元論から生じる「機会原因論」についても取り上げて検討する。 事前学修 2.0hr：一元論と多元論についてあらかじめ事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
7回	**授業テーマ：哲学入門　存在論３　存在の質について** 授業内容：存在の質についても門愛代から唯物論とその批判、そして観念論と唯心論について検討する。 事前学修 2.0hr：唯物論と唯心論について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：ここまで講義で扱ってきた西洋哲学の基本的な考えについて要点をまとめ、中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った認識論と存在論雄範囲について自分で復習しておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：人間存在の学としての実存思想…サルトルの問題提起** 授業内容：実存思想、実存主義について、これまで学んだ認識論的、存在論的な前提からどの点で変更がなされたか、サルトルの思想を軸に検討する。 事前学修 2.0hr：実存思想について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む

10回	**授業テーマ：パスカルの思想** 授業内容：パスカルの『パンセ』を軸に、実存思想の先駆けとなったモラリストの思想的特徴を紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：B. パスカルについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
11回	**授業テーマ：ニーチェの思想** 授業内容：「神は死んだ」に代表される「ニヒリズム」の思想とそこから生じる実存的な価値世界について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：F. ニーチェについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
12回	**授業テーマ：キェルケゴールの思想** 授業内容：実存思想の代表的人物であるキェルケゴールの思想について「不安」「絶望」の概念を軸に紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：S. キェルケゴールについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
13回	**授業テーマ：ヤスパースの思想** 授業内容：ヤスパースの「実存哲学」を軸に、「限界状況」などよく知られているヤスパースの思想について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：K. ヤスパースについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
14回	**授業テーマ：ハイデガーの思想** 授業内容：ハイデガーの主張する「死に臨む存在」としての人間のあり方を「頽落」いているとされる「世人」のあり方から検討する。 事前学修 2.0hr：M. ハイデガーについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：実存思想、実存主義の思想について要点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：１４回までの講義で習ったことをノート整理して学習する 事後学修 2.0hr：講義全体から人間存在のあるべき姿について考え、自分なりにまとめる。

社会生活と倫理

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

今日、価値観が多様化し、「善」について確固とした意見を持つことが困難になってきている。しかし、そうした状況にあっても我々は生きている限り「どのように生きるべきか」考え、自ら「よい人生」を選びとらなければならない。成熟した人格を持つ個人として社会生活をよりよく生きるため、本講義では西洋倫理学で用いられる概念を講じ、複雑な現代社会にあっても「よく生きること」へのヒントを提示したいと考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：　今日の社会で発生する倫理的諸問題を西洋倫理学の基礎的諸議論から合理的に整理し、自分と社会の人々が「よく生きること」を可能とするために何が必要なのかを自身で考えることができる。

個別目標：（1）倫理学の問題領域についての基礎知識を身に付け、説明することができる。
（2）「良心」について複数の視点から説明することができる。
（3）「他者」認識について複数の視点から説明することができる。
（4）「徳」について現代的意義を踏まえながら説明することができる。
（5）「幸福」について個人的「幸福」と社会的「幸福」の違いと関係性を説明することができる。

▌履修条件

主体的に善と悪を考え、倫理思想を学ぶ意志のある学生であること。講義時のノート作成に加え、日々の生活に対する洞察と反省を必要とするので、積極的に「よく生きること」について考える学生が望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教室でプリントした講義資料を配布する。

▌参考書

指定しない

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：倫理思想への導入…「よさ」と「よい人生」について** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋倫理学の対象、範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：「倫理的」と形容される事件、事故、事象について考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱った事例と身の回りのことを照らしてノートを整理する
2回	**授業テーマ：良心について（1）…現象としての良心の分析** 授業内容：「良心」の働きを概括し、東洋思想と西洋思想に由来する概念としての「良心」の検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」と呼ばれるものについて自分なりに考えておく 事後学修 2.0hr：講義で習った術語をノートの整理を通して行う
3回	**授業テーマ：良心について（2）…良心の働き方の諸相** 授業内容：石川文康の『良心論』に基づき、「共知」の構造と法則性を検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」の働き方について、自身の経験を通して考えておく 事後学修 2.0hr：良心のあり方、働きの法則について復習する
4回	**授業テーマ：良心について（3）…良心を中心にした倫理思想について** 授業内容：良心を中心にしたデカルトとカントの倫理思想について概括する。 事前学修 2.0hr：先週まで学んだことを整理し、良心を巡る議論の問題点を考えておく 事後学修 2.0hr：デカルトとカントの倫理思想についてまとめておく
5回	**授業テーマ：他者について（1）…他者問題の諸相について** 授業内容：「他者認識」にまつわる問題性と他者の把握についての方法論の整理を行う。 事前学修 2.0hr：他者の存在について、自分の人間関係の諸相を反省しておく 事後学修 2.0hr：他者問題について学んだ術語についてノート整理を通して行う
6回	**授業テーマ：他者について（2）…「人格」の要件と「同感」について** 授業内容：一般的な「人格」概念として 4 つのポイントを紹介し、「感情移入」理論とヒュームとスミスの「同感」に基づく道徳感覚理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：「人格」存在の必要要件を自分なりに列挙してみる 事後学修 2.0hr：「人格」存在と「同感」について学んだことを自分の生活に当てはめて検討する
7回	**授業テーマ：他者について（3）…「関係」概念にもとづく他者理解について** 授業内容：自我と他者の「関係」概念に注目したブーバーとレヴィナスの「間主観性」理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：抽象的な他者と具体的他者の違いについて自分なりに整理する 事後学修 2.0hr：ブーバーとレヴィナスの思想について自分の考えをまとめておく
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：「良心」と「他者」概念を中心に、これまで学習した理論のまとめと習熟度を測る中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った良心と他者の範囲を自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：徳について（1）…徳倫理学の歴史と諸相について** 授業内容：「徳」概念の基本をおさえ、東洋思想上の「徳」と「卓越性」を指す西洋的「徳」について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」と呼ばれる語について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：社会に望まれる人間諸性質の共通点についてまとめておく

10回	**授業テーマ：徳について（2）…具体的な徳目の理解** 授業内容：具体的な「徳目」を東洋思想と西洋思想、そして我が国の古典的な「徳目」を挙げて検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」に数え入れるものが何かを具体的に考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱われた様々な徳目を整理し、現代日本の徳目を自分なりにまとめる
11回	**授業テーマ：徳について（3）…ギリシアの徳倫理学について** 授業内容：ソクラテス、プラトン、アリストテレスの「徳倫理学」について、紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：ソクラテス、プラトン、アリストテレスについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：徳倫理学の特徴についてノートを整理し、自身が身についている道徳観との差をまとめる
12回	**授業テーマ：幸福について（1）…幸福の定義とその諸相** 授業内容：前回のアリストテレスの主張から「幸福主義」の倫理学を紹介し、「快楽主義」との違いを明示したうえで、「快楽主義」について紹介する。 事前学修 2.0hr：「幸福」と呼ばれる事項について公共概念と合わせて考えておく 事後学修 2.0hr：「幸福」中身について自身の定義をはっきりさせておく
13回	**授業テーマ：幸福について（2）…個人の快楽主義** 授業内容：キュレネ派の倫理思想からエピクロス派の独自の倫理まで個人を軸にした「快楽主義」の展開を概括する。 事前学修 2.0hr：個人を軸にした幸福追求にまつわる問題を検討しておく 事後学修 2.0hr：ヘゲシアスの「識見」について、自分ならどのようなものが当てはまるかを考えておく
14回	**授業テーマ：幸福について（3）…公共の福祉と功利主義** 授業内容：「功利主義」を中心に社会規模で考えられる「快楽主義」について、その問題を含めて検討する。 事前学修 2.0hr：個人の幸福追求の限界について考えておく 事後学修 2.0hr：「社会の幸福」という概念について功利主義の主張を吟味しておく
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：「徳倫理学」と「功利主義」を軸にした倫理思想の特徴点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：テストに備え、これまで学習したないようについてまとめておく 事後学修 2.0hr：テスト後に、自身の解答から社会生活と倫理の全体像を構築する

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

海外でも高く評価されるノーベル賞作家・川端康成について学ぶ。日本人で初めてノーベル文学賞を受賞できたのはなぜなのか。孤児としての生い立ちや、数々の仰天エピソードも交えながら、作家像を知る。また、代表作『伊豆の踊子』を、映画を理解の補助として、映画→小説→映画→小説の順に読み進め、松本清張の短編小説と比較しながら、川端の名作がいかに読み継がれていくのか考えていく。その他、短編もいくつか取り上げ、それまでの文学にない、独特の擬人法や、映画的表現を学ぶことで、今なお新しさを失わない新感覚派小説の面白さを味わい、川端作品の幅広さを知る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：日本文学や日本文化の知識を学び、それを生かすことができるようになる。日本を代表する作家について、簡単な言葉で他者にも説明できるようになる。川端康成という作家を通して、日本の文学史の一端を学ぶ。

個別目標：原作をより深く理解し、名作が読み継がれていく過程を知る。実際の作家の生い立ちと、作中に描かれた事柄を区別しつつ、小説ならではの構造を読み解くことが出来るようにする。

▌履修条件

くわしくは授業で指示する。なお、この授業で扱う松本清張は『日本語と日本文化B』(担当：川勝麻里)でも扱っているので、あわせて受講すると理解が深まる。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%、試験 60%の結果に基づき総合的に評価する。授業内の作業にはリアクションペーパーの提出が含まれる。
課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

詳細は授業内で指示する。

▌参考書

授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：授業のガイダンスと、川端康成についての簡単な紹介。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 2.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：川端康成について(生い立ち、ユニークな人物像、文壇状況、交友関係など)** 授業内容：孤児の生い立ち、無口、動物好き、読書の名人、文壇政治家、ゴーストライターによる代作、そして、川端を取り巻く人間関係について説明する。まずは作家に興味を持ち、これから読んでいく小説にさらに興味を持って取り組めるようにする。 事前学修 2.0hr：川端康成の年譜事項について見ておく。 事後学修 2.0hr：プリントや授業の話をまとめておく。
3回	**授業テーマ：川端康成と『伊豆の踊子』：実在モデルと小説の違い** 授業内容：『伊豆の踊子』のモデルとなった少女とその兄の実際の姿は、小説にえがかれている姿とは、ことなっている。そこで、その違いを読み解きながら、小説では何が描かれているのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
4回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(１)旧制高等学校と踊り子について** 授業内容：『伊豆の踊子』の主人公の学生は、エリート学生であり、踊り子たちのような社会的に差別されている。そうした社会の中での違いをふまえて、小説を読んでいく。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：差別される踊り子とエリート学生主人公の格差を理解する。
5回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(２)主人公の金銭感覚について** 授業内容：主人公は茶屋で大金を支払っているが、それが当時の日本で、どれくらいの高額だったのか、同時代の資料から考える。また、そうした多くのお金を払ったのはなぜなのかを、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を音読できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
6回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(３)踊り子への差別について** 授業内容：踊り子たちが、どのような差別を受けているのか考える。小説を読む補助として、映画の DVD も視聴。 事前学修 2.0hr：小説を細かいところまで理解できるようにする。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
7回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(４)踊子のモデルと小説の違い** 授業内容：モデルと小説の違いを理解し、純文学として、この小説がどのように理想的につくられているのかを考える。 小説は現実をそのまま描いているわけではないので、その点について考える。 事前学修 2.0hr：『伊豆の踊子』を再度、読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
8回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(５)孤児根性について** 授業内容：孤児根性を持って伊豆の旅に出てきた主人公は、孤児であることに必要以上にこだわっていた気持ちを捨てて、素直に自分と向き合うことができるようになる。孤児根性から癒されていく心の動きについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：孤児根性という言葉の意味を理解し、小説内でそれが解消されていく様子を理解する。
9回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(６)風景描写について** 授業内容：景色と主人公の感情が、どのように連動してうごいているのかを考える。 事前学修 2.0hr：再度、『伊豆の踊子』全体を読んでくる。 事後学修 2.0hr：主人公が孤児根性から癒されていく過程を、風景と結びつけて理解する。

10回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(7)リメイク小説：松本清張『天城越え』の風景描写** 授業内容：『天城越え』は『伊豆の踊子』を意識しながら書かれた小説なので、2作品を比べながら、風景描写を読んでいく。 同じ伊豆半島を舞台とし、同じ大正15年が背景となっているにもかかわらず、風景の描き方がちがっていることがわかる。主人公の心の変化と風景には関係があるということを学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』が『伊豆の踊子』をどのように意識して書かれたか共通点を理解する。
11回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(8)リメイク小説：松本清張『天城越え』の金銭感覚** 授業内容：2つの小説を比較しながら、金銭感覚の違いが、純文学かミステリーかで、異なることに注目して、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：金銭感覚その他、『天城越え』と『伊豆の踊子』の正反対な部分を理解し、作品を深く学ぶ。
12回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(9)リメイク小説：松本清張『天城越え』の心理的動機** 授業内容：松本清張が、川端康成をのりこえようとして、名作『伊豆の踊子』に対して、『天城越え』を執筆したということについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』の犯行動機を理解し、小説全体の読解をまとめる。
13回	**授業テーマ：もう1つの『伊豆の踊子』を読む―西河克己の2つめの『伊豆の踊子』(吉永小百合版)** 授業内容：授業前半では、DVD で西河克己監督の映画「伊豆の踊子」(山口百恵版) を見たが、後半からは、この監督がまったく同じタイトルで、別の女優をつかって撮影した映画「伊豆の踊子」(吉永小百合版) を見ていく。 事前学修 2.0hr：西河克己の『伊豆の踊子』(山口百恵版)を復習しておく。 事後学修 2.0hr：踊り子一行に対する差別について理解する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：これまでのプリントをまとめておく。
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：試験。 事前学修 2.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 2.0hr：試験問題の不明点の復習。

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

森　晴彦（もり　はるひこ）

▌授業の概要

文学は国内・外を通じ多様な形で存在し、研究されているが、本授業では身近にある広告等の表現技巧とその源泉を古典文学に求め、そこから文学的表現の世界に分け入り、本文批評や文学研究の諸方法を俯瞰した上で、物語の話型を学び、それがドラマにまで通底する点を見たい。童話の改変・分析の問題に触れ、次に引用の美学を確認、さらにリアリティ獲得の方法を、歴史小説や自然主義、私小説と非私小説に見、作品生成の背景や成立の場を考える。対立する作家論・テクスト論の方法を自在に用いて作品を追究、言語・思想・社会の影響下に織りなされる文学に言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：(1)広告表現のしくみ、物語の話型・しくみ、創作過程のしくみ、など「文学のしくみ (構造)」を知ることができる
　　(2)文学の果たす機能や役割を説明できる
個別目標：(1)文学作品について説明できる
　　(2)著名な作品・作家について説明できる

▌履修条件

特になし。
※第 1 回から出席・学修支援システム manaba を使用できるスマホを含む電子機器を持参してください。

▌評価基準・方法

定期試験 60 %、課題として前半 7 回後に manaba から提出する学修内容振り返りシート（前半まとめ）30%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 % 及び到達目標・一般目標の達成度に基づき、総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等の提出やフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で毎回プリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて授業内で掲示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：広告言語の構造〜身近にある表現技巧の源泉** 授業内容：第 1 回は、広告言語と呼ばれるコマーシャルのコピーについてです。コマーシャルの言葉の使い方はレトリックと呼ばれる技巧が施されています。そのため、その使い方を含めてポスターのコピーや商品名のネーミングなども含め、日本古典文学の技法が活用されています。そのあたりを紐解いていきます。　※受講人数によって〈授業を受けるためのガイダンス〉の説明が長くなった場合、第 1 回内容を第 2 回まで延長する場合あります。承知おきください。 事前学修 2.0hr：身近にある CM で言語的技法と思うものを 1 つピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえ、技法的な CM を探してみる。
2回	**授業テーマ：文学作品の生成と本文批評** 授業内容：第 2 回は、文学作品の生成と本文批評（ほんもんひひょう）です。初めての用語でしょうから丁寧に解説します。作者自身で書きかえる場合もあれば、時代を経て作品が改変されてしまう場合もあります。それを文献学や本文批評によって、より古い形はどのようなものだったのか、が探索できるわけです。皆さんの知る著名な作品の結末が違うなど例に見ていきます。 事前学修 2.0hr：書誌学・文献学について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを再読する。
3回	**授業テーマ：物語の生成〜竹取物語を例に** 授業内容：第 3 回は、日本で最古の物語 (900 年頃か) といわれる『竹取物語』を例にして、作品の生成過程を追うことで物語の構造 (しくみ) を学びます。同時に、第 2 回の本文批評を用いて、「思想の作品への影響」についても考えてみます。 事前学修 2.0hr：竹取物語のストーリーについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを読んでおく。
4回	**授業テーマ：物語の変容〜グリム童話初版から第 7 版に至る改変** 授業内容：第 4 回は、皆さんが「知っている」『グリム童話』を取り上げ、皆さんが「知らない」『グリム童話』の元の姿をお見せします。今回も第 2 回の本文批評を用いて、「作品の原初の形」(最初の姿、元の姿) を学びます。私たちの読んだテキストは物語が変容したものであることが判ります。 事前学修 2.0hr：グリム童話について簡潔に調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリント（明治時代刊行のシンデレラ）を読む。
5回	**授業テーマ：童話分析の諸問題〜歴史社会・神話解釈・精神分析の問題点** 授業内容：第 5 回は、前回で読んだ『グリム童話』の作品や、読んではいませんが皆さんが知っている『グリム童話』を取り上げ、テキストの変容（本文批評／テキストクリティーク）をないがしろにすると分析も変わってしまう例を、歴史社会・神話解釈・精神分析の各方法と問題点を見ていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のストーリーを確認してくる。 事後学修 2.0hr：本時で扱った方法を整理しておく。
6回	**授業テーマ：物語の構造〜プロップの 31 機能を中心に現代に及ぶ** 授業内容：今回は、「話型学」という、物語や小説の、「話しの骨格」について学びます。話型とは服を脱がせれば人間の骨格は同じです。服によって見え方が違います。水戸黄門も浅見光彦も、骨格は同じ一「同じ話型」となる例です。著名な話型の形を紹介した後、プロップの 31 分類について説明し、物語の形の構造があることを学びます。 事前学修 2.0hr：プロップについて調べておく。 事後学修 2.0hr：物語や映画やゲームの展開と比較してみる。
7回	**授業テーマ：引用の織物〜本歌取から芭蕉・漱石、啄木と谷村、長渕とあいだの場合** 授業内容：第 7 回は、「文学における引用という技法」を取り上げます。引用が当たり前の時代から、博学主義などといわれる近代を経て、現代ではオマージュとかリスペクトと呼ばれる類のものです。しかし、著作権やプライオリティの確保から、現代では、引用は出典を明記して断らないと盗作です。今回はその「引用」に関わる文学の世界を見ていきます。 事前学修 2.0hr：オマージュ、インスパイアという単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：本時で出てきた概念を時代別に整理しておく。7 回終了後 manaba から前半振り返りのまとめを出してもらいます。

8回	**授業テーマ：歴史小説の構造〜高瀬舟執筆の目的** 授業内容：第 8 回は明治の二大文豪(夏目漱石と森鷗外)の一人、森鷗外の『高瀬舟』という小説について学びます。『高瀬舟』の執筆目的とはなにか、考えていきます。資料にそって解説していきます。 事前学修 2.0hr：歴史小説、森鷗外について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
9回	**授業テーマ：原話に付加される近代的自我〜芥川龍之介の作品を中心に** 授業内容：第 9 回は、原作を利用しながら、単なる脚色に終わらず、近代的な自我によって新たな「文学」となった芥川龍之介の作品を見たいと思います。芥川の苦悩が原話を変えた、というのが結論となります。また、一度書いた結末を書き換えている点についても言及します。それらを資料で確認しながら追究します。 事前学修 2.0hr：芥川について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
10回	**授業テーマ：原作を改変する内面的世界〜中島敦・太宰治 1** 授業内容：中島敦の『山月記』について考えます。唐代の伝奇説話『人虎伝』を原作に書かれた小説です。『高瀬舟』も『羅生門』も『山月記』も原作のある小説です。それらの「新たな読み直し」をこの授業では志向しています。『山月記』には独自の運命観が出ているところがあります。その生成の背景と独自性について考察します。後半は、来週読む太宰治の生涯についても言及します。 事前学修 2.0hr：中島敦、太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読しておく。太宰治について調べておく。
11回	**授業テーマ：自伝脚色を駆使する私小説的装置〜太宰治 2、事実と虚構と自立するテクストと** 授業内容：多くの読者は、太宰の小説は太宰の実人生が書かれている、と思っているところです。私小説と多くの人は理解しています。太宰自身は、作品を自分の伝記のように読ませたい、という点をねらっています。そこでこの太宰の方法を、私小説的装置と名付け、事実と虚構の対比から、太宰ワールドに迫ってみようとします。 事前学修 2.0hr：太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえて『富嶽百景』を構築された作品として読みを更新する。
12回	**授業テーマ：自然主義小説・私小説とアンチ私小説〜柳美里・福島次郎 VS 村上春樹・江國香織等** 授業内容：日本の自然主義と呼ばれる小説は、現実をそのままリアルに描写し、実際に起きたことをそのまま小説化することでリアリティを持たせるスタイルで、現代の私小説に繋がっています。他方、すべて想像から創る小説、すべてを零から作り上げる小説があります。小説世界は、この両極の間を、どちらに近づくか、になりますが、そのあたりを具体的に学びます。 事前学修 2.0hr：日本の自然主義とは何かしらべておく。 事後学修 2.0hr：小説の二潮流を念頭に作品を読み分ける。
13回	**授業テーマ：作品の詩と真実 短編の長編化〜蛍とノルウェイの森、事実と虚構** 授業内容：村上春樹の『ノルウェイの森』と『螢』を比較し、村上の初期の創作方法を探求します。『螢』は村上作品の繰り返す青年期のノスタルジックな世界の断片であり、その世界に触発され、その後を書き加えようと、『ノルウェイの森』を執筆するあたりを見ていきます。 事前学修 2.0hr：村上春樹について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを精読する。
14回	**授業テーマ：著名な翻案小説〜その原作の存在** 授業内容：知らない人は少ないはず、という皆さんが読んだことのある著名な小説には、外国文学の原作があり、原作とほぼ同じストーリーなのはあまり知られていません。誘発する事件も作品の背景にあります。それらを皆さんが知ることが難しい、しかし、作品成立の根幹に当たりますから、ぜひ知っておいてほしいと強く思いまして取り上げます。 事前学修 2.0hr：過去に読んだ感動や美談の小説はないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布のプリントを精読する。翻案小説とは何か理解する。
15回	**授業テーマ：翻訳文学の世界〜翻訳文学の基礎的諸問題／授業のまとめ** 授業内容：翻訳文学の基礎的諸問題として、訳者の文体とは、にこだわってみます。ひいては訳した人の感覚というものにまで言及します。　村上春樹訳『キャッチャー・イン・ザ・ライ』(サリンジャー作、2006 年) を「窓」(入り口)として話を進めます。また、授業の総まとめについても行います。 事前学修 2.0hr：上田敏、村上春樹翻訳小説を調べておく。今までの授業内容を総復習しておく。 事後学修 2.0hr：文学について各自切り込み方が深化したか考え直してみる。

人類と文化

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山本　早良紗（やまもと　さらさ）

▌授業の概要

本授業では、文化人類学にかんする基礎的な知識を学びます。文化人類学とは、「文化」という概念を手がかりに、多様な人間の行動や思考、制度などの差異に注目し、それらを多様性と普遍性という観点からとらえ、「人間とは何か」について考える学問です。そして文化人類学の研究手法や視点は、いわば「常識」を相対化し、これまでとは少しちがった世界やものごとの見方・切り取り方を教えてくれるものです。日々目まぐるしく変化するこの現代において、そうした新しい認識の仕方は、自身の生き方や考え方の幅を広げるものとして、有効な知識・知恵となるはずです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：私たちにとって身近な問題関心である、人間の〈生〉の営みに関連するさまざまなテーマをとりあげながら、文化人類学の考え方を学びます。さらに、それらの知識をもとに、個別の事例に照らし合わせて比較検討する視座を養います。具体的には、既存の考え方や自身の価値観を相対化する視点を獲得するとともに、現代を生き抜く術として、〈他者〉との共生のあり方について、みずから考える力を養うことを目標とします。

個別目標：知識を習得するだけでなく、授業から離れた日々の生活の場においても、文化人類学的な考え方を用いて、これまでとはちがったものの見方ができるよう、実践につなげていくことを目指します。また、普段は「当たり前のこと」として気に留めないような事柄についても、改めて主題化し、問い直していく視座を身に付けることを目標とします。

▌履修条件

履修条件は、講義を聞き、学ぶ意思のある者。出席回数を稼ぐためだけに在室し、授業中にスマホ操作や私語、居眠りを繰り返すといった、講義を聞く意思のない者の受講はお断りします（常習者には注意喚起のうえ、開講途中であっても、受講をお断りする場合があります）。本授業は、「出席した回数」よりも、受講態度や授業への関心の高さ、授業内容の理解度を重視した評価を行います。そうした本授業の主旨を十分理解・了承したうえでの受講をお願いします。

▌評価基準・方法

【試験（約 5 割）＋平常点（約 5 割）】により評価を行います。平常点には、①毎授業後に manaba に提出されたコメントの内容から、理解度・関心の高さ・取り組みの姿勢を判断し算出する「コメント点」、および②授業の受講態度の２点が含まれます。出席するだけで得られる「出席点」は設けません。学期末に行う試験は、半期の講義内容すべての総まとめとなり、持ち込みは不可とします。また、試験を無断で欠席した場合、不正行為が行われた場合には、評価の対象外となります。

▌フィードバック方法

授業内容について質問や不明点があった場合には、教室で直接教員にたずねるか、manaba で提出するコメントに記載してください。内容によって、コメントに返信するかたちで回答、もしくは翌週の授業内でとりあげ、解説します。授業内容以外のことについて質問や相談がある場合には、manaba の個別指導コレクションを利用してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必須ではありませんが、PC を使ってメモを取ることを推奨しています。）

▌教科書

指定しない。

▌参考書

授業内で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要、予定、進め方、評価方法など、授業内容および授業運営にかんする基本的事項について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業に期待する内容、学びたいことについて考え、まとめる。 事後学修 2.0hr：興味をもったテーマに関連する書籍を探し、読んでみる。
2 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：文化人類学とはどのような学問かについて、近接する学問分野との比較を通して解説し、学問としての位置づけ、および全体像を理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：文化人類学とはどのような学問か、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学がどのような学問なのかについての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
3 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（1）** 授業内容：文化人類学が得意とするものの見方、およびその見方を実践するための研究手法について解説し、学問の特徴を大まかに理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
4 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（2）** 授業内容：身近な事例をとりあげながら、文化人類学のものの見方・考え方について、より具体的に考える機会を設け、文化人類学という学問のあり方、特徴をしっかりと理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
5 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（3）** 授業内容：文化人類学がめざす〈他者理解〉のあり方について解説するとともに、さらに身近な問題に引きつけて、〈他者〉との接合の仕方について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学にかんする諸理論について、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学が目指す自己と他者とのあり方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。また、文化人類学のものの見方を身近な事例に当てはめ、自分なりに問い直してみる。
6 回	**授業テーマ：文化人類学の理論（1）** 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、初めての体系的な理論となった「文化進化論」について学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。

7回	**授業テーマ：文化人類学の理論（2）** 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、「文化進化論」の衰退後から現在にいたるまで、学問を支える理論となっている「文化相対主義」について学びます。とくに「文化進化論」とのちがいをおさえながら、この理論の概要を解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
8回	**授業テーマ：文化相対主義（1）** 授業内容：文化人類学を理解するうえで欠かせない「文化相対主義」の考え方について、しっかりと理解を定着させるために、この回では、映像像資料を用い、具体的な事例をもとにその考え方について細かく解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
9回	**授業テーマ：文化相対主義（2）** 授業内容：前回の映像像資料の内容をふまえて、文化相対主義の考え方を実践するための具体的な方法について解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第５～９回全体を通して復習し、文化人類学の理論の通時的な流れを理解する。
10回	**授業テーマ：フィールドワーク（1）** 授業内容：文化人類学にとって欠かせない研究手法である「フィールドワーク」について、その歴史、および特徴や方法について解説します。 事前学修 2.0hr：人類学的フィールドワークとはどのようなものか、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
11回	**授業テーマ：フィールドワーク（2）** 授業内容：実際のフィールドワークの様子を、教員自身のフィールドワークの事例を用いて紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第８～９回全体を通して復習し、人類学的フィールドワークの主眼および特徴を理解する。第１０～１１回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「結婚」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
12回	**授業テーマ：フィールドワーク（3）** 授業内容：前回の授業で紹介した、教員のフィールドワークの事例をふまえて、文化人類学的な問いの立て方やものごとの捉え方について、具体的に解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
13回	**授業テーマ：「死」の人類学（1）** 授業内容：最後は、個別のテーマをもとに、文化人類学のものの見方・考え方を実践してみることを目的として、人間にとって普遍的な事象である、「死」をめぐる問題をとりあげます。「死」をめぐって、自分自身のなかにある「あたりまえ」に気付き、改めて主題化することを目指します。この回では、わが国における「死」のとらえ方・考え方、「死」をめぐる事象や葬送・葬儀の方法について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学において、これまで「死」というテーマがどのように扱われてきたかを調べ、それをふまえて自身の問題意識を醸成させる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
14回	**授業テーマ：「死」の人類学（2）** 授業内容：前回の内容をふまえ、続いて諸外国における「死」をめぐるさまざまな事例を紹介します。比較の視点を用いることで、自身の「あたりまえ」を相対化し、人間の〈生〉の営みの多様性を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を振り返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：第１３～１４回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「死」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業全体の理解度をはかるため、まとめのテストを実施します。 事前学修 4.0hr：これまでの授業内容をふり返り、重要なポイントを整理してまとめ、理解を深めておく。 事後学修 1.0hr：テストを振り返り、理解が不足していた点を補う。また全授業をふり返り、人類学的なものの見方を用いて、社会におけるさまざまな問題や身近な出来事をとらえ直してみる。

美とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

髙久 馨（たかく かおる）

▌授業の概要

芸術家たちは真に迫ったリアルな表現を目指して顔や人体を研究してきたが、同時に、芸術的、美的効果をあげるために、解剖学的正確さをあえて無視して、顔や人体をさまざまに誇張、変形、省略してきた。本講義ではまず第 10 回まで、顔や人体が人種、年齢、性別によってどのように違うか、それらの違いが古今東西の絵画、彫刻の中でどのように表現され、どのような印象、効果を見る者に与えているかを考察する。第 11 回目からは、美の諸問題について、西洋美術史や美学、精神分析などさまざまな観点から講義していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：(1)顔や人体の人種、年齢、性別による違いを知り、それらの違いが美術作品ではどのように表現されているかについて自ら観察する姿勢を身に着け、感じたことを言語化できるようになる。
(2)芸術作品を通じて、主に日本文化やヨーロッパ文化のエッセンスを学び、同時に芸術的感性の涵養と異文化の理解に努める。

個別目標：(1) 顔や人体の性差・人種差・年齢差について説明することができる。
(2) 芸術理論や作品に接したとき、常に自分の経験や美意識に引き付けて考えていく習慣を身に着け、美的感受性を練磨していく。

▌履修条件

(1) 授業中の居眠り、携帯・スマホの使用は厳禁。
(2) 思ったことや感じたことを臆せず発言しようという気持ちがある者。授業内容に関係することであれば、どのような意見、発言も歓迎します。

▌評価基準・方法

・期末試験 (50 %)、授業態度(授業に参加、協力しようとする姿勢) (20 %)、manaba の事前学修とリアクションペーパーの内容 (30 %) で評価する。また、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
・授業態度や manaba の事前学修の出来も重要な評価対象となる。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用せず。適宜プリントを配布し、美術作品はスライドで紹介する。

▌参考書

中尾喜保「生体の観察」、メヂカルフレンド社。 村澤博人「顔の文化を考える」(新潟大学ブックレット「顔から学ぶ」所収)。
宮下規久朗「ウォーホルの芸術」、光文社新書。 鈴木晶「図説フロイト」、河出書房新社。
その他の西洋近現代美術関連の参考文献については授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明。** 授業内容：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを読み、本講義に期待する内容や興味をひかれたことを考えておく。 事後学修 1.5hr：もう一度シラバスに目を通し、特に本講義の到達目標を強く意識する。
2回	**授業テーマ：顔と人体の美(1)性差について** 授業内容：主に顔、頸の男女の性差について詳しく説明する。また、あまり知られていない身体における性差についても述べる。 事前学修 2.0hr：顔と人体における性差にどのようなものがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔と人体(特に頸)の性差について具体的に説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：顔と人体の美(2)顔の経年変化について(前半)** 授業内容：頭部と目もとの経年変化について、乳幼児期から老年期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：頭部と目もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：頭部と目もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
4回	**授業テーマ：顔と人体の美(3)顔の経年変化について(後半)** 授業内容：口もとや顔の輪郭の経年変化について、乳幼児期から老人期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
5回	**授業テーマ：顔と人体の美(4)魅力的な顔とは？** 授業内容：顔面における子どもの特徴、大人の特徴をふまえつつ、多くの人が魅力的と感じる顔の特徴とは何かについて述べる。 事前学修 2.0hr：自分はどのような顔が魅力的だと思うか、具体例をあげて述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：多くの人が魅力的に感じる顔とはどのような顔か、また顔における幼児性と成熟さの特徴について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：顔と人体の美(5)「かわいらしさ」(幼児性)について** 授業内容：動物行動学者 K・ローレンツのベビー図式を紹介して、「かわいらしさ」とは何かについて述べる。また、日本人を理解するうえで重要なキーワードの一つとなって久しい「ネオテニー」についても紹介する。 事前学修 2.0hr：ヒトや動物のどのような形態的特徴をわれわれは「かわいらしい」と捉えるのか、事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：ベビー図式の応用例を具体的に身近なものから探し出してみる。授業でとりあげた以外のネオテニーの例を調べる。
7回	**授業テーマ：顔と人体の美(6)目もとにおける上瞼の重要性** 授業内容：目と眉の間が広いか狭いかで目もとの印象はまったく違う。それぞれどのような印象を与えるのか、美術作品にはどのように利用、表現されているのかを詳述する。 事前学修 2.0hr：目と眉の間の長短でどのように目もとの印象が違うか、述べることができるようにしておく。 事後学修 2.0hr：目もとにおける上瞼の重要性について、具体例をあげて説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：顔と人体の美(7)人種差、あるいは日本人の成り立ちについて** 授業内容：人種によって顔や身体にどのような違いがあるのか、その違いの理由は何かを詳述する。あわせて、現代日本人はどのような人種的特徴があるのか、どのような顔を「いい顔」ととらえてきたのかについても述べる。 事前学修 2.0hr：人種による体形、顔だちの違いについて、簡単に述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：人種による体形や顔だちの違い、特に北方アジア系、南方アジア系のそれらの違いを説明できるようにする。

9回	**授業テーマ：顔と人体の美(8)左右対称・非対称の美** 授業内容：顔の造りや表情、身体だけでなく、広く建築物、庭園、衣服をも例にとりあげながら、左右対称・非対称がどのような印象を見る者に与えるのかを考察する。 事前学修 2.0hr：身の周りにあるもの(建築物、工業製品、衣服 etc)で左右対称・非対称のものを見出す。 事後学修 2.0hr：左右対称・非対称の美点・マイナス点について説明できるようにする。
10回	**授業テーマ：顔と人体の美：まとめ(ディスカッション)** 授業内容：9 回までの講義とはまた別の観点から顔と人体の美についての考察を深めてくれるようなエッセイを選び、それを受講者全員で読み、各自疑問に思ったことを出しあう。その後、それらのいくつかについて全員でディスカッションを行う。 事前学修 2.5hr：あらかじめ指定されたエッセイを事前に読んでおく。 事後学修 2.0hr：人間にとって顔とは何なのか、他者との関係において顔はどのように機能するのかについて考察を深める。
11回	**授業テーマ：美の追求にひそむ危険(口頭発表、ディスカッション)** 授業内容：美に追求にひそむ危険に関する小論文を読み、その具体例を、実在の人物や小説、マンガ等の登場人物からさがし出し、受講者の前でそれについて各自口頭発表(5-10 分程度)してもらう。その後、受講者全員でディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：美の追求にひそむ危険に関する小論文を熟読し、それにあてはまる具体例をさがし、口頭発表にまとめる。 事後学修 2.0hr：美の追求において特に問題になりうる点とは何かについて理解を深める。
12回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(１)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、近代とそれ以前ではどのように変わったか、主に西洋美術を例に詳述する。 事前学修 2.0hr：キリスト教やギリシャ神話を題材にした西洋美術の古典的な傑作をいくつか紹介するので、そのテーマについて調べる。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
13回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(２)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、ポップアートを例に、それ以前とどのように変わったか、また現代にどのような影響を及ぼしたか詳述する。 事前学修 2.0hr：宮下規久朗「ウォーホルの芸術」の指定された箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
14回	**授業テーマ：美と精神分析** 授業内容：フロイトの夢と無意識についての理論を紹介し、それらがシュルレアリスムという芸術運動にどのような影響を与えたのかについて述べる。あわせて、現代におけるシュルレアリスムの影響についても考察する。 事前学修 2.0hr：鈴木晶「図説フロイト」の特に夢と無意識に関する箇所を読んでおく。ダリ、マグリット、キリコの画集に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
15回	**授業テーマ：まとめと試験対策** 授業内容：どのような問題が試験で問われるのか、またその意義は何かについて詳述する。そうすることであわせて、これまでの講義のおさらいとする。 事前学修 2.0hr：全講義のノートと配布物に目を通し、それらを持参して講義に臨むこと。 事後学修 4.0hr：試験対策授業でふれた箇所をいま一度重点的に復習して試験に備える。

記号と論理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

土屋　真一（つちや　しんいち）

▌授業の概要

本授業では接続表現の使い方、さまざまな論法を組み立てる方法、議論の構成の仕方などの事例を通して、論理学の基礎を養うことを目的としている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：基礎的な論理の知識を身につけ、自分の思考を論理的に表現することを目標とする。

個別目標：・議論・論文の基本構成（接続表現・パラグラフ・アウトライン・論法・反論など）を理解し、説明することができる。

・記号論理の基礎的な知識を理解することができる。

▌履修条件

・遅刻や欠席をしないこと。（但し、やむを得ない場合は、事前に manaba で理由等を連絡すること。）

・期限までに課題の提出を行うこと。

・授業内の活動に積極的に参加すること。

・リーディングタスク等、授業の準備を怠らないこと。

・教科書を必ず購入すること。（毎回授業で使用するため。）

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

課題等提出物による評価 40%、授業への参加・協力度 20%、最終試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 或いは対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、授業内発表、コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba による資料参照、課題等提出（スマホでも対応可））

▌教科書

篠澤和久、松浦明宏、信太光郎、文景楠（2020）『はじめての論理学 – 伝わるロジカル・ライティング入門』有斐閣

▌参考書

参考書等については、必要に応じて適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスや配布資料をもとに、概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し、講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：シラバスとテキストの内容を照らし合わせ、今後の事前学修に備える。
2回	**授業テーマ：論理とはなにか** 授業内容：論理を言葉の作法の一種と捉え、人間にとって普遍的な知を求める姿勢が、論理につながることを考察する。 事前学修 2.0hr：①自分自身にとって、身近な作法やマナーとは何か考えておく。②リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
3回	**授業テーマ：日本語と論理** 授業内容：普段使っている日本語のなかで、どのような場面で論理という作法（マナー）が要求されるかを明らかにする。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
4回	**授業テーマ：文と文のつながり**⑴ 授業内容：議論における接続表現の重要性および、前提と結論の関係を示す接続表現（順接）について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
5回	**授業テーマ：文と文のつながり**⑵ 授業内容：与えられた内容を明瞭に理解する接続表現および、議論の構造を複雑化する接続表現について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
6回	**授業テーマ：パラグラフと論文のしくみ** 授業内容：パラグラフと論文の構成ならび、論文の仕組みについて。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
7回	**授業テーマ：アウトラインの活用** 授業内容：論文やレポートを作成する手順および、アウトラインの活用について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
8回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**⑴ 授業内容：論証の一般的な型（単純論証、合流論証、結合論証）および、三段論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
9回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**⑵ 授業内容：説得のための論法および、条件文による論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
10回	**授業テーマ：反論の典型的パターン** 授業内容：論争の要素が含まれる議論のなかで、必要とされる反論の仕方について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

11回	**授業テーマ：反論の実践**(1) 授業内容：適切に反論するための３つの視点について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
12回	**授業テーマ：反論の実践**(2) 授業内容：検証型反論をおこなう方法について。第 8 回から 11 回までの授業の総括。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
13回	**授業テーマ：記号論理**(1) 授業内容：論証の型と論理語、論理語としての「ない」、「または」、「ならば」、「そして」について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
14回	**授業テーマ：記号論理**(2) 授業内容：論証の記号化について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、第 9 章の演習問題を解く。10 章の部分は授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
15回	**授業テーマ：記号論理**(3) 授業内容：三段論法による議論について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

コミュニケーション論(留学生クラス)では、コミュニケーションに対する理解を深めるため、自己理解、他者理解、社会スキル、異文化理解、議論の観点からコミュニケーションの基礎的知識について学ぶ。また、企業活動やエンターテイメント、災害などの分野を取り上げ、コミュニケーションが果たす役割について考えていく。そして、実際の会話データを用いて会話分析を行い、調査・研究の基本的な方法や姿勢を学ぶ。授業は、グループワークに取り組みながら進めていき、自らのコミュニケーション能力について客観的に捉えつつ、コミュニケーション技術を磨いていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○）

一般目標：コミュニケーション学の基礎を理解し、現実社会ではどのように反映されているかを分析・考察する力を習得する。
自らのコミュニケーション能力向上のために必要な力を客観的に考察できるようになる。
コミュニケーションに必要な日本語力を向上させる。
授業活動を他者と協力して成しとげることの重要性を認識し、協働する力を身につける。

個別目標：コミュニケーション学に関する基本的な文章を日本語で理解し、その内容をまとめて説明できる。
コミュニケーション学の基礎を理解し、現実場面にどのように生かせるかを分析できる。
自らの日本語によるコミュニケーション能力を理論に照らし合わせて客観的に判断できる。
日本語によるコミュニケーション能力を高め、学び考えたことを的確に表現できる。
他者の意見を的確に理解し、異なる意見を認めることができる。

▌履修条件

留学生を対象とする科目である。
毎回出席し、指定された課題を行うこと。
授業では、積極的に発言し、活動に参加すること。

▌評価基準・方法

最終レポート 40 %、授業内課題 20 %、授業活動 20 %、振り返り 20 %で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価対象とする。

▌フィードバック方法

授業中、または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『大学 1 年生からのコミュニケーション入門』ナカニシヤ出版

▌参考書

『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣
『会話データ分析の実際：身近な会話を分析してみる』ナカニシヤ出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　大学生の学びとコミュニケーション** 授業内容：自己紹介をする。自分のコミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、理解する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの基本概念 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
3回	**授業テーマ：自己理解を深める** 授業内容：自己とは何か。自分というものがどのように形成されるか 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
4回	**授業テーマ：自分の考えを整理し、伝える** 授業内容：自分の考えをわかりやすく伝えるために大切なこと。議論の必要性 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
5回	**授業テーマ：様々なコミュニケーション　①社会スキル ②アサーション** 授業内容：社会スキルについての基本的な知識とアサーションの考え方 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
6回	**授業テーマ：コミュニケーションと異文化理解** 授業内容：異文化間コミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
7回	**授業テーマ：議論の考え方** 授業内容：議論の基礎、情報収集、ディベートについて学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
8回	**授業テーマ：他者の意見を聞き、評価する** 授業内容：反論の仕方について考え、反論されたときの対処方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート

9回	**授業テーマ：マーケティング・コミュニケーション** 授業内容：マーケティング・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
10回	**授業テーマ：コーポレート・コミュニケーション** 授業内容：コーポレート・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
11回	**授業テーマ：バーチャル空間のコミュニケーション** 授業内容：バーチャル空間におけるコミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
12回	**授業テーマ：情報社会とコミュニケーション・ネットワーク** 授業内容：情報社会とコミュニケーション・ネットワークの特徴と内容を理解し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
13回	**授業テーマ：災害とコミュニケーション** 授業内容：災害時におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
14回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話・三者会話の比較分析** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプトを見て、特徴を分析する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと総括** 授業内容：本授業の学びを総括する 事前学修 2.0hr：自分の学びについてまとめてくる 事後学修 2.0hr：期末レポート作成

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

海谷　千波（かいや　ちなみ）

▌授業の概要

1．対象：「そもそもコミュニケーションとは何か」と疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
2．目的：「コミュニケーション」に関する現象・言説を批判的に捉え、実践できる。
3．内容：(ア)「コミュニケーション」や諸問題に関する「常識」・「当然」・「当たり前」と、(イ)これらのこと「に／を」コミュニケートする可能性について学ぶ。
4．授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を［再］整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○）

一般目標：「コミュニケーション」現象からのメッセージや問いかけに向き合い、その意味を見出し、応答できるようになる。
個別目標：1．知識・技能：「コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2．思考・判断・表現：「コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3．主体性・多様性・協働性：他者と関わる(コミュニケートする)ことで、多様性を認め合い、人間性を高め合おうとする。

▌履修条件

1．初回授業へ参加する(※　班編成と座席表作成のため)
2．初回授業で交わされた約束を守る
3．ノート PC、又はタブレット(※　キーボードを準備)を持参する
4．科目担当者が開講する「異文化コミュニケーション概論 a・b」と内容の一部が重複することを理解する

▌評価基準・方法

評価基準・方法
1．講義・議論(60 %：授業外学修 30 %を含む)
2．グループ発表(40 %：実演だけでなく、準備や他グループ発表評価も含む)
以上、1及び2により総合的に評価する。
【※　単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻2回で欠席1回とする。】

▌フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションとプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 入力(レポート：授業の振り返り、発表の評価・コメント；プロジェクト：発表資料の作成)）

▌教科書

宮原哲(2006)．『入門コミュニケーション論』(新版)．松柏社.

▌参考書

板場良久・池田理知子編(2011)．『よくわかるコミュニケーション学』．ミネルヴァ書房.
池田理知子編(2010)．『よくわかる異文化コミュニケーション』．ミネルヴァ書房.
鈴木敏恵(2012)．『課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手順』．教育出版株式会社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等** 授業内容：(1)シラバスと補足資料にしたがい、授業方針・内容・方法・評価の要点について理解するとともに、授業外学修の具体的な方法を知るとともに、(2)「何のためにコミュニケーションを学びたいか」について考えたり、意見交換したりする。 事前学修 2.0hr：シラバス、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：シラバスとオリエンテーションを振り返り、「何のためにコミュニケーションを学びたいのか」についてまとめる。
2回	**授業テーマ：人間コミュニケーションの基本的な基本的な考え方** 授業内容：(1)そもそも「コミュニケーション」とはどのような現象なのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
3回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーションと言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
4回	**授業テーマ：ノンバーバル・コミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーションと非言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
5回	**授業テーマ：認識コンピテンス** 授業内容：(1)自己内コミュニケーションがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
6回	**授業テーマ：人を動かすコミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)説得がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。

7回	**授業テーマ：対人コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)1対1の人間関係がどのように構築されるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
8回	**授業テーマ：小集団コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)グループにおける合意形成やリーダーシップがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
9回	**授業テーマ：組織内コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)組織がどのように運営されるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
10回	**授業テーマ：異文化間コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)文化相互理解がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
11回	**授業テーマ：グループ発表準備(1)：テーマ設定と文献調査** 授業内容：(1)グループ発表の方針、内容、方法等について理解し、(2)グループで解決すべきテーマを設定し、マインド・マップを使ってキーワードを考えながら、発表の全体像をつくる。 事前学修 2.0hr：トピックや関連情報について調べ、要点や自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：グループで検討した文献や情報を調べ、熟読し、要点・概要をまとめる。
12回	**授業テーマ：グループ発表準備(2)：現状把握と課題設定** 授業内容：(1)グループで持ち寄った情報を整理したあと、(2)テーマに関する現状を把握し、課題を設定し、(3)現状と課題に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、現状や課題に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
13回	**授業テーマ：グループ発表準備(3)：原因追及と改善案提示** 授業内容：(1)テーマに関する現状と課題を整理したあと、(2)原因・理由・背景を突き止め、改善案を考えて、(3)原因・理由・背景と改善案に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：原因や改善案に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
14回	**授業テーマ：グループ発表(1)：第1グループの発表と評価** 授業内容：第1グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。
15回	**授業テーマ：グループ発表(2)：第2グループの発表と評価** 授業内容：第2グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　一恵（なかしま　かずえ）

▌授業の概要

人の心は、知覚、記憶、思考、言語など、様々な機能を持っている。心の働きを科学的に解明する心理学は、それに応じて様々な専門分化した研究がなされている。

本講義では、心理学の成り立ち、人の心の仕組み及び働き、その概観について理解し、周囲の人との関わりの中で活用していくことができる力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：基礎的な心理学に関する諸理論を学ぶことにより、人の心や行動の基盤を理解する。また、心理学で学んだ内容を、日常生活で生かせる力を身につける。

個別目標：1)基礎的な心理学の理論や知識を習得し、人の心の動きを科学的に理解できる。
2)日常生活において起こる諸問題に対して、心理学の知識を応用できる。
3)自己・他者の多様性を理解し、穏やかで円滑な人間関係の形成に関与できる。

▌履修条件

1)第 1 回講義のガイダンスで説明する履修条件を理解し、順守できること(第 1 回講義の出席を必須とする)。
2)授業では個別指導とアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的・積極的に学ぶ意欲があること。
3)授業方法の特性上、第 1 回講義時に提出する履修動機を基に履修者を決定する(約 50 名程度)ため、第 1 回講義に必ず出席すること。
4)本講義では、多様な背景や特性を持つ履修者が共に学ぶことを前提としている。必要に応じて合理的配慮を行うため、合理的配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

※原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
1)授業内で提示する課題(50 %)
2)最終試験・レポート(50 %)
以上をもとに、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題、質問や意見共有などに対してのフィードバックは、翌週以降の授業内または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba を使用しての意見共有）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba を使用した意見共有、フィードバック、レポート作成 など）

▌教科書

指定なし

▌参考書

丹野義彦他著　「初めて出会う心理学」　有斐閣 2020
ジョエル・レビー著　「心理学の基礎講座」　NEWTON PRESS 2022

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講座の目的、授業の進め方、課題の取組み方、評価基準についてガイダンスを行う。また、心理学の位置づけについて理解する。 事前学修 2.0hr：履修動機を明確にし、心理学についての関心があることをまとめる。 事後学修 2.0hr：心理学についての自分の考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学入門** 授業内容：心理学とは何か、人の心を研究する意味、歴史的背景などについて理解する。 事前学修 2.0hr：心理学の歴史について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心理学の概要について自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：遺伝的気質特性** 授業内容：遺伝的気質の特徴について理解する。また、遺伝的気質の特徴とこれまでの自分自身の行動やコミュニケーションの特徴などについて理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝的気質について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の遺伝的特性をまとめる。
4回	**授業テーマ：心理的発達** 授業内容：遺伝と環境との関係、新生児や子どもの能力・発達について理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝と環境の関係について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、遺伝と環境との関係、自身の特性と発達との関係をまとめる。
5回	**授業テーマ：感覚** 授業内容：心と関係の深い脳や感覚器官のはたらき、仕組みについて理解する。 事前学修 2.0hr：脳機能について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心と脳の関係についてまとめる。
6回	**授業テーマ：感情** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的機能について理解する。 事前学修 2.0hr：感情について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り、自身の特性との関係についてまとめる。
7回	**授業テーマ：記憶** 授業内容：記憶研究についての流れや、記憶のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：記憶について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
8回	**授業テーマ：心理的ストレス** 授業内容：心理的ストレスについて、ストレス状態のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：ストレスについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。

9回	**授業テーマ：性格と遺伝的気質の違い** 授業内容：性格とは何か、構造や役割について理解する。また、遺伝的気質との違いを、前半の講義で習得した理論や知識と照らし合わせて理解する。 事前学修 2.0hr：性格について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の性格と特性についてまとめる。
10回	**授業テーマ：社会的認知①** 授業内容：コミュニケーションの入口としての印象形成の理論について理解する。 事前学修 2.0hr：印象形成の理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
11回	**授業テーマ：社会的認知②** 授業内容：コミュニケーションとは何かについて理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
12回	**授業テーマ：社会的認知③** 授業内容：コミュニティ形成における、自己・他者理解について理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニティ心理学について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
13回	**授業テーマ：社会的認知④** 授業内容：パーソナリティ理論について理解する。 事前学修 2.0hr：パーソナリティ理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
14回	**授業テーマ：様々な心理学** 授業内容：各分野における心理学の特徴について理解する。 事前学修 2.0hr：関心のある心理学分野について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、興味のある分野についてまとめる。
15回	**授業テーマ：復習とまとめ、試験・レポート** 授業内容：全講義内容を振り返り、心理学の知識と理論をまとめる。また、今後、自分の生活にどのように活かしていくのかを考える。 事前学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、疑問点などを明確にする。 事後学修 3.0hr：本講義の内容を振り返り、最終レポートにまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

林　哲也（はやし　てつや）

▌授業の概要

人間の歴史は多様性を知る歴史でもある。交通、通信の発達などにより、人間はより多様な価値観や社会現象との遭遇を繰り返してきた。現代社会はインターネットという技術を得て、その多様性との遭遇はさらに高速化、日常化している。そうした背景の中で、私たち一人ひとりの心も動揺させられやすく、健康との関連がより深まる時代となっている。一方人間は古くから「心とは何か」への探求を行ってきた。近年は心理学という学問領域が成立し、多くの知見から、複雑化する社会における私たちの心のあり方への応用も盛んに議論されている。

本講義では、心理学の理論を紹介しつつ、現代社会の捉え方や私たちの健康へいかに応用させていくかについての理解を深め、実践していける力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：心理学の基礎的な理論を参照しながら、心と現代社会との関係、健康との関係について、生活実感をともなった理解をする。

個別目標：1) 自らの心理に影響を与えている身体の機能や社会との関係について理解を深め、説明することができる。
2) 日常生活における、自らの心理的特性や行動傾向についての理解を深め、説明することができる。
3) 健康で充実した生活を過ごすための、心理的なセルフケア行動を実践することができる。

▌履修条件

1）初回の授業に必ず出席し、履修上の諸注意を順守できること（特に不要な授業途中の入退室、私語は慎むこと）。2）授業ではアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的、積極的に学ぶ意欲があること。3）アクティブラーニングの実効性の観点から履修者が多数の場合は履修動機、履修意欲を記述するレポートをもとに履修者を選抜する可能性がある。

▌評価基準・方法

1) 授業への取り組みと、授業内で提示する質問や理解度チェックへの応答、授業ごとの小課題の作成（60 %）　2) 最終課題（レポート）（40 %）をもとに総合的に評価する。

※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とするが出席のみでの評価点は設けない。あくまで授業内での取り組み、提出された課題の内容を踏まえて評価をする。

▌フィードバック方法

毎回の小課題、授業中に行った respon による意見共有などに対するフィードバックを、学習支援システム manaba を通じて、あるいは翌週以降の授業内でのコメントによって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを中心に行う。受講人数、受講生の理解度も参考にしながらグループワーク、PBL（課題解決型学習）を用いることもある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを行う。スマホ、タブレットでも可。）

▌教科書

授業内でレジュメを配布。

▌参考書

無藤隆（他著）「新版　心理学」有斐閣　2018

下山晴彦（編）「よくわかる臨床心理学［改訂新版］」ミネルヴァ書房 2009

宗像恒次（他著）「ＳＡＴ法を学ぶ」金子書房 2007

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・心理学とは―本講義の目的―** 授業内容：履修にあたっての諸注意と講義の進め方についてのガイダンスを行う。また心理学の学術的な位置づけについて概説を行い、自身がもつ心理学のイメージとの対比について考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と意欲、心理学について自分自身が持っている関心についてまとめる。 事後学修 2.0hr：自身がもつ心理学のイメージと学術的な心理学の位置づけについて、重なる点、異なる点についてまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学の全体像―心理学の歴史とさまざまな分野―** 授業内容：心に対する探求は古代から哲学や宗教を中心に行われ、近年では実験、調査などの科学を中心とした心理学が発展している。その心理学の歴史と研究対象とするさまざまな分野の広さについて概説し、身近な問題との関連を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学の歴史的・社会的な位置づけと研究対象となるさまざまな分野などについてまとめる。
3回	**授業テーマ：感覚と知覚－脳・神経の働きと環境の認識―** 授業内容：心と不可分の関係にある脳や周囲の環境の安全や危険を認識する感覚器官のはたらき、仕組みについての概説を行い、身近な心理的問題を取り上げて、身体機能の視点も踏まえた多角的な解釈を試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心と脳の関係、環境を認識する感覚器官のはたらきについてまとめる。
4回	**授業テーマ：感情と社会―喜怒哀楽の機能と制御―** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的な機能について概説を行い、身近な問題を取り上げて多角的に自己理解、他者理解を試みる。また自分の心のコントロール、他者との良好なコミュニケーションについても考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：感情の心理学的基礎理論と現代社会における感情の問題についてまとめる。
5回	**授業テーマ：心理的ストレスとは何か** 授業内容：思い通りに進まない事柄や突発的な出来事などから生じるストレス状態のメカニズムについて概説し、ストレス社会と言われる現代社会の構造から受ける影響、自身の健康を維持するための対処法について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理的ストレスの概念と、関連する社会問題についてまとめる。
6回	**授業テーマ：心理学と日常生活―身近な問題への応用―** 授業内容：第２回から第６回の内容を復習し、その理解をもとに日常生活で起こりがちな心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身の日常生活に応用して新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 6 回の授業を踏まえて、自身の日常生活場面について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。

7回	**授業テーマ：社会的認知ー印象形成の理論ー** 授業内容：コミュニケーションの入口ともいうべき他者に対する印象形成のメカニズム、行動から他者の特性を推論する帰属のバイアスなどについて概説を行い、その理解を踏まえて自身が経験してきた人間関係を振り返る。また今後の他者理解について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：印象形成、帰属バイアスについての理論を自身の経験と関連づけてまとめる。
8回	**授業テーマ：社会的影響①ー他者・集団との関係ー** 授業内容：人が個人として選択しているように思える思考、行動も、他者や文化といった社会的影響を受けており、また何らかの影響を他者や文化に与えてもいる。社会心理学の観点を踏まえた心の理解について概説し、身近な問題と関連させて自身の心の経験を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら、他者、集団、組織、規範など、個人に及ぼす社会的影響についてまとめる。
9回	**授業テーマ：社会的影響②ー人間関係とコミュニケーションー** 授業内容：人生の豊かさや楽しみをもたらす一方で、葛藤や嫌悪が生じてしまうこともある人間関係。親密さや攻撃性を生み出すメカニズム、良好なコミュニケーションの構成要素について概説し、自身の人間関係やコミュニケーション傾向について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら身近な人間関係について考察し、現代社会の問題も踏まえてまとめる。
10回	**授業テーマ：ライフサイクルと心理的問題** 授業内容：人間は生まれてから死ぬまで常に変化している。その中で生じる一定の時期に応じた発達段階ごとの心理的課題について、特に青年期、高齢期を取り上げて概説する。その理解を踏まえて自身の現在の心理的な発達課題、将来的に直面するであろう発達課題について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：生涯発達の視点から、各ライフステージにおける心理的問題についてまとめる。
11回	**授業テーマ：心理学と社会生活ー社会との関係への応用ー** 授業内容：第７回から第１０回の内容を復習し、その理解をもとに社会との関連で自身が抱える心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身が感じる社会との関係の問題に応用して、新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 11 回の授業を踏まえて、自身がもつ社会と関連した心理的課題について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。
12回	**授業テーマ：自己と社会ー自分とは何かー** 授業内容：「自分のことなのによく分からない」といった現象のように、社会心理学の主要なテーマとして扱われる「自己」に関する理論について概説を行い、その理解を踏まえて自身の経験を重ね、自己理解の基礎づくりを試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己に関する理論について整理し、自身を対象として「自己」についての新たな気づきについてまとめる。
13回	**授業テーマ：パーソナリティ理論** 授業内容：同じ人間であっても一人ひとりに無意識に行いがちな思考や行動の傾向がある。人格、性格を探究するパーソナリティ理論の概説と質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティ理論と自らのパーソナリティーについての気づきをまとめる。
14回	**授業テーマ：気質と本質的欲求** 授業内容：生まれもった遺伝的、生得的な要因である気質に基づく個性と、行動の基となる根源的な欲求についての理論を概説し、質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質、本質的欲求についての理論と気質コーチングを通じた自身の特性の気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：心理学と学生生活ー復習とまとめー** 授業内容：学生生活における心理的課題の理論について概説を行うとともに、これまでの授業の復習を行う。シラバスの個別目標について、各自の到達度を自己評価する。 事前学修 2.0hr：第 14 回までの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容と自らの生活を重ねて総合的に振り返る。

からだと健康

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮澤　慶（みやざわ　けい）

▌授業の概要

現代社会に生きる人間にとって健康は大切なものであり、かけがえのない財産である。自己実現のためにも、健康の保持・増進は重要である。本講義は、学生がからだの仕組みを理解し、健康に関する基本的知識を有する事を目的として、講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：学生が健康的な生活を送るための基本的な知識を持ち、自己の健康を管理でき、健康に関して科学的又は医学的な考え方ができるようになることを到達目標とする。

個別目標：(1) 各臓器の機能、役割について説明できる。
(2) 健康問題にかかわる要因について説明できる。
(3) 健康維持増進および病気の予防について説明でき、実践することができる。

▌履修条件

健康や栄養について興味をもつもの。

授業中の私語、入退室及び携帯電話の使用等の授業妨害行為、並びに不適切な行為を慎める者。問題のある行為が認められた受講停止を求める。原則遅刻・早退を認めない。

▌評価基準・方法

中間テスト(2 回)の成績、出席ペーパー(12 回)、学修態度に基づき総合的に評価する (おおよその目安：期末 60 %、中間テスト 15 %、出席ペーパー 20 %、出席 5 %程度)。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。

▌フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントを使用して講義を行なう。）

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

今村裕行ら他 8 名著　「健康増進科学概論 －運動・栄養・休養－」(東京教学社) 2015

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：人体・医学・倫理・健康科学** 授業内容：講義に臨む態度について。 医学の進歩と払われた犠牲について。 事前学修 2.0hr：現代生活の特徴と QOL(生活の質)について考察しておく。未来にむけた医療のあり方について考える。 事後学修 2.0hr：医学の進歩とその意義について理解する。受講ルールをよく理解して遵守できるようにする。
2 回	**授業テーマ：人体と健康(肺)** 授業内容：呼吸について。 呼吸運動について。 喫煙と関連疾患について。 COPD について。 肺がんについて。 禁煙方法について。 事前学修 2.0hr：COPD と肺の健康について調べる。 事後学修 2.0hr：エネルギーを引き出す呼吸の仕組みやその調節機構および肺の健康について復習する。
3 回	**授業テーマ：人体と健康(心臓)** 授業内容：心臓について。 血液循環について。 血液の成分と働きについて。 循環調節について。 血圧について。 事前学修 2.0hr：心臓の役割や血液の循環について復習する。 事後学修 2.0hr：全身に栄養や酸素をめぐらす心臓のポンプ作用や血管の構造について復習する。
4 回	**授業テーマ：人体と健康(脳)　栄養と健康** 授業内容：神経について。 脳の構造について。 自律神経について。 脳卒中について。 神経系の病気について。 アルツハイマー症について。 事前学修 2.0hr：脳卒中・脳出血・脳梗塞について調べる。認知症について調べる。 事後学修 2.0hr：情報をコントロールする脳・神経系の働きや記憶・学習の仕組みについて復習する。
5 回	**授業テーマ：中間テスト 1　　1 回から 4 回の講義内容確認** 授業内容：第 1 回から第 4 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 1 を行なうので第 1 回から第 4 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テストの内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：応急手当と健康** 授業内容：心肺蘇生法について。 AED の使用法について。 RICE 処置などさまざまな救急法について。 歯の脱臼時の対応について。 バイタルサインについて。 事前学修 2.0hr：救急蘇生法と AED について調べる。 事後学修 2.0hr：心肺蘇生の方法や AED の使い方、および簡単な応急手当法について復習する。

7回	**授業テーマ：人体と健康(消化器)** 授業内容：消化器官について。 唾液について。 胃の構造と働きについて。 小腸について。 大腸について。 急性虫垂炎について。 大腸がんについて。 事前学修 2.0hr：食生活の飽食化・欧米化・簡便化について調べる。 事後学修 2.0hr：胃・腸の役割について復習する。
8回	**授業テーマ：人体と健康(肝臓)** 授業内容：栄養の消化について。 肝臓の構造と働きについて。 胆嚢の役割について。 膵臓の構造と働きについて。 肝炎とその種類について。 飲酒について。 事前学修 2.0hr：日本人の肝疾患のリスクファクターについて調べる。 事後学修 2.0hr：肝臓の役割、肝疾患について復習する。
9回	**授業テーマ：食事と健康** 授業内容：五大栄養素について。 ビタミンについて。 ビタミン欠乏症について。 食塩摂取と高血圧や脳血管疾患との関係について。 BMI について。 食事バランスガイドについて。 事前学修 2.0hr：五大栄養素について調べる。ビタミン欠乏症について調べる。食育について調べる。 事後学修 2.0hr：生命を維持するための栄養素がどのようにエネルギーや生体成分に変換されるかを復習する。
10回	**授業テーマ：中間テスト 2　 6 回から 9 回の講義内容** 授業内容：第 6 回から第 9 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 2 を行なうので第 6 回から第 9 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テスト内容を復習する。
11回	**授業テーマ：人体と健康(腎臓)** 授業内容：腎臓の構造と働きについて。 泌尿器系にみられる疾患の種類について。 人工透析について。 糖尿病について。 事前学修 2.0hr：糖尿病の自覚症状と合併症について調べる。人工透析について調べる。 事後学修 2.0hr：腎臓の構造と尿を作る仕組みについて復習する。
12回	**授業テーマ：生活習慣病と健康** 授業内容：日本人の死因について。 メタボリックシンドロームについて。 特定健診について。 骨粗しょう症について。 痛風について。 事前学修 2.0hr：日本人の死亡原因について調べる。ヘルスプロモーションについて調べる。 事後学修 2.0hr：生活習慣病の種類や発症および予防対策について復習する。
13回	**授業テーマ：感染症予防と健康** 授業内容：感染について。 感染源と感染経路について。 ワクチンについて。 性感染症について。 動物や節足生物からの感染症について。 手洗いについて。 事前学修 2.0hr：新興感染症と再興感染症について調べる。STD について調べる。 事後学修 2.0hr：感染症対策について復習する。
14回	**授業テーマ：高齢化社会と健康** 授業内容：健康について。 生活習慣病予防について。 ヘルスプロモーションについて。 国際生活機能分類(ICF)について。 事前学修 2.0hr：日本の人口の問題点について調べる。 事後学修 2.0hr：ノーマライゼーションとバリアフリーについて復習する。
15回	**授業テーマ：テスト対策　歯科疾患と健康　まとめ** 授業内容：う蝕について。 歯周病について。 顎顔面領域の外傷について。 マウスガードについて。 期末テスト対策を行なうので第 1 回から第 14 回までの授業内容を復習する。 事前学修 3.0hr：第 1 回から第 14 回までの講義を復習する。 事後学修 3.0hr：全ての講義内容を復習し、期末テストに臨む。　からだの仕組みを理解し、自分の健康管理ができるようにする。

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

我々人間は、ほぼ意図することなく一定の世界観・価値観に従って日々の生活を送っている。この世界観・価値観は日常生活において顧みられることなく、広義の「世間知」として習得されてきたものである。本講義はカントの人間学的な観点から、さまざまな現代日本の生活にまつわる「世間知」についてより深く反省を加え、成熟した人間になるために必要なことは何かを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：　現代日本を取り巻く社会問題を学び、自身の身の回りで起きていることを複数の視点で合理的に思考し、断片的にではなく全体の構図から自分の言葉で説明することができる。

個別目標：1）現代日本が直面している誕生と死にまつわる現状とその問題点について説明することができる
2）コミュニケーション能力の定義を理解し、日本のコミュニケーション空間の変質と現状について説明することができる
3）日本の宗教意識の特徴点を列挙し、説明することができる
4）価値の諸相について理解し、使用価値と交換価値の違いについて日本の現状から説明することができる

▌履修条件

新聞やニュースなどに関心を持ち、主体的に世の中の動きや自分自身のあり方について考える意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は指定しない。
資料は教室で配布する

▌参考書

ＮＨＫ放送文化研究所『現代日本人の意識構造』[第九版]、２０２０他、必要に応じて提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：導入　人間学と日本人の意識** 授業内容：単位取得の条件の確認、およびこの講義で扱う日本を取り巻く問題圏とカントの「人間学」の視点を紹介し検討する。 事前学修 2.0hr：自分の人生のあり方を死ぬ瞬間まで考えてみる 事後学修 2.0hr：身の回りの「世間知」について考えて列挙する
2回	**授業テーマ：誕生と死　誕生にまつわる現状と意識** 授業内容：少子化の現状を様々なデータから紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：人間の誕生に関してどのようなことが問題になるのか考える 事後学修 2.0hr：誕生にまつわる現状と課題を整理し、望ましい誕生のあり方をまとめる
3回	**授業テーマ：誕生と死　死にまつわる現状** 授業内容：高齢、長寿化の現状について様々なデータを紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：自身の経験したあるいは想像する死にまつわることがらについて列挙する 事後学修 2.0hr：死にまつわる現状と課題を整理し、望ましい死のありかたをまとめる
4回	**授業テーマ：誕生と死　死に向かうということ** 授業内容：尊厳死や安楽死といった新しい形の死についての紹介とそれにまつわる意識調査のデータを共有し、人間学的な視点から少子高齢化問題をまとめる。 事前学修 2.0hr：死に直面した時の状況について考えてみる 事後学修 2.0hr：死に直面した時の自身の心の動きと命の重みを重ね合わせ、人間の生について思うところをまとめてみる
5回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独と仲間をめぐる現状** 授業内容：コミュニケーションの現状とそれに伴う意識調査の内容を紹介し、情報を共有する。 事前学修 2.0hr：現代のコミュニケーション状況の特徴について自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション不調の場合にみられる諸特徴について列挙しておく
6回	**授業テーマ：孤独と仲間　コミュニケーション能力の定義とコミュニケーション空間の変質について** 授業内容：コミュニケーション能力についていくつか具体的な定義を紹介し、スマートフォンを用いた SNS の各種サービスの使用現状を概括する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション能力と呼ばれているものについて自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション能力の様々な定義についてまとめておく
7回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独病と承認要求について** 授業内容：片田珠美『孤独病』を軸に孤独感が強すぎてコミュニケーション不調について検討する。 事前学修 2.0hr：孤独感が強すぎることによって生じるコミュニケーション障害について列挙しておく 事後学修 2.0hr：孤独感と承認欲求の関係について自分なりにまとめておく
8回	**授業テーマ：孤独と仲間　仲間と呼べるものは誰か** 授業内容：鴻上尚志『世間と空気』を軸に日本的集団意識の問題点や特徴を取り上げ、検討する。 事前学修 2.0hr：仲間集団についてその必要条件について自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：「世間」集団を形成する時に守られるべきルールを自分なりにまとめておく
9回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：これまで講義で扱った「誕生と死」、「孤独と仲間」の内容をまとめ、習熟度の確認のために中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容のポイントを自分なりにまとめ、テストに備える。 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する

10回	**授業テーマ：神と仏　宗教をめぐる現状について** 授業内容：日本の宗教意識の現状について、各種の意識調査のデータを紹介し、共有する。 事前学修 2.0hr：日本の宗教の現状について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：諸宗教のデータをまとめ、日本の宗教の動向をまとめておく
11回	**授業テーマ：神と仏　神道と仏教** 授業内容：日本の宗教において中心を占める神道と仏教について簡単に歴史をまとめ、自身の宗教理解を反省する。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りの宗教的儀礼や行為について考え、ノートに列挙する 事後学修 2.0hr：自身が行ってきた宗教儀礼、宗教的行為を分類し整理する
12回	**授業テーマ：神と仏　日本的宗教意識について** 授業内容：日本の宗教意識を特徴づける「神仏習合」、「現世利益」、「祖先崇拝」の 3 つを軸に日本的宗教意識のあり方について検討する。 事前学修 2.0hr：超越的な存在について自分の考えをノートにまとめておく 事後学修 2.0hr：現世利益、祖先崇拝、神仏習合などの大事な概念についてまとめておく
13回	**授業テーマ：お金と価値　交換価値と使用価値** 授業内容：使用価値と交換価値の違いを具体的に検討した後、日本の平均収入の変化や経済的な豊かさについての意識調査を紹介し、情報共有する。 事前学修 2.0hr：お金で買えるものと買ってはいけないものの違いについて考えておく 事後学修 2.0hr：講義内容をまとめ、お金の歴史について調べておく
14回	**授業テーマ：お金と価値　資本主義の精神と疎外 -S. ゲゼルの思想-** 授業内容：ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義』の末尾に見られる未来図と、ゲゼルの価値を減じる貨幣システムについて学び、人間学的にまとめる。 事前学修 2.0hr：ヴェーバーの主張と地域通貨について調べておく 事後学修 2.0hr：理想的な交換価値と使用価値のあり方について考えておく
15回	**授業テーマ：まとめのテストと振り返り** 授業内容：「人間的な生き方」を軸にこれまで扱ってきた諸問題をまとめ、まとめのテストと振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テストに備え、１４回までの講義内容をまとめておく 事後学修 2.0hr：これまでの講義内容を踏まえ、人間学的に自分自身の生活の「世間知」について考える

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

堀内　貴子（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

日本人の生活意識(留学生クラス)では、日常の会話でなにげなく使われる言葉について書かれた文章を読む。そして、その内容を、自分の経験や自国の文化と比較しながら、日本人の感じ方や考え方について理解する。
また、理解したことを言語化し、クラスメートと話し合ったり、文章にまとめたりする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本人の言動に内在する価値観を理解し、それに対し、自らの考えを述べることができる。
個別目標：・日本語の文章を読んで、内容を正確に読み取ることができる。
・日常の会話でなにげなく使われる言葉に内在する日本人の考えや価値観を捉えることができる。
・日本人の考えや価値観に対する自分の考えを論理的に説明したり、文章にまとめたりすることができる。
・他者と意見交換をしながら、さらに自分の考えを深めることができる。

▌履修条件

留学生対象のクラスである。
事前事後課題を必ず行い、授業活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

試験 40 %・授業内評価 (小テスト、授業課題、振り返り)50 %、態度(授業への参加姿勢及び発言等) 10 %。

▌フィードバック方法

授業内または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森田六郎『改訂新版　日本人の心が分かる日本語』アスク出版　ISBN：9784866393773

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと事前テスト** 授業内容：オリエンテーション、事前テスト 事前学修 2.0hr：テキストを読む 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
2回	**授業テーマ：内と外を分ける：内と外、世間** 授業内容：「内と外」「世間」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
3回	**授業テーマ：内と外を分ける：しつけ、けじめ** 授業内容：「しつけ」「けじめ」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
4回	**授業テーマ：内と外を分ける：素直、甘える** 授業内容：「素直」「甘える」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
5回	**授業テーマ：他人の目を意識する：人目、恥、照れる** 授業内容：「人目」「恥」「照れる」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
6回	**授業テーマ：周囲に配慮する：遠慮、気をつかう** 授業内容：「遠慮」「気をつかう」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
7回	**授業テーマ：周囲に配慮する：人並み、空気を読む** 授業内容：「人並み」「空気を読む」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
8回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：つきあい、愛想、礼儀** 授業内容：「つきあい」「愛想」「礼儀」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
9回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：本音と建て前、おかげさま** 授業内容：「本音と建て前」「おかげさま」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
10回	**授業テーマ：表現を押さえる：控えめ、ほのめかす、角を立てない** 授業内容：「控えめ」「ほのめかす」「角を立てない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

11回	**授業テーマ：精神主義を好む：がんばる、根性、無理** 授業内容：「がんばる」「根性」「無理」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
12回	**授業テーマ：精神主義を好む：修行、武士道** 授業内容：「修行」「武士道」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
13回	**授業テーマ：日本人の価値観：品、やまとなでしこ、派手・地味** 授業内容：「品」「やまとなでしこ」「派手・地味」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
14回	**授業テーマ：日本人の価値観：恩・義理、いさぎよい、もったいない** 授業内容：「恩・義理」「いさぎよい」「もったいない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：今まで学んできたことについて、総復習を行う。 事前学修 2.0hr：今まで学んだことを確認する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

性格とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

性格(パーソナリティ)は、「人となり」や「その人らしさ」を指します。言動に現れるものから、内面に隠されたものまで、その人の人間性のすべてが、パーソナリティに含まれます。多くの人々は、自分自身のパーソナリティに関して悩んだり、自分と相手のパーソナリティの違いによって人間関係障害を体験したりします。本講義では、性格を固定的な特性として理解するのではなく、状況・関係・行動の中で立ち上がるプロセスとして捉えることを重視します。さらに、性格理論、自己効力感、気質、ニューロダイバーシティ、ストレス行動特性などの知見をもとに、対話とリフレクションを通じて、自身の考えを更新し続ける姿勢を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：パーソナリティに関する理論的理解を基盤として、自己理解・他者理解を深め、状況に応じた判断や行動選択、補完し合える人間関係を構築する力を涵養する。

個別目標：1）性格(パーソナリティ)に関する主要な概念や理論を、具体的な事例や文脈に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2）ニューロダイバーシティ(脳多様性)の概念を理解し、特性を固定的なラベルとしてではなく、状況や環境との相互作用として捉え、他者との関係性を調整する視点を持つことができる。
3）自らの性格(パーソナリティ)について、一つの答えとしてではなく仮説として捉え、経験や対話を通して見直しながら、自己調整や意思決定に活かす視点を持つことができる。
4）自他の性格(パーソナリティ)の違いを把握し、一致や理解を急がず、違いが存在したまま対話を続ける姿勢を持ち、状況に応じた関わり方を選択できる。

▌履修条件

授業は、ピア・インストラクションやグループによるダイアローグなどのクリエイティブ・ラーニングの手法で行われる。
そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気を心がけてほしい。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 70 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること。
また、本講義では、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提とする。必要に応じて、学修方法や参加の在り方について合理的配慮を行うため、配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

1)講義内での質問や応答(20%)と　学習の成果物①:講義ごとの小課題(60%)、学習の成果物②:最終課題(レポート)(20 %)によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントで行います。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義形式に加えて、Think － Pair － Share、Think － Group － Share、ダイアローグ、リフレクティング・トーク等のアクティブ・ラーニング手法を用いて実施する。 理論の理解にとどまらず、自らの考えの変化や揺らぎを言語化する過程を重視する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

①性格とは何かワークブック(￥600)
　購入方法については、講義内や manaba で案内いたします。
②配布資料

▌参考書

岡田康伸・他：パーソナリティの心理学　有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　　パーソナリティ心理学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．自分の性格や周りの人の性格の悩みなど、身近な問題を考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と自分自身の性格について理解していることをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ視点から、自分自身の性格に関する気づきをまとめる。
2回	**授業テーマ：パーソナリティの把握(TAT)** 授業内容：TAT という投影法を用いた性格検査を実施して、自己分析を行う。 その結果を、Think-Pair-Share によって共有し、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック「TAT を使った自己イメージの理解」を読み、セルフチェックを実施し、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己イメージに関する気づきをまとめ、考察する。
3回	**授業テーマ：パーソナリティと自己効力感** 授業内容：行動と自己効力感について理解する。 自らの自己効力感について把握する。 自己効力感を高めること、成長型マインドセットについて話し合う。 安易に自己効力感を高めることのデメリットについて、話し合う。 事前学修 2.0hr：ワークブック「3．自己効力感」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：成長型マインドセットがパーソナリティ形成に与える影響についてまとめる。
4回	**授業テーマ：パーソナリティの諸理論(類型論と特性論)** 授業内容：パーソナリティの諸理論を理解する。 類型論タイプと特性論タイプのパーソナリティチェックを実施する。 Think-Pair － Share で気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：類型論と特性論、それぞれのパーソナリティのとらえ方についてまとめる。

5回	**授業テーマ：類型論①　遺伝的気質で知るあるがままの自分** 授業内容：類型論の一つである、遺伝的気質の自己チェックを行う。 人格気質とストレス気質の特徴やセルフケアについて理解する。 Think-Pair-Share で、人格気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質の特徴から自らの強みと弱点を理解し、自らの能力を生かすセルフケアをまとめる。
6回	**授業テーマ：類型論②　気質コーチング（あるがままの自分と相手を生かすためのマネジメント）** 授業内容：6 つの気質の組み合わせのパターン毎の重複気質について理解する。 気質コーチングチャートに従って、ペアワークで重複気質の特徴とセルフケアを説明し合う。 Think-Pair-Share で、気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質コーチングチャートを活用し、協力者を得てコーチングを実施する。
7回	**授業テーマ：ニューロダイバーシティー（脳多様性を尊重する）** 授業内容：ADHD 特性と自閉スペクトラム特性について理解する。 ２つの特性のチェックシートを実施し、自らの特性を振り返る。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 5 章 「ニューロダイバーシティ（脳多様性）を活かしあう」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：それぞれのニューロダイバーシティの活かされる環境とかかわりを考える。
8回	**授業テーマ：前半の内容についてのまとめ** 授業内容：コースの前半で実施した内容（自己効力感・気質・ストレス行動特性）について、総合的に振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 「それはなぜ重要と考えたのか」「今後どのように活用するのか」について、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：第 1～7 回までの講義内容を復習し、ポートフォリオのレポートを振り返る。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス①（ストレス行動特性）** 授業内容：ストレスを生み出しやすい特性と、ストレスを活用できる特性について理解する。 ストレス行動特性を実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 1.0hr：ワークブック 6 章「ストレス行動特性からレジリエンス型特性へ」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 3.0hr：自分自身のストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。理解が不十分であった内容を、再度復習する。
10回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス②　（メンタルヘルスコーチング）** 授業内容：メンタルヘルスコーチングをガイドラインを参考に、相手のストレス行動特性について説明する。 相手に対し、どのようなストレス反応が生じやすく、それはどのようなストレス行動特性が関連しているのかについて説明する。 事前学修 2.0hr：ワークブック 8 章「メンタルヘルスティーチング＆コーチング」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：メンタルヘルスコーチングを協力者 2 名に実施し、その結果を考察する。
11回	**授業テーマ：ストレス反応とストレスコーピング** 授業内容：ストレス反応の種類、よいストレスと悪いストレス、ストレスコーピングについて理解する。 自分自身のストレスコーピングは、問題解決型か否か、情動コントロール型か否かについて振り返る。 ストレスコーピングの気づきを、Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 7 章 「ストレス反応とストレスコーピング」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：実行可能な積極的対処型のストレスコーピングを具体的に考えて、レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：タイムマネジメントによるストレスマネジメント** 授業内容：なりたい自分、ありたい自分について考えてみる。 有限な時間を、何を大事に生きるかに見通しを持つ。 ストレス関数によるストレスマネジメント理論を理解する。 具体的なストレスマネジメントを考え、Think-Pair-Share で気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック９章 「タイムマネジメントによるストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：レジリエンスを高める対処を復習し、実践する。
13回	**授業テーマ：Well-being のためのストレスマネジメント** 授業内容：気分が落ち込んだ時やストレスを抱えた時のセルフマネジメントの理論を理解する。 4 種類のストレスマネジメントシートを、セルフワークで実施する。 セルフワークでの気づきを、Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 10 章 「Well-being のためのストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：講義内で実施したワークを再度実施し、どのような気づきを得たのかをまとめる。
14回	**授業テーマ：Healthy Personality を育む** 授業内容：どのような要素が Healthy Personality につながるかを理解する。 自分自身のサヴァイヴァル型のパーソナリティ特性を振り返る。 なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性を考える。 気づきを Think-Group-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 11 章「Healthy Personality を育む」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性に関する気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 3.0hr：前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長についての最終課題（レポート）を仕上げる。

生命と遺伝子

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

桑山　秀一（くわやま　ひでかず）

▌授業の概要

すべての生物には遺伝子が含まれています。遺伝子の構造は同じであることから、遺伝子の機能はすべての生物の存続にとって必須であることがわかります。本講義の前半では、まず生命の基本単位である細胞の構造や機能を学びます。さらに遺伝子の構造と機能について理解し、「遺伝子と生命」について学修します。中盤では、生命の誕生や進化の歴史を俯瞰しながら、単細胞からヒトのような高度な多細胞体の特徴に至るまでを順を追って学修します。終盤においては、「遺伝子と病気」や「遺伝子と地球環境」をテーマに遺伝子と社会の接点について学修します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：どのような学問においてもそれを行う主体が人間であるかぎり、生物に関する理解は必須です。本講義では、生命の営みに必須である遺伝子の構造や機能、その重要性について理解します。遺伝子を理解することにより、「生命とは何か？」という基本的かつ根源的な問いに対して自分なりの考察できるようになることを一般的な目標にします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

生物や生命現象に興味があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

成績は、定期試験（70 %）とその他（出席、事後学修（レポート、授業態度）（30 %）の結果に基づき総合的に判断する。

単位取得の最低条件は、講義の 5 分の 4 以上（15 回の講義中 12 回）の出席（講義の出席と学習支援システム『manaba』によるレポートの提出により完結）と定期試験（『manaba』上で行う）の参加とする。

▌フィードバック方法

講師への質問や要望、欠席連絡等は、講師への電子メールや学習支援システム『manaba』の個別指導コレクションを通じて行うことができる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業中における講師から聴講生への質問や学生間における討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

Biology: A Global Approach、Global Edition、Molecular Biology of the Cell 第７版、ゲノム（Genomes）第４版等

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イダンス、および「生命」とは何か？ という問いに対する最初の考察** 授業内容：ガイダンス（本講義の目的と概要） 本講義の目的と概要についての説明。 「生命とはなにか？」について一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：自分が知っている生命現象をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
2 回	**授業テーマ：細胞の構造** 授業内容：細胞の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞とは何かについて、自分の知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
3 回	**授業テーマ：細胞の機能** 授業内容：細胞の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞内では一体何が起こっているのかを自分なりに考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
4 回	**授業テーマ：遺伝子とは何か？** 授業内容：遺伝子とは何か？ ついて一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：現在の遺伝子に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
5 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の構造** 授業内容：遺伝子 DNA の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：自身の DNA に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
6 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の機能** 授業内容：遺伝子 DNA の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：DNA の働きに関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
7 回	**授業テーマ：タンパク質の構造** 授業内容：タンパク質の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の構造に関する知識について整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
8 回	**授業テーマ：タンパク質の機能** 授業内容：タンパク質の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の機能に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解

9回	**授業テーマ：細胞が環境を感じるしくみ** 授業内容：細胞が環境を感じるしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が環境を感じるしくみについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
10回	**授業テーマ：細胞が動くしくみ** 授業内容：細胞が動くしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が運動するためには何が必要かを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
11回	**授業テーマ：がん細胞** 授業内容：がん細胞について学修する。 事前学修 2.0hr：がんとは何かを生物学的に考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
12回	**授業テーマ：幹細胞とは何か？** 授業内容：幹細胞や iPS 細胞とは何か？ とそれらの医学的、社会的意義について学修する。 また、これらの事を理解するために細胞分化についても学修する。 事前学修 2.0hr：幹細胞や iPS 細胞について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
13回	**授業テーマ：多細胞体生物の特徴と構造** 授業内容：多細胞体生物の特徴と構造について学修する。 また、単細胞から多細胞への生物進化に必要な細胞機能とその意義を学修する。 事前学修 2.0hr：単細胞と多細胞の違いをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
14回	**授業テーマ：遺伝子と地球環境** 授業内容：遺伝子と地球環境との関わりについて討論する。 事前学修 2.0hr：遺伝子と地球環境についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
15回	**授業テーマ：「生命と遺伝子」についての討論** 授業内容：各人の専門分野と「生命と遺伝子」との関連についての討論 事前学修 2.0hr：自身の興味や専攻分野と生命あるいは遺伝子との関わりを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義前と講義後で自身の遺伝子に対する考え方の変化をまとめる。

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜アスリートの科学＞
世界で活躍するアスリートの心・技・体に焦点を当てる。実在するアスリートやその実話をもとに「競技スポーツ」の知られざる全貌に迫る。いまや、トップアスリートにとってスポーツ科学の導入は、必要不可欠である。試合の結果のみならず、そこに辿りつくまでのプロセスも実に興味深い。これを知れば、スポーツを「みる」ときの楽しさが倍増するだろう。授業では、動画、スライド、資料を存分に活用し、「アスリートの科学」を学ぶ。授業は、アカディミックアプローチによる interacitve な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：競技スポーツを「みる」ことで「人生を歩んでいくためのヒントを得る」ことができるようになる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度・アカディミックアプローチ (50%) および最終アカディミックアプローチ or 最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話(アカディミックアプローチ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・6 章・7 章・8 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツを考える** 授業内容：競技スポーツとは 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツの力」について、自分の意見や考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：スポーツとアスリート** 授業内容：競技スポーツにおける science and art 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「競技スポーツにおける science and art」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
4 回	**授業テーマ：スポーツリテラシー** 授業内容：体育とスポーツの連続体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「体育とスポーツの連続体」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
5 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの心を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの心を」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
6 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの技を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの技」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
7 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの体力・運動能力を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの体力・運動能力」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
8 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの才能を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの才能」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
9 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：走高跳びのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「走高跳びのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
10 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：水着のイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「水着のイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。

11回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
12回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：ドーピングとアンチドーピング 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「ドーピングとアンチドーピング」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
13回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：テクノロジーの発達と人間の真価 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「テクノロジーの発達と人間の真価」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツ文化を知る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツ文化」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
15回	**授業テーマ：スポーツ科学リテラシー** 授業内容：人生を歩くヒントを得る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：スポーツ科学・アスリートから、人生を学ぶ

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶエンターテイメントの世界】～ステージとエンターテイメント産業～（前学期 月 1）
本講義は、ショービジネスやエンターテインメント産業の発展を、社会の変遷（歴史）とともに学んでいく授業です。 主な内容として、ダンスやミュージカルの発展、ウォルト・ディズニーの人生と偉業、ミュージックビデオの歴史、伝統芸能、そして巨大なエンタメイベント（グラディエーター、オリンピック等）について取り扱います。 映像資料を通じて、クラウド・ネット時代におけるこれからのエンタメ産業の将来を考えていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：エンターテインメントや舞台表現の発展史を学ぶことで、人間の「遊び」「欲望」「楽しさ」の本質について考察します。その上で「今後どのようなエンターテインメントが流行るのか？」という問いへの答えを探求していきます。多くの歴史的な映像資料や AI が持つ最新の知見を活用しながら、時代の先を読む力（将来を見つめる力）を養うことを目標とします。
個別目標：①歴史の把握：古代から現代までのエンタメ史の流れを理解し、その時代の背景を説明できる。
②偉業に学ぶ：ウォルト・ディズニーの生涯と、彼が生んだ革新的なビジネスモデルを解説できる。
③遊びの考察：「楽しさ」や「遊び」の視点から、エンタメが社会に果たす役割を自分の言葉で論じられる

▌履修条件

映像やステージを観るのが好きな方、エンタメの裏側を知りたいと思う方をお待ちしています。感性を豊かにしたいという意欲的な学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

本講義は定期試験（テスト期間中の試験）を行わず、日々の取り組みを重視して評価します。
授業ごとの課題（60%）： 毎回の授業内で行う記述課題
事前・事後学習（40%）： manaba を利用した予習・復習課題
【重要：評価の条件】
全 15 回のうち、12 回以上（4/5）の出席が成績評価（D ～ S）の必須条件です。
定期テスト期間中にテストがない分、毎回の授業課題と manaba での学習にしっかりと取り組んでください。

▌フィードバック方法

本講義では、授業への感想や意見を manaba の「プロジェクト」欄に投稿してメンバー全員で共有し、お互いの投稿にコメントし合うことなどで、多角的な視点からフィードバックを行います。 教員サイドからも、皆さんの投稿やコメントに対して授業内で紹介したり、補足解説を行ったりすることで、全体の理解度を高めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

特段にありません。

▌参考書

適宜、ご紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の説明、エンタメ産業、そして映像の世界** 授業内容：エンターテイメント産業とは？ どんなジャンルがあるのか？ 授業の全体を概観します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
2 回	**授業テーマ：エンターテイメントを創る！　東京ディズニーランド開園とディズニー作品の成長の秘密** 授業内容：東京ディズニーランドがどのように浦安の地に存在するようになったのか？、ディズニーの作品の成長の秘密も考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：ディズニー作品がヒットする秘密を考えてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「ミッキーマウスの誕生」と 1920 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その１　ミッキーマウスが誕生する 1920 年代。 事前学修 2.0hr：1920 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「アニメーションのパイオニア」と 1930 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その２　ディズニーといえばアニメーション！「白雪姫」誕生。 事前学修 2.0hr：1930 年代　50 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5 回	**授業テーマ：授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「戦争と混乱の時代」と 1940・50 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その３　ウォルトも社会も戦争に影響され混とんとした年代。 事前学修 2.0hr：1940、50 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「“夢の国” ディズニーランド」と 1960 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その４　夢の国の完成（1955）、そして、、、。 事前学修 2.0hr：1960 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7 回	**授業テーマ：ディズニーの挑戦：ディズニーシーとディズニーファンタジースプリングス** 授業内容：世界唯一のコンセプトを持つ「東京ディズニーシー」の独創性と、最新エリア「ファンタジースプリングス」が提示する次世代の没入体験を分析します。ゲストの期待を超え続けるための絶え間ない革新とブランド戦略を考察します。 事前学修 2.0hr：ファンタジースプリングスの作品の世界観を予習してください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8 回	**授業テーマ：日本のアニメがなぜ世界中で愛されているのか。** 授業内容：アニメが「日本という国」のイメージをどう変え、世界を動かしているのかを考えます。 事前学修 2.0hr：現代に流行っているアニメの内容がどのようなものか調べてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

9回	**授業テーマ：エンターテイメント産業とアニメ：アメコミの世界と日本のアニメ** 授業内容：アメリカンコミックス、特にマーベルはどのように発展したのか？　社会状況の変化とともに理解していきます。 事前学修 2.0hr：世界におけるアニメの発展状況について調べてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：ヒップホップの発祥は、いつ、どこで？** 授業内容：アメリカの貧困街で生まれた音楽が、なぜ世界中の若者の「代弁者」になったのか。SNS 時代の新しい「声」の上げ方を学びます。 事前学修 2.0hr：ヒップホップ音楽、ラップは、何を言おうとしているのか触れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：アイドルってなんでしょう。** 授業内容：そもそもアイドルって何でしょう。日本のアイドル文化との違いや、国を挙げた「推し」ビジネスの凄さを分析します。 事前学修 2.0hr：世界のアイドル事情につてい予備知識を入れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：ミュージックｖｉｄｅｏの登場：KING OF POP マイケル・ジャクソンと音楽の表現者たち** 授業内容：アーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージを読み解く：マイケル・ジャクソンは何を残したのか？ 事前学修 2.0hr：ご自身の好きなアーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージとは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：ダンスの歴史を知る「ザッツ・ダンシング！」と映画産業** 授業内容：映像産業の歴史を理解する。ダンスはいつごろからはじまった？ ダンスの発展について理解します。 事前学修 2.0hr：今流行っているダンスはどんなダンス？ ダンスの発展について考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：古典の伝承：歌舞伎　市川團十郎　そして新作歌舞伎** 授業内容：日本には、多くの古典芸能・伝統芸能があります。能(のう)・狂言(きょうげん)歌舞伎(かぶき)等々。特に日本の代表的な舞台作品として「歌舞伎」があります。近年では、アニメの題材を用いたり。変化する歌舞伎世界についても理解していきます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の映像を見てくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：将来に残したい記憶・記録・出来事　まとめのテスト** 授業内容：後世に残したい記憶・記録・映像・出来事ってどんなことでしょう。過去を理解し、そして未来を紡ぐ。エンタメ世界の視点からまとめてまいります。 事前学修 2.0hr：将来に残したい記憶・記録・出来事をあげてみましょう。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜健康スポーツの科学＞
スポーツの魅力は、「する」ことにあるといってよい。もともとスポーツには、遊び感覚で身体を動かすこと、それ自体に楽しさがある。また、体力年齢の低下を緩やかにしたり、生活習慣病も予防できる。実際にスポーツを実践している人たちは、心身共に健康な生活を送るために、日常生活の限られた時間の中で、真剣に楽しみ一所懸命に遊んでいる。授業ではスライド、資料を存分に活用し、「健康スポーツ科学」を学ぶ。なお、本授業は、社会の情勢を鑑み、学生対応(対面・遠隔)を機動的に行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：健康スポーツを「する」ことで、人生を歩んでいくときに欠かせない健康と体力をキープしていくことの重要性が理解できる。また、生涯を通じて実践するスポーツ種目の KNOW HOW と、身体とスポーツとの関係についても考えることができる。そして、「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、まとめられる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度 (50%) および最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方と留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・2 章・3 章・4 章・5 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツと健康・体力** 授業内容：運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える」について、自分の意見や考え、思いをまとめる。
3 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：スタミナのある身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スタミナのある身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：力強い身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「力強い身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：しなやかな身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「しなやかな身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：身体を都整える** 授業内容：骨・筋肉　女性の「やせすぎ」にご用心 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「骨・筋肉　女性のやせすぎ」について、自分の意見や考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：脂肪　肥満を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「脂肪　肥満を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。
8 回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：水分　熱中症を予防する 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「水分　熱中症を予防する」について、自分の意見や考えをまとめる。
9 回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：代表的な有酸素系・フィットネススポーツ 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「代表的な有酸素系・フィットネススポーツ」について、自分の意見や考えをまとめる。
10 回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：楽しくスポーツをする 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「楽しくスポーツをする」について、自分の意見や考えをまとめる。

11回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会　スポーツとまちづくり 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会」について、自分の意見や考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：フィジカル・リテラシー 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「フィジカル・リテラシー」について、自分の意見や考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる① 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる①」について、自分の意見や考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる② 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる②」について、自分の意見や考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：科学知を生活知へ** 授業内容：わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶメディアとしての身体】～社会とともに変化する身体～（後学期 月 1）
本講義では、医学の進歩や価値観の変化によって、私たちの「身体（からだ）」のあり方がどう変わってきたかを考察します。「ネット社会における身体」「整形やサイボーグ化する身体」「男らしさ・女らしさとジェンダー」「命の尊厳」など、現代を生きる私たちの体の「今」を、豊富なビデオ資料を通じて探ります。 身近なテーマから、自分という存在や社会のあり方を一緒に考えていきましょう。（※進行やクラスの状況により、内容を調整する場合があります）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人生を豊かにする「身体への視点」と「思考力」を養う授業。
本講義では、自分の「身体（からだ）」を広く豊かに捉え直すための、しなやかな感性と考える力を身につけます。 映像資料を通じて感じたことや考えたことを言葉にし、他者の意見に触れることで、さらに自分の考えを深めていく「探求する力」を高めていくことを目標とします。
個別目標：①社会の課題に気づく：医療や人権など、ニュースになるような社会問題が「自分たちの体」にどう関わっているかを理解できる。
②身近な変化を見つける：自分の周りにある「体の悩み」や「価値観の変化」を、社会のルールや環境と結びつけて発見できる。
③自分の考えを言葉にする：正解のない複雑な問題に対して、自分なりに考えをまとめ、文章で表現できる。

▌履修条件

「なぜだろう？」と考えることが好きな方、自分の意見を大切にしたい方を歓迎します。正解を求めるのではなく、自分なりの答えを探しながら、前向きに授業に参加してくれる皆さんをお待ちしています。

▌評価基準・方法

成績評価の基準 定期試験（テスト期間中の試験）は行わず、毎回の積み重ねを評価します。
授業ごとの課題（60%）：毎回の授業内での記述課題
事前・事後学習（40%）：manaba を利用した予習・復習課題
【重要：評価の条件】
全 15 回のうち、12 回以上（4/5）の出席が成績評価（D～S）の必須条件です。定期テスト期間中のテストがない分、毎回の課題にコツコツ取り組むことが、良い成績への近道です。

▌フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄を使って共有し、manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

適宜、提示いたします。

▌参考書

適宜、提示いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：授業の進め方　ネット時代　SNS　誹謗中傷** 授業内容：学習の進め方の説明。現代社会が抱える身体をめぐる課題の視点を説明し、授業全体を概観する授業です。身体は、科学技術の進歩によっていよいよ変化し、新しい生活スタイルが創造されていく可能性を持っています。さて、これからの身体と社会は？ 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：授業中に記入したメンバーの全記述を読み、意見、評価を行う。
2回	**授業テーマ：ネット社会１：性の欲望　デジタル技術 “解放” か “堕落” か** 授業内容：ネットの時代。AI の技術によっても “性欲のバーチャル化” が進み、新たな幸福感が生み出されつつあります。ネット社会と人間特有の「性の欲望」について考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェックする。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3回	**授業テーマ：ネット社会２：オンラインカジノ 底知れぬ闇** 授業内容：オンラインカジノは、インターネットを通じて賭け事を楽しむことができる場所ですが、日本ではオンラインカジノは法律で禁止されています。無意識に巻き込まれてしまうネット社会の闇。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4回	**授業テーマ：身体を知る１：テストステロン～謎多き男性ホルモン～** 授業内容：AI やデジタル化によって身体をめぐる環境はいよいよ変わってきています。しかしながら、生身の体は、そうは簡単にコントロールできません。特に男性の生活様式に大きな影響を与えている、男性ホルモンといわれるテストステロンについて、理解していきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5回	**授業テーマ：身体を知る２：生殖レース：受精までの闘い** 授業内容：” 精子と卵子” の出会いは、意外に大変。現在、結婚希望年齢は「29.4 才」、出産希望年齢は「30.9 才」とのこと。最近では、妊娠を望んでいてもなかなか妊娠できず、不妊に悩んでいる話も多くなっています。受精という視点から人って何だろう？ と改めて考えてみます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6回	**授業テーマ：身体を知る３：女性の生殖メカニズム** 授業内容：男性と女性の体の違い。一般的には、生殖のメカニズムが大きく異なります。今回は、女性の身体と生活について、理解してみましょう。同時に、「社会的な性」という視点でジェンダーという言葉があります。多様性についても考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

7回	**授業テーマ：生命の意味１：幸せのかたち　出生前診断の現場** 授業内容：出生前診断は、妊娠中におなかの赤ちゃんについて先天性の病気や形態の異常がないかを調べる検査です。最近は簡便に検査ができるようにもなってきました。女性の体に宿った命、赤ちゃんの命、命の選別への懸念。多面的に考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8回	**授業テーマ：生命の意味２：性と人権：性加害、性的同意を考える** 授業内容：近年　社会の話題となっている性加害。事例を紐解きながら、互いの存在の尊厳について考えてまいりしょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
9回	**授業テーマ：生命の意味３：人の命を守る方法：こうのとりのゆりかご　アメリカの政治と中絶** 授業内容：望まれる妊娠、望まれない妊娠、生む女性の権利、赤ちゃんの人権。日本では、妊娠 21 週 6 日までは、医師の同意があれば中絶が合法的に行われていますが、中絶は多くの国で非常に議論の多い問題となっており、政治的な課題とも言えます。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって１：尊厳死　安楽死(日本の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その１。現在の日本では、安楽死は認められていませんが、安楽死(または医師補助自殺)が合法とされている国や地域にはいくつかあります。基本的な知識を身に着けてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって２：尊厳死　安楽死 (海外の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その２。 世界では、安楽死の合法化に関して大きな動きがあります。オランダ, ベルギー(2002 年), ルクセンブルク:(2009 年) に安楽死が合法化されました。スイスでは、安楽死は明確には認められていませんが、自殺幇助は広く行われそのため、終末期の医療を考慮する日本人がスイスでその選択を求めることがあるようです。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって３：脳死　移植医療** 授業内容：日本では脳死に関する認識によって、臓器提供者が少ない現状があります。人の死の定義について考えてみましょう。海外では臓器移植は自国の自給自足に務め、移植ツーリズムを禁止するといった流れもあります。移植医療について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって４：死刑　生きること、生きる権利、そして法整備** 授業内容：人は人を裁くことができるのか？ 考えていきます。多くの諸外国が、死刑を実施しない傾向にあります。日本と世界の死刑制度とを比較しながら考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって５：サイボーグと人間、オーダーメイド・ベビー** 授業内容：ゲノム編集ってなにをすることでしょう。CRISPR-Cas 9(クリスパー・キャス・ナイン)とは？ どこまで人は人の身体を操作・改造してよいのでしょうか？ 考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：まとめ－身体は 21 世紀に何が求められているのか？ 生きること、生きる権利　差別** 授業内容：人の命、生活、法律、、、多様性社会における人の存在について考えていきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜ビギナーズ ゴルフ＞

10～20 歳代のプロゴルファーの活躍によって、ゴルフのイメージは大きく変わりつつある。ウェアーも華やかになり、ゴルフ場でプレーする女性も増えている。「紳士の社交場」としての景色も変わり、いまや性別・年齢を問わず、多くの人々が、健康スポーツとしてゴルフを楽しむようになった。ゴルフは基礎からきちんと習うと、意外にも短時間で上達する。まずはクラブを握り、振ってみることから、ゴルフの面白さ体験してみる。なお本授業は、社会情勢を鑑み、授業内容に対して機動的な対応を行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゴルフが教養や趣味として、あるいは将来のために、役立つようにする。これから経験するであろうさまざまな場面（余暇、仕事の一環 “つきあい・接待” としてなど）、ゴルフ場でプレーできる基本的なマナーや、技術などの初歩的な実践能力が身につく。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていくことができる。

個別目標：ゴルフを健康スポーツとし実践するために、個々のレベルに応じた楽しみ方およびコミュニケーション能力を習得する。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

ゴルフに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の質疑応答、次回演習

冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

Lecture ゴルフの基礎

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「ゴルフとのつきあい方」を考える。** 授業内容：健康・趣味。社交・仕事など 事前学修 2.0hr：「ゴルフ」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「ゴルフのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、学ぶ。** 授業内容：道具の特性について 事前学修 2.0hr：「ゴルフの用具」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：クラブ（アイアン）を正しく握って、とりあえず振ってみる。** 授業内容：身体感性を高める 事前学修 2.0hr：クラブ（アイアン）を正しく握れるよう、調べる。 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
5回	**授業テーマ：スイング動作を学習する（正面・背後）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用① 事前学修 2.0hr：スイング動作における身体の動かし方を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
6回	**授業テーマ：スイング動作を学習する（正面・背後）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用② 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
7回	**授業テーマ：スイング動作を撮影する（正面・背後）** 授業内容：思考脳と作業脳の活用③ 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
8回	**授業テーマ：スイング動作を分析する（エラーの発見および矯正）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用④ 事前学修 2.0hr：撮影された動画を繰り返し、再生する。 事後学修 2.0hr：スイング動作のエラーを理解する。
9回	**授業テーマ：スイング動作を完成する。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑤ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
10回	**授業テーマ：学内のグリーンで、“パター動作” 経験する（パター）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑥ 事前学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング

11回	**授業テーマ：ゴルフ練習場で、“打ち放し” を経験する(アイアン・ドライバー)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑦ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
12回	**授業テーマ：ゴルフ独特の「ルールやマナー」を学ぶ。** 授業内容：ルールとレギュレーション 事前学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、理解する。 事後学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、まとめる。
13回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う① 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
14回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う② 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
15回	**授業テーマ：「ゴルフ・人とのつきあい方」** 授業内容：非認知能力の向上 事前学修 2.0hr：ゴルフに関する知識・技能の確認、コミニュケーション能力とは 事後学修 2.0hr：ゴルフ・人とのつきあい方をまとめる

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【コアトレーニング＆リズムタップダンス(動ける身体作り)ベーシック】前学期 火 4 ／水 3
動ける身体とリズム感を身につけたい人向けの講座です。授業では、〇ウォーミングアップとストレッチ　〇コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得　〇簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。
●初回火曜 4（4/7）あるいは水曜 3（4/8）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングを通して、健康で美しく動ける身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図り、クラス全体でスキルアップします。
個別目標：①基本的なリズムの取り方や、コア（体の中心軸）を意識した身体の動かし方ができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、活動に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4（4/7）水曜 3（4/8）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業全体の流れを理解し、自分の目標課題を設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス＋カスタネット）→ Down（クールダウン） ●中心課題：明海クラブの設備を利用し、実際に動きながら体の感覚をつかむ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：ストレッチの理論とストレッチポールの使い方を習得** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学び、チューブを用いたコアトレーニングを習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ジャズリズムの基礎と、ステップ台を使ったコアトレーニングを体感し、動きの精度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習１（シャッフルステップとフラップ）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：カスタネットとタップダンスの基礎・応用を習得し、スライドボードを使ったコアトレも実践する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習２（連続ターン）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、チューブを使ったコアトレーニングで体幹を鍛える。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習３（タイムステップ）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、ステップ台を使って連動した動きを体得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する１（基本の動き）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、チューブで体幹の動きを確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する２（連続した動き）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きを学び、ステップ台で体の正確な動きを確認する。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する３（音楽に合わせる）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：基礎の動きを音楽に合わせて踊り、スライドボードで体幹を強化する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：ダンススキルを高める１（コンパクトに動く）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（応用技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、コンパクトに体を動かす技術を習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンススキルを高める２（動きの繋ぎに注意）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：ひとつひとつの動きを繋ぎ、流れのあるダンスを体現する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンススキルを高める３（全体の動きに抑揚をつける）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きに抑揚をつけ、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習
14回	**授業テーマ：仲間と踊る１（息を合わせる）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：動きの完成度を高め、仲間と合わせる協調性を養う。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：仲間と踊る２（チームでお互いに見せ合う）** 授業内容：Up →コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：チームごとにダンスを見せ合い、互いに評価し合い、自分の課題と今後の目標を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【ストレッチ＆リズムタップダンス（身体感覚向上）ベーシック】前学期 水 4
柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさを体験する講座です。授業では、〇身体を整えるストレッチとウォーミングアップ 〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得　〇簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。
●初回水曜 4（4/8）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名〜15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自分の身体のイメージを創り、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本的なテクニックを身につけることを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、楽しみつつスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗ることができる（カスタネットを奏でながら踊るテクニック、タップダンスの基礎を含む）
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践でき
③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

▌履修条件

定員：10 名〜15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は　水曜 4（4/8）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業の進め方を確認、明海クラブの収容人数に合わせて名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業への意欲を高め、自分の目標を設定する 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（1）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：正しい姿勢と足首・腰の柔軟性を意識しながら、明海クラブで実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（2）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学ぶ。バランスの良い体幹を感じながら動く 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（3）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：ダンスムーブメント（1）リズムにのって踊る** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：音楽のリズムを感じ、軽やかに体を動かす楽しさを体感する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：ダンスムーブメント（2）ステップを覚える** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ステップを意識してリズムに合わせ、動きをつなげる。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：ダンスムーブメント(3)バランスをとる** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識して、安定した動きと体幹の感覚を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(1)音を出す** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽に合わせて軽やかに動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(2)音を出しながら動く** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップの基本をマスターし、体にリズムを刻む感覚を養う。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(3)動きを繋ぐ** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを組み合わせて、流れるような動きを意識する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(4)簡単な一連の動きで踊って** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きをつなげ、全体の流れで踊る感覚を身につける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽を通して、リズムや表現力を意識しながら動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを披露し、仲間の演技を観察して学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？** 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

（Sport in Life に挑戦）
健康管理の手段および生涯スポーツとしての身体活動について、考え実践する。身体活動（スポーツ）を、日常生活の中に採り入れる工夫を個々で行なう。「いかに楽しんで、身体を動かすか」によって、意外なほど簡単に身体活動（スポーツ）を実践できることを体得し、今後の健康・体力づくりに活かしていく。なお授業は、アカディミックアプローチによる interactive な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：健康・体力づくりのひとつの手段として、自分に合った運動種目を選定し、実践する。身体を動かすことの達成感や新しい自分とので出会いを経験する。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていく。
個別目標：個々に応じた「運動習慣の確立」を目指す。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。
履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
健康スポーツに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の課題に対する指導、次回演習冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

必要に応じて資料を配付する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「健康スポーツ」について考える。** 授業内容：健康体力 事前学修 2.0hr：「健康・体力」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツとのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「運動種目①」について、学ぶ。** 授業内容：一人で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「一人で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：「運動種目②」ついて、学ぶ。** 授業内容：複数で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「複数で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
5回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：身体活動とは 事前学修 2.0hr：「身体活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
6回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：生活活動とは 事前学修 2.0hr：「生活活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
7回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践①」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
8回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践②」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
9回	**授業テーマ：「積極的に、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
10回	**授業テーマ：「積極的に、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
11回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。

12回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。
13回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー①」を考える。** 授業内容：体育とは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
14回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー②」を考える** 授業内容：スポーツとは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、深める 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
15回	**授業テーマ：「スポーツとのつきあい方」について学ぶ。** 授業内容：Sport in Life に挑戦 事前学修 2.0hr：「スポーツの意義」「健康・体力」について、再考する。 事後学修 2.0hr：スポーツと健康について、まとめる。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【コアトレーニング＆リズムタップダンス（動ける身体作り）リズムセッション】後学期 火 4 ／水 3
動ける身体とリズム感を磨き、踊る楽しさを深める講座です。授業では、〇ウォーミングアップとストレッチ　〇コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得　〇学期の後半には、学んだ動きを組み合わせて、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。
●初回火曜 4（9/15）あるいは水曜 3（9/16）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：リズム感を活かし、多様なダンスの身体表現を習得するとともに、コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化し、動ける身体と表現力をさらに高めます。学んだ動きを組み合わせて、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、クラス全体でスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なリズムの取り方やコア（体の中心軸）を意識した動きができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、表現に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4（9/15）水曜 3（9/16）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認する。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	**授業テーマ：自分の体と向き合うエクササイズ理論の再確認** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	**授業テーマ：ストレッチ理論とリズム** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎と応用を理解し、チューブを使ったコア強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	**授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方をチェック** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア連動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習 1（シャッフルステップとフラップ）** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：基礎動作を着実にできるように、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

6回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習２(連続ターンと体幹の安定)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習３(タイムステップの深化)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：リズムの正確性とスピードの安定を目指す。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する１(セビジャーナスを踊る)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：基礎から応用へ発展させ、音と動きを一致させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する２(フレンド・ライク・ミーで踊る)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ。用具を使ってコアトレーニング(ステップ台)。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する３(動きの繋がりをスムーズ)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽との一体感を高め、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する４(コンパクトに動く技術)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：無駄のない動きで音を明確に出す。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する５(作品のまとまり)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：動きの間を意識し、滑らかな構成に仕上げる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する６(抑揚と構成美)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：作品全体に強弱・緩急をつける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：仲間と作品を踊る** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：チームでの完成度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：チーム発表・相互評価** 授業内容：Up →コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：作品を発表し、相互評価を通して今後の課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【ストレッチ＆リズムタップダンス（身体感覚向上）リズムセッション】後学期 水 4
柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさをさらに深める講座です。授業では、〇身体を整えるストレッチとウォーミングアップ　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得　〇学期の後半には、学んだ動きを組み合わせて、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。
●初回水曜 4（9/16）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自分の身体のイメージを創り、しなやかで強い身体づくりの基礎をさらに発展させます。多様なダンスの基本テクニックを活かし、学んだ動きを組み合わせて、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、より表現力豊かにスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗って踊ることができる（カスタネットを奏でながらの演奏・タップダンスを含む）。
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、水曜 4（9/16）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（1）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（2）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムを理解し、体幹の安定感を高める運動をする 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（3）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア連動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：基礎動作を応用へ発展させ、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6 回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに（2）ステップを使って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに(3)バランスを使って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識し、安定した動きと体幹の感覚を向上させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：タップ&カスタネットで軽やかに(1)技術を正確に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽と体を一体化する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(2)ステップを体に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップをマスターし、体にリズムを刻む感覚を身につける 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(3)動きをつないで** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを連結し、滑らかで表現力のある動きをつくる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(4)一連の動きで踊って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きを組み合わせ、全体の流れで踊る楽しさを体感する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽に合わせ、リズム・表現力・体の動きを連動させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを仲間に見せ、フィードバックを受けて表現力を磨く 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：チーム発表・相互評価** 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

ボランティア講義

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

ボランティアに興味はあるが、何をすればいいのかわからない、本当に意味があるのか不安、と感じたことはありませんか。本講義では、身近なボランティアから海外での活動までを題材に、ボランティアの意義を考えます。本講義は正解のボランティアを教える授業ではありません。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、社会とどう関わるかを、自分で考え続けるための視点を身につける授業です。ボランティアとは誰のための行為なのか、善意は本当に相手のためになっているのか、という問いを持ち続けながら学びます。この講義は「国際貢献論」の内容と一部関連・重複する部分があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：ボランティアのあり方と意義、実際にボランティアをする際に自分が考えて行うべき知識・スキルを身につける。

個別目標：1．ボランティアの意義や役割、社会との関係を理解し、説明できる。

2．ボランティアは誰のために何をするのか、社会とどう向き合うべきかを考え、実践を想定しながらボランティアを行う視点を養うことができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1．国内外のボランティアや社会課題に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2．グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3．専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。
原則として5分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：ボランティアとは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、到達目標、評価方法の説明とともに、ボランティアの定義、必要条件、どのような活動があるかについて解説し、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：ボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。課題レポート作成。
2回	**授業テーマ：ボランティアの歴史と社会との関わり** 授業内容：日本におけるボランティアの歴史とボランティアと社会の関わり、大学生としてできるボランティアの活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：ボランティアの歴史について関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：スーパーボランティアについて学ぶ** 授業内容：スーパーボランティア尾畠春夫さんの行動や生き方について解説した後、なぜ人は無償で他者を助けるのか、私たち自身にできる社会への関わり方とは何かについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：尾畠春夫さんについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：援助する前に考えよう** 授業内容：ワークショップを通して、開発途上国でものやお金を送る援助、援助が現地に与える影響等について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティア** 授業内容：阪神・淡路大震災と東日本大震災を契機とした日本におけるボランティア活動の広がりについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティアについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：地方創成・地方活性化のボランティア** 授業内容：地域・地方の現状と課題、地方創生においてボランティアや外部人材が果たす役割について解説した後、支援する側／される側ではなく、地域と共に生きる関係性（共助）の重要性について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：地方創成・地方活性化のボランティアについて関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：国際協力とボランティア** 授業内容：国際協力やボランティアが、現地社会・参加者本人・国際社会にどのような影響を与えるかについて解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8回	**授業テーマ：人の人生・尊厳とボランティア** 授業内容：海外で活動するボランティアの事例から、他者の人生・尊厳と向き合うことの意味を考える。授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：JICA 海外協力隊について** 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：ボランティア・コーディネーション** 授業内容：ワークショップを通してボランティア・コーディネーションの重要性と、「される側から見たボランティア」について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ボランティア・コーディネーションについての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：在日外国人を支援するボランティア** 授業内容：日本にいる外国人を支援するボランティアに関する課題及び支援の必要性と意義について解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：在日外国人の現状についての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：開発途上国でボランティア活動をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション①** 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション②** 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

伊藤　直樹 (いとう　なおき)

▌授業の概要

本講義は、対話し、議論し、発表する授業です。映画や漫画や自分たちで決めたテーマを題材にして、それについてグループでディスカッションし、その結果をプレゼンテーションしたり、文章にしたりします。
受講生は最初は初対面ですが、他学部であっても、だんだんと知り合いになり、テーマをとおしての議論も深まります。
また、他人に向けて問いを発するさいに、水平的にのみ問うのではなく、垂直的に、つまり深掘りし哲学的に問うことにも注意を払います。機を見て哲学的な話題を取りあげます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：対話する力を養うことです。他人の話しを聞き、それに対して自分の考えを話す。そして自分の考え方を相対化し、深めてゆくことです。
そしてそれを文章にする。
個別目標：質問する力をつけることです。人の話を聞くときに、ただ聞くのではなく、質問するつもりで聞く。
そしてその質問を自分にも振り向けます。すると、考え方が深まります。そしてそれを文章にする。それが「考えること」になるのです。
この作業をあるテーマでおこなったり、「映画」でおこなったりします。

▌履修条件

ディスカッションし、対話し、プレゼンテーションすることが授業内容です。言語は日本語を用いますので、それに十分な日本語力があることが条件です。また人前で話すことになりますので、それができることも条件です。ただ、人前で話すのがあまり得意でない人は、この授業をとおして、それを身に付けるというふうに考えてもよいでしょう。

▌評価基準・方法

グループ討議報告レポート 60 %、授業貢献度 40 %です。
レポートは、課題として出されたものの 2 ／ 3 以上を提出しなければ、カウントされません。
「授業貢献度」とは、出席や授業での討論への自発的参加などです。「聞く」だけの受け身的態度では評価は下がってしまいます。
また、4／5以上の出席がないと単位は取れません。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌フィードバック方法

manaba を用いておこないます。
適宜、前回の授業を取り上げて、再び議論をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ討議・発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章は PC での作成を推奨しています。）

▌教科書

教科書として使用しませんが、次の書籍を参考にします。
梶谷真司『考えるとはどういうことか』幻冬舎新書
梶谷真司『書くとはどういうことか』飛鳥新社

▌参考書

関連する書籍、作品などは授業中に紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義内容の説明** 授業内容：講義内容について説明します。単位の取得の条件、授業の展開、心構えなどについての説明です。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：議論することなどについて、自分なりのイメージをつくる。
2回	**授業テーマ：自己紹介と質問ゲーム：自己紹介を質問ゲームを使って行います。** 授業内容：自己紹介を、質問ゲームで行います。紹介者に質問をしますが、よりよい質問のみが、紹介者によって答えられます。どのような質問をすれば、答えてもらえるかを考えながら質問します。 事前学修 2.0hr：自己紹介する内容を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを書く
3回	**授業テーマ：哲学対話についての説明：哲学対話とはどのようなものかを説明します。またレポートの書き方についても説明します。** 授業内容：哲学対話について、紹介ビデオを観ながら説明します。哲学対話のテーマを決めます。 残った時間で、レポートの書き方についても説明します。 事前学修 2.0hr：哲学対話について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：第 1 回「哲学対話」：設定されたテーマについて、みなで議論します。** 授業内容：前回決めた哲学対話のテーマを、問いのかたちにし、それについて議論します。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：議論したテーマについてエッセイ・レポートを書く
5回	**授業テーマ：前回の哲学対話の内容を文章にします。** 授業内容：文章を書くとはどういうことかを説明した上で、前回の哲学対話の内容を文章にする作業をします。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げます。
6回	**授業テーマ：あるテーマについてレポートを作成する** 授業内容：課されたテーマについてレポートを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマについてあらかじめ自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げる
7回	**授業テーマ：映画を観て、議論する　第 1 回：議論の題材となる映画を観ます。** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 第 1 回目は、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画についての自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入

8回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第１回続き：映画の続きを観ます。** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：前回までの映画内容の確認 事後学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく
9回	**授業テーマ：映画を観て、議論する。第１回の続きです。：設定されたテーマについて議論します。** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 事前学修 2.0hr：議論するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
10回	**授業テーマ：ディベート：議論をディベート形式で行います。** 授業内容：ディベートを行います。 ディベートは、予め、賛成／反対の立場を決めたうえで、その立場から議論するものです。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
11回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：映画鑑賞** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 今回も、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画について自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
12回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回続き：前回の映画の続きを観る** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
13回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：設定されたテーマについて議論する** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 すこし時間を残して、次回の哲学対話のテーマを決めます。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポート
14回	**授業テーマ：第２回「哲学対話」：設定されたテーマについてみなで議論します。** 授業内容：決めてあったテーマについて議論をします。 事前学修 2.0hr：あらかじめテーマについて考えておきます 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを書く
15回	**授業テーマ：レポート講評会：前回書いたレポートを発表し、みなで講評します。** 授業内容：前回のテーマについてのレポートをみんなでもちより、講評会をします。 事前学修 2.0hr：前回書いたレポートを発表できるようにしておきます 事後学修 2.0hr：感想シートの提出

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

【対話で学ぶピアサポート】
このゼミナールでは、ピアサポーターに求められる基礎的な関わり方として、傾聴および省察に着目し、対人支援における基本姿勢を学ぶことを目的とします。ピアサポートとは、年齢や立場、経験などにおいて比較的近い立場にある人同士が、対等な関係のもとで互いに支え合う実践を指します。専門職による支援とは異なり、「援助する側／される側」という固定的な役割分担ではなく、相互性や共感、経験の共有を基盤とする点に特徴があります。具体的には、他者の語りを評価や解釈を加えずに受け止めること、自身および相手の感情や経験を振り返り言語化すること、助ける・助けられるという一方向的関係ではなく、相互性を基盤とした関係性として支援を捉えることを学びます。本ゼミでは、こうしたピアサポートの基礎的理解と実践的態度の形成を目指します。ここでは、専門的知識の習得そのものよりも、日常の中にあふれている支援場面における姿勢や関わり方、そして気づきのプロセスを重視します。対話を通して生まれる小さな変化や揺らぎを丁寧に振り返ることを通して、他者とともにある在り方を探究していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：対話的姿勢に基づくピアサポートの理論と実践を統合し、他者との相互性を尊重しながら、大学という場において支え合いを創出できる基礎的な実践力を身につける。
個別目標：・傾聴・リフレクティング・オープンダイアローグの基本姿勢を説明できる。
・感情・身体感覚・内的対話に気づき、それを言語化できる。
・「助ける／助けられる」という一方向的関係ではなく、相互的関係として支援を捉えることができる。
・困難場面においても、不確かさにとどまりながら対話を継続する態度を示せる。
・学内資源や合理的配慮の視点を踏まえ、必要に応じて「つなぐ」判断ができる。
・小規模なピアサポート企画を立案・実践し、そのプロセスを省察できる。

▌履修条件

他者と共に学習し合う雰囲気を工夫できること。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修希望者が多数の場合は、履修動機をもとに受講者を決定します(最大受講人数 15 名程度)。受講を希望する者は、第 1 回の講義に必ず出席してください(初回に人数調整を行います)。なお、本ゼミでは時間外の課外活動への参加が必要となります。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

本科目では、学修の過程と省察を重視し、ラーニングポートフォリオを用いて評価を行う。
各回のリフレクションや最終回の講義での統合的振り返りをもとに、対話を通して形成された学びを総合的に評価する。
あわせて、自己評価および授業への参加状況を評価に含める。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体ダイアローグとコメントにより実施します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　フィールドワーク　ダイアローグ　リフレクティング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

講義内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと学習環境づくり** 授業内容：・このゼミの目的・進め方の共有 ・安心して話すためのルール確認 ・ミニ・リスニング体験(導入) 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、印象に残った言葉を拾う。 事後学修 2.0hr：今日の授業で、安心して話せたもしくは話しにくかった場面を振り返り、感じたことを記述する。
2回	**授業テーマ：「聴く」とは何か** 授業内容：・傾聴の基本 ・「聞く」と「聴く」の違い ・リスニングワーク① 事前学修 2.0hr：「聴いてもらえた」と感じた経験を思い出し、良かった点を整理する。 事後学修 2.0hr：ワークで難しかった点・できた点を整理し、気づきを記述する。
3回	**授業テーマ：大学におけるピアサポート** 授業内容：・大学での実践例 ・専門職支援との違い ・ピアサポートの意義と限界 事前学修 2.0hr：学内で学生同士が支え合っている場面を想像し、知っている点・知らない点を書く。 事後学修 2.0hr：ピアサポートと専門職支援の違い、大学で行う意味を整理する。他大学のピアサポート事例を調べる。
4回	**授業テーマ：感情に注目して聴く** 授業内容：・事実と感情を区別する ・感情・身体感覚への気づき ・リスニングワーク②(感情から期待や要求を明確にする) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。最近の出来事を一つ選び、事実と気持ちを分けて書いてみる。 事後学修 2.0hr：感情から期待や要求を明確にする聴き方を試し、レポートにまとめる。

5回	**授業テーマ：リフレクティング(会話に関する会話)** 授業内容：・内的会話と外的会話 ・話す・聴くを分ける ・リフレクティングワーク 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：リフレクティングの体験をまとめる。
6回	**授業テーマ：当事者性と対等性** 授業内容：・「同じ立場」とは何か ・分かったつもりの危うさとわからないを深める力 ・わかったつもりのダイアローグ 事前学修 2.0hr：「わかる」と言われ違和感の経験を振り返り、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：当事者性のメリット・難しさ、対等な関係について整理する。
7回	**授業テーマ：中間リフレクション** 授業内容：前半の学びを Think-Pair-Share で言語化する。 これまでの学びの整理／変化の振り返り／リフレクティング② リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 6 回の manaba のリフレクションを読み返し、自分の変化を見つける。 事後学修 2.0hr：ピアサポートの基本姿勢や聴き方・関わり方の変化と今後の課題をまとめる。
8回	**授業テーマ：困ったときの対応とつなぎ** 授業内容：・一人で抱え込まない ・相談と連携 ・学内資源の活用 事前学修 2.0hr：困ったとき誰に相談してきたかを振り返る。 事後学修 2.0hr：相談・連携についての気づきをまとめる。
9回	**授業テーマ：支援者のセルフケア** 授業内容：・感情労働とは ・こころのセルフケア(レジリエンスとストレスマネジメント)の理論と実践 ・セルフワークやペアワークで、ストレスマネジメントを体験する。 事前学修 1.5hr：これまでに、こころのセルフケアとして、自分なりにどのようなことをやってきたかを振り返る。 事後学修 2.5hr：こころのセルフケアを 1 週間続けてみる(トライアル)。その結果についてまとめる。
10回	**授業テーマ：２つの問題対処** 授業内容：・2 種類の問題対処力(ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティ)について理解する。 ・ポジティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、セルフワークを通して身に着ける。 ・ネガティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、ダイアローグを通して、考える。 事前学修 1.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティに関する資料を事前に読み、疑問点を明らかにしてくる。 事後学修 2.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティを日常の中で活用し、その事例についてまとめる。
11回	**授業テーマ：オープンダイアローグ** 授業内容：・オープンダイアローグの基本的考え方(概要) ・「答えを出さない」「不確かさにとどまる」姿勢 ・ミニ・ダイアローグ体験(話す人／聴く人／観察者) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：今日の対話で印象に残った「沈黙」や「言葉」を振り返り、オープンダイアローグ的な聴き方についての気づきを記述する。
12回	**授業テーマ：障がいと合理的配慮** 授業内容：・公正な社会(差別や抑圧のない社会)と多様性尊重社会について考える。 ・新しい社会における障害支援やピア・サポートを考える。 事前学修 1.5hr：日本や世界の多様性尊重社会の取り組みや背景について調べてくる。 事後学修 2.5hr：新しい社会における障害支援やピア・サポートに関する考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：ピアサポートを実践する①** 授業内容：・これまでの学びを踏まえ、学内でのピアサポート企画を立案する。 ・目的・対象・方法・ルールを検討する。 ・合理的配慮の視点を含めた参加設計を考える。 ・グループ間でリフレクティングを行い、改善点を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、実践したいテーマを考えてくる。 事後学修 2.0hr：企画の強みと改善点を整理し、次回に向けた目標をまとめる。
14回	**授業テーマ：ピアサポートを実践する②** 授業内容：・ピアサポート企画を実践する。 ・実践後、リフレクティングを行う。 ・対話の中で起きたことを共有し、学びを統合する。 事前学修 2.0hr：自分の役割を確認し、想定される困難を整理する。 事後学修 2.0hr：実践を振り返り、気づきと今後の課題をまとめる。
15回	**授業テーマ：ピアサポート実践のまとめとリフレクション** 授業内容：・実践の中で生じた気づき、関係の変化、困難への対応を共有する。 ・対話的姿勢や相互性の観点から、自身の学びを整理する。 ・今後の学内でのピアサポートの可能性を検討する。 事前学修 1.5hr：実践時の記録やポートフォリオを読み返し、印象に残った場面を整理する。 事後学修 2.5hr：ピアサポート実践を通して得た学びと今後の課題をまとめ、最終レポートとして提出する。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【エンターテイメント文化研究ゼミ～ディズニーの経営学を中心に～】(前学期 月２　/後学期 月２)
このゼミでは、ディズニーの「おもてなし」や「組織のしくみ」に関するテキストを読み解きながら、これからのエンタメ産業や遊びの文化がどう変わっていくのか、テキストのプレゼンや仲間との対話を通じて自分の考えを深めていきます。
「ディズニーについて語りたい」「経営の基本を知りたい」「エンタメビジネスに興味がある」という方の参加をお待ちしています。
重要(人数調整)：初回に 12 名～ 15 名程度の人数調整を行いますので、履修希望者は必ず出席してください。
初回日程：【前学期】4 月 6 日(月 2)／【後学期】9 月 14 日(月 2)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら調査・研究を行い、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。
本ゼミでは、ディズニーを中心としたエンターテイメント文化と、その背景にある経営学およびマネジメントの考え方について学びます。トーク形式の議論を重ねることで、物事を多角的に分析する力を養い、エンターテイメントを社会・経済・文化の視点から捉える広い視野を身につけることを目標とします。
個別目標：① アミューズメント産業およびエンターテイメント産業の現状について、基礎的な知識をもとに説明することができる。
② 米国ディズニーの経営システムを理解し、その考え方を他の分野や事例に応用する視点をもつことができる。
③ 仲間と協働しながらテーマに沿って対話・ディスカッションを行い、その内容を整理してプレゼンテーションすることができる。

▌履修条件

履修者は 12 名～15 名程度。ディズニーが好きな方、エンターテイメント産業の経営に強い興味・関心をもつ方を歓迎します。
履修を希望する学生は、前期は 4 月 6 日(月 2)、後期は 9 月 14 日(月 2)の初回授業に必ず出席してください。
本ゼミは少人数のトークゼミであるため、原則として欠席を避け、継続的に参加しながら、一歩一歩学びを積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

成績評価は、授業への参加姿勢(60 %)、クラス仲間とのコミュニケーション(30 %)、および学修内容の理解や到達度(10 %)を基準とし、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

個人またはグループでの発表を予定しているため、manaba のプロジェクト機能や小テスト機能を活用し、情報や意見の共有を行いながら、授業内容に対するフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」ディズニー・インスティチュート (著) を利用しますが、教員が用意します。

▌参考書

「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」大住 力 (著)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション(人数調整)とミーティング** 授業内容：初回授業では、セレクション(人数調整)およびオリエンテーションを行い、授業内容について確認します。履修希望者が定員(12 名～15 名程度)を超えた場合は、志望動機等を確認したうえで、適正な人数に調整します。 メンバー決定後は、各自の興味・関心について情報交換を行い、今後の授業の進め方やゼミの展開について確認します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：自分の好きな分野の遊び文化の状況をリサーチする。
2回	**授業テーマ：遊びの文化とはなにか？ アミューズメント産業・エンターテイメント産業とはなにか？** 授業内容：「遊びの文化とは何か」「アミューズメント産業およびエンターテイメント産業とは何か」をテーマに、基礎的な概念についてディスカッションを行います。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』を用いた学修を開始します。 事前学修 2.0hr：遊び(Play) の定義について考えてくる。 事後学修 2.0hr：遊びの定義をまとめる。
3回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(1)―ミッキーマウスの誕生―** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、創業者であるウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年– 1966 年)について理解します。本回では、ウォルト・ディズニーの人物像と、ミッキーマウス誕生の背景を中心に取り上げます。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』について、今後の発表分担を決定します。 事前学修 2.0hr：興味のある遊びネタ・話題を調べる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント産業・エンターテイメント産業の広がりをまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
4回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(2)―アニメーションの創造―** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、ディズニーにおけるアニメーション創造の卓越性と、その背景にある発想や価値観について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの実績(作品)について調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの作品を観てくる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
5回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(3)ー混乱の社会における表現ー** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、戦争という時代背景のもとでの表現活動や、社会の混乱の中で示されたウォルト・ディズニーの生き方や思想について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ディズニー社の歴史的展開を調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトが残した格言について調べておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。
6回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(4)ディズニーランドの建設** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、1955 年に開園したディズニーランドの建設過程と、「夢の国」が誕生するまでの構想や挑戦について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトの人となりをまとめておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。

7回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(1)ゲストロジーとゲストとの約束** 授業内容：テキストの内容をもとに、「ゲストロジー」および「ゲストとの約束」という概念について理解を深めます。また、ディズニーリゾートとユニバーサル・スタジオ・ジャパンの強みを比較し、エンターテイメント施設における顧客体験の特徴について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
8回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(2)第一印象** 授業内容：テキストの内容をもとに、「第一印象」の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察を深めます。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
9回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(3)サービスのカスタマイズ** 授業内容：テキストの内容をもとに、「サービスのカスタマイズ」という視点から、ディズニーにおける顧客対応の特徴について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
10回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(4)セットとは** 授業内容：テキストの内容をもとに、「セット」という概念について理解を深め、ディズニーにおける空間演出や体験設計の特徴について考察します。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して理解を深めます。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
11回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(5)効果と五感** 授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーの演出が生み出す「効果」と五感を通した顧客体験について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
12回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(6)ゲストの不満** 授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満やクレームへの対応の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：担当するフィールドワーク研究対象の調査方法・段取りを考えてくる。
13回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(7)不満を解消する** 授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満をどのように解消し、感動体験に変えていくかについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
14回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(8)クオリティ・サービス** 授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーが提供するクオリティの高いサービスについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
15回	**授業テーマ：まとめ：ディズニー社はどこにいくのか？** 授業内容：全体を通じて学んだ内容をまとめます。本回では、ウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年− 1966 年)の功績を振り返るとともに、ディズニー社が今後どのように発展していくのか、またエンターテイメント産業の将来像について考察し、ディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーとディズニー社の歴史・功績についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント＆エンターテイメント産業についてまとめる。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【劇場文化研究ゼミ】ミュージカルを見に行こう！（前学期 火3 /後学期 火3）
本ゼミでは、ミュージカルや 2.5 次元舞台、歌舞伎などの舞台表現を題材に、実際に舞台を鑑賞する体験を通して、東西の劇場文化の特徴や面白さを語り合うクラスです。鑑賞する舞台には、「美女と野獣」「アナと雪の女王」「アラジン」「ミュージカル『SPY × FAMILY』」などがあります。
また、テキスト『2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ』を用いて、順番にプレゼンテーションを行いながら、現代の舞台表現について考えていきます。演劇やミュージカル、舞台芸術・表現に関心のある方を歓迎します。
初回授業では、人数調整（12 名〜15 名程度）を行いますので、前期は 4 月 7 日（火 3）、後期は 9 月 15 日（火 3）に必ず出席してください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、大学で少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら研究し、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。本ゼミでは、実際に舞台を鑑賞する体験を行い、その経験を踏まえながら、テキストやゼミ仲間との議論を通して舞台や表現について語り合います。これにより、西洋と日本の舞台の特徴を理解し、説明できる力を養います。
個別目標：①日本と西洋の舞台表現の歴史を理解し、その特徴を説明できるようにします。
②日本文化と西洋文化の発展の歴史を比較し、概略を整理して述べられるようにします。
③仲間と協力してフィールドワークを行い、その成果を有効にプレゼンテーションできる力を身につけます。

▌履修条件

定員は 12〜15 名程度です。舞台・芸能・ダンスに関心のある方や、経験のある方、そしておしゃべりが大好きな方を歓迎します。
履修を希望する方は、初回授業の人数調整に必ず出席してください。前期は 4 月 7 日（火 3）、後期は 9 月 15 日（火 3）です。本ゼミは少人数で運営するため、原則として欠席せず、一歩一歩学びを積み重ねてまいりましょう。
また、ゼミの中心であるフィールドワーク（観劇活動）には、チケット代などの費用がかかります。大学の活動助成金を申請予定ですが、ある程度の自己負担が必要になることをご承知おきください。

▌評価基準・方法

本ゼミの評価は、授業への参加姿勢（60 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（30 %）、学習達成度（10 %）**を基本の比重として、総合的に行います。

▌フィードバック方法

授業のほか、授業外で観劇活動をしていただきますので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ (星海社新書) （教員が用意します）

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション（人数調整）とガイダンス** 授業内容：授業の目的・進め方を確認します。履修希望者が多い場合は志望動機を確認し、ディスカッションに適正な人数への選抜を行います。メンバー決定後、自己紹介および鑑賞希望作品についての意見交換を行います。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読し、本授業の目的を理解しておく。 事後学修 2.0hr：今期鑑賞可能な舞台情報を収集し、候補を絞り込む。
2回	**授業テーマ：舞台の魅力の探求** 授業内容：舞台芸術にはどのような種類があるのか？ その魅力とは何かをディスカッションします。各自、鑑賞候補作品をリストアップし、スケジュールを確認します。 事前学修 2.0hr：興味のある舞台ジャンルについて、最新の上演スケジュールを調べる。 事後学修 2.0hr：鑑賞候補作品の上演期間・場所・チケット代金を具体的に確認する
3回	**授業テーマ：身体・思想・メッセージ：西洋と日本の比較** 授業内容：日本と西洋の舞台における表現技法や思想の違いについてディスカッションします。テキスト『2.5 次元舞台へようこそ』を配布し、今後の輪読計画を立てます。 事前学修 2.0hr：伝統芸能（歌舞伎等）と現代演劇（ミュージカル等）の表現の違いを調べておく。 事後学修 2.0hr：鑑賞作品を決定し、チケットの手配を開始する。
4回	**授業テーマ：ミュージカルと 2.5 次元舞台の表現構造** 授業内容：ミュージカルの三要素（歌・ダンス・演劇）の特徴と、2.5 次元舞台が何を表現しようとしているのかを考察します。テキストの発表担当を決定します。 事前学修 2.0hr：自身の鑑賞予定作品のあらすじを確認する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
5回	**授業テーマ：2.5 次元舞台の定義と現状** 授業内容：テキスト「第 1 章 2.5 次元舞台とは」の発表とディスカッション。現代のエンターテインメントにおける 2.5 次元の位置づけを考えます。※鑑賞済みの学生は随時報告を開始 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 章を読み、疑問点を抽出する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
6回	**授業テーマ：テニスの王子様：ムーブメントの原点** 授業内容：テキスト「第 2 章 すべてはミュージカル『テニスの王子様』から始まった」の発表とディスカッション。鑑賞作品の具体的な見どころを整理します。 事前学修 2.0hr：第 2 章の精読、発表資料の作成。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
7回	**授業テーマ：宝塚歌劇と 2.5 次元のミッシングリンク** 授業内容：古典としての歌舞伎の要素を孕みつつ、少女漫画を舞台化した宝塚の影響を考察。テキスト「第 3 章 2.5 次元舞台誕生前夜」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：宝塚歌劇団の歴史について概要を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。

8回	**授業テーマ：舞台表現の革命：弱虫ペダルの衝撃** 授業内容：自転車を使わずに自転車レースを表現した手法など、2.5 次元特有の演出を考察。テキスト「第 4 章 劇場から飛び出した舞台『弱虫ペダル』の誕生」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：歌舞伎や 2.5 次元舞台における「見立て」の技法を調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
9回	**授業テーマ：舞台を支える役者たちの身体性** 授業内容：前半戦の振り返りと個人活動状況の確認。テキスト「第 5 章 2.5 次元舞台の可能性を信じる役者たち」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：注目の舞台俳優やそのトレーニング方法について調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
10回	**授業テーマ：観客が作る舞台空間** 授業内容：舞台と観客の関係性について。テキスト「第 6 章 2.5 次元舞台を観てみませんか」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：舞台批評やファンの感想ブログなどを読み、観客の反応を分析する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
11回	**授業テーマ：刀剣乱舞：メディアミックスの極致** 授業内容：ゲームから舞台、そして社会現象へ。テキスト「第 7 章 『刀剣乱舞』という全方位のコンテンツ」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：メディアミックス戦略の成功事例を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
12回	**授業テーマ：受け手の視点と愛の形** 授業内容：舞台を愛するファンの心理と消費行動について。テキスト「第 8 章 2.5 次元舞台を愛する受け手の視点」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：推し活やファンコミュニティのあり方について考える。 事後学修 2.0hr：最終レポートの完成度を高める。
13回	**授業テーマ：和魂洋才の舞台構造：西洋と日本の融合** 授業内容：鑑賞活動とテキストの学びを総括し、日本独自の舞台表現の構造についてディスカッションします。 事前学修 2.0hr：西洋演劇と日本演劇の構造的特徴を比較検討する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの内容を反映し、レポートを最終化する。
14回	**授業テーマ：未来の舞台芸術：トレンドの予測** 授業内容：現代の観客が求めているテーマとは何か？ 今後の舞台芸術のトレンドについてメンバーで予測・討論します 事前学修 2.0hr：近年のヒット作に共通する要素を抽出しておく。 事後学修 2.0hr：自身の「理想の舞台」についての意見をまとめておく。
15回	**授業テーマ：デジタル社会と生のパフォーマンス** 授業内容：コロナ禍を経て進化したネット配信と、劇場での生の体験の価値。今後の舞台芸術の発展可能性についてまとめます。 事前学修 2.0hr：14 回までの学習内容全体を振り返る。 事後学修 2.0hr：本講義全体を通した自己評価を行う。

ボランティア活動 A

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国内における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 4 点の条件をすべて充たすこと。

1　ボランティア講習会（理論編・実践編）の受講
2　学外施設・団体等における 60 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア講習会(理論編)** 授業内容：ボランティアの理論を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアとは何かを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
2回	**授業テーマ：ボランティア講習会(実践編)** 授業内容：ボランティアの実践を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアの心構えやマナーを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
3回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

ボランティア活動 B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国外における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 5 点の条件をすべて充たすこと。

1　国際ボランティア団体主催の事前オリエンテーション等への参加
2　事前・事後学修を含み総活動時間 90 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　国際ボランティア団体が発行したプログラム修了証明書の提出
5　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
2回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
3回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑫** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑬** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

日本の歴史

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野田　有紀子（のだ　ゆきこ）

▌授業の概要

高校まで「歴史」の授業を受けてきた皆さんは、「歴史」というと昔の年号や用語の “暗記” ばかりの学問という印象を持っているかもしれませんが、実は「歴史」という学問は、歴史上の出来事や人物や物品を通して、現代までの流れを “考える” ための学問です。また、日本の歴史を考えるためには、日本のことだけでなく、日本と海外との “交流” や “比較” という視点も重要です。この講義では日本の歴史、とくに古代 (飛鳥時代・奈良時代・平安時代) のなかで、皆さんが身近に感じられるようないくつかの具体的テーマをとりあげて、国内外の文献や絵画、地図や系図、遺跡や文化財の写真など、さまざまな歴史資料を用いて、多角的・視覚的に解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：日本の歴史に関するさまざまな資料を観察し、その背景を知ることにより、現代の日本の姿は、過去の歴史の流れの上に形成されてきたものであることを理解できるようにしましょう。また、海外との交流や、外国人からの視点、日本と海外との比較といった、国際的な観点からも日本を見る姿勢を養いましょう。

個別目標：①日本の歴史を理解するために、さまざまな歴史資料を観察して、その背景や価値を理解できるようになる。
②日本と海外との交流や比較といった国際的視野を身につけられる。

▌履修条件

特にありませんが、日本の歴史や文化に興味をもって授業にのぞんでください。

▌評価基準・方法

定期試験は実施しません。
毎回、授業中～後に manaba から事後課題(小テスト)を提出してもらうことによって、内容理解を確認します。
全 15 回分の事後課題(小テスト)の提出率・合計点、授業への参加姿勢を合わせて、総合的に評価します(100 %)。
＊原則として、5 分の 4 以上の出席を評価対象とします。
＊授業を欠席した場合でも、事後課題(小テスト)は必ず提出してください。
＊欠席した場合は、事後課題(小テスト)に加え、manaba から【欠席者★追加課題】を提出してください。出席扱いとします。(公欠の場合をのぞく)

▌フィードバック方法

事後課題(小テスト)のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。
＊質問などがあれば、manaba から連絡してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。
＊毎回の授業前に、manaba を通じて資料 pdf を配布しますので、各自ダウンロードして予習してください。

▌参考書

特に指定しません。
(ある場合は授業ごとに紹介します)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：《はじめに》文化財の基礎知識①文化財保護法～「保存」と「活用」** 授業内容：この講義では、「日本の歴史」を学習する上で「国宝」や「史跡」といった、文化財をたくさん紹介します。そこで第 1 回目の今回は、文化財の基礎知識として、①「文化財保護法」の目的、②文化財の分類のうち「有形文化財」(国宝など)について、③博物館の機能について学びます。 事前学修 2.0hr：興味のある文化財の内容について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
2回	**授業テーマ：文化財の基礎知識②「記念物」～飛鳥の「史跡」めぐり** 授業内容：前半は、「文化財保護法」での分類のうち「記念物」(史跡など)について説明します。後半では、飛鳥時代(592～710)に宮都が置かれた「飛鳥」(奈良県明日香村)の史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代のおもな舞台となった奈良県明日香村の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
3回	**授業テーマ：古代の遷都～大和朝廷から律令国家へ〔古墳時代～飛鳥時代〕** 授業内容：古墳時代の「歴代遷宮」から、飛鳥時代の藤原京(694 年遷都)まで、古代の都の史跡をたどりながら、律令国家が形成されていく過程について学びます。 事前学修 2.0hr：古墳時代から飛鳥時代までの遷都や歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
4回	**授業テーマ：平城京遷都～正倉院の世界〔奈良時代〕** 授業内容：日本古代の「遷都」は、「律令国家の形成」と深い関係があります。今回は奈良の都「平城京」(710 年遷都)の史跡めぐりと、遷都の理由、さらに今日まで伝わる正倉院宝物の歴史について学びます。 事前学修 2.0hr：平城京への遷都や律令・戸籍の施行など、奈良時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
5回	**授業テーマ：平安京遷都～千年の都〔平安時代〕** 授業内容：いよいよ平安京に到着です!!まず平安京へ遷都(794 年)した過程と理由について学習します。さらに、平安宮跡が現在どのように保存されているか確認しながら、史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：平安京への遷都や、京都の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
6回	**授業テーマ：〈計画都市〉平安京～「かたち」と「くらし」〔平安時代〕** 授業内容：〈計画都市〉として建設された「平安京」が、遷都後しだいに、かたちを変えていった過程と理由について学びます。さらに、平安京での都市民のくらしをさぐりましょう。 事前学修 2.0hr：平安時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
7回	**授業テーマ：日本古代の風習と唐風化〔弥生時代～平安時代初期〕** 授業内容：『魏志倭人伝』や、人物埴輪に見える日本古代の風習が、律令国家の形成とともに、どのように「唐風化」していったかを学びます。 事前学修 2.0hr：魏志倭人伝の内容や、遣隋使・遣唐使の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

8回	**授業テーマ：唐風文化から国風文化へ〜「ひらがな」と「十二単」の誕生〔平安時代中期〕** 授業内容：９世紀までの唐風文化が、１０世紀から国風文化(かな文字・かな文学、十二単などの衣装)に発展していった過程を学習します。 事前学修 2.0hr：かな文字・かな文学、十二単などの衣装に代表される、平安時代の国風文化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
9回	**授業テーマ：天皇と貴族「藤原氏」〜中臣鎌足から藤原道長まで〔飛鳥時代〜平安時代中期〕** 授業内容：今回と次回は、平安貴族社会における「天皇と貴族との関係」がテーマです。今回の前半は、「貴族」とは何かを説明します。後半では、貴族のなかで「藤原氏」(北家本流)が、天皇との関わりのなかで、どうやって貴族のトップを独占するようになったかを、中臣鎌足の「藤原氏の誕生」から、藤原道長の「全盛期」までの軌跡をたどって学びます。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代から摂関期までの政治の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
10回	**授業テーマ：古代の専門職〜貴族社会をどう生きるか〔平安時代中期〕** 授業内容：貴族社会において、藤原氏北家本流以外の氏族がどうやって生き残っていったかを、①地方に土着 (武士化・武士団) コース、②専門職を世襲コース、③権力者に奉仕コースに分けて学習します。 事前学修 2.0hr：陰陽師や武士など、平安時代のさまざまな職業について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
11回	**授業テーマ：日本古代の子ども〜誕生から成人まで〔平安時代中期〕** 授業内容：現代日本で行われている「誕生〜成人までの通過儀礼」は、平安時代(９世紀)から記録されています。今回は平安貴族家庭の、結婚儀礼と、誕生から成人までの通過儀礼を学習し、今日行われている結婚儀礼・通過儀礼とのつながりを学びましょう。 事前学修 2.0hr：子どもの誕生や成長に関する儀礼について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
12回	**授業テーマ：平安貴族女性の教育と仕事〜「女房」と「斎王」〔平安時代中期〕** 授業内容：まず平安貴族家庭の男子と女子の教育の違いについて説明します。つぎに、貴族女性の仕事をテーマに、皇族・貴族に仕える侍女「女房」と、伊勢神宮の巫女「斎王」について習びましょう。 事前学修 2.0hr：紫式部や清少納言といった平安時代の女性について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
13回	**授業テーマ：欧米から見た日本①日本情報の報告〔鎌倉時代〜江戸時代〕** 授業内容：今回と次回は、これまで学んできた古代の「唐風化」と比較するため、近代の「欧米化」について学習します。今回は中世〜近世の日本情報を、欧米人がどのように記録・報告したかを学びましょう。 事前学修 2.0hr：宣教師の来日や、江戸時代の鎖国と出島について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
14回	**授業テーマ：欧米から見た日本②文明開化と欧米化〔江戸時代末期〜明治時代初期〕** 授業内容：１９世紀後半(江戸時代末期〜明治時代初期)、訪日した欧米人が見た日本の風習と、明治政府による風習の欧米化政策を学びましょう。 事前学修 2.0hr：明治時代の文明開化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
15回	**授業テーマ：《おわりに》海外に流出した日本文化財〔明治時代〜現代〕** 授業内容：１９世紀後半以降、日本の文化財が軽視・廃棄され、海外に流出した背景と、それを防ぐための文化財保護の法律や政策について学習します。 事前学修 2.0hr：文化財保護の法律や制度について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

国際関係論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

東　夢子（あずま　ゆめこ）

▌授業の概要

この授業の目的は多極化する世界に移行し、不確実性を増しつつある今日において、日本をめぐる国際関係を考え、日本の重要性を認識し、明日の国際関係を洞察する力を養うことにある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：今まで日本にとって、一番重要な国際関係ー日米関係、日英関係、日露関係、日韓関係、日中関係、日本と東南アジアの関係などを顧みることによって、先人の英知を学び、危機の状況下における物事の見方、考え方を身に付けることができる。

個別目標：未来の国際社会で活躍する時に必要な先見性、合理性、国際関係に対する分析力を身に付けるということを目標とする。

▌履修条件

学習する意欲のある者。自己学習の習慣を有する者。特に自分で調べることがレポート作成の上で重要なので、自己学習能力が是非とも必要である。

▌評価基準・方法

①期末テストの代わりに、毎回のレポート 50 %、レポートに必要な予備知識のアンケート 10 %と授業への参加 (DVD をきちんと見て、レスポンに感想を書く）40%等で総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

②レポートの提出が 12 回以上でなければ、不合格となる。

③毎回のレポートに字数の規定(毎回、3 問の課題があり、1 問は大体 300 文字～400 文字)があり、極端に字数が少ない場合、評価不能とされることがあるので、ご注意ください。

④レポートの提出と質問へのフィードバックは manaba を経由する。

▌フィードバック方法

授業中で説明します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

岩下哲典著『近現代日本の国際関係』北樹出版 ISBN978-4-7793-0285-5 C3021

▌参考書

1、國史大辭典 /国史大辞典編集委員会編出版 東京：吉川弘文館 , 1979.3-1997.4

2、教科書の参考文献及び各授業中で流す DVD の内容に沿う学術論文と著作。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：江戸幕府の政治構造と授業スタイルについての説明。 事前学修 2.0hr：1820 年代から 1950 年までの日本をめぐる大事件について簡単に調べる。 事後学修 2.0hr：授業中で指示された歴史用語について調べる。
2回	**授業テーマ：日本とオランダの関係＝シーボルトと日本開国** 授業内容：シーボルトと日本開国 事前学修 2.0hr：シーボルトについて「國史大辭典」などで調べる。 事後学修 2.0hr：シーボルトの伝記を読む。
3回	**授業テーマ：日米関係(日米和親条約)** 授業内容：ペリー来航幕府が知っていた。 事前学修 2.0hr：ペリー来航前後の日本をめぐる世界情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：老中阿部正弘について調べる。
4回	**授業テーマ：日米関係** 授業内容：(日米修好通商条約)＝通商か亡国か 。ハリスと幕府交渉の過程。 事前学修 2.0hr：ハリスについて調べる。 事後学修 2.0hr：安政の五か国条約について調べる。
5回	**授業テーマ：慶喜大政奉還ー松平春嶽の構想** 授業内容：立憲思想の日本に芽生える過程。 事前学修 2.0hr：松平春嶽と徳川慶喜について調べる。 事後学修 2.0hr：日本立憲制度導入の思想的な基盤と過程について調べる。
6回	**授業テーマ：外交立国いまだ死なず** 授業内容：函館政権と国際関係法 事前学修 2.0hr：榎本武揚について調べる。 事後学修 2.0hr：明治新政府と列強との関係について調べる。
7回	**授業テーマ：大久保利通暗殺の悲劇** 授業内容：廃藩置県と武士の反乱とその背景。 事前学修 2.0hr：大久保利通と明治新政府の課題について調べる。 事後学修 2.0hr：征韓論について調べる。
8回	**授業テーマ：銀行は人々のために 。** 授業内容：日本における銀行誕生の経緯 事前学修 2.0hr：渋沢栄一について調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代経済について調べる。
9回	**授業テーマ：日露関係と日英関係** 授業内容：日清戦争と日露戦争の背景 事前学修 2.0hr：日清戦争について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の国際情勢と日韓関係について調べる。
10回	**授業テーマ：日中関係** 授業内容：満州事変及び日中戦争 事前学修 2.0hr：三国干渉について調べる。 事後学修 2.0hr：満州建国と日中戦争について調べる。

11回	**授業テーマ：日独関係** 授業内容：三国同盟の締結と当時の国際情勢 事前学修 2.0hr：松岡洋右と当時の国際情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の日独関係と日米関係について調べる。
12回	**授業テーマ：日米関係 ＝日米開戦を回避せよ** 授業内容：日米開戦前夜の国際情勢 事前学修 2.0hr：南進論について調べる。 事後学修 2.0hr：チャーチル及び蒋介石について調べる。
13回	**授業テーマ：日米関係＝ 現在日米関係の原点** 授業内容：マッカーサーと天皇との会見 事前学修 2.0hr：サンフランシスコ講和条約などについて調べる。 事後学修 2.0hr：戦後の占領政策とマッカーサーについて調べる。
14回	**授業テーマ：海上自衛隊はこうして生まれた。** 授業内容：海上自衛隊と戦前海軍 事前学修 2.0hr：日米安保条約の流れについて調べる。 事後学修 2.0hr：自衛隊の誕生と日本の軍事力について調べる。
15回	**授業テーマ：原爆の絵** 授業内容：原爆の投下について考える 事前学修 2.0hr：1 回目～14 回目のレポートを紙で再提出する。 事後学修 2.0hr：戦争と原爆についての感想を書く。

国際貢献論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

国際貢献や国際協力について、日本が開発途上国を支援する政府開発援助 (ODA) や NGO、民間団体が行う支援、持続可能な開発目標 (SDGs) など様々な観点から考えます。国際貢献を知るだけでなく、支援を選び、考え、説明する力を身につけることを目指します。また、善意だけでなく、なぜその支援が必要かを論理的に考える視点を養います。本講義は、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、国際貢献や国際協力についての理解を向上させます。なお、この授業は「ボランティア講義」の内容と一部関連・重複する部分があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：開発途上国をはじめとする地球規模の問題と国際貢献の意義を理解し、国際貢献を実際に行うための知識・スキルを身につける。

個別目標：1．国際社会がどのような国際貢献や国際協力を行っているか説明できる。
2．開発途上国の課題に対して 適切な支援方法を考えられる。
グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1. 国際貢献や国際協力に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2. グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3. 将来、国際的な仕事に興味がある人はもちろん国際貢献を自分の言葉で考えられるようになりたい人にもおすすめです。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション:国際協力とは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、国際貢献と国際協力について解説する。授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本の国際協力** 授業内容：日本が国際機関や他国から受けた援助と日本が行っている政府開発援助 (ODA) について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界の状況を知る** 授業内容：グループワークにより、世界がどのように変化しているか理解する。また、国際社会の取り組みと成果を知り「持続可能」の意味を考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：近年の国際会議と国際社会の取り組みについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：「地球にやさしい」とは？** 授業内容：グループワークにより、私たちが日常的に使っている製品が、世界のどこで・誰の暮らしとつながっているかを考え、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：持続可能な開発目標 (SDGs) について** 授業内容：持続可能な開発目標 (SDGs) の内容、特徴、目標、企業の SDGs の取り組み等について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：SDGs について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：気候変動** 授業内容：グループワークにより、気候変動によって影響を受けている人々について知り、その立場を想像して自分事として捉える。私たちの生活とのつながりや自分に何ができるか考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：気候変動について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：人道援助** 授業内容：人道援助の人道・公平・中立・独立という原則の意味と国際緊急援助隊（JDR）と NGO の特徴を具体例から解説し、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：人道援助について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8回	**授業テーマ：NGO** 授業内容：日本及び海外の国際 NGO がどのような活動を行っているか、また NGO がどのように国際社会に貢献しているか具体例を示して解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：NGO の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習、レポート作成。

9回	**授業テーマ：JICA 海外協力隊について** 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：フェアトレードについて** 授業内容：フェアトレードとはどのようなものかと意義、認証ラベル、普及状況、今後のフェアトレードの方向性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：フェアトレードについての関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：一村一品運動の世界への広がり** 授業内容：大分県発祥である一村一品運動に関する世界への広がりについて、キルギス一村一品プロジェクトについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：キルギスと一村一品運動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：プロジェクト選定の視点/開発途上国と私たちのつながり** 授業内容：開発プロジェクトの種類や選定の手法を習得し、開発プロジェクトをどのような視点で選ぶべきかを整理する。また、開発途上国の子どもと私たちの生活のつながりについて意見交換し、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発プロジェクトについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：開発途上国で技術協力をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

民族と宗教

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岩田　成就（いわた　しげなり）

▌授業の概要

「我々はどこから来たか？　我々は何者か？　我々はどこへ行くのか？」　このような問いに、現代の科学は必ずしも答えてはくれません。しかし、科学的知識をどう用い、この世界でどう生きていくかは、この問いにどう答えるかにかかっています。もし、この問いに答える営みを「宗教」ないしは「宗教性」と呼ぶなら、どのような「宗教」「宗教性」をもつかによって、現代の世界で私たちが出会うさまざまな取り組みは、大きな影響をうけるのではないでしょうか。科学技術の革新が飛躍的に進むこれからの社会で、生きる意味を問い、深みを持った生活を送るために、「宗教」について知り、「宗教性」への感受性を身につけていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：自分の生まれ育った文化やその基盤となる宗教について意識し、自覚的にとらえなおすこと。以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、自分自身を理解すること。

個別目標：「宗教」についての偏見を取り除き、「宗教」がどんな人間にも関わりのある普遍的な営みであることを理解すること。世界の主要宗教（仏教、キリスト教、イスラム教など）や日本人の宗教性についての基本的な理解を持ち、信仰をもつ人の気持ちを理解できるようになること。今日の社会における宗教をめぐる様々な問題について理解し、自分の意見を述べることできるようになること。自分以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、人間の宗教性一般について理解し、自らの宗教性について自覚的になること。

▌履修条件

とくにありませんが、上記のような問いを考えたことがある人、宗教や宗教が関わる問題に関心がある人、世界の歴史や世界の現在の情勢に関心のある人に受講していただきたいと思います。

▌評価基準・方法

期授業への積極的な取り組み（リアペ、コメント、質問など）（40%）、および最終授業日に行う試験（60 %）により評価する。

▌フィードバック方法

授業内容へのコメント、質問などをリアクションペーパー、コメントとして提出してもらい次の授業で回答したり、必要に応じて簡単な課題を出したりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で配布するプリントが教科書のかわりとなる。

▌参考書

授業で多くの文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：世界の文明と宗教** 授業内容：オリエンテーション／宗教復興説／宗教衰退説／宗教変容説 事前学修 2.0hr：[宗教」という言葉で自分が何を思い浮かべているか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえ
2回	**授業テーマ：日本人の宗教性** 授業内容：日本人は「無宗教」か／創唱宗教と自然宗教／神様と仏様（神仏習合） 事前学修 2.0hr：「初詣」に行ったことのある人は、それが「宗教」かどうかを考えておくといよい。行ったことのない人は、「墓参り」「お祭り」「クリスマス」などについてでもよい。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
3回	**授業テーマ：ヒンドゥー教** 授業内容：インド宗教史／ヒンドゥー教の神々／世界観と教え／生活規範／ショナリズム 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、古代インドの歴史を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
4回	**授業テーマ：仏教①** 授業内容：釈迦の生涯と教え 事前学修 2.0hr：自分の苦しみの原因は何か？ 考えておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
5回	**授業テーマ：仏教②** 授業内容：大乗仏教と密教 事前学修 2.0hr：「仏」と「菩薩」の違い、「成仏」と「往生」の違いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
6回	**授業テーマ：仏教③** 授業内容：日本の仏教（国家仏教／鎌倉新仏教／江戸国家仏教） 事前学修 2.0hr：家の人に聞くなどして、自分の家の宗教が何かを調べ、自分がそれを受け継いでいくかどうかについて考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
7回	**授業テーマ：儒教と道教** 授業内容：中国人の死生観／儒教／道教／共産主義 事前学修 2.0hr：身の回りのもの、考え方、習慣などの中に、中国由来のものがないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
8回	**授業テーマ：神道** 授業内容：神道の原型／神話の原型／神道の教え／神仏習合／様々な神道 事前学修 2.0hr：近くにある神社にどんな神さが祀られており、どんな由来のある神社かを調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
9回	**授業テーマ：ユダヤ教** 授業内容：「ユダヤ人」の歴史／ユダヤ教の聖典（TNK）と「旧約聖書」／ユダヤ教の教え 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で古代オリエントや古代イスラエルの歴史について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる

10回	**授業テーマ：キリスト教①** 授業内容：イエスの教えとキリスト教信仰 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で古代ローマ帝国やキリスト教の発生などについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
11回	**授業テーマ：キリスト教②** 授業内容：キリスト教の歴史(カトリック、オーソドックス、プロテスタント) 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で「宗教改革」について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
12回	**授業テーマ：イスラム教①** 授業内容：ムハンマドの生涯／「イスラム世界」の展開／「イスラム世界」の現状 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、イスラム世界のはじまりついて確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
13回	**授業テーマ：イスラム教②** 授業内容：イスラムの教えと規範 事前学修 2.0hr：ムスリム(イスラム教徒)の人たちの生活や習慣について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
14回	**授業テーマ：宗教過激主義と現代社会** 授業内容：「オウム真理教」と「イスラム過激主義」 事前学修 2.0hr：「地下鉄サリン事件」(1995 年)や「9.11 同時多発テロ事件」について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：授業内容への把握を問う試験を行う。 事前学修 2.0hr：プリントやノートを読み返し、授業内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：授業全体をふりかえる

異文化コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岡田　麻唯（おかだ　まい）

▌授業の概要

異文化コミュニケーションの概念や理論を学び、理解する。それらを用いて、日常の出来事から異文化コミュニケーションについて考え、異なる文化背景の人々と、より良いコミュニケーションをするにはどうしたらよいかを考える。本クラスでは、講義だけでなく、個人ワーク、ペアワーク、グループワークを通して、学びを深めていくため、積極的な参加が求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：異文化コミュニケーションの基礎概念を理解する

個別目標：①自己の価値観や考え方、コミュニケーションの取り方を理解し、異なる他者の世界を理解することができる
②社会的課題や身近な人間関係を振り返り、異文化コミュニケーションの理論を用いて分析できる

▌履修条件

①授業は毎回受講し、授業の終わりに振り返りシートを提出すること。
②授業中のペアワーク、グループワーク等に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

グループワークの貢献度(20%)、理解度チェッククイズ(20%)、グループプロジェクト課題(40%)、レポート(20 %)
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba、または授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （回によってペアワークおよびグループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループプロジェクト準備に利用。毎回の振り返りシートは、Google form 使用のため、PC もしくは携帯から記入、提出すること。）

▌教科書

特定の教科書はありません。必要資料は授業で配布します。

▌参考書

授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスの内容について説明する。学生同士の自己紹介と異文化コミュニケーションのケーススタディについて話し合う。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの定義と特徴について学ぶ。異文化コミュニケーションとは何か知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：文化とは何か** 授業内容：文化の定義と特徴について学び、日本文化の特徴について考える。文化とコミュニケーションの関係について知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：自己とアイデンティティ、理解度チェッククイズ①** 授業内容：自己の価値観や物の見方に影響を受けた文化について、ペアワークで振り返る。社会的アイデンティティとは何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション①** 授業内容：非言語コミュニケーションとは何か。表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション②** 授業内容：表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル①　コンテクスト** 授業内容：ハイコンテクスト文化とローコンテクスト文化について知識を深め、コンテクストとコミュニケーションの関係性を理解する。中間課題を提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル②　３つのスタイル** 授業内容：アグレッシブ・パッシブ・アサーティブのコミュニケーション・スタイルの事例を学び、自己のコミュニケーション・スタイルの傾向を分析する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：カルチャーショックと異文化適応、理解度チェックのクイズ②** 授業内容：カルチャーショックとは何か、その特徴と対処法について知識を深める。異文化適応プロセスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル①** 授業内容：異文化センシティビティモデルについて学ぶ。自文化優越主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル②** 授業内容：異文化センシティビティモデルの文化相対主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備①** 授業内容：グループに分かれて、プロジェクトの話しあいと資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備②** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備③、プロジェクト提出** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめて、授業内に提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：グループプロジェクトの振り返りレポート提出、異文化コミュニケーション・スキル(まとめ)** 授業内容：グループプロジェクトの自己評価と他者評価のレポート提出を行う。これまでの学びから、異文化コミュニケーションに必要な能力とは何か、また日常の人間関係において、それをどのように活かせるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語と日本文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

宮崎駿（ジブリ）のアニメーションは、日本の文学と日本文化の背景を学べる宝庫です。アニメーションに引用されている「ダイダラボッチ」「笠地蔵」「猿蟹合戦」などの神話伝説や昔話を、リスニングとリーディングの力を育てることも意識しながら、学んでいきます。また、昔話や神話を読み解くことが、明治時代の日本になぜ民俗学として必要とされたのか、その後の高度経済成長期には、民俗学はどのように消費されていくのか。古来の画像をもとに水木しげるが作り出した妖怪のビジュアルや、神々が零落したものが妖怪だとする柳田國男の理解を通して、日本文化のありようも学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：柳田國男という日本を代表する民俗学者の仕事を、ひとつの日本文化の生成のあり方として捉え、世界各国との交流が日本の伝統文化の再発見につながったことを知る。

個別目標：妖怪とは何か、幽霊との違いを、日本文化のありようとして説明できるようになる。
また、日本の文学・文化を学びつつ、日本の古典や昔話・神話を読むことができるようになる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

同じ高度経済成長期の日本の文化を扱うので、「日本語と日本文化Ｂ（留）」とセットで受講することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業内リアクションペーパー 40%と、期末テスト 60%で総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに（作業のためのガイダンス）** 授業内容：授業のガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：高度経済成長期の妖怪** 授業内容：日本の高度経済成長期の文化を学ぶ、というのがこの授業の目的なので、高度経済成長とは何かの説明、そして、そこに妖怪がどうかかわるのかを学ぶ。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：授業をふまえて、プリントをもう一度読み直す。
3回	**授業テーマ：水木しげると日本の妖怪** 授業内容：日本の妖怪研究の第一人者であり、妖怪というものに、私たちがよくしっているビジュアルを与えたのが、水木しげるなので、DVD をもとに、日本にはどういう妖怪がいるのか学ぶ。自分の国にいる妖怪とくらべながら、学んでもらう。 事前学修 1.0hr：自国の妖怪についてピックアップしてくる。 事後学修 3.0hr：プリントで妖怪のなりたちと時代背景を復習する。
4回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(1)日本の高度経済成長で消えていく妖怪たち** 授業内容：日本の高度経済成長が、このアニメーションにどう反映しているのかを考えながら、高度経済成長で消えかかっている妖怪が、このアニメーションにでてくる意味について考える。 事前学修 1.0hr：妖怪とは何かを考えてくる。 事後学修 3.0hr：妖怪の民俗学的定義を踏まえて、トトロやマックロクロスケを理解する。
5回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(2)柳田國男の『妖怪談義』** 授業内容：柳田國男による妖怪の学術的定義と、アニメーションに描かれている妖怪を比べてみる。柳田が定義したことを、しっかり守って、アニメーションが作られていることがわかる。「妖怪」と「幽霊」の違いは何かについても考える。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：「妖怪」と「幽霊」の違いを理解し、柳田民俗学が映画にどう反映されているかまとめる。
6回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(3)「笠地蔵」「猿蟹合戦」と、中尾佐助の照葉樹林文化論** 授業内容：『となりのトトロ』には「笠地蔵」「猿蟹合戦」の２つの昔話が引用されています。私自身の研究ももとにしながら、昔話をまず読んで学び、そのうえで、アニメーションにそれらがどう生かされているのかを考える。 事前学修 1.0hr：自国の昔話を思い出してくる。 事後学修 3.0hr：アジア文化（照葉樹林文化）の中で昔話の話型を理解する。
7回	**授業テーマ：柳田國男と民俗学、授業の中間まとめ** 授業内容：中間まとめ。manaba による理解テスト (練習問題) なども取り入れる。※テスト実施回は授業進度の都合で、ずれることがある。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習してくる。 事後学修 2.0hr：文明開化と民俗学の発展について、また、同じ話でも語り手によって異なる「語りの自由領域」について、理解する。
8回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(1)『古事記』** 授業内容：『もののけ姫』のなかに出てくる大和王権と蝦夷の関係について、『古事記』の漫画と現代語訳をプリントで読みながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『古事記』の現代語訳を読んでくる。 事後学修 2.0hr：日本の昔話や神話のルーツを理解する。
9回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(2)「花咲爺さん」** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている昔話「花咲爺さん」を読む。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『もののけ姫』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：「花咲爺さん」の話が製鉄民の民話であることを理解する。

10回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(3)ダイダラボッチ** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている「ダイダラボッチ」の伝説について、プリントを読み、日本の土地のなりたちと、ダイダラボッチの関係、製鉄をおこなっている土地 (タタラ場) とダイダラボッチの関係について、考える。 事前学修 1.0hr：巨人伝説について調べてくる。 事後学修 3.0hr：日本各地でダイダラボッチの語られ方が違うことを理解する。
11回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(4)リスニングとまとめ** 授業内容：『もののけ姫』を民俗学から読み解くまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 1.0hr：リスニングの予習。 事後学修 3.0hr：リスニングの復習。
12回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(1)バブル崩壊** 授業内容：バブル崩壊について、アニメーションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『千と千尋の神隠し』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：物語の背景となるバブル崩壊について理解する。
13回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(2)神々の零落と、日本の神話** 授業内容：テーマパーク建設のために埋め立てられたり、信仰されなくなったことで力を失った神々が、アニメーションにどのように描かれているのか読み解くとともに、日本の神話がどのように反映されているのかも読み解く。また、「妖怪」とは何なのかについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：神が零落して妖怪になっていくこと、日本神話の反映などを理解する。
14回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(3)リスニングとまとめ** 授業内容：リスニングとまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 2.0hr：リスニングの予習。 事後学修 2.0hr：リスニングの復習。プリントを整理しておく。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 3.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 1.0hr：試験問題の不明点の復習。

日本語と日本文化Ｂ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

前期の「日本語と日本文化Ａ」で、高度経済成長期の日本文化を学んだことを生かし、後期は、映画を通して、高度経済成長期の文化を学ぶ。推理小説『点と線』、直木賞受賞作『江分利満氏の優雅な生活』、ＳＦ小説『日本沈没』を通して、〈日本人〉がどのような国民として描かれてきたかにも注目していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：映像も参考にしながら、高度経済成長期の文学や、高度経済成長期に新しく作り出された言葉について学ぶ。それとともに、終戦からオイルショックまでの日本の歴史や文化を知ることができる。

個別目標：日本を研究したり、日本を訪れたりした外国人が見た「日本人らしさ」とは何なのかを考えることができる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

「日本語と日本文化Ａ（留）」とセットで受講することが望ましいが、Ａを受講していなくても問題ない。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%とテスト 60%で総合的に評価する。授業内の作業のなかには、リアクションペーパーも含まれる。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあれば問題ない。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：ガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の授業計画を立てる。
2回	**授業テーマ：松本清張と芥川賞―『点と線』がブームを呼び起こすまでの軌跡** 授業内容：松本清張についての概説と、高度経済成長期より少し前の日本の文化が、『点と線』にどのようにかかわるのかを説明。 事前学修 1.0hr：新聞のドラマ欄で松本清張を探してみる。 事後学修 3.0hr：プリントで復習。
3回	**授業テーマ：1950 年代(1)松本清張『点と線』(昭和 32 年)―映画と単語ノート** 授業内容：分からない言葉を調べながら一緒にミステリー小説を読む。授業内で答え合わせする。小説に対応する場面の映画を見て、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読み、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：単語ノートの復習。
4回	**授業テーマ：1950 年代(2)『点と線』―映画とクイズ** 授業内容：犯人を推理しながら、manaba の機能を使いながら理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人は誰か推理してくる。 事後学修 2.0hr：東京駅「４分間の空白」のトリックを復習。
5回	**授業テーマ：1950 年代(3)『点と線』―まとめ** 授業内容：『点と線』では、犯人がなぜ犯罪を犯したのかという心理的な動機が描かれる。その動機を理解するとともに、そうした動機を描こうとすることじたいが、当時のミステリーでは新しく、松本清張によって新しい文学が作られたことを文学史的に理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人がなぜ犯罪をおかしたのか、動機を考えてくる。 事後学修 2.0hr：文学史のなかの清張の役割を復習。
6回	**授業テーマ：団地とマイホームの時代(附：ニュース映像ＤＶＤ)** 授業内容：ニュース映像 DVD を見ながら、高度経済成長期の日本文化を理解できるようにする。サラリーマン人口が増えて専業主婦が誕生すること、光化学スモッグなどの公害が車社会の到来によって始まり、核家族が多数となり、団地が郊外につくられ、海外旅行が自由化され、パンダブームが到来し、万博開催に合わせて新幹線が開通し、電化製品をそろえてマイホームを作ることが理想とされ、特に庭つきの住宅が憧れとなるといった時代背景を理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：６０～７０年代日本で普及した電化製品を調べてくる。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の復習(サラリーマンと専業主婦誕生、公害、団地、核家族、交通戦争等)。
7回	**授業テーマ：山口瞳と直木賞―『江分利満氏の優雅な生活』が出来るまで** 授業内容：『江分利満氏の優雅な生活』の概説。エブリマン(everyman)という名前であり、平均的でどこにでもいるような日本人として描かれた主人公を通して、高度経済成長期の日本人の生活を学ぶ。電化製品の普及、サントリーという会社が海外旅行自由化に合わせて広告で発信していた情報や、文化的に果たした意義なども考える。 事前学修 2.0hr：直木賞について調べてくる。 事後学修 2.0hr：主人公(東西電機社員)と山口瞳の実際(サントリー社員)の違いを理解する。
8回	**授業テーマ：1960 年代(1)山口瞳『江分利満氏の優雅な生活』(昭和 37 年)―映画と単語ノート** 授業内容：映画「江分利満氏の優雅な生活」を見て理解を深めながら、サラリーマンと主婦、社宅、核家族として構成された小説のなかの家族像を、読み解いていく。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：サラリーマン＋主婦、社宅、核家族等の同時代的要素を理解する。

9回	**授業テーマ：1960 年代(2)『江分利満氏の優雅な生活』―映画とクイズ** 授業内容：プリントを読み映画で内容を確認。manaba の機能を利用して理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：公害、交通戦争、団地生活の弊害がどのように描かれているか理解する。
10回	**授業テーマ：1960 年代(3)『江分利満氏の優雅な生活』―『菊と刀』の日本人論** 授業内容：アメリカ人による日本人理解として全世界で有名になった『菊と刀』を読みながら、日本人の平均的サラリーマンであり、なおかつ日本人論の典型的特徴をそなえた人物として江分利が描かれていることを理解する。キリスト教世界では人間の弱さを示す飲酒が日本では人間らしさとして許容されており、勤勉に生きる日本人の努力は、個人ではなく村や社会や国家のためのものであって、期待される人間であろうとするのが日本人だとするなど、『菊と刀』は鵜呑みに出来ない部分もあるが、小説にはそうした日本人論のステレオタイプがそっくり反映されていると思われるので、それを読み解いていくことで、当時の日本人の理想的な生活や憧れが何だったのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：江分利満(everyman)が日本人の典型として描かれていることを日本人論から理解する。
11回	**授業テーマ：オイルショックと『日本沈没』** 授業内容：オイルショックについての説明をしたあと、オイルショックと『日本沈没』をめぐる世紀末ブームとの関係を考える。 事前学修 2.0hr：オイルショックについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：オイルショックと『日本沈没』ブームの関係を理解し、７０年代日本をキーワードで記憶する。
12回	**授業テーマ：1970 年代(1)小松左京『日本沈没』―小松左京の紹介** 授業内容：高度経済成長期になぜこの小説が書かれたのか、万国博覧会のテーマ企画との関係や、田中角栄の『日本列島改造論』との関係について説明する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：小松左京の仕事の総体を理解する。単語ノートを復習。
13回	**授業テーマ：1970 年代(2)小松左京『日本沈没』―映画と原作** 授業内容：小説公開当時に作られた特撮映画「日本沈没」を DVD で補助として見ながら、『日本沈没』を読む。国土を失った日本人が、外交上、文化上、どのように生きていけるのか、地球人として生きていくために何が必要かを小説から考えるとともに、そうしたテーマが、東京オリンピックや万国博覧会で世界に活躍し始めた日本人の世界的地位に関係があることを読み解いていく。また、国土開発と自然破壊のテーマについても考察する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『日本列島改造論』(国土開発)、万博の未来学、などのキーワードを理解して復習する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：50 年代、60 年代、70 年代、と 10 年ごとに授業を進めてきた。そのまとめと試験対策。 事前学修 2.0hr：これまでの授業をキーワードでまとめる復習作業をする。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の様子が、授業で取り上げた小説にどのように描かれていたかをまとめておく。
15回	**授業テーマ：テストと振り返り** 授業内容：テストと振り返り。 事前学修 3.0hr：テストに備えた学習。 事後学修 1.0hr：テストの不明点の復習。

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。フランス語については、発音や文法などの基礎的な学習から始めてゆきます。フランス語入門者のための授業です。グループワーク(アクティブラーニング)として、教科書を用いながら学生同士でフランス語の会話の練習なども実施します。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、いくつかのテーマに分けてフランス文化の講義も行います。フランス文化を様々なテーマから取り上げる予定です。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業の参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れていることが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、アルファベ** 授業内容：授業のガイダンスから始める。フランス語のアルファベの読み方を確認する。フランスの地理や、日本語のなかに溶け込んだフランス語を取り上げる。 事前学修 2.0hr：フランスについてイメージしておく 事後学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習
2回	**授業テーマ：母音の発音、子音の発音、リエゾン、アンシェヌマン** 授業内容：フランス語の発音の勉強をする。母音、子音をフランス語の単語を例に確認する。リエゾンやアンシェヌマンと言った発音上の現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：発音のまとめ、「フランスのカフェ文化」** 授業内容：前回の授業で学んだ発音の規則を復習する。「フランスのカフェ文化」の講義を行う。フランス文化がカフェという場所を中心に育まれていった経緯を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第１課　自己紹介と挨拶、主語人称代名詞と動詞「です」** 授業内容：自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。そのために主語人称代名詞や動詞「～です」などの文法の確認から始める。具体的に会話文で練習する。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第１課　国籍、数字、「フランスの年中行事」** 授業内容：引き続き、自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。国籍や数字もフランス語で言えるようにする。「フランスの年中行事」を知ることで、フランス人の一年の営みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習
6回	**授業テーマ：第２課　はいといいえ、職業・身分の表現、住んでいる場所を言う** 授業内容：フランス語で職業や身分を言えるようにする。はいといいえを用いた応答を学ぶ。「住む」という動詞を確認する。 事前学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「住む」の復習
7回	**授業テーマ：第２課　er 動詞、「フランスの美術」** 授業内容：er 動詞の活用を確認する。前回の授業で学んだ表現を用いて、学生同士で会話の練習をする。「フランスの美術」を、映像で主要美術館をめぐりながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：er 動詞の活用を覚える
8回	**授業テーマ：第３課　否定文、不定冠詞、注文する** 授業内容：名詞の性と数、否定文、不定冠詞などの文法の確認から始める。フランスのカフェで注文するのに必要な表現を学ぶ。学生同士で会話の練習をする。 事前学修 2.0hr：er 動詞の活用の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、否定文、不定冠詞の復習
9回	**授業テーマ：第３課　注文する、「フランスの小説」** 授業内容：注文の表現の練習を引き続き行う。「フランスの小説」の主要作品を紹介する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

10回	**授業テーマ：第４課　動詞「持っている」、否定の de、疑問文** 授業内容：動詞「持っている」の活用を確認する。否定の de を学ぶ。フランス語の疑問文を学ぶ。身の回り品に冠詞をつけてみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「持っている」の活用を覚える
11回	**授業テーマ：第４課　年齢やメールアドレスを聞く、「フランス映画」** 授業内容：例文を参考に、年齢やメールアドレスを聞けるようにする。フランス映画史をたどりながら、重要な「フランス映画」を紹介する。 事前学修 2.0hr：動詞「持っている」の活用復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
12回	**授業テーマ：第５課　所有形容詞、疑問詞、形容詞の性と数、人物を描写する** 授業内容：「私の」「君の」などの所有形容詞を覚える。「誰」、「どこ」などの疑問詞を学ぶ。形容詞を用いて人物を描写してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：所有形容詞、形容詞の性と数、疑問詞の復習
13回	**授業テーマ：第５課　人物を描写する、国名、「シャンソンを聴くⅠ」** 授業内容：前回の授業で学んだ文法を思い出しながら、人物を問い、人物を描写する練習をする。シャンソンの名曲を、フランス語で歌詞を読みながら聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
14回	**授業テーマ：前期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅡ」** 授業内容：フランス語の練習問題を解いて、前期に習ったフランス語の復習を行う。授業時間内に答え合わせと解説を行う。フランス語の歌詞を読みながら、シャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

テクストのタイトル『 Ça sonne bien! 』は、音の響きがステキ！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒にフランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、Alphabet（アルファベ)から。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

" Ça sonne bien! ", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社

S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Alphabet** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語の簡単な挨拶　③アルファベ　La chanson de l'Alphabet 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	**授業テーマ：発音記号の読み方＆綴り字の読み方** 授業内容：①フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　②発音記号を見ながら正しい発音で　Alphabet を読む 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	**授業テーマ：C'est un musée.** 授業内容：①名詞の性と数　③不定冠詞と定冠詞　③提示表現 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	**授業テーマ：Je suis contente.** 授業内容：①動詞 être　②形容詞(国籍、性格、職業、色) 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	**授業テーマ：Nous n'avons plus de croissants.** 授業内容：①動詞 avoir　②部分冠詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	**授業テーマ：J'étudie le français.** 授業内容：① -er 動詞　②疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	**授業テーマ：Je finis mon travail à 18 heures.** 授業内容：① -ir 動詞　②指示形容詞　③所有形容詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	**授業テーマ：Bilan 1 自己紹介をしよう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	**授業テーマ：Qu'est-ce qu'il fait dans la vie ?** 授業内容：①疑問代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	**授業テーマ：Où est-ce que vous passez vos vacances?** 授業内容：①動詞 aller,partir ②前置詞と定冠詞の縮約　③近接未来　④疑問副詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11回	**授業テーマ：Je viens d'acheter une chemise rose.** 授業内容：①動詞 venir ②前置詞と前置詞の縮約　③近接過去　④指示代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12回	**授業テーマ：Je vous vois dimanche.** 授業内容：①動詞 voir, descendre　②直接目的語・強勢形の人称代名詞　③命令法 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：Dis-lui bonjour de ma part.** 授業内容：①動詞 écrire,dire　②間接目的語の人称代名詞　③非人称構文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14回	**授業テーマ：Bilan 2　道を尋ねる** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15回	**授業テーマ：Ça sonne bien !** 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：総復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。前期に引き続き、文法を中心にフランス語の基礎を学んでゆきます。フランス語は入門レベルの授業です。グループワーク(アクティブ・ラーニング)として、教科書を用いて学生同士でフランス語の会話の練習なども行います。比較級など前期の授業よりもより発展した内容になります。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、様々なテーマから、フランス文化の講義も行います。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、尋ねる、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れておくことが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、前期の内容の復習** 授業内容：授業についてのガイダンスを行う。教科書とプリントを用いて、前期に習ったフランス語の文法のおさらいをする。 事前学修 2.0hr：発音、動詞の活用などの復習 事後学修 2.0hr：確認した文法の復習
2回	**授業テーマ：第６課　これは何ですか？　物の位置を言う** 授業内容：定冠詞や場所を表す語句を学んで、物の位置を表せるようにする。「これは何ですか」というフレーズを使って会話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：第６課　定冠詞、場所を表す語句、「フランスのことわざと名言」** 授業内容：前回に引き続き、場所の表現を応用して会話の練習を行う。場所の表現と定冠詞に親しむ。フランスの「ことわざ」と「名言」を取り上げて考察する。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第７課　好みを言う、形容詞の位置、～があります** 授業内容：「～が好きです」という表現を学ぶ。好きなこと、その程度も言えるようにする。「～があります」などの重要表現も学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第７課　様々な好みを言う、「パリについて」** 授業内容：フランス語で好みを聞き、好みを言ってみる。文化講義として「パリ」について歴史や文化などの観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：好みの表現や形容詞の位置について復習
6回	**授業テーマ：第８課　天気の表現、比較級、非人称構文** 授業内容：フランス語の天気を表す表現を学ぶ。非人称構文、比較級などの文法知識も習得する。学生同士で、フランス語で天気や洋服について話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
7回	**授業テーマ：第８課　色と洋服、「フランスの地方について」** 授業内容：洋服や色に関する表現に親しむ。実際に人・物を比較級で比べてみる。「フランス地方」の魅力を様々な都市を取り上げて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：比較級の復習
8回	**授業テーマ：第９課　部分冠詞、中性代名詞、動詞「取る」と「する」** 授業内容：部分冠詞や中性代名詞を学ぶ。頻出動詞「取る」と「する」の活用を覚える。それらを会話文のなかで実際に使ってみる。 事前学修 2.0hr：比較級の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
9回	**授業テーマ：第９課　～をします、朝食をとる、「フランスの世界遺産」** 授業内容：「朝食に～をとる」などをフランス語で言えるようにする。パリから地方まで「フランスの世界遺産」を映像などを用いて学ぶ。 事前学修 2.0hr：動詞「取る」、「する」の活用の復習 事後学修 2.0hr：朝食をとるなどの確認した表現の復習
10回	**授業テーマ：第１０課 ～に行く、中性代名詞 y** 授業内容：動詞「行く」を学ぶ。他の頻出動詞も学ぶ。動詞「行く」や中性代名詞 y を使って会話する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

11回	**授業テーマ：第１０課　乗り物、曜日や場所、招待する、「ワインについて」** 授業内容：乗り物を使った表現や、曜日、場所を組み合わせて文を作ってみる。フランス語で招待できるようにする。フランス文化における「ワイン」の重要性を講義する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：動詞「行く」など確認した表現の復習
12回	**授業テーマ：第１１課　日常生活と時間の表現、代名動詞** 授業内容：フランス語の時間の表現について学ぶ。代名動詞を使えるようにする。日常生活を語るための表現を覚える。 事前学修 2.0hr：動詞「行く」などの確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：時間・代名動詞などの確認した表現の復習
13回	**授業テーマ：第１１課　時間の言い方、代名動詞、「シャンソンを聴くⅢ」** 授業内容：前回覚えた時間の表現や代名動詞などを用いて、一日を描写してみる。「シャンソンを聴くⅢ」では前期と同様で、歌詞を確認しながらシャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：時間の表現、代名動詞の復習
14回	**授業テーマ：後期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅣ」** 授業内容：後期のフランス語の内容をおさらいするために練習問題を解く。授業時間内に答え合わせと解説を行う。「シャンソンを聴くⅣ」では、フランス文化を学びながらシャンソンを聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

フランス語とフランス文化Ａで使用したテクスト『 Ça sonne bien! 』を引き続き勉強します。この題名は、音の響きがステキ！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、フランス文化Ａで学習したフランス語の読みから。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

" Ça sonne bien! ", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社

S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：復習１** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　③アルファベ　④数字 1-20 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2回	**授業テーマ：復習２** 授業内容：①時刻、数詞 20-60 ②６文型 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3回	**授業テーマ：復習３** 授業内容：①月、曜日、数詞 70-100　③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4回	**授業テーマ：復習４** 授業内容：①名詞　②冠詞　③形容詞　③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5回	**授業テーマ：Dépêche-toi!** 授業内容：①題名動詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6回	**授業テーマ：Ma mère m'a téléphné.** 授業内容：①直接法複合過去 1　② puvoir, devoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7回	**授業テーマ：Nous sommes montés à la tour Eiffel.** 授業内容：①直接法複合過去 2　② croire, lire 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8回	**授業テーマ：Des citrons, j'en prends deux.** 授業内容：① 中性代名詞 ② vouloir, savoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9回	**授業テーマ：Quelle est la meilleure saison ?** 授業内容：①比較級　②最上級　③ connaitre, courir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10回	**授業テーマ：Bilan 1 日記を書こう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11回	**授業テーマ：L'été, j'allais à la mer.** 授業内容：①直接法半過去　②直接法大過去 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12回	**授業テーマ：Quelle est la région que tu aimes le plus ?** 授業内容：①関係代名詞 ② offrir, recevoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：Tu viendras avec nous.** 授業内容：①直接法単純未来　②受動態 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14回	**授業テーマ：Bilan 2　グリーティングカード(誕生日カード、クリスマスカード、年賀状)を書こう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15回	**授業テーマ：Ça sonne bien !** 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：課題

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

ドイツと聞いて初めに何を想像しますか？ まずは誰もがビールにソーセージ、自動車産業にサッカーなどを連想するでしょう。そして第二次世界大戦や冷戦期の東西ドイツの分断なども思い出すことでしょう。しかしそれだけではありません。日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツの歴史、社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。前期の授業では歴史を中心に学ぶ予定ですが、授業テーマは随時変更することがあります。各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、海外の状況と比較することが有効です。外国の制度とそれに至るまでの歴史的過程を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、日本の制度の特色や問題点に気づくことができます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. ドイツの歴史を中心に、社会制度や文化など、様々な特徴や問題について考え、日本との違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業中の課題（授業中の発言・意見交換、小テスト等）：30 %
期末試験：70%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム等）で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて意見交換やディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて課題等で使用する）

▌教科書

伊藤直子 /吉村暁子 /小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社
授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。
その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

▌参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：数ある外国の中でなぜドイツに興味を持ったのかを考える。ドイツの制度や文化について、何をどう学んでいきたいかを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：ドイツの宗教と祭り** 授業内容：ドイツのキリスト教文化と代表的な祭り（カーニバル、イースター、クリスマスマーケット）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：ドイツの生活文化と価値観** 授業内容：ドイツにおける生活文化の違いや価値観について、動画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：歴史①ドイツの成り立ち（前編）** 授業内容：18 世紀頃までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：歴史②ドイツの成り立ち（後編）** 授業内容：19〜20 世紀初頭までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：歴史③第二次世界大戦前〜戦後ドイツ** 授業内容：第二次世界大戦が始まるまで、そして戦後ドイツの状況を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：EU とドイツ** 授業内容：EU ができるまでの歴史的発展を概説する。EU 組織の基礎知識と制度やシステムについて説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツの移民について** 授業内容：ドイツの移民に関する歴史や政策、現在の課題について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(前編)** 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(後編)** 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの政治** 授業内容：ドイツの政治、選挙システム、政党について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー①憲法の母たち** 授業内容：ドイツの歴史をジェンダー視点から振り返る。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー②選択的夫婦別姓と専業主婦** 授業内容：ドイツが選択的夫婦別姓制度を取り入れた経緯を概説する。また、専業主婦に対する考え方が日本と異なることを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツの観光** 授業内容：ドイツにおける有名な観光地・グルメについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、発音をしっかり身につけ、やさしい日常会話に必要な文法を習得してもらい、初歩的な日常会話を練習します。
文化については、履修者は文化的なトピックについて特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。主体的に課題に取り組み、自分にとって未知の問題でも、積極的に取り組もうという気持ちをもった学生に履修してほしい。

▌評価基準・方法

授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基づき、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。
尚、課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社　ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：アルファベット、発音(母音、子音)** 授業内容：ドイツ語ではどれだけの文字を使うのかを説明します(英語で使用する文字に、さらに 4 文字余計に使用します)。 それらの文字が、語のなかでどのように発音されるかが、発音の問題です。初回の授業では、発音について、説明・練習をします。 事前学修 2.0hr：シラバスをもう一度確認し、テキストの発音部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：ドイツ語の文字の確認と、母音や子音の発音の復習。
2 回	**授業テーマ：発音(母音, 子音)、動詞の現在人称変化** 授業内容：発音の説明・練習の続きです。発音を終らせます。動詞、動詞の現在人称変化を導入します。 ドイツ語では、主語の人称(1 人称単数(「私は」)・2 人称単数(「君は」)……)に応じて、動詞が変化するという現象があります。それを人称変化と言います。 事前学修 2.0hr：テキストの今回の発音の部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：英語と比較しての、ドイツ語の動詞の確認する。
3 回	**授業テーマ：定動詞の位置、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：規則動詞の現在人称変化を練習し、文中の動詞の位置に注意すること。口調上注意すべき動詞の現在人称を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分の復習しておく。
4 回	**授業テーマ：sein (である) の現在人称変化、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：sein 動詞の不規則現在人称変化の練習・規則現在人称変化復習です。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの動詞の現在人称変化の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の復習しておく。
5 回	**授業テーマ：名詞の性** 授業内容：名詞の性、男性名詞、女性名詞、中性名詞の特徴を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの第 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：男性名詞、女性名詞、中性名詞の復習しておく。
6 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化(1)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 1,4 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 1,4 の復習しておく。
7 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化 (2)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 2,3 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 2,3 の復習しておく。

8回	**授業テーマ：不規則動詞 sein を復習、haben の導入** 授業内容：ドイツ語で圧倒的に使われる”sein”と、2 番目によく使われる”haben”という動詞の現在人称変化、および、発音の都合上、規則的な現在人称変化と若干変化が異なる動詞を扱います。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：テキストの 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞 sein や haben の現在人称変化の復習しておく。
9回	**授業テーマ：複数形** 授業内容：複数形の形が紹介されています。どのような語尾がありますか。 「ドイツ文化」のテーマはベルリンの壁崩壊です。 事前学修 2.0hr：複数形を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の復習しておく。
10回	**授業テーマ：複数形の格変化** 授業内容：複数形の格変化の導入 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (1) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の格変化の復習しておく。
11回	**授業テーマ：男性弱変化名詞** 授業内容：複数形の使い方と特殊な形を紹介します。。 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (2) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：教科書の第 1、第 2、第 3 課の復習** 授業内容：動詞の現在人称変化、名詞の 1,2,3,4 格 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (3) です。 事前学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を復習しておく。
13回	**授業テーマ：定冠詞の格変化の復習** 授業内容：定冠詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：不定冠詞の格変化の復習** 授業内容：不定冠詞のの練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：不定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第 1 課から第 3 課までの繰り返し** 授業内容：前期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：これまでにやったことを確実に身につけておく。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツ社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。履修者には各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。なお、この科目は、前期「ドイツ語とドイツ文化 A」の後半部分です。歴史にまつわるテーマが中心だった前期に比べて、後期はドイツの社会制度や文化に関する割合が多くなっています。※授業内容は随時変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、外国の状況と比較することが有効です。外国の制度を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、さらに日本の制度・文化の特色・問題点に気づくこともできます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. 日本とドイツの社会制度や文化・考え方など、様々な特徴や問題点を指摘し、相互を比較して違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
※ドイツ語の文法は前期からの継続となります。後期から履修される方は事前に教科書の前半を読んで、ある程度キャッチアップしておいて下さい。

▌評価基準・方法

授業中の課題（授業中の発言・意見交換、小テスト等）：30 %
期末試験：70%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム等）で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて意見交換やディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて課題等で使用する）

▌教科書

伊藤直子 /吉村暁子 /小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社
授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。
その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

▌参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：前期の授業を振り返りながら、ドイツという国とその制度や文化について、どのように知識を深めていきたいかを改めて考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：ドイツの教育制度** 授業内容：ドイツの教育システムを学びながら、日本の教育システムとの違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：ドイツの大学制度** 授業内容：ドイツの大学制度を学びながら、日本の大学制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：旧東ドイツ①社会状況と日常生活** 授業内容：旧東ドイツ（DDR）時代の人々の日常生活について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：旧東ドイツ②オスタルギーとは（前編）** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：旧東ドイツ③オスタルギーとは（後編）** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：ドイツの職業訓練と仕事観** 授業内容：ドイツ人の職業に対する意識と仕事観について学びながら、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツの産業と企業** 授業内容：ドイツを代表する企業やドイツの産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツと貧困** 授業内容：ドイツにおける人々の経済事情や貧困について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツ人の働き方** 授業内容：ドイツ国内の仕事事情について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの税金と社会保険** 授業内容：ドイツの税金制度や社会保険システムを学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう①各地域の特色** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、選ぶべき地域の特色について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう②食文化や生活習慣** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、ドイツ人の食文化や生活習慣について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう③外国人として生活する** 授業内容：ドイツ留学を検討する際、自身が外国人として生活することについて考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習を行う。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、『ドイツ語とドイツ文化 A』に引き続き、やさしい日常会話に慣れ親しんでもらうことを目指します。
文化については、履修者は文化的なトピックについての特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
尚、ドイツ語に関しては、『ドイツ語とドイツ文化 A』のレベルの内容（具体的には、ドイツ語の発音、現在人称変化、名詞の性・格の知識）を前提とすることを、承知しておいてください。

▌評価基準・方法

・授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基き、総合的に評価します。期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社 ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ドイツとドイツ語の基本情報** 授業内容：ドイツ語については、「ドイツ語とドイツ文化 A」で勉強した内容の復習 事前学修 2.0hr：これまでに学習したことを予習しておく。 事後学修 2.0hr：初回の授業の内容を復習しておく。
2 回	**授業テーマ：動詞の現在人称変化(不規則)** 授業内容：不規則動詞の現在人称変化の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞の現在人称変化の復習をしておく。
3 回	**授業テーマ：命令形** 授業内容：命令形の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：命令形の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
4 回	**授業テーマ：nicht の位置** 授業内容：否定文の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (3) です。 事前学修 2.0hr：否定文の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
5 回	**授業テーマ：定冠詞類** 授業内容：定冠詞類の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (4) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
6 回	**授業テーマ：不定冠詞類** 授業内容：不定冠詞類んの導入、所有代名詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (5) です。 事前学修 2.0hr：不冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
7 回	**授業テーマ：人称代名詞　１格、３格、４格** 授業内容：人称代名詞の導入、定冠詞類や不定冠詞類の練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (6) です。 事前学修 2.0hr：テキストの第５課を予習しておく。(２９ページ) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

8回	**授業テーマ：文法的否定形 nicht , kein** 授業内容：nicht, kein の使い分け 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (1) です。 事前学修 2.0hr：nicht, kein を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
9回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞** 授業内容：２、３，４格支配の前置詞の導入。 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
10回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞の復習** 授業内容：３格、４格、スイッチ型前置詞のを復習しておく。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (1) です。 事前学修 2.0hr：３格、４格の前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
11回	**授業テーマ：前置詞の融合形** 授業内容：前置詞と冠詞の組み合わせ方 「ドイツ文化」のテーマは経済 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：縦続接続詞と副文** 授業内容：主文と副文の特徴の説明、副文の構造の導入。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (３) です。 事前学修 2.0hr：動詞の位置を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
13回	**授業テーマ：第 4 の復習** 授業内容：第 4 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (1) です。 事前学修 2.0hr：命令形と動詞の現在人称不規則変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：第 5、第 6 の復習** 授業内容：第 5、第 6 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (2) です。 事前学修 2.0hr：前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第課 4 から第 6 課までの繰り返し** 授業内容：後期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

スペイン語とスペイン文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：スペイン語のアルファベット** 授業内容：授業の進め方について　2と3ページスペイン語のアルファベット、発音について 事前学修 2.0hr：2と3ページを読む 事後学修 2.0hr：スペイン語のアルファベット、発音について
2回	**授業テーマ：スペイン語の国際言葉** 授業内容：ユニットすでに知っているスペイン語の言葉4－7ページ. Preliminar: Tú ya sabes cosas 事前学修 2.0hr：4－7ページを読む 事後学修 2.0hr：固有名詞、教室で役に立つ表現、数字(0－10)
3回	**授業テーマ：スポーツ I** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　8－10ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：8－10ページを読む 事後学修 2.0hr：名詞の性、名詞の数、定冠詞、主語代名詞を勉強する
4回	**授業テーマ：スポーツ　II** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　11-13ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：11-13ページを読む 事後学修 2.0hr：「ser」動詞の現在形、疑問文、否定文を勉強する
5回	**授業テーマ：食べ物と料理　I** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし14-16ページ 事前学修 2.0hr：14-16ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(名詞、定冠詞、主語)を勉強する
6回	**授業テーマ：食べ物と料理　II** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし17-19ページ.　Unidad 2: Las comidas y yo 事前学修 2.0hr：17-19ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「ser」動詞、疑問文、否定文)を勉強する
7回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット1、2の中の小テストトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット1と2を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストトレーニングの振り返りをする
8回	**授業テーマ：旅行 I** 授業内容：ユニット旅行とわたし20-22ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：20-22ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(数字) を勉強する
9回	**授業テーマ：旅行 II** 授業内容：ユニット旅行とわたし23-25ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：23-25ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(職業、国籍) を勉強する

10回	**授業テーマ：音楽 I** 授業内容：ユニット音楽とわたし２６- ２８ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２６-２８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(不定冠詞、品質形容詞)を勉強する
11回	**授業テーマ：音楽 II** 授業内容：ユニット音楽とわたし２９- ３１ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２９-３１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(所有詞前置形)を勉強する
12回	**授業テーマ：趣味と仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３２- ３３ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３２-３３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「tener」動詞、疑問詞)を勉強する
13回	**授業テーマ：仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３４-３５ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３４-３５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(指示の形容詞と代名詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：趣味** 授業内容：ユニット趣味対仕事３６-３７ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３６-３７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「estar」動詞、「haber」動詞)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット３、４と５の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット３、４と５を勉強トレーニングする 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する

スペイン語とスペイン文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験又は小テスト: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業の進め方について 事前学修 2.0hr：前期の復習 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する
2 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント I** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし３８-４０ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：３８-４０ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(GUSTAR 動詞)を勉強す
3 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント II** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし４１-４３ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：４１-４３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(GUSTAR と同じように用いられる動詞、比較表現 II)を勉強する
4 回	**授業テーマ：伝統 I** 授業内容：ユニット７色々な習慣４４-４５ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４４-４５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(語幹母音変化動詞)を勉強する
5 回	**授業テーマ：伝統 II** 授業内容：ユニット７色々な習慣４６-４７ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４６-４７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(再帰動詞)を勉強する
6 回	**授業テーマ：伝統 III** 授業内容：ユニット７色々な習慣４８- ４９ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４８-４９ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(居間、天候表現)を勉強する
7 回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット６と７の中の小テスト 事前学修 2.0hr：ユニット６と７を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストの振り返りをする
8 回	**授業テーマ：買い物に行く I** 授業内容：ユニット８買い物に行く５０-５１ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５０-５１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(食べ物と飲み物)を勉強する
9 回	**授業テーマ：買い物に行く II** 授業内容：ユニット８買い物に行く５２-５３ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５２-５３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(レシピ)を勉強する

10回	**授業テーマ：買い物に行く III** 授業内容：ユニット８買い物に行く５４-５５ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５４-５５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(衣服とアクセサリー、品質形容詞、色)を勉強する
11回	**授業テーマ：家族と友達 I** 授業内容：ユニット９家族と友人５６-５８ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５６-５８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(体の部分の名称)を勉強する
12回	**授業テーマ：家族と友達 II** 授業内容：ユニット９家族と友人５９-６１ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５９-６１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(状態、体調・感情表現)を勉強する
13回	**授業テーマ：祭り I** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６２-６４ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６２-６４ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(日常生活を表す動詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：祭り II** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６５-６８ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６５-６８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(曜日、頻度を表す副詞表現)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット８、９と１０の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット８、９と１０を勉強する 事後学修 2.0hr：後期の復習を勉強する

韓国語と韓国文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

全　イジョング（じょん　いじょんぐ）

▌授業の概要

韓国の言葉と文化に対する理解を深め、音声や文字、語彙、表現、文構造などについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読み書きに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身につけていく授業です。また、ハングルキーボード使用法の習熟なども行われます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：(1) 自然なイントネーションや正確な発音を身につける。
(2) 綴り字と発音の違いについて習得し、単語やフレーズを正しく発音できる。
(3) 積極的なコミュニケーション能力の素地を養う。
(4) ハングルキーボード使用法の習熟を図り、ハングルワードの作成やネット検索ができる。

個別目標：(1) 正しく発音できて、音声を聴き正しく書き取れる。
(2) 発話練習を繰り返し、簡単な挨拶、自己紹介ができる。
(3) パソコンを使った検索やハングルワードの作成ができる。

▌履修条件

・韓国語や朝鮮語を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修できない。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・教科書は必ず購入すること。
・履修者の抽選を行うので第 1 回目の授業に出席しないと履修ができない。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊学期末テストの再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題をはじめ「小テスト」、授業後の質疑応答などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

ジョン・イジョング著 『一人でできる韓国語発音トレーニング』(ask 出版)

▌参考書

適宜資料を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、「ハングルとは何か」** 授業内容：ハングルができる前の朝鮮半島の文字生活に身て、それからハングルの制字原理や制字思想など、ハングル誕生に関わるいくつかの事柄について触れて行く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：配布された資料を読み直し「確認問題」に取り組む。講義動画を閲覧する。
2 回	**授業テーマ：「短母音、半母音Ⅰ」** 授業内容：短母音 8 つと半母音 (ヤ系) 6つの習得する (書き方、発音方法などをしっかり覚える)。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しハングル母音について学修する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：「半母音Ⅱ、二重母音、基本子音字」/小テスト** 授業内容：半母音 (ワ系) 6つと二重母音 1 つの書き方、発音方法を覚え、発音の練習を行う。また、14 個の基本子音字の書き方、発音方法などを覚え、母音と組み合わせて読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：「二重子音字、ハングル字母表の読み練習」** 授業内容：基本子音字と二重子音字の音の違いを理解し発音練習に取り組む。ハングル字母表をつくり、読みの練習をする。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：「パッチム、聞き取り小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムの仕組み、読み方などの説明。パッチムのついた単語の聞き分け、言い分けの練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しバッチムについて予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：「バッチムの読み練習、ハングルキーボード使用法」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムがついた単語を読む練習。書き取りテスト実施。ハングルキーボード使用法を習熟に取り組む。ワード入力練習やハングルでネット検索を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧する。読みながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：バッチムを繰り返し音読する。ワードの打ち方を習熟させる。
7 回	**授業テーマ：「読み書き練習、仮名のハングル表記/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。単語を聴き正確に書き取る練習を繰り返し行う。日本語の仮名をハングル表記法を覚え、人名や地名を使い書き方の練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を声に出して数回読み予習する。 事後学修 2.0hr：声の上がり下がりの調子や息の出し方に注意し発話練習をする。

8回	**授業テーマ：「発音のルール」(連音化、弱音化)/小テスト」** 授業内容：綴りと発音について把握し発音のルールを覚える。歌の歌詞を使い、連音化と弱音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：「発音のルール」(濃音化、激音化、流音化)/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、濃音化、激音化、流音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：「発音のルール」(鼻音化、口蓋音化 、添加)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、鼻音化、口蓋音化 、添加を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：「韓国語の文法の仕組み、品詞について」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。日本語と韓国語の文章を比較しながら共通点と違いを把握する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
12回	**授業テーマ：「日常の挨拶の言葉」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。簡単な挨拶言葉の発音をチェックし、発話の練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：音声教材を聴き何度も音読する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：「体言の叙述」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。体言の叙述表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
14回	**授業テーマ：「体言の否定形、自己紹介発表/小テスト」** 授業内容：フィードバックを行う。体言の否定形表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。自己紹介文を作成しておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ、各自発表 (品物や人物、場所などを紹介する)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。学習してきた内容をおさらいする。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：試験に備えてまとめをする。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。

韓国語と韓国文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

全 イジョング（じょん いじょんぐ）

▌授業の概要

TOPIK2 級レベルのの実用的な表現やよりネイティブに近い言い回しを覚え、韓国語で発信するための準備運動(作文作り、内容をコンパクトにまとめる) をし、話すステップへ移行していきます。誰かに説明する時に求められる語彙力や要約力を高め、上手に話せる力をしっかり磨きます。また、K-POP や韓国ドラマ等にも触れ、自然で伝わりやすい表現方法を丁寧に説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：基礎文法を固めながら語彙力や要約力を高め、読解力を養うとともにプレゼンテーションに役立つ能力を身に付ける。

個別目標：・文章を読む上で必要な読解力を高めていく。
・文章の要点を掴んで簡潔にまとめる力を養う。
・韓国語の TOPIK2-３級の合格を目指す。

▌履修条件

・「韓国語と韓国文化 A」を履修ずみであることが望ましい。(履修済みでない場合は担当教員へご相談ください)。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・グループワークを行うことが多いので遅刻や欠席をしないこと。
・履修者の抽選を行いますので必ず第１回目の授業にご出席ください。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題のフィドバックをはじめ「レポート提出」、「小テスト」、「授業後の質疑応答」などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

テキストは学修支援システム manaba に掲載する。

▌参考書

Never 検索辞書
ジョンイジョング著『一人でできる韓国語トレーニング』(ask 出版)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：用言の叙述表現** 授業内容：用言の叙述表現につて学習する。作文づくりあり。発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義概要を理解する。講義動画を閲覧する。 事後学修 2.0hr：講義動画を閲覧し学習した内容を復習し、課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：不規則用言について/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。不規則用言活用をする用例を確認し、作文づくりに取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：指示詞と疑問詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。指示詞と疑問詞を学習する。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：疑問詞と指示詞の講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習したものを復習し、課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：動詞・形容詞の否定形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。用言の否定形について学習する。文章作りに取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：漢数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。漢数字を学習しテキストの「練習問題」に取り組む。会話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：存在詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。存在詞の言い回しをまとめる。日本語の文章を韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：固有数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。固有数字について学習。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：過去形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。過去形を学習した後、テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：文の接続 (状態・動作の羅列)** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。文の接続表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：仮定・条件表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。仮定・条件表現叙述表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：許可・不許可表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。許可・不許可表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：勧誘形表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。勧誘表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：連体形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。連体形について学習する。連体形を使った文章作りをし発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：可能・不可能表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。可能・不可能表現について学習する。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：基本文法のまとめ。振り返りシート完成** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。前期の授業で学習された内容を確認し、「振り返りシート」を完成する。 事前学修 2.0hr：基礎文法のまとめ、振り返りシートを作成する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

于　明明 (う　めいめい)

▌授業の概要

初心者を対象に、中国語を学ぶ楽しさを知り、文化として中国語を学ぶ意味を主眼に置きながら、初級中国語を習得する。具体的に、発音の表記記号ピンインから始まり、初級文法(入門編)を系統的に学び、簡単な会話を習得していく。また、中国の生活、社会、歴史など文化的な要素に触れ、中国語を学ぶ意味を深めていく。中国語学習をメインとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国語の発音については、仕組みの特徴を理解し、読み書きできる。中国語の文字については、日本語漢字との違いを区別することができ、書けるようになる。独力で基礎的な中国語を学習していく能力を身につける。中国の文化については、中国の生活、社会などに関することを概略的に言える。

個別目標：初級文法を学習し、簡単な会話で使えるようになる。
日常挨拶、買い物、レストランでの注文、道尋ね、家族構成の紹介、旅行や留学など日常生活についての表現ができる。

▌履修条件

初学者を対象とする。
当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。
②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。
原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語 トータル版』
著者：陳淑梅 劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：「中国語」の仕組みと発音の慣らし** 授業内容：授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。今後中国語学習していく上での目標を定めましょう。 「中国語」の仕組みと発音記号ピンインの構造についての説明及び数字の発音の慣らし。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日学習した内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：声調、単母音、複母音、声調記号のつけ方の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：子音 (1)、子音 (2) の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：鼻母音 (-n,-ng を伴う母音)、軽声、声調変化、声調の組み合わせ。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：第 5 課　〈迎接〉 出迎える** 授業内容：姓の言い方、名前(フルネーム)の言い方の学習。人称代名詞、名前の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：ピンイン、数字と基本の挨拶の暗唱、テキストの予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 5 課 初対面挨拶の仕方の確認。 第 5 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	**授業テーマ：第 6 課　〈歓迎会〉 歓迎パーティー** 授業内容：①動詞「是 shì」、助詞「的 de」、疑問詞の学習。②肯定文、否定文、疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課 人称代名詞の復習、第 6 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 6 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 6 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7 回	**授業テーマ：第 7 課　〈打的〉 タクシーに乗る** 授業内容：基本語順(S+V+O)と二つ以上の動詞からなる文―連動文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課～第 6 課の内容の復習、第 7 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 7 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 7 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8 回	**授業テーマ：第 8 課　〈住宿〉 宿泊する** 授業内容：①希望や願望を表す助動詞「想 xiǎng」の学習。②所有と存在を表す動詞、指示代名詞の学習。指示代名詞の導入。 事前学修 2.0hr：第 7 課の内容の復習、第 8 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 8 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 8 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルでチェックインする時の言い方を覚える。
9 回	**授業テーマ：第 9 課　〈問路〉 道を尋ねる** 授業内容：所在を表す動詞、方位詞、前置詞の学習。動詞「在 zài」、方向位置を表すことば―方位詞、前置詞「从 cóng」、「往 wǎng」など。 事前学修 2.0hr：第 8 課の内容の復習、第 9 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 9 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 9 課の単語を覚え、会話文を熟読し、道の尋ね方を確認すること。

10回	**授業テーマ：第 10 課　〈買東西〉 ショッピングをする** 授業内容：①数の言い方、中国語のお金の言い方、値段の尋ね方の学習。②形容詞、副詞、形容詞述語文の学習。 事前学修 2.0hr：第 9 課の内容の復習、第 10 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 10 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 10 課の単語を覚え、会話文を熟読し、買い物の場面の会話確認。
11回	**授業テーマ：第 11 課　〈聊天儿〉 おしゃべりをする** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方、年齢の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：第 10 課の内容の復習、第 11 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 11 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 11 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：第 12 課　〈点菜〉 料理を注文する** 授業内容：①量詞、動詞の重ね型の学習。②料理の名前、注文の仕方の学習。 事前学修 2.0hr：第 11 課の内容の復習、第 12 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 12 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 12 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：第 13 課　〈買足球票〉 サッカーのチケットを買う** 授業内容：時間の長さの言い方、動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 12 課の内容の復習、第 13 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 13 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 13 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14回	**授業テーマ：第 1 課～第 13 課を復習** 授業内容：①前期授業内容を復習。②これまでの内容を復習し、既出の単語（意味とピンイン、簡体字）、文法などを覚える。また、日本語から中国語訳ができるようにする。 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特になし

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

初学者を対象に中国語「普通話」の基礎を学ぶ科目である。中国および中国語の概要に始まり、発音、文法、表現などについて、講義および演習を通じて理解を促す。さらに中国文化についても紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国の現状を知るとともに、中国語で簡単な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について知る。
2. ピンインを読むことができる。
3. 基本文型を用いて表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国と中国語の概要** 授業内容：中国がどのような国であり、中国語がどのような言語であるか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話がどのようなものであるか説明し、普通話と不可分のピンインや簡体字を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：中国語の文を構成するには主語、述語、目的語などを適切な語順で配列する必要があることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4回	**授業テーマ：人称代名詞、是** 授業内容：一人称、二人称、三人称、単数、複数などの人称代名詞を紹介し、動詞「是」を用いた文の構成方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5回	**授業テーマ：疑問文、名前** 授業内容：疑問文の作り方、および氏名の名乗り方を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6回	**授業テーマ：動詞述語文、指示代名詞** 授業内容：近称や遠照の指示代名詞を紹介し、それらを用いて動詞述語文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7回	**授業テーマ：疑問詞、的** 授業内容：疑問詞を用いた疑問文のつくり方、および「的」を用いた定語の用法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文、有** 授業内容：形容詞述語文のつくり方、および動詞「有」の用法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：反復疑問文、也、都** 授業内容：反復疑問文を紹介するとともに、状語として副詞を用いる方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：場所代名詞、在** 授業内容：場所を指示する代名詞を紹介し、さらに動詞「在」を用いて文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：動詞の重ね型、省略疑問文** 授業内容：動詞の重ね型について説明し、さらに語気助詞を用いた省略疑問文を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：数詞、量詞** 授業内容：数の発音を練習し、1 個のりんご、3 冊の本などをどう表現するか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：幾と多少、語気助詞** 授業内容：疑問詞を用いて数量を尋ねる方法を紹介し、さらに語気助詞について詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：存在、連動文** 授業内容：動詞「有」を用いて存在を表現する方法を説明し、さらに連動文という型を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：月日、時刻** 授業内容：月日、曜日、時刻などの表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

于　明明（う　めいめい）

▌授業の概要

後期の授業では、前期で学んだ発音や基本的な文法をさらに発展させ、簡単な日常会話に必要な表現や語彙を習得していく。前期で学んだピンインに基づく発音をさらに磨き、音の変化や声調の使い分けを実践的に学び、発音力を高めることを目指す。初級文法(ステップアップ編)をしっかりと学習し、基本的な文の構造や表現を理解し、簡単な会話で使えるようになる。また、簡単な日常会話で使うフレーズを繰り返し練習する。中国の習慣、社会、歴史的背景を学ぶことで、言語が持つ意味や背景を理解し、中国語を使う楽しさと重要性を実感する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：後期の授業では、中国語の発音と基本文法をマスターして、発音、会話、文法、文化の理解を深めることを目標にしている。中国語の発音に関して、前期で学んだピンインや声調の理解を深め、正確に発音できるようになる。中国語の文字について、日本語漢字との違いをより詳細に理解し、実際に書けるようになる。

個別目標：学生は日常的なシチュエーションで使われるフレーズや表現を習得し、簡単な会話をスムーズにこなせるようになる。
中国語検定試験 4 級に合格できるレベルの文法、語彙、会話スキルを習得する。

▌履修条件

初学者を対象とする。
当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。
②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。
原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語　トータル版』
著者：陳淑梅　劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション、第 14 課の予習** 授業内容：前期の内容を復習する。前期の皆さんの中国語学習の状況について確認する。後期の授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。第 14 課を予習する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、後期授業概要を理解する。第 14 課の内容を復習する。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：学習した内容の復習。
2 回	**授業テーマ：第 14 課　〈做足底按摩〉 足裏マッサージ** 授業内容：①時間の長さの言い方の学習。②動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容の復習、第 14 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 14 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 14 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
3 回	**授業テーマ：第 15 課　〈在前台〉 フロントで** 授業内容：前置詞「給 g ě i」、助動詞「可以 k ě y ǐ 」、「能 néng」の学習。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容の復習、第 15 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 15 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 15 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルフロントでの様々な頼みことができるかの確認。
4 回	**授業テーマ：第 16 課　〈打電話〉 電話をかける** 授業内容：動詞の現在進行形、助動詞「会 huì」の学習。 事前学修 2.0hr：第 15 課の内容の復習、第 16 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 16 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 16 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
5 回	**授業テーマ：第 17 課　〈打工〉 アルバイトする** 授業内容：前置詞「在 zài」 、二重目的語をとる動詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 16 課の内容の復習、第 17 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 17 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 17 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	**授業テーマ：第 18 課　〈在飯店〉 レストランで** 授業内容：経験を表す助詞「過 guo」、選択疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 17 課の内容の復習、第 18 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 18 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 18 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7 回	**授業テーマ：第 19 課　〈去唱卡拉 OK〉 カラオケに行く** 授業内容：助動詞「得 d ě i」、「一～就 y ī ～jiù」構文の学習。 事前学修 2.0hr：第 18 課の内容の復習、第 19 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 19 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 19 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8 回	**授業テーマ：第 20 課　〈你唱得真好〉 あなたは歌がうまい** 授業内容：結果補語、様態補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 19 課の内容の復習、第 20 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 20 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 20 課の単語を覚え、会話文を熟読する。

9回	**授業テーマ：第 21 課　〈全家福〉 家族写真** 授業内容：「是～的 shì～de」構文、比較表現―前置詞「比 b ǐ 」の学習。 事前学修 2.0hr：第 20 課の内容の復習、第 21 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 21 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 21 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
10回	**授業テーマ：第 22 課　〈買襯衫〉 シャツを買う** 授業内容：方向補語①単純方向補語、「有点儿 y ǒ udi ǎ nr」と「一点儿 yìdi ǎ nr」の学習。 事前学修 2.0hr：第 21 課の内容の復習、第 22 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 22 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 22 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
11回	**授業テーマ：第 23 課　〈生日晚会〉 誕生パーティー** 授業内容：「把 b ǎ 」構文の学習、方向補語(2)複合方向補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 22 課の内容の復習、第 23 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 23 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 23 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：第 24 課　〈看 DVD〉 DVD を見る** 授業内容：程度補語、可能補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 23 課の内容の復習、第 24 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 24 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 24 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：第 25 課　〈看病〉 診察を受ける** 授業内容：主述述語文、受け身表現の学習。 事前学修 2.0hr：第 24 課の内容の復習、第 25 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 25 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 25 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14回	**授業テーマ：第 26 課　〈回国之前〉 帰国前** 授業内容：「就要～了 jiùyào～le」、使役日表現の学習。 事前学修 2.0hr：第 25 課の内容の復習、第 26 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 26 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 26 課の単語を覚え、会話文を熟読する。 第 13 課～第 26 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第 13 課～第 26 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特に無し

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

前学期に引き続き、中国語「普通話」の基礎を学ぶための授業である。発音について復習した後に、より進んだ内容の講義と演習を行い、中国語の基礎を確かなものにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国の現状を広く理解するとともに、中国語で様々な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について広く知る。
2. 定語、状語、補語を加えた文を理解することができる。
3. 基本文型を応用して表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：中国語と中国文化** 授業内容：中国とはどのような国か、中国語とはどのような言語か、中国文化圏がどのように広がっているか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2 回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話において用いられる簡体字とピンインについて説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：主語、述語、目的語、状語などを用いて中国語の文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	**授業テーマ：要、想、在、従** 授業内容：助動詞を用いて願望を表現する方法を紹介し、さらに前置詞を状語として用いることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	**授業テーマ：完了** 授業内容：助詞「了」について、語気助詞としての用法と動態助詞としての用法を紹介し、完了の概念を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	**授業テーマ：能、会、可以** 授業内容：助動詞を用いて可能を表現する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7 回	**授業テーマ：経験、動量詞** 授業内容：動態助詞を用いて経験を表現する方法、および動量詞を補語として用いる方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8 回	**授業テーマ：給、対、正在** 授業内容：前置詞「給」「対」の用法と、副詞を用いて進行を表現する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9 回	**授業テーマ：着、要、快** 授業内容：動態助詞を用いて持続を表現する方法と、近未来の表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10 回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：結果補語の用法と語義について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11 回	**授業テーマ：様態補語、還是** 授業内容：様態補語の用法を説明し、さらに選択疑問文の構成方法を詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：方向補語の用法と語義を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：把、比** 授業内容：前置詞「把」「比」を紹介し、それらが状語として用いられることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：可能補語、二重目的語** 授業内容：可能補語の用法と、例外的な二重目的語について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：是と的** 授業内容：強調構文を構成し、動作の時間、場所、方法を強調する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

英語文化研究 A

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。
同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。
なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていても通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク（ひとかたまりのブロック）として気軽に発言できるようになることを目標に楽しく学びましょう。
※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ることで、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。
2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べることができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク（ひとかたまりのブロック）を用いて簡単な日常会話ができる。

▌履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること（常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません）
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと（内容を知っている前提で授業が進みます）
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

▌評価基準・方法

授業への積極的参加（授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等）：60 %
期末試験：40%（期末試験を受けないと単位の認定はできません）
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム）等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと
※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

▌フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon（ルーム等）または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む）

▌教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas
書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World（グローバル・マインドでひろがる異文化の世界）
出版社：松柏社
※常に授業で使用するため、必ず購入して持参してください

▌参考書

英和/和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：この授業の概要を説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有する。英語圏の国々の社会や文化について、何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※この日に教科書の紹介も行います 事前学修 2.0hr：シラバスを確認して、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次を読んで、各チャプターがどのような内容であるか確認しておく。
2 回	**授業テーマ：Chapter 1: Introduction (1)** 授業内容：教科書の使い方の説明、および各チャプターの内容を紹介する。教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	**授業テーマ：Chapter 1: Introduction (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	**授業テーマ：Chapter 2: The UK (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5回	**授業テーマ：Chapter 2: The UK (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 3: Ireland (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Chapter 3: Ireland (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 7: Australia (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 7: Australia (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Chapter 9: Singapore (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Chapter 9: Singapore (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：前期の総復習** 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

英語文化研究 B

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。
同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。
なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていても通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク（ひとかたまりのブロック）として気軽に発言できるようになることを目標に楽しく学びましょう。
※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ることで、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。
2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べることができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク（ひとかたまりのブロック）を用いて簡単な日常会話ができる。

▌履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること（常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません）
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと（内容を知っている前提で授業が進みます）
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

▌評価基準・方法

授業への積極的参加（授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等）：60 %
期末試験：40%（期末試験を受けないと単位の認定はできません）
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム）等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと
※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

▌フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon（ルーム等）または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む）

▌教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas
書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World（グローバル・マインドでひろがる異文化の世界）
出版社：松柏社
※前期/後期で共通です。常に授業で使用するので、後期からの新規履修生は必ず購入して持参して下さい

▌参考書

英和/和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：新規履修生に向けて、この授業の概要を改めて説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有して、英語圏の国々の社会や文化について何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※新規履修生がいない場合は前期の復習を行う。 事前学修 2.0hr：新規履修生は、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：新規履修生は、教科書を購入したら目次を読んでおく。継続履修生は、前期で学んだことを振り返っておくこと。
2 回	**授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	**授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	**授業テーマ：Chapter 10: India (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5回	**授業テーマ：Chapter 10: India (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 13: The USA (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 13: The USA (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 14: Canada (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 14: Canada (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：後期の総復習** 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

国際理解ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川　正純（おがわ　まさずみ）

▌授業の概要

世界で起きている戦争、差別、難民問題は、決して「遠い世界の話」ではありません。このゼミでは、世界で起きている出来事を、事実や背景から読み解く力を身につけます。話し合いを通して、「世界と自分とのつながり」を自分の言葉で考えていきます。人種や民族、多様性、多文化共生、難民問題、宗教が世界情勢に及ぼす影響などについて学び、国際問題を「感情」ではなく「背景」から考えられるようになります。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、異なる価値観を持つ人と話すことへの抵抗が少なくなります。正解を覚えるのではなく、考え、話し合いながら理解を深めていくゼミです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生などについて理解し、世界を正しく読み解く知識・スキルを身につける。

個別目標：1. 世界の情勢とその背景、多様性や多文化共生、宗教が世界に及ぼす影響などについて自分の言葉で話せる。

2. 国際問題を遠い話ではなく、自分とつながる話として捉えることができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1．世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生など異文化、人種・性などの多様性などに関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2．グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3．専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただしプレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、国際理解とは何か、経済と人間の尊厳** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、資源・経済の価値と、人間の尊厳・未来の価値を対比して考えるグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発途上国の状況について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本を取り巻く世界情勢** 授業内容：日本を取り巻く領土問題、日米同盟、日本の外交の取り組みなどについて解説した後、グループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く世界情勢などについてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界を正しく読み解く** 授業内容：クイズとグループワークにより、先入観や思い込みでなく、事実やデータに基づき正しく世界を読み解く視点を身につける。授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：世界情勢①　アメリカ、ヨーロッパの動向** 授業内容：アメリカ、ヨーロッパの動向、ウクライナ情勢について解説した後、国際情勢は、同じ出来事でも立場によって見え方が大きく異なることについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：欧米の状況についてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：世界情勢②　アジアの動向** 授業内容：中国を軸にしたアジア情勢と台湾、朝鮮半島、インドが、なぜ重要な場所になっているのかについて解説した後、国際問題を善悪や感情ではなく、国家の立場から考えて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：アジアの情勢について関連のニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：グローバルサウスの動向** 授業内容：グローバルサウスは、世界に大きな影響力を持つ存在で、国際秩序を左右する主体であることを解説した後、国際問題を国の立場と利害から考えられる視点について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：グローバルサウスについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：多文化共生について** 授業内容：多文化共生とは何か、なぜ差別が起きるのか、その背景にある不安や制度の問題について解説した後、私たちはどう向き合うべきかについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：多文化共生の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8回	**授業テーマ：ダイバーシティ(多様性)について** 授業内容：ダイバーシティ(多様性)とは何か、人種、民族、性の多様性について解説した後、授業テーマについて、自分の立場や日常生活と結びつけてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ダイバーシティ(多様性)について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

9回	**授業テーマ：難民問題について** 授業内容：難民問題に関するワークショップを実施し、難民問題に対する基礎的な事実を把握するとともに、日本の難民受け入れをめぐる状況について考える。その後、グループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：難民問題の関連の情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：宗教が世界に及ぼす影響** 授業内容：イスラム教、キリスト教、ユダヤ教が世界に及ぼす影響について解説した後、宗教が政治・社会問題に影響する理由ついてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：宗教紛争の本質** 授業内容：宗教紛争の多くは、宗教そのものが直接の原因ではなく、対立を正当化する論理として使われていることについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：「世界がもし 100 人の村だったら」ワークショップ** 授業内容：世界には、多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、そこには大きな貧富の差があることを、シミュレーション(疑似体験)のワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのか考える。 事前学修 2.0hr：世界情勢についてのニュースなどを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：各グループで関心がある国際問題を選定し、テーマとプレゼンテーションをする内容について話し合う。ディスカッションを基に第 15 回に発表するプレゼンテーションの資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションを行う国際問題のテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク:プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
15回	**授業テーマ：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。** 授業内容：プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

異文化実地研修 A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学と協定を締結している海外の大学等において、特定の分野について集中的な研修を行うとともに、異なる文化社会の側面に触れることにより、より高度な知識や技能を備えた国際社会に活躍する人材を育成することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。
個別目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌履修条件

GPA 及び修得単位等による出願資格を設ける。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌評価基準・方法

学部・学科、派遣先によって異なり、国内における事前・事後研修への参加及び派遣先での研修期間を修了することにより単位認定する。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （報告書の作成）

▌教科書

派遣大学等で別途指示する。

▌参考書

派遣大学等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

異文化実地研修

授業内容

60 時間相当分の研修内容とする。
派遣先、研修時期・期間及び認定される単位数等詳細については、履修の手引を参照すること。

事前学修

15 時間相当分の事前学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

事後学修

15 時間相当分の事後学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

法学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

社会のルールの一つである法は、私たちの生活の様々な場面で関わっている。そのため、法律に関する基礎的な知識や考え方を学ぶことは、社会生活を送るうえでも有用である。
この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解するし、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討することを目的とする。
また、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることを意識し、自分自身で考えてみるための基礎となる力を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を身に着けられるよう、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。
個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト)と期末試験の結果の合計(90 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(1)** 授業内容：憲法の役割と構造、人権(人権の種類、人権の制約、精神的自由、経済的自由、社会権) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(2)** 授業内容：統治(三権分立、立法権(国会)の役割、行政権と議院内閣制、司法権の役割) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(２)** 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、消費者保護のための特別法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(３)** 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(４)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、製造物責任法による消費者の保護 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法(１)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(２)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法とは、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：責任と裁判制度** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

日本国憲法

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

日本国憲法に関する身近な事例を素材とし、日本国民の権利義務や国家統治について学ぶ。
毎回の講義後、小レポートを条件に従い Manaba へ期限内に提出することが求められる。体育会の活動や就活、インターンなどで講義に出席できない場合や、履修修正などで遅れて履修を開始した場合には、必ず Manaba かメールで担当教員に連絡すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本国憲法に関する知識を習得し、客観的で公正な法的思考を会得する。
個別目標：(1) 日本国憲法が日本の国益を守り、国際未来社会における「この国のかたち」を描けていけるのか、各人が合理的な意見を創造する。
(2) 偏りのある意見や報道に惑わされることなく、日本の現実に即した憲法のあるべき姿について、各人が説明できる。
(3) 日々のニュースを憲法の観点からとらえ、自分なりの説明ができる。

▌履修条件

(1) 必ず指定された教科書を購入すること。教科書がないと、レポートが作成できません。
(2) 毎回の小レポートを、期限までに条件を守って本講義の Manaba の指定された提出先へ提出すること。

▌評価基準・方法

各自が所有する指定された教科書のみ持込可能である期末試験(60 %)、
毎回の講義終了後に提出する小レポート(30%)、
授業内の発言・姿勢(10%。講義内で教員により指名された際に真摯に回答しないと加点されない。)
毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

▌フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。）

▌教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：法学における憲法の位置づけ** 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：憲法改正のニュースについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：日本国憲法の基本原理と基本構造** 授業内容：日本国憲法の核となる原理と構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：天皇と譲位** 授業内容：我が国の象徴である天皇について、憲法はどのように規定しているのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：人権保障とその限界** 授業内容：人権や自由は人としての当然の権利である一方、絶対ではないことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：信教の自由と靖国神社参拝** 授業内容：宗教を信じる自由と信じなくても良い自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：表現の自由とプライヴァシー侵害** 授業内容：言いたいことを言う自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：婚姻の自由と同性婚** 授業内容：結婚とは男女の合意に基づくものであると日本国憲法が規定していることについて、LGBTQ の問題について、憲法が果たすべき役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：学問の自由と教育無償化** 授業内容：教育について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：社会権と勤労の義務** 授業内容：我々が労働するという行為について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：国会と参政権** 授業内容：立法府こそが国家権力の最高機関であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：内閣と行政機構** 授業内容：内閣総理大臣は日本で最強の権力者なのか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：司法府と裁判員制度** 授業内容：裁判所と国民の司法参加について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：地方自治と地方創生** 授業内容：地方分権を進めれば日本はより活性化するのだろうか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：憲法９条と集団的自衛権** 授業内容：憲法 9 条と平和主義、自衛隊、そして日米安保条約の存在意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：憲法改正とその必然性** 授業内容：憲法改正の歴史的・社会的必然性について学び、結論付ける。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

経済のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野口　尚洋 (のぐち　なおひろ)

▌授業の概要

本講義では、経済の仕組みについて理論と現実の両面から説明していきます。経済学の理論はミクロ経済学とマクロ経済学に大きく分けることが出来ます。前半はミクロ経済学の分野で市場の話を中心に説明していきます。後半はマクロ経済学の分野で日本の国全体の経済について説明していきます。「経済のしくみ」という講義名にあるように、経済学の理論だけでなく、経済学の理論を使って現実の経済のしくみを理解することを主眼に置き、なるべく身近な例を用いて説明していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：身の回りに起こっている経済の問題について、自分で考えを持てるようにことができるようになります。経済の話は、アルバイトなど普段の生活から、就職活動や就職後も常に関係するものです。そのときの判断の基礎となるものだと考えています。また、現実のデータやグラフを多く紹介する予定です。一般常識としての知識も得ることができます。

個別目標：身の回りに現実に起きている経済問に興味をもち，その理由を自分で考え，行動判断の基礎とできる。

▌履修条件

80 %以上出席することが履修条件です。また、経済学はグラフを多用しますので、自分で手を動かしながら自分で頭で考えることが重要です。したがって、主体的に授業に参加できる学生の履修を望みます。また、授業中に静粛を保てない学生の履修は遠慮下さい。

▌評価基準・方法

小テスト (30%)、期末試験 (70%) で評価します。学生の履修状況、講義の進度によっては中間試験を課すこともあります。また、原則 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件としますが、成績評価の対象にはしません。

▌フィードバック方法

小テストと期末試験のフィードバックは学習支援システム manaba を通して行いますので、必ず確認してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。プリントにより授業を行います。授業で使用したプリントは manaba のコースコンテンツにもアップロードいたしますので、欠席した回の授業に関するプリントは、各自ダウンロードし、プリント・アウトして下さい。

▌参考書

参考書は適宜指定します。代表的な参考書として以下を挙げておきます。

前半のミクロ経済学分野：安藤至大『ミクロ経済学の第１歩』有斐閣 2013 年

後半のマクロ経済学分野：柴田章久・宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣　2013 年

全体の参考書：伊藤元重 『入門　経済学　第４版』日本評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・履修に当たっての諸注意と授業内容全体の説明・経済学独特の考え方(インセンティブ)** 授業内容：授業内容の全体と注意事項等、履修にあたり必要と思われる内容を説明します。その後に授業を行います。また、授業中に DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：繰り返し，シラバスをよく読んでくること 事後学修 3.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認すること．経済学独特の考え方に触れる。manaba のアンケートの答える。
2回	**授業テーマ：経済学独特の考え方(トレード・オフ、交換の利益、機会費用)** 授業内容：貿易の比較優位の理論を例に、トレード・オフ、交換の利益、機会費用について説明していきます。具体的な数値例を用いて説明していきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを読み、インセンティブについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：トレード・オフ、機会費用について現実の実例を考える。期限までに、manaba の小テストを受験する。
3回	**授業テーマ：企業の諸費用費用と利潤最大化** 授業内容：企業の費用についてグラフを描きながら解説していきます。特に「限界」の概念は経済学で必須の概念ですので丁寧に説明していきます。その後に企業の利潤最大化行動を考えます。最後にオリエンタルランドを例にとり損益分岐点における入場者数を求めていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：各費用の図を自分で導出し、自分で描いてみる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
4回	**授業テーマ：市場の均衡と価格調整** 授業内容：市場についてみていきます。財の種類と需要曲線、供給曲線の変化の関係を分析していきます。また、次回の導入として、余剰の基本的な概念まで説明します。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：非常に大事な「余剰」の概念を復習する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
5回	**授業テーマ：余剰分析** 授業内容：余剰の概念について説明し、その後に課税の効果について説明します。内容的には「経済のしくみ」の中で最も難しい内容だと思いますが、経済学の独特の考え方につながりますので、しっかり授業を聞いてください。 事前学修 2.0hr：供給曲線と需要曲線の導出をもう１度確認する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題に関して、余剰の図を自分で描き、消費者余剰・生産者余剰・総余剰について確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
6回	**授業テーマ：保険のしくみ** 授業内容：消費者の効用最大について簡単に触れ、その後、保険のしくみと情報の非対称性について説明していきます。 事前学修 2.0hr：限界の概念をもう一度復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。情報の非対称性があるときの対策をまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
7回	**授業テーマ：ゲーム理論について理解する** 授業内容：色々な例を交えながらゲーム理論について説明していきます。具体的にはナッシュ均衡をメインに説明していきます。 事前学修 2.0hr：第４回の配布プリントの問題を解きながら、企業の利潤最大化をもう１度確認する 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。

8回	**授業テーマ：経済をマクロからとらえる** 授業内容：この回からはマクロ経済学の分野に入ります。GDP など一般常識として知っておくべき言葉の説明と戦後の日本経済の歩みについて説明していきます。 事前学修 2.0hr：配布プリントの GDP 成長率の図の指定の年に何があったか調べておく。 事後学修 2.0hr：戦後、日本の GDP の動きと、GDE と GDI の各構成要素のデータを調べる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
9回	**授業テーマ：財市場の分析** 授業内容：財市場を分析し、GDP の大きさがどのように決まるのかを説明する。その後、財政政策の効果について説明する。 事前学修 2.0hr：公共事業の具体例や減税についての近年の各党の主張を調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、財政政策の有効性を確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
10回	**授業テーマ：貨幣市場の分析** 授業内容：貨幣とは何かから始まり、貨幣市場の説明をしていきます。実際に日本銀行のホームページを見ながら貨幣の歴史も振り返ります。 事前学修 2.0hr：日本銀行のホームページから貨幣博物館のサイトへいき、貨幣の歴史について調べる。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、貨幣の需要と供給、金融政策についてまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
11回	**授業テーマ：物価の変動と失業を理解する** 授業内容：物価とインフレについて実際のデータを見ながら解説していきます。また、労働市場についても説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 8 回のプリントから物価の上昇した時期と低下した時期にどのような経済的出来事があったかを調べておく。 事後学修 2.0hr：インフレとデフレの仕組みと影響，労働市場について復習しておく。期限までに、manaba の小テストを受験する。
12回	**授業テーマ：利子、債券、株についての理解する。** 授業内容：複利計算を説明していきます。また、債権と株の違いを説明し債券価格と株価の決まり方を説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 6 回講義の余剰を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
13回	**授業テーマ：為替レートの決定と貿易の関係を理解する。** 授業内容：為替レートの決定を短期と長期に分けて説明します。また、為替レートの変動が貿易に与える影響についてもみていきます。さらに、国際収支統計を確認し、現在に日本の貿易状況を説明します。 事前学修 2.0hr：第 2 回のプリントから、絶対優位・比較優位の理論を復習する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
14回	**授業テーマ：日本の財政と社会保障制度** 授業内容：現実の日本財政を予算、税、国債、プライマリー・バランスに分けて解説していきます。また、年金を中心に社会保障制度についても触れていきます。 事前学修 2.0hr：第 7 回講義の保険のしくみを復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
15回	**授業テーマ：これまでの復習と授業内試験** 授業内容：これまでの復習を行い、授業内試験を実施後その解説を行う。 事前学修 3.0hr：manaba で受験した小テストをもう一度復習する。manaba で配布する昨年度の問題を解いて答え合わせを行う。 事後学修 2.0hr：授業内試験で間違えた問題をもう一度解き直し、理解を深める。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

私たちが生活している社会の仕組みは、そのほとんどが「法律」によって作られている。この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解し、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討する。履修者が社会生活を送るなかでかかわる法律の仕組みを正確に、またより深く理解することができるようになるという「社会人基礎力」と、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることができるようになる「論理力」を身に着けることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を涵養するために、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。

個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト、40 %)と期末試験の結果の合計(80 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：取引社会と法(2)** 授業内容：契約の成立をめぐる問題：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(3)** 授業内容：消費者を保護するための法、制限行為能力者制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(4)** 授業内容：契約成立後の法律関係：履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：金銭の貸借に関する制度：人的担保、物的担保、割賦販売法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法 (1)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(2)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法の役割、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：裁判の役割** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係、社会保障に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態、社会保障制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

絶えず変化し複雑化する日本社会の特徴を多角的に捉えることを目的とし、その背景や要因、今後のあり方について考察する。毎回、特定の社会領域に焦点を当て、資料の読解を通して理解を深めるとともに、日本語で自分の意見を整理し、クラスメートと意見交換を行う。コース前半では基礎的な語彙や表現の定着を確認する小テストを実施し、後半ではグループまたは個人による学習成果の発表と質疑応答を通して、学びを深化させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本の現代社会におけるさまざまな問題について正しく理解し、適切な判断、提言ができる。

個別目標：(1) 現代社会における問題を取り上げた資料を正確に読み取ることができる。
(2) 現代社会における問題について資料を集め、因果関係、取り組みなどを体系的に整理できる。
(3) 集めた資料をもとに、倫理性に配慮しながら他者に向けて自分の言葉で説明したり自分の立場でできることを提言したりできる。
(4) 他者との意見交換を通じて自分とは異なる価値観や考え方について比較対照し、一定の理解ができる。

▌履修条件

留学生である。
manaba の情報を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
積極的に発言する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題の内容 30%、発表 20 %、授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業および manaba から行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表準備の回で利用する。また、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

開講時に提示する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、テスト** 授業内容：授業目標、授業の進め方を伝える。現在の社会の中で自分はどのような立場でどのような役割を担っているのか考え、考察する。 事前学修 2.0hr：日本の新聞を読んで現代社会の問題をみつける。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：深夜営業** 授業内容：現代社会における深夜営業の役割を取り上げ、利便性や経済効果と、労働環境・地域社会への影響の両面から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：家族関係** 授業内容：社会集団としての家族の定義や範囲の多様性を踏まえ、核家族化が進む日本における家族関係の特徴や背景、家族に求められる役割を資料から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：若者言葉** 授業内容：若者言葉を社会集団の言語使用の一例として取り上げ、その特徴や生まれる背景、世代間の認識の違いを資料から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：学校** 授業内容：日本の学校制度と世界の学校制度を比較して日本の学校の特徴を明らかにし、あわせて日本の学校が抱える課題とその背景を資料をもとに考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：ジェンダー** 授業内容：性別による社会的格差を取り上げ、その背景を複数の概念やデータから読み解き、社会において平等や公平性が十分に保たれていない場面について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：人間関係** 授業内容：大人にとっての「友達」の数や偏りを踏まえて検討し、「友達」に限らない多様な人間関係に着目しながら、日本社会における人間関係の特性や課題について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：情報通信インフラ整備と社会** 授業内容：情報通信インフラ整備を取り上げ、社会における利便性や公共性と、地域住民の不安や対立の関係を資料から読み解き、考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：格差社会** 授業内容：日本人の階層意識が「一億総中流」から格差社会へと変化してきた経緯を学習したうえで、格差拡大の現状や背景について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：経済・働き方** 授業内容：日本の経済的活力の長期的推移を示す資料を読み、働くことへの考え方を他国と比較して分析し、日本の働き方の特徴を整理したうえで、将来の働き方について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：政治・社会参加** 授業内容：「民主主義」とはどのようなものかいくつかの議論を参照する。日本の若者の政治意識を検討し、なぜ若者の政治意識が低調になっているのかいくつかの仮説を読んで、意見をまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：発表準備①データ収集** 授業内容：これまで学習してきたテーマの中から関心のある課題を選び、問題意識を明確にしたうえで問いを立て、関連する資料を収集・整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：発表準備②資料作成** 授業内容：集めた資料を整理し、発表原稿を書く。その後、ポスターとしてまとめる。原稿、ポスターをもとに話し方の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：発表** 授業内容：質問の種類や目的、適切なタイミングとマナーについて学んだうえでポスター発表会を実施する。発表では質疑応答を通して相互理解を深め、建設的な議論を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：学習のまとめと振り返り** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの学習内容を総合的に振り返り、ノートを整理しながら理解の定着を確認する。あわせてテストを実施し、知識や思考の変化を振り返ることで、自らの学習の成果や成長を実感する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

政治のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

河野　武司 (こうの　たけし)

▌授業の概要

本講義では、政治のしくみ(制度と過程)について、理論と現実の両面から説明します。具体的には、日本政治を前提に、選挙制度など代議制民主主義を支える様々な制度や、政・官・財の「鉄の三角関係」、メディア、インターネットなどが政策決定に及ぼす影響を中心に、政策決定における現実について紹介していく予定です。その際、必要に応じて、政治に関する専門用語や理論を解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本政治の現実を理解し、他者に対してどうしてそうなのかを理論的に説明できる力を身に付けていただければと思っています。
個別目標：選挙において、主体的に選び、投票することができる情報を持った有権者となることを目指していただければと思っています。

▌履修条件

私が話したこと、板書したことを要領よくまとめ、自らの手でこの講義を受講したことの証としてのノートを作成して、持込可を予定している期末試験に臨んでください。ノートを充実させるにあたっては、授業中や予習・復習での生成 AI の活用を推奨します。そのため、授業中のスマフォや PC の利用を認めます。

▌評価基準・方法

期末試験 (80 %)、平常点(20 %：私からの質問に対する回答や疑問点に対する問題の提起といった普段の受講態度、場合によっては小テストも実施し、その結果も含める場合があります)で評価します。

▌フィードバック方法

定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

授業中に適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(インセンティブ)** 授業内容：・履修に当たっての諸注意と授業内容の説明。 事前学修 2.0hr：シラバスを繰り返し読んでおいてください。 事後学修 2.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認してください。
2回	**授業テーマ：政治とは何か** 授業内容：・政治と国家→政治概念論争、様々な政治の定義の紹介 事前学修 2.0hr：アリストテレスによる「ポリスを必要としない者は、神か野獣に違いない」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：自らの政治に関する定義について考えてください。
3回	**授業テーマ：民主主義とは何か** 授業内容：・プラトンが理想とした哲人王による政治は民主主義か、直接民主制と間接民主制の長短 事前学修 2.0hr：民主主義とは何かについて考えておいてください。 事後学修 2.0hr：民主主義に関する説明を整理してください。
4回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ①** 授業内容：・立憲主義、三権分立、様々な政治システム(大統領制、半大統領制、議院内閣制)、議会における一院制と二院制 事前学修 2.0hr：「絶対的権力は絶対的に腐敗する」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：日本に首相公選制が相応しいか否か考えてみましょう。
5回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ②　様々な選挙制度** 授業内容：・代表の意味(国民代表、地域代表、職能代表)、様々な選挙制度(小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、混合システム) 事前学修 2.0hr：日本の衆議院の選挙制度(小選挙区比例代表並立制)について調べておいてください。 事後学修 2.0hr：日本の衆議院に相応しい選挙制度について、自身の考えをまとめましょう。
6回	**授業テーマ：日本の選挙の諸問題** 授業内容：・政治的景気循環と政治的波乗り(7 条解散の是非)、一強多弱、重複立候補の是非 事前学修 2.0hr：自身が特に感じる日本政治における問題点を一つ挙げてみましょう。 事後学修 2.0hr：自身が挙げた日本政治の問題点の解決策について考えましょう。
7回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ③　政党** 授業内容：・政党システム論とデュヴェルジェの法則、日本の政党システムとしての 55 年体制 事前学修 2.0hr：55 年体制について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：日本の政党システムにおける問題点についてまとめましょう。
8回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ④　民主的選挙の 5 原則** 授業内容：・普通選挙、平等選挙、直接選挙、秘密選挙、投票の自由 事前学修 2.0hr：間接投票を採用しているアメリカの大統領選挙のしくみについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：義務投票制の是非について考察してみましょう。
9回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ⑤　投票参加** 授業内容：・投票参加の計算式(期待効用モデル)、投票率の向上策 事前学修 2.0hr：投票参加の計算式について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：自身のオリジナルな投票率の向上策について考えましょう。
10回	**授業テーマ：民主主義を支える仕組み⑥　投票方向の決定** 授業内容：・選挙における選択の基準(支持政党、争点、業績評価、選挙区に利益をもたらす政治家か否か) 事前学修 2.0hr：自身の過去の選挙における投票を振り返っておいてください。 事後学修 2.0hr：どのような基準で投票を行うのがよいかについて考えてみましょう。
11回	**授業テーマ：政策決定における諸問題①　メディアの役割** 授業内容：・メディアは政府の活動を監視する番犬か、政府の飼い犬か、選挙におけるアナウンスメント効果 事前学修 2.0hr：メディアの報道によって自身の考えや行動が変わったことがあるか否かについて思い出してください。 事後学修 2.0hr：メディアの政治的役割について自身の考えをまとめましょう。

12回	**授業テーマ：政策決定における諸問題②　選挙政治と利益団体政治** 授業内容：・圧力団体政治と鉄の三角形、利益団体自由主義（多元主義と労働抜きのコーポラティズム） 事前学修 2.0hr：アメリカで最大の利益団体として知られる全米ライフル協会について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政策を巡る自由市場が機能するか否かについて考えましょう。
13回	**授業テーマ：政策決定における諸問題③　利益の集中とコストの分散** 授業内容：・市民における合理的無知と政策決定における反消費者生産者支持の偏向、利益の組織化と政治的企業家 事前学修 2.0hr：孔子の「民は之に由らしむべし、知らしむべからず」という言葉を調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政治現象を合理的選択という観点から説明することの妥当性について考えましょう。
14回	**授業テーマ：インターネットと民主主義** 授業内容：・インターネットは民主主義の敵か、インターネットが可能とする新しい民主主義の形（陪審制デモクラシー、カウンターデモクラシー） 事前学修 2.0hr：キャス・サンスティーンが書いた『民主主義はインターネットの敵か』の内容について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：インターネットを利用した 21 世紀にふさわしい新たな民主主義のしくみについて自身で考えてみましょう。
15回	**授業テーマ：授業の総括と質疑応答** 授業内容：まとめとして、これまでの授業内容を振り返るとともに、受講生からの質問に答えます。 事前学修 3.0hr：自らがまとめたノートを確認し、疑問点を抽出しておいてください。 事後学修 3.0hr：自らがまとめたノートを試験に備えて完成させ、繰り返し確認してください。

社会思想史

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

上野　大樹 (うえの　ひろき)

▌授業の概要

経済学をはじめとする社会科学を学ぶ上で必須となるのが、近代社会についての思想・理論についての理解である。本講義では、社会思想・社会理論・経済思想・政治思想について歴史的な視点から学んでいく。今日われわれが生きている複雑な社会をトータルに理解するためには、表層的な現象面だけでなく、その背景にある構造を把握する必要がある。しかし、経済学を含む社会科学は専門分化が著しく、個々の専門科目を修めていくだけでは社会の全体像をつかみ取ることは容易ではない。本講義では、社会について総合的・学際的な視点から分析を重ねた思想家たちの考えを、その歴史的背景とも関連づけながら詳しく紹介していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：(1) 社会を総合的な視点から理解するための思想・理論について理解を深める。
(2) 人類社会の歴史的・段階的な発展について、俯瞰的な視座から把握することができる。
(3) 経済や政治など機能分化した諸領域と全体社会との関係について、歴史的な観点から説明することができる。

個別目標：(1) 古代ギリシア・ローマ世界の思想・文化がその後の世界にどのような影響を与えたのかを理解し、説明できる。
(2) ヨーロッパで出現した近代社会の基本的な特徴について、歴史的な観点から把握し説明することができる。
(3) 近代社会の経済面での大きな特徴である資本主義・産業化について、アダム・スミスやカール・マルクスといった社会思想家がどのように分析を行ったのかを理解し、説明できる。
(4) 20 世紀以降の人類社会・地球社会が直面するさまざまな課題について、本授業で学ぶ社会思想家の考え方や理論を用いて自分なりの見解を提示することができる。

▌履修条件

高校世界史(あるいは歴史総合)の教科書を復習しておくことが望ましい。特に 15・16 世紀から現代史まで。

▌評価基準・方法

期末試験 60 %、授業内容を振り返るための小レポート(3 回程度) 30%、授業時の積極的な参加や質問 10 %

▌フィードバック方法

小レポートの内容や授業後に受けた質問について各回の授業冒頭等で全体と(匿名で)共有して答えるとともに、以降の授業内容にも適宜フィードバックを行っていく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

【前期】大澤真幸『社会学史』(講談社現代新書、2019 年)
【後期】木村俊道『西洋政治思想の文脈』(放送大学教育振興会、2025 年)

▌参考書

山脇直司『ヨーロッパ社会思想史　新版』(東京大学出版会、2024 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：社会思想史・概論** 授業内容：社会思想史とはなにか？　なぜ社会思想史を学ぶのか？ 事前学修 2.0hr：【前期】インターネットの検索エンジンなどを使って、「社会思想史」についての事典上の定義を複数(3 つ以上)調べてきてください。／【後期】第 1 章「西洋政治思想の探究」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：教科書を入手し、まずは序と目次を熟読する。本書序文の内容と授業で説明したこととがどのように関連するか、あるいは異なる部分があるとすればどこか、考えてくること。
2 回	**授業テーマ：現代の社会問題と社会思想の視点** 授業内容：現代社会における医療・福祉に関する諸問題を取り上げ、社会思想の歴史からみたときに何が言えるのかを考える。それを通じて、社会思想史を学ぶことのアクチュアリティを理解する。 事前学修 2.0hr：【前期】現代日本の医療・福祉や社会政策について昨今どのようなことが問題となっているか、調べてくる。／【後期】第 2 章「デモクラシーの系譜」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、あらためて現代日本の医療福祉の課題や将来像について考えてみる。
3 回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの政治思想** 授業内容：政治や国家の語源ともなったポリス(都市国家)で展開された民主主義・共和主義とその思想的基盤について学ぶ。 事前学修 2.0hr：【前期】『社会学史』第 1 部・1「古代の社会理論　アリストテレス」を読んでくる。理解できた点と分からなかった点を腑分けしておく。／【後期】第 3 章「政治と教養」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
4 回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの経済思想と社会思想** 授業内容：公的領域で展開された政治に比して、大家族を中心とした私的領域で営まれた経済活動への評価は低かったが、現代の家政学や経営学にも通じる理論を展開した古代の思想家を概観する。 事前学修 2.0hr：【前期】前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。／【後期】第 4 章「ポリスの政治学」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：配布資料を読む。
5 回	**授業テーマ：中世の社会思想** 授業内容：宗教(特にキリスト教)と世俗社会の関係について学ぶとともに、キリスト教世界のもとでの政治と経済の位置づけについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：【前期】前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。／【後期】第 5 章「レス・プブリカ」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：今回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。
6 回	**授業テーマ：社会契約論 (1)：ホッブズ・ロック** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第 1 部 2「社会契約の思想」を読んでくる。／【後期】第 6 章「帝国とキリスト教」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
7 回	**授業テーマ：社会契約論 (2)：ルソーとフランス革命** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第 1 部 2「社会契約の思想」を再読してくる。／【後期】第 7 章「キリスト教共同体」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：高校世界史の教科書をもとに市民革命(英米仏の諸革命)と産業革命について復習する。

8回	**授業テーマ：社会契約説批判と歴史社会学の誕生** 授業内容：スコットランド啓蒙について学ぶ。 事前学修 2.0hr：【前期】配布資料を読む。／【後期】第 8 章「ルネサンスと人文主義」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
9回	**授業テーマ：アダム・スミスと経済学の生誕** 授業内容：ヒュームとアダム・スミスの社会思想・歴史叙述・政治経済学について概観する。 事前学修 2.0hr：【前期】配布資料を読む。／【後期】第 9 章「統治のアート」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
10回	**授業テーマ：社会科学の誕生と初期社会主義の潮流** 授業内容：フランス革命以降の産業社会・労働社会をめぐる思想と実践について概観する。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第１部３「社会科学の誕生」を読んでくる。／【後期】第 10 章「『リヴァイアサン』と『ビヒモス』」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、もう一度教科書の該当箇所を再読する。
11回	**授業テーマ：スミスからマルクスへ** 授業内容：労働価値説と古典派経済学に対する 19 世紀産業革命以降の批判的展開について、ドイツを中心に理解する。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第１部４「マルクス」を読んでくる。／【後期】第 11 章「統治と寛容」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
12回	**授業テーマ：ヴェーバーとジンメルにおける社会学の誕生** 授業内容：18 世紀の啓蒙思想や 19 世紀前半の社会主義・産業主義の思想を踏まえて、近代知としての社会学がどのように出現してきたかを 19 世紀後半以降のドイツに焦点を当てて理解する。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第２部３「ジンメル」、４「ヴェーバー」を読んでくる。／【後期】第 12 章「アンシャン・レジームと啓蒙」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
13回	**授業テーマ：ヴェーバー、フロイト、デュルケーム** 授業内容：社会学と精神分析の関係について、世紀末の時代背景を把握しつつ理解を深める。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第２部１「フロイト」、２「デュルケーム」を読んでくる。／【後期】第 13 章「文明社会」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
14回	**授業テーマ：社会システム論の誕生** 授業内容：20 世紀の社会学、特にパーソンズの構造機能主義と、現象学を基盤とするミクロ社会学の展開について学ぶ。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第３部１「パーソンズ」、２「〈意味〉の社会学」を読んでくる。／【後期】第 14 章「独立・建国・革命」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
15回	**授業テーマ：社会システム論の発展** 授業内容：フランス現代思想の基礎を学び、さらにルーマンによる社会システム論の「転回」についてポストモダンの時代状況と関連づけながら理解を深める。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第３部３「意味構成的なシステムの理論」、４「社会学の未来に向けて」を読んでくる。／【後期】第 15 章「西洋近代の風景」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。

日本企業論

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

粟沢　尚志（あわさわ　たかし）

▌授業の概要

本科目は教育目標「人間力形成」達成のための科目です。日本企業の過去・現在・未来に関心をもつ学生を対象に、経済学と経営学の二つの分析視点から、日本企業の組織・行動・成果を体系的に理解するために必要な幅広い教養的知識・技能のほかに、主体的に学ぶ能力の養成を目指しています。授業で探究する主な課題は、日本企業の特徴、グローバル市場での外国企業との競争と協調、組織と戦略の独自性がもたらすイノベーションという日本企業が直面する課題です。特に、「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一の経営哲学「論語と算盤」を学ぶことから、日本型経営の特徴やその強みを理解できるようにします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：(1) 日本企業の活動を理解するために必要となる経済学と経営学の基本的な考え方を身につけることができる。
(2) 日本の企業・取引システムの歴史と現代日本企業の課題を理解するために必要な基礎的な知識と技能を修得することができる。
(3) 渋沢栄一の経営哲学「論語と算盤」を学ぶことから、日本型経営の特徴やその強みを理解できる。
(4) 競争戦略論やマーケティングの基礎を、日本企業というケーススタディから修得することができる。

個別目標：(1) 日本企業に特徴的な雇用や生産などを理解するのに必要となる経済学的及び経営学的要素を説明できる。
(2) 日本企業の組織と戦略とイノベーションの相互関係を解明する複数の理論モデルを説明できる。
(3) 日本に強く見られる経営倫理観（渋沢栄一の道徳経済合一説）を理解し、その今日的な実践（たとえば SDGs）を卒業後に実践可能にする。

▌履修条件

履修に必要な予備的知識として、日本経済新聞などを通じて日本企業に関する現実の動きをフォローすることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎週の課題 60 %、最終試験 40 %の合計点から評価する。ともに出題も採点も manaba を用いる。

▌フィードバック方法

manaba を通じて採点結果や必要に応じてコメントをフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定なし。

▌参考書

加護野忠雄・山田幸三編『日本のビジネスシステム』有斐閣、2016 年.
丸山雅祥『経営の経済学　第 3 版』有斐閣、2017 年.
加藤健太・大石直樹『ケースに学ぶ日本の企業』有斐閣、2013 年.
橘川武郎・平野創・板垣暁編『日本の産業と企業』有斐閣、2014 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ダイキンエアコン** 授業内容：ダイキンエアコンが「人」を中心とした経営と競争戦略で成功したことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
2 回	**授業テーマ：小松製作所** 授業内容：小松製作所が強みの「組み合わせ」で強力な差別化に成功したことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
3 回	**授業テーマ：ヤマト運輸** 授業内容：ヤマト運輸の源流となるビジネスモデルが、渋沢栄一の経営哲学の特徴である「先義後利」と同じであることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
4 回	**授業テーマ：伊那食品工業** 授業内容：伊那食品工業の「年輪経営」から（渋沢栄一の経営哲学に基づく）長期的な利益の大切さを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
5 回	**授業テーマ：村田製作所** 授業内容：企業という組織内に人の持つ「知」を蓄積することで、企業に強さ（競争優位）を生み出すことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
6 回	**授業テーマ：公文（くもん）** 授業内容：教育サービスにおける公文のビジネスモデルの独自性について経営学から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
7 回	**授業テーマ：ルミネ** 授業内容：ルミネの強さをコーペティション戦略（協調と競争の組み合わせによって競争優位を高めるような戦略）から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
8 回	**授業テーマ：ベネッセ** 授業内容：ベネッセが出版、模試、通信教育、介護へと多角化に成功してきた理由やメカニズムを経済学と経営学から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
9 回	**授業テーマ：トヨタ** 授業内容：トヨタの経営の特徴を同社の「パーパス」「ヴィジョン」「ミッション」から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）

10回	**授業テーマ：サイゼリヤ** 授業内容：サイゼリヤの経営の特徴(＝強さの理由)を競争戦略論から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
11回	**授業テーマ：スバル自動車** 授業内容：スバル自動車の経営の特徴(＝強さの理由)を「共通善」の追求という経営戦略から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
12回	**授業テーマ：アサヒビール** 授業内容：アサヒビールが業界第 1 位に登りつめた戦略(＝ポジショニングアプローチ)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
13回	**授業テーマ：『ビジョナリーカンパニー』を読む** 授業内容：全世界でベストセラーとなったビジネス書である『ビジョナリーカンパニー』を読んで日本型経営の特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントを用いた予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
14回	**授業テーマ：銚子電鉄** 授業内容：銚子電鉄の経営戦略を渋沢栄一の経営哲学から読み解くことで、地域に根差すローカル鉄道の生き残り戦略を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
15回	**授業テーマ：企業とは「社会の公器」：明治の偉人たちから学ぶ** 授業内容：明治時代の研究者(北里柴三郎と高峰譲吉)と実業家(渋沢栄一)から企業経営における長期的利益の重要性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

池田　和子（いけだ　かずこ）

▌授業の概要

本講義は、人文地理学のなかでも環境と人との相互作用に焦点を当てる。本講義での「環境」は、自然環境にとどまらずそれまでに蓄積された地域の資源や既存の産業、人々の行動様式などを含む。

講義は 2 つの柱からなり、1 つは事例研究を通じて変化の具体的なプロセスとその背景にある地理的な考え方を学習する。もう 1 つは地図の技能に関わるもので、地域の特徴やその変化を地図からよみとる。また作図から、効果的な図とは何かを学んでいく。

なお、2026 年度は前期のみの開講となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：地域を観察し、地域の個性が多様な要素の絡み合いから生じ、変化し続けている様子を捉えられるようになる。地域をよみとくための基礎知識を習得する。
地図、特に地形図を読むための基礎知識を習得する。また主題図の作図に関する基礎知識を習得し、効果的な作図について工夫できるようになる。

個別目標：・地理的スケールを意識しながら地域を観察することができる。
・地図や統計などの資料を読みとることができる。
・書かれた内容を適切に理解し、自分の考えを述べることができる。
・与えられたテーマについてグループディスカッションができる。

▌履修条件

高校で地理を履修していなくても構いませんが、積極的に学ぶ姿勢を求めます。

▌評価基準・方法

平常評価（講義中の課題）40%、最終試験（教場）60%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

講義での課題に対するフィードバックは翌週の講義中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、地図の作図・読図）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計検索、ウェブ GIS の活用）

▌教科書

なし。配付資料にて行う。

▌参考書

適宜指示する。

高校生向けの地図帳や参考書があれば理解を助ける。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：(大学の)地理学とは、本講義の内容や評価方法について理解する。 事前学修 2.0hr：これまでに学校で学んだ「地理」のイメージや印象を考えてみる。 事後学修 2.0hr：「地理」のイメージが変化したかや、授業の内容から考えたことを文章にまとめてみる。
2 回	**授業テーマ：地形図の基本と山地の地形** 授業内容：地形図の基礎を学び、紙の地形図で尾根や谷を見分ける。また地理院地図も使ってみる。 事前学修 2.0hr：「地形図」とは何かを確認する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で関心のある場所を見てみる。
3 回	**授業テーマ：浦安を知る①／地理院地図と低地の地形** 授業内容：地形図の基礎を学び、実際に浦安の地形図を読みとる。また低地の土地利用について学ぶ。 事前学修 2.0hr：地理院地図で山と平野の図を見比べて、印象の違いや使用される地図記号の違いを検討する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で機能のいくつかを利用してみる。
4 回	**授業テーマ：浦安を知る②／「地図感覚」をやしなう** 授業内容：時期の異なる浦安の地形図を比較し、浦安がどのように変化してきたかを読みとる。また、感覚的に地形図を理解することについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地形図に関する課題に取組む。
5 回	**授業テーマ：浦安を知る③多面的に理解する** 授業内容：浦安の変化を資料から読みとり、地形図の変化にどのように表現されるのかを理解する。 事前学修 2.0hr：浦安市内を歩いて、地図と実際の景観の対応を確認したり、まだ行ったことのない場所を観察する。 事後学修 2.0hr：自分に身近な別の場所を例に調べ、授業の内容があてはまることがあるかを考える。
6 回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域①／統計データの利用** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。論文で扱われている統計にはどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心のある事柄について、統計情報を探してみる。
7 回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域②／統計データの分析** 授業内容：工業立地の基礎と、事例となる産業の特徴、戦後日本の工業発展について学ぶ。これを踏まえて改めて論文の内容を理解する。また論文で扱われている統計データを実際に分析してみる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：6〜7 回目を通して、考えたことをまとめておく。
8 回	**授業テーマ：主題図と GIS（地理情報システム）の利用** 授業内容：主題図および、GIS による作図と分析について学ぶとともに、実際にウェブ GIS を使うなどして主題図を作成する。 事前学修 2.0hr：主題図とは何か調べてみる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。
9 回	**授業テーマ：よい主題図について検討する** 授業内容：地図の表現にこだわり、適切でわかりやすい主題図にする工夫を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の事後学修で感じたことや考えたことをまとめる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域①** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：身近なサービス業の場について、授業の内容があてはまるか異なるかを考える。
11回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域②** 授業内容：事例となる産業の、立地の基礎や産業史、近年の動向について理解する。これを踏まえて論文を精読する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：これまで学んだ事例の、産業としての違いを考える。
12回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域③** 授業内容：扱う実証研究論文に関係する、発展的な知識について学ぶ。環境と人間との関わりとその変化について、より抽象的に理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：10～12 回目を通して、考えたことをまとめておく。
13回	**授業テーマ：時計の歴史①と地図・緯度・経度** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地図や特に緯度・経度との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
14回	**授業テーマ：時計の歴史②と地球・標準時・暦** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地球を知ることや標準時・暦との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体のまとめ、試験について 事前学修 3.0hr：これまでの復習をしておく。 事後学修 3.0hr：これまでに学んだことへの理解を深める。

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

地理と環境(留学生クラス)では、文章、図版、データ、写真など様々な情報を統合し、様々な現代的なテーマのシステム的な理解をすることで、現実世界の諸事象の観察や洞察を行う力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：自然と人文環境の両者を理解できるような複眼的な思考ができる。

個別目標：(1) 様々なスケールごとに人と環境の関わりについて、情報を深く読み取り、課題の解決方法を理論的に表現できる。
(2) 文章、地図、図表、写真、統計データなどの資料を集め、倫理性に配慮し、活用できる。
(3) 地図、統計データ等の情報を処理し文章と統合して、内容を正確に理解する。
(4) 課題達成のために他者との協働作業を行うことができる。
(5) 地理と環境に対するシステム的な思考力を適切に評価し、計画をたて、能動的に学習し、正しく振り返ることができる。

▌履修条件

毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
manaba のコースニュースでの連絡を読む。
課題等の提出期限を守る。
使えるリソースを適切に利用する。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）50%、最終試験 50%の割合で評価する。
詳細は第 1 回授業で説明をする。

▌フィードバック方法

毎回、コメントシートで質問等を受け付ける。
課題及び試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コンセプトテスト・ピアインストラクション・コメントシート・ジグソー活動）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地図、データなどの検索に利用する。）

▌教科書

高橋伸夫ほか　『改定新版ジオグラフィー入門』古今書院

▌参考書

授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：科目の概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行い、事前テストを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク・アンケート 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
2回	**授業テーマ：人間環境と人間社会** 授業内容：地形、気候などの自然環境と政治、経済活動などの社会環境との関わりを複眼的に分析する、という地理学の本質的な考え方を理解する。高知県を例にとって日本の産業構造の変化を自然条件、社会条件から分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：日本を縮める新幹線** 授業内容：日本の新幹線の延伸を年代別の地図から読み解く。時間距離という概念を理解し、新幹線の延伸の背景にある、日本の人口分布の変化、鉄道を用いた物流システムの変化などから日本経済の発展を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：分布図で見るオーストラリア** 授業内容：オーストラリアの人口分布と耕地の分布を比較する。鉱業、畜産業などの分布図と地域ごとの産業構造を比較した表を対照させてオーストラリアの自然条件と産業構造を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：選挙にみる地理学** 授業内容：衆議院総選挙結果と人口指標の推移、地域別投票率、政党別獲得議席数などから日本の政治の地域性を理解する。一票の格差、ゲリマンダー選挙区など選挙制度上の問題について考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：人々の行動を分析する** 授業内容：社会生活基本調査による生活時間の増減と男女有業者の週平均活動時間から日本人の生活活動の分析を時間の側面から把握する。それにパーソントリップ調査を加えて、子どもを持つ夫婦の生活を時間移動から分析し、日本の少子化問題を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・レポート・コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：頭のなかの地図** 授業内容：人間が頭の中に持つ認知地図の要素、構造を理解し、いかに形成されるか、どのような要因で認知地図の歪みが生じるかを事例から理解する。認知地図がサーベイマップなのかルートマップなのかという議論を学ぶ。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：地図は語る** 授業内容：縮尺、地図記号など地形図の見方の基本を学ぶ。1961 年、1970 年、1994 年の浦安市の地形図を比較し、漁師町から住宅・文教・レジャー施設を持つ海浜ニュータウン地域へと変容した浦安の都市化を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。

9回	**授業テーマ：地形図の読み取り** 授業内容：同じ地域の年代の異なる地形図を読み取り、その地域における産業の変遷などを推測する。ジグソー活動によって、他の学習者と協力してタスクシートを完成させる。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
10回	**授業テーマ：人はいかに分布するか** 授業内容：人が居住する範囲であるエクメーネにおける人の分布を表す方法として、人口密度、一人あたり面積、人口接近度などの用語を学び、各国のデータを用いて実態を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：人は移動する** 授業内容：移動者数の推移や地域ごとの人口変動のタイプから、地方の中心県が周辺県からの流入と東京への転出を行うという都市システムを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト
12回	**授業テーマ：都市の内部に構造をみる** 授業内容：都市地理学における古典的内部構造モデル、同心円地帯モデル、セクターモデル、多核心モデルを理解し、都市の内部構造が形成される要因とプロセスを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：東京一極集中は進む** 授業内容：日本の地域別人口の歴史的変化から東京一極集中の背景を理解する。主要都市の経済的中枢管理機能を比較し東京にある行政的中枢管理機能の集中と首都機能移転を巡る議論を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：都市は気候を変える** 授業内容：環八雲やヒートアイランドなどの現象を通して都市気候が発生する仕組みを学ぶ。人口集中によって地表面の特性が変わり、代謝熱によるエアロゾルの発生が都市気候の背景にあることを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：アンケート

自然環境論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

磯田　尚子（いそだ　しょうこ）

▌授業の概要

現代社会における最も重要な課題のひとつである環境問題について、その原因や発生のメカニズムは何か、何が問題となっているか、そして解決のためにどのようなしくみを構築すべきかを学ぶ。環境法政策学をに中心として、自然保護に関する環境倫理学・環境哲学の知見をも取り入れながら、法的なしくみの現状と課題について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：環境問題に関する法的なしくみについて、基本的な知識を習得するとともに、持続可能な社会、自然と人間の共生に向けて何が必要かを理解する。

個別目標：環境問題に関する法的な制度やしくみについて、専門用語とその内容を、自分の言葉できちんと説明し、他人に伝えることができるようになる。

▌履修条件

学問に対する誠実な姿勢を有し、自主的、積極的に学ぶ学生を歓迎する。

▌評価基準・方法

筆記試験９０%、レポートまたは授業中の発表・発言１０%を総合して成績評価を行う。
原則として、授業回数１５回のうち５分の４以上の出席を評価の前提基準とする。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、授業内で行い、筆記試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子(編著)『多元的環境問題論(増補改訂版)』(ぎょうせい)
ISBN978-4-324-08009-2

▌参考書

講義において適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、環境問題の歴史１(公害問題)** 授業内容：初めに、授業の概要・進め方と評価方法、留意事項などについて説明する。続いて、日本の公害の歴史を概観した後、戦前の公害問題の典型例である足尾鉱毒事件を取り上げ、この時代の公害問題の原因や背景を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：足尾鉱毒事件について調べる。
2回	**授業テーマ：環境問題の歴史２(四大公害訴訟)** 授業内容：戦後高度経済成長期に起こった四大公害事件から学びを得るとともに、四大公害訴訟を通じて形成された法理論の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．２～２．１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：四大公害訴訟を通して形成された法理論を４つ挙げて、それぞれについて説明する。
3回	**授業テーマ：環境問題の歴史３(公害の未然防止)** 授業内容：高度経済成長後の公害裁判において課題となった公害の未然防止に関し、差止訴訟の事例を紹介しながら、裁判で用いられた論理を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．５を熟読する。 事後学修 2.0hr：受忍限度論について説明する。
4回	**授業テーマ：環境基本法の制定と環境基本計画** 授業内容：公害問題と環境問題の根本的な違いを知るとともに、環境基本法と環境基本計画の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．６および２．２．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：環境基本法の特徴を述べる。
5回	**授業テーマ：環境保全手法** 授業内容：公害問題の時代から有効であった規制的手法と、環境問題の解決のために新たに導入されてきている経済的手法の２つを中心に、協定的手法、情報的・教育的手法その他を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．２．３～２．２．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：規制的手法と経済的手法を比較する。
6回	**授業テーマ：環境保全のための理念と基本原則** 授業内容：環境問題の解決のために採用されている理念や基本原則のうち、持続可能な開発/発展(SD)、汚染者負担原則(PPP)、予防原則について学ぶ。 事前学修 2.0hr：持続可能な開発/発展について調べる。 事後学修 2.0hr：環境と経済の同時達成について具体例を調べる。
7回	**授業テーマ：大気環境１(大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊)** 授業内容：大気汚染、国境を越えて被害が生ずる酸性雨、さらに地球規模で影響があるオゾン層破壊について、その発生メカニズムと影響と法的な対策を学ぶ。 事前学修 2.0hr：酸性雨とオゾン層破壊のそれぞれについて、発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊のそれぞれについて、どんな対策が取られているか説明する。
8回	**授業テーマ：大気環境２(気候変動)** 授業内容：今世紀最大の環境問題である気候変動について、その発生メカニズム、影響、法的な対策の歴史と現状(気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：気候変動(地球温暖化)の発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：京都議定書とパリ協定の内容を説明する。
9回	**授業テーマ：土壌環境(土壌汚染)** 授業内容：土壌汚染の特徴を理解するとともに、土壌汚染問題のタイプと対策の歴史、土壌汚染対策法の内容を意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：土壌汚染対策法の内容について説明する。

10回	**授業テーマ：廃棄物１（廃棄物法制度の概要）** 授業内容：廃棄物関連の法律の全体像をつかんだ後、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、リサイクル関連の法律の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：廃棄物処理法、リサイクル関連の法律、グリーン購入法の内容について説明する。
11回	**授業テーマ：廃棄物２（循環型社会形成に向けて）** 授業内容：リサイクル関連の法律の進展を知るとともに、循環型社会形成推進基本法で定める理念や原則を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：循環型社会形成推進基本法の内容について説明する。
12回	**授業テーマ：生物環境１（自然の権利）** 授業内容：自然を原告として提訴する自然の権利訴訟について、日本の訴訟とそのモデルとなったアメリカの訴訟を通して、ある地域の開発について地域住民以外の者が法的に意見を述べることについて考えるとともに、自然に権利を付与する法政策的な意義を論じる。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．４及び第４章４．２．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然の権利を主張する意義について論じる。
13回	**授業テーマ：生物環境２（自然環境保全制度）** 授業内容：日本の自然環境保全のための法律４つ（自然公園法、自然環境保全法、種の保存法、鳥獣保護法）の内容を理解し、国法レベルでの自然保護手法の特徴について考える。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然環境保全のための４つの法律に共通する考え方を論じる。
14回	**授業テーマ：生物環境３（里山の保全）** 授業内容：近年の里山保全についての政策転換と、里山保全に関する地方自治体の条例の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：関心のある自然の保護について具体例を調べる。 事後学修 2.0hr：調べた自然保護の具体例において、どのような制度やしくみが用いられているかを調べる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業で関心を持った事項について、その内容と示唆をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業で関心をもった事項について、さらに調べる。

都市と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　久人 (なかじま　ひさと)

▌授業の概要

20 世紀後半以降の世界は、都市化が進展し、都市的な生活が村落地域でも浸透しているようになっている。それでも、大都市の中心地域は、他地域とは違った様相を示している。本授業では、大都市の中心地域の一例として東京中心部を把握し、微視的に住民それぞれによる都市における生活の様相をとらえ、さらに巨視的に都市全体を俯瞰して経営の対象としての都市を歴史的に考察し、生活と都市という二つの契機が結びついている状況を検討したい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：それぞれの住民にとって大都市において生活することのあり方を把握し、その上で、そのような住民の生活をもとに都市全体を経営することを歴史的に検討する。このことは、学問的課題であると同時に、それぞれにとっての生活的課題であり、さらには都市全体の社会的課題である。この授業で学習したことをもとに、新たな学問的課題に取り組むとともに、都市で生活することの基礎知識を習得し、都市全体を経営する視点を展望することができる。

個別目標：①東京北部を主要な対象としている吉見俊哉『東京裏返し』を教科書にして、講師が「街歩き」＝フィールドワークにおいて撮影した写真や講師自身の生活体験などを交えて、都心部で生活するということについて、地理的環境や前近代の伝統などの影響もふまえて、イメージを形成することができる。

②「破壊と復興が築いた都市」「帝都・首都圏とインフラの拡大」「近代都市を生きる民衆」など七つのテーマで東京全体の近現代都市を考察した源川真希『東京史』を教科書にして、都市全体を俯瞰した都市経営を構想することができる。

③コメントペーパー作成、討論、教場レポート提出、論述試験などを通じて、論理的に自己の考え方を表現することに習熟することができる。

▌履修条件

履修条件は特にない。他用の折でもよいので「街歩き」＝フィールドワークを行い、さらに、教科書や講師の提示した参考文献に目を通すという積極的な姿勢が望まれる。

▌評価基準・方法

評価基準は、試験 60 %平常点 40 %とする。定期試験については五分の四以上の出席を条件とする。平常点は、授業中に教場にてコメントペーパーを提出してもらい、それぞれ採点し、それを中心として、授業態度なども総合して評価する。

▌フィードバック方法

授業でコメントペーパーをもとに討論を行い、それによってフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コメントペーパーを配布し授業中にそれをもとに討論する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

吉見俊哉『東京裏返し一社会学的街歩きガイド』(集英社新書 1033B 2020 年　980 円＋税)

源川真希『東京史一七つのテーマで巨大都市を読み解く』(ちくま新書 1727 2023 年　900 円＋税)

▌参考書

東京の地理に詳しくないものは東京の地図を持参することが望ましい。その他、教科書に挙げられている文献を中心に授業の進行に合わせて必要に応じ適宜指定する予定である。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：本授業の運営方法、講師・学生の自己紹介、教科書の概要説明** 授業内容：本授業の運営についてガイダンスを行う。講師の自己紹介の後、学生が自身の自己紹介と本授業に期待することを述べる。その後、本授業の到達目標・運営方法などを説明し、吉見『東京裏返し』と源川『東京史』について、序章にあたる部分を中心にそれぞれの概要を述べる。 事前学修 2.0hr：『東京裏返し』の「はじめに」と『東京史』の「プロローグ」を中心に目を通すこと。本授業に期待することを検討しておくこと。 事後学修 2.0hr：本日の講義内容を把握しておくこと。教科書の序章部分で挙げられた文献に目を通すこと。
2 回	**授業テーマ：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)** 授業内容：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
3 回	**授業テーマ：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)** 授業内容：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
4 回	**授業テーマ：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)** 授業内容：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
5 回	**授業テーマ：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)** 授業内容：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
6 回	**授業テーマ：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)** 授業内容：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
7 回	**授業テーマ：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)** 授業内容：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。

8回	**授業テーマ：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)** 授業内容：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
9回	**授業テーマ：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)** 授業内容：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
10回	**授業テーマ：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)** 授業内容：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
11回	**授業テーマ：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)** 授業内容：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
12回	**授業テーマ：「自治と政治」(『東京史』第４章)** 授業内容：「自治と政治」(『東京史』第４章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
13回	**授業テーマ：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)** 授業内容：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
14回	**授業テーマ：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)** 授業内容：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
15回	**授業テーマ：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)** 授業内容：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)について、「エピローグ　東京を通して見た近現代」も含めて、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。

生活と安全

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫（かさしま　よしお）

▌授業の概要

人間が生活をしていく上で、「安全」は最も重要な要素である。しかし、その範囲はあまりに広いので、本講義では、「地球温暖化とエネルギー問題」「食糧問題」「水問題」「廃棄物問題」に焦点をあてる。国連が SDG ｓを提唱してから、世界的に注目され、最も重要でかつ解決しなければならない分野と位置づけされている問題ばかりである。これらの問題から、現代における人間社会の「安全」とは何かを考えてみる。なお、社会情勢と密接に関係している科目のため、社会情勢の変化により、講義の進行順序を入れ替えたり、内容を変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人間が「生活」していくうえで、避けることのできない問題である、「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」のかかえている重要な要素を理解する。

個別目標：(1)「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」それぞれについて、概略を説明できる。
(2)これらの問題について、どのように対応すべきか、個別に説明できる。
(3)これらの問題が身近に差し迫ったとき、どのように、人間が「安全に」生活していけるのか、その道筋を判断できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

4 回の大きなレポート(講義の振り返りを含む)で 64 点満点(16 点満点× 4 回)、講義の振り返りシート(前述の「大きなレポート」以外)が 36 点満点(4 点満点× 9 回)で、合計 100 点満点とします。レポートは、提出したからといって、「満点」が与えられるのではありませんので、くれぐれも注意のこと。レポートは、ほぼ毎回出ることになります。出席は、８０%以上が単位取得の条件となりますので、注意のこと(公欠は除く)。レポート提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めないので、注意のこと。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、講義または manaba で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートは、ワードファイルで提出してもらいます。）

▌教科書

「新版(第３版)　環境の科学」中田昌宏・笠嶋義夫　著　(三共出版)

あと、必要に応じてプリントを pdf または jpeg、パワーポイントで manaba にアップします。manaba を見れるものを持参してください(講義でプリントは配布しません)。

▌参考書

「森が消えれば海も死ぬ」第 2 版　松永勝彦　著　(講談社)

「地球の限界」オーウェン・ガフニー/ヨハン・ロックストローム　著　戸田早紀　訳　(河出書房新社)

「もうコメは食えなくなるのか」鈴木宣弘　著　(講談社)

「牡蠣養殖 100 年　汽水の匂いに包まれて」畠山重篤著(株式会社マガジンランド)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと本講義の概略** 授業内容：ガイダンスで講義内容・学習方法・評価方法について解説する。その後、本講義の概略を解説し、現代社会の抱えている問題を提起する。 事前学修 2.0hr：インターネットなどで、地球上の環境問題でどんなことが起きているかをしらべてみてください。 事後学修 2.0hr：事前学修と講義を聴いたうえで、自分なりに再度環境問題について考えてみてください。
2回	**授業テーマ：地球温暖化の現況** 授業内容：地球の成り立ちから振り返り、IPCC 報告書をもとに、地球温暖化とはどのような状態であるかを説明する。 事前学修 1.5hr：地球温暖化によって、どのようなことが地球上で起こっているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
3回	**授業テーマ：パリ協定** 授業内容：温暖化対策の世界的な取り組みである「パリ協定」について、その成り立ちと中身について解説する。 事前学修 1.5hr：「京都議定書」と「パリ協定」について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
4回	**授業テーマ：原子力発電** 授業内容：地球温暖化対策の一番手といわれる「原子力発電」。その利点と欠点を探る。あわせて、福島原発の事故についてと、現況についても触れる。 事前学修 1.5hr：原子力発電のしくみと、福島原発の事故と現況について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
5回	**授業テーマ：再生可能エネルギー** 授業内容：再生可能エネルギーについて、風力発電と、太陽光発電を中心に、その原理と、先進事例について学ぶ。 事前学修 1.5hr：再生可能エネルギー導入事例として、ヨーロッパではどのようなことが行われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
6回	**授業テーマ：世界の森林問題** 授業内容：世界の森林のあり方について、アマゾンを中心に考える。あわせて、世界各地の森林保護運動にも触れる。 事前学修 1.5hr：世界各地の森林保護運動について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
7回	**授業テーマ：日本の森林問題** 授業内容：日本の森林のあり方について考える。森林が荒廃している現況、森林がどのように人類の営みに影響を与えているかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の森林は、なぜ荒廃しているのか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：森永ヒ素ミルク事件** 授業内容：森永ヒ素ミルク事件が、現代社会に与えた影響を考察する。 事前学修 1.5hr：森永ヒ素ミルク事件について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：世界の食糧問題** 授業内容：途上国では深刻な食糧問題が、世界で見ると見方が大きく変わる。その点を解説する。 事前学修 1.5hr：現在の世界の食糧事情について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：日本の食糧問題** 授業内容：食料自給率が、先進国の中では最も低い日本。その食糧事情と、食品ロスについて考える。 事前学修 1.5hr：日本の食品ロスについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：水問題** 授業内容：人間が生きていくうえで最も必要なもの。日本でも世界でも、水を得るためにどのような問題点があるかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の食料事情で、どのような問題が起こっているか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：オゾン層と紫外線** 授業内容：オゾン層がどのように「有害紫外線」から、地球上の生き物を守っているか、またオゾンホールを中心にオゾン層破壊の問題について考える。 事前学修 1.5hr：オゾン層破壊のメカニズムを、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：代替フロンの問題** 授業内容：オゾン層を破壊しないで、フロンの性質を持つ「代替フロン」。その問題点と、解決方法を探る。 事前学修 1.5hr：代替フロンについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
14回	**授業テーマ：廃棄物問題** 授業内容：国土が狭いゆえに抱える日本のアキレス腱。その実態と、世界と日本の新しい取り組みについて説明する。あわせて、「海洋プラスチックゴミ(マイクロプラスチック)」の問題にも触れる。 事前学修 1.5hr：日本と世界の「廃棄物」の処理方法と、有効活用について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：日本はどうあるべきか** 授業内容：今までの講義を振り返りながら、「日本はどうあるべきか」について考える。 事前学修 1.5hr：今までの講義(１４回分)の内容を見返してみてください。 事後学修 3.0hr：講義振り返りシートの作成。

行動科学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

行動科学は、人間の行動を心理学・社会学・教育学などの学際的視点から捉え、行動の理解や変容について実証的に検討する学問です。ビジネス領域における動機づけやパフォーマンス向上、保健医療領域における健康行動の形成と維持など、日常生活や専門実践の中で幅広く応用されています。近年、AI をはじめとする情報技術の発展により、人間の行動に関する知識や説明が、あたかも容易に理解できるかのように提示される状況が生じています。理論や情報をどのように解釈し、状況や関係性の中で意味づけ、Well-being を支える行動として選択・調整していく判断は、人に求められる重要な力です。本講義では、Well-being につながる行動科学の諸理論を学び、対話や省察を通して、日常生活に活かす視点を養うことを目的とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人間の行動にかかわる諸理論を理解し、その理論を基盤とした「人と共に、こころ豊かに生きる」ために何ができるかを考える力を涵養する。社会において、互いの多様性を尊重しあい Well-being を実現する態度とコミュニケーション（社会性・合理性・創造性）を身につける。

個別目標：1）人間の行動にかかわる諸理論を、具体的な場面や経験に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2）様々な場面における人間の行動を、多角的な理論的視点から捉え、行動の選択や調整について考えることができる。
3）ヒューマン・スキルを、固定的な技法としてではなく、状況に応じて選択・調整する視点として理解し、日常生活に活かすことができる。
4）前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者と、理解や一致を急がずに関わり続けるコミュニケーションの姿勢を持つことができる。

▌履修条件

授業は、対話的にピア・エデュケーション、クリエーティブ・ラーニングの手法で行われます。
そのため、仲間と共に学習し合う姿勢が求められます。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定しますので（最大受講人数 60 名程度）、第 1 回の講義に必ず出席してください。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度（25 %）と、学習の成果物①講義ごとの小課題（50 %）、学習の成果物②最終レポート課題（25 %）により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題に対するフィードバックは、翌週以降の講義冒頭および学修支援システム manaba を通じて全体に対して行う。理解が不十分な場合には補習を実施する。個別指導は、ワークブックへのコメントを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Thik-Group-Share　Dialogue　Reflecting-Talk）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

1）Well-being の行動科学ワークブック（￥600）
※登校日にワークブックを購入してください。購入方法は、講義内や manaba で案内します。
2）配布資料

▌参考書

授業内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：行動科学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．人々の行動に関する多様な考え方を、身近な事例から考える。 事前学修 2.5hr：行動科学を履修する目的を 400 文字程度でまとめる（manaba で提出を求めます）。 事後学修 1.5hr：タイプ A 行動特性のチェックから、自分の行動のパターンを分析、考察する。
2回	**授業テーマ：Well-being と自己理解（エゴグラムを活用した自己理解）** 授業内容：エゴグラムのワークシートを活用し、自己理解を深める。 エゴグラム特徴と行動パターンをセルフワークで考察する。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「Well-being と自己理解」を読み、エゴグラムのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：エゴグラムから、自分の行動のパターンや人間関係を分析、考察する。
3回	**授業テーマ：Well-being と自己理解②（エゴグラムを活用した他者理解）** 授業内容：エゴグラム特徴と、人間関係の特徴をセルフワークで考察する。 人間関係の改善のために、どの領域を高める必要があるかを考える。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第２章「Well-being のコミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、日常の非言語コミュニケーションの改善について考察する。
4回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる①　非言語コミュニケーション・アクティブ・リスニング** 授業内容：気持ちの交流に不可欠な非言語領域（表情、声、視線、姿勢と動作）について理解する。 人間関係に効果的に働く非言語について考える。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 2 章「Well-being の非言語コミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、非言語コミュニケーションの改善について考察する。
5回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる②　沈黙と傾聴** 授業内容：「話す」と「きく」からなるコミュニケーションの半分を占めている「きく」について考える。 沈黙のゲームを通して、「きく」ことの影響力を確かめる。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック３章 「Well-being とリスニング」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：効果的な沈黙姿勢とブロッキングリストをまとめ、これまでの自分の聴き方を分析し、改善策を検討する。

6回	**授業テーマ：自己イメージとグループダイナミクス** 授業内容：自己抑制型行動特性と対人依存型行動特性の視点から、自らのコミュニケーションを振り返る。 価値交流のグループワークを体験する。 体験学習から得たコミュニケーションの気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「1.5 パーソナリティチェック」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、自他の能力を引き出すコミュニケーションを考察する。
7回	**授業テーマ：共感の時代の Well-being** 授業内容：なぜ共感の時代なのかを考える。 共感的な聴き方を、ペアで体験する。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 3 章「Well-being のリスニングスキル」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：協力者を得て、共感的な聴き方を再度行ってみる。その結果や気づきをまとめる。
8回	**授業テーマ：コース前半のまとめ** 授業内容：コース前半の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：Well-being のアサーション①　アサーション入門** 授業内容：自他を尊重したコミュニケーションとしてのアサーションについて知る。 自らの表現型(アサーティヴ、ノンアサーティヴ、アグレッシヴ)を、セルフチェックを通して振り返る。 アサーティヴに、「謝る」「励ます」を、ペアで体験学習し、Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：共感のワークを、2 名の協力者を得て復習する。
10回	**授業テーマ：Well-being のアサーション②　アサーティヴにお願いする・断る** 授業内容：アサーティヴに「お願いする・断る」ための伝え方を理解する。 アサーティヴに「お願いする・断る」をグループで体験学習し、Think-Group-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：アサーションを日常会話に取り入れ、自己観察した結果を、分析及び考察する。
11回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル①　基本姿勢とコーチング法** 授業内容：援助者コンピテンシー・セルフアセスメントを実施する。 援助の基本姿勢と行動段階ごとの支援法について理解する。 コーチングの理論を理解する。 コーチングのガイドラインを活用し、ペアで体験学習する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てコーチングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
12回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル②　―カウンセリング法** 授業内容：カウンセリングの理論を理解する。 カウンセリングのガイドラインを活用し、ペアでカウンセリング体験をする。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てカウンセリングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
13回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ①　対話姿勢と外在化の姿勢** 授業内容：対話と会話の違いについて理解する。 オープンダイアローグの理論と実践について理解する。 オープンダイアローグの動画をみて、モデル学習する。 気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 5 章 「Well-being のダイアローグ」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：身近な人との会話の中で、対話(ダイアローグ)の基本姿勢を試し、その結果をまとめる。
14回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ②　リフレクティング・トーク** 授業内容：リフレクティング・トークの理論と実践を理解する。 ガイドラインを活用し、グループでリフレクティング・トークを体験する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 2.0hr：5 章の 5.2 オープンダイアローグの講を読んで、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：リフレクティング・トークの体験を振り返り、今後どのように生かせるかを考えてまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。

データのまとめ方

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要

各学部に設置されている統計関連の専門科目の基礎となる統計学の基礎的な考え方を学ぶ授業です。2018 年ころから GAFA による個人情報の利用が世界的に問題になっており、データの分析技術以前にデータを収集する前の段階において個人情報保護法を理解しなければならない世界になりました。そこでこの授業でも個人情報保護法の基礎的な考え方も説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：平均や標準偏差などの統計学の基礎的な知識と個人情報保護法の基礎的な考え方とプライバシー権を理解できること。
個別目標：プライバシー権と個人情報保護法の基礎的な考え方を理解できる。

▌履修条件

統計学に関心があること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(50 %)

▌フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba は利用）

▌教科書

新井啓『プロ野球と経済　２０１８』開成出版。

▌参考書

特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：統計とは？** 授業内容：統計と経済の関係。統計に法律の知識が必要なのはなぜ？ 事前学修 2.0hr：教科書の 1 から 3 ページをよく読むこと。 事後学修 2.0hr：授業ノートの復習
2 回	**授業テーマ：標本と母集団** 授業内容：標本とは？　母集団とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 4 から 6 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業ノートの復習
3 回	**授業テーマ：個人のデータと個人情報保護法。** 授業内容：個人の情報はなぜ重要なのか？　個人情報の保護はなぜ必要なのか？　フェイスブックと個人情報の経済問題。バックアップデータはどんなデータになるのか？ 事前学修 2.0hr：教科書の 7 から 8 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業ノートの復習
4 回	**授業テーマ：データをどうまとめるのか？** 授業内容：データの中心の尺度とばらつきの尺度。ヒストグラム。標準偏差の意味。 事前学修 2.0hr：教科書の 9 から 11 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業ノートの復習
5 回	**授業テーマ：著作権と肖像権** 授業内容：著作権とは？　YouTube を利用する際の注意点　プロスポーツ選手の肖像権 事前学修 2.0hr：教科書の 65 から 68 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業ノートの復習
6 回	**授業テーマ：インターネットの利用で損害を被った場合** 授業内容：民事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 69 ページから 71 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業ノートの復習
7 回	**授業テーマ：インターネットの利用で犯罪に巻き込まれてしまったら** 授業内容：刑事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 67 ページから 72 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業ノートの復習
8 回	**授業テーマ：個人情報保護法と憲法の基礎。** 授業内容：憲法におけるプライバシー権とは？　SNS を利用する上での表現の自由(憲法 21 条)。三権分立はなぜ必要なのか。 事前学修 2.0hr：教科書 99 ページから 100 ページ読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業ノートの復習
9 回	**授業テーマ：企業法の基礎** 授業内容：商法と会社法。内部統制制度と企業の情報の管理。 事前学修 2.0hr：教科書 101 ページから 103 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業ノートの復習
10 回	**授業テーマ：情報法の基礎** 授業内容：モノとしての放映権の経済問題。匿名加工データと深層学習。 事前学修 2.0hr：教科書 115 ページから 118 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業ノートの復習
11 回	**授業テーマ：情報刑法の基礎** 授業内容：刑法とは？　アメリカの経済とヨーロッパの経済の違い。 事前学修 2.0hr：教科書 110 ページから 113 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業ノートの復習
12 回	**授業テーマ：SPI の基礎的問題** 授業内容：数学を中心にして、国語・英語・地理歴史。 事前学修 2.0hr：教科書 145 ページから 148 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業ノートの復習

13回	**授業テーマ：個人情報保護法と民法の基礎。** 授業内容：民法とは？　契約とは？　学籍番号は個人情報？　オプトアウトとオプトインの違い 事前学修 2.0hr：教科書 119, 135 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業ノートの復習
14回	**授業テーマ：個人情報保護法と行政法の基礎。** 授業内容：行政法とは？　行政法と憲法の関係。行政機関が保有する個人情報とは？　仮名加工データ。社会福祉国家とは。 事前学修 2.0hr：教科書 86 ページから 90 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業ノートの復習
15回	**授業テーマ：セイバーメトリックス** 授業内容：プロ野球と統計学の関係。日本のプロ野球のドラフト制度。収益分配制度。 事前学修 2.0hr：教科書 136, 144 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業ノートの復習

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

◆数学オムニバス◆【前学期 火 3 /後学期 水 2】本授業は、数学が苦手な学生を主な対象として、数式や計算に重点を置かず、「数理的なものの見方」を学ぶことを目的とします。指数や確率、暗号、ゲーム、数の並びなど、身近で具体的な題材を用いながら、数量的に考えることや、規則性・構造を捉えることの重要性を紹介します。日常生活や社会の中で数理がどのように用いられているかを知ることで、数学が単なる計算技術ではなく、世界を理解し判断するための思考の道具であることを実感できるようにします。オムニバス形式の講義を通じて、文系学生にも数理の面白さと意義が伝わることを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：数理的な視点から物事を捉える重要性を理解し、日常生活や社会における数量的情報を適切に解釈・判断できる力を身につける。
個別目標：① 数や確率、指数的変化などの基本的な考え方を説明できる。
② グラフや数値情報の意味を読み取り、その妥当性を判断できる。
③ 簡単なルールから全体の構造を考える数理的思考を実践できる。

▌履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。数学に苦手意識をもつ学生の受講を想定しています。

▌評価基準・方法

授業内で実施する課題(思考課題・小テスト・ワークシート等)を 100 %として評価します。各回の課題を通して、数理的な考え方を理解し、自分の言葉で説明しようとする姿勢および到達目標の達成度を総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業内課題に対するフィードバックは、授業内での解説および学修支援システム(manaba)を通じて行います。代表的な考え方や解答例を共有し、数理的な視点の整理を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数やゲーム、具体的事例を題材とした個人・グループでの思考活動、簡単なディスカッション、授業内課題への取り組みを通じて、学生の主体的な参加を促します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり（授業資料の閲覧や課題への回答に加え、ローンや複利を扱う回では、表計算ソフト(Excel)を用いて数値の変化を簡単に確認します。また、manaba を用いた小テストや課題提出にも PC を利用します。）

▌教科書

使用しません。必要な資料は授業内で配布、または manaba に掲載します。

▌参考書

特にありません。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：導入―数学と数理の違い** 授業内容：本講義の目的を説明し、数学と数理の違い、数理的に考えるとはどういうことかを概観する。評価方法や注意事項についてのガイダンスも行なう。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
2 回	**授業テーマ：指数と対数(Ⅰ)―増え方を考える** 授業内容：指数的増加の特徴を例に、直線的な変化との違いを理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
3 回	**授業テーマ：指数と対数(Ⅱ)―時間と逆算の数理** 授業内容：対数的な考え方を用いて、増加に要する時間や元に戻る過程を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
4 回	**授業テーマ：ローンと複利の数理** 授業内容：ローンを題材に、時間とお金の関係を指数的変化として捉える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
5 回	**授業テーマ：確率と直感(Ⅰ)** 授業内容：確率に関する直感的判断がどのように誤るかを具体例で考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
6 回	**授業テーマ：確率と直感(Ⅱ)―ベイズの定理** 授業内容：情報によって判断を更新する考え方を、身近な事例を通して理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
7 回	**授業テーマ：石取りゲームの数理** 授業内容：単純なゲームを通して、必勝法と数理的構造の関係を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
8 回	**授業テーマ：Conway – Coxeter frieze（Ⅰ)―数の並びの遊び** 授業内容：数を埋める規則的な遊びを体験し、数の並びの特徴を観察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
9 回	**授業テーマ：Conway – Coxeter frieze（Ⅱ)―局所ルールと構造** 授業内容：局所的な規則から全体の構造が決まる仕組みを考察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

10回	**授業テーマ：暗号と数学** 授業内容：RSA 暗号を例に、解けないことが安全性を生む理由を理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
11回	**授業テーマ：無限という概念** 授業内容：無限の性質を例に、直感と数理の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
12回	**授業テーマ：数理モデルと予測** 授業内容：天気予報を例に、数理モデルの役割と限界を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
13回	**授業テーマ：方程式と解の限界** 授業内容：代数方程式の歴史を通して、解ける問題と解けない問題の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
14回	**授業テーマ：数理と社会** 授業内容：お金、情報、リスク判断における数理の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
15回	**授業テーマ：総括―数理的に考えるとは** 授業内容：講義全体を振り返り、数理的思考の特徴と意義を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

◆ AI の数学◆【前学期 水 3 /後学期 木 1】
本講義は、AI・機械学習を支える最小限の数学（平均・分散・相関、回帰の考え方、確率・ロジスティック回帰の直感、ベクトル・行列の入門、微分と勾配降下の直感）を、数式を最小限に、図・比喩・軽い計算ワークで理解することを目的とします。Excel などを用いた小規模データの集計・可視化、2 × 2 行列演算、差分近似による “傾き（微分）” の体験などを通して、「AI は何をどのように計算しているか」を自分の言葉で説明できる力を養います。授業はグループワークやペア演習を取り入れ、学びのプロセスを重視していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：AI の基本的な数理発想を直感と簡単な計算で理解し、身の回りのデータや事例に適用して説明できる力を身につける。
個別目標：① 平均・分散・相関を算出し、散布図で関係性を説明できる。
② 回帰（残差・二乗和）やロジスティックの直感を言語化できる。
③ 2 × 2 行列×ベクトルの演算を行い、“変換” の意味を説明できる。
④ 差分近似を用いて “傾き” を求め、勾配降下の 1 ステップ更新を計算できる。
⑤計算結果を自分の言葉で解釈し、レポートとしてまとめられる。

▌履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。中学数学の復習から始めますし、数式操作は最小限に留めるので、数学が苦手な学生でも履修可能な内容になっています。

▌評価基準・方法

平常点（ワーク提出・参加）40 %、小テスト 20 %、期末レポート 40 %。授業内課題・小テストで基礎計算と理解を確認し、レポートで概念説明と結果の解釈力を評価。出席そのものは評価対象に含めず、課題提出・発表等で学修状況を反映する。

▌フィードバック方法

小テスト・課題は学修支援システム manaba を通じて個別コメントを返却し、授業内で代表例を解説します。レポートはルーブリックに基づき評価観点（正確さ・説明の明瞭さ・解釈）を明示して返却します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回のペア/小グループ演習、ディスカッション、小規模データ分析（Excel）、簡易プレゼンテーションを実施。第 15 回はミニ発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学生は各自 PC を持参すること。Microsoft365 と manaba を利用し、データ集計・可視化、演習提出、スライド作成を行います。授業内の小テストやアンケートでも manaba を利用します。）

▌教科書

特になし（希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内）。

▌参考書

特になし（希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内）。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス／ AI は何を “計算” しているのか** 授業内容：AI と機械学習の全体像、講義方針、評価。ミニ演習「人間が AI のふりをして分類してみる」。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、AI に関して知っていることを 100 字でメモ。 事後学修 2.0hr：身近なサービスで AI が使われていそうな例を 2 つ収集し、200 字で説明。
2 回	**授業テーマ：データの基礎：平均・中央値・分散** 授業内容：小データで平均・中央値・分散を手計算→ Excel で検算・可視化。 事前学修 2.0hr：配布データを眺め、値の範囲を確認。Excel の基本操作チュートリアル。 事後学修 2.0hr：自分の小データ（10 件）を作成し、平均・分散を算出して短い解釈を書く。
3 回	**授業テーマ：相関と散布図：関係の強さを掴む** 授業内容：共分散・相関係数の直感。散布図と相関のサイン（±）。 事前学修 2.0hr：第 2 回の自作データに第 2 変数を追加。相関の読み取り資料を読む。 事後学修 2.0hr：Excel で散布図と相関を作成し、関係を 150 字で記述。
4 回	**授業テーマ：回帰のアイデア：残差と二乗和** 授業内容：2 本の候補直線に対して残差と二乗和を比較。最小二乗の直感。 事前学修 2.0hr：回帰直線の意味の配布資料を読む。例題の散布図に手書きで線を引く。 事後学修 2.0hr：Excel で 2 本の線の残差二乗和を比較し、より良い線を説明。
5 回	**授業テーマ：分類の基本：境界線とスコア** 授業内容：2 特徴の重み付きスコア a × x1+b × x2 の計算で正負分類を体験。 事前学修 2.0hr：メール分類の例を読み、特徴を 2 つ考えてくる。 事後学修 2.0hr：配布データでしきい値を変えたときの誤判定例を記述。
6 回	**授業テーマ：ロジスティックの直感：S 字で “確率” を表す** 授業内容：0 ～ 1 の確率解釈。S 字カーブを Excel で描き、閾値と確率の関係を確認。 事前学修 2.0hr：確率の基礎メモ（0 ～ 1 の意味）を作成（1.0h）。テンプレ Excel に数値入力。 事後学修 2.0hr：2 つのしきい値の違いを図と 100 字で説明。
7 回	**授業テーマ：ベクトルと行列：2 × 2 の変換を体験** 授業内容：ベクトルは “並んだ数”、行列は “変換の装置”。2 × 2 × (2 × 1) の手計算、拡大・回転の直感化。 事前学修 2.0hr：配布の行列入門を読む（1.0h）。例題の計算を 1 問試す。 事後学修 2.0hr：与えられた 2 × 2 行列 2 種をデータ点に適用し、変換前後を散布図で比較。
8 回	**授業テーマ：ニューラルネット①：ニューロンの計算** 授業内容：$z=w\cdot x+b$ と ReLU の手計算。小さなネットの入出力を追う。 事前学修 2.0hr：記号の意味（w,b,x,z）を 30 字ずつ要約。例題の前半を手計算。 事後学修 2.0hr：同型の別パラメータで出力を再計算し、違いを説明。
9 回	**授業テーマ：ニューラルネット②：重みが変わると何が起こるか** 授業内容：重み更新のイメージ。活性化後の影響を可視化し、出力変化を議論。 事前学修 2.0hr：第 8 回のネットに小さな変更を加えて出力を予想。確認用計算。 事後学修 2.0hr：出力変化と “意味” を図と文章で報告。

10回	**授業テーマ：微分の直感：差分で “傾き” を読む** 授業内容：$f(x)=x^2$ の差分近似で傾きを求める。傾きの符号と “進む向き”。 事前学修 2.0hr：差分近似の例を読んで $\Delta y/\Delta x$ を 2 点で計算。 事後学修 2.0hr：別関数 x^2+3x の 2 点で傾きを試算。
11回	**授業テーマ：最適化：勾配降下の 1 ステップ** 授業内容：$E(x)=x^2+3x$、η を指定して $x \to x-\eta\cdot(\Delta E/\Delta x)$ を 1 ～ 2 ステップ。Excel で軌跡を可視化。 事前学修 2.0hr：テンプレ Excel のセル式を確認。$E(x)$ のグラフを概形でスケッチ。 事後学修 2.0hr：初期値・η を変えて比較グラフを作り、200 字で解釈。
12回	**授業テーマ：類似度の数学：コサイン類似度(2 次元で手計算)** 授業内容：内積・長さの直感。2 次元ベクトルで cos θ を算出し、似ている／違うを説明。 事前学修 2.0hr：2 組の 2 次元ベクトルを自作。内積と長さの復習。 事後学修 2.0hr：文書ベクトルの簡易例で “似ている度” を説明。
13回	**授業テーマ：モデルを読み解く：特徴量重要度の基礎** 授業内容：簡易決定木の分岐を手で辿り、効いている特徴を解釈。 事前学修 2.0hr：配布の分岐図を追って結果を予想。用語確認。 事後学修 2.0hr：別ケースで “どの特徴が効いたか” を 100 字で説明。
14回	**授業テーマ：AI と社会：指標で考える公平性** 授業内容：適合率・再現率・誤判定率などを小データで計算し、社会的影響を議論。 事前学修 2.0hr：指標の定義表をまとめる。例題の予測結果表を読む。 事後学修 2.0hr：指標のトレードオフを 150 字で記述。
15回	**授業テーマ：まとめ・ミニ発表会** 授業内容：各自 3 ～ 5 分発表(例：コサイン類似度／勾配降下の比較結果など)、総括。 事前学修 2.0hr：スライド作成(PowerPoint)(2.0h)。原稿練習。 事後学修 2.0hr：学修振り返りシートの提出。返却と講評は学修支援システムで実施。

身近な物理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、私たちの身のまわりで起こっているさまざまな現象を題材にして、物理学が自然をどのように理解しているのかを学びます。力学、熱、波、電気・磁気といった古典物理学の基本的な分野を取り上げ、日常生活や身近な技術と結び付けながら説明します。数式の計算を目的とした授業ではありませんが（計算はほとんどしません）、物理学が自然現象を数式という簡潔な言語で表現する学問であることを大切にします。数式を現象どうしの関係を表す表現として読み取り、物理学ならではのものの見方に親しむことを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：身近な物理現象について物理学の基本的な考え方を用いて理解し、自然現象が数式によってどのように表現・整理されているかを説明できるようになる。

個別目標：① 日常生活で経験する運動、熱、音や光、電気に関する現象について、物理学的な視点から説明できる。
② 力学、熱力学、波動、電磁気学における基本的な数式が、どのような現象の関係を表しているかを言葉で説明できる。
③ 数式による表現が、曖昧な理解を整理し、異なる現象を統一的に捉えるために用いられていることを理解する。
④ 物理学の考え方を通して、身近な出来事や技術に対する見方がどのように変化したかを、自身の言葉で振り返ることができる。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに行う小テスト（計算はしません）および記述課題の合計得点のみで評価します。定期試験は実施しません。
評価にあたっては、物理現象に対する理解度や、数式が表している関係を言葉で説明できているかといった観点を重視します。

▌フィードバック方法

課題や小テストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内で代表的な回答を取り上げ、考え方の整理や補足説明を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （身近な物理現象に関する問いについて個人で考え、簡単な記述や意見共有を行う活動を取り入れます。また、数式が表している現象の関係を日本語で説明する課題を通じて、主体的な理解を促します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、簡単な小テストやアンケートへの回答、記述課題の作成および提出に PC を使用します。）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

朝永振一郎「物理学とは何だろうか 上下」（岩波新書）
西成活裕「東大の先生！　文系の私に超わかりやすく物理を教えてください！」（かんき出版）
鎌田浩毅・米田誠「一生モノの物理学―文系でもわかるビジネスに効く教養」（祥伝社）
松尾泰監修「東京大学の先生伝授　文系のためのめっちゃやさしい物理」（株式会社ニュートンプレス）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：物理学は何をしている学問か** 授業内容：講義全体の構成と評価方法を説明し、物理学が自然現象を数式で表現する学問であることを身近な例を用いて紹介する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、身のまわりの不思議な現象を一つ考えておく。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された現象や人物について調べる。
2 回	**授業テーマ：力学① 位置・時間・速さ** 授業内容：運動を表す基本量を整理し、速さを表す数式の意味を日本語で読み取る。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、日常の移動の例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、数式が何を表しているか整理する。
3 回	**授業テーマ：力学② 速さが変わる運動** 授業内容：速さが変化する運動を題材に、加速度の概念を整理した上で、運動方程式を紹介する。数式を計算に用いるのではなく、力・質量・運動の変化の関係を表す自然界の基本的なルールとして理解する。 事前学修 2.0hr：身近な「だんだん速くなる」例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内課題の復習を行う。
4 回	**授業テーマ：力学③ 円運動と見かけの力** 授業内容：円運動を例に、力を用いた運動の記述と遠心力の考え方を整理する。 事前学修 2.0hr：回転する遊具や乗り物の例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を言葉でまとめる。
5 回	**授業テーマ：力学④ エネルギーの考え方** 授業内容：仕事とエネルギー、保存則の考え方を導入し、数式が果たす役割を理解する。 事前学修 2.0hr：エネルギーという言葉の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：保存則の意味を整理する。
6 回	**授業テーマ：熱力学① 熱と温度** 授業内容：雲の発生やエアコンを例に、熱と温度の違いを整理し、熱力学の対象を理解する。 事前学修 2.0hr：身近な温度変化の例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の要点をまとめる。
7 回	**授業テーマ：熱力学② 熱とエネルギー保存** 授業内容：熱力学第一法則を通して、熱も含めたエネルギーが保存されることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：エネルギー保存の例を調べる。 事後学修 2.0hr：数式が示す関係を言葉で説明する。
8 回	**授業テーマ：熱力学③ 熱力学第二法則と時間の向き** 授業内容：エアコンが万能でない理由を手がかりに、熱現象の不可逆性を考える。 事前学修 2.0hr：関連する身近な現象を調べる。 事後学修 2.0hr：仕組みを文章で説明する。

9回	**授業テーマ：波① 波を表す量** 授業内容：波を特徴づける量と、それらを結び付ける数式の意味を理解する。 事前学修 2.0hr：音や水面波の例を考える。 事後学修 2.0hr：数式の読み取りを整理する。
10回	**授業テーマ：波② 重ね合わせの原理** 授業内容：ノイズキャンセリングを例に、波の重ね合わせを説明する。 事前学修 2.0hr：音に関する技術を調べる。 事後学修 2.0hr：現象を言葉でまとめる。
11回	**授業テーマ：波③ 媒質と観測条件による見え方の違い** 授業内容：媒質によって波の伝わり方が変わる屈折・散乱と、観測者の運動で聞こえ方が変わるドップラー効果を比較する。 事前学修 2.0hr：身近な光の現象やドップラー効果を探してみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を整理する。
12回	**授業テーマ：電磁気① 電気の歴史** 授業内容：電気と磁気の発見の歴史を通して、法則が数式化される過程を学ぶ。 事前学修 2.0hr：電気に関する歴史的出来事を調べる。 事後学修 2.0hr：数式化の意義を考える。
13回	**授業テーマ：電磁気② 電場と磁場** 授業内容：電場・磁場の考え方を導入し、見えない量を表す数式の役割を理解する。 事前学修 2.0hr：磁石や電気製品の例を調べる。 事後学修 2.0hr：概念を言葉で整理する。
14回	**授業テーマ：電磁気③ 電磁気の応用** 授業内容：モーターや発電機などの応用を通して、法則と技術の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：身近な電気機器を調べる。 事後学修 2.0hr：仕組みを文章で説明する。
15回	**授業テーマ：身近な物理の総まとめ** 授業内容：これまでの内容を振り返り、共通する考え方や数式の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの資料を読み返す。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを作成する。

現代物理のはなし

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、相対性理論と量子力学を中心に、私たちの日常的な感覚や直感とは大きく異なる自然の姿について学びます。時間や空間が絶対的ではないことや、物理量が確定した値ではなく確率として扱われることなど、古典物理学では想定されていなかった考え方を、具体例や歴史的背景とともに紹介します。数式の計算は行いませんが、現代物理学が自然を数式で厳密に記述している学問であることを重視し、数式を世界のルールを表す表現として理解することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：相対性理論および量子力学の基本的な考え方を理解し、私たちの直感とは異なる自然のルールが、数式によってどのように表現されているかを説明できるようになる。

個別目標：① 相対性理論に基づき、時間や空間が観測者や状況によって異なる振る舞いを示すことを説明できる。
② 双子のパラドックスや膨張宇宙論などの具体例を通して、相対論的世界観の特徴を言葉で説明できる。
③ 量子力学において、物理量が確定値ではなく確率として扱われる理由を説明できる。
④ 数式が現代物理において、直感に反する世界のルールを明確に表現する役割を果たしていることを理解する。
⑤ 現代物理学が、現代社会の科学技術や私たちの世界観に与えている影響を振り返り、自身の言葉で表現できる。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに行う小テスト（計算はしません) および記述課題の合計得点のみで評価します。定期試験は実施しません。
評価にあたっては、相対性理論や量子力学の概念を理解し、数式が表している物理的意味を言葉で説明できているかを重視します。

▌フィードバック方法

課題や小テストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内で代表的な回答を取り上げ、考え方の整理や補足説明を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （直感に反する物理現象について個人で考え、簡単な記述や意見共有を行う活動を取り入れます。また、数式が示す物理的意味を日本語で説明する課題を通じて、主体的な理解を促していきます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、簡単な小テストやアンケートへの回答、記述課題の作成および提出に PC を使用します。）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

ウォルター・ルーウィン「これが物理学だ！」（文藝春秋）
松尾泰（監修）「文系のためのめっちゃやさしい量子論」（ニュートンプレス）
ヨビノリたくみ「難しい数式はまったくわかりませんが、相対性理論を教えてください! 」（SB クリエイティブ）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：現代物理はなぜ必要か** 授業内容：古典物理学の成功と限界を概観し、現代物理学が必要になった背景を説明する。合わせて、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明もする。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおく。相対性理論や量子力学について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、疑問点を整理する。
2 回	**授業テーマ：光速という特別な速さ** 授業内容：光速測定の歴史を通して、光速が特別な意味を持つ理由を解説する。 事前学修 2.0hr：光に関する身近な例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を文章でまとめる。
3 回	**授業テーマ：同時性の崩壊** 授業内容：「同じ瞬間」が観測者によって異なることを説明し、時間の相対性を理解する。 事前学修 2.0hr：同時という言葉の意味を考える。 事後学修 2.0hr：相対論的な時間観を整理する。
4 回	**授業テーマ：時間の遅れ・空間の収縮** 授業内容：双子のパラドックスを題材に、時間と空間が切り離せないことを説明し、時空という考えを導入する。 事前学修 2.0hr：双子のパラドックスについて調べる。 事後学修 2.0hr：相対論的世界観をまとめる。
5 回	**授業テーマ：質量とエネルギーの等価性** 授業内容：$E=mc^2$ という数式を通して、質量とエネルギーが等価であるという考え方を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
6 回	**授業テーマ：重力とは何か？** 授業内容：一般相対性理論の基本的な考え方を紹介し、重力が力ではなく時空の幾何として理解されることを説明する。重力による時間の遅れなどの例を通して世界観の変化を確認する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
7 回	**授業テーマ：ブラックホールと膨張する宇宙** 授業内容：一般相対性理論から導かれる現象である、ブラックホール、膨張宇宙論、重力波観測について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
8 回	**授業テーマ：量子の誕生** 授業内容：黒体輻射や光電効果を通して、量子概念の誕生を説明する。 事前学修 2.0hr：量子という言葉の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：古典物理学との違いを整理する。

9回	**授業テーマ：粒子でもあり波でもある何か** 授業内容：二重スリット実験を通して、波動粒子二重性を解説する。 事前学修 2.0hr：干渉現象の例を探す。 事後学修 2.0hr：結果の意味を文章でまとめる。
10回	**授業テーマ：状態という考え方** 授業内容：量子力学における「状態」の考え方を導入し、物理量が確定値ではなく可能性として扱われることを説明する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
11回	**授業テーマ：確率が基本になる世界** 授業内容：量子力学における確率の扱いを取り上げる。確率が基本原理として組み込まれている点を強調する。 事前学修 2.0hr：確率の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：量子力学的確率を整理する。
12回	**授業テーマ：不確定性原理** 授業内容：測定と物理量の関係を通して、不確定性原理を理解する。 事前学修 2.0hr：測定とは何かを考える。 事後学修 2.0hr：決定論との違いを整理する。
13回	**授業テーマ：重ね合わせと観測問題** 授業内容：重ね合わせの概念と観測問題を紹介し、量子論の解釈に触れる。 事前学修 2.0hr：観測という行為について考える。 事後学修 2.0hr：解釈の違いを整理する。
14回	**授業テーマ：量子力学が作る現代社会** 授業内容：半導体やレーザー、量子コンピューターなどの例を通して、量子力学の応用を解説する。 事前学修 2.0hr：量子技術の例を調べる。 事後学修 2.0hr：理論と技術の関係をまとめる。
15回	**授業テーマ：現代物理が示す世界像** 授業内容：相対性理論と量子力学を総括し、直感とは異なる世界像を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの資料を読み返す。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

藤井　大輔（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

私たちの身の回りには、自然界で産出された物質や、人工的につくられた物質が数多く存在し私たちの生活と密接に結びついています。
本講義は、身の回りにある物質の性質に着目し様々な現象が発現する原理を物理的化学的に捉えるなど、現代を生きるために大切な科学知識を習得し、自らの生活において課題発見・解決を行う力を高めることを目的とします。
日常に着目するなかで様々な科学の法則や構造にも簡単に触れますが高校での化学の履修の有無は問いません。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：化学の面白さや重要性を知り、化学と現代社会の関係を理解するとともに、日常を科学的に見る目を養うなど科学リテラシーを身につける。
個別目標：①様々な物質の性質を理解しこれまでの技術の進歩とこれからの発展について大観できることができる。
②身の回りの現象について科学的に説明することができる。
③科学事象を自らの言葉で表現できるようになるなど、実社会の様々な場面で多面的なものの見方ができるようになり課題解決に必要な基礎力を身に付けることができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

manaba を活用したアンケート、小テスト（５０%）やレポート（５０%）授業への参加度（授業中に使用する教材ペーパーの完成提出　割合は小テストに含む）等を総合評価する。

▌フィードバック方法

アンケート、小テスト、レポート等のフィードバックは、学修支援システム manabu を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、講義の度に行う小テストの提出）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （個人所要のスマートフォンや PC（小テストや教材ペーパー等はワードで提出））

▌教科書

使用しない（毎回パワーポイントファイルを用意します。）

▌参考書

特になし　ただし高校で使用した理科・専門（化学関係）の教科書がある場合は適宜参考にしてください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、科学技術の進歩について考えてみよう** 授業内容：講義の内容、評価方法について解説する。 科学と人間生活をテーマに科学技術全般について、その始まりから今後の活用について概説する。 事前学修 2.0hr：興味がある身の回りの化学現象について調べる。 事後学修 2.0hr：興味を持った化学現象が発現する原因を予測する。
2回	**授業テーマ：水について考えてみよう** 授業内容：水は人体を構成する主な成分です。水の構造や性質を知り、水がもたらす様々な現象の要因について理解する。 キーワード　分子構造、電気陰性度、水素結合、状態変化、浸透圧　超臨界流体、過熱水蒸気、硬水・軟水 事前学修 1.5hr：水について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：発酵について考えてみよう** 授業内容：微生物の力を借りて製造する発酵食品について理解する。 キーワード 微生物の役割　アルコール発酵　酒の種類、味噌や醤油の製造 事前学修 1.5hr：発酵について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：色と光の科学** 授業内容：色の見え方や化学反応における発色について理解する。 キーワード　光の 3 原則、波長、炎色反応、生物発光 事前学修 1.5hr：色について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：栄養の化学について考えてみよう** 授業内容：私たちの体を作り健康を維持するために必要な５代栄養素が体の中でどのような役割を果たしているか理解する。 キーワード　炭水化物、タンパク質　必須アミノ酸　クエン酸回路　酵素 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：薬と毒について考えてみよう** 授業内容：薬の効能と作用の仕方を理解する。また毒の特性を理解し日常生活における安全にむけた態度を養う。 キーワード　薬剤、ペニシリン、抗生物質、ウイルス、自然毒 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：衣類で使われている様々な繊維の性質について考えてみよう** 授業内容：繊維には天然繊維と化学繊維がある。それぞれの特性を理解し繊維製品の上手な利用方法や管理方法について理解する。 キーワード　天然繊維　合成繊維　炭素繊維　機能性繊維 事前学修 1.5hr：衣類に使われている繊維について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
8回	**授業テーマ：衣類の汚れはどのように落とすのか考えてみよう** 授業内容：洗剤の分子構造や汚れが落ちるメカニズムを知り効率的に汚れを取り除く方法を理解する。 キーワード　石鹸　界面活性剤　疎水性　親水性　ミセル　漂白剤　コロナ　消せるボールペン 事前学修 1.5hr：汚れについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。

9回	**授業テーマ：日用品に使われている化学のしくみをについて考えてみよう** 授業内容：普段何気なく使用している電化製品に着目してどのような原理が応用されているのか理解する。 キーワード　カイロ　冷蔵庫　ヒートポンプ　調湿　液晶　電子レンジ　オーブン 事前学修 1.5hr：日用品に使われている化学の仕組みについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
10回	**授業テーマ：金属の特徴を知り、産業における利用状況を考えてみよう** 授業内容：鉄や銅の性質を知り使用に係る時代変遷を理解する。 キーワード　鉄　銅　さび　合金　めっき 事前学修 1.5hr：金属について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：石油からつくられる物質について考えてみよう** 授業内容：プラスチック製品は人間の生活を豊かにしてきたが、昨今は環境汚染問題にも言及されている。プラスチックの製法や種類、リサイクルについて理解する。 キーワード　石油　分留　熱可塑性樹脂　熱硬化性樹脂　マイクロプラスチック　接着剤 事前学修 1.5hr：石油から作られる物質について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：生活に必要なエネルギー源の変遷について考えてみよう** 授業内容：人間が生きていくために必要なエネルギーの活用の変遷とその性質について理解し、今後の望ましいエネルギー利用について考える。 キーワード　石炭　石油　天然ガス　原子力発電　太陽光発電　電気　電池 事前学修 1.5hr：エネルギー源の変遷について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：地球環境について考えてみよう** 授業内容：大気成分の変化と人間生活に着目し地球環境について考える。 キーワード　大気成分　二酸化炭素　フロン　オゾン層　酸性雨 事前学修 1.5hr：地球環境について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**① 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：他の人の発表を聞き自分の発表にいかす。
15回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**② 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：授業全体の振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫 (かさしま　よしお)

▌授業の概要

本講義は、身近にある化学物質を通して、化学の成り立ち、化学の基礎知識、化学物質の応用例を学ぶとともに、「科学」の発展がいかなるものであったかを、「化学」を通して理解することを目的とする。文系の学生のみなさんにも、わかりやすいように、そこは意識して解説するつもりです。この講義では、化学の基本的な原理や、技術が生まれた背景、歴史的流れなどを中心に扱いますので、「元素記号を覚える」「化学反応式をつくる」というようなことはやりません。なお、講義の進行や社会情勢により、講義の順番を入れ替えることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「化学」を通して、社会の発展や現代の生活において、「科学」がどのような役割を担ってきたかを理解する。
個別目標：(1)「化学」が身近な生活にとって必要不可欠なものであることを、実例を挙げて説明することができる。
(2)「化学」の発展が、人間生活と密接につながってきたことを、実例により説明することができる。
(3) 「化学」を通して、「科学」と「人間生活」とのかかわりを説明することが出来る。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

2 回の大きなレポート(20 点満点レポート 1 回、10 点満点レポート 1 回)と、毎回課す講義の振り返りシート(5 点× 14 回= 70 点満点)で、合計 100 点満点として評価を行います。なお、すべてのレポートは、評価をつけます。提出したからといって、「満点」とは限りませんので、くれぐれも注意すること。この講義は、８０%以上の出席がないと、単位は出ませんので注意のこと(公欠は除く)。また、レポートの提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めませんので、注意のこと。

▌フィードバック方法

フィードバックは、manaba の評価欄または講義で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義の振り返りシートは、ワードで提出してもらいます。）

▌教科書

初回以外は、jpeg または pdf、パワーポイントファイルを用意します。manaba にアップしますので、manaba が見れるものを用意してください(講義でプリントは配布しませんので、注意のこと)。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：この講義の内容、進め方、評価方法について解説する。あわせて、「化学」の持つイメージを確認する。 事前学修 3.0hr：「化学」が身近に使われている事例を自分なりに調べてみてください。 事後学修 1.0hr：講義を聴いて、事前学修で調べた内容が正しかったか、検証してみてください。
2 回	**授業テーマ：プルシアンブルー** 授業内容：プルシアンブルーは、「世界で最初に開発された顔料」であるが、これがどのような変遷を経て現代にあるか、また現代での利用法などについて解説する。 事前学修 1.5hr：「プルシアンブルー」とは何かを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
3 回	**授業テーマ：色** 授業内容：色の見え方には発光と補色の 2 通りがある。まず、この違いと、仕組みを学習し、ヒト以外の動物の色の認識、植物の色の認識を学習し、あわせて前回の講義とのつながりを考える。 事前学修 1.5hr：「色」の見え方を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
4 回	**授業テーマ：花火** 授業内容：化学の技術の「粋」といわれる花火。その原理と構造、歴史的流れについて解説する。 事前学修 1.5hr：打ち上げ花火の構造を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
5 回	**授業テーマ：古伊万里** 授業内容：日本における窯業の大きな変遷期の一つが、江戸時代の古伊万里の誕生である。窯業のそれまでの流れをみるとともに、古伊万里の製法と化学の関係について探る。 事前学修 1.5hr：「磁器」はどのようにつくられるかを自分なりに調べてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
6 回	**授業テーマ：ファインセラミックス** 授業内容：現代の最先端で使われているセラミックとはどのようなものか、その製法と、前回の講義の古伊万里の製法との関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：「ファインセラミックス」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
7 回	**授業テーマ：イベルメクチン** 授業内容：抗寄生虫薬である、イベルメクチンの開発の流れと、現代社会に与えたインパクトについて解説する。 事前学修 1.5hr：「イベルメクチン」とはどういう薬か、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
8 回	**授業テーマ：接着剤** 授業内容：現代社会では、もはや必須のものとなった接着剤。「ものがくっつく原理」と、接着剤の用途、接着剤がもたらした技術革新について解説する。 事前学修 1.5hr：「でんぷん」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
9 回	**授業テーマ：カロザース** 授業内容：ナイロンと、合成ゴムを開発した、ウォーレス・カロザースの偉業について考えてみる。 事前学修 1.5hr：「ナイロン」はどのように発明されたかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

10回	**授業テーマ：ダイヤモンド** 授業内容：天然から人工まで、宝飾用から産業用まで、発見の過程と意外な用途まで探る。 事前学修 1.5hr：「ダイヤモンド」はなぜきらきら光るのかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：ルビーとサファイア** 授業内容：ルビーとサファイアは、どこが同じで、どこが違うのか、を探るとともに、工業用用途についても考えてみる。 事前学修 1.5hr：サファイアとルビーの違いを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：炭素繊維** 授業内容：炭素繊維の開発過程について学ぶとともに、炭素繊維が現代社会にどのような影響を及ぼしたかを考えてみる。 事前学修 1.5hr：炭素繊維はどこに使われているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：でんぷん(1)でんぷんの種類** 授業内容：でんぷんの種類と、その用途(食品用から、他の用途まで)について解説する。 事前学修 1.5hr：でんぷんの種類について、自分なりに調べてみる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
14回	**授業テーマ：でんぷん(2)「コメとでんぷん」** 授業内容：「コメ」を炊く過程でどのようにでんぷんが変化するか、でんぷんの種類の違いでコメの食味にどのような変化を与えるか、など、コメとでんぷんの関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：コメの中に含まれているでんぷんについて調べておくこと。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：リチウムイオン電池** 授業内容：現代において、最も必要とされている 2 次電池の代表格。その原理と応用、そして問題点について考えてみる。 事前学修 1.5hr：リチウムイオン電池がどのようなところに使われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

科学技術と社会

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

遠藤　信一（えんどう　しんいち）

▌授業の概要

本科目は，科学技術と社会との関わりをテーマとするが，様々な社会課題の解決に立ち向かえるようにするために，解決すべき目標を設定できること，必要な情報を収集し，加工できることなどを目指す。問題解決にあたっては，建学の精神を問題解決学習の柱と捉え，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びを前提としながら，加重平均法の手法を採り入れ，他人を説得できるレベルに到達してもらいたい。それゆえ「プレゼンテーションスキルを高めたい」，「どうやって情報収集すれば良いのかわからない」といった悩みを持つ学生諸君のニーズに応えたいと思う。自分のプレゼン力，問題解決力をつけたい諸君を歓迎する。プレゼンは場数を踏むことが重要なので，3 回の制作・発表を必須とする。なお，例年月曜日の履修者が少なく火曜日に集中している（1：5）。月曜日に受講可能な場合は月曜日を選んで欲しい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：社会課題をどの側面から斬っていくのか，建学の精神を道しるべとして，問題解決の方法や手順を身につける。中でも，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びに基づくデータの利活用は必須と考えている。
また，この授業では，科学技術と社会との関わりに注目し，プレゼンテーションスライドを作成し，発表できるようにする。各自が作成，発表の双方を行うことを必須とする (合理的配慮申請がある場合を除く)。

個別目標：①建学の精神を問題解決学習の柱とすることができる
②課題を自ら発見し，情報を分析し，解決の道筋を考えることができる
③主権者に必要な情報活用能力を身につける
④情報モラル，技術者倫理，企業倫理などについて理解している
⑤他人を説得するために必要なプレゼンテーション作成や発表ができる

▌履修条件

建学の精神に基づいて，プレゼンテーションスキルや問題解決能力を高めたいと考えていること
授業に出席し，発表，ファイルの提出などが出来ること
出席確認は，スマートフォンによる出席確認と授業後半での点呼の 2 回を予定している。

▌評価基準・方法

【評価基準】
1，授業内で指示する「Worksheet」(提出および内容)：5 点× 6 回
2，協働学習によるプレゼンテーションスライドの作成および提出：30 %
3，プレゼンテーションの発表(発表態度など)：40 %
※プレゼンテーションスライドのファイル提出を最終課題の提出とします
※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。

▌フィードバック方法

課題に対し全体に対する講評，発表など協働学習に対する授業時間内での講評，manaba のコンテンツへの掲載など

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働学習による発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンスライドの作成などに PC を使用）

▌教科書

指定しない
授業ごとに資料を提示

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　本授業の進め方** 授業内容：この授業の目的，授業方法・課題・評価について説明する。 建学の精神に基づいた明海大学独自の問題解決の手順について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み，授業全体の流れを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
2 回	**授業テーマ：脳に汗をかく（1）心理学的アプローチ** 授業内容：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」などのジレンマ問題について考える。 事前学修 2.0hr：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」について検索する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
3 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(2)功利主義からのアプローチ** 授業内容：功利主義の考え方について学び，得をすることが人間にとって最も大切なことなのか，考える。 事前学修 2.0hr：功利主義について予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
4 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(3)データを読む　情報を利用しない弁当屋が潰れる理由** 授業内容：平均 150 個売れる弁当屋が「今日は晴れて行楽日和だから 200 個作る」ということを繰り返していたら潰れてしまった。「間口を広げたら味が落ちた」とはどういうことなのか，その仕組みについてデータ解析の観点から考える。 事前学修 2.0hr：平均と何がわかれば売れる数を予測出来るのか，考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
5 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(1)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：プレゼンテーションの基礎を学び，自分たちが薦めるものの順位を合理的につける。そのための手法を示した上で協働学習を行う。 また，加重平均法について学び，学修の基礎よりワンランク上の比較方法を身につける。 事前学修 2.0hr：グループを作っておく。また，ランキングをつけたいことを選んでおく。 事後学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させる。
6 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(2)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドで使用するデータを収集。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドを完成させる。

7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(3)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドに基づき，発表する。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。ファイルを提出する。
8回	**授業テーマ：企業人として必要な説得力　説明の理解と説得の違い** 授業内容：他人を説得することについて考える。どのような説得方法があるのか，データを示す必要はないのか，『今日の昼ご飯に何を食べるべきか』を説得出来る材料を用意し，受講者を説得する。 事前学修 2.0hr：他人を説得し，賛同してもらうには何が必要か，考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
9回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(1)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：国際交流では，エネルギー環境分野を交流テーマとする場合が多い。そのために必要なわが国の電力事情や東南アジアの電力事情について学ぶ。 事前学修 2.0hr：わが国の電力事情について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
10回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(2)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：東南アジアの学校との交流を念頭に，お勧めする発電方法について提案するため，プレゼンテーションスライドの作成に着手する。 事前学修 3.0hr：プレゼンのテーマを考えておく。グループを作っておく。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドの作成。
11回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(3)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：(2)について，発表を行う。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。
12回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(1)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：大学生であっても社会人であっても魅力ある人はいるものである。必ずしも容姿の問題ではなく，どのような人が魅力あると考えられるのか，プレゼンテーションスライドの作成を開始する。 事前学修 2.0hr：グループを作り，提案内容を考えてくる。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドの作成に着手する。
13回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(2)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：チームの仲間と十分話し合いをしておく。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドを作成し，班員と合成する
14回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(3)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)の発表を行い，各チームの内容を検討する。それに基づきスライドを修正し提出する。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させ，発表練習をする。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。修正したプレゼンのファイルを提出する。
15回	**授業テーマ：授業全体のまとめ　明海大学独自の問題解決方法のまとめ** 授業内容：これまでの学修内容をまとめ，他人を説得するためにはどのような説得方法があるのか，どのようなデータを示すことが効果的なのかまとめ，レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：いままでのプレゼンスライドなどを振り返る。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要
有名な文学作品を読むみ、その感想を書く。なお授業の理解力向上のため、SPI に対応するための基礎的問題を解くことを毎回行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）
一般目標：社会人として最低限読んでおくべき、名作のあらすじを理解できること
個別目標：最も関心を持っている文学作品の良さをみんなの前で発表できること

▌履修条件
文学に関心があること

▌評価基準・方法
毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(30 %)、授業に取り組む姿勢 (20%)。

▌フィードバック方法
小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし （manaba は利用）

▌教科書
特になし

▌参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏目漱石** 授業内容：「吾輩は猫である」「坊ちゃん」「こころ」 事前学修 2.0hr：第 1 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 1 回の事後学習の小テスト
2回	**授業テーマ：芥川龍之介** 授業内容：「羅生門」「杜子春」 事前学修 2.0hr：第 2 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 2 回の事後学習の小テスト
3回	**授業テーマ：森鴎外** 授業内容：「舞姫」 事前学修 2.0hr：第 3 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 3 回の事後学習の小テスト
4回	**授業テーマ：太宰治** 授業内容：「走れメロス」「人間失格」 事前学修 2.0hr：第 4 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 4 回の事後学習の小テスト
5回	**授業テーマ：福沢諭吉** 授業内容：「学問のすすめ」 事前学修 2.0hr：第 5 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 5 回の事後学習の小テスト
6回	**授業テーマ：吉川英治** 授業内容：「宮本武蔵」 事前学修 2.0hr：第 6 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 6 回の事後学習の小テスト
7回	**授業テーマ：柳田國男** 授業内容：「遠野物語」 事前学修 2.0hr：第 7 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 7 回の事後学習の小テスト
8回	**授業テーマ：谷崎潤一郎** 授業内容：「細雪」 事前学修 2.0hr：第 8 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 8 回の事後学習の小テスト
9回	**授業テーマ：SPI の一般教養問題** 授業内容：数学、国語(読めそうで読めない漢字が中心)、英語、地理・歴史。 事前学修 2.0hr：第 9 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 9 回の事後学習の小テスト
10回	**授業テーマ：中島敦** 授業内容：「山月記」 事前学修 2.0hr：第 10 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 10 回の事後学習の小テスト
11回	**授業テーマ：梶井基次郎** 授業内容：「檸檬」 事前学修 2.0hr：第 11 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 11 回の事後学習の小テスト
12回	**授業テーマ：小林多喜二** 授業内容：「蟹工船」 事前学修 2.0hr：第 12 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 12 回の事後学習の小テスト

13回	**授業テーマ：中勘助** 授業内容：「銀の匙」 事前学修 2.0hr：第 13 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 13 回の事後学習の小テスト
14回	**授業テーマ：ドストエフスキー** 授業内容：「カラマーゾフの兄弟」 事前学修 2.0hr：第 14 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 14 回の事後学習の小テスト
15回	**授業テーマ：宮沢賢治** 授業内容：「銀河鉄道の夜」 事前学修 2.0hr：第 15 回目の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 15 回目の事後学習の小テスト

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

SPI3 は、多くの企業で実施されている採用適性検査です。本授業ではそのうち非言語分野を扱います。数学が得意でない学生を主な対象とし、問題を「解法の型」に整理して学ぶことで、基本問題を安定して解ける力を養います。割合、速さ、場合の数、推論などを分野別に扱うのではなく、思考の型ごとに反復演習を行います。授業内では演習と確認小テストを実施し、学修支援システム manaba も活用して理解の定着を図ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：SPI3 非言語問題の基本問題を安定して正答できる力を身につけるとともに、問題を解法の「型」に分類し、適切なアプローチを選択できる能力を修得する。

個別目標：① 割合・損益・濃度・平均などの問題を分数構造に基づいて処理できる。
② 出会い・追いつき・区間分割を含む速さの問題を図示し、式を立てて解くことができる。
③ 条件を表に整理し、内訳問題を処理できる。
④ 基本的な順列・組合せ・確率の問題を解くことができる。
⑤ 与えられた条件を整理し、論理的に推論できる。

▌履修条件

特にありません。ただし、高校までの基礎的な計算力(分数計算、一次方程式程度)は前提とします。第 1 回からの出席を前提とします(履修修正による 1、2 回目の不在は欠席となります)。

▌評価基準・方法

型別到達チェック 40 %、中間・期末の到達度テスト 40 %、授業内小テスト 20 %の割合で総合的に評価します。型別到達チェックは各解法の型ごとに実施し、再挑戦の機会を設けます。授業内小テストは manaba の自動採点機能を用いて実施する予定です。

▌フィードバック方法

型別到達チェックおよび到達度テストの解説は授業内で行います。解答例や補足資料は manaba を通して提示します。授業内小テストは manaba 上で自動採点結果を確認できるようにし、理解状況をその都度把握できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内での個別演習、ペアでの解法確認、型分類活動、manaba を用いた小テストなどを実施します。問題解決型の学修を取り入れ、学生が主体的に考える時間を確保します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を用いた小テスト、資料の閲覧、課題の提出などに PC を利用します。BYOD 環境を活用し、各自の端末で確認問題に取り組みます。）

▌教科書

教科書は使用しません。配布プリントおよび manaba 掲載資料を使用します。

▌参考書

市販の SPI3 対策書を、必要に応じて授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・SPI3 と「解法の型」** 授業内容：SPI3 の概要と評価方法を説明し、問題を「型」に分類する考え方を導入する。簡単な例題で型分類演習を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業の目的を確認する。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習し、型の一覧を整理する。
2 回	**授業テーマ：比例・割合型① 基礎** 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
3 回	**授業テーマ：比例・割合型② 損益・濃度・平均** 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
4 回	**授業テーマ：比例・割合型③ 総合演習** 授業内容：基本問題の反復演習を行い、型①到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの問題を復習する。 事後学修 2.0hr：間違えた問題を解き直す。
5 回	**授業テーマ：速さ型① 基本と単位変換** 授業内容：距離＝速さ×時間の関係を確認し、図示を徹底する。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：単位換算を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
6 回	**授業テーマ：速さ型② 出会い・追いつき** 授業内容：相対速度(和・差)の考え方を学ぶ。図を必ず描く練習を行う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容の復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
7 回	**授業テーマ：速さ型③ 区間分割** 授業内容：途中で速度が変わる問題や往復問題を扱う。型②到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：速さの基本公式の確認。 事後学修 2.0hr：解き直し。
8 回	**授業テーマ：到達度確認(前半内容)** 授業内容：比例・速さ型の総合問題に取り組み、理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：第 2～7 回の復習。 事後学修 2.0hr：事後学修： 間違えた問題の再確認。
9 回	**授業テーマ：表作成型① 基本** 授業内容：集合や清算問題を表で整理する方法を学ぶ。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回までの復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。

10回	**授業テーマ：表作成型② 内訳整理** 授業内容：条件整理と内訳問題の演習を行い、型③到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
11回	**授業テーマ：場合の数① 順列・組合せ** 授業内容：書き出しと基本公式を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：基本的な数え上げを確認。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
12回	**授業テーマ：場合の数② 確率** 授業内容：基本確率を扱い、型④到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
13回	**授業テーマ：推論型① 命題と並び順** 授業内容：条件整理と真偽判定の基本を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：条件整理の練習。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
14回	**授業テーマ：推論型② 複数条件と構造的把握** 授業内容：推論の総合演習を行い、型⑤到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：推論問題の復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
15回	**授業テーマ：総合到達度確認** 授業内容：全範囲の基本問題を解き、学修の成果を確認する。 事前学修 2.0hr：全範囲の復習。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返り。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、キャリア観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、就業観の醸成やジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：① **Well-being を実現**するために、「なりたいじぶん」について言語化する。
②**ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会人インタビュー】①目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューに取り組むことができる②他者のレポートと比較し自分のレポートの改善点を言語化することができる③将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:30%, 学修内容振り返り:25%, グアム研修への参加やこれまでの経験に基づく課題への取り組みと振り返り：25%, 自己ＰＲ:10%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10% ※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標、MEIKAI SPI の目的と使い方について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り (じぶん編)** 授業内容：グアム研修やこれまでの経験で気づいたこと等を文章や図で可視化する。 事前学修 2.0hr：グアム研修やこれまでの経験について振り返りメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
3回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り (社会編)** 授業内容：グアム研修に参加して実感した社会あるいはこれまでの経験で実感した社会について言語化する。 事前学修 2.0hr：グアム研修やこれまでの経験で社会に触れて気づいたことをメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
4回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り共有** 授業内容：グアム研修あるいはこれまでの経験の振り返りを共有し他者の気づきからも学ぶ。 事前学修 2.0hr：グアム研修あるいはこれまでの経験を共有する準備をしておく 事後学修 2.0hr：ここまでの学修を踏まえ、学生生活における目標を設定する
5回	**授業テーマ：なりたいじぶんと建学の精神** 授業内容：建学の精神について確認し、自分の将来や学びの方向性などを考える。 事前学修 2.0hr：明海大学の「建学の精神」を再確認し、現時点での自分と照らし合わせる 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんを言語化しそれに向かう活動について調べる
6回	**授業テーマ：共生・協働** 授業内容：「共生・協働」をテーマにパネルディスカッションを行い、多様な視点から共に生き・働くための考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：「共生・協働」について調べた上で、自分の考えを言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修を踏まえ「共生・協働」について情報収集し自分の考えを整理する
7回	**授業テーマ：「働くこと」について考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：今後のキャリアを考える** 授業内容：キャリア体感ゲームを通じて大学生活が社会人生活に活きることを知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を見直しジェネリックスキルについて復習しておく 事後学修 2.0hr：授業の学修に基づき、自分の学生生活について計画立案する
9回	**授業テーマ：ディスカッションの流れとポイント** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを学び、グループでディスカッションを体験する。 事前学修 2.0hr：参考にできるグループディスカッションの動画を探す 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する

10回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを意識し、合意形成できるようディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて自分の意見を考えておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの動画を視聴し自分の課題を整理する
11回	**授業テーマ：自己理解 (価値観探索編)** 授業内容：自分が大切にしたい価値観やその理由について深く考える。 事前学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観を列挙しておく 事後学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観とその理由を文章化する
12回	**授業テーマ：自己理解 (強み探索編)** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考え、これまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
13回	**授業テーマ：PREP 法で文章作成** 授業内容：自分の強みについて PREP 法を用いて伝わる文章を作成する。 事前学修 2.0hr：PREP 法について調べた上で理解しておく 事後学修 2.0hr：授業で作成した文章を改善し完成させる
14回	**授業テーマ：授業の振り返りと公務員クラスガイダンス** 授業内容：ここまでの学修を振り返り、学んだ内容と自分の気づきや考えについて言語化する。また、公務員クラスについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんと行動計画について振り返りをする
15回	**授業テーマ：社会人インタビューの共有となりたいじぶん** 授業内容：自分の「社会人インタビュー」を伝え、他者の社会人インタビューを聞き、働くことについて考察する。 事前学修 2.5hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直す 事後学修 2.5hr：社会人インタビューの気づきを踏まえあらためて「なりたいじぶん」への道筋を検討する

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラムクラス

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①**日本における就職および就職活動**について情報を収集・整理しながら理解を深める。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会環境理解】①日本における就職の知識を習得し、準備に必要な活動について理解する。【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。【プレゼンテーション】自分の将来についての考えなどをプレゼンテーション形式で伝えることができるようになる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:35%, 学修内容振り返り:30%, 国内研修への参加と振り返り：25%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10%※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に授業ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：自己紹介と MEIKAI SPI の活用** 授業内容：自己紹介ワークでクラスメンバーと交流する。MEIKAI SPI の目的と活用方法を理解し操作する。 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し理解しておく 事後学修 2.0hr：MEIKAI SPI の練習問題を解く
3回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (知識編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について解説を聞き理解する。 事前学修 2.0hr：日本の就職について、関連サイトで探索しておく 事後学修 2.0hr：今後の目標や行動計画について考えを整理する
4回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (キャリア形成編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について理解した上で、自分の日本でのキャリアを考える。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業の内容を振り返る 事後学修 2.0hr：日本でのキャリアをどう形成するか検討する
5回	**授業テーマ：MGO 探索とビジネスメール** 授業内容：MGO プログラムを理解し学内で情報収集できる場所を確認する。また、ビジネスメールの書き方を理解する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールについて関連資料を読む 事後学修 2.0hr：授業で確認した情報収集について振り返る
6回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：卒業時点での目標を考え、1 年・半年・1 ヶ月単位で、具体的な行動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：将来のキャリアに向かうための目標や具体的な行動について考えておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
7回	**授業テーマ：「働く」ことについて考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：自己分析** 授業内容：大切にしたい価値観を言葉を選びその理由を考え言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの自分を振り返って年代ごとに出来事をメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で実施したワークを基に自分について言語化しておく
9回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考えこれまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
10回	**授業テーマ：ここまでの学修を振り返る** 授業内容：ここまでに学修した内容を振り返り、今後必要な活動を整理する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業を振り返っておく 事後学修 2.5hr：今後必要な活動について具体的に計画立案する

11回	**授業テーマ：プレゼンテーション理解** 授業内容：プレゼンテーションに必要な要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターネット等でプレゼンテーションに必要なことを調べておく 事後学修 3.0hr：授業の内容を基に、プレゼンテーションの内容を検討する
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション作成** 授業内容：前回授業で学修したことを踏まえて、自分がプレゼンテーションする内容を決め、スライドを作成する。 事前学修 2.0hr：自分がプレゼンテーションしたい内容を決め情報収集しておく 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションで使用するスライドを完成させる
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション実践** 授業内容：準備してきた内容を、スライドを使用してプレゼンテーションする。 事前学修 3.0hr：本番での発表を意識しプレゼンテーションの練習をする 事後学修 2.0hr：自分のプレゼンテーションの改善点を明確にしておく
14回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：START を活用し、なりたいじぶんとアクションプランを見直し、今後の活動計画を考える。 事前学修 2.0hr：START の記録を確認し、自分活動状況を整理しておく 事後学修 2.0hr：見直した内容と今後の活動計画を完成させ START に記録しておく
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと夏季休暇のアクションプラン作成** 授業内容：第 14 回までの学びを振り返り、進級した後の姿を想像しながら、夏季休暇の行動計画を作成する。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に春季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**林　苗**（りん　みょう）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とするクラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座に参加する。

▌評価基準・方法

課題提出 30 %、テスト 30%、資格試験 15 %、国内研修への参加とふり返り 25%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。「日本語の世界①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2 回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：「日本語の世界②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3 回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：「日本の文化」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4 回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：「日本人の行動様式」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5 回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：「言語とコミュニケーション」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6 回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：「異文化理解」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7 回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：「環境と人間」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：「IT と情報社会」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：「生物と自然」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：「人生と生き方」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：「子どもと教育」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：「報道とマスコミ」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：「科学と技術」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理①** 授業内容：「生命と倫理①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：生命と倫理②、まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：「生命と倫理②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス／留学生

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。
個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とする再履修クラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30 %、テスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。「日本語の世界①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：「日本語の世界②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：「日本の文化」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：「日本人の行動様式」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：「言語とコミュニケーション」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：「異文化理解」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：「環境と人間」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：「IT と情報社会」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：「生物と自然」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：「人生と生き方」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：「子どもと教育」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：「報道とマスコミ」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：「科学と技術」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理①** 授業内容：「生命と倫理①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：生命と倫理②、まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：「生命と倫理②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、課題発見と解決に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、企業や仕事を研究する観点を理解し、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①**身近な課題発見**から社会と自分を理解し、進路選択において主体的に活用できるようになる。
②**ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【社会理解】①必要な情報を理解しその情報源を探索することができる②学修するフレームを活用することができる②自分の興味・関心と照らし合わせて考えることができる【自己理解】自分の強みと裏付ける出来事を文章で伝えることができる【目標設定】1 年次の「なりたい自分とアクションプラン」を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (Web テスティング):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業の概要や評価について理解しておく 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：進路の選択肢をイメージし、キャリア形成について考える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで考えた自分のキャリアについての資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える
3回	**授業テーマ：これまでの自分を振り返る** 授業内容：モチベーショングラフを作成し、これまでの自分を振り返る。 事前学修 2.0hr：モチベーショングラフについて検索し情報収集しておく 事後学修 2.0hr：モチベーショングラフで気づいた自分の価値観を整理する
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：キャリアプランニングⅠで考えた「なりたいじぶんとアクションプラン」を基に、あらためて検討し作成してみる。 事前学修 2.0hr：1 年次に受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
5回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：社会人の経験や知識を参考にし、今後の大学生活で取り組む活動を考える。 事前学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動をリストアップしておく 事後学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動を検討しスケジューリングする
6回	**授業テーマ：ディスカッションの復習** 授業内容：キャリアプランニングⅠで学修したディスカッションを復習し、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠのディスカッション関連の授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの手本となる動画を探して視聴する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：前回授業で実施したグループディスカッションを振り返り、改善を目指し実践する。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションを振り返る
8回	**授業テーマ：課題発見 (社会理解編)** 授業内容：課題発見の方法を理解し、課題と社会における事業等のつながりを知る。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りで課題に感じることを列挙しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修したことを復習する

9回	**授業テーマ：課題発見 (自己理解編)** 授業内容：「課題発見を整理していくと自分の価値観が影響している」ことを理解する。 事前学修 2.0hr：課題発見で挙げたものに対する自分の興味・関心を確認しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、具体的に解決したい課題を列挙しメモしておく
10回	**授業テーマ：課題解決 (社会編)** 授業内容：解決したい課題を 1 つ挙げ、実際にどのように解決されているかを調べる。 事前学修 2.0hr：第 8 回、第 9 回授業の内容を復習し取り上げる課題を吟味する 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
11回	**授業テーマ：課題解決 (自分編)** 授業内容：解決したい課題について、自分の価値観や興味・関心がどのようにつながっているか考える。 事前学修 2.0hr：第 8 回～第 10 回授業の内容を復習し自分とのつながりを考えておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
12回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：キャリアプランニングⅠで探索したストレングス、キャリアプランニングⅡで作成したモチベーショングラフを踏まえて、自分について発見したことや再確認したことを言葉にして伝える。 事前学修 2.0hr：ストレングスとモチベーショングラフを見直しておく 事後学修 2.0hr：自己理解した内容を文章にしてまとめておく
13回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：前回授業の学修を活用し、自分らしさを伝える自己 PR を作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで返却された添削データを確認しておく 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出する
14回	**授業テーマ：Well-being を考える** 授業内容：就職活動だけでない「キャリア」について理解する。 事前学修 2.0hr：5 つの Well-being について調べておく 事後学修 2.0hr：Wel-being につながる「なりたいじぶん」をあらためて考える
15回	**授業テーマ：授業の振り返り** 授業内容：授業で学んだことを振り返り、今後の活用を想像し、夏季休暇の過ごし方を考える。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に夏季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。教養科目と言われている 5 科目(数的処理・文章理解・社会科学・人文科学・自然科学)と SPI、面接・論文の対策も行う。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①公務員試験の試験科目は一般知識・一般知能に分けられ、多岐にわたるが、教養科目には何があるのか、その対策として何をすればよいのかを身につける。
②試験問題には、出題頻度・難易度が様々であるが、基礎的問題を解答出来る能力を身につける。
個別目標：①一般知識は、中学・高校で学んだ知識が問われているので、各科目について高校までの知識を身につける。
②一般知能は公務員試験独自の問題であるが、パターンがあるので、そのパターンの対応能力を身につける。

▌履修条件

必修科目である。
2025 年度キャリアプランニング I の授業内アンケートで本クラスの履修を希望した者およびキャリアサポートセンター窓口で指定の期間に所定の手続きをした者。本授業の他に実施する講座(全 15 回)も必ず受講すること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥7,400(自己負担) を回収する。
管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥7,400 の証紙を購入し、第 1 回授業で教員に提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス①公務員試験の概要(職種・試験科目・試験日程)②2年次の授業の目的・到達目標 人文科学　人文科学の各科目の概要(世界史・日本史・地理・思想・文学芸術)、世界史(基礎)：古代、中世、近世 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：公務員試験の概要について復習し授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：SPI・数的処理 1 回目** 授業内容：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算 事前学修 2.0hr：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：SPI・数的処理 2 回目** 授業内容：濃度算、命題 事前学修 2.0hr：濃度算、命題について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
4回	**授業テーマ：SPI・数的処理 3 回目** 授業内容：場合の数、確率 事前学修 2.0hr：場合の数、確率について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
5回	**授業テーマ：SPI・数的処理 4 回目** 授業内容：旅人算、流水算、通過算 事前学修 2.0hr：旅人算、流水算、通過算 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
6回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：社会科学のガイダンスと社会保障 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：市場の仕組み・経済循環、国民所得と経済理論 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：世界史(基礎)：近現代、中国史、日本史(基礎)：古代、中世 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：日本史(基礎)：近世、近現代 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：景気循環、財政・金融政策、国際経済、法律概論、日本国憲法で保障されている人権 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：政治制度、補足・まとめ、問題演習／社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
12回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：地理(基礎)：自然地理、地誌／人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
13回	**授業テーマ：SPI・数的処理 5 回目** 授業内容：仕事算、推論(うそつき、席順、順序) 事前学修 2.0hr：仕事算、推論(うそつき、席順、順序)について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：SPI・数的処理 6 回目** 授業内容：損益算、暗号 事前学修 2.0hr：損益算、暗号 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：SPI・数的処理 7 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図／数的処理前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅡでは、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修、課題を行う。ほぼ毎回、小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解することを目指す。
　　自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育成する。
個別目標：(1) 幅広い分野に渡る抽象度の高い日本語の文章を読んで正確に理解できる。
　　(2) 正しい文法知識と語彙を増やし、正確に産出できる。
　　(3) 日本社会に関わる背景知識を増やす。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題提出の期限を守る。
積極的に授業に参加する。
授業外の講座、模擬試験に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40 %、テスト 20%、課題提出 20 %、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を利用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業時に随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界** 授業内容：教科書の「日本語の世界」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本語についての考えをあげ、グループワークを行い、意見交換をする。 事前学修 2.0hr：自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補うために必要な学習計画を立てる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：教科書の「日本の文化」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本の文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：教科書の「日本人の行動様式」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本人の行動様式について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：教科書の「言語とコミュニケーション」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、言語とコミュニケーションについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：教科書の「異文化理解」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、異文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：教科書の「環境と人間」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、環境と人間について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：教科書の「IT と情報社会」の文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、IT と情報社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：教科書の「生物と自然」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、生物と自然について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

9回	**授業テーマ：心理と哲学** 授業内容：教科書の「心理と哲学」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、心理と哲学について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：教育と学び** 授業内容：教科書の「教育と学び」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、教育と学びについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：教科書の「報道とマスコミ」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、報道とマスコミについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：教科書の「科学と技術」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、科学と技術について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：現代の社会** 授業内容：教科書の「現代の社会」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、現代の社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：余暇と娯楽** 授業内容：教科書の「余暇と娯楽」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、余暇と娯楽について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：総まとめと振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習した内容を振り返り、学んだことや気づいたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、自分史の作成に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を使用する。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、相手視点で課題解決に取り組み、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①自分史の作成を通じて、これまでの経験・価値観・学びを整理し、現在の自分の関心や強みを再確認することができる。
②ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力) を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。
個別目標：【自分史作成】①自身のこれまでの経験・価値観・行動を整理し言語化できる②過去の経験から現在の関心・強み・学びの傾向を分析できる③自己理解に基づいてキャリア形成の方向性を検討できる④自分史を他者に共有し、フィードバックを踏まえて内容を改善できる【自己理解】完成度の高い (採用選考通過を見据えた) 自己 PR を作成できる【目標設定】キャリアプランニングⅡの目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (テストセンター):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：なりたいじぶんと Well-being** 授業内容：well-being と「なりたいじぶん」について見直し、今後の活動について検討する。 事前学修 2.0hr：学修ポートフォリオ「START」を見直し自分の Well-being を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、今後の活動を検討し決定する
3回	**授業テーマ：自分史とは** 授業内容：自分史の目的と作成の手順を理解する。 事前学修 2.0hr：自分史について情報収集しておく 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
4回	**授業テーマ：これまでの自分** 授業内容：過去の経験から得た自分の強みや価値観、成長のきっかけを言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで実施した自己理解ワークを復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
5回	**授業テーマ：これからの自分** 授業内容：過去からつながる今の自分を踏まえ、これからの自分を言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで考えた「なりたいじぶん」について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
6回	**授業テーマ：ディスカッションの振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ・Ⅱで実施したグループディスカッションを振り返る。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションについて復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：キャリアプランニングの集大成としてグループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションにおける課題が解決できたか振り返る
8回	**授業テーマ：社会に触れる** 授業内容：社会人の経験や知識から、自分のキャリアについて可能性を広げて考える。 事前学修 2.0hr：これまで記録してきたなりたいじぶんについて確認しておく 事後学修 2.0hr：今後のキャリアについて言語化し記録しておく

9回	**授業テーマ：業界・企業理解** 授業内容：業界・企業理解において必要なことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する
10回	**授業テーマ：企業研究** 授業内容：事業内容、商品・サービス、理念ビジョンなど、企業研究で調べる項目について、同業２社で情報を整理し比較する。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で取り上げた業界や企業について情報収集する
11回	**授業テーマ：職種理解** 授業内容：職種においても、企業によって扱うものや関わる組織や人など、違いがあることを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げた企業の職種について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：自分が興味を持った業界や企業、職種についてさらに情報収集する
12回	**授業テーマ：自分史ポスターの作成** 授業内容：第 6 回～第 11 回授業の学修を基に、社会にどう接続していくかを言語化しポスターに集約する。 事前学修 3.0hr：第 6 回～第 11 回授業の学修を振り返る 事後学修 2.0hr：自分史ワークシートに社会との接点を追加して改善する
13回	**授業テーマ：自分史ポスターの完成** 授業内容：自分史ポスターを完成させる (発表できるように準備する)。 事前学修 3.0hr：第 6 回～第 12 回授業の学修を振り返る 事後学修 3.0hr：自分史ポスターを発表できるように準備する
14回	**授業テーマ：授業となりたいじぶんの振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ～Ⅲまでを振り返り、何を学び、気づき、今後のキャリア選択に対する準備ができたのかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の自分のキャリアを考え言語化し記録しておく
15回	**授業テーマ：自分史ポスターの共有と振り返り** 授業内容：作成した自分史をグループとクラスで共有し相互に学び合う。 事前学修 3.0hr：作成した自分史を確認しておく 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を確認し、今後のキャリアに向けた活動を具体的に考え記録する

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。後学期では、数的処理・社会科学・人文科学は演習問題を使用し解き方を身につけていく。文章理解は基礎から学習していく。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：前学期で修得した知識を基にして、新たな問題についても自分の力で正解にたどり着ける能力を身につける。
個別目標：前学期に学習した問題は確実に解くことができ、新たな問題についても自分の力で解くことができるように、予習復習を繰り返す習慣を身につける。

▌履修条件

必修科目である。
2026 年度前学期開講のキャリアプランニングⅡ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥4,700 円(自己負担)を回収する。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥4,700 の証紙を購入し、第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：世界史(実践)：世界史問題演習(古代、中世、近世、近現代、中国史) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比 事前学修 2.0hr：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：文章理解解き方のポイント 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：消費者と生産者の行動、市場と経済厚生 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：憲法；統治機構、日本国憲法の特徴 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史(実践)：日本史問題演習(古代、中世、近世、近現代) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：選挙制度、国際政治 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：社会：環境・医療問題、科学技術、文化等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理(実践)：地理問題演習(自然地理、地誌) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
10回	**授業テーマ：社会科学 5 回目** 授業内容：補足、まとめ、問題演習①、問題演習②／社会科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

11回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗 事前学修 2.0hr：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書き 事前学修 2.0hr：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書きについて予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面 事前学修 2.0hr：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 5 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図の復習、及び資料解釈／数的処理後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図、資料解釈について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする。
15回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：人文科学(総まとめ)：世界史、日本史、地理のポイントチェック／人文科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）**・範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅢでは、日本社会で成果をあげるためにビジネス日本語について学習する。授業外に事前学修、事後学修、課題がある。小テストはほぼ毎回、授業内に行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会、文化的な背景、心理的な状況を理解したうえで、ビジネス上の課題に対して適切に対応する力を育成する。限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーションができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で話されれば、社内で行われる議論等で担当領域の議論の流れを理解することができる。
(2) 担当領域の文書や記事、メールを読み解くことができる。
(3) 担当領域に関連するテーマについて、多様な選択肢の利点や不利な点を示しながら主張することができる。
(4) 担当領域に関する事柄を詳細に書くことができる。
(5) 自身の考えの根拠を示しながら説明する文章を書くことができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験、ビジネス日本語能力を測る資格試験を受験する。
授業活動に積極的に参加する。
課題の提出日を守る。
授業外の講座、模擬試験等に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 20%、テスト 20%、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動では選考の材料となる提出書類の作成や面接試験など重要なことがある。その中で、エントリーシートなどの書類の書き方、面接時の話し方を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後、新入社員は初対面の人とコミュニケーションをとる機会が多い。その一つとして自己紹介があり、話を聞いた人が記憶に残る一言が言えるよう練習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて、承認を受けることで一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司や先輩、同僚への報告を取り上げる。仕事は同じ目標を持つ人々とうまく連携できるよう、わかりやすく伝えられるよう学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪について取り上げる。仕事でミスがあったときに早い段階で上司に正確に事実を報告し、素直に謝罪できるよう学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場になって自社を紹介し、業務や職種を理解してもらうとともに、さまざまなリスク管理について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備においては、会場の予約、機器の設置、会議議題の決定、前回の議事録の作成など、様々な資料を作成、配布する、欠席者への対応など一連の業務を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議では、各種の報告と意志決定をおこなう審議が行われる。議長の指示に従い、発言したり反対意見を述べたりする。意見の述べ方、議事録の作成など一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良い関係を築くコミュニケーションを基本とし、正確な情報のやり取りを行う。不明な点がないように、お互いの話を引用した形で質問するなどの工夫も学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情の対応を誤ると大きな問題に発展することもあり、より良いコミュニケーションが求められるためその対応方法を学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた時の対応の仕方、不明慮な点があるときの聞き返しなどを学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について学ぶ。社会貢献としてさまざまな活動を行うときに必要なコミュニケーションについて学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまで学習した内容が身に付いたかどうか実力判定テストで測る。テストの結果より得られた強み、弱みをもとに学習を振り返る。また教師からもフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：コース全体をふりかえり、改善点をみつける** 授業内容：コースの目標とこれまでの活動を照らし合わせて学習を振り返り、自身のビジネス日本語能力を的確に分析する。就職に向けて活動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として支援する。受講生が納得のいく進路を決定するために就職活動の準備をする。事前準備（企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成）と実践及び振り返りにより改善を重ね就活力を伸ばす。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り越え社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの向上に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】キャリアプランニングの学修を活用し就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ入社後どう貢献できるかを伝えられる【グループディスカッション・面接】選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】インターンシップに参加し早期選考につなげる

▌履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること（就職活動にある程度の時間が割ける状態）が望ましい。

留学生については、日本語能力試験で N1 を取得しており、MGO 留学生プログラムの要件を満たしていること。

▌評価基準・方法

重要課題:30%、学修内容振り返り:30%、インターンシップ参加：30%、MEIKAI SPI の模擬試験 (テストセンター):10% ※それ以外に、就活コーチとの面談実施・OBOG セミナー参加・学内業界研究セミナー参加を単位認定要件とする。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。詳細については第 2 回授業で説明する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。適職診断テスト受検の費用として￥6,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修登録のルールを理解し正しく手続きする)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：資料を読み返し正しく履修登録の手続きをする	16回	**授業テーマ：インターンシップを振り返る** 授業内容：参加したインターンシップを振り返り経験について言語化する。 事前学修 2.0hr：インターンシップを振り返る準備をしておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえ、選考を受ける企業を検討する
2回	**授業テーマ：就活スケジュールと準備確認** 授業内容：就活スケジュールを確認し必要な準備を確認する。 事前学修 2.0hr：就職活動の流れについて調べておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を見ておく	17回	**授業テーマ：PROG 受験** 授業内容：目的を理解し正しく PROG を受験する。 事前学修 2.0hr：1 年生で受験した PROG の結果を見直しておく 事後学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて再確認する
3回	**授業テーマ：就活サイトの使い方** 授業内容：就職活動において情報源となる就活サイトの使い方を説明し活用してみる。 事前学修 2.0hr：就活サイトで企業検索をしておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を検索し、イベント等の予約をする	18回	**授業テーマ：コーチ支援に関する授業** 授業内容：就活コーチの支援を受ける手続き (求人 NAVI) を理解し実践する。 事前学修 2.0hr：求人 NAVI で就活に関する情報を確認する 事後学修 2.0hr：就活コーチの面談予約を確認しスケジュールに入れる
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプラン** 授業内容：就職活動におけるアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：記録したなりたいじぶんとアクションプランを確認しておく 事後学修 2.0hr：就職活動におけるアクションプランをスケジューリングする	19回	**授業テーマ：就活の軸を言語化する** 授業内容：これまでの就職活動で得た経験を振り返り就活の軸を再検討する。 事前学修 2.0hr：就職活動の状況を共有できるよう準備しておく 事後学修 2.0hr：就活の軸を使い就活サイト等で選考を受ける企業を選ぶ
5回	**授業テーマ：応募準備：ガクチカ作成** 授業内容：キャリアプランニングで作成と改善を重ねてきた自己 PR を確認しガクチカを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで作成した自己 PR をすべて見直しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて自己 PR とガクチカを完成させる	20回	**授業テーマ：PROG 結果活用** 授業内容：PROG の結果を参考に自分の強みを確認し、企業選択につなげる。また、1 年次より伸びた力やその要因について考える。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を確認しジェネリックスキルを再確認しておく 事後学修 2.0hr：PROG の結果から自分の強みを確認し、紐づく経験を記録する
6回	**授業テーマ：応募準備：志望動機作成** 授業内容：自己 PR・ガクチカとつながりを意識して志望動機を書いてみる。 事前学修 2.0hr：志望動機の書き方について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて志望動機を作成する	21回	**授業テーマ：就活スキル選考準備 (グループディスカッション)** 授業内容：本選考を見据え、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：これまでに取り組んだグループディスカッションを振り返っておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り改善点を明確にする
7回	**授業テーマ：R-CAP 結果解説** 授業内容：R-CAP の結果を正しく理解し就職活動への活用法を知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を読み直し自己理解を深めておく 事後学修 2.0hr：R-CAP の結果をあらためて読み自分について言語化する	22回	**授業テーマ：就活スキル選考準備 (面接)** 授業内容：本選考を見据え、面接練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：自己 PR やガクチカ、志望動機を伝えられるようにしておく 事後学修 2.0hr：授業で実践した面接練習を振り返り、改善点を整理する
8回	**授業テーマ：フセンゲーム** 授業内容：ジョブカタログの言葉と KJ 法を使い、自分の就活の軸を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り就活の軸を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就活の軸を再検討する	23回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加準備** 授業内容：OBOG セミナーの目的や概要、必要な事前準備について理解する。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナー参加予定企業について調べておく 事後学修 2.0hr：OBOG セミナー当日の動き方を検討する

9回	**授業テーマ：インターンシップの選び方** 授業内容：インターンシップの選択基準を考え実践する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや企業のホームページで企業情報を収集する 事後学修 2.0hr：授業の学修を活用しインターンシップの情報を探し企業研究する	24回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加** 授業内容：OBOG が参加する企業の説明を聞き、企業や仕事の理解を深める。 事前学修 2.0hr：身だしなみを整え OBOG セミナーに参加する企業について調べる 事後学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る
10回	**授業テーマ：グループディスカッション実践** 授業内容：グループディスカッションの練習をする。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで学修した内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り課題を明確にしておく	25回	**授業テーマ：OBOG セミナーの振り返り** 授業内容：OBOG セミナーで得たことを言語化し、事前準備が妥当であったかを振り返る。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る 事後学修 2.0hr：企業や仕事について知りたいことを整理する
11回	**授業テーマ：面接対策 (非言語編)** 授業内容：デリバリーのプロに、発生や言葉・表現などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：面接について就活サイトで情報収集しておく 事後学修 2.0hr：就活サイト等でインターンシップの情報を収集しエントリーする	26回	**授業テーマ：面接練習 (1) 会話のキャッチボール** 授業内容：採用選考に向けて企業の意図を理解し、会話のキャッチボールを意識して面接練習する。 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習で改善が必要な点を明確にする
12回	**授業テーマ：先輩(内定した４年生)に学ぶ** 授業内容：パネルディスカッション形式で先輩の体験談を聞き就職活動の参考にする。 事前学修 2.0hr：これまでの就職活動を振り返り悩みや疑問を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修をヒントにし今後の行動計画を立てる	27回	**授業テーマ：面接練習 (2) 自己 PR と志望動機** 授業内容：前回の面接練習を踏まえ改善すべき点を意識しながら、自己 PR と志望動機を伝える練習をする 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習を振り返り、改善点を解決する
13回	**授業テーマ：仕事研究セミナー振り返り** 授業内容：仕事研究セミナーで収集した情報と自分の強みを照らし合わせ、マッチングポイントを考える。 事前学修 2.0hr：仕事研究セミナーを振り返り、情報を整理しておく 事後学修 2.0hr：仕事研究セミナーで経験を踏まえ、今後の就職活動を検討する	28回	**授業テーマ：面接練習 (3) 同窓生と模擬面接** 授業内容：社会人の代表として同窓生をゲストとして迎え、模擬面接を実践する。 事前学修 2.0hr：前回の面接練習で見つけた自分の改善点を意識しておく 事後学修 2.0hr：面接で伝える内容を準備し、自主的に伝える練習をする
14回	**授業テーマ：面接対策 (言語編)** 授業内容：面接において必要なことを復習し模擬面接などの実践から学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの就職活動を整理しておく 事後学修 2.0hr：夏季インターンシップを探索しエントリーする	29回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (課題別編)** 授業内容：グループディスカッション、面接、応募書類など、採用選考において準備が必要な面をトレーニングする。 事前学修 2.0hr：自分の選考における課題を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業での練習を踏まえ、さらに選考準備を進める
15回	**授業テーマ：夏季休暇の活動計画立案** 授業内容：夏季休暇中に取り組む、就職活動について具体的にしておく 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の就職活動計画を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で検討した内容を夏季休暇中の就職活動計画に反映させる	30回	**授業テーマ：就職活動振り返りと今後の行動計画立案** 授業内容：今後の就活において、改善点や具体的な行動について言語化し伝え合う。 事前学修 2.0hr：就職活動の進捗を整理し伝えられるように準備する 事後学修 2.0hr：授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、2 年次に学習した知識をもとに、公務員試験の多くの過去問を解くことにより、実戦力を身につけることを目的とする。
公務員試験においては、過去に出題した問題を、視点を少し変えて再度出題することが多いので、形式に惑わされないように過去問を丁寧に検討することにより、柔軟な対応力を修得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：2 年次に身につけた知識をもとにして、様々な問題について、正誤を正しく判断できる能力を獲得する。
個別目標：①不得意科目を克服する。
②新しく加わる科目の自然科学・論文・面接の知識を身につける。論文は、過去に出題された課題で出来るだけたくさん書く。

▌履修条件

選択科目である。2025 年度キャリアプランニングⅡ・Ⅲ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

授業内と学習支援システム manaba で実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として前学期￥6,900・後学期￥8,700・計￥15,600 を自己負担として回収する。それぞれ第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で購入すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス(試験内容の確認、合格に向けて取り組むべきこと)、人文科学：世界史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	16回	**授業テーマ：社会科学_後学期 1 回目** 授業内容：民主政治の基本原則・選挙制度、費用曲線と供給曲線の導出・余剰分析 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方 事前学修 2.0hr：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	17回	**授業テーマ：数的処理_後学期 1 回目** 授業内容：整数問題、不定方程式・場合の数、経路計算、速度計算 1 事前学修 2.0hr：整数、自然数、無理数、場合の数、速度の計算について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：行政国家に対する統制・選挙制度、市場全体の需要供給曲線と資源配分の最適化・不完全競争市場 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	18回	**授業テーマ：自然科学_後学期 1 回** 授業内容：自然科学(生物)(数学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：現代文・英文それぞれの解き方やより実践的な問題の解き方等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	19回	**授業テーマ：自然科学_後学期 2 回目** 授業内容：自然科学(生物)(化学)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする／自然科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：自然科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス・自然科学(地学) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	20回	**授業テーマ：社会科学_後学期 2 回目** 授業内容：主要国の政治制度・国際法と国際機関、国際貿易の基礎理論・財政政策と金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：自然科学 2 回目** 授業内容：自然科学(数学)(生物)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	21回	**授業テーマ：社会科学_後学期 3 回目** 授業内容：日本国憲法が保障する人権・日本の統治制度、国際経済協力・戦後日本経済史／社会科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：自然科学 3 回目** 授業内容：自然科学(化学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする／自然科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	22回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 1 回目** 授業内容：前学期の授業内容を踏まえ、取り組みやすい課題を取り上げ、本試験に向けて論文作成を行う。また、公務員試験の面接について最新の情報をもとに、模擬面接(個人)を実施する。 事前学修 2.0hr：面接・論文試験について調べておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	23回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 2 回目** 授業内容：論文：より発展的な課題を取り上げ、本試験に向けて実践的な授業を行う。面接：１回目の授業を基に、模擬面接(個人及び集団)を行う。 事前学修 2.0hr：前回の面接・論文の授業で学んだ内容について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
9回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：日本の戦後政治史・国際法と国際関係、財政・金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	24回	**授業テーマ：時事_後学期 1 回目** 授業内容：社会で起こった出来事について学習する 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理の問題演習と解説講義／人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	25回	**授業テーマ：時事_後学期 2 回目** 授業内容：時事試験対策テキストに沿って解説授業を行う／時事確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：日本国憲法の仕組み、戦後の日本の経済事情／社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	26回	**授業テーマ：数的処理_後学期 2 回目** 授業内容：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図など 事前学修 2.0hr：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：面接・論文 1 回目** 授業内容：論文 1 回目(基礎編)公務員試験の論文と最近の試験傾向などの説明 面接 1 回目(基礎編)公務員試験の面接と最近の試験傾向などの説明 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	27回	**授業テーマ：数的処理_後学期 3 回目** 授業内容：対応、試合、順序、位置関係の問題など 事前学修 2.0hr：対応、試合、順序、位置関係の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：速度計算、場合の数・確率、図形の性質 事前学修 2.0hr：速度計算、場合の数・確率、図形の性質について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	28回	**授業テーマ：数的処理_後学期 4 回目** 授業内容：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方など 事前学修 2.0hr：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：順序、論理、対応、試合の問題など 事前学修 2.0hr：順序、論理、対応、試合の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	29回	**授業テーマ：数的処理_後学期 5 回目** 授業内容：立体構成、展開図の問題、資料解釈など／数的処理後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：立体構成、展開図、資料解釈について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：真偽、位置関係の問題、空間把握の問題／数的処理前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：真偽、位置関係、空間把握について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	30回	**授業テーマ：模擬試験** 授業内容：本番を意識した模擬試験を行う。 事前学修 2.0hr：各科目のまとめをしておく 事後学修 2.0hr：自己採点をもとに試験に向けて学習計画を立てておく

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアデザインでは、就職活動及び就職後に必要なビジネス日本語能力を総合的に育成することを目的とする。前学期は「聞く」「話す」技能に重点を置き、ビジネス場面での会話理解、適切な応答、報告・連絡・相談などのコミュニケーション能力を高める。後学期は「読む」「書く」技能に重点を置き、ビジネス文書の読解や、メール・報告書などの作成力を高める。さらに、日本の企業文化や職場における考え方への理解を深めるとともに、ビジネス場面で求められる日本語表現、ビジネスマナー、日本の習慣などを実践的に学び、実際の職場で適切に行動し、円滑なコミュニケーションができるようになることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：就職活動を円滑に進め、就職後においても社会で活躍できる人材となるために必要なビジネス日本語能力およびコミュニケーション能力を習得する。

個別目標：(1) 日本の企業文化やビジネスマナー、職場におけるコミュニケーションの基本を理解し、状況や相手に応じた適切な語彙・表現を用いて、円滑にやり取りすることができる。

(2) 相手の発言に言葉どおりではない意図や配慮が含まれている場合でも、その意味を的確に読み取り、場面にふさわしい対応をとることができる。

(3) 一般的な社内文書、ビジネス文書、手紙・メールなどを、それぞれの目的や形式に則って、正確かつ適切に書くことができる。

(4) ビジネス場面における報告・連絡・相談などについて、必要な情報を取捨選択し、論理的な構成で、かつ簡潔で分かりやすい文章としてまとめることができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・課題の提出期限を守る。
・資格試験を積極的に受験する。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、テスト 30%、資格取得 30%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、ロールプレイ、ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

村野節子、山辺真理子、向山陽子『上級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
村野節子、向山陽子、山辺真理子『タスクで学ぶ日本語ビジネスメール・ビジネス文書』スリーエーネットワーク

▌参考書

白崎佐夜子『8 の基本ルールで学ぶ外国人のための仕事のメールの書き方』スリーエーネットワーク
ビジネス総合研究会『しっかり役立つビジネス文書実例集』法研
羽鳥美由紀『日本で働くための本　就活生から社会人まで』アスク出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う（社内）** 授業内容：授業の概要・目的・評価方法を理解する。事前テストを受ける。社内における自己紹介の流れや内容、必要なマナーを理解し、自己紹介時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、自己紹介の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１に取り組む。	16回	**授業テーマ：前学期の復習、ビジネスメールの基本** 授業内容：前学期に学習した日本の企業文化、ビジネスマナー・表現などの復習テストとフィードバックを受ける。社内メールと社外メールの違いを理解する。ビジネスメールの構成、基本マナー、よく使う表現を学び、状況に応じたメールを作成する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールで役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１に取り組む。。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う（社外）** 授業内容：社外における自己紹介の場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。自己紹介時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、自己紹介の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題２に取り組む。	17回	**授業テーマ：ビジネス文書の基本** 授業内容：社内文章と社外文章の違い、それぞれの種類と特徴を理解する。様々な種類のビジネス文書を読み、構成、書式、表現の共通点と相違点を学ぶ。ビジネス文書の目的、対象者、内容に応じた適切な構成、基本マナー、よく使う表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネス文書で役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：読解練習問題２に取り組む。
3回	**授業テーマ：電話を受ける** 授業内容：電話を受ける際、担当者に取り次ぐ場面と伝言を受ける場面を想定し、それぞれの話の流れや内容、必要なマナーを理解する。電話対応時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、電話対応の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題３に取り組む。	18回	**授業テーマ：お知らせ（社内）** 授業内容：社内お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社内お知らせメールの構成、書式、表現を学び、新入社員歓迎会のお知らせメールを作成する。届いたお知らせメールの返信を作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題３に取り組む。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る** 授業内容：アポイントを取る場面とアポイントを変更する場面を想定し、それぞれの話の流れや内容、必要なマナーを理解する。アポイントを取る際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、アポイントを取る事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題４に取り組む。	19回	**授業テーマ：お知らせ（社外）** 授業内容：社外お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社外お知らせメールの構成、書式、表現を学び、展示会のお知らせメールを作成する。展示会のお知らせへの返信・転送メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題４に取り組む。

5回	**授業テーマ：会議に参加する** 授業内容：他部門が主催する会議に参加する場面を想定し、会議の流れや内容、必要なマナーを理解する。自分の意見を述べる際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、会議の会話事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題５に取り組む。	20回	**授業テーマ：お礼(社外)、日報(社内)** 授業内容：お礼メールの作成のポイントを理解し、展示会への来訪のお礼メールを作成する。日報の構成、書式、表現を学び、営業日報を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した営業日報をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題５に取り組む。
6回	**授業テーマ：クレームを受ける** 授業内容：取引先からクレームの電話を受ける場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。クレーム対応時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、クレーム対応の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題６に取り組む。	21回	**授業テーマ：送付依頼** 授業内容：送付依頼メールの作成のポイント、送付依頼への返信メールのポイントを理解し、送付依頼メールと返信メールを作成する。発注と受注の違い、それぞれのポイントを理解し、発注メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題６に取り組む。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する** 授業内容：取引先から受けたクレームを上司に報告する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。上司に報告する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、報告の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題７に取り組む。	22回	**授業テーマ：納期延長依頼** 授業内容：納期延長依頼メールの作成のポイント、納期延長依頼への返信メールのポイントを理解し、納期延長依頼メールと返信メールを作成する。代金振込通知メールの作成のポイントを理解し、通知メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題７に取り組む。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する** 授業内容：取引先から受けたクレームを処理する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。クレームを処理する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、クレーム処理の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題８に取り組む。	23回	**授業テーマ：照会(在庫)** 授業内容：在庫照会メールの作成のポイント、在庫照会への回答メールのポイントを理解する。在庫照会メールと回答メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題８に取り組む。
9回	**授業テーマ：会議で提案する** 授業内容：課内の営業会議で提案する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。提案する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、会議での提案事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題９に取り組む。	24回	**授業テーマ：照会(商品未着・数量不足)** 授業内容：問い合わせメールとお詫びメールの作成のポイントを理解する。商品未着についての問い合わせメールと商品未着のお詫びメールを作成する。納品と納入の違いを理解し、納品数量の照会メールと数量不足のお詫びメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題９に取り組む。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する** 授業内容：新規顧客を開拓するため、既存の取引先に紹介を依頼する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。依頼する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、依頼の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１０に取り組む。	25回	**授業テーマ：社内会議１(クレームを受ける)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を学び、議事録を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した議事録をチェックし合い、修正する。議事録の送付メールを作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１０に取り組む。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントを取る** 授業内容：新規顧客とアポイントを取る場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。アポイントを取る際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、ビジネス会話の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１１に取り組む。	26回	**授業テーマ：依頼(セミナーの講師)** 授業内容：依頼メールのポイント、依頼に対する断るメールのポイントを理解する。講師依頼メールと断るメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１１に取り組む。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む** 授業内容：取引先を訪問して商品を売り込む場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。初対面の表現や営業用語を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、ビジネス会話の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１２に取り組む。	27回	**授業テーマ：稟議書(伺い書)** 授業内容：稟議書の構成、書式、表現を学び、セミナー関連の稟議書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した稟議書をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１２に取り組む。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける** 授業内容：取引先に返事を促す電話場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。催促電話をかける際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、催促の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１３に取り組む。	28回	**授業テーマ：社内会議２(新規顧客を開拓する)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を復習し、議事録を具体的な内容で作成する。注意するメールのポイントを理解し、後輩に議事録について注意するメールを作成する。ペアワークで作成した議事録とメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１３に取り組む。
14回	**授業テーマ：交渉を進める** 授業内容：取引開始に向けた交渉場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。交渉する際に用いる語彙・表現などを学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、交渉の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１４に取り組む。	29回	**授業テーマ：出張報告** 授業内容：出張報告書の構成、書式、表現を学び、出張報告書を作成する。ペアワークで作成した報告書をチェックし合い、修正する。催促メールの作成のポイント、催促に対する返信メールの作成のポイントを理解する。出張経費精算書提出の催促メールと催促メールに対する返信を作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１４に取り組む。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、まとめ・総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：取引の具体的内容について話を詰める場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。話を詰める際に用いる語彙・表現などを学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。これまで学習した日本の企業文化、ビジネスマナー・表現を整理する。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１５に取り組む。	30回	**授業テーマ：始末書、まとめ・総合練習、最終テストとフィードバック** 授業内容：始末書の構成、書式、表現を学び、始末書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した始末書をチェックし合い、修正する。これまで学習したビジネスメールとビジネス文書の構成や書き方を整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１５に取り組む。

インターンシップ A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験(インターンシップ)の成果に対して単位を認定する科目である。
この単位認定制度は、学生が自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、学習意欲を喚起し、さらに、高い就業意識の涵養や自分の適性にあった職業について考える機会を提供することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：将来のキャリア形成のために、働くこととは何かを理解する。
個別目標：①業種及び職種形態に対するイメージのギャップを解消し、進路の方向性を判断することができる。
②社会人のマナーを理解し、身につけることができる。
③自己の強みや弱みを見つけ、学修における個々の目標を明確にできる。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に臨める学生。
詳細については、当該年度の実施要項及びガイダンス等で確認すること。

▌評価基準・方法

各 5 日以上 40 時間以上の研修時間を要する。
本人レポート、派遣先からの報告書、事前研修会の出席及び報告内容等よって単位を認定する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研修機関における資料、レポートの作成及び事後学修におけるレポートの作成等）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：エントリーシート、面接** 授業内容：エントリーシートの書き方、面接の受け方を学ぶ 事前学修 0.5hr：エントリーシートとは何かを調べる 事後学修 0.5hr：面接指導を受ける	16回	**授業テーマ：就業体験⑬** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
2回	**授業テーマ：履歴書** 授業内容：履歴書の書き方を学ぶ 事前学修 0.5hr：履歴書とは何かを調べる 事後学修 0.5hr：履歴書を実際に書く	17回	**授業テーマ：就業体験⑭** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
3回	**授業テーマ：ビジネスマナー** 授業内容：ビジネスマナー等を学ぶ 事前学修 0.5hr：事前研修資料を読み理解する 事後学修 0.5hr：事前研修で学んだことを復習する	18回	**授業テーマ：就業体験⑮** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
4回	**授業テーマ：就業体験①** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：業界・企業等研究を行う 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	19回	**授業テーマ：就業体験⑯** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
5回	**授業テーマ：就業体験②** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	20回	**授業テーマ：就業体験⑰** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
6回	**授業テーマ：就業体験③** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	21回	**授業テーマ：就業体験⑱** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
7回	**授業テーマ：就業体験④** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	22回	**授業テーマ：就業体験⑲** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
8回	**授業テーマ：就業体験⑤** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	23回	**授業テーマ：就業体験⑳** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
9回	**授業テーマ：就業体験⑥** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	24回	**授業テーマ：就業体験㉑** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
10回	**授業テーマ：就業体験⑦** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	25回	**授業テーマ：就業体験㉒** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
11回	**授業テーマ：就業体験⑧** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	26回	**授業テーマ：就業体験㉓** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する

12回	**授業テーマ：就業体験⑨** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	27回	**授業テーマ：就業体験㉔** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
13回	**授業テーマ：就業体験⑩** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	28回	**授業テーマ：就業体験㉕** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
14回	**授業テーマ：就業体験⑪** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	29回	**授業テーマ：就業体験㉖** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
15回	**授業テーマ：就業体験⑫** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	30回	**授業テーマ：報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 0.5hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 0.5hr：これまでの研修のまとめを行う

特別聴講科目 A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

【①千葉県私立大学(短期大学を含む。)及び放送大学間の単位互換制度】
　専門領域にとらわれない幅広く深い教養を身につけ、豊かな人間性を養うことを目的とし、協定を締結している他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する。
【②学内において実施する語学研修】
　学内において実施する語学研修の成果に対して単位を認定する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。
個別目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌履修条件

①「派遣学生出願要項(本学)」及び協定大学等における募集要項で確認すること。
　なお、協定大学等については「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌評価基準・方法

①協定大学等における開放授業科目の単位を修得した場合、所定の手続きを行うことにより本科目に置き換えて単位の認定をする。
　なお、単位認定方法(手続)等については、「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌参考書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

特別聴講科目 A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

ビジネススキル A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

TOEFL iBT、TOEIC Listening &Reading Test、実用英語技能検定などの技能審査や、各種資格取得等の成果を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する科目である。この単位認定制度は、より実践的な技術・技能を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件を満たす。
個別目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件に準ずる。

▌履修条件

単位認定科目のため特になし。

▌評価基準・方法

単位の認定には、申請手続きが必要となる。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

ビジネススキル A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
単位認定制度及び単位認定を受けることのできる技能審査・各種資格等の詳細については、履修の手引等を参照すること。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。

ツーリズム概論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山　豊浩（まつやま　とよひろ）

▌授業の概要

人口減少社会の到来とともに日本のツーリズム (観光) は大きな転換期を迎え、産業全体もその裾野が益々広がっている。近年は訪日外国人旅行者 (インバウンド) が急増し、その大きな経済効果に期待が集まる一方で、日本人の国内・海外旅行需要の底上げ、オーバーツーリズム等の新たな課題、また地域創生や新しい社会システム構築等の様々な動きも注目されている。

本講座では「概論」の主旨に基づき、ニュース記事や VTR 等も活用しながらツーリズム全般を身近にわかりやすく学ぶとともに、”after Corona”の時代にあらためて日本が目指す「観光立国」「観光先進国」への諸課題や将来の姿について多面的に考察する。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA 総合研究所の企業人講師が、日本のツーリズム（観光）全般、関連産業に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・日本のツーリズム (観光) 全般および関連産業に関する基本知識、その現状と課題を理解し、経済的・社会的な観点から自身の考えとともに説明する能力を修得する。

個別目標：・「観光立国」への道を進む日本社会において自身が担う役割を明確にイメージでき、今後の職業や日常生活をとおして社会に貢献することができる。

・ツーリズム関連産業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

▌履修条件

・日本のツーリズム (観光) 全般、ツーリズムにかかわる社会動向や関連産業に関心がある学生

・ツーリズム関連産業への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生

ほか、学部・学科を問わず、「観光」そのものや「観光業界」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

▌評価基準・方法

・期末試験もしくは期末レポート：50%

・課題の取組：グループワーク (2 回)、小レポート 30%

・授業の取組：出欠状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、TOPIC 発表、コメントシートの記述 等 20%

以上、合計 100%にて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、各回の授業もしくは学修システム上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク/ディスカッション/プレゼンテーション 等を予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、事前/事後学修では観光関連情報やデータ等の閲覧、学修システムへのアクセス 等が必要）

▌教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配付する。

▌参考書

適宜、参考書籍等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　講座計画と授業の進め方** 授業内容：講座概要 (論点、進捗手法、到達目標等) の説明および講座構成要素 (履修者、講師、配布教材等) の相互確認を行う。講座概要の説明においては、今なぜ日本は「観光立国」を目指すのかについて、日常社会の現象面を紹介するとともに、15 回の授業計画の流れや各回のテーマ等と関連づけて理解することをとおして、講座全般への関心と学修意欲を高める。 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2 回	**授業テーマ：観光の定義と意義** 授業内容：古典に由来する「観光」の語源をはじめ関連する語句の起源や意味を知り、その歴史的背景を理解する。その上で、基本となる観光の定義、構造、意義や観光資源の位置づけについて理解を深めることと併せ、「観光」が社会に与える様々な影響や効果を踏まえつつ、現在また将来の日本において「観光」に期待される役割を考える。 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：日本の旅行・観光に関する全体把握 Ⅰ　「観光立国」への道と政策ビジョン** 授業内容：現代社会において「観光」をどのように捉えるべきか、「観光立国」の意味とともに、その実現を支える観光政策とツーリズム産業が持つ意義と特徴を把握する。また、日本の観光政策の歴史を辿りながら、近年の観光政策と観光立国推進に向けた出来事や取組、日本の経済・社会動向との関連について流れを追って触れることで、現在の訪日外国人急増や全国の観光地域活性化が持つ意味を理解するなど、国の重要戦略を社会における身近な課題として捉え、考察する。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：日本の旅行・観光に関する全体把握 Ⅱ　国内旅行・海外旅行・訪日外国人旅行等の動向** 授業内容：資料に集約した日本の旅行・観光の現状を具体的に示す各種図表やデータに幅広く触れ、それをもとに履修者自らが推察する演習等も行うことで、図表に関する読解力と内容の理解力を深めるとともに、各図表や数字から読み取ることができる「日本における旅行・観光の実態」を概括的に把握し、履修者自身の理解・考察につなげる。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。

5回	**授業テーマ：グループワーク Ⅰ　日本の旅行・観光の現状と課題を考える** 授業内容：第 4 回までの講義で得た知識を踏まえながら「日本の旅行の現状」にかかわる身近なテーマ (課題) について考える。グループワークとして出題内容に応じてディスカッションを行ったうえでグループの考えや意見を取りまとめ、ワークシートに記述・提出また発表することにより、テーマ (課題) に関する考察力をはじめ課題探究力や明確なアウトプットを見出す力を高める。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
6回	**授業テーマ：観光の歴史とツーリズムの広がり** 授業内容：日本と西洋の旅行の起源から現代に至る歴史をひもとき、各時代の社会背景や人々の生活、文化との関連性の違いや共通点を広い視野で理解するとともに、現代および今後の旅行・観光のあり方につながる経緯やトレンドを掴み、ツーリズム全般に関連する「観光立国実現」に向けた課題認識と考察力を高める。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅰ　分類と特徴** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅱ　世界遺産と観光資源の保全①** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅲ　世界遺産と観光資源の保全②** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：グループワーク Ⅱ　これからの観光立国推進を考える** 授業内容：第 9 回までの講義で得た知識を踏まえながら、日本が目指す観光先進国化に向けたテーマ (課題) について考える。グループワークとして自身の新しい感覚と自由な発想を基にディスカッションを行ったうえでグループの考えや意見を取りまとめ、ワークシートに記述・提出また発表することにより、テーマ (課題) に関する考察力をはじめ課題探究力や明確なアウトプットを見出す力を高める。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
11回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅰ　エアライン①** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(エアライン) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
12回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅱ　エアライン②** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(エアライン) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
13回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅲ　旅行・宿泊・テーマパーク** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(旅行業/宿泊業/テーマパーク 等) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
14回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅳ　旅行・宿泊・テーマパーク** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(旅行業/宿泊業/テーマパーク 等) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
15回	**授業テーマ：講座レビュー　/　まとめ** 授業内容：講座全体を振り返り、各回のテーマやキーワードに関するポイントをレビューするとともに、日本の経済・社会全体の変革を意味する「観光立国実現」に向けた重要課題、ツーリズム関連各業界の位置づけと今後の展望に関する理解を確認する。また、本講座をとおして履修者各人が「観光立国」への積極的なかかわりや社会的役割を意識し、ツーリズム関連分野への関心やキャリア形成意欲の向上が図られたか、もしくは、自己成長に向けた目標や指針を得られたか、講座の総括としてあらためて考え、明確化する。 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。

エアライン概論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山　豊浩（まつやま　とよひろ）

▌授業の概要

本講義では、国際社会において国境を越える人々の交流や物流を支える交通インフラであり、世界各国の異文化交流やその発展に貢献する産業であり、また今後の日本の新しい姿を実現するツーリズム (観光) 分野の主要産業でもある「航空」をグローバルな視点から取り上げ、ニュース記事や VTR 等も活用しながら「エアラインビジネス」の全体像をわかりやすく学び、またその過程をとおしてビジネス全般にも通用する企業マネジメント戦略の具現化のヒントや実践的なビジネス知識 等の理解も深めていく。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA 総合研究所の企業人講師が、航空業 (エアライン) 全般に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・民間航空の発展や航空自由化の経緯等をとおして、その展開や歴史的な流れ、社会・経済への影響などを理解する。
・エアラインビジネスの特性や経営戦略・動向等について、自身の考えと言葉で説明できる能力を修得する。
個別目標：・航空関連産業やツーリズム (観光) 産業への就業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

▌履修条件

・「航空 (エアライン) 」全般、「エアラインビジネス」の基本や戦略等に関心がある学生
・「航空関連産業」や「ツーリズム (観光) 産業」への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生
ほか、学部・学科を問わず、「航空」「観光」そのものや「航空関連産業」「ツーリズム (観光) 産業」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

▌評価基準・方法

・期末試験もしくは期末レポート：50%
・課題の取組：中間レポート 30%
・授業の取組：出欠状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、TOPIC 発表、
コメントシートの記述 等 20%
以上、合計 100%にて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、各回の授業もしくは学修システム上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （TOPIC 調査に関する発表/小レポート作成 等を予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、事前/事後学修では航空関連情報やデータ等の閲覧、学修システムへのアクセス 等が必要）

▌教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配付する。

▌参考書

・(株)ANA 総合研究所 『航空産業入門(第 2 版)』 東洋経済新報社 (2017)
・(株)ANA 総合研究所 『エアラインオペレーション入門(改訂新版)』 イカロス出版 (2022)
ほか、適宜参考書籍等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　講座計画と授業の進め方** 授業内容：講座概要 (論点、進捗手法、到達目標等) の説明および講座構成要素 (履修者、講師、配布教材等) の相互確認を行う。講座概要の説明においては、「航空 (エアライン) 」のあらましを紹介するとともに、15 回の授業計画の流れや各回のテーマ等と関連づけて理解することをとおして、講座全般への関心と学修意欲を高める。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2 回	**授業テーマ：エアラインの基本** 授業内容：航空機の基本知識、航空管制の概要、新しい航空交通管理の考え方 等について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：エアラインの特性** 授業内容：エアラインビジネス全般の特性、経営・経済面の特徴、イベントリスク 等について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：エアラインの業務** 授業内容：運航乗務員・CA・空港スタッフ (グランドスタッフ/グランドハンドリング)・整備士 等のエアラインを支える各職種の役割について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：民間航空の歴史** 授業内容：動力飛行機の発明から現在までの世界と日本の民間航空発展の歴史について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：航空自由化の流れ** 授業内容：航空保護政策から世界的な航空政策の規制緩和への変革の流れについて。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅰ　ネットワーク** 授業内容：航空ネットワーク構築の重要性、ハブ&スポークの考え方と効果、乗り継ぎ需要 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。

8回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅱ　アライアンス** 授業内容：グローバルアライアンス結成の背景と歴史、アライアンスの意義と効果 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅲ　ブランド/プロダクト&サービス** 授業内容：エアラインのブランド向上と新規プロダクト開発の重要性 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅳ　CS とホスピタリティ** 授業内容：CS(顧客満足)・CX(顧客体験価値)、ホスピタリティの考え方、ES(従業員満足) 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
11回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅴ　LCC(ローコストキャリア)** 授業内容：LCC(ローコストキャリア) の登場と発展、新たなビジネスモデルの仕組みと特徴 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅵ　航空とツーリズム** 授業内容：航空がツーリズムや観光活性化に果たす役割、「観光立国」とインバウンドへの貢献 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：航空貨物　/　エアラインビジネスの動向と展望** 授業内容：世界の物流を担う航空貨物、航空業界の最近の動向、エアラインビジネスの将来 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：航空の安全** 授業内容：全てに優先する「航空安全」の考え方、安全運航を堅持するための実践的な対応や取組 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：講座レビュー　/　まとめ** 授業内容：講座全体を振り返り、各回のテーマやポイントをレビューするとともに、本講座をとおして学修した「航空 (エアライン) 」および「エアラインビジネス」全般に関する各自の理解を確認する。また、航空関連分野への関心やキャリア形成意欲の向上が図られたかについてあらためて考え、明確化する。 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。

航空サービス論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

大嵜　史眞子（おおさき　しまこ）

▌授業の概要

本授業では、航空会社および空港における各種業務について、ANA グループの実務事例を交えながら体系的に学ぶ。航空機の運航や空港業務に関わる具体的な仕事内容を理解するとともに、現場で働く人々の役割や価値に着目し、航空業界にとどまらない将来のキャリア形成につながる視点を養うことを目的とする。

また、ANA グループが重視する「安全」「品質」「お客様視点」を基盤としたサービスを多角的に考察することで、ホスピタリティマインドやチームワークの重要性、仕事に対するやりがいについて理解を深める。

授業は、ANA 総合研究所の知見を活かした事例研究、ディスカッション、プレゼンテーションなどの実践的な手法を取り入れ、主体的な学修を促す形式で進める。

なお、本講義は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・ANA グループの事例を通して、航空運送事業の基礎知識および航空業界における業務・サービスの多様性が理解できる。
・航空会社が提供するサービスと顧客ニーズについて、安全・品質・ホスピタリティの観点から考察することができる。
・実務において重視されるチームワークおよびコミュニケーションの重要性を理解できる。

個別目標：・航空業界の中から関心のある業務や職種を取り上げ、その内容や特徴について自分なりの見解を述べることができる。
・自身の考えを整理し、相手に分かりやすく伝える力を身につけ、発言や発表を行うことができる。
・プレゼンテーションやディスカッションに必要な情報を適切に収集・整理し、論理的にまとめることができる。

▌履修条件

・航空運送事業、航空関連企業、空港業務に関心を持つ学生
・航空業界への就職を視野に入れている学生
・将来のキャリア形成を見据え、企業視点での学びを就職活動に活かしたい学生

▌評価基準・方法

・各回の課題（小テスト、レポート、振り返りシート、ワークシート、プレゼンテーション等）40 %
・後期試験（プレゼンテーション）50 %
・参加姿勢（積極的な取り組み、発言等）：10 %

以上を総合的に判断し、成績評価を行う。

なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題に対するフィードバックは、各回の授業内、または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、振り返りシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 上の資料閲覧、レスポンス入力、小テストおよび各種課題の実施のため）

▌教科書

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

▌参考書

・ANA 総合研究所編『エアラインオペレーション入門 改訂新版』イカロス社（2022 年）
・ANA 総合研究所著『航空産業入門』東洋経済新報社（2017 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、学修の目的、課題および評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容を確認し、授業全体の構成を把握する。 事後学修 2.0hr：授業テーマと学修範囲を整理し、授業への取り組み方を考える。
2回	**授業テーマ：航空運送事業の特性（旅客輸送と貨物輸送）** 授業内容：航空運送事業に関わる基本的な知識と事業特性を学び、現在の業界の状況について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空運送事業の特性について調べる。 事後学修 2.0hr：航空運送事業の特性について整理する。
3回	**授業テーマ：エアラインの提供するサービスⅠ「安全と保安」** 授業内容：航空業界の事例を踏まえ、安全運航および保安体制を支える考え方や仕組みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空会社の安全対策について調べる。 事後学修 2.0hr：安全と保安の重要性について振り返る。
4回	**授業テーマ：エアラインの提供するサービスⅡ「定時性・利便性・快適性」** 授業内容：ANA が重視する品質をもとに、定時性・利便性・快適性と顧客満足の関係を考察する。 事前学修 2.0hr：航空会社の定時出発率について調べる。 事後学修 2.0hr：安全性を基盤としたサービス提供について考える。
5回	**授業テーマ：エアラインを取り巻く環境変化「SDGs・CSR・ ESG 経営」** 授業内容：環境問題や人権課題への対応を通じて、航空企業の社会的責任について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空業界を取り巻く環境変化に関するトピックスを確認する。 事後学修 2.0hr：外部環境の変化が航空事業に与える影響を整理する。
6回	**授業テーマ：エアラインの人財戦略　「Society5.0 に対応するための人財戦略」** 授業内容：ANA グループの考え方を参考に、人財マネジメントの目的と求められる人財像を考える。 事前学修 2.0hr：Society5.0 の意味について調べる。 事後学修 2.0hr：人材マネジメントの重要性について振り返る。
7回	**授業テーマ：エアライン研究Ⅰ　「プレゼンテーション①」** 授業内容：航空業界の課題について調査研究し、ANA の取り組みを参考に個人の見解を発表する。 事前学修 2.0hr：関心のある業界トピックスを調査・研究する。 事後学修 2.0hr：他者の発表を通じて得た学びを整理する。

8回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅰ　「予約・販売部門」** 授業内容：ANA の事例をもとに、予約・販売部門の業務内容と対人サービスの役割を考察する。 事前学修 2.0hr：航空券の販売や予約方法について調べる。 事後学修 2.0hr：求められるサービスの質について振り返る。
9回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅱ　「グランドスタッフ」** 授業内容：グランドスタッフの業務内容と必要なスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：グランドスタッフの業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の役割と重要性を整理する。
10回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅲ　「グランドハンドリング」** 授業内容：グランドハンドリング業務の内容と、定時性・安全性を支える役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：グランドハンドリング業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の重要性について振り返る。
11回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅳ　「航空機の運航をサポートする業務」** 授業内容：機内食や機内清掃など、航空機の運航を支える周辺業務について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ケータリング事業および機内清掃業務について調べる。 事後学修 2.0hr：各業務の役割を整理する。
12回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅴ　「航空オペレーションと運航管理者」** 授業内容：航空機のオペレーション業務および運航管理者の役割と責任について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空オペレーション業務について調べる。 事後学修 2.0hr：運航管理者の役割について振り返る。
13回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅵ　「客室乗務員(キャビンアテンダント)」** 授業内容：ANA のサービス理念を踏まえ、客室乗務員の業務内容と求められるスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：客室乗務員の業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の役割について整理する。
14回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅶ　「運航乗務員と航空整備士」** 授業内容：運航乗務員および航空整備士の業務と、安全運航を支える役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：両職種の業務内容について調べる。 事後学修 2.0hr：それぞれの役割について振り返る。
15回	**授業テーマ：エアライン研究Ⅱ　「プレゼンテーション②」　(後期試験)** 授業内容：航空業界の現状や将来について調査研究し、個人の見解を発表する。 事前学修 2.0hr：関心のある分野について発表準備を行う。 事後学修 2.0hr：他者の発表を通じて得た学びを整理する。

フライトアテンダント・グランドスタッフ研究

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

青地　香里（あおち　かおり）

▌授業の概要

空のスペシャリスト、フライトアテンダントとグランドスタッフの業務内容を理解するとともに、事例や取り組みをあげて、求められる人材像、必要とされる能力などを理解する。また、変革と改革が進む航空業界で顧客戦略等の業界研究を行い求められる「おもてなし」について考え、研究する。
授業では、表現力向上を目指し、演習やディスカッション、1 分間スピーチ等アウトプットする機会を多く設ける。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フライトアテンダント・グランドスタッフの職種研究と基本的な接客スキルの習得を通し、「社会に出る」ことを見据えたコミュニケーション力を高める。
個別目標：・相手のために、と考えられる「おもてなし」力を養う。
・グループワークや意見交換を通じて、発信力を身に着ける。
・ビジネスシーンでのヒューマンスキル（接遇力、マナーなど）を習得する。

▌履修条件

・航空業界をはじめとするホスピタリティ業界に興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティマインドを持ち合わせた社会人として活躍したい学生
・「受け身」ではなく「自ら学び、考え、表現する」というコミュニケーション力を発揮したい学生

▌評価基準・方法

・スピーチの準備、取り組み 35%
・振り返りシートの提出 30%
・グループプレゼンテーション 20%
・授業への参加姿勢及び授業内での発言など 15 %
以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （体験学習・グループワーク・グループディスカッション・プレゼンテーション・振り返りシート・フィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションの作成）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。
また DVD などの映像を使用する。

▌参考書

『仕事も人間関係もうまくいく ANA の気づかい』ANA ビジネスソリューション (2015)
『さすが！ といわせる大人のマナー講座』日本マナー・プロトコール協会（2018）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し自分なりの授業のゴールを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
2回	**授業テーマ：航空業界で求められる人材像** 授業内容：自己分析シート、グループでの他己分析などを通し自分のことを言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の長所、短所について考え自己紹介文を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：業界・企業研究** 授業内容：業界の知識と航空業界の企業群についてグループワークで学ぶ。 事前学修 2.0hr：日本の航空会社について HP を参照し情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：フライトアテンダント職種研究** 授業内容：客室乗務員の業務について学び、対応事例などをグループで検討する。 事前学修 2.0hr：フライトアテンダントの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：グランドスタッフ職種研究** 授業内容：グランドスタッフの業務について学び、対応事例などをグループで検討する。 事前学修 2.0hr：グランドスタッフの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：お客様対応事例研究** 授業内容：動画視聴を行い客室乗務員・グランドスタッフのお客様対応についてグループ検討を行う。 事前学修 2.0hr：フライトアテンダントの業務について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界から学ぶ好印象を与える【第一印象と活舌】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの印象について学び、自分の印象について考える。また機内アナウンスを事例にあげ活舌の実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：自分の第一印象を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、表情のトレーニングを行う。振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：フライトアテンダントの振る舞いから学ぶ【美しい立居振舞い】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの振る舞いについて学び、実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：お辞儀について意味や歴史を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、立居振舞いのトレーニングを行う。振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：接遇用語を学ぶ【美しい日本語】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの接遇用語について学び、実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：接遇とは何か、言葉の意味を調べ自分の見解をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、敬語のトレーニングを行う。振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：お客様に安心、共感を与えるための【コミュニケーション力：聴く力】** 授業内容：ペアワークを通してホスピタリティ業界で必要とされる【傾聴】とは何か、を体感する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション力はどのような場面で必要とされるか考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：お客様と対等に会話をするための【コミュニケーション力：伝える力】** 授業内容：ペアワークを通して社会人として必要とされる説明力を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自身のミスコミュニケーションの経験をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：茶の湯からおもてなしを学ぶ【日本文化理解】** 授業内容：千利休の事例より、日本のおもてなし文化を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ニュースなどから興味のあるおもてなしについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：国際的に活躍するための【異文化コミュニケーション】** 授業内容：マナー・プロトコールの観点から、国際社会で求められるマナーとルールがあることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：これまでの異文化経験をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションスキル** 授業内容：グループプレゼンテーションの実施に向けて、準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：グループでプレゼンテーションの発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容作成と自己練習。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの振り返り。

ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎・マナー演習)

開講学科等：日英中経不 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

大嵜　史眞子（おおさき　しまこ）

▌授業の概要

本授業は、ANA 総合研究所が航空事業をはじめとする実務の中で培ってきた「ホスピタリティ」に関する知見を基盤とし、ホスピタリティの概念について多角的な視点から考察することを目的とする。サービス産業にとどまらず、日常生活や将来の職業生活において必要とされる対人コミュニケーション能力および相互理解力の向上を目指す。

また、就職活動および社会人生活を見据え、「ホスピタリティの概念」を基礎に据えたマナー演習を通じて、社会人として求められる基礎的な能力の育成を図る。授業はエアライン業界のみならず、ホスピタリティ業界全般の事例を用いて、ディスカッション、グループワーク等の実践的な手法で進める。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：・ホスピタリティの意味とその役割を理解することができる。
・ホスピタリティが生み出す価値の重要性を理解することができる。
・ホスピタリティの発揮に必要なスキルを身につけることができる。
・ホスピタリティに関する自らの見解を形成することができる。

個別目標：・ホスピタリティの価値を理解した上で、「ホスピタリティとは何か」について自分の言葉で表現することができる。
・ホスピタリティの発揮に向けて具体的な行動を示すことができる。

▌履修条件

・ホスピタリティに興味・関心を持つ学生。
・ホスピタリティ産業への就職を希望する学生。
・ホスピタリティマインドを持ち合わせた社会人として活躍したい学生。

▌評価基準・方法

・各回の課題(小テスト・レポート・プレゼンテーションなど）40 %
・前期試験 50%
・参加姿勢及び授業内での発言内容など 10 %

以上を総合的に判断し評価する。

また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、各回の授業内において、あるいは学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・グループワーク・振り返りシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 上の資料閲覧、レスポンス入力、小テストおよび各種課題の実施のため）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本授業の目的、全体構成、学修方法、課題の取り組み方および成績評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容を確認し、航空業界およびホスピタリティ産業に対する関心を高める。 事後学修 2.0hr：本授業を通じて身につける姿勢や能力について考える。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティの原義** 授業内容：ホスピタリティの原義を確認し、「サービス」との違いからホスピタリティの本質を理解する。 事前学修 2.0hr：「ホスピタリティ」という言葉の意味や由来について調べる。 事後学修 2.0hr：学修した概念を日常生活や身近なサービス体験と結び付けて振り返る。
3回	**授業テーマ：ホスピタリティと文化Ⅰ(ホスピタリティの表出)** 授業内容：文化の違いによるホスピタリティの表れ方について、参考事例をもとに考察する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティやサービスに関連する文化的差異の事例を調べる。 事後学修 2.0hr：学修内容を多文化環境でのコミュニケーションの視点から整理する。
4回	**授業テーマ：ホスピタリティと文化 Ⅱ(日本のホスピタリティの源泉)** 授業内容：「茶の湯」に見られる日本のホスピタリティの精神性から、「相手を思う心」の源泉を考察する。 事前学修 2.0hr：「茶道の心得」について調べ、日本文化の特徴を整理する。 事後学修 2.0hr：日本的ホスピタリティが現代のサービスにどのように活かされているかを考える。
5回	**授業テーマ：ホスピタリティと産業Ⅰ(産業構造の変化とホスピタリティ)** 授業内容：日本の産業構造の変化を踏まえ、ホスピタリティ産業が果たす役割と社会的意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：「日本標準産業分類」におけるホスピタリティ関連業種を確認する。 事後学修 2.0hr：航空・観光産業と自身の将来像との関係について考える。
6回	**授業テーマ：ホスピタリティと産業 Ⅱ(ホスピタリティ企業の研究)** 授業内容：ホスピタリティ企業で実践されているホスピタリティの取り組みを調査研究し、発表する。 事前学修 2.0hr：企業が実践するホスピタリティの具体的事例について調べる。 事後学修 2.0hr：発表内容を振り返り、ANA のサービス理念との共通点や特徴を整理する。
7回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅠ(コミュニケーション能力とは)** 授業内容：コミュニケーション能力の重要性を理解し、実践的なワークを行う。 事前学修 2.0hr：自身のコミュニケーションの特徴について振り返る。 事後学修 2.0hr：相手視点を意識した伝え方を日常生活で実践する。
8回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅡ(コンテクストとは)** 授業内容：航空業界の現場で見られる事例を参考に、コンテクストの重要性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：コンテクストの意味を調べる。 事後学修 2.0hr：場面に応じた対応の在り方について具体例とともに整理する。

9回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅢ（チームワークを発揮する）** 授業内容：組織の中でホスピタリティを発揮するための協働のあり方について、ワークを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：チームワークを発揮した自身の経験を整理する。 事後学修 2.0hr：組織の一員としての役割意識について考える。
10回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅣ（マナー①　挨拶・身だしなみ・敬語）** 授業内容：航空業界で求められる接遇を参考に、社会人として必要な基本的マナーについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：マナーや敬語についての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
11回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅤ（マナー②　ビジネスメールの基本）** 授業内容：一般企業における実務を想定し、適切なビジネスメールの書き方とマナーを学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネスマナーについての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅥ（マナー③　電話応対）** 授業内容：航空業界の顧客対応を例に、電話応対の基本とホスピタリティを意識した対応について学ぶ。 事前学修 2.0hr：電話応対や電話マナーについての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：ユニバーサルサービスⅠ（ユニバーサルサービスの概要と意義）** 授業内容：ユニバーサルサービスの概要と取り組む意義、サービスを必要とする人々について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ユニバーサルサービスという言葉の意味を調べる。 事後学修 2.0hr：多様な利用者の視点からサービスを考える。
14回	**授業テーマ：ユニバーサルサービスⅡ（ユニバーサルサービス実践のための考え方）** 授業内容：ユニバーサルサービス実践のための具体的な行動と考え方についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：ユニバーサルサービスの具体的な実践方法について見解をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：これまでのまとめ（前期試験）** 授業内容：前期授業全体を振り返り、学修したホスピタリティの考え方を踏まえた上で試験を実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を総合的に復習する。 事後学修 2.0hr：学修したホスピタリティマインドを将来どのように活かすかについて整理する。

ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業)

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

井元　千穂 (いのもと　ちほ)

▌授業の概要

取り巻く環境の変化が激しい現代において、企業によるホスピタリティの発揮は顧客満足度向上にとどまらず、組織内の信頼関係構築や自身のやりがいにも直結することが認識されつつある。
本講義では、「産業や企業のホスピタリティに焦点を当て、ホスピタリティが生み出す価値と影響について理解する」と「企業は組織体として何を捉まえて、消費者にどう伝えるのかを考察する」をテーマに、エアライン、ホテル、テーマパーク、デパート等、認知度の高いホスピタリティ産業を取り上げ、ケーススタディ、グループワーク、ディスカッションを通じて、ホスピタリティとは何かを自分自身で定義する。
なお、本講座は ＡＮＡ 総合研究所の企業講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：・ホスピタリティの意味を理解できる。
・各企業がホスピタリティをどのように捉え、発揮しているかを知る。
・企業活動で求められるホスピタリティを理解し、考え、立案できる。
個別目標：・ホスピタリティ産業について自ら意見を発信することができる。
・ホスピタリティ産業について、グループディスカッションができる。
・集めた情報を精査した上で、自身の考えと併せて発言できる

▌履修条件

・ホスピタリティに興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティ産業への就職を希望する学生
・グループワークやディスカッションに積極的に参加できる学生

▌評価基準・方法

・授業、グループワークへの参加姿勢 30%
・最終プレゼンテーション　30%
・事前課題の提出　20%
・レポート　20%
以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション・プレゼンテーション・レポート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションの作成）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメ、ワークシートを配布する。
DVD などの映像を使用する。

▌参考書

必要に応じ、適宜授業の中で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容について確認する。 事後学修 2.0hr：授業で学ぶ内容、自身の興味のある業界・企業について考える。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業とは** 授業内容：ホスピタリティとサービスの違いを理解し、ホスピタリティ産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティとは何か、自分の見解をまとめておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのあり方について実社会の中で実践、理解する。
3回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業における商品価値** 授業内容：ホスピタリティ産業の特徴を学び、ホスピタリティ産業における商品価値を考える。 事前学修 2.0hr：商品価値、付加価値について、調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分の意見をまとめる。
4回	**授業テーマ：企業における顧客満足度と従業員満足度** 授業内容：ホスピタリティ産業における顧客満足度と従業員満足度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ＣＳ、ＥＳとは何か、調べておく。 事後学修 2.0hr：ＣＳ、ＥＳについて自分の体験や経験から考える。
5回	**授業テーマ：ホスピタリティを発揮する組織とは** 授業内容：ホスピタリティ産業で活躍するために必要なことは何か、自分の学生生活を例に考える。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティが高いと思う企業を調べておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティを発揮するために学生生活の中で取り組むことを考える。
6回	**授業テーマ：1 杯のコーヒーから考える～ホスピタリティの比較①～** 授業内容：目に見えないホスピタリティは比較できるのか、グループワークで意見交換する。 事前学修 2.0hr：普段自分が利用するカフェについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの比較について、自分の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：1 杯のコーヒーから考える～ホスピタリティの比較②～** 授業内容：事例をもとにグループでホスピタリティの比較検討を行う。 事前学修 2.0hr：グループワークに向けて情報を収集する。 事後学修 2.0hr：グループワークを振り返り、自分の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：ホスピタリティが評価される企業とは** 授業内容：ホスピタリティ産業における企業価値について、学ぶ。 事前学修 2.0hr：興味のある企業が取り組んでいる SDGs について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分の意見をまとめる。

9回	**授業テーマ：中間プレゼンテーション** 授業内容：これまで学んだ内容を踏まえて、興味のある企業のホスピタリティについて発表する。 事前学修 2.0hr：興味のある企業が発揮するホスピタリティについて調べる。 事後学修 2.0hr：中間プレゼンテーションの振り返りを行う。
10回	**授業テーマ：事例研究【ホテル】** 授業内容：ホテルの事例を挙げて、顧客満足度についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本のホテル業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の顧客満足度について自分の意見をまとめる。
11回	**授業テーマ：事例研究【レストラン】** 授業内容：レストランの事例を挙げて、商品価値についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：興味のある飲食店について気になるホスピタリティ関連のトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の付加価値について自分の意見をまとめる。
12回	**授業テーマ：事例研究【旅行】** 授業内容：旅行業界の事例を挙げて、顧客満足度についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本の旅行業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の顧客満足度の比較について自分意見をまとめる。
13回	**授業テーマ：事例研究【百貨店】** 授業内容：百貨店の事例を挙げて、ホスピタリティの発揮についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本の百貨店業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例のホスピタリティの発揮について自分の意見をまとめる。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：中間プレゼンテーションのフィードバックを活かし、最終プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：興味のある企業のホスピタリティについて調査、プレゼンテーション資料作成を行う。グループで意見をまとめておく。 事後学修 2.0hr：これまでの授業内容について振り返る。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：中間プレゼンテーションのフィードバックを活かし、最終プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する、最終プレゼンテーション作成。 事後学修 2.0hr：グループワーク、発表について振り返る。

ビジネスコミュニケーション A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：ビジネスコミュニケーションプログラム

豊田　順子（とよだ　じゅんこ）

▌授業の概要

社会人に求められる資質として、コミュニケーション能力はどんな場面においても、人間関係を構築する必要不可欠な能力です。とりわけビジネスにおいては、自身の持つ積極性・責任感を相手に理解してもらい、職場に合った対応力を発揮することで未来を切り拓くことにつながります。この集中プログラムでは、コミュニケーションを理論と実践の面から学び、将来ビジネスで活かしていく基礎力を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：今まで意識してこなかったコミュニケーションの様々な意味を多角的視点から理解し、個々の能力を改善することによって、就職活動で実践できる力を身につける。

個別目標：ビジネスにおける良いマナーを認識し、自らの課題を客観的に受けとめ、相手に好印象を与える自分自身の表現力を身につける。

▌履修条件

学事課（教務担当）で各自履修申請を行う。学事課（教務担当）の指示に従ってください。
また、1 クラス 10 名以内とし、受講生は先着順とします。

▌評価基準・方法

評価は S・A・B・C の評価ではなく N（認定）の判定とし、担当教員が下記の基準で判断します。
無遅刻、無欠席で受講した場合のみ単位を認定します。

▌フィードバック方法

各授業・最終講義内でコメントを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （他の学生の前で、自己紹介などのスピーチを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、スマートフォンでの録画を行う。）

▌教科書

使用しません。

▌参考書

必要に応じ、授業内で案内します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

第 1 回：コミュニケーション・リテラシー（1）自己紹介
第 2 回：コミュニケーション・リテラシー（2）自己分析
第 3 回：ビジネス・スピーチの基本（1）呼吸法・発声
第 4 回：ビジネス・スピーチの基本（2）発音・滑舌
第 5 回：ビジネス・コミュニケーション（1）正しい敬語表現
第 6 回：ビジネス・コミュニケーション（2）メールの書き方・電話対応の基本
第 7 回：プレゼンテーション演習（1）総合演習
第 8 回：プレゼンテーション演習（2）総合演習

授業内容

第 1 回：現状の自己紹介を客観的に観察し、心理学的理論から第一印象に影響する改善点を発見する。
第 2 回：就職活動・ビジネスシーンにおける自己表現の取り組みを考える。「ガクチカ」と「自己 PR」をいかに表現して、社会人としての自分の可能性をアピールしていくかなどの方法を理解する。
第 3 回：他者とのコミュニケーションにおいて、自分の身体を意識的かつ有効に使うことの重要性を学ぶ。
第 4 回：他者とのコミュニケーションにおいて、身体的な「伝え方」を認識し、意識改革を図る。
第 5 回：日本語の正しい敬語表現を理論的に理解する。
第 6 回：ビジネスにおけるメールのやり取りや、電話での話し方の基本を学ぶ。
第 7 回：模擬面接を実施し（ビデオ撮影）、自分の印象を客観的に確認し、将来の自分の面接に活かすための改善点を認識する。
第 8 回：模擬面接を実施し（ビデオ撮影）、自分の印象を客観的に確認し、将来の自分の面接に活かすための改善点を認識する。

事前学修

第 1・2 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自己紹介」で口頭表現できるよう準備しておく。
第 3・4 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自己 PR」を口頭表現できるよう準備しておく。
第 5・6 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自分が将来なりたい姿」を口頭表現できるよう準備しておく。
第 7・8 回事前学習　2.0hr：模擬面接でどんな質問を投げかけられるかを予想し、自分自身の意見を自らの言葉で表現できるよう準備しておく。

事後学修

第 1 回・第 2 回事後学習　2.0hr：自分の強みを言語化し、常に様々なアピールポイントを表現する応用力を身につける。
第 3 回・第 4 回事後学習　2.0hr：日常生活における自分の話し方を客観的に意識し続ける。
第 5 回・第 6 回事後学習　2.0hr：自分より立場が上の人との言葉遣いを意識し、積極的に学習した内容を実践していく。
第 7 回・第 8 回事後学習　2.0hr：自分自身のプレゼンテーション能力について反省点を整理し、実際の就職活動開始までに、何度もシミュレーションを重ねる。

資本市場の役割と証券投資

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）

廣部　恒忠（ひろべ　つねただ）

▌授業の概要

野村證券株式会社派遣講師が本授業を通じ、資本市場と証券投資に関する知識を与えている。
少子高齢化や人口減少などの人口動態の変化、「金利のある世界」への移行、成年年齢の引き下げなど我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、自己責任の原則の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきている。このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村證券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・経済ニュースがわかるようになる。
・自分で投資できる力が身につく。
・社会人基礎力が身につく。
個別目標：・リスクとリターンの関係がわかる。　・証券投資におけるリスクを理解できる。
・債券と株式における違いを理解できる。　・投資信託の種類がわかる。

▌履修条件

金融業界に興味のある者。1 クラス 50 名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席し、履修すること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み（40 %）及び参加態度（60 %）に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中に適宜、或いは manaba を通じて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

「新・入門証券論」榊原茂樹、城下賢吾、岡村秀夫、山口聖、月岡靖智、北島孝博著／有斐閣コンパクト

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：第 1 回目授業の復習
2 回	**授業テーマ：経済情報の捉え方** 授業内容：様々な経済情報を通じて、どのように「経済」というものが成り立っているのかを理解していく。企業、家計、国、海外と各項目に分けることによってその関連性を確認し、経済情報の捉え方を学習する。 事前学修 2.0hr：経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 2 回目授業の復習
3 回	**授業テーマ：金融資本市場の役割とその変化** 授業内容：金融市場への理解を深める意味で、金融の仕組み、我が国の資金循環の状況、経済と関連した最近の構造的変化などを解説し、今後の展望を交えながら金融市場の役割を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 3 回目授業の復習
4 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：債券の基本、債券と株式の違い、債券と預金の違い、債券の種類について学習する。また、債券投資のリスク、利率と利回りの違い、利回り計算の具体例を示し、計算問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 4 回目授業の復習
5 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：債券価格（＝金利）の変動と景気・政策・需給などとの関連について理解を深める。また、債券投資に伴う投資リスクについても学習し、グローバルな債券投資についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 5 回目授業の復習
6 回	**授業テーマ：外国為替相場とその変動要因** 授業内容：外国為替に関する基本的な用語、メカニズムを学び、経済の動きとの関連に関し学習することにより、日本経済と世界経済との連動に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 6 回目授業の復習
7 回	**授業テーマ：リスク・リターンとポートフォリオ分析」** 授業内容：「投資とは」、「リスクとは」、「リターンとは」という基礎知識について学習した後、リスクコントロールの基本的な考え方とその具体的な手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 7 回目授業の復習
8 回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：株式の誕生からその意義、原則などの基礎知識と、株式投資の魅力や株式市場について学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 8 回目授業の復習

9回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：株価の分析、評価方法を踏まえた銘柄選択の考え方などについて理解を深める。また、投資情報として投資に関するレポートなどを紹介する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 9 回目授業の復習
10回	**授業テーマ：投資信託の役割とその仕組み** 授業内容：「投資信託」という言葉の意味から、特徴、仕組みなどについて学習する。また、投資信託の選び方や最近注目されている投資信託についても、具体的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 10 回目授業の復習
11回	**授業テーマ：行動ファイナンス～投資家心理について** 授業内容：証券投資を行なう際の心構えとして、私たちの投資判断に影響を与える様々な心理的バイアスについて理解するとともに、その具体例を通して対処法と投資行動への応用法や「行動ファイナンス」の基本を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 11 回目授業の復習
12回	**授業テーマ：ライフプランと資産形成** 授業内容：なぜライフプランが必要なのか、充実した将来のために必要な「ライフプラン」についての考え方を学習する。将来に予想される環境の理解と、私たちの暮らしに影響を与える年金制度改革の概要についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 12 回目授業の復習
13回	**授業テーマ：公的年金制度について** 授業内容：公的年金制度の仕組みや制度を詳しく学ぶ。年金制度を取り巻く変化や、改正への動きも把握し、自助努力の必要性を理解する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 13 回目授業の復習
14回	**授業テーマ：確定拠出年金について** 授業内容：確定拠出年金の仕組み、企業型と個人型の違いや税制のメリットとその効果等を具体的な運用商品の例も含めて学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 14 回目授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 1～15 回目授業の復習

はじめての起業講座（Start up Basics）

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：浦安商工会議所起業プログラム（寄附講座）

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

本授業は、「起業は楽しい、ハードルが低い」というコンセプトのもと、起業を特別な人だけのものではなく、身近な選択肢の一つとして捉え直すことを目的とする。講義だけでなく、創業者の実体験に基づく講演、ワークショップ、グループワーク、プレゼンテーションを中心に構成し、学生自身が社会課題や身近な違和感を出発点としてビジネスアイデアを考え、事業計画として形にすることを目指す。講師陣は浦安商工会議所推薦の、起業に精通した、税理士、中小企業診断士、コンサルタント、起業家、金融機関担当者等の実務家であり、それぞれの実務経験を活かした実践的な内容を学ぶことができる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①起業・創業の基本的な考え方と心構えを理解する
②社会課題や自身の経験をもとにビジネスアイデアを構想できる
③マーケティング（3C・SWOT・STP 等）の基礎を実践的に使える
④資金調達や収支計画の基本構造を理解する

個別目標：学生が自ら考案したビジネスアイデアについて、事業計画書を作成し、発表できるレベルに到達することをゴールとする。

▌履修条件

２年生以上、起業に関心がある者。履修生は２４名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席すること。

▌評価基準・方法

グループワークでの取組み・参加姿勢（３０%）、授業課題の提出（３０%）、事業計画作成・発表（４０%）に基づき総合的に評価する。
なお、原則無欠席者のみ評価対象とする。

▌フィードバック方法

授業中に適宜実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン資料作成、事業計画書作成など）

▌教科書

特になし

▌参考書

授業中適宜指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：起業とは何か** 授業内容：起業の定義、日本における起業の現状を整理。「起業＝特別な才能が必要」という固定観念を問い直し、小さく始める起業など多様なスタイルを紹介する。 事前学修 2.0hr：起業に対する自らの思い、志の整理 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
2回	**授業テーマ：起業者講演会①** 授業内容：地元・浦安で実際に起業した経営者 2 名による講演。起業のきっかけ、初期の苦労、失敗談、現在に至るまでのプロセスを通じて、リアルな起業像を学ぶ。 事前学修 2.0hr：起業者の事業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
3回	**授業テーマ：起業者講演会②** 授業内容：地元・浦安で実際に起業した経営者 2 名による講演。起業のきっかけ、初期の苦労、失敗談、現在に至るまでのプロセスを通じて、リアルな起業像を学ぶ。 事前学修 2.0hr：起業者の事業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
4回	**授業テーマ：社会課題をテーマとした起業** 授業内容：社会課題解決型ビジネス（ソーシャルビジネス）の考え方を学ぶ。地域活性化（千葉県内）など身近な社会課題をビジネスに結びつける視点を具体的事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
5回	**授業テーマ：自己分析とビジネスアイデアの整理** 授業内容：自身の経験・強み・関心を棚卸し整理し、ビジネスアイデアの種を洗い出す。 事前学修 2.0hr：自己分析、ビジネスアイデア整理の準備作業 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
6回	**授業テーマ：ビジネスアイデアの整理、深堀り** 授業内容：前回で抽出したアイデアをもとに、誰のどんな課題を解決するのかを明確化する。グループワークを通じてアイデアのブラッシュアップを行う。 事前学修 2.0hr：ビジネスアイデアの整理、精査 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
7回	**授業テーマ：マーケティング基礎（戦略・3C・SWOT）** 授業内容：マーケティングの基本的な考え方を学ぶ。戦略概念、3C 分析、SWOT 分析を用いてビジネスアイデアを分析する演習を行う。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
8回	**授業テーマ：マーケティング（STP）** 授業内容：STP（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）の考え方を学び、演習を行う。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習

9回	**授業テーマ：マーケティング(集客・愛顧化)** 授業内容：集客方法や顧客との関係構築(リピート・愛顧化)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
10回	**授業テーマ：マーケティング分析** 授業内容：履修生が自身のビジネスアイデアについてマーケティング分析を行い、発表する(グループワーク)。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
11回	**授業テーマ：資金調達(クラウドファンディング)** 授業内容：資金調達の基礎と、クラウドファンディングの仕組みを具体的事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
12回	**授業テーマ：資金調達・収支計画の立て方** 授業内容：事業の「お金の流れ」を理解し、収益・費用構造、簡単な収支計画の立て方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
13回	**授業テーマ：事業計画書の作成** 授業内容：実現可能性や一貫性を意識しながら、学習内容を整理・統合し、事業計画書を作成する。 事前学修 2.0hr：事業計画書案の作成 事後学修 2.0hr：事業計画書案の見直し、精査
14回	**授業テーマ：事業計画書プレゼンテーション①** 授業内容：履修生によるグループ毎の事業計画書の最終プレゼンテーション(前半)。外部講師からの講評を通じて、実践的な視点を得る。 事前学修 2.0hr：事業計画書の作成、精査 事後学修 2.0hr：講評に基づいた事業計画書の修正、精査
15回	**授業テーマ：事業計画書プレゼンテーション②、まとめ** 授業内容：履修生によるグループ毎の事業計画書の最終プレゼンテーション(後半)。外部講師からの講評を通じて、実践的な視点を得る。授業全体の振り返りを行い、起業を「将来の選択肢」として捉え直す。 事前学修 2.0hr：事業計画書の作成、精査 事後学修 2.0hr：講評に基づいた事業計画書の修正、精査

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

富樫　里真（とがし　りま）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

福島佐知、友松悦子、中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの (は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態、前学期の復習** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。

8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。	25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～てはいられない」「～べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け、文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：比較対照、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容を最終テストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

高柳　奈月（たかやなぎ　なつき）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
　　自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
　　(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
　　(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
　　(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

『文法 Buddy JLPT 日本語能力試験 N2 一文法からひろげる日本語トレーニングー』The Japan Times

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第１課**①～④ 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	16回	**授業テーマ：第８課**⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
2回	**授業テーマ：第１課**⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	17回	**授業テーマ：第 9 課**①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
3回	**授業テーマ：第２課**①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	18回	**授業テーマ：第 9 課**⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
4回	**授業テーマ：第２課**⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	19回	**授業テーマ：第 10 課**①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
5回	**授業テーマ：第３課**①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 10 課**⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
6回	**授業テーマ：第３課**⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	21回	**授業テーマ：第 11 課**①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
7回	**授業テーマ：第４課**①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	22回	**授業テーマ：第 11 課**⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
8回	**授業テーマ：第４課**⑤～⑧ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	23回	**授業テーマ：第 12 課**①～④ 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

9回	**授業テーマ：第５課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	24回	**授業テーマ：第 12 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
10回	**授業テーマ：第５課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 13 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
11回	**授業テーマ：第６課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	26回	**授業テーマ：第 13 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
12回	**授業テーマ：第６課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	27回	**授業テーマ：第 14 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
13回	**授業テーマ：第７課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	28回	**授業テーマ：第 14 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
14回	**授業テーマ：第７課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	29回	**授業テーマ：第 15 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
15回	**授業テーマ：第８課①～④、中間テストとフィードバック** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	30回	**授業テーマ：第 15 課⑤～⑧、まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。第 1 回～第 29 回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス（留 H）

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。「アカデミックⅠ」は日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：背景の異なるさまざまな人と一緒に働くことを想定し、社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を用いて、言いたいことを概ね表現できる。その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 日本語話者を相手に一般的な事柄についてストレスを感じさせることなく流暢に会話することができる。
(2) 日本のビジネスマナー、コミュニケーションスタイルに関する基本的な知識があり、状況に応じた表現を使い分けることができる。
(3) 相手の発言に言葉の内容とは異なる意図が含まれている場合、その意図を概ね理解して的確に対応することができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N1 を取得している。
日本語のコミュニケーション能力を客観的に測る資格試験を受験する。
授業への主体的な参加を求める。
課題提出の期限を守る。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba および対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアおよびグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

村野節子・山辺真理子・向山陽子『上級レベル　ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
牧野成一 (監)『PJC 実践日本語コミュニケーション検定ガイドブック』ウィネット出版

▌参考書

JAL アカデミー株式会社『改訂新版 ビジネス日本語用例辞典』アスク
公益財団法人日本電信電話ユーザー協会編『もしもし検定電話対応技能検定３・４級公式問題集』日本経済新聞出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う（社内）** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価方法について理解する。そのあと、社内で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習し、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。 事前学修 2.0hr：ビジネスにおける日本語コミュニケーションにおいて必要な知識をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、目標を立てる。	16回	**授業テーマ：私の言い分「私は能力のある人間です」異文化ロールプレイ「自慢話と自己アピール」、前学期の復習** 授業内容：私の言い分「私は能力のある人間です」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「自慢話と自己アピール」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。前学期の復習をする。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。前学期の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う（社外）** 授業内容：社外で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開、表現を学習する。PJC の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。PJC について調べる。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	17回	**授業テーマ：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」異文化ロールプレイ「仕事の範囲」、会議・打ち合わせ、面接** 授業内容：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「仕事の範囲」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。「会議・打ち合わせ、面接」について学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
3回	**授業テーマ：電話を受ける、社会人としての心構え** 授業内容：電話を受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。社会人としての心構えを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	18回	**授業テーマ：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」異文化ロールプレイ「休暇の申請」** 授業内容：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「休暇の申請」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る、人間関係の作り方①コミュニケーションを取る際の留意点、敬語** 授業内容：アポイントを取る場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。コミュニケーションを取る際の留意点、敬語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	19回	**授業テーマ：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」異文化ロールプレイ「指示の仕方」** 授業内容：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「指示の仕方」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
5回	**授業テーマ：会議に参加する、人間関係の作り方②効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方** 授業内容：会議に参加する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	20回	**授業テーマ：私の言い分「沈黙は金？」異文化ロールプレイ「ミーティングでの発言」** 授業内容：私の言い分「沈黙は金？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「ミーティングでの発言」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。

6回	**授業テーマ：クレームを受ける、人間関係の作り方③あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーション** 授業内容：クレームを受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーションを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	21回	**授業テーマ：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」異文化ロールプレイ「謝罪」** 授業内容：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「謝罪」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する、効率的な仕事の進め方①報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位** 授業内容：クレームを報告する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	22回	**授業テーマ：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」異文化ロールプレイ「報告ー解決済みの小さなトラブル」** 授業内容：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告ー解決済みの小さなトラブル」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する、効率的な仕事の進め方②来客対応** 授業内容：クレームを処理する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。来客対応を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	23回	**授業テーマ：私の言い分「報連相は大事？」異文化ロールプレイ「報告・連絡・相談」** 授業内容：私の言い分「報連相は大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告・連絡・相談」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
9回	**授業テーマ：会議で提案する、効率的な仕事の進め方③電話応対** 授業内容：会議で提案する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。電話応対を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	24回	**授業テーマ：私の言い分「情報の共有って？」異文化ロールプレイ「メールでの情報の共有」** 授業内容：私の言い分「情報の共有って？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メールでの情報の共有」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する、効率的な仕事の進め方④アポイントメント** 授業内容：新規顧客を開拓する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。アポイントメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	25回	**授業テーマ：私の言い分「人前で怒るなんて！」異文化ロールプレイ「メンツー人前での叱責」** 授業内容：私の言い分「人前で怒るなんて！」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メンツー人前での叱責」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントをとる、効率的な仕事の進め方④名刺交換、E メール** 授業内容：新規顧客とアポイントをとる場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。名刺交換、E メールの活用方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	26回	**授業テーマ：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」異文化ロールプレイ「目標設定と評価」** 授業内容：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「目標設定と評価」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む、模擬問題①基礎知識編とフィードバック** 授業内容：商品を売り込む場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。基礎知識の習得を模擬問題で確認する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	27回	**授業テーマ：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」異文化ロールプレイ「同僚の昇進と不満」** 授業内容：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「同僚の昇進と不満」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける、他社訪問、接遇・接客、クレーム対応** 授業内容：催促の電話をかける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。他社訪問、接遇・接客、クレーム対応を学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	28回	**授業テーマ：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」異文化ロールプレイ「コネ縁故採用」** 授業内容：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「コネ縁故採用」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
14回	**授業テーマ：交渉を進める、模擬問題②事例編とフィードバック** 授業内容：交渉を進める場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。模擬問題②事例編を行い、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	29回	**授業テーマ：私の言い分「残業は当たり前？」異文化ロールプレイ「残業」** 授業内容：私の言い分「残業は当たり前？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「残業」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、中間テストとフィードバック** 授業内容：受注に成功する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。中間テストとフィードバックを受け、学習内容を整理する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	30回	**授業テーマ：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」、最終テストとフィードバック** 授業内容：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、１年間の成長をまとめる。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）・**堀内　貴子**（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅰの内容は文法である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

福島佐知・友松悦子・中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

友松悦子・和栗 雅子・宮本 淳『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの(は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～て(は)いられない」「べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの(は)」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：比較対照、総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現「こ・そ・あ」の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容をテストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理－比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理－比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを “つくって” もいいですか** 授業内容：文章「いのちを “つくって” もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

富樫　里真（とがし　りま）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた文章の中身を理解し、多角的に考察できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
多様なテーマについて自ら考え、判断し、表現する力を育成する。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

西隈俊哉（編）『読む聞く考える日本語トレーニング』アスク
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N2』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、待ち合わせをする** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。「待ち合わせをする」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：日本語で書かれたニュース、小説等を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：心理学を学ぶ、芸術を学ぶ** 授業内容：「心理学を学ぶ」「芸術を学ぶ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：本を選ぶ、荷物を受け取る** 授業内容：「本を選ぶ」「荷物を受け取る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：旅の話、仕事の話** 授業内容：「旅の話」「仕事の話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：外食をする、料理を作る** 授業内容：「外食をする」「料理を作る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：進路の話、大切な人** 授業内容：「進路の話」「大切な人」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：電車を利用する、薬の使い方を確認する** 授業内容：「電車を利用する」「薬の使い方を確認する」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：お悩み相談、開発秘話** 授業内容：「お悩み相談」「開発秘話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：生活のルールを確認する、イベント** 授業内容：「生活のルールを確認する」「イベント」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 1 回を練習する。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：街角インタビュー、評論** 授業内容：「街角インタビュー」「評論」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：事故、地域** 授業内容：「事故」「地域」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：動物の気持ち、童話** 授業内容：「動物の気持ち」「童話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：災害、トレンド** 授業内容：「災害」「トレンド」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：タイムスリップ** 授業内容：「タイムスリップ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：ラブストーリー** 授業内容：「ラブストーリー」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：トラブル、政治** 授業内容：「トラブル」「政治」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：国際、仕事の連絡** 授業内容：「国際」「仕事の連絡」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：未来の世界** 授業内容：「未来の世界」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：夢の中** 授業内容：「夢の中」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：業務の説明、アンケート結果の分析** 授業内容：「業務の説明」「アンケート結果の分析」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：時代劇** 授業内容：「時代劇」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：企画会議、調べたことの発表** 授業内容：「企画会議」「調べたことの発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：怪談** 授業内容：「怪談」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：実験結果の発表、中間テストとフィードバック** 授業内容：「実験結果の発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。ビジネスにかかわる新聞記事によく見られる語彙・表現の習得、未知語への対応のしかたなどの練習を通じて正確な理解を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日常的なビジネス文書、ビジネスに関する新聞の資料を読み、内容を正確に理解できる。
個別目標：(1)日本語で新聞記事を正確に読むことができる。
(2)ビジネスにかかわる資料を読んで、企画を提案するプレゼンテーションができる。
(3)他者と意見を交換し、さまざまな価値観、考え方について比較し、対照できる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
各学期にビジネス日本語能力を客観的に測る資格試験を受験する。
自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

澁川晶・高橋紗弥子・庵功雄『留学生のためのジャーナリズムの日本語―新聞・雑誌で学ぶ重要語彙と表現―』スリーエーネットワーク
近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション〈改訂新版〉』ココ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：授業の内容、進め方について説明を聞き、これからどんなことを学習するのかイメージし、目的意識を持って学習を進められるよう動機づけを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでコースの内容を把握する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：企業の求める人材** 授業内容：仕事で成果を上げるためのスキルについて日本と自国の共通点を見出す。自分の専門分野や関心の範囲で企業ガイダンスや説明会資料を読み、企業の求める人材を理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現** 授業内容：体に関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：企業ガイダンス** 授業内容：企業ガイダンスを聞いて、重要事項を漏らさずノートをとる練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現が含まれた読解** 授業内容：体に関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：会社概要の調査** 授業内容：企業のパンフレット、企業のホームページ等ある程度長い文章にざっと目を通して読み、ポイントを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(1)身近なものに関連のある語彙・表現** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：就職のための提出書類** 授業内容：長所や短所をはじめ簡単な自己 PR 文を就職のための提出資料に書き、クラスメートと評価しあう。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：身近なものに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現の知識を整理する。身近なものに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：会議の内容** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加者から出たいろいろな情報や議論をまとめて議事録に書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(2)戦いに関連のある語彙・表現** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：図表の理解** 授業内容：社内会議などで企業の販売実績や市場の動向を示すグラフを見ながら、現状を理解する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：戦いに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現の知識を整理する。戦いに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：会議内容の整理と報告** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加していない人に明瞭で簡潔なメールを書いて報告する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(３)社会的背景を持つ語彙・表現** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：SWOT 分析(１)手順** 授業内容：マーケティングにおける SWOT 分析の方法を学習し、ビジネスに関する記事を特定の視点から分析する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：社会的背景を持つ語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現の知識を整理する。社会的背景を持つ語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：SWOT 分析(２)資料の収集と分析** 授業内容：自らの関心に従って企業を一つ決め、新聞記事、雑誌記事、企業のホームページの情報を集める。そのうえで、ＳＷＯＴ分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：戦略** 授業内容：ＳＷＯＴ分析の結果から、問題解決のための戦略を考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現の知識を整理する。もとの形から変化している語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：戦略の根拠** 授業内容：戦略の根拠を説明するための資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：今後の学習にむけて** 授業内容：これまで学習したことを振り返りながら長文を読み、「慣用表現」「時間を表す表現」「カギ括弧のついたことば」「筆者の価値観を表す表現」などにも注目して読む練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーションで受け手に与える影響を考えイメージしながら、伝えること、その表現方法について準備する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：総合練習** 授業内容：これまで学習してきたストラテジーを用いて比較的長い新聞記事を読む練習を行う。内容理解を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：集めた情報や企画のアイデアを整理し、わかりやすいプレゼンテーションの資料を作る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：現代社会ニュースの紹介** 授業内容：特別な立場や視点から取り上げた現代社会に関する複数の新聞記事を読む。共通点を見抜き、含意された意見や立場を比較しながら詳細に内容を報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：用意したプレゼンテーションをはっきりとした声でわかりやすく伝える。プレゼンテーションで話し手の発話を正しく理解したかどうか確認するための質問をしたり説明が曖昧だった部分に対して指摘をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テスト・フィードバック** 授業内容：これまで学習したことをある程度長く複雑な文章の中でも理解できるかどうか中間テストを行う。その後、解答と解説等フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：コース全体のふりかえり・最終テストとフィードバック** 授業内容：コース全体を振り返り、自らの成長を実感する。これまで学習してきたことが定着しているかどうか最終テストで確かめたあと、解説を聞きフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造(主張と根拠、事実と考察など)を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測定する資格試験を受験する。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理−比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理−比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを “つくって” もいいですか** 授業内容：文章「いのちを “つくって” もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(１)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(２)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(４)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(５)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N ２を取得している。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：社会・生活１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。シャドーイング練習をする。
2回	**授業テーマ：経済・金融２(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：経済・金融２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関する漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイング練習をする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：社会・生活２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：経済・金融３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：社会・生活３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：経済・金融４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：社会・生活４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：経済・金融５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅰに関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：社会・生活５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。
6回	**授業テーマ：経済・金融６(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字)** 授業内容：経済・金融６のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活６(聴解)、社会・産業(漢字)** 授業内容：社会・生活６のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。

7回	**授業テーマ：経済・金融7（聴解）、地名（漢字）** 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル7を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活7（聴解）、芸術（漢字）** 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融8（聴解）、歴史（漢字）** 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活8（聴解）、農業（漢字）** 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融9（聴解）、日本文化（漢字）** 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活9（聴解）、生物学Ⅰ（漢字）** 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10（聴解）、世界遺産（漢字）** 授業内容：経済・金融 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10（聴解）、生物学Ⅱ（漢字）** 授業内容：社会・生活 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 11（聴解）、日常語彙Ⅰ（漢字）** 授業内容：経済・金融 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11（聴解）、漢語の語構成（漢字）** 授業内容：社会・生活 11 ニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12（聴解）、日常語彙Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12（聴解）、熟語の読み方（漢字）** 授業内容：社会・生活 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13（聴解）、旅行（漢字）** 授業内容：経済・金融 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。シャドーイング練習をする。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13（聴解）、様子・態度（漢字）** 授業内容：社会・生活 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度に関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14（聴解）、人間の体（漢字）** 授業内容：経済・金融 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14（聴解）、心情（漢字）** 授業内容：社会・生活 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15（聴解）、医療（漢字）、中間テストとフィードバック** 授業内容：経済・金融 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15（聴解）、状態（漢字）、最終テストとフィードバック** 授業内容：社会・生活 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストがある。

▌到達目標

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：（1）一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
（2）聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
（3）講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
（4）自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で、N2 相当を対象とする。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

岡まゆみ(監)『上級へのとびら　きたえよう漢字力　上級へつなげる基礎漢字 800』くろしお出版
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』 スリーエーネットワーク
棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり『N2 聴解スピードマスター』J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第１課読み(漢字)、ニュース１(聴解)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明を聞いて理解する。第１課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。 事前学修 2.0hr：これまで学習してきた漢字の知識を整理し、読み方と書き方を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：第８課書き(漢字)、ニュース２６(聴解)** 授業内容：第８課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：第１課書き(漢字)、ニュース２(聴解)** 授業内容：第１課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：第９課読み(漢字)、ニュース２７(聴解)** 授業内容：第９課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース２７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
3回	**授業テーマ：第２課読み(漢字)、ニュース３(聴解)** 授業内容：第２課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	18回	**授業テーマ：第９課書き(漢字)、ニュース２８(聴解)** 授業内容：第９課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
4回	**授業テーマ：第２課書き(漢字)、ニュース４(聴解)** 授業内容：第２課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	19回	**授業テーマ：第１０課読み(漢字)、ニュース２９(聴解)** 授業内容：第１０課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース２９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT のポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
5回	**授業テーマ：第３課読み(漢字)、ニュース５(聴解)** 授業内容：第３課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース５を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	20回	**授業テーマ：第１０課書き(漢字)、ニュース３０(聴解)** 授業内容：第１０課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT のポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
6回	**授業テーマ：第３課書き(漢字)、ニュース６(聴解)** 授業内容：第３課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	21回	**授業テーマ：第１１課読み(漢字)、ニュース３１(聴解)** 授業内容：第１１課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。

7回	**授業テーマ：第４課読み(漢字)、ニュース７(聴解)** 授業内容：第４課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	22回	**授業テーマ：第１１課書き(漢字)、ニュース３２(聴解)** 授業内容：第１１課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。聴解能力を測りフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
8回	**授業テーマ：第４課書き(漢字)、ニュース８(聴解)** 授業内容：第４課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	23回	**授業テーマ：第１２課読み(漢字)、ニュース３３(聴解)** 授業内容：第１２課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
9回	**授業テーマ：第５課読み(漢字)** 授業内容：第５課の漢字について「読み」を中心に学習する。小テスト、ディクテーションをする。聴解能力を測りフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	24回	**授業テーマ：第１２課書き(漢字)、ニュース３４(聴解)** 授業内容：第１２課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
10回	**授業テーマ：第５課書き(漢字)、ニュース９(聴解)** 授業内容：第５課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	25回	**授業テーマ：第１３課読み(漢字)、ニュース３５(聴解)** 授業内容：第１３課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３５を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
11回	**授業テーマ：第６課読み(漢字)、ニュース１０(聴解)** 授業内容：第６課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	26回	**授業テーマ：第１３課書き(漢字)、ニュース３６(聴解)** 授業内容：第１３課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
12回	**授業テーマ：第６課書き(漢字)、ニュース１１(聴解)** 授業内容：第６課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース１１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	27回	**授業テーマ：第１４課読み(漢字)、ニュース３７(聴解)** 授業内容：第１４課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
13回	**授業テーマ：第７課読み(漢字)、ニュース１２(聴解)** 授業内容：第７課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	28回	**授業テーマ：第１４課書き(漢字)、ニュース３８(聴解)** 授業内容：第１４課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
14回	**授業テーマ：第７課書き(漢字)、ニュース１３(聴解)** 授業内容：第７課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース１３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	29回	**授業テーマ：第１５課読み(漢字)、ニュース３９(聴解)** 授業内容：第１５課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
15回	**授業テーマ：第８課読み(漢字)、ニュース１４(聴解)、中間テストとフィードバック** 授業内容：第８課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。中間テストとフィードバックを受けて、前学期の学習を振り返る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：第１５課書き(漢字)、ニュース４０(聴解)、最終テストとフィードバック** 授業内容：第１５課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース４０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

沈　伽迪（ちん　かてき）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は聴解、聴読解である。スピーチ、講演会、顧客による説明などを理解したり、聞きながら資料を見て要求された課題を達成することを目指す。また、社内外の人との担当領域および一般的な話題について自然なコミュニケーションをとることを目指す。毎回、事前学修、事後学修がある。授業では小テストをほぼ毎回、実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：就労場面でのやりとり、独話を正確に聞き取ることができ、聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えて説明することができる。社内外の人とその場にふさわしい丁寧さで円滑にコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で特殊な慣用表現などが使われていなければ、講演会、スピーチ、顧客による説明などを理解することができる。
(2) 自社や競合他社のニュースを聞いて理解することができる。
(3) 社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について流暢かつ正確に、言いたいことを表現できる。
(4) その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%によって評価する。

▌フィードバック方法

対面授業および manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版
小野塚 若菜・篠﨑 佳子・島 恭子・吉沢 由香里『改訂版ビジネス日本語 オール・イン・ワン問題集』ジャパンタイムズ

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：社内一斉メール、会議準備** 授業内容：メールを読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。会議準備に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動において選考資料となる提出書類および面接試験を取り上げ、エントリーシート等の書類作成方法や面接時の話し方について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：電話とお詫び** 授業内容：お詫びに関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。電話でのやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後の業務場面を想定し、初対面の相手との自己紹介において、聞き手の記憶に残る一言を伝える練習を行う。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：お知らせ文書** 授業内容：お知らせ文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて承認を得るまでの一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：キャッチコピー、同僚との雑談** 授業内容：同僚との雑談を聞き取り、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞き取って、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司・先輩・同僚への報告を取り上げる。共通の目標に向けて円滑に連携できるよう、分かりやすく伝える方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：値下げ交渉** 授業内容：値下げ交渉のやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪を取り上げる。業務上のミスが生じた際に、早い段階で上司に事実を正確に報告し、適切に謝罪する方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：営業** 授業内容：営業のやりとりを聞き、公的場面での話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場に立って自社を紹介し、業務内容や職種への理解を促すとともに、企業活動におけるリスク管理について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：売り上げ** 授業内容：売り上げに関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。売上に関わる文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備について取り上げる。会場予約、機器の設置、会議議題の決定、議事録の作成、資料の作成・配布、欠席者への対応など、会議運営に関わる一連の業務を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：個人情報** 授業内容：個人情報に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。個人情報に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議における報告および意思決定のための審議を取り上げる。議長の指示に従って発言や反対意見を述べる方法、ならびに議事録作成を含む一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：顧客満足調査** 授業内容：顧客満足調査に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良好な関係構築を基盤としたコミュニケーションを重視し、正確な情報のやり取りを行う方法を学ぶとともに、不明点を残さないために相手の発言を引用して確認・質問する工夫を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：出張** 授業内容：出張に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。出張に関する話の聞き取り、話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情対応を誤ると大きな問題に発展する可能性があることを踏まえ、より良いコミュニケーションに基づく適切な対応方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：販売員増員の提案、パッケージ案** 授業内容：販売員増員の提案に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。パッケージ案に関する書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた際の対応方法や不明点がある場合の聞き返し方について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：インタビュー** 授業内容：インタビューを依頼する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。インタビューを題材として話を聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について取り上げる。社会貢献の目的を理解するとともに、さまざまな活動を行う際に求められるコミュニケーションについて学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：日程調整、衣料品業界** 授業内容：日程調整に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。日程調整、衣料品業界に関するやりとりを聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまでに学習した内容の定着状況を実力判定テストによって確認し、その結果から得られた強み・弱みをもとに学習を振り返るとともに、教員からのフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：展示会、業界フローチャート** 授業内容：展示会に関わる資料、業界フローチャートを見ながら話を聞きとる練習、要求された課題を処理する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：中間テストとフィードバックを受け、現時点のビジネス能力を把握する。今後の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：学習内容の理解度を確認し、フィードバックを踏まえてコース全体を振り返り、社会生活への応用を検討する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**田川　麻央**（たがわ　まお）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(3)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(4)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済で、N2 を取得している。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：社会・生活１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。
2回	**授業テーマ：経済・金融２(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：経済・金融２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：社会・生活２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：経済・金融３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：社会・生活３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：経済・金融４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：社会・生活４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：経済・金融５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅰに関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：社会・生活５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。

6回	**授業テーマ：経済・金融6（聴解）、就職活動Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活6（聴解）、社会・産業（漢字）** 授業内容：社会・生活6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。
7回	**授業テーマ：経済・金融7（聴解）、地名（漢字）** 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル７を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活7（聴解）、芸術（漢字）** 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融8（聴解）、歴史（漢字）** 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活8（聴解）、農業（漢字）** 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融9（聴解）、日本文化（漢字）** 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活9（聴解）、生物学Ⅰ（漢字）** 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10（聴解）、世界遺産（漢字）** 授業内容：経済・金融 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10（聴解）、生物学Ⅱ（漢字）** 授業内容：社会・生活 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 11（聴解）、日常語彙Ⅰ（漢字）** 授業内容：経済・金融 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11（聴解）、漢語の語構成（漢字）** 授業内容：社会・生活 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12（聴解）、日常語彙Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12（聴解）、熟語の読み方（漢字）** 授業内容：社会・生活 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13（聴解）、旅行（漢字）** 授業内容：経済・金融 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13（聴解）、様子・態度（漢字）** 授業内容：社会・生活 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14（聴解）、人間の体（漢字）** 授業内容：経済・金融 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。シャドーイング練習をする。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14（聴解）、心情（漢字）** 授業内容：社会・生活 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15（聴解）、医療（漢字）、中間テストとフィードバック** 授業内容：経済・金融 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15（聴解）、状態（漢字）、最終テストとフィードバック** 授業内容：社会・生活 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確でしっかりとした構成の詳細なテクストを作る。自己の視点から意見を述べたり説明したりできるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を学習する。毎回事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』 凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』 DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は読解と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くために必要な読解能力を身に付ける。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わるレポートを作成することができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。
(5) 資料を読み取るための読解能力を育成する。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する）

▌教科書

松浦真理子・宮谷敦美・鈴木健司『日本語パワードリル N2 読解』ask
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、第１回** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。第 1 回の読解問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまで学んだ語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：第 29 回、まずやってみよう** 授業内容：第 29 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：第２回、第３回** 授業内容：第２回、第３回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：第 30 回、書き言葉** 授業内容：第 30 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：第４回、第５回** 授業内容：第４回、第５回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：集中トレーニング①、第６回** 授業内容：集中トレーニング①、第６回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：第７回、第８回** 授業内容：第７回、第８回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6回	**授業テーマ：第９回、第 10 回** 授業内容：第９回、第 10 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7回	**授業テーマ：集中トレーニング②、第 11 回** 授業内容：集中トレーニング②、第 11 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③** 授業内容：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 14 回、第 15 回** 授業内容：第 14 回、第 15 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：第 16 回、第 17 回** 授業内容：第 16 回、第 17 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：第 18 回、第 19 回** 授業内容：第 18 回、第 19 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 20 回、集中トレーニング④** 授業内容：第 20 回、集中トレーニング④の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：第 21 回から第 25 回** 授業内容：第 21 回から第 25 回の読解問題を JLPT の模擬試験のつもりで練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：第 26 回、第 27 回** 授業内容：第 26 回、第 27 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29回	**授業テーマ：課題レポートの改善と振り返り** 授業内容：クラスメートや教員から受けた評価をもとにレポートを修正し、最終版を作成する。レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：第 28 回、中間テストとフィードバック** 授業内容：第 28 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題演習を行なう。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

藤本　陽子（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容はビジネス文書の書き方、作成である。実務に役立つ文書作成技能について知識と技能の基本を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどを自然な言い回し、表現を使って、読み手に負担のないよう書くスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を形式を整えて書くことができる。
(2) ビジネス場面での日常的な文書による報告を簡潔に書くことができる。
(3) ビジネス場面での文書にかかわる慣習、マナーなどの知識を獲得する。
(4) 自らのビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を強化する。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス文書作成能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、テスト 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

『ビジネス文書検定第７１回～７５回実問題集３級』早稲田教育出版
『ビジネス文書検定第７１回～７５回実問題集１，２級』早稲田教育出版

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価についての説明を理解する。その後、ビジネス文章の作成能力がどの程度あるか事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：3 級第 71 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：3 級第 75 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：2 級第 75 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：3 級第 75 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：2 級第 75 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：3 級第 75 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：2 級第 75 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：3 級第 74 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：2 級第 74 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：3 級第 74 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：2 級第 74 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：3 級第 74 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：2 級第 74 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：3 級第 73 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：2 級第 73 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：3 級第 73 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：2 級第 73 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：3 級第 73 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：2 級第 73 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：3 級第 72 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：2 級第 72 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：3 級第 72 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：2 級第 72 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：3 級第 72 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：2 級第 72 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：3 級第 71 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：2 級第 71 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：3 級第 71 回表現技能、中間テストとフィードバック** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：2 級第 71 回表現技能、最終テストとフィードバック** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。テストとフィードバックを受ける。コース全体を振り返り、整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

［専門科目］

不動産基礎演習/不動産学基礎演習

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生/2024 年度以前入学生

不動産基礎演習担当教員/不動産学基礎演習担当教員（ふどうさんきそえんしゅうたんとうきょういん/ふどうさんがくきそえんしゅうたんとうきょういん）

▌授業の概要

前期は、自ら課題設定をして考察する能力を身につけ、調査した内容と考察をレポートという形でアウトプットすることを目指す。目の前の出来事から不動産学的な視点で課題を設定し、関連する情報を文献調査と現地調査（フィールドワーク）から収集し、集めた情報をもとに考察し、MS ワードでレポートを完成させる。

後期は、前期で学んだレポートの課題設定、調査、考察を発展させて、レポートとパワーポイントの作成を目指す。１つの見学事例を選び、実際に訪問した上でレポートを作成する。そのレポート内容をもとに見学レポートと報告スライドを作成し、実際にプレゼンテーションを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 1/5、2024 年度以前入学生 1）

一般目標： 論理的な思考を実践し、今後の学修の基礎となる技術を身につける。不動産学を学修していく上での、教員と学生の間、または学生間での基本的なコミュニケーションツールとなる論文（レポート）、報告資料、プレゼンテーションの技術を身につける。学部教員の人柄と研究内容を知ることにより、不動産学部への帰属意識を高めるとともに、今後の学修の方向性を見定める。

個別目標： 社会の課題解決に必要な論理的思考を修得する。不動産学を学修するための応用リテラシー（情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力）を身につける。文献調査と現地調査（フィールドワーク）の具体的な技術を身につける。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

前学期（配点 55 点）：教員紹介のメモ、講義内容に対するフィードバックと個別課題、レポートを評価の対象とする。

後学期（配点 55 点）：見学仮レポート、見学最終レポート、パワーポイント、プレゼンテーション、他者の発表に対するコメント等を評価対象とする。

合計 110 点をもとに最終的な評価を行う。各課題のルーブリック (到達目標と採点基準) は授業の中で都度説明する。

ただし上記の配点は変更する場合がある。その場合は授業や manaba を通じて連絡する。

▌フィードバック方法

フィードバックは翌週の授業冒頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、フィールドワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Powerpoint を搭載したノートパソコンを持参できるようにしておくこと。）

▌教科書

その都度、レジュメや参考資料を配布し授業を行う。（レジュメは各自、ファイリングしておくこと）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：前学期ガイダンス＋教員の専門と担当科目を知る①** 授業内容：授業の概要、到達目標、評価基準・方法、授業スケジュール、注意事項等について説明する。教員紹介を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでくる。不動産学部の HP から、どのような教員が在籍しどのような科目を担当しているかを確認する。 事後学修 2.0hr：配布資料などを再確認する。	16 回	**授業テーマ：後学期ガイダンス** 授業内容：授業の進め方、使用教室、到達目標、評価基準・方法、授業スケジュール、見学レポート候補地のポイント、注意事項等について説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 2.0hr：配付資料などを再確認する。
2 回	**授業テーマ：教員の専門と担当科目を知る②** 授業内容：引き続き、不動産学部に所属している教員の紹介を聞き、先生方の担当科目や専門領域を確認する。 事前学修 2.0hr：不動産学部の HP から、どのような教員が在籍しどのような科目を担当しているかを確認する。 事後学修 2.0hr：自己紹介を聞いた教員の専門や担当科目などをメモにまとめる。	17 回	**授業テーマ：見学事例の説明とクラス面談** 授業内容：教科書の読み込みとインターネットで検索し、見学事例１０例について調べる。後期を迎えるにあたり、担任と共有した方が良い事項があればそれを伝える。 事前学修 2.0hr：配付資料の見学事例リストとその内容を読んでおく。 事後学修 2.0hr：見学事例の事前調査を続け、見学先を決定する
3 回	**授業テーマ：クラスミーティング及び個別面談①** 授業内容：個別クラスに分かれてクラスメイトのことを知る。担当教員と個別面談を行う。 事前学修 2.0hr：自己紹介の内容を準備してくる。 事後学修 2.0hr：個別面談で話し合った内容について自分なりに確認する。	18 回	**授業テーマ：見学事例の決定、見学計画の作成** 授業内容：選んだ見学事例に基づいて、見学計画（見学の際のポイント）を作成する。ノート PC を持参し自分で作業を進める。 事前学修 2.0hr：見学先までの交通手段・経路の確認、見学スケジュールを考える。フィールドワークの方法について自分で調べる。 事後学修 2.0hr：見学計画を見直し、見学先の事前準備をする。
4 回	**授業テーマ：クラスミーティング及び個別面談②** 授業内容：引き続き、クラスミーティングを実施する。担当教員と個別面談を行う。 事前学修 2.0hr：前期のレポート課題について事前に調べる。 事後学修 2.0hr：個別面談で話し合った内容について自分なりに確認する。	19 回	**授業テーマ：見学計画の完成、資料調査開始** 授業内容：見学先の見学計画を完成させ、持参した PC で資料調査を進める。 事前学修 2.0hr：見学地に関連するサイトや書籍を調べておく。 事後学修 2.0hr：資料調査で得た情報を整理する。
5 回	**授業テーマ：論文の書き方①考え方と全体の構造** 授業内容： 論文の目的と基本的な構造（問い・論証・結論）について学ぶ。ワーク課題を通じてレポートの書き方について慣れる。 事前学修 2.0hr：大学におけるレポートの書き方を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。	20 回	**授業テーマ：見学仮レポートの調べ学習** 授業内容：見学先に関する仮レポートの作成を進める。持参した PC で現地調査の写真やメモをまとめ、疑問がある場合は担任に質問しながら仮レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：仮レポートの作成を進める。 事後学修 2.0hr：見学先の見学計画をもとにそれぞれ個人で現地調査を行う。
6 回	**授業テーマ：論文の書き方②論文を構成する要素と考察について** 授業内容： 論文の構成要素（背景・目的・調査・論証・考察・引用）について学ぶ。ワーク課題を通じてレポートの書き方について慣れる。 事前学修 2.0hr：考察と文献引用の方法について予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。	21 回	**授業テーマ：見学仮レポートの提出** 授業内容：見学先に関する仮レポートを完成させ提出する。 事前学修 2.0hr：仮レポートの作成を進める。 事後学修 2.0hr：本レポートに仕上げる際に追加すべき内容などを自分で整理しておく。
7 回	**授業テーマ：論文の書き方③ワークを通じたレポートの書き方の復習** 授業内容：第 5 回、6 回で学んだレポートの書き方に沿って、ミニレポートを作成してみる。 事前学修 2.0hr：第 5 回、6 回の授業資料を読み直す。レポートのテーマについて考えてくる。 事後学修 2.0hr：レポートの書き方について分からない点をまとめ、復習する。	22 回	**授業テーマ：2 年プレゼミ紹介** 授業内容：2 年次のプレゼミについて選定過程のスケジュールを確認し、各教員がプレゼミについて説明する内容から所属希望リストを作成する。 事前学修 2.0hr：2 年プレゼミ募集要項に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：所属希望のゼミ候補を絞り、担当教員のアポイントを取る。

8回	**授業テーマ：フィールドワーク準備：文献調査と現地調査について** 授業内容：図書館やインターネットを使った文献調査と、現地調査の進め方や注意点を学ぶ。見学場所の説明を受け、見学ポイントの設定を行う。 事前学修 2.0hr：見学先の関連資料をオンラインで探す。 事後学修 2.0hr：文献調査と現地調査の下調べを行う。	23回	**授業テーマ：2 年プレゼミの面談** 授業内容：所属を希望するプレゼミの担当教員を訪問し、面談する。 事前学修 2.0hr：2 年プレゼミ募集要項をもとに面談希望教員を絞り込む。 事後学修 2.0hr：2 年プレゼミ所属希望リストを作成する。
9回	**授業テーマ：文献調査と現地調査(フィールドワーク)①** 授業内容：A グループ：図書館とインターネットでレポートのための文献調査を行う。 B グループ：現地に赴き、現地調査(フィールドワーク)を行う。 事前学修 2.0hr：見学先の予習をする。 事後学修 2.0hr：図書館やインターネット、現地でメモした内容や写真をまとめる。	24回	**授業テーマ：見学本レポートの作成開始** 授業内容：本レポートの作成に取り掛かる。担任からの講評をもとに返却された仮レポートを修正・充実化していく。 事前学修 2.0hr：2 年プレゼミの所属希望リストを完成させて提出する。必要なら個別にアポイントを取って希望ゼミ担任と面談を行う。 事後学修 2.0hr：本レポートの作成を進める。
10回	**授業テーマ：文献調査と現地調査(フィールドワーク)②** 授業内容：A グループ：現地に赴き、現地調査(フィールドワーク)を行う。 B グループ：図書館とインターネットでレポートのための文献調査を行う。 事前学修 2.0hr：見学先の予習をする。 事後学修 2.0hr：図書館やインターネット、現地でメモした内容や写真をまとめる。	25回	**授業テーマ：見学本レポートの完成** 授業内容：見学本レポートを完成させ、提出する。 事前学修 2.0hr：見学本レポートの作成を進める。 事後学修 2.0hr：パワーポイントの作り方について予習する。
11回	**授業テーマ：レポートの考察とは何か** 授業内容：図書館やインターネット、現地で集めた情報をもとに、特定の課題に関して考察を行う。 事前学修 2.0hr：レポートの考察について事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をもとに自分のレポートの考察を書いてみる。	26回	**授業テーマ：パワーポイント資料の作成開始** 授業内容：作成した見学本レポートをもとに、パワーポイントで発表資料を作る。 事前学修 2.0hr：使用予定のパワーポイントのフォーマット等を調べておく。 事後学修 2.0hr：パワーポイント作成を続ける。
12回	**授業テーマ：考察＋レポート作成指導①** 授業内容：自分なりの考察を導き、教員に相談しつつ、レポート作成を進める。 事前学修 2.0hr：レポートの作成を進める。 事後学修 2.0hr：レポートの作成を進める。	27回	**授業テーマ：パワーポイント資料の作成(続き)** 授業内容：作成した見学本レポートをもとに、引き続き、パワーポイントで発表資料を作る。 事前学修 2.0hr：パワーポイント作成を続ける。 事後学修 2.0hr：パワーポイント作成を続ける。
13回	**授業テーマ：考察＋レポート作成指導②** 授業内容：引き続き、教員に相談しつつ、「課題設定、調査、考察」を含めたレポートを完成して提出する。 事前学修 2.0hr：授業でのコメントをもとにレポートの作成を進める。 事後学修 2.0hr：提出したレポートを見直す。	28回	**授業テーマ：パワーポイント資料の完成、提出** 授業内容：パワーポイントを完成させる。パワーポイントを使った報告の概要を確認し、報告の準備を行う。 事前学修 2.0hr：パワーポイントを完成させる。 事後学修 2.0hr：報告原稿の作成を始める。
14回	**授業テーマ：学生面談日** 授業内容：前期を通じて大学生活で気になったことなどがあれば担任に相談する。 事前学修 2.0hr：前期の学生生活を振り帰って、必要に応じて面談の前にメモを作成しておく。 事後学修 2.0hr：担任のアドバイスなどをもとに夏休みの過ごし方を考える。	29回	**授業テーマ：パワーポイントによる報告会①** 授業内容：見学事例について作成したパワーポイントを使いクラスメイトの前で報告を行う。また、他者の発表から学ぶべき点を発見する。 事前学修 2.0hr：報告の予行練習をする。 事後学修 2.0hr：他者報告から学んだ点をもとに自分の報告の改善点をまとめる。
15回	**授業テーマ：レポート返却と講評、前期のまとめと後期の予告** 授業内容：提出したレポートに対する講評を書く学生に伝える。前期で学んだことをまとめ、後期の授業内容(見学レポート作成とパワーポイント報告)を確認する。 事前学修 2.0hr：前期で学んだことを振り返る。 事後学修 2.0hr：レポートの講評をもとに、後期の改善点を整理する。	30回	**授業テーマ：パワーポイントによる報告会(続き)** 授業内容：引き続き、見学事例について作成したパワーポイントを使いクラスメイトの前で報告を行う。また、他者の発表から学ぶべき点を発見する。 1 年間学んだ内容を振り返る。 事前学修 2.0hr：レポートとパワーポイントについて、後期で学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：自分のパワーポイントの長所と改善点を再確認する。

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

安藤　章（あんどう　あきら）

▌授業の概要

卒業論文や就職試験に必要な小論文の執筆はもとより、不動産・まちづくり業界で活躍する際に必要となる企画提案書の作成等にも有効な各種基礎スキルの習得を目指す。本授業は、前半と後半で講義内容を変える。前半は、ロジカル・シンキングや論文・企画提案書等の作成、及びプレゼンテーションに必要なスキルの習得を目指す。後半は、不動産・まちづくり業界の第一線で活躍する専門家の講演を聴講するとともに、学生と教員による講演内容の背景と意義を深堀するワークショップを開催することで、彼らの思考回路の習得を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：不動産・まちづくり分野で必要となる論文、レポート、企画提案等の作成スキルの習得

個別目標：・不動産・まちづくりに必要なロジカル・シンキングの習得、及び論文・提案書の作成スキルの習得
・ワークショップの運営スキル、及びプレゼンテーションスキルの習得
・不動産・まちづくり業界の第一線で活躍する専門家の思考回路の習得

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

受講態度（25 %）、レポート（25 %）、ワークショップへの参加意欲（25 %）、プレゼンテーション（25 %）

▌フィードバック方法

授業内で実施

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ワークショップやプレゼン資料の作成等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント、エクセル等）

▌教科書

特になし（必要に応じて教員が準備）

▌参考書

特になし（必要に応じて教員が準備）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進め方** 授業内容：教員よりシラバスに沿って授業の進め方を説明 事前学修 2.0hr：シラバスの内容の確認 事後学修 2.0hr：講義内容をレジュメ化	16回	**授業テーマ：後期授業の進め方の説明** 授業内容：後期に開催する外部講師の紹介と説明ポイントを解説し、講演に向けた準備をする 事前学修 2.0hr：講演者の概要を確認 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
2回	**授業テーマ：ロジカル・シンキングの基礎講座①（伝える力を考える）** 授業内容：ロジカル・シンキングスキルの習得にあたっての基礎認識について教員から説明し、学生間で実践 事前学修 2.0hr：ロジカル・シンキングについてネットなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	17回	**授業テーマ：外部講師による講演（東京の不動産取引実態）** 授業内容：東京で不動者取引を行う実務者が最近の不動市場について講演し、その後質疑を実施 事前学修 2.0hr：講演内容の事前学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
3回	**授業テーマ：ロジカル・シンキングの基礎講座②（論理的に思考を整理する技術）** 授業内容：論理的プレゼンテーションを実施するスキルについて教員から説明後、学生間で実践 事前学修 2.0hr：ロジカル・シンキングについてネットなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	18回	**授業テーマ：東京の不動産取引市場の実態①** 授業内容：第 17 回講演者の講義内容を振り返るとともに、学生によるワークショップを開催し、講演内容を深堀する 事前学修 2.0hr：第 17 回授業内容の見直し 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
4回	**授業テーマ：ロジカル・シンキングの基礎講座③（論理的に構成する技術）** 授業内容：論理的な思考回路に関する技術を教員から説明後、学生間で実践 事前学修 2.0hr：ロジカル・シンキングについてネットなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	19回	**授業テーマ：東京の不動産取引市場の実態②** 授業内容：第 18 回授業でのワークショップの内容を学生間でプレゼンテーションし、討議を深める 事前学修 2.0hr：第 18 回授業内容の見直し 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
5回	**授業テーマ：ロジカル・シンキングに関するとりまとめ** 授業内容：2～4回の講義内容の振り返りと、総合的な実践トレーニングを行う 事前学修 2.0hr：2～4回の講義内容の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	20回	**授業テーマ：外部講師による講演（東京都心部のまちづくり）** 授業内容：大手不動産開発事業会社の実務者に東京都心での先進的なまちづくり事例を講演 事前学修 2.0hr：該当するまちづくりについてホームページで事前学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践
6回	**授業テーマ：論文・レポート執筆スキルの習得①（資料収集と問題整理）** 授業内容：論文・レポートの執筆に必要な資料収集と問題整理方法を教員が説明し、学生間で実践。 事前学修 2.0hr：論文・レポート作成方法について事前に学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	21回	**授業テーマ：東京都心部のまちづくり事例の深堀①** 授業内容：第 20 回講演者の講義内容を振り返るとともに、学生によるワークショップを開催し、講演内容を深堀する 事前学修 2.0hr：第 20 回授業内容の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践
7回	**授業テーマ：論文・レポート執筆スキルの習得②（文章表現方法に関するスキル①）** 授業内容：論文・レポートの執筆に必要な文章表現方法を教員が説明し、学生間で実践。 事前学修 2.0hr：論文・レポート作成方法について事前に学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	22回	**授業テーマ：東京都心部のまちづくり事例の深堀②** 授業内容：第 21 回授業でのワークショップの内容を学生間でプレゼンテーションし、討議を深める 事前学修 2.0hr：第 21 回授業内容の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践
8回	**授業テーマ：論文・レポート執筆スキルの習得③（文章表現方法に関するスキル②）** 授業内容：論文・レポートの執筆に必要な文章表現方法を教員が説明し、学生間で実践。 事前学修 2.0hr：論文・レポート作成方法について事前に学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	23回	**授業テーマ：外部講師による講演（ニュータウン再生）** 授業内容：大都市郊外にあるニュータウンの管理・運営実務者がニュータウン再生まちづくり事例を講演 事前学修 2.0hr：該当するまちづくりについてホームページで事前学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践
9回	**授業テーマ：論文・レポート執筆スキルのまとめ** 授業内容：第 6～8 回の授業内容を踏まえ、論文・レポート執筆の実践を実施 事前学修 2.0hr：第 6～8 回の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	24回	**授業テーマ：ニュータウン再生事例の深堀①** 授業内容：第 23 回講演者の講義内容を振り返るとともに、学生によるワークショップを開催し、講演内容を深堀する 事前学修 2.0hr：第 23 回授業内容の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践

10回	**授業テーマ：プレゼンテーションスキルの習得①（プレゼンテーションの技法）** 授業内容：説得力のあるプレゼンテーション技術について教員が解説し、学生間で実践 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション技法について事前学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	25回	**授業テーマ：ニュータウン再生事例の深堀②** 授業内容：第 24 回授業でのワークショップの内容を学生間でプレゼンテーションし、討議を深める 事前学修 2.0hr：第 24 回授業内容の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
11回	**授業テーマ：プレゼンテーションスキルの習得②（パワーポイント資料の作成方法）** 授業内容：わかりやすいプレゼンテーション資料の作成方法について教員が説明し、学生間で実践 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション技法について事前学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	26回	**授業テーマ：外部講師による講演（自治体によるまちづくり再生プロジェクトの実践事例）** 授業内容：実都市でのまちづくり再生プロジェクトについて、担当した自治体職員が事例を紹介 事前学修 2.0hr：該当するまちづくりについてホームページで事前学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
12回	**授業テーマ：プレゼンテーションスキルの習得③（図表の作成技法）** 授業内容：図表の作成方法について教員が説明し、学生間で実践 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション技法について事前学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	27回	**授業テーマ：まちづくり再生プロジェクトの実践事例の深堀①** 授業内容：第 26 回講演者の講義内容を振り返るとともに、学生によるワークショップを開催し、講演内容を深堀する 事前学修 2.0hr：第 26 回授業内容の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
13回	**授業テーマ：ワークショップの運営手法の習得①（ワークショップの進め方）** 授業内容：ワークショップ開催の留意点と進め方について教員が説明し、学生間で実践 事前学修 2.0hr：ワークショップの進め方について事前学習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	28回	**授業テーマ：まちづくり再生プロジェクトの実践事例の深堀②** 授業内容：第 27 回授業でのワークショップの内容を学生間でプレゼンテーションし、討議を深める 事前学修 2.0hr：第 27 回授業内容の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
14回	**授業テーマ：ワークショップの運営手法の習得②（ワークショップ運営の実践）** 授業内容：学生間で実際にワークショップを運営し、結果をプレゼンテーションする。 事前学修 2.0hr：前回授業の見直しと今回ワークショップの事前準備 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	29回	**授業テーマ：外部講師による講演内容のまとめ** 授業内容：外部講師らの講演内容から得られた実務的知見を教員がまとめ、学生間で討議 事前学修 2.0hr：外部講演者の資料の見直し 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する
15回	**授業テーマ：前期授業のまとめ** 授業内容：教員が前期の授業内容を取りまとめるとともに、学生と討議を行う 事前学修 2.0hr：前期の講義内容の復習 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化するとともに実践	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全授業の総合とりまとめを教員が行い、学生間で討議 事前学修 2.0hr：全授業の資料の見直し 事後学修 2.0hr：授業内容をレジュメ化する

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）

▌授業の概要

私たちは普段、自分の生活と関わりのない人間のことを考えることはあまりない。しかし、そうした人々もまた同じ社会、同じ空間を共有するメンバーだ。そうした人々の生活実態やライフヒストリーに触れることにより、普段は目に触れない人々を想像することが可能になる。

また、私たちは普段「〇〇とは何か」「それはなぜなのか」と考えることなく生きている。問題なく生活している間はいいが、ひとたび違和感や苦しさを感じた時、それが何なのかを言語化すると少し楽になる。この言語化は、より多くの言葉や考え方、情報を知っているとより詳しく(「解像度をあげて」)行うことができるようになる。

この授業の前半は、野宿者という存在を考える。「ふるさとから『遠く』離れて」(川崎野宿者聞き取りチーム編集、2024 年、野宿者 322 人のエピソード集)を履修者全員で読み、同じ社会に生きる野宿者一人一人のライフヒストリーと、その当時の日本社会についての理解を深める。

後半は、「SNS」「身体」「若者」「言葉」といった社会科学の概念に関する小文の読解を行う。社会や世界を見る上での様々なものの見方を学ぶ機会とする。

さらに、自分が設定したテーマで 3000 字程度のプレゼミレポートを執筆してもらう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：１　都市の中の存在に対する野宿者のライフヒストリーを、戦後日本社会の経済社会動向と結びつけて考えることができる。
　　２　社会科学の諸概念を学び、身近な事柄への疑問(批判的思考)を持つ態度を涵養する。

個別目標：①与えられた文章を読み、自分の感想と共に疑問点を出し、それを整理して他者と議論することができる。
　　②疑問点の追及を念頭に発展させた調査を行うことができる。
　　③簡単なレジュメを作成することができる。
　　④自分で設定したテーマをもとに 3000 字でプレゼミレポートを書くことができる。

▌履修条件

空間(都市や街並み)と時間(歴史、主に日本の戦後史)、そこに居住する人間の生活に関心のある学生を求める。文章を読み、日本語で文章やレジュメを作成することが苦手ではない学生が望ましい。

▌評価基準・方法

・報告レジュメの内容やディスカッションへの参加度(40%)、プレゼミ論の内容(60%)などを総合的に評価する。
・プレゼミ論の完成と提出が最終成績評価の最低条件となる。

▌フィードバック方法

各回、随時質問を受けつけ口頭または manaba で回答する。報告やゼミ論に対するコメントを口頭または添削という形で返却する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ゼミレポートの資料収集と作成）

▌教科書

前期：「ふるさとから『遠く』離れて」(川崎野宿者聞き取りチーム編集、2024 年、野宿者 322 人のエピソード集)を輪読。
後期：『高校生のための現代思想エッセンス』(ちくま評論選 三訂版、2024 年 10 月)から数本を選び輪読。

▌参考書

特に指定せず、授業中に必要に応じて提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：ゼミの運営方法の説明と報告の順番決定** 授業内容：自己紹介をし、ゼミの運営方法と前期の日程を確認する。輪読の担当者と担当週を決定する。 事前学修 2.0hr：指定教科書を読み内容を把握しておく。 事後学修 2.0hr：川崎の野宿者に関する資料を検索して調べる。	16回	**授業テーマ：輪読テキストの方向分担と後期スケジュール確認** 授業内容：後期テキスト「高校生のための現代思想エッセンス」から自分が報告したい章を選び、後期の報告順番を決める。 事前学修 2.0hr：「高校生のための現代思想エッセンス」にあらかじめ目を通して担当したい章を複数、選んでおく。 事後学修 2.0hr：自分の担当する章を読み始める。
2回	**授業テーマ：序論：テキストは何をテーマとしたものか** 授業内容：テキストの作成の背景、川崎市の歴史、本書が編まれた目的と意図などを読み取り、議論する。 事前学修 2.0hr：テキストの「はじめに」と「編集後記」を読む。 事後学修 2.0hr：川崎市の歴史と野宿者の現状について復習する。	17回	**授業テーマ：レポートを書く意義と方法** 授業内容：レポートを書く意義と方法に関して、ワークシート作業を通じて確認する。 事前学修 2.0hr：レポートの書き方に関する事前資料を読む 事後学修 2.0hr：自分のゼミ論の意義と方法を考える
3回	**授業テーマ：レジュメの作成方法と調査方法** 授業内容：レジュメの作成方法と、報告者に求められる追加の調査方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：レジュメの作り方に関する資料を確認する。 事後学修 2.0hr：自分が担当する箇所について読み始める。	18回	**授業テーマ：報告１** 授業内容：１番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。
4回	**授業テーマ：報告１** 授業内容：１番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	19回	**授業テーマ：報告２** 授業内容：２番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。
5回	**授業テーマ：報告２** 授業内容：２番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	20回	**授業テーマ：報告３** 授業内容：３番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。

6回	**授業テーマ：報告３** 授業内容：３番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	21回	**授業テーマ：報告４** 授業内容：４番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。
7回	**授業テーマ：報告４** 授業内容：４番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	22回	**授業テーマ：報告５** 授業内容：５番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。
8回	**授業テーマ：報告５** 授業内容：５番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	23回	**授業テーマ：プレゼミテーマ決定** 授業内容：各自のプレゼミのテーマと問いを決定する。 事前学修 2.0hr：自分のプレゼミレポートのテーマの最終決定をする 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をプレゼミ案に反映させる
9回	**授業テーマ：報告６** 授業内容：６番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	24回	**授業テーマ：プレゼミレポート①問いと背景、課題の設定** 授業内容：自分のプレゼミレポートについて、問いを具体的に絞り込み、その背景や問題点を調べて課題を設定する。 事前学修 2.0hr：自分がプレゼミレポートのテーマに選んだ理由や違和感を言語化しておく。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をプレゼミレポートの見取り図に反映させる。
10回	**授業テーマ：報告７** 授業内容：７番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	25回	**授業テーマ：プレゼミレポート②課題と先行研究・資料** 授業内容：自分のプレゼミレポートについて、課題と先行研究、資料の有無や所在を調べる。 事前学修 2.0hr：自分がプレゼミレポートに選んだテーマについて、先行研究や資料の有無などを事前調査する。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をプレゼミレポートの見取り図に反映させる。
11回	**授業テーマ：報告８** 授業内容：８番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	26回	**授業テーマ：プレゼミレポート③引用ワーク** 授業内容：自分のプレゼミレポートについて調べた先行研究や資料の引用方法や参考文献の書き方について、ワークシートを使って学ぶ。 事前学修 2.0hr：レポートの引用方法についてあらかじめ調べておく。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をプレゼミレポートの見取り図に反映させる。
12回	**授業テーマ：報告９** 授業内容：９番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	27回	**授業テーマ：プレゼミレポート④考察と結論** 授業内容：自分のプレゼミレポートについて、それまでに調べた資料や先行研究から考察を行い、問いに対する結論を導き出す。 事前学修 2.0hr：レポートの考察についてあらかじめ調べておく。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をプレゼミレポートの見取り図に反映させる。
13回	**授業テーマ：報告 10** 授業内容：10 番目の報告者はレジュメをまとめ報告する。他の履修者は自分の感想や意見を持ち寄り、グループで議論する。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、感想と疑問点をまとめる。報告者はレジュメを準備する。 事後学修 2.0hr：報告レジュメへの講評や議論での意見から学ぶことのできる点をまとめる。	28回	**授業テーマ：プレゼミレポート⑤レポートの構造** 授業内容：表紙、はじめに、本文、結論、参考文献リストなど、レポートの構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：レポートの構造についてあらかじめ調べておく。 事後学修 2.0hr：これまでの授業内容と作成したプレゼミレポートの見取り図に従い、プレゼミレポートを執筆する。
14回	**授業テーマ：これまでの振り返り** 授業内容：これまでの輪読とディスカッションの中から、自分の関心に重なる論点、新しい知見、新たな問いなどを参加者と共有する。 学術論文の意義、構成(問い・論証・結論)などについて確認する。 事前学修 2.0hr：輪読を終えて、自分の関心と重なった部分や新しい知見、新たな問いを文章化する。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックを元に自分のプレゼミレポートのテーマを練り直す。	29回	**授業テーマ：プレゼミレポート完成、報告①** 授業内容：プレゼミレポートを完成させ、提出する。各自のプレゼミ内容を報告し、お互いに講評する。 事前学修 2.0hr：プレゼミレポートを完成させる。報告原稿の準備をする。 事後学修 2.0hr：他者報告から学ぶべき点をまとめる。他者からのコメントに従い、自分のレポートの改善点をみなす。
15回	**授業テーマ：プレゼミレポートのテーマ案と後期テキストについて** 授業内容：後期のプレゼミレポートで扱いたいテーマ案と、後期の輪読テキストから担当したい章について共有する。 事前学修 2.0hr：プレゼミレポートのテーマ案を考える。後期の輪読テキストに目を通しておく。 事後学修 2.0hr：自分の関心のありかについて文章化しておく	30回	**授業テーマ：プレゼミレポート報告②、まとめ** 授業内容：各自のプレゼミ内容を報告し、お互いに講評する(続き)。1 年で学んだことを振り返る。 事前学修 2.0hr：報告原稿の準備をする。 事後学修 2.0hr：他者報告から学ぶべき点をまとめる。他者からのコメントに従い、自分のレポートの改善点をみなす。１年間で得た学びを確認する。

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

片川　卓也（かたかわ　たくや）

▌授業の概要

本演習では、不動産を取り巻く社会の構造を理解するとともに、学生自身が「社会の中でどのように働き、どのように生きるのか」を考える力を養うことを目的とする。不動産市場の基礎的理解、地域観察、簡易調査、業界紙の読解に加え、ライフプラン・キャリアプランの可視化、自己分析、プレゼンテーション演習を行う。

前期は、読む・書く・議論するための基礎的アカデミックスキルを身につけるとともに、自己理解を深めるワークを通じて、自身のキャリア観を形成する。後期は、地域調査・市場調査・議論・発表を通じて、3 年次の「実務ゼミ（不動産取引・仲介実務）」につながる基礎力を育成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：不動産を取り巻く社会構造を理解し、調査・議論・発表を通じて、自らのキャリア形成に必要な基礎力を身につける。

個別目標：・不動産に関する記事・文献を読み、要約し、議論できる。
・地域の不動産市場を簡易に調査し、分析できる。
・自己理解（強み・弱み・価値観）を深め、ライフプラン・キャリアプランを可視化できる。
・プレゼンテーション能力を向上させ、他者に伝える力を身につける。
・一つのテーマについて深く議論し、論理的に意見を述べる力を養う。
・3 年次の実務ゼミ（仲介業務体験）に必要な基礎的思考力・観察力・表現力を身につける。

▌履修条件

主体的に調査・議論・発表に取り組む姿勢を求める。

▌評価基準・方法

・ゼミへの取り組み姿勢・議論への参加：40%
・レジュメ・調査レポート・キャリアワーク等の成果物：40%
・発表（キャリア発表・調査発表）：20%
無断欠席は減点対象とする。

▌フィードバック方法

授業内での口頭フィードバックを中心に、必要に応じて個別指導を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （あり（毎回、議論・グループワーク・発表を実施））

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （あり（レジュメ作成、調査、資料作成等で使用））

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

テーマに応じて適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：ゼミの目的説明、年間計画、自己紹介 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：内容の振り返り	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期のテーマ説明、調査の進め方 事前学修 2.0hr：前半を振り返る 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
2回	**授業テーマ：自己理解①（価値観の棚卸し）** 授業内容：価値観カードワーク、「人生で大切にしたいこと」を言語化、他者との比較で価値観の違いを理解 事前学修：価値観チェック 事後学修：気づきのまとめ 事前学修 2.0hr：仲介業務の全体を俯瞰する 事後学修 2.0hr：気づきをまとめる	17回	**授業テーマ：社会問題①（住宅問題）** 授業内容：空き家・居住貧困、住宅政策の基礎、住宅問題の説明ロープレ 事前学修 2.0hr：事前に調査項目を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
3回	**授業テーマ：自己理解②（強み・弱み分析）** 授業内容：ストレングス分析、自己紹介ワーク（強みを使ったエピソード） 強みを活かせる職業の検討 事前学修 2.0hr：自身の強み、弱みを考える。 事後学修 2.0hr：強み活用案の作成。	18回	**授業テーマ：社会問題②（都市問題）** 授業内容：都市計画、コンパクトシティ、地域間格差 事前学修 2.0hr：事前に調査項目をしらべる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
4回	**授業テーマ：キャリアデザイン①（キャリアの基礎）** 授業内容：キャリアの定義（ジョブ型・メンバーシップ型）、働く意味の多様性 キャリアの「偶然性」理論 事前学修 2.0hr：記事を読む 事後学修 2.0hr：働く意味の整理	19回	**授業テーマ：調査①（テーマ設定）** 授業内容：グループで調査テーマを決定、調査計画書の作成 事前学修 2.0hr：調査内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
5回	**授業テーマ：キャリアデザイン②（将来像の描き方）** 授業内容：5 年後・10 年後の未来を描くロールモデル研究 事前学修 2.0hr：ロールモデルの選定 事後学修 2.0hr：将来像の文章化する	20回	**授業テーマ：調査②（文献・統計調査）** 授業内容：文献調査の方法、統計データの収集 事前学修 2.0hr：調査内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
6回	**授業テーマ：ライフプラン①（人生の時間軸）** 授業内容：人生 100 年時代のライフステージ、仕事・家庭・学びのバランス、ライフイベント表の作成 事前学修 2.0hr：未来の自分を考える 事後学修 2.0hr：ライフイベントの整理	21回	**授業テーマ：調査③（現地調査）** 授業内容：現地観察の方法、写真・メモの取り方 事前学修 2.0hr：調査内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
7回	**授業テーマ：ライフプラン②（お金の基礎）** 授業内容：収入・支出・貯蓄の構造、住宅費・教育費・老後資金ライフプランとキャリアの関係 事前学修 2.0hr：家計例を読む 事後学修 2.0hr：将来の支出の想定	22回	**授業テーマ：調査④（分析）** 授業内容：調査結果の整理、因果関係の分析、問題の構造化 事前学修 2.0hr：調査内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う

8回	**授業テーマ：ニュース読解①(不動産・社会)** 授業内容：ニュースの読み方、ファクトと意見の区別、社会問題の背景を読み解く 事前学修 2.0hr：記事の選定 事後学修 2.0hr：結果をまとめる。	23回	**授業テーマ：物件調査の基礎②(用途地域・都市計画)** 授業内容：用途地域の意味、建ぺい率・容積率、都市計画図の読み方、用途地域の説明ロープレ 事前学修 2.0hr：調査内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
9回	**授業テーマ：物件調査①(境界・越境)** 授業内容：現地調査を行う 事前学修 2.0hr：事前に整理を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	24回	**授業テーマ：物件調査の基礎③(ハザードマップ)** 授業内容：洪水・土砂災害・液状化の基礎、ハザードマップの読み方、ハザード説明ロープレ 事前学修 2.0hr：調査内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
10回	**授業テーマ：物件調査②(道路調査)** 授業内容：道路関係を調べる 事前学修 2.0hr：事前に整理をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	25回	**授業テーマ：プレゼン①(構成)** 授業内容：スライド構成、ストーリーテリング 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
11回	**授業テーマ：物件調査③(用途地域・建築規制)** 授業内容：法令上の制限の調査ができるようになる 事前学修 2.0hr：都市計画法、建築基準法の再確認を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	26回	**授業テーマ：プレゼン②(話し方)** 授業内容：声・姿勢・視線、質疑応答のコツ 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
12回	**授業テーマ：物件調査④(インフラ・設備・環境)** 授業内容：ライフラインの調査 事前学修 2.0hr：ライフライン 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	27回	**授業テーマ：発表会①** 授業内容：発表(前半)、質疑応答 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
13回	**授業テーマ：資金計画①(住宅購入、引渡しまでの流れ)** 授業内容：購入の流れを確認する 事前学修 2.0hr：事前に整理をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	28回	**授業テーマ：発表会②** 授業内容：発表(後半)、全体講評 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
14回	**授業テーマ：資金計画②(住宅ローンの基礎)** 授業内容：住宅ローンの内容を確認する 事前学修 2.0hr：事前に整理を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	29回	**授業テーマ：個人レポート** 授業内容：調査結果の文章化、論理的な構成の作り方 事前学修 2.0hr：事前の整理を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
15回	**授業テーマ：資金計画③(ローン特約・事前審査)** 授業内容：住宅ローの審査内容について考える 事前学修 2.0hr：事前準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	30回	**授業テーマ：後期まとめ** 授業内容：1 年間の総括、3 年生ゼミへの接続、自己成長の振り返り 事前学修 2.0hr：事前の整理を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）

▌授業の概要

不動産学部では「社会実践教育」に力を入れるとしていますが、そもそも「社会」とは何でしょうか？ あるいは、ややもすると曖昧模糊で複雑な「社会」をどのように捉え、観察していけばよいのでしょうか？ 実は、これはかなり難しい問題なのです。とはいえ、さまざまな社会現象や社会的問題を捉えるための一つの糸口として、社会学的知見に基づく社会学的観察・調査という方法があります。

そこで、本演習では、3 年次以降の調査・探究・研究のための基礎力を涵養することを目的として、主に社会学的調査の基本的な考え方や基礎的な方法の修得を目指したいと考えています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：3 年次以降の調査・探究・研究のための基礎力が身についていること、とりわけ、社会学的調査の基本的な考え方や基礎的な方法論等を身につけていることを目標とします。

個別目標：前期は、読む・書く・議論するなどの汎用的・基礎的なアカデミックスキルの涵養を図るために、業界専門紙・雑誌等を輪読し、レジュメ（要約）を作成し、報告して、議論していきます。
後期は、社会調査等に関する文献をテキストにし、社会学調査の基本的な考え方や基礎的な方法を学修するとともに、これらの考え方・方法等を実践するために、チーム（or 個人）ごとに興味のある対象地域やテーマを選んで、簡単な調査を行い、報告書（レポート）をまとめ、プレゼンテーションを行います。

▌履修条件

受講生の主体的な取り組みが必要です。

▌評価基準・方法

ゼミへの取り組み具合、報告等のレベル、レジュメやレポート等の成果物等を総合的に評価します。なお、無断欠席は減点の対象とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、ゼミの時間内をはじめ、随時行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回、全員で議論します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表などで PC を使用することがあります。）

▌教科書

開講時に指示します。

▌参考書

適宜、紹介していきます。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：ゼミ生相互の紹介、前期の進め方の確認などをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバス等を読み、疑問点・質問したいことなどを整理する。 事後学修 2.0hr：前期のゼミの進め方などをふりかえる。	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期のゼミの進め方について、確認する。また、各自が後期に取り組みたいテーマ等を報告する。 事前学修 2.0hr：後期に取り組みたいテーマ等を整理する。 事後学修 2.0hr：後期のゼミの進め方について、ふり返る。
2回	**授業テーマ：不動産に関連する業界紙・雑誌等の調査** 授業内容：不動産に関連する業界紙・雑誌等にはどのようなものがあり、それぞれの特徴は何かなどを調べてまとめる。 事前学修 2.0hr：不動産に関連する業界紙・雑誌等を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：業界紙・雑誌等の特徴などをリスト化する。	17回	**授業テーマ：社会調査とは何か** 授業内容：社会学・社会調査の基本的な考え方を学修するとともに、それについて全員で議論する。 事前学修 3.0hr：教員が指示した文献・資料等を予め読み、内容の要約を作成する。 事後学修 2.0hr：ゼミの議論等を通じて、各自が学修したことをまとめる。
3回	**授業テーマ：レジュメの作成や報告・議論の仕方** 授業内容：記事の読み方、レジュメ（要約）の作成の仕方、ゼミでの報告・議論の仕方について、学修する。 事前学修 2.0hr：第 2 回で作成したリストの中から、興味関心がある記事を複数ピックアップする。 事後学修 2.0hr：学修内容を踏まえ、レジュメ等を作成する。	18回	**授業テーマ：まちの観察** 授業内容：まちを観察するにあたってのポイントを学修するとともに、それらについて全員で議論する。 事前学修 3.0hr：教員が指示した文献・資料等を予め読み、内容の要約を作成する。 事後学修 2.0hr：ゼミの議論等を通じて、各自が学修したことをまとめる。
4回	**授業テーマ：業界紙・雑誌等の記事の要約と報告** 授業内容：第 2 回に作成したリストに基づき、報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：記事の読解とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	19回	**授業テーマ：インタビュー調査・参与観察** 授業内容：インタビュー調査や参与観察に関するポイントを学修するとともに、それらについて全員で議論する。 事前学修 3.0hr：教員が指示した文献・資料等を予め読み、内容の要約を作成する。 事後学修 2.0hr：ゼミの議論等を通じて、各自が学修したことをまとめる。
5回	**授業テーマ：業界紙・雑誌等の記事の要約と報告** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：記事の読解とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	20回	**授業テーマ：資料分析** 授業内容：資料分析に関するポイントを学修するとともに、それらについて全員で議論する。 事前学修 3.0hr：教員が指示した文献・資料等を予め読み、内容の要約を作成する。 事後学修 3.0hr：ゼミの議論等を通じて、各自が学修したことをまとめる。
6回	**授業テーマ：業界紙・雑誌等の記事の要約と報告** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：記事の読解とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	21回	**授業テーマ：調査等の計画の作成** 授業内容：これまでの社会調査に関する学修内容や各自の興味あるテーマ等を踏まえ、各自が調査等の計画を作成・報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 3.0hr：調査等の計画書を作成する。 事後学修 3.0hr：ゼミでの議論などを踏まえ、調査等の計画書を見直す。
7回	**授業テーマ：業界紙・雑誌等の記事の要約と報告** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：記事の読解とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	22回	**授業テーマ：調査等の進捗状況報告（1）** 授業内容：調査計画に基づき各自がそれぞれ進めている調査等の進捗状況を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 4.0hr：調査等を行うとともに、進捗状況を報告するための資料を作成する。 事後学修 4.0hr：ゼミでの議論や指摘事項等を整理し、調査に反映させる。
8回	**授業テーマ：業界紙・雑誌等の記事の要約と報告** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：記事の読解とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	23回	**授業テーマ：調査等の進捗状況報告（2）** 授業内容：調査計画に基づき各自がそれぞれ進めている調査等の進捗状況を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 4.0hr：調査等を行うとともに、進捗状況を報告するための資料を作成する。 事後学修 4.0hr：ゼミでの議論や指摘事項等を整理し、調査に反映させる。

9回	**授業テーマ：不動産に関わる新書等の文献調査** 授業内容：不動産に関連する新書や専門書等にはどのようなものがあり、それぞれの特徴は何かなどを調べてまとめる。 事前学修 2.0hr：不動産に関連する新書や専門書等を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：不動産に関連する新書や専門書等の特徴などをリスト化する。	24回	**授業テーマ：レポートの作成(1)** 授業内容：これまでの調査等を踏まえ、レポートの概要を作成する。それに関し、質疑応答を行う。 事前学修 4.0hr：レポートの概要を作成する。 事後学修 4.0hr：ゼミでの議論などを踏まえ、レポートの概要を見直す。
10回	**授業テーマ：新書等の読み方や要約の仕方** 授業内容：新書等の読み方、レジュメ(要約)の作成の仕方などについて、学修する。あわせて、第 9 回に作成したリストに基づき、全員で講読する文献を選定する。 事前学修 2.0hr：第 9 回で作成したリストの中から、興味関心がある新書等を複数ピックアップする。 事後学修 2.0hr：学修内容を踏まえ、レジュメ等を作成する。	25回	**授業テーマ：レポートの作成(2)** 授業内容：各自のレポートの完成を完成させるとともに、個別に指導を行う。 事前学修 4.0hr：各自のレポートを完成させる。 事後学修 4.0hr：ゼミでの議論などを踏まえ、レポートのさらなる加筆修正を行う。
11回	**授業テーマ：新書等の講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	26回	**授業テーマ：発表報告会用の資料等の作成(1)** 授業内容：発表報告会向けのプレゼンテーション用資料を作成するとともに、個別に指導を行う。 事前学修 2.0hr：作成したレポートに基づき、プレゼンテーション用資料の目次・構成等を考える。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論などを踏まえ、プレゼンテーション用資料の目次・構成等を見直す。
12回	**授業テーマ：新書等の講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	27回	**授業テーマ：発表報告会用の資料等の作成(2)** 授業内容：発表報告会向けのプレゼンテーション用資料を作成するともに、個別に指導を行う。 事前学修 4.0hr：作成したレポートに基づき、プレゼンテーション用資料のたたき台を作成する。 事後学修 4.0hr：ゼミでの議論などを踏まえ、プレゼンテーション資料の加筆修正を行う。
13回	**授業テーマ：新書等の講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	28回	**授業テーマ：発表報告会(1)** 授業内容：全員の前で、各自がプレゼンテーションを行う。それについて、全員で質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：プレゼン資料を作成するとともに、発表の準備を行う。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論などを踏まえ、レポート等の加筆修正を行う。
14回	**授業テーマ：新書等の講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成を行う。 事後学修 1.0hr：議論となったテーマ等について、自分なりの意見をまとめる。	29回	**授業テーマ：発表報告会(2)** 授業内容：全員の前で、各自がプレゼンテーションを行う。それについて、全員で質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：プレゼン資料を作成するとともに、発表の準備を行う。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論などを踏まえ、レポート等の加筆修正を行う。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期全体のまとめをおこなう。加えて、後期のゼミ活動を計画する。 事前学修 2.0hr：前期で自分自身が学修したことをまとめる。 事後学修 2.0hr：前期をふり返り、後期に取り組みたいことをまとめる。	30回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：一年間のゼミ活動全体をふりかえり、今後の学修につなげる。 事前学修 2.0hr：1 年間を通じて各自が学修したことを整理する。 事後学修 2.0hr：1 年間の活動をふり返り、各自の成果をとりまとめる。

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

金　東煥（きむ　どんふぁん）

▌授業の概要

本講義は、不動産投資市場における基礎知識について演習する。不動産は土地や建物などの物理的資産を意味し、住宅・商業・工業・土地・公共施設など多様な種類に区別される。本講義では、投資家が賃料収入や資産価値の上昇によって利益を得る仕組みについての基礎的知識を学修する。また、不動産の直接保有だけでなく、不動産投資信託 (REIT) やクラウドファンディングなどの間接投資についても理解を深める。さらに、地価上昇、円安、海外からの観光需要増加、海外直接投資の増加などのマクロ経済状況が不動産価格に与える影響を分析し、実践的な投資判断能力を養成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：現代の不動産投資市場の構造とマクロ経済環境を理解し、物件の立地、評価手法、投資目的・期間、キャッシュフロー、レバレッジの利用などの投資判断に必要な基礎知識と用語を学習する。

個別目標：①不動産投資の基本概念 (賃料収入と資産価値の上昇) について説明できる。
②物件の立地、評価手法、キャッシュフローなどの投資判断要素について説明できる。
③ J-REIT の仕組みと投資指標 (取引価格、分配金、利回り) を理解できる。
④マクロ経済状況が不動産市場に与える影響について考察し、自分の意見を説明できる。

▌履修条件

学生は、毎回の講義で課題について、発表するため、各自が担当課題を責任をもって遂行し、発表を行うことが求められる。

▌評価基準・方法

調査課題提出・発表・討論で 70 %、期末レポートで 30 %評価する。
原則として、5 分の 4 以上の出席を成績評価の条件とする。

▌フィードバック方法

毎回の課題フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。課題発表およびレポートについては、授業中の討論を通じてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各学生は、課題について、自ら調査・整理して発表・意見交換する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を用いて、課題について、検索調査・分析するため、毎回講義には PC を持参すること。）

▌教科書

特にない。必要に応じて資料を配布する。

▌参考書

特にない。必要に応じて資料を配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義目標、講義方法、成績評価などについてガイダンスを実施する。不動産投資の全体像を把握し、講義の進め方について理解する。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより不動産投資に関する最近の話題を探し出し、読んでおく。 事後学修 2.0hr：資料・授業の学修内容を整理し、自分の理解度を確認した上で、自分の興味のある投資分野について考えをまとめる。	16回	**授業テーマ：学生の投資希望物件選定①** 授業内容：各学生が投資希望物件を選定し、選定理由を説明する。教員と他の学生からのコメント・質問を受ける。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、自分の投資希望物件を選定し、選定理由を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業での質問やコメントを踏まえて、物件選定の妥当性を再検討する。
2回	**授業テーマ：不動産市場の概要** 授業内容：不動産市場の基本構造、市場参加者、取引の仕組みについて学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより不動産市場に関する予備知識を整理する。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、不動産市場の特徴について自分の考えをまとめる。	17回	**授業テーマ：学生の投資希望物件選定②** 授業内容：引き続き各学生が投資希望物件を選定し、選定理由を説明する。教員と他の学生との意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：前回の授業での指摘を踏まえて、物件選定を最終確定する。 事後学修 2.0hr：選定した物件について詳細調査を開始するための計画を立てる。
3回	**授業テーマ：世界の不動産投資市場の規模と歴史** 授業内容：世界の主要国における不動産投資市場の規模、歴史的発展、現状について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、世界の不動産投資市場に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、各国の不動産投資市場の特徴を比較整理する。	18回	**授業テーマ：投資物件の調査方法** 授業内容：物件調査の項目 (立地、建物状況、賃料相場、利回り、法規制など)、情報収集の方法について学修する。PC を用いて実際の物件情報を検索する。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、物件調査の方法に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：自分の選定物件と調査項目について再検討する。
4回	**授業テーマ：日本の不動産投資市場の規模と歴史** 授業内容：日本の不動産投資市場の歴史的変遷、現在の市場規模、特徴について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、日本の不動産投資市場に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、日本の不動産投資市場の特徴と課題について考えをまとめる。	19回	**授業テーマ：学生の投資希望物件調査・報告①** 授業内容：各学生が調査した投資希望物件について報告し、教員および他の学生とコメント・意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、選定した物件について調査を進め、報告内容を準備する。 事後学修 2.0hr：授業での質問やコメントを踏まえて、調査内容を補完する。
5回	**授業テーマ：投資の基本概念①:賃料収入** 授業内容：不動産投資における賃料収入の重要性、賃料の決定要因、利回り計算の基礎について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、賃料収入に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、賃料収入の計算方法について理解を深める。	20回	**授業テーマ：学生の投資希望物件調査・報告②** 授業内容：引き続き各学生が調査した投資希望物件について報告し、教員および他の学生とコメント・意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：前回の指摘を踏まえて、調査内容を充実させ、報告資料を更新する。 事後学修 2.0hr：授業での議論を踏まえて、物件の投資妥当性について再検討する。

6回	**授業テーマ：投資の基本概念②:資産価値の上昇** 授業内容：キャピタルゲインの概念、不動産価格の変動要因、市場サイクルについて学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、資産価値の上昇に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、インカムゲインとキャピタルゲインの違いについて整理する。	21回	**授業テーマ：学生の投資希望物件調査・報告③** 授業内容：引き続き各学生が調査した投資希望物件について報告し、教員および他の学生とコメント・意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの調査内容を総括し、最終報告の準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業での議論を総括し、物件調査の最終レポートを再検討する。
7回	**授業テーマ：現在のマクロ経済状況①:地価上昇と円安** 授業内容：地価上昇の要因、円安が不動産市場に与える影響について学修する。PC を用いて最新の経済指標を調査する。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、現在のマクロ経済状況に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、マクロ経済と不動産市場の関係について考察する。	22回	**授業テーマ：不動産投資信託 (J-REIT) の概念①** 授業内容：J-REIT の仕組み、投資法人の構造、上場市場について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、J-REIT に関する予備知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、J-REIT と現物不動産投資の違いを整理する。
8回	**授業テーマ：現在のマクロ経済状況②:海外からの観光需要増加と直接投資** 授業内容：インバウンド需要が不動産市場に与える影響、海外直接投資の動向について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、インバウンド需要と海外投資に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、国際的な視点から日本の不動産市場の魅力について考えをまとめる。	23回	**授業テーマ：不動産投資信託 (J-REIT) の概念②** 授業内容：J-REIT の種類 (オフィス型、住宅型、商業型、ホテル型、総合型など)、各タイプの特徴について学修する。PC を用いて実際の J-REIT を調査する。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、J-REIT の種類に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、各タイプの J-REIT の特徴を比較整理する。
9回	**授業テーマ：物件の立地分析** 授業内容：不動産投資における立地の重要性、立地評価の方法、アクセス性や周辺環境の分析手法について学修する。PC を用いて実際の物件立地を調査する。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、立地分析に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、具体的な物件の立地評価を試みる。	24回	**授業テーマ：J-REIT の重要ポイント①:取引価格** 授業内容：J-REIT の取引価格の決定要因、市場動向の分析方法について学修する。PC を用いて実際の取引価格データを分析する。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、J-REIT の価格形成に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、具体的な J-REIT の価格推移を再検討する。
10回	**授業テーマ：不動産評価手法①:収益還元法** 授業内容：収益還元法の理論と実践、直接還元法と DCF 法について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、収益還元法に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、収益還元法による物件評価の計算練習を行う。	25回	**授業テーマ：J-REIT の重要ポイント②:分配金** 授業内容：J-REIT の分配金の仕組み、分配金の源泉、分配金利回りの計算方法について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、分配金に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、具体的な J-REIT の分配金実績を再検討する。
11回	**授業テーマ：不動産評価手法②:取引事例比較法と原価法** 授業内容：取引事例比較法と原価法の理論と適用場面について学修する。PC を用いて実際の取引事例を調査する。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、各評価手法に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、3 つの評価手法の特徴を比較整理する。	26回	**授業テーマ：J-REIT の重要ポイント③:利回り** 授業内容：J-REIT の利回りの種類 (分配金利回り、NAV 倍率など)、投資判断における利回りの活用方法について学修する。PC を用いて利回り計算を行う。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、利回りに関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、複数の J-REIT の利回りを比較する。
12回	**授業テーマ：投資目的と投資期間** 授業内容：投資目的の分類 (インカム型・キャピタル型)、投資期間の設定、出口戦略について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、投資目的と投資期間に関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、自分の投資スタイルについて考えをまとめる。	27回	**授業テーマ：J-REIT 投資の実践①:銘柄選定** 授業内容：実際の投資を想定して、各学生が J-REIT 銘柄を選定し、選定理由を説明する。教員および他の学生とコメント・意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、 J-REIT 市場を調査し、投資候補銘柄を選定しておく。 事後学修 2.0hr：授業での質問やコメントを踏まえて、銘柄選定の妥当性を再検討する。
13回	**授業テーマ：キャッシュフロー分析** 授業内容：不動産投資におけるキャッシュフローの概念、収入と支出の項目、キャッシュフロー計算書の作成方法について学修する。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、キャッシュフローに関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、具体的な物件のキャッシュフロー計算を試みる。	28回	**授業テーマ：J-REIT 投資の実践②:投資分析** 授業内容：選定した J-REIT 銘柄について、取引価格、分配金、利回りなどの詳細分析を行い、報告する。教員および他の学生と意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、選定した銘柄について詳細な分析を行い、報告資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業での議論を踏まえて、投資判断の根拠を再整理する。
14回	**授業テーマ：投資におけるレバレッジの利用** 授業内容：投資におけるレバレッジの定義、レバレッジ効果の理論、借入による投資のメリットとリスク、LTV(Loan to Value) について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより、レバレッジに関する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、レバレッジ効果の計算練習を行う。	29回	**授業テーマ：J-REIT 投資の実践③:投資戦略の検討** 授業内容：引き続き各学生が J-REIT 投資戦略を発表し、教員および他の学生と総合的な討論を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの J-REIT の分析を総括し、新聞、インターネットなどにより、投資戦略を最終検討する。 事後学修 2.0hr：授業での議論を総括し、J-REIT 投資に関する最終判断内容を再検討する。
15回	**授業テーマ：前期まとめ・後期** 授業内容：前期の学修内容を総括し、各学生が投資希望物件を選定するための準備を行う。物件選定の視点についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容を整理し、興味のある不動産投資対象と物件タイプを検討しておく。 事後学修 2.0hr：資料・授業内容を再確認し、自分の投資対象をリストアップする。	30回	**授業テーマ：総括とまとめ** 授業内容：プレゼミ全体の学修内容を総括し、不動産投資と J-REIT 投資について学んだことを整理する。今後の学修課題についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容を総合的に整理しておく。 事後学修 2.0hr：本講義の学びを振り返り、今後の専門的学修への展望をまとめる。

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

小杉　学（こすぎ　まなぶ）

▌授業の概要

「都市デザイン＆プレゼンテーション」
「美しいまち」は人を惹きつけます。人を惹きつける街は、不動産の価値も上がります。まちの美しさと不動産の価値は密接な関係を持っています。このゼミでは、不動産学部の授業ではあまり扱われない、まちの見え方、姿、ビジュアルについて扱います。そして理解したことや疑問、考えを、正確に、分かりやすく、効果的に人に伝わる文章を書く訓練もします。できれば、みなさんとともにまちに出て、まちの美しさを観察する機会も持ちたいと考えています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：・都市デザインの基本的な考え方や知識を正確に理解する。
・都市デザインの技術について、知識レベル修得する（デザインする技術自体の修得は困難）。
・都市デザインの実際について、フィールドワークを通じて正確に把握し、評価する技術を習得する。
・フィールドワークで得られた知見や自分の考えを、分かりやすく人に伝える文章を作成する技術を習得する。
・パワーポイントを用いた効果的なプレゼンテーション技術を習得する。
個別目標：・都市デザインの基本的な考え方や知識を正しく説明することができる。
・都市デザインの技術について、正しく説明することができる。
・都市デザインの実際について、フィールドワークを通じて正確に把握し、評価することができる。
・フィールドワークで得られた知見や自分の考えを、分かりやすく人に伝える文章を作成することができる。
・パワーポイントを用いた効果的なプレゼンテーションをすることができる。

▌履修条件

・授業時間以外に、土日（毎週ではない）または夏休みに行われるフィールドワークに参加できること。
・授業以外の時間でも、必要に応じて適切に教員への連絡・報告・相談ができること。
・フィールドワークの対象となる都市や不動産の関係者、教員、ゼミの他のメンバーに対して誠実な対応ができること。

▌評価基準・方法

・取り組みへの積極性、誠実さ：40%、視察報告・企画提案の内容：40%　・プレゼンテーション 20%
・なお、不誠実な対応がある場合は、上記評価基準とは関係なく不合格とする場合がある。

▌フィードバック方法

・課題を出した場合のフィードバックは、ゼミの中で行います。定期試験はありません。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Powerpoint を搭載したノートパソコンを毎回持参すること。）

▌教科書

適宜授業内で指定します。

▌参考書

適宜授業内で指定します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：プレゼンテーション技術「伝わるデザイン」の理解** 授業内容：「伝わるデザイン」について教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	16回	**授業テーマ：合同 FW のフィールド検索** 授業内容：フィールド検索を、インターネットを用いて各自で行う。教員からフィールド候補も示す。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
2回	**授業テーマ：プレゼンテーション技術「伝わるデザイン」の作成** 授業内容：「伝わるデザイン」に基づいて、１年次基礎演習で作成したパワーポイントを修正する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	17回	**授業テーマ：合同 FW のフィールド選定ワークショップ** 授業内容：前回のゼミで各自が検索したフィールドを発表し、全員で検討して、フィールドを選定する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
3回	**授業テーマ：プレゼンテーション技術「伝わるデザイン」の発表** 授業内容：「伝わるデザイン」に基づいて作成したパワーポイントを発表する。発表の中では、「伝わるデザイン」を意識した点、修正した点についても説明する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	18回	**授業テーマ：合同 FW の個別調査テーマ、ポイントの設定、発表** 授業内容：個別調査テーマ、ポイントについて各自検討を行い、発表する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
4回	**授業テーマ：新浦安フィールドワーク・事前説明** 授業内容：新浦安新町地区のフィールドワークを行うにあたって、事前説明を行う。不明な点を各自調べ、意見交換を行う。都市デザインがテーマなので主に見た目だが、見た目以外の快適性や魅力も追求する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	19回	**授業テーマ：合同フィールドワーク** 授業内容：合同 FW を全員で行う。土曜か日曜に行うため通常授業日は振り替え休講とする。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
5回	**授業テーマ：新浦安 FW（予備調査）** 授業内容：新浦安新町地区のフィールドワークを、予備調査として全員で行う。土曜か日曜に行うため通常授業日は振り替え休講とする。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	20回	**授業テーマ：合同 FW のパワーポイント作成** 授業内容：FW で収集したデータの情報整理とパワーポイントの作成を各自行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
6回	**授業テーマ：新浦安 FW（予備調査）のパワーポイントの作成** 授業内容：収集したデータの情報整理とパワーポイントの作成作業を各自行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	21回	**授業テーマ：合同 FW のパワーポイント発表** 授業内容：パワーポイントの発表と、質疑応答を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。

7回	**授業テーマ：新浦安 FW（予備調査）のパワーポイントの発表** 授業内容：パワーポイントの発表と、質疑応答の練習を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	22回	**授業テーマ：個別 FW のフィールド検索** 授業内容：フィールド検索を、インターネットを用いて各自で行う。教員からフィールド候補も示す。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
8回	**授業テーマ：都市デザインの考え方と技術（レクチャー）** 授業内容：都市デザインの考え方と技術について講義する。各自ポイントをまとめたレポートを作成する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	23回	**授業テーマ：個別 FW の調査テーマ、ポイントの設定、発表** 授業内容：個別 FW の調査テーマ、ポイントについて各自検討を行い、発表する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
9回	**授業テーマ：新浦安の都市デザインに関する文献調査** 授業内容：新浦安の都市デザインに関して、浦安市景観計画と景観条例を各自読みこみ、要点を整理する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	24回	**授業テーマ：個別フィールドワーク** 授業内容：各自が選定したフィールドで個別 FW を各自で行う。授業日以外に行うため通常授業日は振り替え休講とする。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
10回	**授業テーマ：新浦安 FW（本調査）の企画** 授業内容：新浦安の都市デザインに関して、各自のテーマ（問題意識）を定め、企画書を作成する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	25回	**授業テーマ：個別 FW の情報整理** 授業内容：FW で収集したデータの情報整理を各自行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
11回	**授業テーマ：新浦安 FW（本調査）** 授業内容：フィールドワーク（本調査）を各自個別に行う。授業日以外に行うため通常授業日は振り替え休講とする。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	26回	**授業テーマ：個別 FW のパワーポイント作成** 授業内容：パワーポイントの作成を各自行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
12回	**授業テーマ：新浦安 FW（本調査）のパワーポイントの作成** 授業内容：収集したデータの情報整理とパワーポイントの作成作業を各自行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	27回	**授業テーマ：個別 FW のパワーポイント発表（前半）** 授業内容：パワーポイントの発表と、質疑応答を行う。学籍番号前半の学生（5～6名）が発表する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
13回	**授業テーマ：新浦安 FW（本調査）のパワーポイントの発表** 授業内容：パワーポイントの発表と、質疑応答を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	28回	**授業テーマ：個別 FW のパワーポイント発表（後半）** 授業内容：パワーポイントの発表と、質疑応答を行う。学籍番号後半の学生（5～6名）が発表する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
14回	**授業テーマ：新浦安 FW の新聞記事の作成** 授業内容：パワーポイントで発表した内容に沿って、新聞記事を作成する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	29回	**授業テーマ：個別 FW の新聞記事の作成** 授業内容：パワーポイントで発表した内容に沿って、新聞記事を作成する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
15回	**授業テーマ：新浦安 FW の新聞記事の発表** 授業内容：作成した新聞記事を発表し、修正すべき点を相互に指摘する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	30回	**授業テーマ：個別 FW の新聞記事の発表** 授業内容：作成した新聞記事を発表し、修正すべき点を相互に指摘する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミに関する情報を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

小松　広明（こまつ　ひろあき）

▌授業の概要

実際の現場で学べる社会実践教育の実現に向けて、①土地利用、②街路景観、③地価形成の３つの関係性を学修する。
【前学期】では主に一般高度商業地域（銀座）を、【後学期】では業務高度商業地域（丸の内）をフィールドワークの対象地とする。
人の感性（こころ）に係る３つのアプローチ（視覚的・身体感覚的・意味的）から路線価図に示される価格を比準し、商業地の価格形成要因（ヒューマンスケール（盛り場八丁など））への理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：①景観の評価方法を説明できる。
②一般高度商業地域の街路景観・画地評価について説明できる。
③業務高度商業地域の街路景観・画地評価について説明できる。
個別目標：①エレメント想起法について説明できる。
② SD 法について説明できる。
③写真投影法について説明できる。
④評価グリッド法について説明できる。
⑤マグニチュード推定法について説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

前期レポート 50 %、後期レポート 50 %として評価する。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、学修支援システム「manaba」を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share を考慮のうえ、グループワークを通じてディスカッションを適宜実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを適宜配布する。

▌参考書

テーマに応じて適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前学期ガイダンス（テーマの解説とグループ編成）** 授業内容：都市の街路景観を研究対象として、グループワークとプレゼンテーションを順次展開する。 事前学修 2.0hr：不動産学研究の募集要項を読む。 事後学修 2.0hr：グループ別に研究テーマについて意識の統一化を図る。	16回	**授業テーマ：後学期ガイダンス（テーマの解説とグループ編成）** 授業内容：業務高度商業地域（丸の内）の街路景観・画地評価と事例-コード・マトリックスについて学修する。 事前学修 2.0hr：事例-コード・マトリックスについて調べておく。 事後学修 2.0hr：事例-コード・マトリックスについての自己の考えを整理する。
2回	**授業テーマ：イメージマップ（認知地図）の作成①（自宅周辺）** 授業内容：自宅の最寄り駅から住居までのイメージマップを作成し、当該認知地図に描かれた要素について情報提供を行う。 事前学修 2.0hr：自宅周辺のイメージマップの構成要素を整理する。 事後学修 2.0hr：都市のイメージを構成する５つの要素（パス・エッジ・ノード・ディストリクト・ランドマーク）に即して自己の考えを再整理する。	17回	**授業テーマ：業務高度商業地域（丸の内）における土地利用・街路景観・地価水準①（Semantic Differentioal 法:グループワーク）** 授業内容：業務高度商業地域（丸の内）の街路景観に対して SD 法を適用する。まずはエレメント想起法をもとに、評価尺度の抽出を行う。 次いで、グループワークによって、街路景観の評価尺度の精査・選定を行い、プロフィール曲線を作成する。 事前学修 2.0hr：前学期に学修した一般高度商業地域（銀座）との相違を意識し、街路景観の評価尺度を検討する。 事後学修 2.0hr：グループワークによって得た知見を整理する。
3回	**授業テーマ：イメージマップ（認知地図）の作成②（大学周辺：Think）** 授業内容：新浦安駅から大学までのイメージマップを作成し、当該認知地図に描かれた要素について情報提供を行う。 事前学修 2.0hr：大学周辺のイメージマップの構成要素を整理する。 事後学修 2.0hr：都市のイメージを構成する５つの要素（パス・エッジ・ノード・ディストリクト・ランドマーク）を即して自己の考えを再整理する。	18回	**授業テーマ：業務高度商業地域（丸の内）における土地利用・街路景観・地価水準②（Semantic Differentioal 法:プレゼンテーション）** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。
4回	**授業テーマ：イメージマップ（認知地図）の作成③（グループワーク：Pair）** 授業内容：エレメント想起法を併用して、グループワークにより、認知地図に描かれた要素について共通に認識されている要素を抽出する。 事前学修 2.0hr：エレメント想起法について調べておく。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果を整理し、共通に認識されている要素への理解を深める。	19回	**授業テーマ：業務高度商業地域（丸の内）における土地利用・街路景観・地価水準③（写真投影法:グループワーク）** 授業内容：業務高度商業地域（丸の内）の街路景観に対する人の認識、眺め方を探るために写真投影法を適用する。個人の関心のある眺めを撮影した写真をもとに、グループワークによって撮影された写真の分類と共通認識の抽出を行う。 事前学修 2.0hr：各自が興味のある対象地の街路景観の写真を用意する。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。
5回	**授業テーマ：イメージマップ（認知地図）の作成④（プレゼンテーション：Share）** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。	20回	**授業テーマ：業務高度商業地域（丸の内）における土地利用・街路景観・地価水準④（写真投影法:プレゼンテーション）** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。
6回	**授業テーマ：土地利用・街路景観・地価水準①（用途地域の視察）** 授業内容：認知地図を作成したエリアを含めた用途地域の視察を行う。土地利用計画と景観の関係性を視察を通じて学修する。 事前学修 2.0hr：大学周辺地域の都市計画法上の位置付け（用途地域）について調べておく。 事後学修 2.0hr：視察によって得た知見を整理する。	21回	**授業テーマ：業務高度商業地域（丸の内）における土地利用・街路景観・地価水準⑤（評価グリッド法:グループワーク）** 授業内容：業務高度商業地域（丸の内）の街路景観に対する人の評価構造図を作成する。グループワークのもとに、写真投影法の結果を踏まえて、景観要素、印象、評価を関連づけて一つの図に整理する。 事前学修 2.0hr：前学期に学修した一般高度商業地域（銀座）との相違を意識し、街路景観に対する評価構造図を検討する。 事後学修 2.0hr：グループワークによって得た知見を整理する。

7回	**授業テーマ：土地利用・街路景観・地価水準②(路線価図を踏まえた視察レポート作成：Think)** 授業内容：土地利用(用途地域)と景観形成、さらには地価水準の観点から、新たに路線価図を調べ、視察したエリアの地価水準を把握する。3者を関連づけて、自己の見解をレポートとして整理する。 事前学修 2.0hr：視察したエリアの路線価図で地価水準を調べる。 事後学修 2.0hr：土地利用・街路景観・地価水準の関係性に対する自己の見解を整理する。	22回	**授業テーマ：業務高度商業地域(丸の内)における土地利用・街路景観・地価水準⑥(評価グリッド法:プレゼンテーション)** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。
8回	**授業テーマ：土地利用・街路景観・地価水準③(グループワーク：Pair)** 授業内容：グループワークにより、自己の見解の精査とともに共通認識の導出を行う。 事前学修 2.0hr：土地利用・街路景観・地価水準の関係性に対する自己の見解を再度確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークによって得た知見を整理する。	23回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)と業務高度商業地域(丸の内)における街路景観の比較分析①(マグニチュード推定法)** 授業内容：人の歩行能力を基準とした街路空間サイズを捉えるために、マグニチュード推定法を適用して、歩行距離に対する街路の評価値を直接推定する。 事前学修 2.0hr：銀座中央通り、丸の内仲通りの歩行感覚を確認しておく。 事後学修 2.0hr：全被験者の評価値を集計する。
9回	**授業テーマ：土地利用・街路景観・地価水準④(プレゼンテーション：Share)** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。	24回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)と業務高度商業地域(丸の内)における街路景観の比較分析②(グループワーク)** 授業内容：銀座中央通りと丸の内仲通りの評価構造図を比較することで、それぞれの街路景観の特徴を明らかにする。 事前学修 2.0hr：評価構造図をもとに自己の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：グループワークによって得た知見を整理する。
10回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)における土地利用・街路景観・地価水準①(Semantic Differentioal 法:グループワーク)** 授業内容：一般高度商業地域(銀座)の街路景観に対して SD 法を適用する。まずはエレメント想起法をもとに、評価尺度の抽出を行う。 次いで、グループワークによって、街路景観の評価尺度の精査・選定を行い、プロフィール曲線を作成する。 事前学修 2.0hr：Semantic Differentioal 法について調べる。 事後学修 2.0hr：グループワークによって得た知見を整理する。	25回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)と業務高度商業地域(丸の内)における街路景観の比較分析③(プレゼンテーション)** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。
11回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)における土地利用・街路景観・地価水準②(Semantic Differentioal 法:プレゼンテーション)** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。	26回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの演習①(マトリックスの作成その１)** 授業内容：論文要約を前学期に8本、後学期に8本、合計 16 本の要約結果をもとに、グループワークによって１つのマトリックス(表)に情報を整理する。 事前学修 2.0hr：マトリックスとして整理する際のコードについて検討する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
12回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)における土地利用・街路景観・地価水準③(写真投影法:グループワーク)** 授業内容：一般高度商業地域(銀座)の街路景観に対する人の認識、眺め方を探るために写真投影法を適用する。個人の関心のある眺めを撮影した写真をもとに、グループワークによって撮影された写真の分類と共通認識の抽出を行う。 事前学修 2.0hr：各自が興味のある対象地の街路景観の写真を用意する。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。	27回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの演習②(マトリックスの作成その２)** 授業内容：論文要約を前学期に8本、後学期に8本、合計 16 本の要約結果をもとに、グループワークによって１つのマトリックス(表)に情報を整理する。 事前学修 2.0hr：マトリックスとして整理する際のコードについて検討する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
13回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)における土地利用・街路景観・地価水準④(写真投影法:プレゼンテーション)** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。	28回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの演習③(コード化)** 授業内容：論文要約の情報を集約したマトリックス(表)をもとに、縦軸と横軸の2つの軸にコードを当てはめて 16 本の論文を整理する。 事前学修 2.0hr：２×２マトリックスの縦軸と横軸に該当するコードについて検討する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
14回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)における土地利用・街路景観・地価水準⑤(評価グリッド法:グループワーク)** 授業内容：一般高度商業地域(銀座)の街路景観に対する人の評価構造図を作成する。グループワークのもとに、写真投影法の結果を踏まえて、景観要素、印象、評価を関連づけて一つの図に整理する。 事前学修 2.0hr：評価グリット法について調べておく。 事後学修 2.0hr：グループワークによって得た知見を整理する。	29回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスのグループ発表** 授業内容：論文要約マトリックスをもとに、これまでどのような研究がなされてきたのかを説明できるように文章化を図る。また、これまでの研究の蓄積を踏まえたうえで、今後、どのような研究が必要と考えるかを示す。 事前学修 2.0hr：グループ別に発表の準備を行う。 事後学修 2.0hr：ゼミ全体で情報の共有化を図る。
15回	**授業テーマ：一般高度商業地域(銀座)における土地利用・街路景観・地価水準⑥(評価グリッド法:プレゼンテーション)** 授業内容：Think-Pair-Share の流れのもと、各グループワークの成果を発表し合い、相互に理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでのグループワークの成果を説明できるように整理しておく。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。	30回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの個人発表・総括** 授業内容：「事例-コード・マトリックス」及び「論文要約マトリックス」を提示したうえで、「ストーリー化」の結果を発表する。 事前学修 2.0hr：グループ発表の結果をもとに個人としての見解を発表する。 事後学修 2.0hr：本ゼミにおいて学んだことを具体的に整理する。

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

斎藤　千尋（さいとう　ちひろ）

▌授業の概要

前学期は不動産学と建築、都市計画との関わりを学ぶことができる文献を読みます。授業の最初にどんな文献を読むか相談して決めます。授業で読んだ文献の内容と関連した建築物、まち並みの見学に行きます。(前学期中、土曜、日曜を想定)
後学期は前期の取り組みを踏まえ、各自、またはグループで、新たな文献を選択するか、建築作品や、まち並みを選び、それを題材に考えたこと、取り組んだことをレポート等にまとめます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：これまでに勉強してきたなかで建築や都市に関する話題に特に興味を持った人たちに、何か一つ、二つ、まとまった文献に触れてもらい、そこで扱われている題材を実際に見てみる、体験してみることで、言葉と実物や空間とのつながりを読み取ってもらう。
個別目標：入門書や専門書などの文献を読み、要約することができる。
実際の建築物や市街地を学術的、専門的な用語を使い、論評することができる。
目次を立て、目次に沿ったレポートを書くことができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

読書に基づくディスカッションの内容。
見学した建築作品やまち並みに関するプレゼンテーション。
文献を用いながら実際の建築物や市街地に関する論考をもったレポート。

▌フィードバック方法

提出物へのフィードバックはゼミ中の議論で行うが、manaba により時間外の質疑応答も積極的に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地図の参照、レポートの作成）

▌教科書

なし

▌参考書

授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の運営のガイダンス** 授業内容：授業の運営ルールを説明し、今年度のテーマを相談する。テーマとしては、建築作品、まち並みを題材にしたもので、関連の深い文献を探すことを説明する。 事前学修 0.5hr：シラバスを読み、授業の目標など確認しておく。 事後学修 3.5hr：自分の関心を明確にするためメモを作成する。	16回	**授業テーマ：後学期の各自のテーマの相談** 授業内容：各自のテーマを他の人と相談する。 事前学修 0.5hr：後学期に取り組む課題を考える。 事後学修 2.0hr：他の人の考えを参考に、テーマを修正する。
2回	**授業テーマ：文献をリストアップ** 授業内容：各自の関心を説明してもらう。これに応じて、どのような文献があるのかを図書館で探す。 事前学修 2.0hr：図書館の文献検索システムをつかってみる。 事後学修 2.0hr：テーマに関連の深そうな文献をリストにする。	17回	**授業テーマ：各自のテーマの決定** 授業内容：各自のテーマと、テーマに取り組むための題材を相談する。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する、建築作品やまち並み、またそれと関連した文献を探す。 事後学修 2.0hr：アドバイスに従ってテーマに関連する、建築作品やまち並み、またそれと関連した文献を探す。
3回	**授業テーマ：文献を選ぶ** 授業内容：文献を絞り込む。チームで読むのか、各自で読むのか、文献講読の進め方を決める。 事前学修 2.0hr：文献について、書評などを調べておく。 事後学修 2.0hr：文献の必要部分を複写する。	18回	**授業テーマ：各自のテーマに必要な資料の収集** 授業内容：集めた文献や図面、地図等の資料を紹介する。 事前学修 2.0hr：アドバイスに従ってテーマに関連する、建築作品やまち並み、またそれと関連した資料を探す。 事後学修 2.0hr：題材を絞り込む。
4回	**授業テーマ：著者を知る** 授業内容：選んだ文献の著者について調べる。他の著作、建築物、まちづくりでの実作を知る。 事前学修 2.0hr：選んだ文献の著者について情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：文献を読み進める。	19回	**授業テーマ：収集した資料の整理** 授業内容：必要な資料を手元におけるようコピーする。 事前学修 2.0hr：題材を絞り込む。 事後学修 2.0hr：資料を読む、分析等の作業をする。
5回	**授業テーマ：文献の要約の仕方** 授業内容：文献を紹介するためのレジュメの作り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：文献を読み進める。 事後学修 2.0hr：メモを取りながら文献を読み進める。	20回	**授業テーマ：収集した資料のまとめ** 授業内容：収集した資料の内容を理解し、紹介できるように内容や情報をまとめる。 事前学修 2.0hr：資料を読む、分析等の作業をする。 事後学修 2.0hr：まとめた内容、情報を紹介できるようにする。
6回	**授業テーマ：文献を紹介する** 授業内容：文献の内容を互いに紹介する。文献について互いに質問をする。 事前学修 2.0hr：メモを取りながら文献を読み進める。 事後学修 2.0hr：メモを取りながら文献を読み進める。	21回	**授業テーマ：各自のテーマの紹介** 授業内容：各自のテーマに沿って、作業状況を紹介する 事前学修 2.0hr：まとめた内容、情報を紹介できるようにする。 事後学修 2.0hr：他の人の紹介内容を踏まえて自分の作業を見直す。
7回	**授業テーマ：文献について議論する(ディスカッション)** 授業内容：文献が伝えようとしていること、文献から学んだことを互いに紹介し、共有する。他の人の視点を知る。 事前学修 2.0hr：文献を読み終えてくる。 事後学修 2.0hr：他の人の視点をメモにまとめる。	22回	**授業テーマ：各自のテーマについてメンバーと議論(ディスカッション)** 授業内容：テーマとその作業結果について他のメンバーと意見を交換する。 事前学修 2.0hr：他の人が紹介した内容や情報を踏まえて自分の作業を見直す。 事後学修 2.0hr：他の人の視点を踏まえて作業を進める。
8回	**授業テーマ：見学の先のリストアップ** 授業内容：文献と関連の深い見学先をリストアップする。見学先をどうするか相談する。 事前学修 2.0hr：見学先の候補をリストアップしてくる。 事後学修 2.0hr：見学先について情報を集めておく。	23回	**授業テーマ：レポートの目次を検討する** 授業内容：レポートの作成の準備に入る。目次を立て、必要な作業を点検する。 事前学修 2.0hr：目次案のをまとめる。 事後学修 2.0hr：アドバイスに従い修正された目次案にしたがって作業をすすめる。

9回	**授業テーマ：見学の計画** 授業内容：見学のポイントを整理する。 事前学修 2.0hr：見学先について情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：見学先について情報を集めておく。	24回	**授業テーマ：レポートの導入部分の執筆** 授業内容：各自のテーマ選択の関心、レポートで述べたいことを整理して文章にする。 事前学修 2.0hr：各自のテーマに沿って作業を進める。 事後学修 2.0hr：各自のテーマに沿って作業を進める。
10回	**授業テーマ：見学の実施(フィールドワーク)** 授業内容：見学を実施する(日程の合うところに振り替える)。 事前学修 2.0hr：見学先について情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：写真や感想等など見学の結果を整理する。	25回	**授業テーマ：レポートのための作業部分の執筆** 授業内容：各自が進めている作業を言葉で説明する。方法や、資料の説明、読んでわかったこと、分析してわかったこと、作図してわかったことなど、各自の作業により書くべきことは異なる。 事前学修 2.0hr：各自のテーマに沿って作業を進める。 事後学修 2.0hr：各自のテーマに沿って作業を進める。
11回	**授業テーマ：見学結果をまとめる** 授業内容：見学先をよく伝える写真を選ぶ。 事前学修 2.0hr：写真や感想等など見学の結果を整理する。 事後学修 2.0hr：写真や感想等など見学の結果を整理する。	26回	**授業テーマ：レポートのまとめの部分の執筆** 授業内容：できたところまでで、行った作業の結果を説明する。そこで考えたことを文章にする。 事前学修 2.0hr：各自のテーマに沿った作業を終わらせる。 事後学修 2.0hr：レポート全体を見直す。
12回	**授業テーマ：見学結果を紹介する** 授業内容：見学先の写真をつかって、気づいたことを紹介、情報を共有する。 事前学修 2.0hr：写真や感想等など見学の結果の紹介を準備する。 事後学修 2.0hr：他の人の視点をまとめる。	27回	**授業テーマ：レポートのプレゼンの準備** 授業内容：レポートの内容を紹介するスライドを準備をする。 発表の練習をする。 事前学修 2.0hr：レポート全体を見直す。 事後学修 2.0hr：レポート全体を見直し、スライドとの整合性をとる。
13回	**授業テーマ：見学結果を議論する (ディスカッション)** 授業内容：写真を通して議論したことを言葉にして、見学先のキーワードを見つけていく。 事前学修 2.0hr：見学先がどのように語られているのかを調べる。 事後学修 2.0hr：他の人の視点をまとめる。	28回	**授業テーマ：レポートのプレゼンテーション(プレゼンテーション)** 授業内容：各自のテーマに沿ったレポートの発表 事前学修 2.0hr：発表の練習。 事後学修 2.0hr：他の人の発表を踏まえて発表の反省点をまとめる。
14回	**授業テーマ：文献と見学結果をまとめる** 授業内容：見学先について、紹介したこと、議論したことを文章にまとめる。 事前学修 2.0hr：下書きをしてくる。 事後学修 2.0hr：見学先に関する文章を仕上げる。	29回	**授業テーマ：レポートの内容の議論(ディスカッション)** 授業内容：レポートの内容について意見の交換をする。 事前学修 2.0hr：他の人のレポートの論点を考えておく。 事後学修 2.0hr：他の人の視点も踏まえて、レポートを調整する。
15回	**授業テーマ：前学期のまとめと後学期の準備** 授業内容：前学期の読書、見学を踏まえて、後学期に取り組む課題を考える。 事前学修 2.0hr：見学先に関する文章を仕上げる。 事後学修 3.5hr：後学期に取り組む課題を考える。	30回	**授業テーマ：レポートの修正、前期、後期の授業のまとめ** 授業内容：レポートを完成させる。 事前学修 3.0hr：他の人の視点も踏まえて、レポートを調整する。 事後学修 1.0hr：授業を通じて収集した資料を整理して保管できるようにする。

不動産社会演習

開講学科等：不　｜　2 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通　｜　備考：2025 年度以降入学生

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

本授業は不動産学部を知り、「学びの精神」の実践によって、自己を理解・熟達 (up-to-date)し、自己を実現できるように、学生生活における個々の目標や夢について、考えていきます。授業では、教員と学生による interactive（対話形式)なアカデミック・カウンセリング/コーチングによって、主体的な学びによる「知」の獲得を目指します。

2 年次に自分を理解し、目標や夢に向かう自己をマスター(熟達)し、自己実現のための「ロードマップ作成」に挑戦していきます。授業で展開されるさまざまな課題(問題)について、受講生・教員が一体となって、「正解のない問い」へ挑戦していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：明海大学/不動産学部について理解を深め、自分を理解・熟達し、目標・夢の実現に向けてスタートする" きっかけ" をつくる。1 ナラティヴ教育によって「主体的に学ぶ意味を、自らに問いかける力」を身につけ、セルフマネジメント教育によって、自らの強みや弱みを活かす方法を探り、「なりたい自分」を明確にし、着実に学びを進める「メタ思考力」を身につけ、コンパッション教育によって、共生や協働を通じて、問題を乗り越える力を培ってください。「仁」を身につけてください。

個別目標：①明海大学/不動産学部を知り、学生生活への向き合い方を見つける(「本拠地」を定める)。
②自分を知り、自己を理解する(見える「景色」は皆違って良い)。
③自己実現していくための、目標や夢を見つける(「夢中」を探す)。
④学生生活(人生)を考える(「ロードマップ」の作成)。

▌履修条件

①授業に毎回受講を原則として、内容を理解をすること。
②教員と学生による interactive なアカデミック・カウンセリング/コーチングを実践するので、欠席・遅刻をしないこと。
③教科書の黙読・精読やアンダーラインやマーキングをするので、各自必ず一冊購入すること。

▌評価基準・方法

①課題ごとのレポート/コメントペーパーおよび「振り返りシート」(提出および内容) 60 %
②アカデミック・カウンセリング/コーチングを実践への参加　40 %
(所定のルールを守らない、カウンセリング/コーチングへ参加しない者は評価しない)
※なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、授業で実施する(対面/直接対話を基軸とする)。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （あり（アカデミック・カウンセリング/コーチング））

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

「学生生活とライフマネジメント　体育・スポーツの研究と教育からのメッセージ　人生 100 年時代を生き抜くアクティブ・アプローチ」ライフ出版社　2500 円+税

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション１** 授業内容：授業の進め方・向き合い方 事前学修 2.0hr：シラバスおよび教科書を読み、授業全体の流れを確認する 事後学修 2.0hr：教科書や配布資料を見直し、復習する	16 回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」１** 授業内容：「信じる心」が生んだ背面飛び 事前学修 2.0hr：教科書の第４章１．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2 回	**授業テーマ：イントロダクション２** 授業内容：レポート・論文への向き合い方 AI リテラシー(将来における AI 活用の是非を問う) 事前学修 2.0hr：教科書のコラムを一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	17 回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」２** 授業内容：日本男子バレーボール金メダルへの道 事前学修 2.0hr：教科書の第４章２．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3 回	**授業テーマ：イントロダクション３** 授業内容：新型コロナウイルス感染症拡大が教えてくれたコミュニケーションの大切さ 事前学修 2.0hr：教科書のコラムを一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	18 回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」３** 授業内容：魂の「トルネード投法」 事前学修 2.0hr：教科書の第４章３．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4 回	**授業テーマ：イントロダクション４** 授業内容：紙の本で鍛える 事前学修 2.0hr：教科書のコラムを一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	19 回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」４** 授業内容：球(求)道者の「夢中」 事前学修 2.0hr：教科書の第４章４．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5 回	**授業テーマ：学びの精神１** 授業内容：人生とは　人生をデザイン・マネジメントして、キャリを築く 事前学修 2.0hr：教科書の第１章１．２．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	20 回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」５** 授業内容：「高速水着」が覚醒させたもの 事前学修 2.0hr：教科書の第４章５．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6 回	**授業テーマ：学びの精神２** 授業内容：「学問」を学ぶとは　正解のない問への挑戦　よく学び・よく遊ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の第１章３．４．５．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	21 回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」６** 授業内容：競技スポーツに昇華させた「トリプルアクセル」 事前学修 2.0hr：教科書の第４章６．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7 回	**授業テーマ：学びの精神３** 授業内容：学生生活とは 事前学修 2.0hr：教科書の第１章６．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	22 回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」７** 授業内容：ラグビー日本代表の「ジャイアントキリング」 事前学修 2.0hr：教科書の第４章７．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

8回	**授業テーマ：人生を豊かにする１** 授業内容：自己実現とは？　夢とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の第２章１．２．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	23回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」８** 授業内容：わが国が生んだ「アンダーハンドパス」の快挙 事前学修 2.0hr：教科書の第４章８．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：人生を豊かにする２** 授業内容：自己理解とは？　自己マスタリーとは？ 事前学修 2.0hr：教科書の第１章３．４．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	24回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」９** 授業内容：二刀流 事前学修 2.0hr：教科書の第４章９．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：人生を豊かにする３** 授業内容：共生・協働とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の第１章５．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	25回	**授業テーマ：アスリートに学ぶ「挑戦」「イノベーション」10** 授業内容：ドーピングとアンチ・ドーピングの闘い 事前学修 2.0hr：教科書の第４章 10 を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
11回	**授業テーマ：人生を豊かにする４** 授業内容：５つの well-being とは？ 事前学修 2.0hr：well-being に関する資料を一読し、内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	26回	**授業テーマ：未来に挑む１** 授業内容：物事の本質を究める 事前学修 2.0hr：教科書の第５章１．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：健康と体力を創造する１** 授業内容：身体活動の意義を改めて問う　運動不足が人と社会に及ぼす影響 事前学修 2.0hr：教科書の第３章２．３．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	27回	**授業テーマ：未来に挑む２** 授業内容：知を愉しむ 事前学修 2.0hr：教科書の第１章５．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：健康と体力を創造する２** 授業内容：豊かに生きるために欠かせない健康・体力　運動が脳に及ぼす影響　健康生活デザイン能力の獲得 事前学修 2.0hr：教科書の第３章１．４．５．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	28回	**授業テーマ：未来に挑む３** 授業内容：非認知能力の向上 事前学修 2.0hr：教科書の第１章５．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：学生生活をマネジメント１** 授業内容：不動産学部の学生として、どんな学生生活を過ごすか、過ごしていきたいか 事前学修 2.0hr：教科書の第１章２章３章を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	29回	**授業テーマ：未来に挑む４** 授業内容：人生は「science and art」 事前学修 2.0hr：教科書の第１章５．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：学生生活をマネジメント２** 授業内容：不動産学部の学生として、どんな学生生活を過ごすか、過ごしていきたいか 事前学修 2.0hr：教科書の第１章２章３章を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	30回	**授業テーマ：学生生活とライフマネジメント** 授業内容：不動産学部の学生として、どんな「未来予想図」を設計するか 事前学修 2.0hr：教科書の第１章．を一読し、内容の確認をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

西村　愛 (にしむら　あい)

▌授業の概要

本授業では 3 年次からの専門分野の研究を学生の皆さんがスムーズにスタートできるよう、読解力、論理的思考力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力等の研究に必要な基礎的スキルを身に付けることを目的とする。扱うテーマはまちづくりにおける環境、社会、経済的な課題(以下、「テーマ」という)であり、テーマに関連した文献を読解すること等を通じて、テーマに関する知識を修得するとともに、論文構成に関する理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：都市・不動産に関する課題を認識し自分なりに考察する力を養う
個別目標：研究を行う方法(論文構成や文献検索)について理解できる
　　都市・不動産の現状を把握して課題を発見することができる
　　他者との議論を通じて自身の思考を深化させることができる

▌履修条件

・自分なりの問題意識を持って取り組む意欲のあること
・クラスメイトと互いに協力し合う姿勢をもつこと

▌評価基準・方法

グループワークへの参加態度(40 %)や発表内容(60 %)により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業内で行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,Powerpoint の機能のあるノートパソコンを持参すること））

▌教科書

なし(必要に応じて授業内で配布、指示)

▌参考書

なし(必要に応じて授業内で配布、指示)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方について教員が説明する 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業の到達目標を理解する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	16回	**授業テーマ：後学期ガイダンス** 授業内容：前学期の振り返り、後学期の進め方、を教員と学生で確認する 事前学修 2.0hr：前学期で学んだ内容をレポートにする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
2回	**授業テーマ：論文の書き方** 授業内容：論文の構成と論文に必要な要素について教員が説明する 事前学修 2.0hr：論文の書き方について調べてくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	17回	**授業テーマ：前学期の現地調査のレポート作成** 授業内容：前学期に発表した内容を文字化(1000 字程度)し、レポートを作成する 事前学修 2.0hr：レポートを作成する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
3回	**授業テーマ：文献検索の仕方** 授業内容：図書館での図書検索、CINII 等での論文検索方法について教員が説明する 事前学修 2.0hr：文献検索の仕方について調べてくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	18回	**授業テーマ：研究テーマの考察、メモの作成** 授業内容：前学期を踏まえて、研究テーマや研究対象地域を検討する 事前学修 2.0hr：研究テーマを考察してくる。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
4回	**授業テーマ：論文を読んでみよう** 授業内容：示された論文の構成について、学生はグループでディスカッションする 事前学修 2.0hr：論文とは何か調べてみる。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	19回	**授業テーマ：研究テーマに関する文献調査①** 授業内容：前回の授業を踏まえたテーマに関して、学生は関連の文献調査を行う 事前学修 2.0hr：文献調査を行う 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
5回	**授業テーマ：論文を要約してみよう** 授業内容：第 2 回で習った論文の構成に従って、学生は示された論文の要約を行う 事前学修 2.0hr：前回授業で与えられた論文を読んでくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレュメを作成する	20回	**授業テーマ：研究テーマに関する文献調査②** 授業内容：前回の授業を踏まえたテーマに関して、学生は関連の文献調査を行う 事前学修 2.0hr：文献調査を行う 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
6回	**授業テーマ：現地調査の仕方** 授業内容：現地調査する場合の事前準備について教員が説明する 事前学修 2.0hr：1 年次の現地調査の際の準備を思い出しておく 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	21回	**授業テーマ：文献リスト一覧の作成** 授業内容：学生は文献リストを作成し、教員がコメントする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
7回	**授業テーマ：事例研究対象地域の情報収集** 授業内容：文献調査、事例研究における質問項目等の作成をする 事前学修 2.0hr：対象地域に関する情報を調べておく 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	22回	**授業テーマ：文献調査要約メモの作成** 授業内容：これまでに調査した文献の要約を作成する 事前学修 2.0hr：文献を読みなおす 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
8回	**授業テーマ：事例研究の実践** 授業内容：事例研究を行い、事前に作成した質問項目を調査する 事前学修 2.0hr：調査項目に漏れがないか確認する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	23回	**授業テーマ：文献調査結果の共有①** 授業内容：学生間で、調査した文献結果を共有し合う 事前学修 2.0hr：共有の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
9回	**授業テーマ：事例研究結果メモの作成** 授業内容：調査した内容の整理を行う 事前学修 2.0hr：学生間で共有できるように、予め現地調査結果メモを整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	24回	**授業テーマ：文献調査結果の共有②** 授業内容：学生間で、調査した文献結果を共有し合う 事前学修 2.0hr：共有の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
10回	**授業テーマ：事例研究結果についての発表資料の作成** 授業内容：メモに基づいて、事例研究結果をパワーポイントでまとめる 事前学修 2.0hr：メモをパワーポイントにまとめる準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	25回	**授業テーマ：追加の文献調査、研究の視点の作成** 授業内容：必要な文献の調査を追加して行い、自分なりの研究の視点をまとめる 事前学修 2.0hr：自分なりの研究の視点をまとめる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
11回	**授業テーマ：論文要約メモについての発表資料の作成** 授業内容：事例研究前に読んだ論文を要約した内容をパワーポイントでまとめる 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	26回	**授業テーマ：発表資料の作成** 授業内容：文献調査結果、自身の研究の視点についてパワーポイントを作成する。 事前学修 2.0hr：発表資料の作成準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する

12回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション①** 授業内容：論文の要約と事例研究結果を学生が発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	27回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション①** 授業内容：学生が研究成果を発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
13回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション②** 授業内容：論文の要約と事例研究結果を学生が発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	28回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション②** 授業内容：学生が研究成果を発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
14回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション③** 授業内容：論文の要約と事例研究結果を学生が発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	29回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション③** 授業内容：学生が発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
15回	**授業テーマ：前期の振り返り** 授業内容：前期の授業を振り返り、学生間で議論 事前学修 2.0hr：前期授業で印象的だった学びを思い出しておく 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：教員が全授業を振り返り、学生がコメントする 事前学修 2.0hr：後期授業で印象的だった学びをメモしてくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

秦　瑞希（はだ　みずき）

▌授業の概要

「都市の将来像と実現のための施策方針を捉える」ことを主なテーマとして演習に取り組む。不動産を取り巻く日本における様々な都市の将来像と実現のための施策方針について、調べ、まとめて共有する。その過程を通じて、都市に対する自身の興味や問題意識を明確にすることを目標とする。ゼミの進め方は、学生が主体となり、教員やゼミ生と議論を展開するスタイルを基本とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：不動産を取り巻く日本の都市の将来像と実現のための施策方針について様々な視点から捉え、自身の興味や問題意識を明確にし、論理的に伝える能力を身につける

個別目標：・日本の都市の将来像と実現のための施策方針の現状を調査して結果を整理できる
・都市に関する自身の興味や問題意識を明確にできる
・自分の考えについて、妥当性をもって他者に説明できる

▌履修条件

・事前学修に取り組み、ディカッションに向けた準備ができること
・他ゼミ生の発表や提案に対して発言ができること

▌評価基準・方法

ゼミに対する姿勢 60%／成果物 40%
なお、ゼミに対する姿勢は、資料の密度や工夫・わかりやすく他者に伝える工夫・発言の積極性などから総合的に評価する

▌フィードバック方法

・基本的にゼミのディスカッションの中で行う
・適宜、電子メールや manaba を使用する
・オフィスアワーの時間等を利用した個別対応も歓迎する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション／ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word ／ PowerPoint ／ Excel）

▌教科書

必要時に指示する

▌参考書

必要時に指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス／都市に関するレクチャー** 授業内容：・自己紹介、ゼミの内容の確認、年間スケジュールの確認を行う ・演習テーマを考えるきっかけとして、都市の基礎知識を学ぶ 事前学修 1.0hr：シラバスを読み、内容やスケジュールを確認する 事後学修 3.0hr：どの都市を演習対象にするかを考える	16回	**授業テーマ：演習テーマ(案)の発表／演習テーマの決定** 授業内容：・第 4 回～第 15 回で調べた内容や考察した課題に基づき、演習テーマを検討し、発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：取り組みたい演習テーマを検討し、発表するための資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する
2回	**授業テーマ：演習対象の都市(案)の発表** 授業内容：・演習対象にしたい都市についてまとめ、発表する ・発表者、他ゼミ生、教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 2.0hr：演習対象にしたい都市を説明するための資料を作成する 事後学修 2.0hr：もらった質疑を踏まえてもう一度演習対象について考え、決定する	17回	**授業テーマ：演習テーマに関する調査結果の共有 -三大都市圏を対象に-** 授業内容：・演習テーマについて調査を行い、結果を発表する ・発表者(三大都市圏を演習対象とする学生)と他ゼミ生・教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 3.0hr：各自の演習テーマに基づいた調査を行い、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／調査し足りなかった箇所を補足する
3回	**授業テーマ：演習対象の都市の決定と共有／プレゼンテーションの方法のレクチャー** 授業内容：・演習対象の都市を決定し、ゼミ生全員で共有する ・他人にものを伝える方法(特に PowerPoint の効果的な使用について)を学ぶ 事前学修 2.0hr：決めた演習テーマを説明するための資料を作成する 事後学修 2.0hr：他人にものを伝える方法として学んだことを整理し、自分の資料を修正する	18回	**授業テーマ：演習テーマに関する調査結果の共有 -政令指定都市を対象に-** 授業内容：・演習テーマについて調査を行い、結果を発表する ・発表者(政令指定都市を演習対象とする学生)と他ゼミ生・教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 3.0hr：各自の演習テーマに基づいた調査を行い、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／調査し足りなかった箇所を補足する
4回	**授業テーマ：不動産を取り巻く社会的な背景のリサーチ -都市の人口動態に着目して-** 授業内容：・都市の人口動態の実態を調べ、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて調査し、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は調査結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	19回	**授業テーマ：演習テーマに関する調査結果の共有 -中小都市を対象に-** 授業内容：・演習テーマについて調査を行い、結果を発表する ・発表者(中小都市を演習対象とする学生)と他ゼミ生・教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 3.0hr：各自の演習テーマに基づいた調査を行い、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／調査し足りなかった箇所を補足する
5回	**授業テーマ：不動産を取り巻く社会的な背景のリサーチ -都市の構造に着目して-** 授業内容：・都市の構造を調べ、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて調査し、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は調査結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	20回	**授業テーマ：演習テーマに関する調査結果の共有 -中山間地域を対象に-** 授業内容：・演習テーマについて調査を行い、結果を発表する ・発表者(中山間地域を演習対象とする学生)と他ゼミ生・教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 3.0hr：各自の演習テーマに基づいた調査を行い、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／調査し足りなかった箇所を補足する

6回	**授業テーマ：都市に関する課題の考察 -三大都市圏を対象に-** 授業内容：・第 4 回、第 5 回で学んだ社会的な背景を踏まえて、都市の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(三大都市圏を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	21回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識の考察 -三大都市圏を対象に-** 授業内容：・調査の結果を踏まえ、演習テーマに基づいた都市への問題意識を考え、発表する ・発表者(三大都市圏を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：各自の演習テーマに関する考察を深め、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／議論の結果を勘案して考察を修正する
7回	**授業テーマ：都市に関する課題の考察 -政令指定都市を対象に-** 授業内容：・第 4 回、第 5 回で学んだ社会的な背景を踏まえて、都市の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(政令指定都市を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	22回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識の考察 -政令指定都市を対象に-** 授業内容：・調査の結果を踏まえ、演習テーマに基づいた都市への問題意識を考え、発表する ・発表者(政令指定都市を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：各自の演習テーマに関する考察を深め、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／議論の結果を勘案して考察を修正する
8回	**授業テーマ：都市に関する課題の考察 -中小都市を対象に-** 授業内容：・第 4 回、第 5 回で学んだ社会的な背景を踏まえて、都市の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(中小都市を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	23回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識の考察 -中小都市を対象に-** 授業内容：・調査の結果を踏まえ、演習テーマに基づいた都市への問題意識を考え、発表する ・発表者(中小都市を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：各自の演習テーマに関する考察を深め、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／議論の結果を勘案して考察を修正する
9回	**授業テーマ：都市に関する課題の考察 -中山間地域を対象に-** 授業内容：・第 4 回、第 5 回で学んだ社会的な背景を踏まえて、都市の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(中山間地域を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	24回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識の考察 -中山間地域を対象に-** 授業内容：・調査の結果を踏まえ、演習テーマに基づいた都市への問題意識を考え、発表する ・発表者(中山間地域を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：各自の演習テーマに関する考察を深め、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／議論の結果を勘案して考察を修正する
10回	**授業テーマ：不動産を取り巻く社会的な背景のリサーチ -都市の将来像に着目して-** 授業内容：・都市の将来像を調べ、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて調査し、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は調査結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	25回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識のまとめ -提案書の作成①-** 授業内容：・第 1 回～第 24 回で学んだり考えてきたことを集約し、提案書を作成する ・必要に応じてゼミ生と教員でディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：提案書作成のための資料整理を行う／提案書の目次を考える 事後学修 2.0hr：提案書の作成を進める／提案書を修正する
11回	**授業テーマ：不動産を取り巻く社会的な背景のリサーチ -都市の将来像を実現するための施策に着目して-** 授業内容：・都市の将来像を実現するための施策を調べ、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて調査し、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は調査結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	26回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識のまとめ -提案書の作成②-** 授業内容：・第 1 回～第 24 回で学んだり考えてきたことを集約し、提案書を作成する ・必要に応じてゼミ生と教員でディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：提案書の作成を進める／提案書を修正する 事後学修 2.0hr：提案書の作成を進める／提案書を修正する
12回	**授業テーマ：都市の将来像と施策に関する課題の考察 -三大都市圏を対象に-** 授業内容：・第 10 回、第 11 回で学んだ社会的な背景を踏まえて、都市の将来像と施策に関する課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(三大都市圏を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	27回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識のまとめ -ディスカッション-** 授業内容：・作成した提案書を用いて、ゼミ生と教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：提案書の作成を進める／提案書を修正する／必要に応じて発表資料を作成する 事後学修 1.0hr：ディスカッションで出た意見を踏まえて提案書の修正箇所を考える
13回	**授業テーマ：都市の将来像と施策に関する課題の考察 -政令指定都市を対象に-** 授業内容：・第 10 回、第 11 回で学んだ社会的な背景を踏まえて、都市の将来像と施策に関する課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(政令指定都市を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	28回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識のまとめ -修正-** 授業内容：・第 27 回で出た意見を踏まえて提案書を修正する ・必要に応じてゼミ生と教員でディスカッションを行う 事前学修 1.0hr：ディスカッションで出た意見を踏まえて提案書の修正箇所を考える 事後学修 3.0hr：提案書を修正して完成させる／提案書の提出の準備
14回	**授業テーマ：都市の将来像と施策に関する課題の考察 -中小都市を対象に-** 授業内容：・第 10 回、第 11 回で学んだ社会的な背景を踏まえて、都市の将来像と施策に関する課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(中小都市を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	29回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識のまとめ -発表-** 授業内容：・作成した提案書の内容を伝える資料を準備し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、ゼミ生、教員でディスカッションや質疑応答を行う 事前学修 3.0hr：発表資料を作成し、発表練習をする 事後学修 1.0hr：発表者、他ゼミ生(聞き手)各々で得られた知見を整理する
15回	**授業テーマ：都市の将来像と施策に関する課題の考察 -中山間地域を対象に-** 授業内容：・第 10 回、第 11 回で学んだ社会的な背景を踏まえて、都市の将来像と施策に関する課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(中山間地域を演習対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	30回	**授業テーマ：演習テーマに基づいた都市への問題意識のまとめ -発表-／演習の総括** 授業内容：・作成した提案書の内容を伝える資料を準備し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、ゼミ生、教員でディスカッションや質疑応答を行う ・演習を振り返る 事前学修 3.0hr：発表資料を作成し、発表練習をする 事後学修 1.0hr：発表者、他ゼミ生(聞き手)各々で得られた知見を整理する／ 1 年間を通して収集・作成した資料等をすべて整理し、提出する

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

浜島　裕美（はまじま　ひろみ）

▌授業の概要

不動産学を学ぶ上で避けては通れない法律の知識を、実践的な形で学ぶ。法律を理解するためには、まず法律が制定された背景を分析する能力が必要である。また条文を解釈するための論理的思考力、批判的能力を養う必要がある。こうした能力は社会生活を営む上で重要であるだけでなく、不動産ビジネスにおいても貴重な能力であるが、そうした能力を身につけるためには地道な努力が必要である。本授業では、条文・テキスト・判例を読み、徹底的に考えることを通じてこれらの能力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：法律の大まかな体系を理解するとともに、条文の構造、読み方、解釈の仕方等を理解する。
　　不動産法の概要を把握する。
　　判決文の構造を理解する。
個別目標：法律の大まかな体系を説明できる。
　　不動産に関わる法律の体系を説明できる。
　　法律・判決文を探すことができる。
　　判決を読むことができる。

▌履修条件

法律に興味があり、文章を読むことと他人と議論することが苦痛でないこと。

▌評価基準・方法

レポートの課題 50 %程度、ディベート参加への積極性・内容 50 %程度、その他一般目標・個別目標の到達度に応じて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

テーマは受講者自ら関心のあるテーマを選定し、話し合ってテーマを決め、テーマに関連する法律や裁判例を集めて研究する。
授業内では意見を発表しあい、互いにメモを取って、一つのテーマが終了した時点でまとめレポートを作成する。
最終回には 1 年間の総まとめレポートの提出及び発表を行う。
テーマの例としては次のようなものを想定している。
・宅建関連
・マンション法関連
・欠陥住宅問題
・環境不動産関連
など

授業内容

テーマにより異なるが、おおむね以下のような内容を行う。
・関連法制度の調査
・関連判例調査
・文献購読
・現状の問題点の発見
・解決策の提案
・解決策の実現可能性の検討
・まとめレポートの作成・発表

事前学修

2hr.
次回のテーマについて、指示された条文や参考文献を自分で探して読んでくると共に、インターネットなどでテーマの内容について調べた上、その内容を自分の言葉でまとめておく。

事後学修

2hr.
事前学修内容に加え、授業内容、及び授業内ディスカッション内容のメモを自分の言葉でまとめておく。
2hr.
一つのテーマが終わったときに、そのテーマに関するレポートをまとめる。
4hr.
授業の最終回に、1 年間のまとめレポートを作成し、成果発表を行う。

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

原野　啓（はらの　けい）

▌授業の概要

この講義では、データを用いて物事を客観的に理解することの重要性について学修することを目標としています。エクセルを用いてデータの整理手法を学修したり、統計学やデータ解析について学修したりする講義科目はありますが、そもそもデータを利用して物事を客観的に理解することの重要性については学習する機会があまりないためです。この講義では、世界的なベストセラー『ファクトフルネス』を利用して、思い込みで理解していることと、現実の社会は異なることを、データを用いて確認し、それにより客観的に物事を把握することの重要性について学修していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：・データを用いて客観的に物事を把握することの重要性を理解する
　　・統計学や経済理論を用いることの重要性と意味を理解する
個別目標：・疑問をデータで確認できるようになる
　　・ネガティブ本能を排除できるようになる
　　・世界の進歩を客観的に評価できるようになる

▌履修条件

特になし。
データで物事を把握したいと思う人は、むいていると思います。

▌評価基準・方法

成績は、平常点で評価します。積極的な授業参加が重要です。

▌フィードバック方法

翌週の授業冒頭で振り返りと解説を行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義内容を踏まえて、講義内でディスカッションをする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて PC を利用した演習を行う）

▌教科書

『FACTFULNESS（ファクトフルネス）10 の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』
ハンス・ロスリングほか(著)
日経 BP

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(講義内容、運営方針および成績評価の説明など)** 授業内容：この授業の進め方について説明する。また、自己紹介をしてもらう。 事前学修 1.0hr：講義概要を読んでおく、自己紹介の準備をする 事後学修 3.0hr：指定されている教科書を用意し、「はじめに」「イントロダクション」を読んでおく	16回	**授業テーマ：前期の振り返り** 授業内容：本能によって思い込んでしまうことで、事実の認識と理解にギャップ生じることを再確認し、前期に紹介した本能の種類と後期に確認する本能について整理する 事前学修 2.0hr：前期に学修した思い込みをもたらす「本能」について整理する 事後学修 2.0hr：後期に学修する思い込みをもたらす「本能」について整理する
2回	**授業テーマ：現実に対する認識と理解のギャップについて確認する** 授業内容：現実に対する理解と認識に差があることを実感するために、簡単なクイズに挑戦してもらいます。答え合わせをして、現実に対する誤解がどの様なものか、なぜ誤解が生じているのかを考えてみます。 事前学修 1.0hr：テキストの「イントロダクション」を再度読んでおく 事後学修 3.0hr：講義で用いた質問を再度回答してみて、自分の認識がなぜバイアスを持っているのか考えてみる	17回	**授業テーマ：「ネガティブ本能」について学修する** 授業内容：ネガティブ本能は、良いことよりも悪いことに注目してしまうこと。世界は実際は良くなっているのにもかかわらず、どんどん悪くなっていると勘違いしてしまう。ということを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「ネガティブ本能」と呼べるような事例を探してみる
3回	**授業テーマ：「分断本能」について学修する** 授業内容：分断本能は、何事も 2 つのグループに分けてしまう。世界が「金持ちグループ」と「貧乏グループ」に分かれていて、その間には大きな隔たりがある、という勘違いを確認したうえで、実際にはほとんどの国がその中間にある。ということを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「分断本能」と呼べるような事例を探してみる	18回	**授業テーマ：「ネガティブ本能」について検討する** 授業内容：「ネガティブ本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「ネガティブ本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「ネガティブ本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例がネガティブ本能と呼べるか検討する
4回	**授業テーマ：「分断本能」について検討する** 授業内容：「分断本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「分断本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「分断本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例が分断本能と呼べるか検討する	19回	**授業テーマ：「ネガティブ本能」について調べてみる** 授業内容：「ネガティブ本能」として挙げられた事例について調査をする。ネットや文献などを利用して、事例が現実ではどの様に扱われているのか、認識と事実に違いがあるのか、調べてみる。 事前学修 2.0hr：「ネガティブ本能」の事例について、自分なりに調べてみる 事後学修 2.0hr：「ネガティブ本能」の事例を講義内容を踏まえて整理する
5回	**授業テーマ：「分断本能」の事例について調べてみる** 授業内容：「分断本能」として挙げられた事例について調査をする。ネットや文献などを利用して、事例が現実ではどの様に扱われているのか、認識と事実に違いがあるのか、調べてみる。 事前学修 2.0hr：「分断本能」の事例について、自分なりに調べてみる 事後学修 2.0hr：「分断本能」の事例を講義内容を踏まえて整理する	20回	**授業テーマ：「直線本能」について学修する** 授業内容：直線本能は、どんなグラフも直線を描くと思い込んでしまうこと。直線本能のせいで、人々は何か大きな対策を打たなければ世界の人口がひたすら増え続けると勘違いしてしまう、ことを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「直線本能」と呼べるような事例を探してみる
6回	**授業テーマ：「恐怖本能」について学修する** 授業内容：恐怖本能は、ドラマチックな危険に気を取られ、最大のリスクを伴う物事を見落としてしまうこと。恐怖本能のせいで、実際よりも世界は恐ろしいと勘違いしてしまう、ことを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「恐怖本能」と呼べるような事例を探してみる	21回	**授業テーマ：「直線本能」について検討する** 授業内容：「直線本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「直線本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「直線本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例が直線本能と呼べるか検討する

7回	**授業テーマ：「恐怖本能」について検討する** 授業内容：「恐怖本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「恐怖本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「恐怖本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例が恐怖本能と呼べるか検討する
8回	**授業テーマ：「恐怖本能」の事例について調べてみる** 授業内容：「恐怖本能」として挙げられた事例について調査をする。ネットや文献などを利用して、事例が現実ではどの様に扱われているのか、認識と事実に違いがあるのか、調べてみる。 事前学修 2.0hr：「恐怖本能」の事例について、自分なりに調べてみる 事後学修 2.0hr：「恐怖本能」の事例を講義内容を踏まえて整理する
9回	**授業テーマ：「宿命本能」について学修する** 授業内容：宿命本能は、国や人々の未来は先天的な要素によって決まると思い込み、社会や文化が常に変わり続けていることに気づかなくなってしまう。ゆっくりとした変化であっても、何も変わっていないと勘違いしてしまう、ことを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「宿命本能」と呼べるような事例を探してみる
10回	**授業テーマ：「宿命本能」について検討する** 授業内容：「宿命本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「宿命本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「宿命本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例が宿命本能と呼べるか検討する
11回	**授業テーマ：「犯人捜し本能」について学修する** 授業内容：犯人捜し本能は、悪いことがあると犯人を捜し、良いことがあるとヒーローを捜してしまう。この本能は、世界を単純にとらえてしまい、他の原因を探すことができなくなってしまう、ことを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「犯人捜し本能」と呼べるような事例を探してみる
12回	**授業テーマ：「犯人捜し本能」について検討する** 授業内容：「犯人捜し本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「犯人捜し本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「犯人捜し本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例が犯人捜し本能と呼べるか検討する
13回	**授業テーマ：「焦り本能」について考えてみる** 授業内容：焦り本能は「いつやるか？ いまでしょ！」とすぐに行動することに繋がってしまうが、長期的なリスクには鈍感になっている。複雑な問題に直面すると、批判的に考える力を失ってしまう、ことを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「焦り本能」と呼べるような事例を探してみる
14回	**授業テーマ：「焦り本能」について検討する** 授業内容：「焦り本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「焦り本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「焦り本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例が焦り本能と呼べるか検討する
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：本能によって判断が出来ていないと思われる社会現象やニュースを検討し、自分がそういった事象と距離を保てているか検討する 事前学修 2.0hr：検討した本能の中で、本能による誤解によって生じていると思われるニュースを検討する 事後学修 2.0hr：他のゼミ生の報告を踏まえて、社会問題が事実なのか、本能による誤解なのかを考えてみる
22回	**授業テーマ：「直線本能」について調べてみる** 授業内容：「直線本能」として挙げられた事例について調査をする。ネットや文献などを利用して、事例が現実ではどの様に扱われているのか、認識と事実に違いがあるのか、調べてみる 事前学修 2.0hr：「直線本能」の事例について、自分なりに調べてみる 事後学修 2.0hr：「直線本能」の事例を講義内容を踏まえて整理する
23回	**授業テーマ：「過大視本能」について学修する** 授業内容：過大視本能は、特定の物事の大きさや割合を見失ってしまうこと。世界の進歩を過小評価する、ことを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「過大視本能」と呼べるような事例を探してみる
24回	**授業テーマ：「過大視本能」について検討する** 授業内容：「過大視本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「直線本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「過大視本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例が過大視本能と呼べるか検討する
25回	**授業テーマ：「過大視本能」について調べてみる** 授業内容：「過大視本能」として挙げられた事例について調査をする。ネットや文献などを利用して、事例が現実ではどの様に扱われているのか、認識と事実に違いがあるのか、調べてみる 事前学修 2.0hr：「過大視本能」の事例について、自分なりに調べてみる 事後学修 2.0hr：「過大視本能」の事例を講義内容を踏まえて整理する
26回	**授業テーマ：「パターン化本能」について学修する** 授業内容：パターン化本能は、物事を間違ったパターンに当てはめてしまう。パターン化は避けられないが、間違ったパターン化は実際は全く異なる人や国などをひとくくりにすることにつながる、ことを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「パターン本能」と呼べるような事例を探してみる
27回	**授業テーマ：「パターン本能」について検討する** 授業内容：「パターン本能」について、代表者 1 名がプレゼンする。他の学生は「直線本能」だと想定できる事例を発表し、その事例について皆でディスカッションする 事前学修 2.0hr：「パターン本能」の事例を検討する 事後学修 2.0hr：他の学生が提示した事例がパターン本能と呼べるか検討する
28回	**授業テーマ：「パターン本能」について調べてみる** 授業内容：「過大視本能」として挙げられた事例について調査をする。ネットや文献などを利用して、事例が現実ではどの様に扱われているのか、認識と事実に違いがあるのか、調べてみる 事前学修 2.0hr：「パターン本能」の事例について、自分なりに調べてみる 事後学修 2.0hr：「パターン本能」の事例を講義内容を踏まえて整理する
29回	**授業テーマ：「単純化本能」について考えてみる** 授業内容：単純化本能は、人々はシンプルな考え方に惹かれ、何事にも単純な説明や解決方法を求めてしまう。単純化本能によって、自分のものの見方に合わない情報を見落とし、世界について誤解してしまう、ことを理解する 事前学修 2.0hr：テキストで該当する章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：「単純化本能」と呼べるような事例を探してみる
30回	**授業テーマ：まとめ：脳の働きによる認知バイアスについて** 授業内容：私たちの脳は「事実を間違って解釈し、誤った結論を導き出す傾向がある」ようです。そのような本能は 10 種類に分類できることを再確認します。 事前学修 2.0hr：これまでに学修した 10 の本能について整理する 事後学修 2.0hr：認識と理解のギャップを再確認し、データに基づいた客観的な理解が重要であることについて整理する

不動産社会演習

開講学科等：不　｜　2 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通　｜　備考：2025 年度以降入学生

藤木　亮介（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

建築ストックの再生や適切な維持管理をテーマに授業を進める。
既存築建物の現況調査を通して、建築物の構造や適切な維持管理の手法を理解する。また、実測調査をすることで、図面作成や模型作成に関わる技術を身に付ける。なお、対象とする建築物は、各学生と教員とで協議して決定する。
まずは建築物に生じる劣化の実態やその要因を、実際に現地調査をすることで把握する。その上で、実測調査を行うことで、建物の構造を学ぶ。さらに実測したデータを図面化することで、図面作成や模型作成に必要となる技術を身に付ける。こうした活動は A1 判ポスターにまとめて発表する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：建築物の現況を把握するための知識や技術を修得する。
・建築物の劣化状況や構造を把握するための基礎的知識を修得する。
・建築物の現況を説明するための図面作成や模型作成に必要となる基礎的技術を修得する。
個別目標：建築物の現況を説明するための技術を養う。
・建築物の劣化状況を説明することができる。
・建築物の現況を図面化することができる。

▌履修条件

授業時間外でも必要に応じて教員に報告・連絡・相談ができること。
ワード、エクセル、パワーポイントが使えること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み姿勢・積極性：40 %、成果物（A1 判ポスター）の内容：40 %、発表：20 %の結果に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学生自らが調査・検討したことを教員や学生に発表し、ディスカッションをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントを用いて成果物（A1 判ポスター）を作成する。授業にはＰＣを持参すること。）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて適宜指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業のガイダンスとして、評価方法、出欠席の取り方、スケジュール、全体構成、授業方法等を説明する。 事前学修 2.0hr：劣化が著しい建築物や管理不全建築物について調べる。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて建築物に生じる劣化や管理不全の情報を整理する。	16 回	**授業テーマ：研究対象の調査実施要領作成** 授業内容：研究対象に対して、どのような内容の調査をすべきか、どのようなことに注意して調査すべきか、どのような手順で調査すべきかを考え、調査実施要領を作成する。 事前学修 2.0hr：調査に必要な道具、時間などを検討する。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて、調査要領を完成させる。
2 回	**授業テーマ：木造建築物のモジュール** 授業内容：木造建築物について、寸・尺・間といったモジュールを学修する。 事前学修 2.0hr：寸・尺・間について調べる。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて、寸・尺・間が採用されている建築物の事例を調べる。	17 回	**授業テーマ：研究対象の本調査** 授業内容：作成した調査実施要領を踏まえて、研究対象の本調査を実施する。 事前学修 2.0hr：本調査に向けた準備を行う。 事後学修 2.0hr：本調査で得たデータの整理を行う。
3 回	**授業テーマ：木造建築物の構法** 授業内容：伝統構法、軸組構法、枠組壁構法といった木造建築物の構法を学修する。 事前学修 2.0hr：伝統構法、軸組構法、枠組壁構法について調べる。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて、伝統構法、軸組構法、枠組壁構法が採用されている建築物の事例を調べる。	18 回	**授業テーマ：実測図面の作成-1** 授業内容：本調査で得たデータを整理したうえで、実測図面として研究対象を図面化する。 事前学修 2.0hr：調査写真の整理を行う。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて実測図面の作成を進める。
4 回	**授業テーマ：高経年木造建築物** 授業内容：築 70 年以上の高経年化した木造建築物について、その現状などを議論する。 事前学修 2.0hr：高経年木造建築物の事例について調べる。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて、高経年木造建築物が現在どのように維持されているかを調べる。	19 回	**授業テーマ：実測図面の作成-2** 授業内容：本調査で得たデータを整理したうえで、実測図面として研究対象を図面化する。 事前学修 2.0hr：調査写真の整理を行う。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて実測図面の作成を進める。
5 回	**授業テーマ：歴史的木造建築物の事例見学-1** 授業内容：歴史的木造建築物の事例見学を行う。 事前学修 2.0hr：見学地の情報を調べる。 事後学修 2.0hr：見学結果を踏まえたレポートを作成する。	20 回	**授業テーマ：研究対象の補足調査実施要領作成** 授業内容：本調査で収集できなかったデータを検証し、補足調査の実施要領を作成する。 事前学修 2.0hr：作成した実測図面を見直し、不足する情報の整理を行う。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて、調査要領を完成させる。
6 回	**授業テーマ：事例見学を踏まえたディスカッション-1** 授業内容：事例見学を踏まえて、劣化状況や管理状況、あるいは周辺地域の状況を報告し、評価できる点、改善が望まれる点などのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：ディスカッションに向けた報告資料を作成する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションを踏まえた情報整理を行う。	21 回	**授業テーマ：研究対象の補足調査** 授業内容：作成した補足調査実施要領を踏まえて、研究対象の補足調査を実施する。 事前学修 2.0hr：補足調査に向けた準備を行う。 事後学修 2.0hr：補足調査で得たデータの整理を行う。
7 回	**授業テーマ：歴史的木造建築物の事例見学-2** 授業内容：歴史的木造建築物の事例見学を行う。 事前学修 2.0hr：見学地の情報を調べる。 事後学修 2.0hr：見学結果を踏まえたレポートを作成する。	22 回	**授業テーマ：実測図面の作成-3** 授業内容：補足調査を踏まえて、実測図面を補完する。 事前学修 2.0hr：調査写真の整理を行う。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて実測図面を完成させる。
8 回	**授業テーマ：事例見学を踏まえたディスカッション-2** 授業内容：事例見学を踏まえて、劣化状況や管理状況、あるいは周辺地域の状況を報告し、評価できる点、改善が望まれる点などのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：ディスカッションに向けた報告資料を作成する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションを踏まえた情報整理を行う。	23 回	**授業テーマ：劣化状況の整理-1** 授業内容：作成した実測図面に、建物の劣化状況や劣化部位を書き込み、建物の劣化図面を作成する。 事前学修 2.0hr：調査写真から劣化部位の写真をピックアップする。 事後学修 2.0hr：劣化図面の作成を進める。

9回	**授業テーマ：実測調査演習** 授業内容：大学キャンパス内の工作物を対象として、実測調査を行う。 事前学修 2.0hr：巻き尺の使い方などを練習する。 事後学修 2.0hr：野帳を見直し補足情報を追記する。	24回	**授業テーマ：劣化状況の整理-2** 授業内容：劣化図面とその状況写真（劣化写真）を整合させた劣化調査報告資料を作成する。 事前学修 2.0hr：劣化図面に整合する劣化状況の写真を整理する。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて劣化調査報告資料の作成を進める。
10回	**授業テーマ：実測図面作成演習** 授業内容：前回授業で実測調査をしたデータを使って、対象とした工作物を図面化する。 事前学修 2.0hr：実測調査で得たデータを整理する。 事後学修 2.0hr：実測図面を完成させる。	25回	**授業テーマ：今後の維持管理の検討-1** 授業内容：劣化調査報告資料を踏まえて、今後の修繕や維持管理の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：修繕や改修方法について調べる。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて修繕や改修方法について検討する。
11回	**授業テーマ：研究対象の検討** 授業内容：これまでの授業を踏まえ、自身の関心に基づいて研究対象を選定する。 事前学修 2.0hr：興味がある研究対象について調べる。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて研究対象を確定する。	26回	**授業テーマ：今後の維持管理の検討-2** 授業内容：前回授業を踏まえて、研究対象の修繕や改修計画を提案する。 事前学修 2.0hr：研究対象を適切に修繕・改修するための方策を検討する。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて改修計画案を策定する。
12回	**授業テーマ：研究対象の基礎調査-1** 授業内容：インターネットを使って研究対象を取り巻く状況を調査する。具体的には都市計画上の位置付け、社会的役割、築年数、歴史などの情報を収集する。 事前学修 2.0hr：研究対象を取り巻く情報をインターネットを使って調べる。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて情報を整理する。	27回	**授業テーマ：ポスターの作成-1** 授業内容：これまでの授業を踏まえて、研究対象を取り巻く情報、研究対象の調査、実測図面、劣化図面、維持管理の提案を A1 判ポスターにまとめる。 事前学修 2.0hr：これまでの成果を整理する。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて、ポスターの作成を進める。
13回	**授業テーマ：研究対象の基礎調査-2** 授業内容：本調査に先立つ事前調査として、研究対象とする物件を実際に訪れ、周辺状況を含めて確認する。 事前学修 2.0hr：研究対象を取り巻く情報をインターネットを使って調べる。 事後学修 2.0hr：事前調査で得た情報を整理する。	28回	**授業テーマ：ポスターの作成-2** 授業内容：これまでの授業を踏まえて、研究対象を取り巻く情報、研究対象の調査、実測図面、劣化図面、維持管理の提案を A1 判ポスターにまとめる。 事前学修 2.0hr：これまでの成果を整理する。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて、ポスターの作成を進める。
14回	**授業テーマ：事前調査の報告** 授業内容：事前調査で得た情報を整理し、報告する。また、それを踏まえて本調査に向けたディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：事前調査で得た情報を報告資料としてまとめる。 事後学修 2.0hr：授業でのディスカッションを踏まえて、情報を整理する。	29回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：作成したポスターを基に発表原稿を作成し、発表準備を進める。 事前学修 2.0hr：発表原稿の素案を執筆する。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて発表原稿を修正する。
15回	**授業テーマ：前学期のまとめ** 授業内容：前学期に行った調査を振り返りる。本調査にむけて必要となる情報の整理をする。 事前学修 2.0hr：これまでに得た情報を整理する。 事後学修 2.0hr：研究対象の現況把握について、不足する情報を検証する。	30回	**授業テーマ：最終成果発表** 授業内容：作成したポスターの発表を行い、ディスカッションをする。また、これまでの活動を振り返る。 事前学修 2.0hr：発表原稿、ポスターを修正し、発表準備を行う。 事後学修 2.0hr：ディスカッションを踏まえて、最終版のポスターを完成させる。

不動産社会演習

開講学科等：不　｜　2 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通　｜　備考：2025 年度以降入学生

麻　剣英（ま　けんえい）

▌授業の概要

本授業は、不動産を題材として、統計・データサイエンスの基礎的な考え方と探究の方法を学ぶプレゼミである。地価、住宅、人口、立地、環境などの実データを用い、課題設定から分析、考察、発表までを PPDAC メソッドに沿って実践する。データに基づいて社会や地域、不動産市場を読み解く力を身につけ、大学での専門的な学びへの基盤形成を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：不動産をめぐる社会・地域の課題について、統計データを用いて主体的に問いを立て、分析し、根拠をもって考察・発信できる基礎的能力を養う。

個別目標：●不動産に関するデータ（地価、住宅、人口、立地、環境など）を適切に収集・整理し、基本的な記述統計や可視化を通してその特徴を説明できるようになる。

● PPDAC メソッドに基づき、不動産や地域に関する課題を分析可能な問いへと構造化し、データに基づいて関係性や傾向を読み取れるようになる。

●分析結果をレポートや口頭発表として論理的にまとめ、不動産市場や地域課題について他者に分かりやすく説明できるようになる。

▌履修条件

特に履修条件は設けない。統計・不動産に関する予備知識は不要であるが、主体的に授業に参加し、演習や課題に取り組む意欲を有することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業への参加度および小課題 30 %、探究課題の分析過程 30 %、最終レポート・発表 40 %により総合的に評価する。評価にあたっては、主体的な取り組みとデータに基づく思考・表現を重視する。原則として全授業回数の 5 分の 4 以上の出席を満たしていることを評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内での口頭コメント、小課題へのコメント返却、中間報告時の指導、最終発表後の講評を通じて、段階的なフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （不動産データを用いた演習、グループディスカッション、中間報告・最終発表を通じて、主体的・対話的な学修を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計・不動産データの収集、表計算ソフトによる整理・可視化、レポートおよび発表資料作成のために PC を利用する。）

▌教科書

特に指定しない。必要に応じて授業内で資料を配布する。

▌参考書

必要に応じて、講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：不動産をデータで考えるとは** 授業内容：プレゼミの目的と評価方法を確認するとともに、不動産が価格だけで決まるものではないことを導入的に説明し、不動産と統計・データサイエンスの関係を概説する。 事前学修 2.0hr：自分が住んでいる地域の家賃や地価について、公開情報を用いてあらかじめ調べておく。 事後学修 2.0hr：「なぜこの場所の不動産価格は高い／安いのか」について、根拠を挙げながら短い文章としてまとめる。	16 回	**授業テーマ：事例④：不動産と自然環境** 授業内容：自然環境が不動産価格や立地評価に与える影響について、災害リスクの観点から考察する。具体的には、洪水や地震などの災害リスク、標高や地形、地盤条件といった環境要因と地価との関係を取り上げ、これらの要因がどのように不動産市場に反映されるのかをデータに基づいて理解する。あわせて、自然環境を考慮した不動産分析の重要性と留意点を整理する。 事前学修 2.0hr：関心のある地域について、自然環境や災害リスクに関する情報を調べ、立地条件としてどのような特徴があるかを整理しておく。 事後学修 2.0hr：自然環境や災害リスクが不動産価格や立地選択に与える影響について、具体例を挙げながら自分の言葉で文章にまとめる。
2 回	**授業テーマ：なぜ今、統計・データサイエンスなのか** 授業内容：人口減少と都市集中が不動産に与える影響を整理し、不動産業界におけるデータ活用の現状と展望について例示を交えて学ぶ。 事前学修 2.0hr：統計・データサイエンスが社会や産業の中で求められている理由について調べ、特に不動産分野との関わりを意識しながら要点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：不動産と社会課題（人口、都市構造、地域格差など）の関係について、授業内容を踏まえて約 800 字でまとめる。	17 回	**授業テーマ：外れ値とモデルの限界** 授業内容：外れ値の意味と検出の考え方を学び、「例外」から新しい問いを生み出す視点を養う。第 2 巡目の PPDAC に向け、モデル化の限界と妥当な解釈範囲を確認する。 事前学修 2.0hr：不動産データにおける外れ値の例を 1 つ調べ、背景や要因の仮説を簡単にまとめておく。 事後学修 2.0hr：外れ値が分析上なぜ重要であるかを、意思決定や仮説生成との関係に触れて説明する。
3 回	**授業テーマ：不動産研究における「問い」とは何か** 授業内容：良い問いと悪い問いの違いを具体例で示し、「駅近はなぜ高いのか」「空き家はどこで増えているのか」などの不動産に関する問いを、分析可能な形に言い換える方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：不動産に関して自分が抱く疑問を 3 つ書き出し、背景や関心理由を簡潔に添えておく。 事後学修 2.0hr：事前に書き出した疑問の中から「データで検証できそうな問い」を 1 つ選び、分析可能な表現に言い換えたうえで文書化する。	18 回	**授業テーマ：これまでのまとめと中間振り返り** 授業内容：前半の内容を整理し、各自の理解の到達点と課題を可視化する。後半（確率および探究活動）への接続を意識し、学びの計画を再設計する。 事前学修 2.0hr：これまでのノートや課題を見直し、理解できた点・曖昧な点をリスト化しておく。 事後学修 2.0hr：学びの変化と今後の改善点を、次回以降の行動に結びつく形で短いレポートにまとめる。
4 回	**授業テーマ：PPDAC メソッド①：Problem（課題の設定）** 授業内容：社会的な課題（Problem）と分析対象としての問題（Problem）の違いを示し、不動産問題の構造を整理する。あわせて、地価・人口・交通などの基本的な関係を例示しながら、課題を設定するための視点と考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：PPDAC（Problem － Plan － Data － Analysis － Conclusion）の各段階を自分の言葉で簡潔に説明できるよう準備しておく。 事後学修 2.0hr：自分が関心を持つ不動産・地域に関する課題を 3 つ挙げ、それぞれの社会的背景を 1 ～ 2 文で記述する。	19 回	**授業テーマ：不動産市場の不確実性と確率** 授業内容：不動産価格の変動に内在する不確実性を理解し、意思決定における確率の考え方を導入する。 事前学修 2.0hr：不動産価格の変動事例（地域差・時系列等）を 1 つ調べ、要点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：不確実性を分析や判断においてどのように扱うべきかについて、自分の見解を文章でまとめる。
5 回	**授業テーマ：PPDAC メソッド②：Plan（計画）** 授業内容：価格・立地・環境・人口の各指標の取り扱い方を学び、地価を決める要因の洗い出し（特性要因図）を行う。あわせて、因果関係と相関関係の違いおよび注意点を具体例で確認する。 事前学修 2.0hr：地価に影響しそうな要因をできるだけ多面的に考え、候補リストを作成しておく。 事後学修 2.0hr：地価の特性要因図を作成し、要因分類と想定される関係性を短い説明文とともにまとめる。	20 回	**授業テーマ：確率分布の考え方** 授業内容：二項分布や正規分布の直感的理解を深め、「めったに起きない」現象を確率分布で捉える意義を学ぶ。不動産価格分布の歪みの要因についても考察する。 事前学修 2.0hr：「分布」という言葉の意味と代表的な分布の特徴を調べ、簡単に整理しておく。 事後学修 2.0hr：不動産価格の分布が歪む理由について、想定されるメカニズムに触れながら文章で説明する。

6回	**授業テーマ：PPDAC メソッド③：Data /Analysis /Conclusion** 授業内容：不動産分析におけるデータ収集、分析、結論導出までの一連の流れを、PPDAC メソッドに沿って整理する。 事前学修 2.0hr：不動産に関するデータを取得できそうな公的統計サイトや民間データサイトを複数調べ、利用できそうなデータの種類や特徴を整理しておく。 事後学修 2.0hr：PPDAC メソッドを用いて不動産を分析することのメリットについて、分析手順の明確化や結論の説得力という観点から文章でまとめる。	21回	**授業テーマ：標本と母集団** 授業内容：全数調査と標本調査の違い、無作為抽出の重要性、世論調査等における失敗例から学ぶべき点を整理する。 事前学修 2.0hr：アンケート調査の具体例を探し、サンプリング方法やバイアスの可能性を確認しておく。 事後学修 2.0hr：偏りのない調査とは何かについて、抽出方法と設計上の留意点を挙げながら説明する。
7回	**授業テーマ：データとは何か：種類と集め方** 授業内容：量的データと質的データの違い、公的統計の特徴と活用上の留意点を学ぶ。e-Stat 等の代表的データポータルを紹介し、不動産分析での使い方を示す。 事前学修 2.0hr：e-Stat を用いて不動産関連の統計を探索し、気になった統計表を 1 つ選んでおく。 事後学修 2.0hr：選定した統計表の内容を要約し、活用可能な観点（指標・地理・時点など）を整理して記述する。	22回	**授業テーマ：推定と検定の考え方** 授業内容：「正しい価格」は存在するのかという問いを手がかりに、点推定・区間推定の考え方と意思決定への接続を学ぶ。さらに、有意差の解釈と投資・政策判断との関係を検討する。 事前学修 2.0hr：「有意差」という用語の意味と誤解されやすい点を調べ、メモにまとめておく。 事後学修 2.0hr：統計的判断の難しさについて、典型的な落とし穴（p 値の誤解等）に触れながら文章で説明する。
8回	**授業テーマ：データの整理と可視化** 授業内容：地価データの表・グラフ化の基本を学び、統計地図の考え方を用いた地理的な見方を養う。見せ方の工夫（軸・色・注記等）により、伝わる可視化を設計する。 事前学修 2.0hr：基本的なグラフの種類（棒・折れ線・散布図・箱ひげ図等）と用途を復習しておく。 事後学修 2.0hr：自作した地価グラフから読み取れることを、根拠を添えて文章で説明する。	23回	**授業テーマ：不動産と地域課題** 授業内容：地域課題に関する分析例を取り上げ、データに基づく提言の作り方を学ぶ。最終課題の要件を説明し、テーマ選定に向けた観点を共有する。 事前学修 2.0hr：関心のある社会課題を 1 つ選び、不動産との関係が想定される理由を考えておく。 事後学修 2.0hr：最終課題のテーマ案を文章化し、背景・目的・使用予定データの見込みを記載する。
9回	**授業テーマ：代表値で見る不動産価格** 授業内容：平均値と中央値の違いが不動産価格の読解に及ぼす影響を学び、高級住宅地等の外れ値が平均値に与える偏りについて検討する。 事前学修 2.0hr：平均値と中央値の定義と性質の違いを整理し、不動産データに与える影響のイメージを持っておく。 事後学修 2.0hr：不動産価格の分析において中央値が有効である理由を、具体例を用いて文章で説明する。	24回	**授業テーマ：最終探究テーマの設定** 授業内容：各自のテーマ案を発表し、相互コメントを通じて分析計画（PPDAC：第 2 巡目）を改善する。テーマの射程と実行可能性を吟味する。 事前学修 2.0hr：テーマ案と使用予定データを整理し、想定する分析手順を簡潔にまとめておく。 事後学修 2.0hr：受けたコメントを踏まえて計画を修正し、実施可能な作業計画（タスクと期限）に落とし込む。
10回	**授業テーマ：不動産価格のばらつき** 授業内容：分散と標準偏差の意味を確認し、箱ひげ図を用いて地域差や分布の特徴を読み解く。都心と郊外の比較を通じて、ばらつきの解釈に習熟する。 事前学修 2.0hr：箱ひげ図の見方（中央値、四分位、外れ値等）を復習しておく。 事後学修 2.0hr：地価分布の特徴を、箱ひげ図の要素に言及しながら文章で説明する。	25回	**授業テーマ：データ収集と分析①** 授業内容：データの取得・整理と基本的なグラフ作成を進め、教員による個別指導を受けながら分析の初期段階を固める。 事前学修 2.0hr：使用予定のデータを事前に実際に取得し、フォーマットと変数の確認を済ませておく。 事後学修 2.0hr：途中経過で得られた気づきや課題を整理し、次回に向けた改善点を明文化する。
11回	**授業テーマ：事例分析①：住宅地と商業地の地価比較** 授業内容：用途地域別の地価を取り上げ、並行箱ひげ図等を用いて用途と価格の関係を比較分析する。観察された差異について仮説を立て、説明可能性を検討する。 事前学修 2.0hr：用途地域の区分とその趣旨を調べ、基本的な理解を整理しておく。 事後学修 2.0hr：用途地域が価格に与える影響について、分析結果を踏まえて文章で記述する。	26回	**授業テーマ：データ収集と分析②** 授業内容：前回までの成果を踏まえて分析を深掘りし、結果の解釈と図表の改善を行う。説明変数の見直しや感度分析も適宜実施する。 事前学修 2.0hr：前回の指摘点を整理し、再現可能な形で修正計画を準備しておく。 事後学修 2.0hr：得られた結果に基づく結論案を文章化し、弱点や追加検証の必要性も併せて記載する。
12回	**授業テーマ：事例分析②：地域格差と不動産** 授業内容：都市部と地方における地価の差に着目し、地域間で不動産価格にどのような違いが生じているのかをデータに基づいて分析する。あわせて、人口の増減や年齢構成の変化と地価との関係を検討し、地域格差が不動産市場に与える影響を多面的に理解する。 事前学修 2.0hr：地方の不動産や地域経済に関する記事や報告を読み、都市部との違いや背景要因について気づいた点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：不動産における地域格差とは何かについて、地価や人口動態といった指標に触れながら、自分の言葉で説明する文章を作成する。	27回	**授業テーマ：分析レポートの書き方** 授業内容：レポートの標準構成（背景・目的・データ・方法・結果・考察）を確認し、説得力のある記述と図表の関係づけを学ぶ。引用・再現性・透明性の観点も確認する。 事前学修 2.0hr：前回までの指摘点を整理し、レポートに反映すべき修正項目をリスト化しておく。 事後学修 2.0hr：レポートの草稿（最小構成で可）を作成し、図表の差し替えや脚注の整備を進める。
13回	**授業テーマ：散布図で見る地価と人口** 授業内容：地価と人口密度、地価と駅距離など、散布図を用いた二変量の関係把握を行う。外れ値の意味と扱い方を併せて学び、解釈の幅を広げる。 事前学修 2.0hr：地価と関連しそうな変数を複数考え、その理由を簡単に整理しておく。 事後学修 2.0hr：作成した散布図から分かったことを、相関の方向や強さ、外れ値の示唆に触れながらまとめる。	28回	**授業テーマ：発表準備とリハーサル** 授業内容：スライドの構成・デザインを仕上げ、発表練習と相互フィードバックを行う。時間配分と質疑応答への備えを強化する。 事前学修 2.0hr：発表資料を完成させ、発話原稿やメモを用意したうえで個人練習を行っておく。 事後学修 2.0hr：受けたフィードバックを反映し、スライドと話し方を改善する。
14回	**授業テーマ：相関係数と不動産分析の注意点** 授業内容：相関係数の読み方を確認し、「駅近だから高いのか」という問いを例に、相関と因果の違いを具体的に考察する。観測データの限界と交絡の可能性についても議論する。 事前学修 2.0hr：相関と因果の違いに関する基本事項を調べ、簡潔にメモしておく。 事後学修 2.0hr：不動産で誤解されやすい相関の例を 1 つ挙げ、その誤解が生じる理由を説明する。	29回	**授業テーマ：最終報告発表①** 授業内容：学生による最終発表を行い、質疑応答と講評を通じて成果を共有する。評価の観点（論理性・再現性・可視化の適切さ等）を明確にする。 事前学修 2.0hr：発表準備の最終確認を行い、時間調整と想定問答の準備を済ませておく。 事後学修 2.0hr：他者の発表に対するコメントを提出し、優れた点と学びをまとめる。
15回	**授業テーマ：事例分析③：不動産とサービス経済化** 授業内容：商業地における店舗構成や土地利用の変化を手がかりに、産業構造の転換、特にサービス経済化が不動産価格や地価形成にどのような影響を与えているのかを考察する。具体的な事例を通じて、産業の性質や集積の変化が立地価値に反映される仕組みを理解し、不動産分析において経済構造の視点を取り入れる重要性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：身近な商業地を観察し、店舗の種類や入れ替わり、用途の変化などに注目しながら、サービス化が進んでいると感じられる点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：サービス経済化が地価や不動産の利用形態にどのような影響を及ぼしていると考えられるかについて、観察内容や授業で扱った視点を踏まえて文章でまとめる。	30回	**授業テーマ：最終報告発表②・総括** 授業内容：残りの最終発表を実施し、プレゼミ全体を振り返る。今後の専門的学びにどのように接続するかについて、各自が次のアクションを明確化する。 事前学修 2.0hr：自分の発表を振り返り、改善点や伝えきれなかった点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：学期全体の学びを総括し、身についた力と今後の課題を具体的な行動計画とともにまとめる。

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

前島　彩子（まえしま　あやこ）

▌授業の概要

安全な不動産取引に欠かせない、重要事項説明書 35 条書面の内容を理解する。また、職業倫理を意識する。
不動産に関連する時事ニュースの一次情報に触れ、その社会背景、歴史的経緯をひろくとらえる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：安全な不動産取引に欠かせない、基礎的な知識と技能を身に着ける。
個別目標：（1）不動産の物理的状態および権利関係に関わる資料収集ができる。
（2）資料をもとに、不動産の物理的状態および権利関係を判断できる。
（3）不動産に関連する時事ニュースに触れ、社会動向との関係を考える習慣を身に着ける。
（4）間取り提案やデジタルツールを試行できる。

▌履修条件

不動産基礎演習の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

授業参加状況 50%、提出物 50%を総合して判断する。
連絡なしの遅刻・欠席は厳禁。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba を通してまたは面談等で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う））

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word 等を搭載したノートパソコンを持参する。）

▌教科書

特になし

▌参考書

演習中に指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス (前期)** 授業内容：この科目の目的、取り組み方を確認する。 事前学修 0.5hr：シラバスを読む 事後学修 3.5hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	16回	**授業テーマ：不動産取引において必要な知識①「法令上の制限」** 授業内容：宅建問題をとりあげ、不動産取引において必要な知識の理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
2回	**授業テーマ：重要事項説明書(35 条書面)の概要** 授業内容：重要事項説明書(35 条書面)の目的、記載内容を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	17回	**授業テーマ：不動産取引において必要な知識②「権利関係」** 授業内容：宅建問題をとりあげ、不動産取引において必要な知識の理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
3回	**授業テーマ：不動産関連資料の収集①登記簿** 授業内容：登記簿の目的、記載内容、収集方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	18回	**授業テーマ：不動産取引において必要な知識③「土地」・「建物」** 授業内容：宅建問題をとりあげ、不動産取引において必要な知識の理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
4回	**授業テーマ：不動産関連資料の収集②地図** 授業内容：地図の目的、記載内容、収集方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	19回	**授業テーマ：不動産取引において必要な知識④** 授業内容：宅建問題をとりあげ、不動産取引において必要な知識の理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
5回	**授業テーマ：不動産関連資料の収集③土地利用規制** 授業内容：都市計画資料等の目的、記載内容、収集方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	20回	**授業テーマ：不動産の時事ニュース①調べ方** 授業内容：新聞の調べ方を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
6回	**授業テーマ：不動産関連資料の収集④防災規制** 授業内容：ハザードマップ等の目的、記載内容、収集方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	21回	**授業テーマ：不動産の時事ニュース②読解** 授業内容：新聞記事を題材に、専門用語と文章構造を理解する 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
7回	**授業テーマ：不動産の物理的状態(土地)を把握する** 授業内容：これまでに収集した資料を読解し、重要事項説明書 35 条書面の表示と対応させる 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	22回	**授業テーマ：不動産の時事ニュース③情報収集** 授業内容：新聞記事から、不動産の時事ニュースを収集する 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
8回	**授業テーマ：不動産の物理的状態(建物)を把握する** 授業内容：これまでに収集した資料を読解し、重要事項説明書 35 条書面の表示と対応させる 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	23回	**授業テーマ：不動産の時事ニュース④意見交換** 授業内容：収集した時事ニュースを読解し、意見交換する 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
9回	**授業テーマ：不動産の権利関係(土地)を把握する** 授業内容：これまでに収集した資料を読解し、重要事項説明書 35 条書面の表示と対応させる 事前学修 3.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 1.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	24回	**授業テーマ：デジタルツイン①概要** 授業内容：デジタルツインの各手法の違いと特徴を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
10回	**授業テーマ：不動産の権利関係(建物)を把握する** 授業内容：これまでに収集した資料を読解し、重要事項説明書 35 条書面の表示と対応させる 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	25回	**授業テーマ：デジタルツイン②検討** 授業内容：デジタルツインの作成方法を検討する 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する

11回	**授業テーマ：不動産の法規制(土地)を把握する** 授業内容：これまでに収集した資料を読解し、重要事項説明書 35 条書面の表示と対応させる 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	26回	**授業テーマ：デジタルツイン③作成** 授業内容：デジタルツインを作成する(出力する) 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
12回	**授業テーマ：不動産の法規制(建物)を把握する** 授業内容：これまでに収集した資料を読解し、重要事項説明書 35 条書面の表示と対応させる 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	27回	**授業テーマ：デジタルツイン④考察** 授業内容：デジタルとリアル、それぞれの特徴を考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
13回	**授業テーマ：住宅間取りの基本** 授業内容：主に戸建住宅の間取りの基本を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	28回	**授業テーマ：重要事項説明書(35 条書面)の考察** 授業内容：不動産業界をとりまく状況をふまえて、取り上げた不動産事例の取引上の課題や可能性を考察する 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
14回	**授業テーマ：住宅間取りの分析** 授業内容：登記簿等を読解し、改善案を検討する 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	29回	**授業テーマ：重要事項説明書(35 条書面)の見直し** 授業内容：これまでの取組を総合し、取り上げた不動産事例の特徴を説明する。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する
15回	**授業テーマ：中間まとめ** 授業内容：前学期の内容をまとめ、情報不足や理解不足の部分をおぎなう 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：演習内容を踏まえ、次回の展開を整理する	30回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：この演習を通して理解したことをふりかえり、3年次以降の学修にどう備えるか意見交換する。 事前学修 2.0hr：これまでの演習内容を整理する 事後学修 2.0hr：演習内容の全体をふりかえり、次年度以降の学修展開を整理する

不動産社会演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

山本　卓（やまもと　たかし）

▌授業の概要

3 年次配当の「不動産経営論」の履修を予定する学生を念頭に、経営分野の基礎学力を身に着けさせる授業を行い、あわせて社会実践教育の一環として不動産企業へのインターンシップを経験させる。前期では、会計の基本を学ぶ。会計はすべてのビジネスパーソンに不可欠なツールであり、「ビジネスの共通言語」といわれる重要な知識でもある。前期の学びを踏まえたうえで、夏休みに不動産企業へのインターンシップを経験する。後期は、その経験を踏まえたうえで「経営分析」の学びを行い、それに基づき不動産企業の課題の抽出と検証を行う。さらにこれについて報告資料としてまとめ、プレゼンの機会を設ける予定である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎/4）

一般目標：不動産のビジネスにかかる不動産事業経営、不動産企業経営を適切に行うために必要となる入門的知識と技能を身につける。

個別目標：本授業の個別目標は以下のとおりである。

・会計・経営分析の初歩を確かなものにし、それを説明できる。

・インターンシップを通じて、不動産企業の基本的な経営課題について理解し、それを説明できる。

・不動産企業が直面する任意の課題について独力で情報や資料を調査し、それに基づき適切な内容の報告資料を作成し、説得性が認められるプレゼンができる。

▌履修条件

経営に興味があり、不動産企業へのインターンシップに積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

課題 70%、任意テーマの資料作成・報告 30%として、到達目標の達成度に基づきを総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。希望に応じて面談でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自分自身の研究テーマの発表、質疑応答が予定されている。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワード、パワーポイントを利用する。）

▌教科書

山本卓編著 (2018)『会計・経営分析入門テキスト』創成社

桜井久勝著『財務諸表分析』中央経済社

▌参考書

山本卓 (2025)『企業不動産読本』KEN 不動産研究、山本卓編著 (2017)『グローバル社会と不動産価値』創成社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本授業の基本的な進め方やルールを周知する。ビジネス社会において会計学を学ぶ重要性を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。	16 回	**授業テーマ：経営分析の視点と方法** 授業内容：前期の振り返りを行ったうえで、「経営分析の視点と方法」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(定量分析、定性分析) 事後学修 2.0hr：桜井第 7 章「分析の視点と方法」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
2 回	**授業テーマ：会計の役割と機能** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「会計の役割と機能」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(所有と経営の分離、貨幣的測定の公準) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、授業中に行われた問題演習の復習を行う。	17 回	**授業テーマ：収益性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「収益性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(ROE、売上高利益率) 事後学修 2.0hr：桜井第 8 章「収益性の分析」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
3 回	**授業テーマ：会計を取り巻く法律や規制** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「会計を取り巻く法律や規制」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(会社法、金融商品取引法) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 1 章「財務諸表とは」を熟読する。	18 回	**授業テーマ：生産性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「生産性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(付加価値) 事後学修 2.0hr：桜井第 9 章「生産性の分析」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
4 回	**授業テーマ：財務諸表の体系** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「財務諸表の体系」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(貸借対照表、損益計算書) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、授業中に行われた問題演習の復習を行う。	19 回	**授業テーマ：安全性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「安全性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(当座比率、自己資本比率) 事後学修 2.0hr：桜井第 10 章「安全性の分析」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
5 回	**授業テーマ：資産の評価基準** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「資産の評価基準」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(取得原価、時価) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 2 章第 1 節「貸借対照表のしくみ」を熟読する。	20 回	**授業テーマ：損益分岐点分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「損益分岐点分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(変動費、固定費) 事後学修 2.0hr：参考書第 11 章第 3 節「費用構造が利益変動に及ぼす影響」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。

6回	**授業テーマ：資産 (その 1)　流動資産** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「流動資産」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(棚卸資産、棚卸資産評価損) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 2 章第 1 節「貸借対照表のしくみ」を熟読する。	21回	**授業テーマ：業務的意思決定** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「業務的意思決定」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(関連原価、無関連原価) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
7回	**授業テーマ：資産 (その 2)　固定資産** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「固定資産」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(減価償却、減損処理) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 2 章第 2 節「資産とは」の前半部分を熟読する。	22回	**授業テーマ：設備投資の意思決定** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「設備投資の意思決定」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(時間価値、正味現在価値法) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
8回	**授業テーマ：インターンシップ準備** 授業内容：学部主催インターンシップに向けての準備を行う。 事前学修 2.0hr：学部主催インターンシップの流れを理解しておく。 事後学修 2.0hr：学部主催インターンシップに向けてエントリーシートを作成する。	23回	**授業テーマ：原価計算の基礎知識** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「原価計算の基礎知識」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。希望者による任意レポートの発表と質疑を行う。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(製造原価、総合原価計算) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
9回	**授業テーマ：負債・純資産** 授業内容：第 7 回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「負債・純資産」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(支払手形、買掛金) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 2 章第 3 節「負債とは」及び第 4 節「純資産とは」を熟読する。	24回	**授業テーマ：株式投資・不動産投資の基礎知識** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「株式投資・不動産投資の基礎知識」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。希望者による任意レポートの発表と質疑を行う。 事前学修 2.0hr：2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(ポートフォリオ、リスク) 事後学修 2.0hr：2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
10回	**授業テーマ：損益計算書** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「損益計算書」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(販売費および一般管理費、発生主義) 事後学修 2.0hr：参考書第 3 章「損益計算書」を熟読する。	25回	**授業テーマ：CRE 戦略** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「CRE 戦略」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。希望者による任意レポートの発表と質疑を行う。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(減損会計、賃貸等不動産会計) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
11回	**授業テーマ：キャッシュフロー計算書** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「キャッシュフロー計算書」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(利益とキャッシュフロー、黒字倒産) 事後学修 2.0hr：参考書第 4 章「キャッシュフロー計算書」を熟読する。	26回	**授業テーマ：レポート作成の準備** 授業内容：不動産企業にかかる経営課題を抽出し、レポート作成の構成を考え、資料収集の準備を行う。 事前学修 4.0hr：不動産企業にかかる経営課題を考えてくる。 事後学修 4.0hr：レポートの構成を考え、どのような資料が必要かについて検討する。
12回	**授業テーマ：財務諸表分析 (その 1)　収益性分析・生産性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「収益性分析・安全性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(ROE、棚卸資産回転率) 事後学修 2.0hr：参考書第 5 章第 9 節「収益性の分析」を熟読する。	27回	**授業テーマ：レポート作成のための資料を収集する。** 授業内容：レポート作成に必要となる文献や新聞記事について収集整理する。 事前学修 4.0hr：どのような文献が必要かについてあらかじめ調べリストを作成する。 事後学修 4.0hr：収集した文献資料を整理、検討を行う。
13回	**授業テーマ：財務諸表分析 (その 2)　安全性分析・成長性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「安全性分析・成長性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(自己資本比率、当座比率) 事後学修 2.0hr：参考書第 5 章第 8 節「安全性の分析」を熟読する。	28回	**授業テーマ：レポートの骨子を作成する。** 授業内容：収集した文献資料に基づき、レポートの大まかな内容を作成する。 事前学修 4.0hr：レポートの骨子となる部分についてあらかじめ考えてくる。 事後学修 4.0hr：レポート骨子について、見直しと追加を行う。
14回	**授業テーマ：不動産会計** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「不動産会計」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(減損会計、賃貸等不動産会計) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、不動産と会計・経営との関係を自分なりにまとめる。	29回	**授業テーマ：レポートを完成させる。** 授業内容：一連の作業に基づき、レポートを最終化する。 事前学修 4.0hr：レポートの最終化に向けて、内容の精査を行う。 事後学修 4.0hr：完成されたレポートについて、見直しと追加を行う。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：第 1 回から第 14 回で学んだことの基礎論点を確認する。 事前学修 2.0hr：テキスト全体に目を通し、理解が不十分な点がないか確認する。 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、講義全体についての総復習を行う。	30回	**授業テーマ：レポートの発表** 授業内容：完成されたレポートについて、わかりやすくかつロジカルに発表を行う。 事前学修 4.0hr：発表原稿、パワーポイント資料を準備する。 事後学修 4.0hr：発表内容についての反省を行う。

ライフプランと資産形成

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

北原　淳（きたはら　じゅん）

▌授業の概要

本講義は、大学生活の先にある「自分はどのように生き、働き、暮らしていきたいのか」という、人生設計（ライフプラン）という正解のない領域について考え、豊かなくらしを実現するための土台をつくる科目です。

前半では、実務家を招き、不動産業界で働く社会人のリアルな生き方やキャリア、ライフプランについて話を聞き、自分自身の将来に置き換えて考えるワークに取り組みます。

後半では、人生を支えるお金の考え方として資産形成を学び、FP3 級レベルのマネープラン知識の修得を目指します。ただし、本講義は資格取得を目的とするのではなく、「なりたい自分」を目指すために、実践的で現実的なライフプランを描く力を養うことを目的とします

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：5/6）

一般目標：自らの将来を主体的に考え、豊かなくらしを実現するためのライフプランと資産形成の基本的な考え方を理解し、「なりたい自分」に向けた現実的な人生設計を描く力を身につける。

個別目標：① 不動産業界で働く実務家の生き方や経験を自分自身に置き換えて考え、自らのキャリアやライフプランを言語化できる。
② マネープランの基礎知識を理解し、日常生活や将来設計に活かせる視点を身につける。
③ 資格・技能を人生設計の手段として捉え、主体的に学び続ける姿勢を養う。

▌履修条件

「学修の基礎Ⅰ」の単位を修得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

●実務家講義の振り返りワークシート（第 2 回～第 7 回）
10 点× 6 回＝ 60 点

●ライフプランまとめ（第 8 回）
20 点

●理解度確認試験（第 14 回）
40 点

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。必要に応じて学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主体性・対話性・実践性を意識し、グループディスカッション、ディベート、ケーススタディなどを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （振り返りワークシートやライフプランのまとめ作成）

▌教科書

追って、指示する。

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス／ライフプランと資産形成とは？** 授業内容：本講義の目的と学び方、全体構成・進め方、評価方法を説明する。 また、「ライフプランと資産形成」を学ぶ意味を確認し、本講義が「なりたい自分」を考えるための科目であることを理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本講義で何を学びたいかを整理する。 事後学修 2.0hr：ガイダンス内容を振り返り、自分が関心をもった点を簡単にまとめる。
2 回	**授業テーマ：不動産業界で働くということ ～不動産業界で働く人のライフプランを知る～** 授業内容：実務家より、不動産業界に進んだ理由、仕事のやりがい、人生設計との関係について講義を受ける。 事前学修 2.0hr：不動産業界の仕事内容について調べ、自分のイメージを書き出す。 事後学修 2.0hr：講義内容を踏まえ、約 200 字の振り返りワークシートを作成し、自分の将来像と重ねて考える。
3 回	**授業テーマ：キャリアとライフイベント　～仕事と人生の節目をどう考えるか～** 授業内容：結婚・住まい・転職など、実務家が経験してきたライフイベントとキャリア形成の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：将来起こりうるライフイベントを自分なりに想定する。 事後学修 2.0hr：講義内容を踏まえ、約 200 字の振り返りワークシートを作成する。
4 回	**授業テーマ：働き続けるための考え方　～長く働くために大切な視点～** 授業内容：実務家が仕事を続けるうえで大切にしている価値観や、困難をどう乗り越えてきたかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：「働き続ける」とは何かを自分なりに考える。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、約 200 字の振り返りワークシートを作成する。
5 回	**授業テーマ：豊かなくらしとは何か ～自分にとっての豊かさを考える～** 授業内容：収入だけでなく、時間・住環境・人との関係など、実務家の視点から「豊かなくらし」について考える。 事前学修 2.0hr：自分が考える「豊かな生活」を言葉にする。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、約 200 字の振り返りワークシートを作成する。
6 回	**授業テーマ：不動産と人生設計 ～住まいとライフプランの関係～** 授業内容：住まい選びや不動産が、人生設計にどのように関わるかを実例から学ぶ。 事前学修 2.0hr：将来の住まいについての希望や不安を書き出す。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、約 200 字の振り返りワークシートを作成する。
7 回	**授業テーマ：なりたい自分への道筋 ～「なりたい自分」をどう実現するか～** 授業内容：実務家の目標設定の考え方や、資格・学びをどう活かしてきたかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：現時点での「なりたい自分」を整理する。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、約 200 字の振り返りワークシートを作成する。
8 回	**授業テーマ：前半まとめ：自分のライフプランを描く ～ライフプランの作成～** 授業内容：第 2 回～第 7 回の講義を振り返り、自分自身の生き方・働き方・将来像を整理し、ライフプランとしてまとめる。 事前学修 2.0hr：これまで作成した振り返りワークシートを読み返す。 事後学修 2.0hr：授業で作成したライフプランを見直し、言語化する。

9回	**授業テーマ：ガイダンス／ライフプランを実現するためのマネープラン ～人生設計を現実にするためのお金の考え方～** 授業内容：本講義の前半で描いたライフプランを実現するためには、マネープランが不可欠である。そのため、適切なマネープランを組み立てる方法として資産形成の考え方を学ぶ必要がある。そこで、本講義の後半では、ライフプランと資産形成の関係性を理解し、その具体的な知識を身につけていく。 事前学修 2.0hr：自分のライフプランの中で「お金」が関わる場面を書き出す。 事後学修 2.0hr：マネープランと資産形成が自分の人生にどう関係するか整理する。
10回	**授業テーマ：資産形成①：ライフプランニングと社会保障 ～ライフプランニング分野の理解～** 授業内容：FP3 級資格のライフプランニング分野を中心に、ライフイベントと資金計画の考え方、社会保障制度(年金・医療・介護・雇用保険)の基礎を学ぶ。ライフプランとマネープランを結びつけて理解する。 事前学修 2.0hr：テキストのライフプランニング分野を読む。 事後学修 2.0hr：該当分野の過去問題に取り組み、理解度を確認する。
11回	**授業テーマ：資産形成②：金融資産運用 ～資産形成に必要な金融商品の基礎～** 授業内容：金融資産運用分野について、預貯金、株式、投資信託などの基本的な仕組みとリスク・リターンの考え方を学ぶ。試験で頻出する用語や考え方を中心に理解する。 事前学修 2.0hr：テキストの金融資産運用分野を読む。 事後学修 2.0hr：過去問題を解き、理解を深める。
12回	**授業テーマ：資産形成③：不動産・税 ～不動産を活かした資産形成～** 授業内容：不動産分野および税金の基礎を学ぶ。不動産を資産として捉え、マネープランの中でどのように位置づけるかを、不動産学部での学びと関連づけて理解する。 事前学修 2.0hr：テキストの不動産・税分野を読む。 事後学修 2.0hr：過去問題に取り組み、宅建知識との共通点・違いを整理する。
13回	**授業テーマ：リスク管理と保険 ～人生のリスクと資産形成～** 授業内容：リスク管理分野について、生命保険・損害保険の基本的な仕組みを学ぶ。人生に潜むリスクと、マネープランとしての備え方を理解する。 事前学修 2.0hr：テキストのリスク管理分野を読む。 事後学修 2.0hr：該当分野の過去問題に取り組み、弱点を確認する。
14回	**授業テーマ：マネープランの理解度確認 ～資産形成知識の整理～** 授業内容：理解度確認試験を行い、ライフプランを実現するために必要なマネープラン・資産形成の基礎知識について理解度を確認する。試験後は解説を行い、知識の定着を図る。 事前学修 2.0hr：第 10 回～第 13 回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：間違えた問題を中心に振り返り、理解を深める。
15回	**授業テーマ：総括／「なりたい自分」の実現** 授業内容：前半で考えたライフプラン、後半で学んだマネープランや資産形成を振り返り、それらを統合して「なりたい自分」を実現するための全体像を整理する。資産形成は目的ではなく手段の一つであることを再確認し、今後の学び、資格・技能の活かし方、行動へのつなげ方を考える。 事前学修 2.0hr：これまでの講義内容、ワークシート、ノートを読み返す。 事後学修 2.0hr：本講義を通して見えてきた「なりたい自分」と、その実現に向けた次の行動を言語化する。

土地と建物の金融

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2025 年度以降入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）・**金　東煥**（きむ　どんふぁん）・**藤木　亮介**（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

不動産学は、開発・流通・管理・金融・投資・経営といった 6 つの専門分野(6 つの学群)で構成されている。当科目ではこのうちの「金融」を学修する。土地と建物の金融では、不動産学部で金融を初めて学修する学生を対象に、基礎的な金融知識について学修する。本講義の内容は、お金の機能、銀行と証券会社の役割と仕組み、日本社会に与える金融の影響、民間の資金調達方法、公共の資金調達、住宅金融支援機構の役割の背景とローン契約に関わる法的側面、債務不履行などについて幅広い基礎金融知識を学修する。加えて、教員学生間の討論と実務家による講演会を実施して、金融の実務知識の理解を高める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1 ◎）

一般目標：本講義は、基礎的な金融の専門用語、金融の役割、日本経済における金融の仕組みについて学修する。結果、日本経済における金融の状況と不動産市場における金融知識について理解できる。

個別目標：①お金を借りて返すこと(ローン)において必要な知識が理解できる。
②不動産の価値について基本的仕組みが理解できる。
③金融商品の全般的な種類など金融の仕組みが理解できる。

▌履修条件

2025 年度以降の入学年生は、全員履修する必要がある。

▌評価基準・方法

授業中の課題 50 %、期末試験 50 %、及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、各授業中に行う。小テストの採点結果は学修支援システム manaba を通して行う。期末試験のフィードバックは成績確定後、個別要請に応じて対応する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義内容について学生自らが調査し、知識情報を再度確認する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 持参要(授業中のアクティブラーニングでの知識情報の調査時に必要)）

▌教科書

『2025 年度　土地と建物の金融・投資・経営』(不動産学部オリジナルテキスト)を使用する。

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方、評価方法、教員紹介を実施後、教員討論を実施する。実施討論のテーマは、土地と建物の金融で何を学ぶかについて教員間の討論を実施する。 事前学修 2.0hr：シラバス・教科書を読んで講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、教科書を丁寧に読む。
2 回	**授業テーマ：金融の基礎-1（金融が日本社会に与える影響）** 授業内容：金融は日本社会にどのような影響を与えるかについて学修する。新聞・ニュースで見られる円安・ドル高、不景気、バブル経済について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、金融が日本社会にどのような影響を与えるかについて考える。 事後学修 2.0hr：金融が円安・ドル高、不景気、バブル経済などの日本社会に与える影響について復習する。
3 回	**授業テーマ：金融の基礎-2（お金の機能）** 授業内容：金融の基礎として、お金の機能について学修する(貨幣の 3 つの機能)。また、社会的側面でのお金について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、お金の機能についてのイメージを考える。 事後学修 2.0hr：お金の機能と社会的側面でのお金についての講義内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：資金調達方法-1（銀行の役割と仕組み：間接金融）** 授業内容：銀行はどのような役割を果たすかについて学修する。間接金融、元金・利息・金利・預金・貸付など銀行の仕組みについて学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、銀行の役割と仕組みについてのイメージを考える。 事後学修 2.0hr：銀行の役割と仕組みについての講義内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：資金調達方法-2（証券会社の役割と仕組み：直接金融）** 授業内容：証券会社はどのような会社であり、役割は何かについて学修する。直接金融、国債・株・不動産投資信託・証券など証券と証券を扱う証券会社の仕組みについて学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、証券は何かについて学修し、証券会社の役割と仕組みについてのイメージを考える。 事後学修 2.0hr：証券の定義と証券会社の役割と仕組みについての講義内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：教員学生討論(授業内容関連質疑応答と教員討論)** 授業内容：第 1 回から第 5 回までの講義内容についてまとめると共に、疑問点について質疑応答する。教員討論では、お金を借りるためにはどのようにすれば良いかについて討論する 事前学修 2.0hr：第 1 回から第 5 回までの講義内容について疑問点を考えて質問を準備する。 事後学修 2.0hr：質疑応答の内容と教員討論の内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：資金調達方法-3（民間の資金調達方法）** 授業内容：民間の資金調達方法はどのような方法があるかについて学修する。融資・ローン・クラウドファンディングなど、民間の資金調達方法について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、民間の資金調達方法についてのイメージを考える。 事後学修 2.0hr：融資・ローン・クラファンなどの民間の資金調達方法について復習する。
8 回	**授業テーマ：資金調達方法-4（公共の資金調達）** 授業内容：自治体などの公共の資金調達方法はどのような方法があるかについて学修する。ふるさと納税、公共の不動産事業(PPP,PFI)など、公共の資金調達方法について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、公共の資金調達方法についてのイメージを考える。 事後学修 2.0hr：ふるさと納税など公共の資金調達方法について復習する。
9 回	**授業テーマ：実務家講演(不動産業界の実務家)** 授業内容：不動産デベロッパー、不動産仲介、不動産金融関係の実務家など、不動産業界で現役で活躍する実務家を招いて講演会を実施する。 事前学修 2.0hr：不動産業界では金融がどのように使われるかについて考える。 事後学修 2.0hr：不動産業界の実務家の講演内容をまとめる。

10回	**授業テーマ：住宅金融-1（住宅金融支援機構の役割の背景）** 授業内容：住宅購入時の金融システムについて学修する。公的住宅金融機関である「住宅金融支援機構」はどのような背景で設立され、どのような役割を果たすかについて学修する。フラット 35、固定金利などの住宅金融の基本仕組みについて学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、住宅購入時の金融システムについてのイメージを考える。 事後学修 2.0hr：住宅金融と公的住宅金融機関の「住宅金融支援機構」について復習する。
11回	**授業テーマ：住宅金融-2（ローン契約に関わる法的側面）** 授業内容：住宅購入時の金融であるローンについて学修する。住宅購入時のローン契約に関わる法的側面について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、住宅購入時のローンについてのイメージを考える。 事後学修 2.0hr：住宅購入時のローン契約に関わる法的側面について復習する。
12回	**授業テーマ：住宅金融-3（債務不履行）** 授業内容：住宅購入時の金融のローンを借りて、返済できない場合の「債務不履行」について学修する。債務不履行の意味とローンを提供する金融機関の抵当権、ローンを返済できない場合の競売について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、住宅購入時にローンを借りて返済できない場合について考える。 事後学修 2.0hr：ローンの債務不履行時の金融機関の対応方法について復習する。
13回	**授業テーマ：住宅金融-4（最近の金融動向について）** 授業内容：金融システムは時代によって変わるため、最近の金融動向について学修する。リバースモーゲージとリースバックなど最近導入された金融システムについて学修する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、最近の金融システムについてを考える。 事後学修 2.0hr：リバースモーゲージとリースバックという最近の金融システムについて復習する。
14回	**授業テーマ：実務家等の話題提供(住宅金融関係者・デベロッパーなどの実務家)** 授業内容：公的住宅金融機関である「住宅金融支援機構」の実務家又は中堅デベロッパーの実務家を招いて不動産業界における金融についての話を聞いてみる。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、不動産業界における金融の実務について考える。 事後学修 2.0hr：不動産業界の金融実務家の話をまとめて復習する。
15回	**授業テーマ：まとめと教員討論** 授業内容：本講義で学修した金融についての疑問点をまとめるとともに教員との質疑応答する。教員討論では、「お金を返すために必要なもの」というテーマに基づいて討論を実施する。 事前学修 2.0hr：教科書を読んで、本講義で学修した金融について疑問点を質問として準備する。 事後学修 2.0hr：質疑応答内容と教員討論内容をまとめて復習する。

土地と建物の経営

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2025 年度以降入学生

西村　愛（にしむら　あい）**・浜島　裕美**（はまじま　ひろみ）**・麻　剣英**（ま　けんえい）

▌授業の概要

不動産学は、開発・流通・管理・金融・投資・経営といった 6 つの専門分野(6 つの学群)で構成されている。当科目ではこのうちの「経営」を学ぶ。
不動産学部では多くの先輩が起業して不動産会社を経営している。この授業では、主に土地建物を対象にした不動産経営の概要を学ぶ。
実際に「不動産経営」の現場で働く先輩の話を聞く機会も設けている。この授業をきっかけに、「不動産経営」をイメージできることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1 ◎）

一般目標：まず会社を経営するための設立手続、機関、財務、経理、会計、人事、労務管理などの基礎知識を理解し、その上で土地建物を活用した不動産会社の経営シミュレーションを通じて、不動産経営のイメージを身につける。
個別目標：①一般的な会社の設立プロセスや会社運営に必要な基礎知識を理解する。
②土地建物を活用して不動産賃貸事業を経営する場合に必要な知識を理解する。
③不動産賃貸事業シミュレーションを通じて、不動産経営をイメージする。

▌履修条件

2025 年度以降入学の 1 年生は、全員履修する必要がある。

▌評価基準・方法

授業中の課題 50 %、期末試験 50 %、及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

ワーク・小テスト・課題・定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （一部反転学修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

『2026 年度　土地と建物の金融・投資・経営』(不動産学部オリジナルテキスト)を使用する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・教員討論** 授業内容：授業の目的、進め方、評価方法、教員紹介。教員討論(土地と建物の経営で何を学ぶか) 事前学修 2.0hr：不動産学部オリジナルテキスト(後学期)を入手する。シラバスをよく読み、授業の内容や進め方などを理解しておく。 事後学修 2.0hr：教員討論の内容をまとめておく。テキスト全体に目を通し、授業の流れをよく確認しておく。
2 回	**授業テーマ：土地建物経営の基礎知識　(1)　経営とは何か** 授業内容：経営にはさまざまな形がある。ここではさまざまな経営者の経営に関する発言を紹介しながら、経営とは何かを考えていく。個人経営と会社経営の違い、経営計画なども紹介する。 事前学修 2.0hr：いろいろな経営者の経営に関する発言をインターネットなどで調べてくる。 事後学修 2.0hr：自分はどの経営者のどのような言葉に惹かれたか、理由も含めてまとめる。
3 回	**授業テーマ：土地建物経営の基礎知識　(2)　会社とは何か** 授業内容：会社は法人の一種である。ここでは会社の種類、設立、機関、財務、経理、会計、人事、労務管理など、会社経営に必要な基礎知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：法人と自然人の違いを教科書、参考書、インターネットなどで調べてくる。法人を設立するとどのようなメリットがあるか考える。 事後学修 2.0hr：会社の 4 形態のそれぞれの特徴を比較し、表にまとめる。
4 回	**授業テーマ：土地建物経営の基礎知識　(3)　株式会社の仕組み** 授業内容：自分で株式会社を設立して、土地と建物を使ったビジネスを展開することを想定する。株式会社の仕組み、設立手続き、コーポレート・ガバナンス、企業の社会的責任などについて学。 事前学修 2.0hr：株式会社の歴史、特徴、設立方法などを、教科書、参考書、インターネットなどで調べておく。 事後学修 2.0hr：自分が株式会社を設立して取締役になることを想定して組織や定款を作成してみる。
5 回	**授業テーマ：土地売買市場の概要** 授業内容：土地建物を活用してビジネスを展開する際に必要な土地売買市場の概要を学ぶ。具体的には土地売買市場の特性・分析方法・調査方法などを、実際の市場動向に基づき解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページをよく読みこんでおく。 事後学修 2.0hr：土地売買市場の概要を自分の言葉でまとめる。
6 回	**授業テーマ：建物賃貸市場の概要** 授業内容：土地建物を活用してビジネスを展開する際に必要な建物市場の概要を学ぶ。具体的には建物賃貸市場の特性・分析方法・調査方法などを、実際の市場動向に基づき解説する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページをよく読みこんでおく。 事後学修 2.0hr：建物賃貸市場の概要を自分の言葉でまとめる。
7 回	**授業テーマ：実務家からの話題提供(1)土地建物賃貸経営を行う不動産経営者の方の講演** 授業内容：土地建物経営の具体例として、土地建物賃貸業を営む会社経営者の方からお話を伺う。第 1 回目は不動産学部と提携する団体の会社経営者を予定している。 事前学修 2.0hr：講演者の会社の情報をインターネットなどで調べ、あらかじめ質問事項等をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講演者の講演内容を自分の言葉でまとめる。
8 回	**授業テーマ：教員学生討論(1)ここまでのまとめ** 授業内容：土地建物経営に関する質疑応答を行うとともに、会社経営のイメージを膨らませるために、教員学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：教科書のここまでの内容をもう一度よく読み直し、気づいた点や質問事項などをあらかじめまとめておく。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの内容を自分の言葉でまとめる。
9 回	**授業テーマ：賃貸用建物の建築(1)賃貸用建物建築のための立地・規模など** 授業内容：ここからの講義では浦安市内で建物賃貸業を経営することを念頭に置く。まず賃貸用建物の立地と建築可能な建物の規模(建蔽率・容積率・高さなどの制限)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所をよく読み込んでおく。 事後学修 2.0hr：実際に浦安市内で賃貸用建物を建築することを想定し、自分で建築用地の候補地をいくつか選定する。

10回	**授業テーマ：賃貸用建物の建築(2)賃貸用建物の外観など** 授業内容：浦安市内で賃貸用建物を建築することを想定し、建物の外観(形態・意匠・色彩など)、必要な設備などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所をよく読み込んでおく。 事後学修 2.0hr：実際に浦安市内で賃貸用建物を建築することを想定し、自分なりの建物の外観や設備などを考える。
11回	**授業テーマ：建物賃貸業の経営(1)賃貸事業収支計算** 授業内容：浦安市内で賃貸用建物を建築して賃貸業を営むことを想定し、賃貸事業の収支計算を学ぶ。建物建築費用、賃料設定、建物維持管理費用などをシミュレーションし、事業採算が合うかを検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所をよく読み込んでおく。 事後学修 2.0hr：第 9 回、第 10 回で想定した立地・建物などが、賃貸事業として採算が取れるかを自分で計算する。
12回	**授業テーマ：建物賃貸業の経営(2)賃貸業の経営戦略** 授業内容：不動産賃貸業を成功させるための経営戦略についてがテーマである。不動産賃貸業の特徴、ビジネスモデル、マーケティング戦略、会計と税務を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所をよく読み込んでおく。 事後学修 2.0hr：賃貸管理業の内容を自分の言葉で整理してまとめる。
13回	**授業テーマ：建物賃貸業の経営(3)サブリース方式による賃貸経営** 授業内容：賃貸経営の方法の一つにサブリース方式がある。ここではサブリースの仕組みとメリット・デメリット、トラブル事例や問題点などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所をよく読み込んでおく。 事後学修 2.0hr：サブリース方式で賃貸経営を行う場合の問題点を自分の言葉でまとめる。
14回	**授業テーマ：実務家等の話題提供(2)土地建物賃貸等を行う会社経営者** 授業内容：土地建物経営の具体例として、土地建物賃貸業を営む会社経営者に話を伺う。第 2 回目は、不動産学部出身者の会社経営者を予定している。 事前学修 2.0hr：講演者の会社の情報をインターネットなどで調べ、あらかじめ質問事項等をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講演者の講演内容を自分の言葉でまとめる。
15回	**授業テーマ：教員学生討論(2)講義全体のまとめ** 授業内容：土地建物経営に関する講義についての質疑応答を行い、講義全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：ここまでの教科書をよく読み込み、気づいた点や質問事項などをまとめておく。 事後学修 2.0hr：土地建物の経営に関して、この講義で身についたことを自分の言葉でまとめる。

土地と建物の投資

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）・**秦　瑞希**（はだ　みずき）・**原野　啓**（はらの　けい）

▌授業の概要

不動産学は、開発・流通・管理・金融・投資・経営といった 6 つの専門分野(6 つの学群)で構成されている。当科目ではこのうちの「投資」を学修する。1 年次の入門的な科目であることから、身近にある不動産関連の「投資」の概要を知ること、ならびに、受講生の関心を喚起することに主眼を置いている。必要に応じて、経済学・法学・工学との関係についても解説していく。
なお、この科目は、1 年次の必修科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1 ◎/5）

一般目標：この科目の学修を通じて、受講生が、不動産に関連する投資がどのような考え方や仕組みで行われているのか、具体的にイメージできるようになるとともに、2 年次以降の学修に必要な基礎的な知識を修得することを、一般目標とする。
個別目標：①投資および不動産の投資が我々の暮らしにどのような関わりを持っているのかを理解する。
②不動産の投資における企業・政府・個人・グローバルマネーの役割について理解する。

▌履修条件

2025 年度以降入学の 1 年生は、全員履修する必要がある。

▌評価基準・方法

授業中の課題 50 %、期末試験 50 %、及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業内や manaba 等を通じて、随時フィードバックする。また、教員のオフィスアワー等を活用した、積極的な質問・コミュニケーションを歓迎する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生間でディスカッションする機会を設ける）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『2026 年度 土地と建物の金融・投資・経営』(不動産学部オリジナルテキスト)を使用する。

▌参考書

講義内で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方、評価方法を説明するとともに、担当する教員の紹介などを行う。 事前学修 2.0hr：教科書「投資」の第 1 回「ガイダンス」を一通り読んだ上で、疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書「投資」の第 1 回「ガイダンス」を再度読んだ上で、疑問点が解消したか確認する。
2 回	**授業テーマ：投資と資本との関係** 授業内容：投資とは？ 資本とは？ 社会が豊かになる仕組みとしての「投資」と「資本」の関係について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 2 回「投資と資本の関係」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 2 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
3 回	**授業テーマ：投資のしくみ** 授業内容：投資によって生じる収益と利子の関係について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 3 回「土地と建物への投資の仕組み」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 3 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
4 回	**授業テーマ：投資を支える法と制度のしくみ** 授業内容：投資に関連する法制度について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 4 回「投資を支える法と制度のしくみ」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 4 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
5 回	**授業テーマ：不動産投資とは何か** 授業内容：民間資本・社会資本・海外からの不動産投資について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 5 回「不動産投資とは何か」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 5 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
6 回	**授業テーマ：企業による不動産投資** 授業内容：企業による不動産の実物投資について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 6 回「企業による不動産投資」を読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 6 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
7 回	**授業テーマ：実務家等による話題提供(1)** 授業内容：不動産関連の実務家を招聘し、企業による不動産投資の実例について講演を行う。 事前学修 2.0hr：第 6 回の復習、および招聘する企業について事前に下調べをする。 事後学修 2.0hr：実務家からの話題提供を踏まえ、その話題について、自分なりの考えや意見などをミニレポートとして整理する。
8 回	**授業テーマ：不動産投資と都市・まち・地域** 授業内容：不動産投資が、土地・まち・地域の魅力向上と関係が深いことを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 8 回「不動産投資と都市・まち・地域」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 8 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
9 回	**授業テーマ：公的機関による不動産投資** 授業内容：公的部門のよる道路などのインフラ投資・再開発が行われる背景と生産性向上について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 9 回「公的機関による不動産投資」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 9 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
10 回	**授業テーマ：個人による不動産投資** 授業内容：個人事業主によるアパート経営、ワンルームマンション投資、JREIT 投資などについて学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 10 回「個人による不動産投資」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 10 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
11 回	**授業テーマ：実務家等による話題提供(2)** 授業内容：個人による不動産投資のコンサルタント業務などを行っている実務家を招聘し、個人による不動産投資の実例について講演を行う。 事前学修 2.0hr：第 10 回の復習をし、個人による不動産投資を整理しつつ、自分が不動産投資をする場合のシミレーションを行ってみる。 事後学修 2.0hr：実務家からの話題提供を踏まえ、その話題について、自分なりの考えや意見などをミニレポートとして整理する。

12回	**授業テーマ：不動産投資ファンド（1）** 授業内容：ファンドによる不動産投資とはどのようなものか？ その役割や規模について整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 12 回「不動産投資ファンド（1）」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 12 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
13回	**授業テーマ：不動産投資ファンド（2）** 授業内容：不動産投資ファンドに誰が投資しているのか？ 主要な投資家と資金の流れについて整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 13 回「不動産投資ファンド（2）」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 13 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
14回	**授業テーマ：実務家等による話題提供（3）** 授業内容：不動産投資ファンド関連の実務家を招聘し、投資ファンドによる不動産投資の実例について講演を行う。 事前学修 2.0hr：第 12 回・第 13 回の復習をし、投資ファンドによる不動産投資を整理し、質問事項を事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：実務家からの話題提供を踏まえ、その話題について、自分なりの考えや意見などをミニレポートとして整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 14 回までの授業内を振り返るとともに、今後の不動産投資のあり方や 2 年次以降の学修内容などについて、展望する。 事前学修 2.0hr：第 14 回までの内容を踏まえ、教員や他の受講生に聞きたいこと・質問などを整理する。 事後学修 2.0hr：定期テストに向けて、教科書全体を復習する。

土地と建物の流通

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）・**秦　瑞希**（はだ　みずき）・**原野　啓**（はらの　けい）

▌授業の概要

不動産学は、開発・流通・管理・金融・投資・経営といった 6 つの専門分野(6 つの学群)で構成されている。当科目は、このうち「流通」について、学修するものである。

1 年次の入門的な科目であることから、法学・経済学・工学の詳細な内容に触れることよりも、身近にある「流通」の概要を知ること、ならびに、受講生の関心を喚起することに主眼を置いている。

なお、この科目は、1 年次の必修科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1 ◎/5）

一般目標：この科目の学修を通じて、受講生が、土地・建物の流通がどのような考え方や仕組みで行われているのか、具体的にイメージできるようになるとともに、2 年次以降の学修に必要な基礎的な知識を修得することを、一般目標とする。

個別目標：①土地・建物が生活や都市活動において重要な役割を果たしていることを理解する。
②土地・建物が(高額な)商品として取引され、流通する者であること、および、その大まかなメカニズムを理解する。
③土地・建物の取引や流通にあたって、それを担うアクターの役割や支える諸制度を理解する。

▌履修条件

2025 年度以降入学の 1 年生は、全員履修する必要がある。

▌評価基準・方法

授業中の課題 50 %、期末試験 50 %、及び到達目標の達成度に基づき、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業内や manaba 等を通じて、随時フィードバックする。また、教員のオフィスアワー等を活用した、積極的な質問・コミュニケーションを歓迎する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と受講生でディスカッションする機会を設ける。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内の課題等に取り組む。）

▌教科書

『2026 年度 土地と建物の開発・流通・管理』(不動産学部オリジナルテキスト)を使用する。

▌参考書

授業中に、適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方、評価方法を説明するとともに、担当する教員の紹介などを行う。 事前学修 2.0hr：教科書「第Ⅱ編流通」の第 1 回「ガイダンス」を一通り読んだ上で、疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書「第Ⅱ編流通」の第 1 回「ガイダンス」を再度読んだ上で、疑問点が解消したか、確認する。
2 回	**授業テーマ：土地・建物の特性** 授業内容：土地・建物の流通を学ぶ上での導入部分として、土地や建物には、それぞれどのような特性・特徴があるのかを学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 2 回「土地・建物の特性」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 2 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
3 回	**授業テーマ：経済成長と都市、および、不動産との関係** 授業内容：経済の成長と都市の関係について、データ等を通じて確認するとともに、日本の都市化の動向、東京圏の都市化の形態と住まいの変化について、考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 3 回「経済成長と都市、および、不動産との関係」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 3 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
4 回	**授業テーマ：都市計画とまちづくり** 授業内容：都市計画の目的や役割を確認するとともに、都市計画法の概要やまちづくりの内容などについて、学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 4 回「都市計画とまちづくり」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 4 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
5 回	**授業テーマ：土地・建築物に関するルール** 授業内容：土地・建築物に関するルールがなぜ必要なのかを確認した上で、具体的なルールである土地基本法や建築基準法の概要について、学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 5 回「土地・建築物に関するルール」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 5 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
6 回	**授業テーマ：土地・建物の流通のながれ** 授業内容：不動産流通においてどのようなことが重要なのかを確認するとともに、ネット社会における不動産流通の特徴、これからの不動産流通業のあり方などについて、考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 6 回「土地・建物の流通の流れ」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 6 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
7 回	**授業テーマ：不動産の流通と日本の不動産市場(1)データでみる不動産流通市場** 授業内容：主に経済学的な視点から、不動産流通とは何かを確認した上で、データを通じて、日本の不動産市場の特徴について、学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 7 回「不動産の流通と日本の不動産市場(1)」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 7 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
8 回	**授業テーマ：不動産の流通と日本の不動産市場(2)不動産流通市場が形作られた背景と原因** 授業内容：日本における中古住宅市場の現状とその要因を確認するとともに、なぜ空き家が増加しているのかなどについても、主に経済学的な視点から考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 8 回「不動産の流通と日本の不動産市場(2)」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 8 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
9 回	**授業テーマ：流通を支えている実務家からの話題提供** 授業内容：実務家を招いて、実務の観点から、不動産流通に関する最近の話題を提供してもらうとともに、教員や受講生を交えて、ディスカッションをする。 事前学修 2.0hr：流通を支えているレインズなどの仕組みについて、事前の指示に従い、調べる。 事後学修 2.0hr：実務家からの話題提供を踏まえ、その話題について、自分なりの考えや意見などをミニレポートとして整理する。

10回	**授業テーマ：不動産流通を支える仕事** 授業内容：流通(売買、賃貸)の流れに沿って、それらを担う不動産仲介業の仕事内容を確認するとともに、レインズの仕組みなどについて、学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 10 回「不動産流通を支える仕事」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 10 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
11回	**授業テーマ：土地・建物の取引規制・消費者保護の制度** 授業内容：宅地建物業法を中心に、不動産取引規制の概要を確認するとともに、消費者契約法などの消費者保護制度の概要について、学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 11 回「土地・建物の取引規制・消費者保護の制度」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 11 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
12回	**授業テーマ：土地・建物の取引における重要事項説明** 授業内容：不動産契約の場面で重要な役割を果たす重要事項説明について、その概要を確認するとともに、なぜ宅建業者に重要事項説明が義務づけられているのかを考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 12 回「土地・建物の取引における重要事項説明」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 12 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
13回	**授業テーマ：土地・建物の契約、登記** 授業内容：土地・建物契約の流れ・概要を確認するとともに、不動産の登記制度についても、学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 13 回「土地・建物の契約、登記」を一通り読んだ上で、分からない点や疑問点などをチェックする。 事後学修 2.0hr：教科書の第 13 回のワークやポイントを再度確認するとともに、分からない点や疑問点などをチェックする。
14回	**授業テーマ：不動産仲介業の仕事の実際など** 授業内容：実務家を招いて、実務の観点から、不動産仲介業の仕事などに関する最近の話題を提供してもらうとともに、教員や受講生を交えて、ディスカッションをする。 事前学修 2.0hr：不動産仲介業の業務内容などについて、事前の指示に従い、調べる。 事後学修 2.0hr：実務家からの話題提供を踏まえ、その話題について、自分なりの考えや意見などをミニレポートとして整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ：これまでの振り返りと今後の展開** 授業内容：第 14 回までの授業内を振り返るととともに、今後の流通のあり方や 2 年次以降の学修内容などについて、展望する。 事前学修 2.0hr：第 14 回までの内容を踏まえ、教員や他の受講生に聞きたいこと・質問などを整理する。 事後学修 2.0hr：定期テストに向けて、教科書全体を復習する。

土地と建物の開発

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

角野　公一郎（すみの　こういちろう）・**西村　愛**（にしむら　あい）・**浜島　裕美**（はまじま　ひろみ）

▌授業の概要

不動産学は、開発・流通・管理・金融・投資・経営といった 6 つの専門分野(6 つの学群)で構成されている。当科目ではこのうちの「開発」を学修する。授業は大きく二つの内容から構成されており、前半部分では分譲マンション開発についての基礎的知識、後半部分では都市開発についての基礎的知識を修得する。また、前半後半それぞれにおいて、実務家講師による具体的な事例を通じて実際の不動産の開発についての理解を促進する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1 ◎/5）

一般目標：不動産開発にかかる基礎的知識を修得し、現代における不動産開発の在り方について自分なりに考察できるようになることを目指す。

個別目標：・分譲マンション開発にかかる関係法令、プロセス、主体について説明できる。
・都市開発にかかる関係法令、プロセス、主体について述べることができる。
・不動産の開発における価格の考え方、不動産開発がもたらす効果について説明できる。

▌履修条件

2025 年度以降入学の 1 年生は、全員履修する必要がある。

▌評価基準・方法

授業中の課題 50 %、期末試験 50 %、及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等については、翌週の授業あるいは学修システム manaba を通じて返却する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学生・教員間でのディスカッションの機会を設ける）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

2025 年度　土地と建物の開発・流通・管理』(不動産学部オリジナルテキスト)を使用する。

▌参考書

必要に応じて、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方、評価方法、教員紹介を行ったうえで、教員討論(土地と建物の開発で何を学ぶか)を行う。 事前学修 2.0hr：教科書のガイダンス部分を読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
2 回	**授業テーマ：分譲マンションの開発－１(住まいを考える)** 授業内容：開発する対象の「分譲マンション」＝「住まい」について考える。日本における住宅政策の歴史や住まいの種類(戸建てとマンション)について広く学び、住まいを選ぶ・提供するポイントについて考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
3 回	**授業テーマ：分譲マンションの開発－２(分譲マンションを開発する)** 授業内容：マンションを開発するプロセス、マンションづくりに関わる人たち、マンションの多様な形状について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する
4 回	**授業テーマ：分譲マンションの開発－３(分譲マンション市場の概要)** 授業内容：マンション市場の特性として価格について学修するとともに、マンション開発と市場の歴史を学修する。また、マンションの供給や管理の状況の調査方法について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
5 回	**授業テーマ：分譲マンションの開発－４(分譲マンションの住戸価格)** 授業内容：分譲マンションの価格の特徴、不動産の価格の決定の仕方、マンションの異なる住戸(階数、方位、専有面積の違いによる)価格の求め方について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
6 回	**授業テーマ：分譲マンションの開発－５(分譲マンションを建てるプロセスと法)** 授業内容：分譲マンションの種類(マンション、アパート、分譲、賃貸などの用語の定義)、分譲マンション用地の取得に関する契約、分譲マンションの販売に関する法律(マンション法)について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
7 回	**授業テーマ：実務家などの話題提供** 授業内容：分譲マンション開発の具体例について、開発構想、開発経緯、開発手法等を実務家から学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
8 回	**授業テーマ：教員学生討論** 授業内容：分譲マンション開発の講義に関する質疑応答を行うとともに、都市開発についてのイメージを膨らませるために、主な開発事例等について、教員学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
9 回	**授業テーマ：都市開発－１(日本の不動産政策史)** 授業内容：明治期、大正期、昭和前期、第二次世界大戦後復興期・高度経済成長期、安定成長・地価高騰・バブル崩壊期、成熟社会移行期、といった、明治期から今日に至るまでの不動産政策の歴史について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
10 回	**授業テーマ：都市開発－２(都市開発の事業手法)** 授業内容：市街地再開発の事業の目的、整備手法、プロセスについて学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。

11回	**授業テーマ：都市開発－３（都市計画と土地利用）** 授業内容：市街地再開発事業について、都市計画事業として実施する意義、都市計画の決定内容、都市計画と施行者の関係等について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
12回	**授業テーマ：都市開発－４（都市開発に関わるその他の法制度）** 授業内容：都市開発に関わるその他の法制度等の規制、条例の範囲と効力（法律と条例の関係、条例の種類、条例の適用範囲、具体的な条例の内容）、地区協定と住民参加について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
13回	**授業テーマ：都市開発－５（都市開発の効果）** 授業内容：都市開発の効果として、敷地を共同で利用することによる土地利用の効率と資産価値の向上、既成市街地を再開発することによる影響、埋め立て地を開発することによる効果、について学修する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
14回	**授業テーマ：実務家などの話題提供** 授業内容：都市開発の具体例をもとに、合意形成、都市計画変更、エリアマネジメントの手法について実務家から学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。
15回	**授業テーマ：教員学生討論** 授業内容：都市開発に関する講義についての質疑応答を行い、講義全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：教科書の該当ページを読んでくる。 事後学修 2.0hr：学んだことを言語化する。

土地と建物の管理

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前　｜　備考：2025 年度以降入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）・**北原　淳**（きたはら　じゅん）・**金　東煥**（きむ　どんふぁん）・**藤木　亮介**（ふじき　りょうすけ）・**麻　剣英**（ま　けんえい）

▌授業の概要

不動産学は、開発・流通・管理・金融・投資・経営といった 6 つの専門分野(6 つの学群)で構成されている。当科目ではこのうちの「管理」を学修する。土地や建物(不動産)を健全に維持するためには管理が必要である。管理が適切に行われなければ、不動産は管理不全に陥り社会に悪影響を及ぼすようになる。そこで当科目では、不動産に関わる管理の重要性、管理の仕組み、管理に関わるルールなど、管理の基礎的知識を学ぶ。そのうえで、住生活と管理の関係性や管理不全の実態、さらには管理不全に陥らないようにするための方策を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1 ◎/5）

一般目標：不動産の管理に関わる基礎的な知識を身に付け、不動産を健全に維持するための管理手法を修得する。
個別目標：①不動産の管理に関わる基本的な仕組みやルールを説明することができる。
②より良い住環境や住生活を維持するための管理手法を説明することができる。
③不動産の管理不全がおよぼす社会的影響と管理不全防止策を説明することができる。

▌履修条件

2025 年度以降入学の 1 年生は、全員履修する必要がある。

▌評価基準・方法

授業中の課題 50 %、期末試験 50 %、及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業内や manaba 等を通じて、随時フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内容を踏まえた調査・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『2026 年度　土地と建物の開発・流通・管理』(不動産学部オリジナルテキスト)を使用する。

▌参考書

必要に応じて紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の進め方、評価の方法など、当科目を履修する上で必要となる注意事項を解説する。 事前学修 2.0hr：不動産に関わる管理について調べる。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：不動産管理の基礎-1（様々な土地・建物を健全に管理する）** 授業内容：不動産管理の全体像についてその概要を把握する。そのうえで、建物の管理を例にして維持管理と運営管理について学ぶ。また、建物の管理だけでなく土地の管理についても事例を交えて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 2 回　不動産管理の基礎-1)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。
3 回	**授業テーマ：不動産管理の基礎-2（管理に関わるルール）** 授業内容：不動産管理に関わる様々なルール(法律)を学ぶ。 具体的には、デパートなどの大きな建物に関わるビル管理法、分譲マンションに関わる区分所有法やマンション管理適正化法、賃貸アパートなどに関わる賃貸管理適正化法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 3 回　不動産管理の基礎-2)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。
4 回	**授業テーマ：不動産管理の基礎-3（維持管理が社会に与える影響）** 授業内容：不動産の管理が社会に与える影響、土地・建物の価値に与える影響、住宅地(地域)に与える影響を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 4 回　不動産管理の基礎-3)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。
5 回	**授業テーマ：教員学生討論** 授業内容：これまでの授業を振り返るとともに、今後の授業内容をテーマにした教員による討論を行う。 またそれを踏まえて、学生・教員で意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：教科書やノートで第 2 回・第 3 回・第 4 回授業の復習を行う。 事後学修 2.0hr：教員による討論を踏まえて、ここまでの授業内容を振り返る。
6 回	**授業テーマ：実務家等の話題提供(賃貸住宅管理)** 授業内容：賃貸住宅管理業者による講演。賃貸住宅管理の現状や課題、ならびに今後の展望について考察する。 事前学修 2.0hr：賃貸住宅管理業者の業務内容について、事前に調べる。 事後学修 2.0hr：講演内容をまとめ、賃貸住宅管理の課題や解決策を考察する。
7 回	**授業テーマ：住生活と管理-1（戸建住宅地の管理）** 授業内容：住宅地の特徴、ならびに戸建て住宅地の管理と住環境との関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 7 回　住生活と管理-1)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。
8 回	**授業テーマ：住生活と管理-2（集合住宅(マンション)の管理）** 授業内容：戸建住宅・アパート・マンションの違いを把握するとともに、マンション管理の必要性を学ぶ。また、マンションの管理組合が行う管理の内容について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 8 回　住生活と管理-2)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。
9 回	**授業テーマ：住生活と管理-3（コミュニティと管理）** 授業内容：コミュニティと自治会の関係、地域の自治会の役割、コミュニティが必要な理由など、コミュニティと管理の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 9 回　住生活と管理-3)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。

10回	**授業テーマ：教員学生討論** 授業内容：これまでの授業を振り返るとともに、今後の授業内容をテーマにした教員による討論を行う。 またそれを踏まえて、学生・教員で意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：教科書やノートで第 7 回・第 8 回・第 9 回授業の復習を行う。 事後学修 2.0hr：教員による討論を踏まえて、ここまでの授業内容を振り返る。
11回	**授業テーマ：実務家等の話題提供(マンション管理)** 授業内容：マンション管理会社による講演。マンション管理の現状や課題、ならびに今後の展望について考察する。 事前学修 2.0hr：マンション管理会社の業務内容について、事前に調べる。 事後学修 2.0hr：講演内容をまとめ、マンション管理の課題や解決策を考察する。
12回	**授業テーマ：管理不全を防ぐ-1（管理不全がもたらす外部不経済と行政の対応）** 授業内容：管理不全土地・建物が社会に与える影響(外部不経済)、ならびに管理不全を防ぐために行われている行政の対応について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 12 回　管理不全を防ぐ-1)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。
13回	**授業テーマ：管理不全を防ぐ-2（所有者不明土地・空き家問題）** 授業内容：所有者がわからない土地が発生する理由とその対策を学ぶ。また、空き家問題に関わる行政による条例や法律(空家特措法)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 13 回　管理不全を防ぐ-2)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。
14回	**授業テーマ：管理不全を防ぐ-3（管理不全マンション）** 授業内容：管理不全マンションとはどういうものか、管理不全マンションが発生する過程、管理不全マンションの発生予防措置について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書(第 14 回　管理不全を防ぐ-3)を読んで重要な点を確認し、分からない内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：教科書やノートで授業内容を復習すると共に、当授業回で学んだ内容に関連する具体的な事例を調べる。
15回	**授業テーマ：教員学生討論** 授業内容：これまでの授業のまとめとして、教員による討論を行う。 またそれを踏まえて、学生・教員で意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：教科書やノートでこれまでの授業の復習を行う。 事後学修 2.0hr：教員による討論を踏まえて、全 15 回の授業を振り返る。

法と社会ａ

開講学科等：不　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前　｜　備考：2025 年度以降入学生

浜島　裕美（はまじま　ひろみ）

▌授業の概要

本授業では、不動産を学ぶ上で避けて通れない法律を学ぶ。不動産の管理・流通・開発・金融・投資・経営の場面のいずれの場面においても、法律は不可欠の知識であり、いずれの活動も規制の対象となりうる。本講義は法律の体系や基礎知識を学修するとともに、不動産学に特に関連する法律のうち、主に私法に属する法律を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2 ◎）

一般目標：不動産学を構成する一分野である法学について、基本的な知識を身につける。
　　法学のうち、主に不動産学に関連する私法分野の法律について、基本的な知識を身につける。
個別目標：①法の分類・効力・適用・解釈を理解できる。
　　②民法全体の大まかな構造を理解し、管理・流通・開発・金融・投資・経営活動との関連を理解できる。
　　③借地借家法・区分所有法の大まかな構造を理解し、管理・流通・開発・金融・投資・経営活動との関連を理解できる

▌履修条件

2025 年度以降入学生は、全員履修する必要がある。

▌評価基準・方法

各回の講義の事前学修課題と各回の講義内の小テストが 40 %、中間テストと期末テストが 60 %、その他課題の取り組み状況を総合的に判断して評価する。

▌フィードバック方法

事前学修課題・小テスト・中間試験・定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前学修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

それぞれの回のテーマに応じて適宜指示する。

▌参考書

それぞれの回のテーマに応じて適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・授業の進め方** 授業内容：ガイダンス。授業の進め方や評価方法を説明し、授業内容の概要などを紹介する。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読み、授業の進め方や評価方法を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
2 回	**授業テーマ：法の分類・効力・適用・解釈** 授業内容：法律を学修するにあたって最も基本的な知識を学ぶ。法律の分類、法律の効力、適用のルール、解釈の方法などについて、実際の事例を取り上げて実践的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
3 回	**授業テーマ：民法総則　その 1 人・法人・物** 授業内容：民法第 1 章、民法総則を学ぶ。1 回目は主に権利能力の主体と客体について、条文と判例を見ながら民法の考え方を紹介する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
4 回	**授業テーマ：民法総則　その 2 法律行為・期間計算・時効** 授業内容：民法第 1 章、民法総則の 2 回目は、法律行為と期間計算、時効について学ぶ。法律行為の内容は資格試験でも出やすいことから、実際の試験問題も取り上げながら学修する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
5 回	**授業テーマ：物権法　占有・所有権・地上権・永小作権・地役権** 授業内容：民法第 2 章、物権編を学ぶ。第 1 回目は民法で規定されている物権について、それぞれの特徴と違い、権利の行使方法などを学修する。不動産と物権は大変関係が深いことから、他の法律とも比較しながら説明する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
6 回	**授業テーマ：担保物権法　留置権・先取特権・質権・抵当権** 授業内容：民法第 2 章、物権編を学ぶ。第 2 回目は担保物権を学修する。担保物権のうち、特に抵当権は不動産取引では頻繁に利用されていることから、その役割と特徴について詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
7 回	**授業テーマ：債権法　その 1 債権各論** 授業内容：民法第 3 章、債権編を学ぶ。第 1 回目は契約、事務管理、不当利得、不法行為という債権各論について紹介する。中でも契約法は現代社会では日々、頻繁に行われることから、その重要性と実際に起こっているトラブル事例なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
8 回	**授業テーマ：債権法　その 2 債権総則** 授業内容：民法第 3 章、債権編を学ぶ。第 2 回目は債権総論を対象とする。債権総論は、債権の種類や効力、多数当事者の場合や債権を譲渡する場合など、抽象的な内容が多く、民法の中でも難しいとされていることから、身近な例を取り上げてわかりやすく説明する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
9 回	**授業テーマ：民法　親族法** 授業内容：民法第 4 章　親族編を学ぶ。家族は社会の基本単位とされており、家族を作る婚姻や親子関係、親権と後見について紹介する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。

10回	**授業テーマ：民法　相続法** 授業内容：民法第 5 編、相続編を学ぶ。相続は人の死から始まる財産承継の一つの手段である。人が生物である以上、避けては通れない手続であり、相続財産に不動産が含まれる場合の注意点などについて紹介する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
11回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：ここまでの内容に関する中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容をよく復習し、深く考察の上テストに臨む。 事後学修 2.0hr：テスト内容を思い出して復習をしておく。
12回	**授業テーマ：借地借家法　その 1 民法との関係・借地権** 授業内容：借地借家法のうち借地権について学ぶ。借地借家法は民法の特別法であることから、民法と異なる規定の範囲と内容、借地権の適用範囲と効力について説明する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
13回	**授業テーマ：借地借家法　その 2 定期借地権・借家権** 授業内容：借地借家法の借地権の続き、定期借地権と、借家権について学ぶ。定期借地権の制定理由とその利用状況、借家権の範囲と効力、定期借家について紹介する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
14回	**授業テーマ：区分所有法　その 1 共用部分、敷地利用権、管理組合法人など** 授業内容：区分所有法(建物の区分所有等に関する法律)を学ぶ。この法律も民法の特別法であることから、特別法が制定された理由と適用範囲、特徴と問題点について説明する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。
15回	**授業テーマ：区分所有法　その 2　所有者不明専有部分管理命令、管理不全専有部分管理命令及び管理不全共用部分管理命令など** 授業内容：区分所有法は令和 8 年 4 月 1 日から改正法が施行される。新たに所有者不明の区分所有者や所在不明の区分所有者などへの対応が規定されたことから、主にその内容について説明する。 事前学修 2.0hr：指示された文献や参考資料、ネットなどで授業テーマに関する情報をまとめ、事前学修課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業内容を再度確認し、自分の言葉でまとめておく。

法と社会 b

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）

▌授業の概要

本講義では、不動産の公共的な領域・分野に着目しつつ、社会における法の機能の役割、各種の法制度・政策とそれらの背後にある考え方について、学修していきます。1 年次に学修した「土地・建物の開発」などとも関連します。

なお、事前学修資料や講義資料等を manaba で公開するので、必ず毎回講義の事前・事後に、manaba にアクセスすること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2 ◎）

一般目標：不動産の公共的な領域・分野における法制度・政策の基本的な考え方、関連する法令・制度の内容およびその背景を深く考察できるようになることを、本講義の一般的到達目標とします。

個別目標：各種法制度・政策の基本的な事項を説明できること、法制度・政策の特徴や課題を説明できること、関連する法令を読み込めるようになることを、本講義の個別目標とします。

▌履修条件

2025 年度以降入学生の必修科目です。

▌評価基準・方法

期末試験 (60%) および定期的な課題等 (40%) によって総合的に評価します。なお、講義や課題等への積極的な取り組みはプラスに評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌週の授業内や manba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （受講生相互のディスカッションやワークに取り組む。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内の課題等に取り組む。）

▌教科書

教科書は特に用いません。manaba に事前学修資料や講義資料等をアップします。

▌参考書

適宜、紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講義の目的、概要、進め方などについて、確認する。 事前学修 1.5hr：事前準備として、シラバスに目を通した上で、疑問点等をメモすること。また、本シラバスを印刷し、講義に持参すること。 事後学修 2.5hr：講義を踏まえ、開発行政法の学修の目的・意義などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
2 回	**授業テーマ：社会における法の役割・機能を考える。** 授業内容：「社会あるところに法あり」と言われるが、法は現実の社会の中でどのような役割や機能を果たしているのかについて、法社会学の知見等を踏まえながら、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、社会における法の役割・機能などに関し、manba 等で提示された課題シート等を完成させること。
3 回	**授業テーマ：憲法の財産権保障と公共の福祉との関係などについて考える。** 授業内容：国家と私人との関係を規律するのが公法であり、その中核にあるのが憲法である。まず、憲法の意義、役割を考察したうえで、とりわけ不動産の公共的な領域と関わりの深い財産権保障と公共の福祉との関係について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、憲法の特色等に関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、財産権と公共の福祉との関係などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
4 回	**授業テーマ：不動産の公共的な領域・分野と行政の役割について考える。** 授業内容：不動産の公共的な領域・分野にはどのようなものがあるのかを整理するとともに、それらの公共的な領域・分野を支える行政の役割・機能について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、不動産の公共的な領域・分野などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、不動産の公共的な領域・分野と行政の役割等について、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
5 回	**授業テーマ：日本における土地政策や都市政策の特徴や課題などについて考える。** 授業内容：土地基本法や国土利用計画法などの土地政策の基本となる法制度の特徴や課題、都市計画法や都市再生特措法などの都市政策の基本となる法制度の特徴や課題などについて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、土地基本法や都市計画法などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、土地政策や都市政策の特徴・課題などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
6 回	**授業テーマ：都市計画をめぐる法的特徴・課題について考える。** 授業内容：現代の行政活動において、行政計画は重要な役割を果たしている。また、都市計画は行政計画の代表例である。行政計画という側面から、都市計画の法的特徴・課題等を考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、行政計画の内容、都市計画の内容などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、都市計画をめぐる法的特徴・課題などに関し、manba 等で提示された課題シート等を完成させること。
7 回	**授業テーマ：建築規制をめぐる法的特徴・課題について考える。** 授業内容：建物を建てるにあたっては、各種の建築規制がある。建築基準法の基本的な考え方、建築確認制度の意義、仕組みなど、建築規制をめぐる法的特徴・課題等を考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、建築基準法の基本的な考え方などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、建築基準法や建築確認制度の法的特徴・課題などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
8 回	**授業テーマ：都市計画事業に関わる法的特徴・課題について考える。** 授業内容：道路整備などの都市計画事業では、事業を円滑に進めるために、建築行為の制限などのさまざまな仕組みがある。都市計画事業の概要やさまざまな仕組み、その法的特徴・課題等ついて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、都市計画事業の概要、建築行為の制限などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、都市計画事業の概要、建築行為の制限などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。

9回	**授業テーマ：土地区画整理事業をめぐる法的特徴・課題について考える。** 授業内容：市街地の面的整備において、土地区画整理事業は重要な役割を果たしてきている。換地処分、減歩などの土地区画整理事業の原理、その法的特徴・課題等について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、土地区画整理事業の概要、事業の原理などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、土地区画整理事業の概要、事業の原理などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
10回	**授業テーマ：市街地再開発事業をめぐる法的特徴・課題について考える。** 授業内容：市街地整備において、市街地再開発事業は重要な役割を果たしてきている。第一種再開発事業における権利変換などの市街地再開発事業の原理、その法的特徴・課題等について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、市街地再開発事業の概要、事業の原理などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、市街地再開発事業の概要、事業の原理などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
11回	**授業テーマ：住宅政策をめぐる法的特徴・課題について考える。** 授業内容：人びとの居住を支える住宅は、私たちの社会において重要な役割を果たしている。住宅政策をめぐる法制度として、住生活基本法や住宅セーフティネット法などをとりあげ、その法的特徴・課題等について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、住生活基本法や基本計画などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、住宅政策をめぐる法的特徴・課題などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
12回	**授業テーマ：まちづくりに関わるルールや担い手について考える。** 授業内容：まちづくりでは、法律だけではなく、各地の「まちづくり条例」など、条例も重要な役割を果たしている。法律と条例の関係、まちづくりに関わる条例の事例などを考察する。あわせて、行政以外のまちづくりの担い手についても考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、まちづくりに関わるルールに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、まちづくりに関するルールや担い手等に関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
13回	**授業テーマ：良好な都市景観を形成するための法制について考える。** 授業内容：近年、景観行政の重要性が指摘されている。景観法を中核とした景観法制の意義、特徴などについて考察するとともに、景観まちづくりに力を入れている事例などを紹介する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、都市景観法制などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、都市景観法制などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
14回	**授業テーマ：都市縮退化時代における法制度や政策の役割を考える。** 授業内容：日本全体が人口減少時代に突入する中、都市の縮退化現象を意識した法制度や政策の構築が課題となっている。コンパクトシティへの誘導など、都市縮退化時代における法制度や政策の果たすべき役割や課題等を考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、都市縮退化などの問題に関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、都市縮退化などに対処する法制度や政策に関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
15回	**授業テーマ：講義全体のまとめをおこなう。** 授業内容：講義全体をふりかえるとともに、あらためて、不動産の公共的な領域・分野における法制度・政策のあり方を展望する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、講義全体の疑問点・重要点等を整理すること。 事後学修 2.0hr：講義全体を振り返り、各回のポイント及び本講義の意義・目的に関し、manaba 等で提示されたまとめシート等を完成させること。

経済と社会 a

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

原野　啓 (はらの　けい)

▌授業の概要

第 1 の目的は，経済学を初めて学ぶ不動産学部学生を対象に，経済活動を分析するツールとしての経済学を学修し，不動産市場に関する分析力を養うことである. 第 2 の目的は，経済学は資源配分の効率性という客観的な指標を用いて経済活動を分析・評価することが可能であり，その分析や評価には個人の価値観や主観が反映されないことを学修することである. 第 3 の目的は、市場は必ずしも余剰を最大化するわけでは無いため、政府による介入が必要となることを理解することである.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2 ◎）

一般目標：不動産市場をはじめとした実際の市場について，ごく簡単な分析ができる．また，その分析結果は，資源配分の効率性という観点において普遍的な結果であることを理解できる.

個別目標：(1) 需要曲線，供給曲線の意味を理解できる.
(2) 市場均衡の変化を分析できる.
(3)「余剰」の意味を理解し，簡単な余剰分析ができる.
(4) 市場の失敗と政府の役割を理解できる.

▌履修条件

特にはないが、初回の講義に必ず出席すること．ノートを作ること. 授業資料を印刷すること. 必修科目であることを確認すること.

▌評価基準・方法

講義中に実施する演習・小テスト 40 %，期末試験 60 %で評価する．詳細は初回講義時に説明するので，必ず出席すること.

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、翌週の授業冒頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しない．レジュメ(講義ノート)を manaba 等で配布するので，各自ダウンロードして持参すること.

▌参考書

『マンキュー経済学 I ミクロ編(第 4 版)』，2019，N・グレゴリー・マンキュー，東洋経済新報社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス/需要の決定要因** 授業内容：この授業に関する「講義内容」「講義方法」「成績評価方法」「その他注意事項」について、説明する。説明終了次第、講義に入る。需要がどのような要因で決定するのかを学修する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み講義の受け方を確認する。レジュメを読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメ「2. 需要曲線」を復習し、個人の需要の決定要因について確認する。小テストに再度取り組み理解を深める
2 回	**授業テーマ：需要曲線の性質** 授業内容：需要の決定要因について復習した後、需要曲線を導出する。また、需要曲線がどのようなときに、どのように変化するのかについて学修する。さらに、個人の需要と市場の需要の違いを明確にし、市場の需要曲線について学修する。これにより、需要曲線の変化について、さらに学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「2. 需要曲線」から「個人の需要と市場の需要」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメ「個人の需要と市場の需要」について復習し、小テストと例題に再度取り組み理解を深める
3 回	**授業テーマ：供給の決定要因** 授業内容：供給がどのような要因で決定するのかを学修し、それに基づいて供給曲線を導出する。また、供給曲線がどのようなときに、どのように変化するのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「3. 供給曲線」から「個別の供給量の決定」「市場の供給と個別の供給」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「個別の供給量の決定」「市場の供給と個別の供給」について復習し、小テストに再度取り組み理解を深める
4 回	**授業テーマ：供給曲線の性質** 授業内容：供給曲線について、個別企業の供給と市場全体の供給の違いを明確にし、市場の供給曲線について学修する。これにより、供給曲線の変化について、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：レジュメ「3. 供給曲線」から「供給曲線のシフト」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「供給曲線のシフト」について復習し、小テストと例題に再度取り組み理解を深める
5 回	**授業テーマ：家賃と賃貸物件数の決まり方－市場均衡とは何か** 授業内容：需要曲線と供給曲線を利用して、均衡について学修する。また、ある財の需給を決定する要因が変化した際に、均衡がどのように変化するのかを検討する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「4. 市場均衡」から、「市場均衡」「均衡の達成プロセス」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「市場均衡」を復習し、「超過供給」と「超過需要」および「均衡の達成プロセス」について復習する
6 回	**授業テーマ：市場均衡の変化－三段階アプローチ** 授業内容：均衡の変化について、三段階アプローチを利用して学修する。曲線上の移動なのか、曲線の変化なのか、どちらの曲線で生じた変化なのかを整理することで、価格と取引量にどのような変化をもたらすかを確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「4. 市場均衡」から、「均衡の変化を分析する 3 段階アプローチ」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「均衡の変化を分析する 3 段階アプローチ」について復習し、市場均衡・価格・取引量の変化について復習する
7 回	**授業テーマ：価格による資源配分** 授業内容：これまでの議論が、不動産(土地・戸建て・マンション)といった、個人が人生で 1 つだけ利用するような財にも当てはめることが出来ることを学修する。これまでの議論を不動産市場に当てはめて検討し、需給曲線による分析の妥当性を確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「4. 市場均衡」から、「価格による資源配分」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「価格による資源配分」について復習し、経済分析が不動産市場の分析に利用できることを復習する
8 回	**授業テーマ：消費者余剰とは何か** 授業内容：需給曲線を用いて、市場の効率性を計測することが可能であることを学修する。まず、消費者(=需要側)の効率性の計測方法について学修しつつ、需要曲線の持つ意味を再確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「5. 余剰と市場の効率性」から、「消費者余剰」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「消費者余剰」について復習し、小テストに再度取り組み理解を深める

9回	**授業テーマ：生産者余剰とは何か** 授業内容：生産者(=供給側)の効率性の計測方法について学修し、生産者余剰とはどういったものであるかを理解する。さらに、供給曲線の持つ意味を再確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「5. 余剰と市場の効率性」から、「生産者余剰」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「生産者余剰」について復習し、小テストに再度取り組み理解を深める
10回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(家賃規制)** 授業内容：余剰分析を利用して、不動産関連の経済政策について分析を行い、効率性が失われる(=死荷重が発生する)ことについて学修する。ここでは、家賃規制について学修し、直感的には社会的弱者のために資するものであっても、必ずしもそのような結果をもたらさないことを示す。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「家賃統制」について予習する 事後学修 2.0hr：「家賃統制」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
11回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(建築規制)** 授業内容：建築規制として、高さや建築数を規制した場合、効率性が失われる(=死荷重が発生する)ことについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「マンションの建築規制」について予習する 事後学修 2.0hr：「マンションの建築規制」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
12回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(マンション税)** 授業内容：ワンルームマンション税を例にして、税制が市場におよぼす影響について学修する。ここでも、税制によって効率性が失われる(=死荷重が発生する)ことを明らかにする。ただし、社会インフラの整備には税金が必要不可欠であるため、それらのバランスをとることの重要性について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「ワンルームマンション税」について予習する 事後学修 2.0hr：「ワンルームマンション税」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
13回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(税の公平性・中立課税)** 授業内容：税制は需要側と生産者側のどちらの負担を増やすことになるのかについて学修する。課税がもたらす市場への影響について、ワンルームマンション税と土地課税を例にして確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「税の公平性・中立課税」について予習する 事後学修 2.0hr：「税制」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
14回	**授業テーマ：住宅政策における政府の役割と市場の失敗(家賃補助)** 授業内容：政府が土地・住宅問題に介入する理由について考えた上で、家賃補助政策の余剰分析について学修する。家賃補助政策が、需給曲線にどのような影響を及ぼすのかについて学修し、政府の役割について検討する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「家賃補助」について予習する 事後学修 2.0hr：「家賃補助」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
15回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(まとめ)** 授業内容：ここまでの学修内容を整理し、個別の政策は資源配分を歪める可能性があり、市場全体を見渡して資源配分が効率的になるような政策実施が重要であることについて確認する。 事前学修 4.0hr：これまでの講義内容を復習し，分からないところを確認する 事後学修 4.0hr：質問して理解した点を踏まえて，これまでの全てのレジュメの例題や小テストに再度取り組み理解を深める

経済と社会b/マクロ経済学

開講学科等：不 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2025年度以降入学生/2024年度以前入学生

金　東煥（きむ　どんふぁん）

▌授業の概要

本講義「経済と社会」は、マクロ経済学の基本的な考え方を基礎として、日本経済および日本の不動産市場を理解することを目的とする。本講義では、国全体の総生産が物価、賃金、雇用、国際収支、為替等の各経済主体間にどのように相互作用して、経済と不動産市場に与える影響を学習する。特に、消費関数・投資関数、政府投資増加が国民所得に与える効果を分析する乗数モデル、財市場と貨幣市場を分析するIS-LMモデル、総需要・総供給モデル(AD-ASモデル)、IS-LMモデルを海外に拡張するマンデルフレミングモデルに加えて、マクロ経済変数が不動産市場に与える影響等を学習する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025年度以降入学生社会デザイン専攻2◎/6、不動産鑑定専攻2◎、2024年度以前入学生1）

一般目標：GDP、インフレ等のマクロ経済変数を理解し、貨幣の需給変動、租税、公共負債等による財政政策の効果、通貨金融政策等のマクロ経済分析方法を習得し、一国経済全体の動向を知る。また、マクロ経済と不動産市場の関係を理解し、新聞、ニュースで扱う日本経済と不動産市場の状況を説明できる。

個別目標：① GDP、物価、雇用、通貨等の一国の経済全体の動向がどのようなメカニズムで決定されるかについて説明できる。
②乗数モデル、IS-LMモデル、AD-ASモデル等のマクロ経済分析モデルを理論に合わせて作成できる。
③日本政府の財政政策と日本銀行の金融政策について、理解できる。
④マクロ経済変数(金利、インフレ、為替等)が不動産市場に与える影響について説明できる。

▌履修条件

履修条件は、特にないが、以下の講義準備をしてから、講義参加すること。
1. 毎回の講義前に、manabaで講義資料をダウンロードして、読んでから授業に参加すること。
2. 講義には、四則演算程度の数学的な内容が含まれているため、数学的知識は各自勉強すること。

▌評価基準・方法

原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
成績は、毎回実施する小テスト・課題40％、定期試験60％の割合で評価する。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、翌週の授業冒頭で行う。小テストの採点結果は学修支援システムmanabaを通して行う。定期試験のフィードバックは成績確定後、個別要請に応じて対応する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義中に学生自ら授業内容を調べて、知識情報を再度確認する。）

▌授業でのPCの利用（利用内容）

あり （PC持参要(授業中のアクティブラーニングとマクロ経済動向を調査、manaba経由で小テストを実施)）

▌教科書

講義資料(レジュメ)等事前配付資料あり。
必要に応じて教科書を追加指示する。

▌参考書

宮尾龍蔵、「コア・テキストマクロ経済学」第2版(2017年)、新世社
坂上智哉・小葉武史、「マクロ経済学入門(第2版)トリアーデ経済学(2021年)」、日本評論社
D・ディパスクェル/W・C・ウィートン(訳：瀬古美喜・黒田達朗)「都市と不動産の経済学」、創文社
必要に応じて追加指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、マクロ経済学と不動産市場の概要説明** 授業内容：授業方法や成績評価等の授業ガイダンスを説明する。マクロ経済学の基本的考え方と不動産市場について講義する。 事前学修 2.0hr：シラバス・講義資料を読んで講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、マクロ経済学と不動産市場の関係を考える。
2回	**授業テーマ：GDP（国内総生産)と物価 1** 授業内容：GDPの構成要素、GDPの三面等価の原則、物価指数について講義する。GDP成長と不動産市場の関係を学習する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、GDPについてイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料(GDPと物価、不動産市場)を復習する。
3回	**授業テーマ：GDP（国内総生産)と物価 2：名目GDPと実質GDP** 授業内容：名目GDPと実質GDPの算出方法、消費者物価指数を算出方法について学修する。日本の経済成長と地価・不動産価格の推移を学習する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、GDPの同時決定についてイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料(GDPと物価)を復習する。
4回	**授業テーマ：消費関数(ケインズモデル等、住宅需要)** 授業内容：ケインズ型の消費関数はどのような要素で構成されているかについて学修する。フィッシャーの2期間モデル、ライフサイクル仮説等の消費関数についても紹介する。住宅需要について学習する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、消費関数と住宅需要のイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料(消費関数と住宅需要)を復習する。
5回	**授業テーマ：投資関数と不動産投資** 授業内容：ケインズ型の投資関数はどのような要素で構成されているかについて学修する。新古典派の投資理論とトービンq理論についても紹介する。不動産投資について学習する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、投資関数のイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料(投資関数と不動産投資)を復習する。
6回	**授業テーマ：貨幣1（貨幣市場・貨幣乗数・預金創造）** 授業内容：貨幣の機能や定義、マネタリーベースとマネーサプライ、貨幣乗数について学修する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料(貨幣)を読み、貨幣市場のイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料(貨幣市場)を復習する。

7回	**授業テーマ：貨幣 2（貨幣の需要供給関係と利子率、不動産市場と貨幣市場）** 授業内容：貨幣の信用創造について学修する。金利が住宅ローンと不動産投資に与える影響を学習する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料（貨幣の需要供給）を読み、貨幣市場の需要供給と利子率の関係をイメージする。 事後学修 2.0hr：講義資料（貨幣の需要供給と不動産との関係）を復習する。
8回	**授業テーマ：乗数モデル分析（45 度線分析、乗数効果）** 授業内容：45 度線分析を用いて、財サービス市場を均衡させる国民所得の需給均衡について学修する。乗数効果による国民所得の増加が、不動産市場に与える影響について学修する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料（乗数モデル分析）を読み、国民所得に対する乗数効果のイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料（乗数モデル分析と不動産市場）を復習する。
9回	**授業テーマ：IS-LM 分析 1（IS 曲線・LM 曲線）** 授業内容：IS 曲線と LM 曲線の導出について学修する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料（IS-LM）を読み、IS 曲線-LM 曲線のイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料（IS-LM 分析）を復習する。
10回	**授業テーマ：IS-LM 分析 2（財政・金融政策効果と不動産市場への波及）** 授業内容：IS 曲線と LM 曲線を用いる分析について学修する。財政政策・金融政策が不動産市場に与える影響を IS-LM モデルで考察する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：IS-LM 分析と不動産市場について、関連資料を調べて幅広く・深く学習する。 事後学修 2.0hr：講義資料（IS-LM 分析と不動産市場）を深く復習する。
11回	**授業テーマ：総需要・総供給（AD-AS モデル）分析 1** 授業内容：総需要曲線と総供給曲線の導出について学修する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料（総需要・総供給分析）を読んで、総需要・総供給モデル分析のイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料（総需要・総供給分析）を深く復習する。
12回	**授業テーマ：総需要・総供給（AD-AS モデル）分析 2（総需要曲線・総供給曲線のシフト、不動産市場への波及）** 授業内容：総需要曲線と総供給曲線を用いる分析について学修する。総需要と総供給モデル（AD-AS モデル）を用いて、不動産市場への影響を考察する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料（総需要・総供給分析）を読んで、総需要・総供給モデルの政策分析のイメージを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料（総需要・総供給分析、不動産市場への影響）を深く復習する。
13回	**授業テーマ：国際マクロ経済と為替レート（国際マクロ経済と為替レートの概要等）** 授業内容：国際収支と為替レートの決定理論について学修する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料（国際マクロ経済と為替レート）を読み、国際マクロ経済の概要と為替レートの仕組みを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料（国際マクロ経済と為替レート）を復習する
14回	**授業テーマ：国際マクロ経済と日本不動産市場（マンデルフレミングモデル、国際経済の日本不動産市場への影響）** 授業内容：国際マクロ経済モデルのマンデルフレミングモデルについて、学修する。国際マクロ経済と為替レートの変動が日本不動産市場に与える影響（インバウンド・アウトバウンド投資）を考察する。学修内容について、小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：講義資料（国際マクロ経済と日本不動産市場）を読み、国際マクロ経済の概要と為替レートの仕組みを考える。 事後学修 2.0hr：講義資料（国際マクロ経済と日本不動産市場）を復習する。
15回	**授業テーマ：日本のマクロ経済と不動産市場** 授業内容：日本のマクロ経済と不動産市場の関係について深く考察する。「経済と社会 b/マクロ経済学」の講義全体について、総括する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、日本の財政政策・マクロ経済の現況と不動産市場の課題を考える。マクロ経済学講義の内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：講義資料を復習し、問題点を深く考える。

工学と社会ａ

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

小杉　学 (こすぎ　まなぶ)

▌授業の概要

「工学」とは、数学と自然科学を基礎とし、ときには人文社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問である。本講義では、都市工学、すなわち都市に関する工学の基本について学修する。都市工学で学ぶ内容の多くは、快適な都市環境を構築するための制度(都市計画法など)や技術(市街地開発など)であるが、本講義では、制度や技術そのものではなく、社会との関係について理解することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2 ◎）

一般目標：・都市工学の基本的な制度や技術について理解する。
・都市工学の制度や技術が、どのような社会背景、社会問題のもとで形成されたのか理解する。
・都市工学の制度や技術が、どのような社会を形成したのか、また、どのような社会問題を新たに生み出したのかを理解する。

個別目標：・都市工学の基本的な制度や技術について説明できる。
・都市工学の制度や技術が、どのような社会背景、社会問題のもとで形成されたのか説明できる。
・都市工学の制度や技術が、どのような社会を形成したのか、また、どのような社会問題を新たに生み出したのか説明できる。

▌履修条件

なし。

▌評価基準・方法

定期試験(最終試験) 60 %、授業中に行う確認テストまたはレポート等 40 %で評価する。ただし、初回授業でこの割合の変更を告知することもあるので注意すること。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （あり(反転学修を行う。教科書による事前学修を授業前に行い、教室で確認テストとその解説、補足事項の説明を行う。)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教員が作成するオリジナルテキストを配布予定。
オリジナルテキストを配付できない場合は、毎回資料を紙または manaba から PDF ファイルで配付する。

▌参考書

なし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：欧米の近代都市工学１｜オスマンのパリの改造｜ロンドン市建築条例** 授業内容：社会：産業革命｜過密｜不衛生｜交通渋滞｜治安悪化 工学：インフラ整備｜土地収用｜超過収用｜沿道建物の基準 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
2回	**授業テーマ：欧米の近代都市工学２｜ハワードの田園都市｜レッチワース** 授業内容：社会：産業革命｜過密｜都市の拡大｜不衛生｜高家賃｜鉄道 工学：都市と田園の融合｜職住近接｜衛星都市｜ニュータウン｜グリーンベルト｜人口制限｜開発利益の再投資 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
3回	**授業テーマ：欧米の近代都市工学３｜ 300 万人の現代都市｜ヴォアザン計画** 授業内容：社会：工業化都市｜過密｜迷路｜自動車社会の到来｜高層建築の可能性 工学：タワーインザパーク｜機能分離｜自動車のための道路網｜巨大交通ターミナル 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
4回	**授業テーマ：欧米の近代都市工学４｜近隣住区理論｜ラドバーン団地** 授業内容：社会：モータリゼーション｜交通渋滞｜交通事故｜通過交通｜郊外化｜コミュニティ希薄化 工学：近隣住区｜小学校区｜幹線道路｜オープンスペース｜徒歩圏｜歩車分離｜クルドサック｜ HOA 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
5回	**授業テーマ：サスティナブル・コミュニティ｜エッジシティ｜ビレッジホームズ｜ニューアーバニズム** 授業内容：社会：自動車依存｜スプロール｜自然破壊｜ NIMBY ｜没場所性(プレイスレスネス)｜ブラウンフィールド 工学：ウォーカビリティ｜ TOD ｜ミクストユース｜ダイバーシティ｜小規模街区｜ FBC (形態規制) 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
6回	**授業テーマ：日本の近代都市工学１｜銀座煉瓦街｜日比谷官庁集中計画｜市区改正** 授業内容：社会：明治維新｜富国強兵｜文明開化｜木密地域｜欧化政策｜不平等条約｜近代的首都建設｜不規則道路網 工学：耐火耐震レンガ造｜防火帯｜歩車分離｜ガス灯｜西洋風都市景観｜下水道・道路網・鉄道網・橋梁整備 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
7回	**授業テーマ：日本の近代都市工学２｜都市計画法(旧法)｜帝都復興計画** 授業内容：社会：急速な都市化｜衛生悪化｜スプロール｜インフラ不足｜災害脆弱性 工学：ゾーニング｜恒久法｜都市計画と建築制限(市街地建築物法)との連携｜土地区画整理事業 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
8回	**授業テーマ：現代都市工学１｜市街化区域｜都市計画の３本柱｜都市計画区域｜市街化区域** 授業内容：社会：スプロール｜乱開発｜ミニ開発｜ 2022 年問題(生産緑地一斉解除) 工学：都市計画区域｜線引き｜非線引き｜市街化区域｜開発許可｜宅地並み課税｜生産緑地｜田園住居地域 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。

9回	**授業テーマ：現代都市工学２｜市街化調整区域｜川越市の 3411 条例問題｜香川県の線引き撤廃問題** 授業内容：社会：市街地の拡大と拡散化｜生活圏拡大｜都市計画区域外へのスプロール｜線引きと生活圏の乖離 工学：人口集中地区｜グリーンベルト｜市街化調整区域｜立地基準(都市計画法 34 条)｜ 3411 条例 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
10回	**授業テーマ：現代都市工学３｜都市施設｜都市計画決定／都市計画事業認可｜都市施設／都市計画施設** 授業内容：社会：無秩序な市街化の防止｜防災・安全性の向上｜生活環境の改善・向上｜都市機能の維持・増進 工学：公聴会｜都市計画審議会｜建築制限｜任意買収｜先買い権｜買取請求権｜都市計画税 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
11回	**授業テーマ：現代都市工学４｜土地区画整理事業｜組合施行｜市施行** 授業内容：社会：震災復興｜戦災復興｜急速な都市化｜迷路状市街地｜既成市街地の老朽化｜持続可能な都市への転換 工学：換地｜保留地｜照応の原則｜減歩｜補償費｜公共施設管理者負担金｜賦課金｜清算金｜減価補償金 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
12回	**授業テーマ：現代都市工学５｜第一種／第二種市街地再開発事業｜任意再開発** 授業内容：社会：木密地域｜土地利用の細分化｜建物の老朽化｜防火防災機能の不足｜公共施設の不足 工学：高度利用｜建物不燃化｜公共施設整備｜権利変換方式｜管理処分方式｜キーテナント｜身の丈再開発 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
13回	**授業テーマ：現代都市工学６｜建築協定｜地区計画** 授業内容：社会：良好な住環境の保全｜一般的な規制の限界｜多様な地域特性へのきめ細かい対応 工学：地区レベルの都市計画｜合意協定｜一人協定｜建築協定運営委員会｜地区整備計画｜地区施設｜勧告 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
14回	**授業テーマ：現代都市工学７｜都市計画マスタープラン｜立地適正化計画** 授業内容：社会：人口減少・高齢化社会｜市民協働｜持続可能な都市経営｜複雑な都市問題 工学：区域マス／市町村マス｜立地適正化計画｜コンパクトシティ｜居住誘導区域／都市機能誘導区域｜誘導施設 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。
15回	**授業テーマ：現代都市工学８｜景観まちづくり｜景観法** 授業内容：社会：開発優先→景観破壊｜高層建築物→眺望阻害｜無秩序な看板氾濫｜地域ブランド追究｜観光立国志向 工学：町並み保全｜まちづくり規範｜伝建地区｜建造物許可基準｜景観計画(景観法)｜景観地区(都市計画法) 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んで重要な点を確認し、何が分からないかを明確にしておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習する。

工学と社会 b

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

前島　彩子（まえしま　あやこ）

▌授業の概要

不動産学を構成する一分野である工学のうち、建築に関わる基礎的内容を学ぶ。
建築空間は、どのような社会組織や文化的価値観によって形作られているのか？ また建築自体は、都市環境や社会に、どのような影響を及ぼしているか？ 不動産を供給する側と利用する側それぞれの視点から考える。
前半：建築の型に応じて、その空間構成、性能品質、運営形態、周辺環境、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。後半：不動産の特徴を判断する視点として、コスト、建築情報、使い続けるための方策について学び、身近にある建築事例の特徴を考える。
以上をもとに身近な都市と建築を普段から意識し、その特徴を判断する力を培う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2 ◎）

一般目標：不動産学の学修を展開する上で基礎となる建築分野の知識を修得する。
　　建築と社会を接続して考える視点を身に着ける。
個別目標：(1) 代表的な建築の型（ビルディングタイプ）、構造種別の違いを説明できる。
　　(2) 設計図書等から、建築に関わる情報を読み取ることができる。
　　(3) 身近な都市空間、建築物の成立背景を論理的に思考することができる。

▌履修条件

2025 年度以降入学生の必修科目である。
1 年次配当の専門科目について十分理解していることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業中課題（小テスト）40%／レポート 20%／定期試験 40%

▌フィードバック方法

小テスト、課題のフィードバックは、次回授業、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （建築見学）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word、PowerPoint 等を搭載したノートパソコンを持参する。）

▌教科書

なし

▌参考書

適宜案内する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　建築と社会の関わり** 授業内容：この授業の目的、概要、進め方を確認する。 社会の変化（少子高齢化、グローバル化、情報化、公民連携、環境配慮、地域再生など）と建築の関わりの一端をつかむ。 事前学修 0.5hr：シラバスを読み授業の全体像をつかむ。 事後学修 3.5hr：授業を振り返り、要点を整理する。
2 回	**授業テーマ：独立住宅・戸建住宅地と周辺環境** 授業内容：独立住宅・戸建住宅地にかかる、空間構成、性能品質、運営形態、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
3 回	**授業テーマ：集合住宅・高齢者向け住宅と周辺環境** 授業内容：集合住宅・高齢者向け住宅にかかる、空間構成、性能品質、運営形態、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
4 回	**授業テーマ：オフィス・庁舎と周辺環境** 授業内容：オフィスや庁舎にかかる、空間構成、性能品質、運営形態、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
5 回	**授業テーマ：商業施設・ショッピングモールと周辺環境** 授業内容：商業施設やショッピングモールにかかる、空間構成、性能品質、運営形態、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
6 回	**授業テーマ：物流施設・生産施設・交通拠点施設と周辺環境** 授業内容：物流施設や生産施設にかかる、空間構成、性能品質、運営形態、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
7 回	**授業テーマ：学校・子育て支援施設・コミュニティ施設と周辺環境** 授業内容：学校、子育て支援やコミュニティ施設にかかる、空間構成、性能品質、運営形態、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
8 回	**授業テーマ：建物の構造種別（木造、S 造、RC 造）** 授業内容：木造、S 造、RC 造といった構造材料の違いに応じた、不動産の空間構成、性能品質、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。

9回	**授業テーマ：地盤の状態** 授業内容：地勢、地質、地盤の違いに応じた、不動産の空間構成、性能品質、産業形態等の典型的なあり方を学び、どのような現代的社会的課題をもつか考える。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
10回	**授業テーマ：土地・建物のコスト** 授業内容：コストの面から、建築の特徴を判断する視点を学ぶ。 建物価格に関する統計を用いて、建築の型や時点の変化を比較し、その動向を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
11回	**授業テーマ：建築情報の読み取りと情報化** 授業内容：建築情報の面から、不動産の特徴を判断する視点を学ぶ。 寸法や図面記号の読み取り、BIM のしくみについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
12回	**授業テーマ：建築を使い続けるための方策** 授業内容：建築を使い続ける方策の面から、不動産の特徴を判断する視点を学ぶ。文化財建築についても取り上げる。 建築の物理的寿命および社会的価値を向上させる取組について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
13回	**授業テーマ：身近な建築の見方** 授業内容：これまでの学修内容が実在の建築にどう表れているか、具体事例をいくつか取り上げ、その見方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：各自、身近な建築事例(2026 年度は庁舎を予定)を見学する。
14回	**授業テーマ：身近な建築の特徴分析** 授業内容：各自が見学した事例の特徴を考察し、事例分析シートにまとめる。 事前学修 2.0hr：見学した事例の特徴をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業をふりかえり、知識定着と思考過程を確認をする。 事前学修 2.0hr：前回指示された部分を予習する 事後学修 2.0hr：授業全体を振り返り、試験に備える。

不動産の統計

開講学科等：不　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2025 年度以降入学生

麻　剣英（ま　けんえい）

▌授業の概要

本授業は、不動産分野を対象として、統計学の基礎から応用までを体系的に学ぶことを目的とする。中学校・高校で学習した数学を復習しながら、順列・組合せ、確率、代表値、分散・標準偏差といった基礎的な統計概念を確認し、データの特徴を把握するための記述統計の手法を修得する。
その後、母集団と標本、正規分布といった推測統計の基礎を学び、相関分析や回帰分析を通じて、不動産価格や取引量などのデータを用いた実証的分析の方法を理解する。さらに、質的データの扱い方や仮説検定の考え方を学ぶことで、統計分析の結果を適切に解釈し、根拠に基づいて判断する力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：不動産分野を題材として統計学の基礎的概念と分析手法を理解し、データに基づいて現象を把握・説明するための統計的思考力を身につける。
個別目標：●順列・組合せ、確率、代表値、分散・標準偏差など、統計学の基礎的概念を理解し、基本的な計算ができる。
●不動産データを用いて、相関分析や回帰分析などの基本的な統計手法を適用し、データの特徴や関係性を読み取ることができる。
●質的データや仮説検定の考え方を踏まえ、統計分析の結果を適切に解釈し、その意味を文章で説明することができる。

▌履修条件

特に履修条件は設けない。授業では中学校・高校レベルの数学内容を復習しながら進めるが、基本的な計算力があると望ましい。

▌評価基準・方法

成績評価は、原則として全授業回数の 5 分の 4 以上の出席を満たしていることを評価の前提条件とする。
この条件を満たした履修者について、以下の方法により総合的に評価する。
各回の授業で実施する小テスト：60 %、期末試験：40 %

▌フィードバック方法

各回の授業で実施した小テストは、次回の授業冒頭に解説する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （データを用いた簡単な分析演習や小テストを通じて、受講者が主体的にデータを読み取り、結果を考察するアクティブ・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （小テストの実施、演習問題への取り組みのために PC を使用する。また、表計算ソフトを用いて、不動産データの集計、平均や分散の計算、グラフの作成などの基礎的な操作を行う。）

▌教科書

特に指定がない

▌参考書

中原 治『基礎から学ぶ統計学』羊土社、2022 年
松原望『統計学』東京図書、2013 年
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門 (基礎統計学Ⅰ)』東京大学出版会、1991 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、中学校数学の復習** 授業内容：授業の概要、成績評価方法などについてガイダンスを行う。さらに、導入として中学校で習った数学を復習する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、講義の受け方を確認する。基本計算、因数分解、方程式について予習する。 事後学修 2.0hr：小テストを見直しする。演習問題を期限内に提出する。
2 回	**授業テーマ：順列、組合せ(二項係数)** 授業内容：順列・組合せの考え方を学び、二項係数の意味と計算方法を理解する。 事前学修 2.0hr：階乗の定義を復習し、順列・組合せの基本公式を予習する。 事後学修 2.0hr：演習問題を解き、計算過程を確認する。小テストの誤答を見直す。
3 回	**授業テーマ：確率** 授業内容：確率の定義、加法定理・乗法定理を学ぶ。 事前学修 2.0hr：確率の基本的な定義と用語(事象、全事象など)を予習する。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、確率の考え方を整理する。
4 回	**授業テーマ：代表値** 授業内容：平均値・中央値・最頻値といった代表値の特徴と使い分けを学ぶ。 事前学修 2.0hr：平均値・中央値・最頻値の定義を確認する。 事後学修 2.0hr：実データを用いた計算問題を復習し、結果の解釈を文章でまとめる。
5 回	**授業テーマ：分散、標準偏差** 授業内容：データのばらつきを表す分散・標準偏差の意味と計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：平均との差の考え方を復習し、平方の計算を確認する。 事後学修 2.0hr：演習問題を通じて計算手順を整理する。
6 回	**授業テーマ：データの標準化** 授業内容：標準化の考え方を学び、異なる尺度のデータを比較する方法を理解する。 事前学修 2.0hr：平均・標準偏差の意味を復習する。 事後学修 2.0hr：標準化した値の解釈について整理ノートを作成する。
7 回	**授業テーマ：移動平均・季節調整値** 授業内容：時系列データの基礎として移動平均を学び、季節変動の考え方を理解する。 事前学修 2.0hr：時系列データの概念を確認する。 事後学修 2.0hr：演習問題を通じて移動平均の計算方法を復習する。
8 回	**授業テーマ：母集団と標本** 授業内容：母集団・標本の考え方と無作為抽出の重要性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：母集団と標本の違いを予習する。 事後学修 2.0hr：事例問題を解き、標本の偏りについて整理する。
9 回	**授業テーマ：正規分布** 授業内容：正規分布の特徴と標準正規分布を学び、確率の求め方を理解する。 事前学修 2.0hr：平均・標準偏差の復習を行う。 事後学修 2.0hr：正規分布表を用いた演習問題を復習する。

10回	**授業テーマ：相関、散布図** 授業内容：散布図の作成方法と相関係数の意味を学ぶ。 事前学修 2.0hr：グラフの読み取り方を確認する。 事後学修 2.0hr：相関係数の値と解釈を整理する。
11回	**授業テーマ：単回帰分析** 授業内容：単回帰分析の考え方と回帰直線の求め方を学ぶ。不動産価格を目的変数とした分析例を扱う。 事前学修 2.0hr：相関と散布図の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：回帰結果の解釈についてレポート形式で整理する。
12回	**授業テーマ：質的データ** 授業内容：質的データの扱い方、クロス集計、比率の比較を学ぶ。 事前学修 2.0hr：量的データとの違いを確認する。 事後学修 2.0hr：集計結果の読み取りと解釈を復習する。
13回	**授業テーマ：重回帰分析** 授業内容：複数の説明変数を用いる重回帰分析を学ぶ。不動産価格形成要因を多角的に分析する。 事前学修 2.0hr：単回帰分析の考え方を復習する。 事後学修 2.0hr：重回帰分析の結果を読み取り、考察をまとめる。
14回	**授業テーマ：仮説の検定** 授業内容：仮説検定の考え方、有意水準、p 値を学ぶ。 事前学修 2.0hr：正規分布と標本の考え方を復習する。 事後学修 2.0hr：検定結果の意味を文章で説明できるよう整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまで学習した統計手法を振り返り、不動産分析への応用を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの配布資料・ノートを見直す。 事後学修 4.0hr：レジュメ、小テスト、演習問題に再度取り組み、理解を深める。

社会生活と英語

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）・**金　東煥**（きむ　どんふぁん）・**西村　愛**（にしむら　あい）

▌授業の概要

グローバル化が進み、日本にも多くの外国人が居住し、日常的に英語を見聞きするようになった。「英語ができる」ことは日常生活や将来の仕事において大きな可能性とチャンスをもたらすだろう。本講義では、中学英語・高校英語の基礎を復習しながら、日常生活で使う語彙、海外の生活に関する知識、日本の経済と社会の説明など多分野にわたる教材を使用しながら、基礎的英語能力向上を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：6 ◎）

一般目標：①日常生活で使う語彙、海外の生活に関する知識、日本の経済と社会に関する情報を英語で理解できる。
②日常生活で使う語彙、海外の生活に関する知識、日本の経済と社会に関する情報について英語で説明できる。

個別目標：①自己紹介や部屋の賃貸の場面で英語を使う能力を身につける。
②外国の生活と不動産についての関心を高める。
③家計の仕組みと日本の経済発展について英語で理解する。
④中学英語・高校英語を応用して、場面に応じた英語が使えるようになる。

▌履修条件

第 1 回授業のクラス分け試験に基づきクラスを編成するので必ずクラス分け試験を受けること。この科目は 2025 年度以降の入学生の必修科目です。

▌評価基準・方法

各回の確認テスト 合計 27 点
中間テスト（1）（2） 合計 20 点
期末試験 53 点

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは授業中に口頭で、もしくは学修支援システム manaba を通して適宜行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （英文の読み上げ(シャドウイング)、授業中のミニクイズなど。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （英語のサイトの検索や翻訳補助など。）

▌教科書

特になし。授業スライドを使用して進めます。

▌参考書

適宜、必要に応じて紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・クラス分けテスト** 授業内容：授業全体のガイダンス及びクラス分けテストを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、生活の中で英語が使われる場面の語彙をインターネット等で調べる 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
2 回	**授業テーマ：自己紹介文を考える** 授業内容：なぜ不動産学部に入ったのか、何に関心があるのかなどを含む自己紹介文を英語で作成し、実際に伝えてみる。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
3 回	**授業テーマ：部屋を借りに行く①店舗での会話、間取りの希望** 授業内容：外国籍の友人と部屋を見に行く際に必要な、不動産屋さんの窓口での会話や間取りの希望を伝える表現を学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
4 回	**授業テーマ：部屋を借りに行く②さまざまな確認事項** 授業内容：外国籍の友人と一緒に部屋を借りる前に確認すべき項目(語学力や保証人など)を理解・説明するための語彙を学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
5 回	**授業テーマ：部屋を借りに行く③予算と保証人** 授業内容：外国籍の友人と一緒に部屋を借りる際に相談すべき予算や保証人、契約に必要な書類などについて学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
6 回	**授業テーマ：部屋を借りに行く④間取りの説明とルール** 授業内容：外国籍の友人と一緒に部屋を借りる際に知っておきたい、間取りを示す語彙の説明や、部屋を借りる際のルールなどについて学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
7 回	**授業テーマ：中間テスト(1)** 授業内容：2～6回の授業内容を復習するため中間テストを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の復習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
8 回	**授業テーマ：アメリカの生活と不動産** 授業内容：アメリカの不動産の現状、取引形態、法律などについて学修する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
9 回	**授業テーマ：イギリスの生活と不動産** 授業内容：イギリスの不動産の現状、取引形態、法律などについて学修する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習

10回	**授業テーマ：香港の生活と不動産** 授業内容：香港の不動産の現状、取引形態、法律などについて学修する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
11回	**授業テーマ：中間テスト（2）** 授業内容：8～10 回の授業内容を復習するため中間試験を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の復習 事後学修 2.0hr：試験内容の復習
12回	**授業テーマ：生活とお金に関する英語①家計の話** 授業内容：生活に密着する家計の仕組みについて英語で読み、語彙を身につけ、理解する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
13回	**授業テーマ：生活とお金に関する英語②日本の社会と経済** 授業内容：現在の日本の社会と経済が成り立つまでの説明を英語で読み、語彙を身につけ、理解する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
14回	**授業テーマ：TOEIC リーディングに挑戦** 授業内容：日本において英語能力を示す試験の一つである TOEIC のリーディング（文法、長文読解）の問題に挑戦する。 事前学修 2.0hr：TOEIC 事前資料の予習 事後学修 2.0hr：TOEIC 試験内容の復習
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：基本文法、英単語、部屋の賃貸、海外の不動産、日本の経済などこれまで学んだことを振り返る。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：講義全体の復習・疑問点の発見 事後学修 2.0hr：講義全体の整理

都市と不動産の歴史/不動産政策史

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2025 年度以降入学生/2024 年度以前入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）**・兼重　賢太郎**（かねしげ　けんたろう）

▌授業の概要

本講義は、近代以降を中心とした都市と不動産政策の歴史を時代区分ごとに概観していきます。このことを通じて、都市の成り立ちや不動産政策の特徴と歴史的意義、さらにはそれらの時代背景・社会的意義等を修得することを目的とします。

なお、事前学修資料や講義資料等を manaba で公開するので、必ず毎回講義の事前・事後に、manaba にアクセスすること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 6、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：近代以降を中心とする都市や不動産政策を歴史に沿って理解することにより、都市や不動産に関する幅広い知見を修得するとともに、都市や不動産政策を理解する学際的・歴史的・国際的視点を修得する。

個別目標：①近代以降の都市や不動産政策の歴史的経緯やその背景を説明することができる。
②近代以降の都市や不動産政策の主要な内容や出来事を説明することができる。

▌履修条件

特になし。なお、2025 年度以降の入学生の必修科目となります。

▌評価基準・方法

学期末に行う定期試験（60%）および定期的な課題（40%）で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌週の授業内や manba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （受講生相互のディスカッションやワークに取り組む。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内の課題等に取り組む。）

▌教科書

教科書は特に使用しません。manaba に事前学修資料や講義資料等をアップします。

▌参考書

アンドリュー・リース『都市の世界史』ミネルヴァ書房、2025 年。
稲本洋之助・小柳春一郎・周藤利一『日本の土地法　歴史と現状［第３版］』成文堂、2016 年。
橘川武郎・粕谷誠『日本不動産業史』名古屋大学出版会、2007 年。
その他、講義で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義全体の進め方、都市と不動産の歴史を学修する意義などについて、確認する。 事前学修 1.0hr：事前準備として、シラバスに目を通した上で、疑問点等をメモすること。また、本シラバスを印刷し、講義に持参すること。 事後学修 3.0hr：講義の内容を踏まえ、都市と不動産の歴史を学修する意義、学修の進め方について、確認する。
2回	**授業テーマ：都市と不動産の歴史とは：都市と不動産の歴史の全体的な流れ・展開について学ぶ。** 授業内容：高校時代に学習した「歴史総合」「世界史」「日本史」等の内容をふり返りつつ、都市と不動産の歴史の全体的な流れ・展開を学修する。 事前学修 2.0hr：都市と不動産の歴史の概要に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、都市と不動産の歴史の概要とそれらが今日に及ぼしている影響について再確認する。
3回	**授業テーマ：近代以前の世界の都市と不動産：古代ローマ、中国、イスラム世界などの近代以前の世界の都市と不動産について学ぶ。** 授業内容：古代の大都市であるアテネ、ローマ、長安、バグダットなどを取り上げ、近代以前の世界の都市と不動産の歴史の特徴、その社会的背景などを学修する。 事前学修 2.0hr：近代以前の世界の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、近代以前の世界の都市と不動産の歴史を再確認するとともに、疑問点等を解消する。
4回	**授業テーマ：近代以前の日本の都市と不動産：日本における律令時代、封建時代、幕藩時代の主要な都市や不動産政策について学ぶ。** 授業内容：日本において都市整備や土地政策が整い始めた律令時代、封建時代、幕藩時代の主要な都市や不動産政策を取り上げ、近代以前の日本の都市と不動産の歴史の特徴、その社会的背景などを学修する。 事前学修 2.0hr：近代以前の日本の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、近代以前の日本の都市と不動産の歴史を再確認するとともに、疑問点等を解消する。
5回	**授業テーマ：産業革命～第 2 次世界大戦の世界の都市と不動産：欧米を中心に、資本主義と都市化が急速に進展した時代における世界の都市と不動産について学ぶ。** 授業内容：18 世紀以降の産業革命から第 2 次世界大戦にかけては、欧米を中心に資本主義と都市化が急速に進展した。そのような背景の中で、どのような都市問題や不動産の抱える問題が顕在化し、どのような対処がなされたかなどを学修する。 事前学修 2.0hr：産業革命～第 2 次世界大戦の世界の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、産業革命～第 2 次世界大戦の世界の都市と不動産の歴史を再確認し、その今日的な意義を理解しておく。
6回	**授業テーマ：幕末～1900 年代の日本の都市と不動産：市区改正などの都市政策の近代化、地租改正や民法制定などの不動産制度の近代化について学ぶ。** 授業内容：日本における現代の都市や不動産制度の出発点は、近代化が進展した幕末～1900 年代にある。市区改正などの都市政策、地租改正や民法制定などの不動産制度等について、その意義や特徴などを学修する。 事前学修 2.0hr：幕末～1900 年代の日本の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、市区改正条例、地租改正、民法制定などの意義・特徴を確認し、その今日的な意義を理解しておく。
7回	**授業テーマ：1910～30 年代の日本の都市と不動産：旧都市計画法、市街地建築物法などの都市政策、借地法、借家法などの不動産政策について学ぶ。** 授業内容：1910～30 年代は、日本の資本主義が発達し始めるとともに、都市問題が顕在化し始めた。それらの問題に対処するために制度化された都市計画制度や借地法などについて、その意義、特徴などを考察する。 事前学修 2.0hr：1910～30 年代の日本の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、都市計画制度や借地法などの意義・特徴を確認し、それらが今日の状況に及ぼしている影響について再確認する。

8回	**授業テーマ：1930～第 2 次世界大戦の日本の都市と不動産：都市政策の広域化、不動産に関する統制的な政策などについて学ぶ。** 授業内容：1930～第 2 次世界大戦は、国家による積極的な政策介入が行われた時期である。都市政策における都市圏などの広域的な計画制度、家賃統制令などの介入的・統制的な不動産政策について、その意義、特徴などを考察する。 事前学修 2.0hr：1930～第 2 次世界大戦の日本の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、広域的な計画制度や統制的な不動産政策の内容を確認して、それらの今日における意義を再確認する。
9回	**授業テーマ：第 2 次世界大戦～1970 年代の世界の都市と不動産：第 2 次世界大戦後の福祉国家体制における都市や不動産政策などについて学ぶ。** 授業内容：第 2 次世界大戦～1970 年代にかけては、先進諸国を中心に、所得の再配分を基調とする福祉国家体制(フォーディズム)が確立されたとされる。国家が都市整備・都市計画、住宅政策などに積極的に取り組んだ状況・特徴・その背景などを考察する。 事前学修 2.0hr：第 2 次世界大戦～1970 年代の世界の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、この時代の都市整備・都市計画、住宅政策等の内容を確認して、それらの今日における意義を再確認する。
10回	**授業テーマ：日本の戦後復興期の都市と不動産：この時代の都市政策・不動産政策として、戦災復興計画、農地改革、宅建業法の制定などについて学ぶ。** 授業内容：第 2 次世界大戦後の戦後復興期において、都市においては戦災復興計画、農村部においては農地改革が重要な政策的取り組みであった。また、不動産取引の基礎をなす宅建業法の制定もなされた。これらの制度・政策等について、その意義、特徴などを考察する。 事前学修 2.0hr：日本の戦後復興期の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。む。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、戦災復興計画、農地改革などの内容を確認し、それらの今日における意義を再確認する。
11回	**授業テーマ：高度経済成長期における日本の都市と不動産：国土計画、新都市計画法の制定、戦後住宅政策の三本柱などについて学ぶ。** 授業内容：高度経済成長を支える社会的インフラの充実を図るための国土計画、大都市人口の急増やスプロール化等の都市問題に対処するための新都市計画法制度、この時代の住宅政策などについて、その意義、特徴などを考察する。 事前学修 2.0hr：高度経済成長期における日本の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、高度経済成長期の国土計画、新都市計画法、住宅政策等の内容を確認し、それらの今日における意義について再確認する。
12回	**授業テーマ：安定成長期～地価バブル期の日本の都市と不動産：この時期の都市政策、住宅政策、地価バブルへの対策などについて学ぶ。** 授業内容：1970 年代中頃以降、高度経済成長が終焉し、安定成長期を迎えたといわれる。その後、1980 年代後半以降、プラザ合意等をきっかけに地価バブル期へと突入した。この時期の田園都市構想、再開発等における民間活力の活用、地価バブルへの対処策などについて、その意義、特徴などを考察する。 事前学修 2.0hr：安定成長期～地価バブル期の日本の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、この時期の都市政策、住宅政策、地価バブルへの対処等の内容と、それらの今日における意義について再確認する。
13回	**授業テーマ：1980～現在の世界の都市と不動産：新自由主義、グローバル化の進展、メガシティの出現など、1980 年代以降の世界の都市と不動産の動向を学ぶ。** 授業内容：1980 年代以降、世界では新自由主義、グローバル化が進展し、グローバル都市やメガシティが出現している。1980 年代～現在にかけての世界の都市と不動産の動向を学ぶ。 事前学修 2.0hr：1980～現在の世界の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、1980～現在の世界の都市と不動産の動向などについて再確認する。
14回	**授業テーマ：地価バブル後～現在の日本の都市と不動産：都市縮退化がクローズアップされる中で、空き家問題対策、所有者不明土地対策政策などについて学ぶ。** 授業内容：高齢化人口減少時代を迎え、都市縮退化への対応など、都市政策や不動産政策も大きな転換を迎えている。近時、特に重要な政策課題となっている、都市再生、コンパクトシティ、空き家問題対策、所有者不明土地対策などについて、その意義、特徴などを考察する。 事前学修 2.0hr：地価バブル後～現在の日本の都市と不動産に関し、事前学修資料の指示に基づき、重要だと考えるポイントを確認して、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ、都市再生、コンパクトシティ、空き家問題対策、所有者不明土地問題対策等の内容を確認し、その意義等を再確認する。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：講義全体をふりかえるととともに、これからの都市と不動産のありかたについて展望する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義内容を踏まえ、都市と不動産の歴史の全般的な内容と各自の問題意識・関心について、考えをまとめておく。 事後学修 4.0hr：講義内容を踏まえ、都市と不動産の歴史と現状、および、今日的・将来的課題を整理する。講義全体を総復習する。

鑑定評価理論 I

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

小松　広明（こまつ　ひろあき）・**花輪　志保**（はなわ　しほ）

▌授業の概要

本講義の第 1 回から第 10 回では、不動産鑑定士試験の短答式試験の合格を目標に行う。本講義を通じて「鑑定理論」に関する体系的な理解を身に付けるとともに、論文をも見据えた「鑑定理論」の理解を深める。
具体的には、テキストを使用しながら鑑定理論の全体像の把握及び短答対策として重要なポイント等をつかむ。さらに、復習では実際に過去問題集を繰り返し解くことで本試験の実践感覚を養う。
第 11 回以降の講義（一般財団法人日本不動産研究所提供）においては、実際の鑑定評価業務に関連するフィールドワークを取り入れるとともに、鑑定評価ビジネスの新しい潮流について学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：社会デザイン専攻 2、不動産鑑定専攻 4 ◎）

一般目標：①不動産鑑定士短答式試験の合格を目標とする。
　　②鑑定評価ビジネスの新しい潮流への理解を深める。
個別目標：①不動産とは何か、不動産の価格とは何か等の不動産の基礎理論を理解し、説明ができるようになる。
　　②フィールドワークを通じて、実際の鑑定評価業務の一連の流れを理解し、説明ができるようになる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、5 分の 4 以上の出席、授業参加姿勢を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

講義内で実施予定

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地価公示地点を題材に実際に現地を見ながら鑑定評価の手順を体験する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

開講時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：総論第 1 章　不動産の鑑定評価に関する基本的考察 /総論第 2 章　不動産の種別及び類型　/　総論 3 章　不動産の価格を形成する要因** 授業内容：鑑定評価基準の全体像、不動産の分類概念、不動産の価格を形成する要因について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
2 回	**授業テーマ：総論 4 章　不動産の価格に関する諸原則　/　総論 5 章　鑑定評価の基本的事項（対象不動産の確定）** 授業内容：不動産の価格に関する諸原則、基本的事項として対象確定条件について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
3 回	**授業テーマ：総論 5 章　鑑定評価の基本的事項（価格時点の確定・価格又は賃料の種類の確定）/　総論 6 章　地域分析及び個別分析** 授業内容：基本的事項として価格時点、価格又は賃料の種類、地域分析、個別分析、市場分析について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
4 回	**授業テーマ：総論 7 章　鑑定評価の方式（一般的留意事項、原価法、取引事例比較法）** 授業内容：価格を求める鑑定評価手法において共通して留意すべき事項、価格を求める鑑定評価手法である原価法、取引事例比較法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
5 回	**授業テーマ：総論 7 章　鑑定評価の方式（収益還元法）** 授業内容：価格を求める鑑定評価手法である収益還元法ついて学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
6 回	**授業テーマ：総論 7 章　鑑定評価の方式（新規賃料、継続賃料）** 授業内容：新規賃料手法、継続賃料手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
7 回	**授業テーマ：総論 8 章 鑑定評価の手順 /総論 9 章 鑑定評価報告書 /各論 1 章 価格に関する鑑定評価（更地、建付地）** 授業内容：鑑定評価の手順、鑑定評価報告書、更地、建付地の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
8 回	**授業テーマ：各論 1 章 価格に関する鑑定評価（借地権、底地）/各論 1 章 価格に関する鑑定評価（宅地見込地、建物及びその敷地）** 授業内容：借地権、底地、宅地見込地、建物及びその敷地の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
9 回	**授業テーマ：各論 1 章　価格に関する鑑定評価（建物）/　各論 2 章　賃料に関する鑑定評価** 授業内容：：建物の鑑定評価手法、地代・家賃の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
10 回	**授業テーマ：各論 3 章　証券化対象不動産の価格に関する鑑定評価** 授業内容：証券化対象不動産の鑑定評価について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。

11回	**授業テーマ：鑑定評価業務の実際①（フィールドワーク）** 授業内容：鑑定評価基準で記載されていることについて地価公示地点を題材に実際に現地を見ながら鑑定評価の手順を体験する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準第８章「鑑定評価の手順」を読む。 事後学修 3.0hr：フィールドワークで得た知見を整理する。
12回	**授業テーマ：鑑定評価業務の実際②（鑑定評価書の作成過程）** 授業内容：鑑定評価実務の実際について鑑定評価基準と照らし合わせながら理解する。 現地調査等を行った上で、不動産鑑定評価書の作成過程を体験する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準第９章「鑑定評価報告書」を読む。 事後学修 3.0hr：「鑑定評価報告書」の記載事項とフィールドワークで得た知見との関連性を理解する。
13回	**授業テーマ：鑑定評価ビジネスの新しい潮流①（不動産認証制度）** 授業内容：不動産の認証制度が果たす社会的役割、近年の ESG 投資に関する企業の認識の変化、様々な災害等に関するリスクと認証制度との関係、確認証制度の特徴について学修する。 事前学修 1.0hr：グリーンビル認証、レジリアル認証について調べておく。 事後学修 3.0hr：企業が各種認証制度の取得をとろうとする背景や理由について整理する。
14回	**授業テーマ：鑑定評価ビジネスの新しい潮流②（不動産鑑定評価制度）** 授業内容：鑑定評価業務の始まり、戦後の不動産鑑定評価制度の成立、不動産鑑定評価制度と不動産鑑定士の社会的役割、不動産鑑定評価を行うにあたって重要な考え方について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価の歴史と鑑定評価制度ができた時代背景と目的について調べておく。 事後学修 3.0hr：不動産鑑定評価の歴史について整理する。不動産の価値と鑑定の関係について理解する。
15回	**授業テーマ：鑑定評価ビジネスの新しい潮流③（CRE）** 授業内容：企業が保有する不動産についての内容や概念、財務諸表における不動産の区分、各種分析を通じて不動産が有効活用されているかどうか、有効活用されていない場合の会計処理などについて学修する。 事前学修 1.0hr：CRE（企業が保有する不動産）について調べておく。 事後学修 3.0hr：CRE について整理する。不動産鑑定士が活躍する分野の広がりとして財務会計分野を理解する。

不動産行政法規

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

小松　広明（こまつ　ひろあき）・**花輪　志保**（はなわ　しほ）・**山本　卓**（やまもと　たかし）

▌授業の概要

本講義は、不動産鑑定士試験の短答式の合格を目標に行う。行政法規の試験は 37 の法律が対象であるが、特に重要な法令を中心に学習する。本講義では、各法律の趣旨やよく出題されるポイントを掴むことで、実践感覚を養うことを目的とする。さらに、復習では実際に過去問題集や展開するプリントを繰り返し解くことで本試験の実践感覚を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：社会デザイン専攻 2、不動産鑑定専攻 4 ◎）

一般目標：不動産鑑定士短答式の合格を目標とする。
個別目標：本講義を通じて、法律の趣旨、そのイメージを明確にして、重要ポイントを理解して、問題が解けるようになることを目標とする。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、5 分の 4 以上の出席、授業参加姿勢を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

講義内で実施予定

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指定する。

▌参考書

開講時に指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：都市計画法** 授業内容：都市計画法の趣旨を理解し、都市計画区域等の区域区分、用途地域、地域地区、都市計画事業、開発行為等を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
2 回	**授業テーマ：建築基準法(単体規定)** 授業内容：建築確認、単体規定等について学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
3 回	**授業テーマ：建築基準法(集団規定)** 授業内容：建築基準法上の道路、用途制限、建蔽率、容積率等について学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
4 回	**授業テーマ：国土利用計画法、農地法** 授業内容：国土利用計画法、農地法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
5 回	**授業テーマ：土地区画整理法** 授業内容：土地区画整理法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
6 回	**授業テーマ：不動産登記法、土地基本法、地価公示法** 授業内容：不動産登記法、土地基本法、地価公示法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
7 回	**授業テーマ：不動産の鑑定評価に関する法律、宅地造成及び特定盛土等規制法** 授業内容：不動産の鑑定評価に関する法律、宅地造成及び特定盛土等規制法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
8 回	**授業テーマ：都市再開発法、マンションの建替え等の円滑化に関する法律** 授業内容：都市再開発法、マンションの建替え等の円滑化に関する法律の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
9 回	**授業テーマ：土壌汚染対策法、土地収用法** 授業内容：土壌汚染対策法、土地収用法の制度趣旨、内容 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
10 回	**授業テーマ：税法** 授業内容：税法の各法律について内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
11 回	**授業テーマ：文化財保護法、住宅の品質確保の促進等に関する法律、河川法、道路法** 授業内容：文化財保護法、住宅の品質確保の促進等に関する法律、河川法、道路法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
12 回	**授業テーマ：国有財産法、景観法、高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律、証券化関連法** 授業内容：国有財産法、景観法、高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律、証券化関連法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。

13回	**授業テーマ：建築規制と不動産の鑑定評価** 授業内容：建築基準法や都市計画法による建築規制が不動産の価格にどのように影響するか、具体例を使った講義を通じて、行政法規と不動産鑑定評価との関連について理解する。 事前学修 1.0hr：授業資料を読み、不明点について下調べをする。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容を文章としてまとめる。
14回	**授業テーマ：開発規制と不動産の鑑定評価** 授業内容：都市計画法、宅地造成等規制法、農地法等による開発規制が不動産の価格にどのように影響するか、具体例を使った講義を通じて、行政法規と不動産鑑定評価との関連について理解する。 事前学修 1.0hr：授業資料を読み、不明点について下調べをする。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容を文章としてまとめる。
15回	**授業テーマ：インフラ整備と不動産の鑑定評価** 授業内容：都市計画法による都市計画事業を含む公共用地の取得において不動産の価格がどのように取り扱われるか、具体例を使った講義を通じて、行政法規と不動産鑑定評価との関連について理解する。 事前学修 1.0hr：授業資料を読み、不明点について下調べをする。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容を文章としてまとめる。

不動産取引演習

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：集中　｜　備考：2025 年度以降入学生

片川　卓也（かたかわ　たくや）**・蒲原　茂明**（かんばら　しげあき）

▌授業の概要

不動産取引に関する基礎知識を講義する。具体的には、土地および建物についての権利に関する法令(民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法)、法令上の制限(都市計画法、建築基準法等)、税に関する法令、価格の評定、および宅地建物取引業法について講義を行う。なお以下３点に注意すること。
① 4 月から 10 月の宅建試験前までが開講期間(集中講義)。
②講義の理解度に応じて、学期中にクラス替えを行う可能性がある。manaba コースニュースに掲示されるので、受講クラスを確認すること。
③宅地建物取引士資格試験合格の為にもオープンカレッジを受講することを強く推奨する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：5 ◎）

一般目標：宅建試験の問題を読んでその内容を理解することができ、解けるようになる。
（不動産学部ディプロマ・ポリシー 2：不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力を身につけていると客観的に認めることができる）
個別目標：①宅地建物取引業法、都市計画法、建築基準法、権利関係(民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法)など不動産関連の法律に関する基礎的な用語を学び、その意味を理解することができる。
②実際の不動産取引の場面に応じてどのようなルールがあるかを理解することができる

▌履修条件

不動産鑑定専攻の学生は全員履修登録することが必要である(宅建試験合格者は単位認定をうけること)。

▌評価基準・方法

単位取得の条件は以下の通り
①宅建試験を受験すること(受験票のコピーの提出がない者には単位を与えない)
②宅建試験の再現答案を提出すること(提出方法は別途指示する)
③宅建試験に合格するか、学内試験において一定以上の成績を得ること
成績は、期末試験 70 %、と平常点 30 %(出席、宿題の提出状況等)で評価する。
学内試験の成績、課題に対するフィードバックは manaba で行う。
なお、S 評価を得るためには、宅建士試験に合格するともに合格体験記を提出することが条件となる(宅建試験に合格できる知識だけでなく、自分の体験をわかりやすく伝える能力も求められる)。

▌フィードバック方法

期末試験の結果は、「個人別成績表」を配布する。
必要に応じて、manaba 個別指導コレクションでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

2026 年度度ゼロから宅建士ベーシックブック①宅建業法
2026 年度度ゼロから宅建士ベーシックブック②権利関係
2026 年度度ゼロから宅建士ベーシックブック③法令上の制限、税・その他
問題集に関しては別途指示する。

▌参考書

特になし
(手を広げずに、指定された教科書、問題集に集中すること)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：ガイダンス、宅建業とは、宅建業免許 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
2 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：宅地建物取引士、営業保証金と保証協会 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
3 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：業務上の規制、重要事項説明・37 業書面 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
4 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：自ら売主の８つの制限 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
5 回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：制限行為能力者、意思表示、時効 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
6 回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：代理、抵当権 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)

7回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：連帯保証・連帯債務、その他の契約・不法行為、相続 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
8回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：賃貸借契約、借地借家法、債権の譲渡・消滅 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
9回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：建物区分所有法、不動産登記法 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
10回	**授業テーマ：法令上の制限** 授業内容：都市計画法(都市計画)、都市計画法(開発許可) 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
11回	**授業テーマ：法令上の制限** 授業内容：建築基準法 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
12回	**授業テーマ：法令上の制限** 授業内容：国土利用計画法、農地法、土地区画整理法 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
13回	**授業テーマ：その他(税金、鑑定評価と地価公示)** 授業内容：不動産鑑定評価と地価公示、税法 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
14回	**授業テーマ：法令上の制限** 授業内容：盛土規制法・その他の法律、総まとめ 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
15回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：監督処分と罰則、住宅瑕疵担保履行法、総まとめ 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)

不動産取引論 I

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度以降入学生

片川　卓也（かたかわ　たくや）・田中　淳（たなか　あつし）

▌授業の概要

２年次を対象に不動産取引に関する基礎知識を講義する。具体的には、土地および建物についての権利に関する法令（民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法）、法令上の制限（都市計画法、建築基準法等）、税に関する法令、価格の評定、および宅地建物取引業法について講義を行う。なお以下 2 点に注意すること。

①授業内容は第 1 回ガイダンス時に指示する。

②講義の理解度に応じて、学期中にクラス替えを行う可能性がある。manaba コースニュースに掲示されるので、受講クラスを確認すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：5 ◎）

一般目標：宅建試験の問題を読んでその内容を理解することができ、解けるようになる。
（不動産学部ディプロマ・ポリシー 2：不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力を身につけていると客観的に認めることができる）

個別目標：①宅地建物取引業法、都市計画法、建築基準法、権利関係（民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法）など不動産関連の法律に関する基礎的な用語を学び、その意味を理解することができる。
②実際の不動産取引の場面に応じてどのようなルールがあるかを理解することができる

▌履修条件

２年次の必修科目であるから、宅建試験未合格の学生は全員履修登録することが必要である（宅建試験合格者は単位認定をうけること）。

▌評価基準・方法

単位取得の条件は以下の通り

①宅建試験を受験すること（受験票のコピーの提出がない者には単位を与えない）

②宅建試験の再現答案を提出すること（提出方法は別途指示する）

③宅建試験に合格するか、学内試験において一定以上の成績を得ること

成績は、期末試験 70 %と平常点 30 %（出席、宿題の提出状況等）で評価する。

学内試験の成績、課題に対するフィードバックは manaba で行う。

なお、S 評価を得るためには、宅建士試験に合格するとともに合格体験記を提出することが条件となる（宅建試験に合格できる知識だけでなく、自分の体験をわかりやすく伝える能力も求められる）。

▌フィードバック方法

実力テストの結果は、「個人別成績表」を配布する。

必要に応じて、manaba 個別指導コレクションでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック①宅建業法

2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック②権利関係

2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック③法令上の制限、税・その他

※テキストが 1 年次に使用していたものと異なるので注意すること。

※問題集も最新版を用意すること。

▌参考書

特になし（手を広げずに、指定された教科書、問題集に集中すること）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：ガイダンス、宅建業とは、業者免許 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する（内容は講義中に指示する）
2 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：宅地建物取引士、営業保証金と保証協会 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する（内容は講義中に指示する）
3 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：業務上の規制、重要事項説明・37 業書面 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する（内容は講義中に指示する）
4 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：自ら売主の８つの制限 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する（内容は講義中に指示する）
5 回	**授業テーマ：宅建業法** 授業内容：制限行為能力者、意思表示、時効、 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する（内容は講義中に指示する）
6 回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：代理、抵当権 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する（内容は講義中に指示する）

7回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：連帯保証、連帯債務、契約、不法行為、相続、 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
8回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：賃貸借契約、借地借家法、債権の譲渡・消滅 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
9回	**授業テーマ：権利関係** 授業内容：建物区分所有法、不動産登記法 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
10回	**授業テーマ：法令上の制限、税・その他** 授業内容：都市計画法 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
11回	**授業テーマ：法令上の制限、税・その他** 授業内容：建築基準法 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
12回	**授業テーマ：法令上の制限、税・その他** 授業内容：農地法、国土法、 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
13回	**授業テーマ：法令上の制限、税・その他** 授業内容：盛土規制法、土地区画整理法 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
14回	**授業テーマ：法令上の制限、税・その他** 授業内容：税、不動産鑑定評価 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)
15回	**授業テーマ：法令上の制限、税・その他** 授業内容：5 問免除科目 事前学修 2.0hr：事前にテキストを熟読し事前の理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内容に関連する過去問を解く。宿題を提出する(内容は講義中に指示する)

都市計画の基礎

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

小杉　学（こすぎ　まなぶ）**・秦　瑞希**（はだ　みずき）

▌授業の概要

本講義では、都市空間および都市計画の基礎的な知識を学ぶ。具体的には、都市空間をかたちづくる主要な要素である、建物、敷地、道路など基盤施設について、基本的な用語や指標を知り、その計画的な意味を学習する。防災、快適空間づくり、街並み形成などの視点から、個々の敷地から地区までの空間スケールで、それら要素の在り方を学ぶとともに、日本の土地利用コントロールの基礎を学習する。さらに、住宅地や商業地など市街地の多様な性質を理解した上で、まちづくりについて学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 2/6、2024 年度以前入学生 1）

一般目標：都市計画に関する基本的な用語や指標の意味を理解する。都市計画の基礎的な知識を習得する。個々の建物・不動産と都市環境の関係を理解する。

個別目標：建物、敷地、道路など基盤施設に関する基本的な用語や指標の意味について説明できる。
防災、快適空間、街並み形成の視点から、日本の土地利用コントロールについて説明できる。
住宅地や商業地など市街地の多様な性質をふまえて「まちづくり」について説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

試験(70 %)、実習課題(30 %)の総合評価により行う。欠席は減点の対象となる。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学修を行います。教科書による事前学修を授業前に行い、教室で確認テストとその解説、補足事項の説明を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業冒頭 15 分で行う確認テストの解答を manaba に入力するため。スマートフォンでも構わない。）

▌教科書

都市計画の基礎(教員作成のオリジナルテキスト)

▌参考書

学修を深めたい方には以下の参考書を薦めます。

饗庭伸・鈴木伸治編著：初めて学ぶ都市計画 第二版 市ケ谷出版社

伊藤雅春，澤田雅浩，野澤千絵他：都市計画とまちづくりがわかる本 第二版 彰国社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：都市計画法・土地利用規制** 授業内容：都市計画決定、都市計画区域、準都市計画区域、市街化区域、市街化調整区域、用途地域、補助的地域地区等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第１回「都市計画法・土地利用規制」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
2回	**授業テーマ：都市施設・地区計画** 授業内容：都市施設、都市計画施設、都市計画事業と事業認可、都市計画制限、地区計画、開発整備促進区、地区整備計画等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第２回「都市施設・地区計画」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
3回	**授業テーマ：土地区画整理事業** 授業内容：土地区画整理事業、換地、減歩、施行者、民間施行、公的施行、施行区域、参加組合員、土地区画整理審議会について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第３回「土地区画整理事業」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
4回	**授業テーマ：仮換地と換地処分** 授業内容：換地設計、仮換地指定、所有権と使用収益権の分離、換地不交付、使用収益の停止、仮清算、換地処分、清算金、保留地、換地処分に伴う登記について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第４回「仮換地と換地処分」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
5回	**授業テーマ：基盤施設の実態調査** 授業内容：課題１として実家の市区町村に関する調査、課題２として自宅周辺の道路に関する調査を行い、レポートにまとめる。 事前学修 2.0hr：教科書第５回「基盤施設の実態調査」を読んで課題及びフィールドワークに取り組む。 事後学修 2.0hr：課題及びフィールドワークの内容を再確認し、分からなかった点について調べておく。
6回	**授業テーマ：都市の基本用語** 授業内容：居住人口、夜間人口、昼間人口、滞留人口、都市の面積、人口密度、市、市街地、都市圏について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第６回「都市の基本用語」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
7回	**授業テーマ：都市を支える基盤施設(１)―道路―** 授業内容：基盤施設、道路の交通機能と空間機能、道路の階層構成、歩車分離、通過交通排除、歩車共存、都市内自動車交通削減、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第７回「都市を支える基盤施設(１)―道路―」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
8回	**授業テーマ：都市を支える基盤施設(２)―公園・オープンスペース―** 授業内容：都市のオープンスペースの分類、公園の分類、オープンスペースの効用、オープンスペースの充実化、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第８回「都市を支える基盤施設(２)―公園・オープンスペース―」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。

9回	**授業テーマ：建物・敷地・区画道路（1）―安全な市街地―** 授業内容：火災に強い市街地の条件、耐火と防火、建築不燃化の実態とルール、隣棟間隔、外壁後退距離、二方向避難の確保、消火の通行確保、二項道路、接道実態について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第９回「建物・敷地・区画道路（１）―安全な市街地―」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
10回	**授業テーマ：建物・敷地・区画道路（2）―健康的な市街地―** 授業内容：単体規定、集団規定、筆、敷地、水平投影面積、建築面積、延べ面積、容積率、空地・日照・天空の確保、前面道路幅員による容積率制限について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 回「建物・敷地・区画道路（2）―健康的な市街地―」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
11回	**授業テーマ：建物・敷地・区画道路（3）―調和した市街地―** 授業内容：都市の利便性と快適性、土地利用の純化と混在、土地利用規制、町並みの統一感、外壁後退距離、最低敷地面積、日影規制について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 11 回「建物・敷地・区画道路（3）―調和した市街地―」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
12回	**授業テーマ：住宅地の基礎** 授業内容：計画住宅地、密集住宅地、モクミツ地域、細街路、狭小敷地、老朽木造住宅、スプロール市街地、ミニ開発、線引き制度について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 12 回「住宅地の基礎」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
13回	**授業テーマ：商業地・業務地の基礎** 授業内容：商圏、郊外 SC、空洞化問題、カテゴリーキラー、中心市街地活性化、CBD、機会費用、集積利益、MXD、ABC、エリアマネジメントについて、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 13 回「商業地・業務地の基礎」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
14回	**授業テーマ：市街地計画の基礎** 授業内容：開発行為、開発許可、ミニ開発、土地区画整理事業、地区計画、建築協定、特別用途地区、美の条例、市街地再開発事業について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 14 回「市街地計画の基礎」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
15回	**授業テーマ：まちづくりの基礎** 授業内容：マスタープラン、合意形成、都市計画決定、都市計画、都市計画審議会、都市計画提案制度、まちづくり、公聴会について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 15 回「まちづくりの基礎」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。

建築一般構造論

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

佐々木　留美子（ささき　るみこ）・**前島　彩子**（まえしま　あやこ）

▌授業の概要

地盤と建物の安全性、長期的な耐久性に関わる工学的基礎知識を学ぶ。
建物の実現には、地域や時代に固有な生活文化、気象条件、産業構造等が関連していることを各地・各時代の事例を比較して説明する。建物の骨組や床・壁などの部位は、各種の材料や部品の組み合わせにより構成されている。この構成のされ方(建築構法)による、性能の特徴、適する建築用途を解説する。
主体構造を対象とし、各部構法については主だったものを取り上げる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生社会デザイン専攻 2、不動産鑑定専攻 2 ◎/4、2024 年度以前入学生 1）

一般目標：地盤と建物の安全性、長期的な耐久性に関わる工学的基礎知識を修得する。
個別目標：地盤と建築物の基礎的専門用語を使うことができる。
　　建築物を構成する部材の役割を指摘できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

中間課題(50%)および期末試験(50%)
到達目標の達成度に対して、中間課題では内容の理解度、期末試験では知識の定着を確認する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で学修した内容を身近な建築物で確認し、その内容を共有して意見交換する機会を設ける。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

松村秀一編著：3D 図解による建築構法(市ヶ谷出版社)

▌参考書

授業開始時に指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、建築のしくみ** 授業内容：この講義の進行、ルールを説明する。また、授業目標のイメージ把握として授業に関連する近年の主だったトピックを確認する。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 2.0hr：日常的に接する建築物の建築構法を調べてみる。
2回	**授業テーマ：建築物の性能と建築物にはたらく荷重** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、建築物の性能と建築物にはたらく荷重に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：建築物が備えるべき性能を復習する。
3回	**授業テーマ：地盤と基礎構造** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、地盤の安全性や各種基礎構造の相違に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：地盤の性質と基礎構造の形式を復習する。
4回	**授業テーマ：木造Ⅰ 材料の特徴** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、木造の材料特性、流通材に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：木材の性質を復習する。
5回	**授業テーマ：木造Ⅱ 在来軸組構法** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、在来軸組構法建物の部材構成やその特徴に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：在来軸組み構法の各部の名称と役割を復習する。
6回	**授業テーマ：木造Ⅲ ツーバイフォー構法、その他の構法(CLT、校倉など)** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、ツーバイフォーや CLT 構法建物の部材構成やその特徴に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：日常的に接する木造の建築物の特徴を観察する。
7回	**授業テーマ：演習とまとめ 1** 授業内容：授業前半の内容を総括し、演習課題を通して理解度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：１回から６回の内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：これまでの講義内容について理解を深める。
8回	**授業テーマ：鉄骨造Ⅰ 材料の特徴** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、鉄骨造の材料特性、流通材に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：鋼の性質を復習する。日常的に接する鉄骨造による建築物の特徴を観察する。
9回	**授業テーマ：鉄骨造Ⅱ 構法** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、鉄骨造建物の部材構成やその特徴に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：鉄骨造の各部の名称と役割を復習する。
10回	**授業テーマ：コンクリート系構造Ⅰ 材料の特徴** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、RC 造の材料特性や流通材に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：コンクリートの性質を復習する。

11回	**授業テーマ：コンクリート系構造Ⅱ 構法** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、RC 造建物の部材構成やその特徴に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：日常的に接するコンクリート系構造の建築物の特徴を観察する。
12回	**授業テーマ：コンクリート系構造Ⅲ、その他の構造** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、RC 造に類する建物の部材構成やその特徴に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む 事後学修 2.0hr：コンクリート系構造、その他の構造について各部の名称と役割を復習する。
13回	**授業テーマ：各部構造(屋根・壁)** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、屋根・壁の主要な構成方法やその特徴に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：各部構造の名称と役割を復習する。
14回	**授業テーマ：各部構造(床・天井・開口部・階段)** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、床・天井・開口部・階段の主要な構成方法やその特徴に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：各部構造の名称と役割を復習する。
15回	**授業テーマ：演習とまとめ２** 授業内容：授業後半の内容を総括し、演習課題を通して理解度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：８回から１４回の内容を復習しておく。 事後学修 3.5hr：試験の準備をする。

都市計画

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

小杉　学 (こすぎ　まなぶ)

▌授業の概要

都市計画は、良い都市を実現するために人々が創りあげてきた社会システムであり、個々の不動産を関連づけ、場を整え、社会の中に位置づける役割を担っている。本講義では、都市を構成する人、活動、建物、土地などの諸要素がどのように都市空間を構成するかの理解をベースに、都市計画のシステムを学ぶ。そして、歴史的経緯や国際比較を通じて、社会条件との関連の中で都市計画の役割や手段を考えることができるようにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 2、2024 年度以前入学生 1）

一般目標：都市を構成する人、活動、建物、土地などの諸要素がどのように都市空間を構成するかを理解する。都市計画のシステムを理解する。歴史的経緯や国際比較を通じて、社会条件との関連の中で都市計画の役割や手段を認識する。

個別目標：近代都市計画の代表的な事柄・用語を説明できる。
日本の都市計画制度を説明できる。
都市空間の変化を社会の変化と関連させて説明できる。

▌履修条件

「都市計画の基礎」の履修を終えていることが望ましい。

▌評価基準・方法

定期試験（最終試験）60 %、授業冒頭に行う確認テスト等 40 %で評価する。欠席は減点の対象となる。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学修を行います。教科書による事前学修を授業前に行い、教室で確認テストとその解説、補足事項の説明を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業冒頭 15 分で行う確認テストの解答を manaba に入力するため。スマートフォンでも構わない。）

▌教科書

都市計画（毎年度作成する教員作成のオリジナルテキスト）

▌参考書

饗庭伸・鈴木伸治編著：初めて学ぶ都市計画　第二版　市ケ谷出版社
伊藤雅春，澤田雅浩，野澤千絵他：都市計画とまちづくりがわかる本　第二版　彰国社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・都市計画の三本柱** 授業内容：授業の進め方、都市計画の三本柱について解説する。 事前学修 2.0hr：都市計画の三本柱について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
2回	**授業テーマ：欧米の近代都市計画(イギリス)** 授業内容：工業都市問題、ロンドン市建築条例、ハワードの田園都市、それらの現代都市計画への影響について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第２回「欧米の近代都市計画(イギリス)」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
3回	**授業テーマ：欧米の近代都市計画 (フランス)** 授業内容：オスマンのパリ改造、コルビュジエの 300 万人の現代都市、コルビュジエのヴォアザン計画、CIAM、それらの現代都市計画への影響について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第３回「欧米の近代都市計画(フランス)」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
4回	**授業テーマ：日本の近代都市計画** 授業内容：銀座煉瓦街、日比谷官庁計画、市区改正、都市計画法(新法)の制定、帝都復興計画、それらの現代都市計画への影響について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第４回「日本の近代都市計画」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
5回	**授業テーマ：サスティナブルコミュニティ** 授業内容：近隣コミュニティ、近隣住区理論、ラドバーン団地、レビットタウン、エッジシティ、ビレッジホームズ、それらの現代都市計画への影響について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第５回「サスティナブルコミュニティ」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
6回	**授業テーマ：市街化区域** 授業内容：区域区分(線引き)、スプロール、開発行為、開発許可、ミニ開発、生産緑地、特定生産緑地等についてそれらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第６回「市街化区域」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
7回	**授業テーマ：市街化調整区域** 授業内容：市街地の拡大と拡散化、イギリスのグリーンベルト政策、市街化調整区域の開発行為、川越市 3411 条例、香川県の線引き廃止等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第７回「市街化調整区域」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
8回	**授業テーマ：都市計画決定・都市施設** 授業内容：都市計画決定、都市施設、都市計画事業、都市計画税等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第８回「都市計画決定・都市施設」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
9回	**授業テーマ：建築協定・地区計画** 授業内容：街区・地区レベルの都市計画、建築協定、穴抜け、一人協定、地区計画、地区整備計画等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第９回「建築協定・地区計画」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。

10回	**授業テーマ：土地区画整理事業** 授業内容：市街地開発事業、土地区画事業、換地、減歩、保留地、事業費の構造、民間施行と公的施行、土地区画整理審議会、減価補償金等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 回「土地区画整理事業」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
11回	**授業テーマ：市街地再開発事業** 授業内容：第一種／第二種市街地再開発事業、保留床、権利変換、用地買収、任意再開発、等価交換、身の丈再開発等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 11 回「市街地再開発事業」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
12回	**授業テーマ：マスタープラン** 授業内容：都市計画区域マスタープラン、市町村マスタープラン、市町村の総合計画、立地適正化計画等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 12 回「マスタープラン」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
13回	**授業テーマ：景観計画** 授業内容：景観保存と景観保全、都市デザイン、川越の町並み保全、伝統的建造物群保存地区、景観法、景観計画、景観地区等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 13 回「景観計画」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
14回	**授業テーマ：地方都市再生** 授業内容：地方都市衰退の実情とメカニズム、株式会社黒壁、まちづくり会社、空き家バンク、ランドバンク、小規模連鎖型区画再編事業、上山市の事業応援バンク等について、それらの必要性と仕組み、課題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 14 回「地方都市再生」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
15回	**授業テーマ：都市計画フィールドワーク** 授業内容：第２回～第 14 回の授業で扱ったテーマに関する事例を自ら選定し、フィールドワークを行い実情を把握する。授業で解説した必要性、仕組み、課題とどのように異なるか、それはなぜかを考察する。 事前学修 2.0hr：教科書第 15 回「レポート課題」を読んでフィールドワークに取り組む。 事後学修 2.0hr：これまでの復習ノートを再確認し、分からない点があれば自ら調べるか教員に質問する。

ハウジング論

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

金指　有里佳（かなざし　ゆりか）

▌授業の概要

現在の日本にはどんな住宅がどう供給されるのか。住宅を扱う職業・住宅産業はどうなっているのか。住宅・居住上の課題にはどんなものがあるのか。そのために住宅政策・居住政策がどう行われるのか。それぞれの政策により、住宅供給者・生活者にどんな影響を与えるのか。諸外国ではどんな政策を行っているのか。住宅のタイプ、住宅供給形態、住宅産業、住宅・居住事情を踏まえ、住宅政策・居住政策の推移と、現在の政策、それを住宅金融、住宅市場、住環境整備、税制、住宅生産との関係で見る。ハウジングの基礎的知識と理論を学ぶことが目的である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産学におけるハウジング論の重要性を理解し、その概念と手法に関する基本的知識を習得するとともに、ハウジングに関する理論と実践の適用能力を身につける。

個別目標：ハウジング論の意義と基本的概念を説明できる。
日本におけるハウジングの現状と課題について説明できる。
政策と市場・産業レベルそれぞれにおけるハウジングに関する枠組みと取り組みについて説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。
定期試験（最終試験）40 %、授業おわりに行う確認テスト 60 %で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業：配布資料を事前に学修し、授業ではその知識確認・解説を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。毎回、講義資料を配布する。

▌参考書

その都度、紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ハウジング論ガイダンス・平成 30 年度住宅・土地統計調査(日本の住宅事情を統計データに基づき理解する)** 授業内容：ハウジングとはなにかについて概説するとともに、統計データをもとに日本の住宅事情を概観する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：日本の住宅に関する状況を統計データにより確認する。
2 回	**授業テーマ：住宅の分類(住宅を様々な観点・視点から分類することにより、住宅に関する体系的理解を得る)** 授業内容：様々な観点・視点から住宅が分類できることを具体的に示し、体系的な理解のもとでハウジングを考える必要性を説く。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、住宅の分類について確認する。
3 回	**授業テーマ：住宅の基準(住宅に関する各種の基準を確認することにより、住宅の品質に関する総体的な理解を得る)** 授業内容：「住宅の質」とはなにかについて考えるために、住宅に関するいくつかの基準を紹介し、総体的理解を促す。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、住宅の基準について確認する。
4 回	**授業テーマ：住宅を購入する(その 1) (土地の確保方法、住宅の購入プロセス、建築条件付土地分譲に関する理解を得る)** 授業内容：住宅購入に関する基本知識のうち、土地の確保方法、住宅の購入プロセス、建築条件付土地分譲について講義する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、土地の確保方法や住宅の購入プロセスなどに関するポイントを確認する。
5 回	**授業テーマ：住宅を購入する (その 2)(住宅を買うための資金の確保方法、住宅ローンの仕組み、諸費用、割賦販売)** 授業内容：住宅購入に関する基本知識のうち、住宅購入資金の確保方法、住宅ローンの仕組み、諸費用、割賦販売について講義する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、住宅を買うための資金の確保方法などに関するポイントを確認する。
6 回	**授業テーマ：既存住宅の購入 (売主が個人の場合、売主が業者の場合、買取リノベ再販)** 授業内容：既存住宅の購入にあたって、売主が個人の場合、売主が業者の場合、買取リノベ再販の場合のそれぞれについて解説する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、既存住宅を買う場合における売主の違いによる相違点などのポイントを確認する。
7 回	**授業テーマ：リフォームとリノベーション(定義、目的、新築住宅購入と既存住宅購入とリノベーションの比較)** 授業内容：近年注目されるリフォームやリノベーションの定義、目的のほか、新築住宅購入と既存住宅購入との差異について講義する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、リフォームとリノベーションの相違点、新築住宅や既存住宅の購入との相違点を確認する。
8 回	**授業テーマ：住み替え(住み替える理由とタイプ、住宅すごろく、データで見る住み替えの実態)** 授業内容：住宅の住み替えについて、住み替える理由や方法、住み替えの実態について解説する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、住み替える理由、住み替えのタイプなどに関するポイントを理解する。
9 回	**授業テーマ：住宅を借りて住む(住宅を借りるルール、供給主体別に見た賃貸住宅の類型、日本の賃貸住宅の現状)** 授業内容：住宅を借りる際のルールや、供給主体別に見た賃貸住宅の類型について解説し、日本の賃貸住宅の現状について紹介する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、住宅賃貸借に関する民法、借地借家法の規定、賃貸住宅の類型と現状を確認する。
10 回	**授業テーマ：マンションに住む(その 1)(マンションの定義、マンション管理の構成要素、マンション管理のルール体系)** 授業内容：マンションの定義、マンション管理の構成要素、マンション管理のルール体系について解説する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、マンションの定義、管理の構成要素、管理ルールに関するポイントを確認する。

11回	**授業テーマ：マンションに住む(その 2)(マンションの計画修繕、長期修繕計画、修繕積立金、専有部分のリフォーム)** 授業内容：マンション居住において重要な計画修繕、長期修繕計画、修繕積立金、専有部分のリフォームについて解説する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、マンションの共用部分の修繕、専有部分のリフォームに関するポイントを確認する。
12回	**授業テーマ：マンションに住む(その 3)(マンションの再生、改修・建替え・解消の手続き、議決要件など)** 授業内容：近年おおきな課題となっているマンションの再生について、改修・建替え・解消の手続き、議決要件などについて講義する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、マンションの再生手法の内容と手続きに関するポイントを確認する。
13回	**授業テーマ：良い住宅に住む(その 1) (住宅性能表示制度、長期優良集宅制度、SI 住宅、コーポラティブ住宅など)** 授業内容：住宅の質向上にとって重要となる住宅性能表示制度、長期優良集宅制度、SI 住宅、コーポラティブ住宅などについて解説する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、良い住宅のための制度や仕組みの内容に関するポイントを確認する。
14回	**授業テーマ：良い住宅に住む(その 2) (バリアフリー、ユニバーサルデザイン、高齢者の住まい方、サービス付き高齢者向け住宅など)** 授業内容：超高齢社会で重要なバリアフリー、ユニバーサルデザイン、高齢者の住まい方、サービス付き高齢者向け住宅について講義する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、ユニバーサルデザインの考え方を理解し、誰でも住みよい住宅のポイントを確認する。
15回	**授業テーマ：住み良いまちに住む(住み良いまちを作る技術、法制度、住み良いまちの事例)** 授業内容：これまでの講義内容を踏まえ、住み良いまちを作る技術や法制度を解説し、住み良いまちの事例を紹介する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、講義内容への理解と疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、住み良いまちの技術、仕組みや全国の実例を確認する。

都市と建築の基本法

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

秦　瑞希（はだ　みずき）・**藤木　亮介**（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

日本の都市やまちは、「都市計画法」に基づいて形づくられてきた。また、そこに建つ建築物は「建築基準法」に従って建てられている。この授業では、主に個々の建築物の室内環境、構造、防火、避難等に関わる制限(建築基準法の単体規定)と、建築物とその周囲との関係性を踏まえて設定される道路と敷地の関係、建蔽率・容積率、建物の高さ、建築物の位置等の制限(建築基準法の集団規定)を理解し、都市と建築の関係性を学ぶ。さらに、良好なまちづくりや、良好な建築を促進するための規制について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 2、2024 年度以前入学生 2）

一般目標：建築物がどのような考えや規制の下で建築され、都市を構成しているかを理解する。また、建築を取り巻く建築基準法以外の規制について、どのようなものがあるかを知る。

個別目標：都市計画法と建築基準法との関係を説明できる。
建築物を建てる場合に必要となる、建築基準法、ならびにその他の法律の主だった内容を説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

期末試験 50 %、授業中の課題・中間試験 50 %で評価する。欠席は減点の対象となる。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業：教科書を事前に学修し、授業ではその知識確認を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

都市と建築の基本法(オリジナルテキスト)

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義の概要、講義のすすめ方、建築基準法の歴史と意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：建築基準法と都市計画法の概要について予習する。 事後学修 2.0hr：建築基準法の歴史について復習し、その内容をノートに記録する。
2回	**授業テーマ：建築基準法の概要、用語の定義、面積・高さ** 授業内容：建築関係法規の概要、建築物・特殊建築物・居室・主要構造物などの用語の定義、面積・高さに関わる用語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
3回	**授業テーマ：一般構造規定・建築設備** 授業内容：一般構造規定・建築設備として、室内の環境についての規定、衛生についての規定、日常の安全についての規定について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
4回	**授業テーマ：構造強度** 授業内容：建物の構造強度に関わる、構造設計と構造規定、耐震基準と構造設計の原則、木造軸組工法住宅の構造安全性の確認について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
5回	**授業テーマ：防火と避難１(耐火・防火)** 授業内容：防火基準の強化と合理化、主要構造部の制限、建築物の外殻に対する制限について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
6回	**授業テーマ：防火と避難２(防火区画・内装制限・界壁)** 授業内容：防火区画の設置、内装材料の制限、共同住宅などの界壁に関する既成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
7回	**授業テーマ：防火と避難３(避難・消防)** 授業内容：避難施設などの設置、消防活動の支援、消防法による防火安全措置について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
8回	**授業テーマ：単体規定の復習** 授業内容：第 2 回授業から第 7 回授業までを範囲として、中間試験をおこなう。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習し、中間試験の対策を行う。 事後学修 2.0hr：中間試験の結果を踏まえ、理解が不十分な分野を復習する。
9回	**授業テーマ：都市計画と建築基準法** 授業内容：都市計画区域と都市計画区域外、市街化区域と市街化調整区域、防火地域と準防火地域、二以上の地域にまたがる建築物について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
10回	**授業テーマ：道路と敷地** 授業内容：建築基準法の道路、道路の種類、敷地と道路の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
11回	**授業テーマ：建蔽率・容積率** 授業内容：面積に関する規定、建蔽率、容積率、二以上の地域にまたがる容積率と建蔽率について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。

12回	**授業テーマ：高さ制限・斜線制限・日影規制** 授業内容：高さに関する規定、絶対高さ制限、斜線制限、日影規制について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
13回	**授業テーマ：良好なまちづくりに関わる規定・良好な建築を促進する規定** 授業内容：地区計画と建築協定、建築物の位置を制限する規定、建築物の維持保全、耐震改修促進法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。
14回	**授業テーマ：集団規定の復習** 授業内容：第 9 回授業から第 13 回授業までを範囲として、中間試験をおこなう。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習し、中間試験の対策を行う。 事後学修 2.0hr：中間試験の結果を踏まえ、理解が不十分な分野を復習する。
15回	**授業テーマ：手続きの規定** 授業内容：建築確認制度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書、関連する資料等の該当する部分を読んで要点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習し、その内容をノートに記録する。

環境法

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

浜島　裕美（はまじま　ひろみ）

▌授業の概要

環境法とは、環境保全上の支障(公害や地域的規模あるいは地球的規模の環境破壊・悪化)を防止し、良好な環境の確保をはかることを目的とする法制度(憲法、条約、法律、条例など)の総称で、それぞれの対象や目的などは様々である。本講義では、環境法の基本的な枠組みを学修した上で、個別法分野と、世界の環境法政策の動向などを扱う。個別法としては、大気や水など、我が国の環境法発展の発端となった分野の規制法のほか、不動産に関わる環境法を取り上げる。持続可能な社会の構築というキーワードから、都市環境、自然環境、水・大気環境管理などを考えていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 2、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：様々な環境問題に対して、法による対応の方法を理解し、社会活動と環境保全とを両立する方策を提案できる。
個別目標：①環境法の全体像と個別法との関係を理解し、他者に説明できる。
②社会活動と環境保全とを両立する方策を提案できる。
③持続可能な開発や発展を可能とする方策を説明できる。

▌履修条件

法律系の専門科目を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎回の課題 60 %、試験 40 %、及び到達目標の達成度に基づき、総合的に評価する。なお、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word を搭載したノートパソコンなどインターネットを通じて manaba を利用できる機器を持参すること）

▌教科書

初回講義時に指示する。

▌参考書

適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・環境法とは何か** 授業内容：この授業の進め方と評価方法、単位修得条件などについて説明し、テキスト全体の構成と学修の仕方について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書を購入し、シラバスを読んで、本講義で行うことについてよく理解しておく。 事後学修 2.0hr：環境法に分類される法律を調べ、それぞれの法律の目的をまとめる。
2 回	**授業テーマ：環境法の歴史** 授業内容：環境法が成立する前の状況と成立の経緯について学修する。 事前学修 2.0hr：四大公害訴訟について、事件の経緯と裁判所の判断、現在への影響を調べておく。 事後学修 2.0hr：四大公害訴訟以外の公害訴訟の内容と、それらにより成立した法律・政策をまとめる。
3 回	**授業テーマ：環境法の目標と基本的考え方** 授業内容：環境基本法が掲げる目標と方向性について学修する。 事前学修 2.0hr：持続可能な発展と環境公益の内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：汚染者負担原則、未然防止原則、予防原則が盛り込まれた法令とその内容をまとめる。
4 回	**授業テーマ：環境法で用いる手法** 授業内容：環境法で用いられるさまざまな政策手法について学修する。 事前学修 2.0hr：環境法の目的、対象、内容、手法をいくつかの個別法を選んで書き出しておく。 事後学修 2.0hr：許可制、認可制、届出制、行政指導、不利益処分、行政代執行についてまとめる。
5 回	**授業テーマ：都市景観管理その 1　土地利用制限と都市景観** 授業内容：土地利用制限と都市景観の保全について、都市計画法と建築基準法を対象に学修する。 事前学修 2.0hr：土地利用制限を規定している法律を調べておく。 事後学修 2.0hr：都市計画法と建築基準法の枠組をまとめる。
6 回	**授業テーマ：都市景観管理その 2　景観訴訟** 授業内容：都市景観保全に関する訴訟をいくつか取り上げ、それらの特徴について学修する。 事前学修 2.0hr：まことちゃんハウス事件の経緯を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業で取り上げた景観訴訟の概要をまとめる。
7 回	**授業テーマ：都市景観管理その 3　景観法と景観条例** 授業内容：景観法と自治体の景観条例について、概要と特徴や限界について学修する。 事前学修 2.0hr：景観保全を目的とする条例を調べておく。 事後学修 2.0hr：銀座デザインルールの内容と、それに沿ったデザインの建物を調べる。
8 回	**授業テーマ：自然環境管理その 1　公園管理** 授業内容：自然公園法の概要とゾーニングの特徴等について学修する。 事前学修 2.0hr：国立公園と国定公園の違いを調べておく。 事後学修 2.0hr：国立公園内にホテルを建設する際の手続きの概要をまとめる。
9 回	**授業テーマ：自然環境管理その 2　生物多様性** 授業内容：生物多様性の保全に関する法律や条例の概要と限界について学修する。 事前学修 2.0hr：生物多様性基本法と種の保存法の内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：特定外来生物の取り扱いの概要をまとめる。
10 回	**授業テーマ：水・大気環境管理** 授業内容：水質汚濁防止法、大気汚染防止法、悪臭防止法、水循環基本法の概要と特徴について学修する。 事前学修 2.0hr：水質汚濁防止法と大気汚染防止法の概要を調べておく。 事後学修 2.0hr：水循環基本法の特徴をまとめる。
11 回	**授業テーマ：廃棄物処理・リサイクル・土壌汚染** 授業内容：廃棄物防止法、循環基本法の概要と特徴について学修する。 事前学修 2.0hr：おから事件について調べておく。 事後学修 2.0hr：循環基本法を中心とするリサイクル関連法とその内容を整理してまとめる。

12回	**授業テーマ：環境アセスメント** 授業内容：環境影響評価法の概要と特徴やその限界について学修する。 事前学修 2.0hr：大規模建設事業を実施するにあたり、環境アセスメントが必要な理由を調べておく。 事後学修 2.0hr：戦略的環境アセスメントの必要性と、アセスメント実施の障害についてまとめる。
13回	**授業テーマ：地球環境問題** 授業内容：地球環境問題に関して、国内法制や国際法、条約などについて学修する。 事前学修 2.0hr：京都議定書とパリ協定の内容と、両者の関係について調べておく。 事後学修 2.0hr：ワシントン条約、バーゼル条約、ウィーン条約の概要をまとめる。
14回	**授業テーマ：環境法実施の適正化** 授業内容：環境法の内容を執行する行政機関や執行手続、環境 NPO の活動内容等について学修する。 事前学修 2.0hr：産廃 G メンの活動について、インターネットなどで調べておく。 事後学修 2.0hr：環境 NPO の役割と具体的活動についてまとめる。
15回	**授業テーマ：環境紛争の解決** 授業内容：環境紛争の件数や内訳、解決方法と紛争予防策について学修する。 事前学修 2.0hr：自分の居住地の公害苦情発生件数の推移を調べておく。 事後学修 2.0hr：公害紛争処理法に基づく環境紛争の解決が、裁判による解決と異なる点をまとめる。

集合住宅管理論

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

小杉　学 (こすぎ　まなぶ)

▌授業の概要

住宅の中で、集合住宅の数は増加している。それらを適正に維持管理し、建物の資産価値とともに、居住性を維持向上させることは、わが国の重要な課題となっている。そのなかでも、区分所有型の集合住宅(マンション)は、所有形態の複雑さから特別な管理方法が必要である。区分所有マンションの所有と管理方法、それをとりまく法制度について学ぶ。さらに、「管理不全」「第三者管理」「不適切コンサル」といった現在の区分所有マンションが抱える問題点や課題について、それらが発生する社会的構造や問題解決に向けた取り組みなど、最新の話題についても考えて行く。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生社会デザイン専攻 4、不動産鑑定専攻 4 ◎、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：マンションに居住する、あるいはマンションの販売・売買・賃貸・管理に専門家として関与するための基本的な知識が身につく。マンション管理の基本的な知識と進め方がわかるようになる。

個別目標：マンションの概要と特性について説明できる。
区分所有法に基づいたマンション管理の基本的知識と進め方について説明できる。
我が国のマンション問題について解説できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

定期試験(最終試験) 60 %、授業冒頭および授業末尾に行う確認テスト等 40 %で評価する。欠席は減点の対象となる。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学修を行います。教科書による事前学修を授業前に行い、教室で確認テストとその解説、補足事項の説明を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業冒頭 15 分および授業末尾に行う確認テストの解答を manaba に入力するため。スマートフォンでも構わない。）

▌教科書

集合住宅管理論(教員作成のオリジナルテキスト)

▌参考書

齊藤広子，篠原みち子，鎌野邦樹：新・マンション管理の実務と法律 日本加除出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・マンションの定義と歴史** 授業内容：授業の進め方、マンションの定義と歴史について解説する。 事前学修 2.0hr：マンションの歴史について調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
2回	**授業テーマ：マンションの位置づけ** 授業内容：集合住宅・共同住宅・長屋の違い、不動産業界におけるマンション、法律に基づくマンション、マンションのストック、これらがマンション管理に及ぼす影響について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第２回「マンションの位置づけ」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
3回	**授業テーマ：区分所有／専有部分／共用部分／敷地** 授業内容：区分所有、区分所有建物、区分所有法、専有部分、共用部分、敷地について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第３回「区分所有／専有部分／共用部分／敷地」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
4回	**授業テーマ：持分／区分所有建物の登記** 授業内容：共用部分の持分、敷地利用権、敷地持分、分離処分の禁止、共有物分割請求の禁止、区分所有建物の登記について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第４回「持分／区分所有建物の登記」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
5回	**授業テーマ：管理組合／総会／規約** 授業内容：管理組合、管理規約、総会、総会決議、総会の効力について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第５回「管理組合／総会／規約」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
6回	**授業テーマ：理事会／総会運営／議決権** 授業内容：理事会、理事長、理事、監事、役員の担い手不足、理事会招集、理事会運営、総会運営、委任状による総会出席、議決権行使書による総会出席、議決権の考え方について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第６回「理事会／総会運営／議決権」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
7回	**授業テーマ：管理者／マンション管理業者** 授業内容：区分所有法が定める「管理者」、マンション管理会社、マンション管理適正化法、マンション管理業者、管理業務主任者、管理形態、管理業者への委託契約、マンション管理士について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第７回「管理者／マンション管理業者」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
8回	**授業テーマ：分譲業者／原始規約／管理費** 授業内容：マンション管理における分譲業者の役割、原始規約の問題点、管理費の負担割合、管理費の算出方法、管理費の内訳、管理費滞納者への対応、中古物件購入時の重要事項説明について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第８回「分譲業者／原始規約／管理費」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
9回	**授業テーマ：管理組合の会計／義務違反者** 授業内容：会計区分、使用料会計、財産の分別管理、収納口座、保管口座、保証措置、義務違反者、共同の利益に反する行為、義務違反者に対する措置(区分所有法 57 条～60 条、標準管理規約 66 条)について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書第９回「管理組合の会計／義務違反者」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。

10回	**授業テーマ：マンションの居住ルール** 授業内容：マンション管理の３側面、使用細則、違法駐車・ペット飼育・バルコニー利用・専有部分リフォームに関する各トラブル、使用細則違反の是正措置、マンションのコミュニティ活動について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 回「マンションの居住ルール」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
11回	**授業テーマ：修繕積立金／長期修繕計画** 授業内容：計画修繕、経常修繕、大規模修繕工事、長期修繕計画、修繕積立金、段階増額積立方式、均等積立方式について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 11 回「修繕積立金／長期修繕計画」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
12回	**授業テーマ：大規模修繕工事** 授業内容：計画修繕、修繕周期、経常修繕、大規模修繕工事、老朽化、劣化、陳腐化について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 12 回「大規模修繕工事」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
13回	**授業テーマ：マンションの給水設備** 授業内容：マンション管理における給水設備の重要性、６つの給水方式、給水設備の所有の範囲と修理の範囲、給水管の材料、専有部分の漏水問題について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 13 回「マンションの給水設備」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
14回	**授業テーマ：団地** 授業内容：区分所有法が定める団地、標準管理規約が定める団地、団地型マンション、団地管理組合、団地共用部分、団地型マンションの管理、標準管理組合(団地型)について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 14 回「団地」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。
15回	**授業テーマ：管理組合法人** 授業内容：管理組合(３条団体)と管理組合法人の違い、管理組合法人の必要性とメリット、法人化手続き、管理組合法人の代理権、管理組合法人の事務・理事・監事・登記について解説する。 事前学修 2.0hr：教科書第 15 回「管理組合法人」を読んで重要な点を確認し、分からない点を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認テストの内容を再確認し、授業中のメモを用いて復習ノートを作成する。

不動産経営計画

開講学科等：不　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：建築士試験 指定科目

角野　公一郎（すみの　こういちろう）

▌授業の概要

建築物の長期利用の必要性が高まっています。一方で、不動産を取り巻く状況の変化が激しくなっています。この授業では、建築物を長期に安定的に経営するために必要となる諸要素について、建築生産および維持管理の観点を踏まえながら学びます。授業の前半は、建築物の形態規制について学び、その規制の中で、実際に建築可能な建築物の規模計画を行います。また、一般の建築計画に加えて、賃貸ビル経営の観点から注意すべき建築計画上の要素を学びます。後半は、賃貸事業経営計画に必要となる費用項目や収入項目について学び、賃貸事業収支計画の作成と分析、事業の見直しについて学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：賃貸事業の建築計画および収支計画が立案できるようになります。

個別目標：不動産賃貸事業の仕組みと関係する多様な専門家の役割を説明できる。
形態制限を考慮したうえで土地を最も有効に利用する建築物を計画することができる。
賃貸事業の収支項目を知り、各項目の予想値を設定することができる。
賃貸事業収支のプログラムを作成して収支計画を立案できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

レポート 50 %、試験 50 %で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業を行う。知識習得を授業外(事前学修)で済ませ、教室では知識の確認等を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （指定する回の授業では Excel ソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

中城康彦「建築プロデュース」(市ヶ谷出版社)

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：不動産経営計画の学修内容概観** 授業内容：ガイダンスおよび不動産経営計画学修上の基本知識の確認を行います。土地と建物の関係。賃貸と分譲の関係。 事前学修 0.5hr：シラバスをよく読んで、授業内容をイメージする 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
2 回	**授業テーマ：賃貸不動産経営の枠組み** 授業内容：賃貸経営の枠組みを学びます。建築設計、建築施工、不動産金融、不動産流通、不動産管理、貸主と借主。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸経営の枠組みを復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
3 回	**授業テーマ：建設用地取得の仕組みと制度** 授業内容：土地の取得。建設用地を購入する場合に必要となる知識や留意点を学びます。登記簿等や権利の対抗力。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：土地の取得を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
4 回	**授業テーマ：建築可能な建築物の広さ** 授業内容：建築可能な建築物の想定－その 1。建築物の広さに対する法的規制とそれに対応する建築物の想定方法。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：建築可能な建築物の想定を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
5 回	**授業テーマ：建築可能な建築物の高さ** 授業内容：建築可能な建築物の想定－その 2。建築物の高さに対する法的規制とそれに対応する建築物の想定方法。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：建築可能な建築物の想定を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
6 回	**授業テーマ：共同住宅の住棟計画** 授業内容：賃貸経営と建築計画－その 1。賃貸経営の視点から共同住宅の住棟計画を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸経営と建築計画を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
7 回	**授業テーマ：賃貸住宅の住戸計画** 授業内容：賃貸経営と建築計画－その 2。賃貸経営の視点から共同住宅の住戸計画を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸経営と建築計画を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
8 回	**授業テーマ：賃貸ビル経営の初期費用** 授業内容：賃貸ビル経営の初期投資。建築設計と建築施工の費用。地盤調査と地籍測量の費用。不動産取得にかかる税金。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸ビル経営の初期投資を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
9 回	**授業テーマ：賃貸ビル経営の資金調達** 授業内容：賃貸ビル経営の事業収支計画－その 1。自己資金と借入金。元利均等償還の返済額。減価償却額の計算。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸ビル経営の事業収支計画を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
10 回	**授業テーマ：賃貸ビル経営の経常収支** 授業内容：賃貸ビル経営の事業収支計画－その 2。家賃収入と入居一時金。保有税。維持管理費、更新費用と改修費用。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸ビル経営の事業収支計画を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する

11回	**授業テーマ：賃貸ビル経営の事業収支プログラム** 授業内容：賃貸ビル経営の事業収支計画－その 3。賃貸経営事業収支のプログラムの作成と利用について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸ビル経営の事業収支計画を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
12回	**授業テーマ：賃貸ビルの経営分析** 授業内容：賃貸ビル経営の事業評価－その 1。賃貸経営事業収支の分析方法について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸ビル経営の事業評価を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
13回	**授業テーマ：賃貸ビル経営の見直し** 授業内容：賃貸ビル経営の事業評価－その 2。事業収支分析の結果にもとづいた事業計画全体の見直しについて学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸ビル経営の事業評価を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
14回	**授業テーマ：賃貸住宅の管理** 授業内容：賃貸住宅の管理の役割について学びます。不動産流通と不動産管理の関係、賃貸管理の機能、組織、業務などについて学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：賃貸住宅の管理の役割を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する
15回	**授業テーマ：賃貸ビル経営の事業手法** 授業内容：賃貸住宅経営の事業手法について学びます。事業受託方式、土地信託方式、等価交換方式、不動産証券化など。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する部分や事前配布する資料、指定する資料等を読んで要点を整理する 事後学修 3.5hr：賃貸住宅経営の事業手法を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を追記する

まちづくり演習

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：前 2 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

浅川　潔（あさかわ　きよし）・**斎藤　千尋**（さいとう　ちひろ）

▌授業の概要

まちづくりの現場においては、実情に基づき、課題を解決し、優れた特徴を守り育てていくような、市街地の将来像が求められる場面がある。この授業では、実際の市街地を対象として、現況把握から、課題抽出、そして計画立案にいたるまちづくりプロセスの実習を行う。実習を通じて、建物、敷地、道路など都市の構成要素と市街地環境の関係、ならびに居住者の立場と視点を理解するとともに、市街地を客観的に把握分析し、良好な市街地の姿を描く能力、およびそれらを分かりやすく表現する技術を修得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生社会デザイン専攻 3/4、不動産鑑定専攻 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：グループ作業のチームワークにより、市街地の調査からその将来像を提案できるようになること。

個別目標：1 建物の用途・形態・配置、敷地、道路などの市街地状況を、現地調査、地図、統計資料等を用いて把握できるようになること。
2 状況把握にもとづき市街地環境の課題を抽出できるようになること。
3 居住者条件を考慮した上で市街地将来像を描く能力を持つこと。
4 将来像等のプレゼンテーションを適切に行えるようになること。

▌履修条件

「都市計画の基礎」、「建築一般構造論」、「不動産公法」または「都市と建築の基本法」の履修を終えていること。なお、希望者多数の場合はデザインコースの学生を優先して選抜を行う。

▌評価基準・方法

各課題の報告書及びプレゼンテーションにより、個別目標１（30 %）、個別目標２（30 %）、個別目標３（30 %）、個別目標４（10 %）の重みづけで評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （調査結果の地図データ化と主題図作成。社会統計データの収集、加工、グラフ化。報告書、スライドの作成。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

受講済みであれば、都市計画の基礎、都市計画の教材。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業のスケジュール、授業のねらいを説明する。 事前学修 3.0hr：まちづくりについてネットなどで調べておく。 事後学修 1.0hr：配布資料を整理し、ファイルを作成する。	16 回	**授業テーマ：課題３報告書作成** 授業内容：課題３の報告書をまとめ、プレゼンテーションを準備する。 事前学修 1.0hr：作成資料の原案を検討しておく。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーション用資料を作成する。
2 回	**授業テーマ：グループ編成、課題 1（地区のイメージ、土地利用の把握）の説明** 授業内容：グループ編成を行い、担当地区を決定する。地区の建物・土地利用の把握の方法を説明する。 事前学修 1.0hr：資料を読み込んでおく。 事後学修 3.0hr：対象地の地図、航空写真で現地の様子を確認しておく。	17 回	**授業テーマ：課題３プレゼンテーション** 授業内容：課題３のプレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの準備をしておく。 事後学修 3.0hr：課題３のプレゼンテーションに対して指摘された作業を行う。
3 回	**授業テーマ：対象地区の現地見学** 授業内容：対象地区の印象を確かめ、イメージを伝える写真を撮影する。 事前学修 2.0hr：調査対象の候補地についてそれぞれの特徴を比較検討しておく。 事後学修 2.0hr：地区の写真を整理しておく。	18 回	**授業テーマ：課題３プレゼンテーションのディスカッション** 授業内容：課題３のプレゼンテーション内容についてディスカッションを行う。 事前学修 1.0hr：作業や表現等の報告書で不足した部分を確認しておく。 事後学修 3.0hr：課題３の報告に対して指摘された点を報告書に反映する作業を行う。
4 回	**授業テーマ：対象地区の調査** 授業内容：土地利用現況の調査を行う。建物の用途、階数を調査する。空地の用途を調査する。 事前学修 1.0hr：作業の手順をグループで確認しておく。 事後学修 3.0hr：現地調査結果を整理する。	19 回	**授業テーマ：課題４（地区の建物・土地利用・居住者等の将来像の提案）の説明と講義** 授業内容：課題４の作業内容と提出物を説明する。まちづくりにおける将来像の役割、表現方法を説明する。 事前学修 1.0hr：課題３の報告書を完成させ、グループで情報を共有しておく。 事後学修 3.0hr：課題４の作業を行う。
5 回	**授業テーマ：調査結果の整理、データ化** 授業内容：地区のイメージの報告書をまとめる。 事前学修 1.0hr：グループのメンバー間での地区のイメージを共有する。 事後学修 3.0hr：課題１の報告資料を作成する。	20 回	**授業テーマ：改善方針の検討** 授業内容：KJ 法により、課題３までの成果を整理し、改善の方針のアイデアを出す。 事前学修 1.0hr：改善方針の案を個別に検討しておく。 事後学修 3.0hr：改善方針の案の作成作業を行う。
6 回	**授業テーマ：地図データの作成** 授業内容：Google Map を利用して土地利用の調査結果に基づきベースマップ、土地利用現況図を作成する。 事前学修 1.0hr：土地利用現況図の原案を検討しておく。 事後学修 3.0hr：課題１の報告書を完成し、グループで情報を共有しておく。	21 回	**授業テーマ：改善方針の作業** 授業内容：地区イメージのキャッチフレーズ、イメージを伝える図の作成、写真の収集を行う。 事前学修 1.0hr：改善方針の案の作成作業を行う。 事後学修 3.0hr：改善方針に対して指摘された作業を行う。
7 回	**授業テーマ：課題１のプレゼンテーション** 授業内容：地区のイメージと作成したベースマップ、土地利用現況図をプレゼンテーションする。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションを準備する。 事後学修 3.0hr：課題１のプレゼンテーションへの指摘について報告書に反映する。	22 回	**授業テーマ：改善方針の確定** 授業内容：改善の方針を説明しチェックを受ける。 事前学修 1.0hr：改善プランの構想を個別に検討しておく。 事後学修 3.0hr：説明に対する指摘事項を改善の方針に反映する。
8 回	**授業テーマ：課題２（人口・歴史等の概況把握）の説明** 授業内容：インターネット情報、図書館資料を利用して、対象地区の人口動向、歴史文化、都市計画情報を収集する。 事前学修 1.0hr：調査作業を確認しておく。 事後学修 3.0hr：調査結果を整理する。	23 回	**授業テーマ：改善プラン作成１** 授業内容：従前の敷地・建物の変更図、説明文をまとめる。 事前学修 1.0hr：改善プランのアイデアを検討しておく。 事後学修 3.0hr：改善プランの作成作業を行う。
9 回	**授業テーマ：課題２の調査** 授業内容：現地調査や博物館等の資料を収集する。 事前学修 1.0hr：調査作業を確認しておく。 事後学修 3.0hr：調査結果を整理する。	24 回	**授業テーマ：改善プラン作成２** 授業内容：従後の敷地・建物の平面図、説明文をまとめる。 事前学修 1.0hr：改善プランの作成作業を行う。 事後学修 3.0hr：改善プランの作成作業を行う。

10回	**授業テーマ：課題２の作業、資料作成** 授業内容：収集した資料を、加工、整理する。 事前学修 1.0hr：課題２の作業を確認しておく。 事後学修 3.0hr：課題２の作業を行う。	25回	**授業テーマ：改善プラン作成３** 授業内容：新しい都市計画のルールの検討、その範囲と内容をまとめる。 事前学修 1.0hr：改善プランの作成作業を行う。 事後学修 3.0hr：改善プランの作成作業を行う。
11回	**授業テーマ：課題２報告書作成** 授業内容：課題２の報告書をまとめ、発表を準備する。 事前学修 1.0hr：作成資料の原案を検討しておく。 事後学修 3.0hr：課題２の資料原案に対して指摘された作業を行う。	26回	**授業テーマ：課題４報告書作成** 授業内容：改善の方針、改善のプランの報告書をまとめる。 事前学修 1.0hr：報告書をまとめる。 事後学修 3.0hr：報告書をまとめる。
12回	**授業テーマ：課題２プレゼンテーション** 授業内容：課題２の報告書のプレゼンテーションとディスカッションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの準備をしておく。 事後学修 3.0hr：課題２のプレゼンテーションに対して指摘された作業を行う。	27回	**授業テーマ：課題４プレゼンテーション** 授業内容：課題４のプレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションを準備する。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションで受けた指摘事項への対応を検討する。
13回	**授業テーマ：課題３(資源と課題の抽出)説明、講義** 授業内容：地区の建物・環境・文化など資源と課題がどのようなものか説明する。 事前学修 1.0hr：課題２の報告書を完成し、グループで情報を共有しておく。 事後学修 3.0hr：課題３の調査内容を確認する。	28回	**授業テーマ：課題４プレゼンテーションのディスカッション** 授業内容：課題４のプレゼンテーション内容についてディスカッションする。 事前学修 1.0hr：追加作業内容を確認しておく。 事後学修 3.0hr：指摘された事項を最終報告書に反映する。
14回	**授業テーマ：課題３の現地調査** 授業内容：地区の資源、課題を抽出するため現地調査を行う。 事前学修 1.0hr：調査作業を確認しておく。 事後学修 3.0hr：課題３の調査結果をまとめる。	29回	**授業テーマ：報告書の修正** 授業内容：ディスカッション、フィードバックを踏まえ報告書を修正する。 事前学修 1.0hr：最終報告書の全体のチェックをしておく。 事後学修 3.0hr：最終報告書への指摘事項を修正する作業を行う。
15回	**授業テーマ：課題３の作業、資料作成** 授業内容：現地調査等で収集した情報を整理する。 事前学修 1.0hr：作成資料の内容を確認しておく。 事後学修 3.0hr：課題３の調査結果に対して指摘された作業を行う。	30回	**授業テーマ：報告書の完成** 授業内容：修正作業を完了し提出する。 事前学修 2.0hr：最終報告書への指摘事項を修正する作業を行う。 事後学修 2.0hr：最終報告書と関連するデータをグループで共有しておく。

不動産管理演習

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：後 2 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

石井　大吾（いしい　だいご）・**小杉　学**（こすぎ　まなぶ）・**角野　公一郎**（すみの　こういちろう）

▌授業の概要

マンションの適正な維持管理、資産価値向上、再生（長寿命化）の方策について総合的に演習する。日常的な維持管理として、建物・設備の点検、各種設備の仕組み、建物・設備に生じる劣化、改修の方法、改修コストの積算、管理方法を学び、長期修繕計画の立案を行う。その上で、検討対象とするマンションについて、管理問題の解決や、資産価値の向上、あるいは再生（長寿命化）の方策を検討し、それらを実行するための計画を立案する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生社会デザイン専攻 3/4、不動産鑑定専攻 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：マンションにおける長期修繕計画の内容・構成を理解し、マンションを長く使い続けるための知識を身に付ける。
　　リノベーションの企画手法を知り、リノベーションコストの積算方法を修得する。
個別目標：マンションの長期修繕計画を立案することができる。
　　マンションの管理問題を解決したり、コミュニティ活動を活性化させるための管理改善計画書を作成することができる。

▌履修条件

集合住宅管理論を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

対象物件の調査報告 10 %、長期修繕計画書 20 %、リノベーション基礎演習 10 %、管理改善計画書の中間発表 20 %、管理改善計画書の最終発表 40 %で評価する

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （演習・プレゼンテーション：長期修繕計画を立案する。また、マンションの管理改善計画を立案し、プレゼンテーション（発表）をおこなう）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業において、PC を用いた計画書作成、ならびにプレゼンテーションをおこなう）

▌教科書

不要です。

▌参考書

増永理彦：マンション再生　クリエイツかもがわ
マンション大規模修繕研究会：これで完璧！　マンション大規模修繕　株式会社エクスナレッジ

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の構成、授業のすすめ方、当授業を学修する意義について確認する。 事前学修 1.0hr：シラバスを読み、講義内容を把握する。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習を行う、疑問点を整理する。	16回	**授業テーマ：マンション管理改善計画２（問題点の把握）** 授業内容：建物条件、立地条件、修繕歴、総会議案書から読み取れる情報などに基づき、対象マンションの問題点を整理する。 事前学修 1.0hr：対象マンションの総会議案書を読む。 事後学修 3.0hr：これまでに収集した情報の整理を行う。
2回	**授業テーマ：マンション問題・リノベーション事例** 授業内容：マンションで生じている問題や、高経年マンションのリノベーション事例を学ぶ。 事前学修 1.0hr：高経年マンションの問題と課題について調べる。 事後学修 3.0hr：リノベーション事例について調べる。	17回	**授業テーマ：マンション管理改善計画３（問題の解決方法の検討）** 授業内容：対象マンションの問題点に対して、その解決方法を検討する。 事前学修 1.0hr：問題点の整理を行い、類似事例を調べる。 事後学修 3.0hr：問題点に対する解決策を検討する。
3回	**授業テーマ：管理改善計画立案対象マンションの概要把握** 授業内容：対象となるマンションの概要を把握すると共に、過去の修繕歴や管理規約などを調べる。 事前学修 1.0hr：対象マンションの基本情報を調べる。 事後学修 3.0hr：対象マンションに関わる詳細情報を調べる。	18回	**授業テーマ：マンション管理改善計画４（問題の解決方法の検討）** 授業内容：対象マンションの管理問題に対して、その解決方法を検討する。 事前学修 1.0hr：問題点の整理を行い、類似問題の事例を調べる。 事後学修 3.0hr：問題点に対する解決策を検討する。
4回	**授業テーマ：対象マンションが立地するエリアの情報調査** 授業内容：インターネットを使って、対象マンションが立地するエリアの用途地域、人口、あるいは不動産価格や文化などの基礎的情報を収集する。 事前学修 1.0hr：対象マンションが立地するエリアの基本情報を調べる。 事後学修 3.0hr：対象マンションが立地するエリアの詳細情報を調べる。	19回	**授業テーマ：マンション管理改善計画５（中間発表に向けた資料作成）** 授業内容：これまでの検討を中間報告資料としてパワーポイントにまとめる。 事前学修 1.0hr：中間発表に向けた資料を作成する。 事後学修 3.0hr：中間発表に向けた資料を作成する。
5回	**授業テーマ：対象マンションが立地するエリアの現地調査** 授業内容：対象マンションが立地するエリアに赴き、現地調査をおこなう。 事前学修 1.0hr：対象マンションが立地するエリアの調査ルートを計画する。 事後学修 3.0hr：調査で収集した情報をまとめる。	20回	**授業テーマ：マンション管理改善計画６（中間発表に向けた資料作成）** 授業内容：これまでの検討を中間報告資料としてパワーポイントにまとめる。 事前学修 1.0hr：中間発表に向けた資料を作成する。 事後学修 3.0hr：中間発表に向けた資料を作成する。
6回	**授業テーマ：対象マンションの現地調査** 授業内容：対象マンションの現地調査をおこなう。 事前学修 1.0hr：対象マンションの調査ポイントを想定する。 事後学修 3.0hr：調査で収集した情報をまとめる。	21回	**授業テーマ：マンション管理改善計画７（中間発表会前半）** 授業内容：作成したマンション管理活性化計画を発表する。また、発表を踏まえて他の学生と議論する。 事前学修 3.0hr：中間発表の練習をおこなう。 事後学修 1.0hr：自分や他者の発表内容について、評価点・改善点を抽出し整理する。
7回	**授業テーマ：調査結果報告１（調査結果の作成）** 授業内容：パワーポイントを用いて調査結果をまとめる。 事前学修 3.0hr：情報調査・現地調査の報告書を作成する。 事後学修 1.0hr：報告を踏まえた情報を整理する。	22回	**授業テーマ：マンション管理改善計画８（中間発表会後半）** 授業内容：作成したマンション管理活性化計画を発表する。また、発表を踏まえて他の学生と議論する。 事前学修 3.0hr：中間発表の練習をおこなう。 事後学修 1.0hr：自分や他者の発表内容について、評価点・改善点を抽出し整理する。
8回	**授業テーマ：調査結果報告２（調査結果の発表）** 授業内容：まとめた調査報告書を完成させ、発表する。 事前学修 3.0hr：情報調査・現地調査の報告書を作成する。 事後学修 1.0hr：報告を踏まえた情報を整理する。	23回	**授業テーマ：マンション管理改善計画９（計画修正点の検討）** 授業内容：中間発表で指摘された修正点について検討する。 事前学修 1.0hr：中間発表を踏まえた計画の修正事項の整理をする。 事後学修 3.0hr：計画書の修正をおこなう。
9回	**授業テーマ：長期修繕計画作成１（基礎知識の習得）** 授業内容：長期修繕計画の意義や概要、ならびに計画書の構成を学ぶ。 事前学修 1.0hr：一般的な長期修繕計画の内容を調べる。 事後学修 3.0hr：修繕項目・修繕周期の復習をする。	24回	**授業テーマ：マンション管理改善計画 10（計画の修正）** 授業内容：中間発表を踏まえて、計画を修正する。 事前学修 1.0hr：中間発表を踏まえた計画の修正事項の整理。 事後学修 3.0hr：計画書の修正をおこなう。

10回	**授業テーマ：長期修繕計画作成２（簡易建物の長期修繕計画作成）** 授業内容：簡易的な建物をモデルとして、実際に長期修繕計画を作成する。 事前学修 1.0hr：修繕工事に対する数量積算の方法を調べる。 事後学修 3.0hr：修繕工事費を算出し、簡易建物の長期修繕計画を作成する。	25回	**授業テーマ：マンション管理改善計画 11（仕組み・資金計画等の検討）** 授業内容：立案した管理改善計画を実行するための、具体的な仕組みや資金計画等を検討する。 事前学修 1.0hr：管理改善を実行している事例を調べる。 事後学修 3.0hr：計画実施にともなう仕組みやコストについて検討する。
11回	**授業テーマ：長期修繕計画作成３（対象マンションの長期修繕計画作成）** 授業内容：対象マンションの長期修繕計画を作成する。 事前学修 1.0hr：対象マンションの修繕項目を想定する。 事後学修 3.0hr：対象マンションの修繕項目の整理をおこなう。	26回	**授業テーマ：マンション管理改善計画 12（仕組み・資金計画等の検討）** 授業内容：立案した管理改善計画を実行するための、具体的な仕組みや資金計画等を作成する。 事前学修 1.0hr：管理改善を実行している事例を調べる。 事後学修 3.0hr：計画実施にともなう仕組みやコストについて検討する。
12回	**授業テーマ：長期修繕計画作成４（対象マンションの長期修繕計画作成）** 授業内容：対象マンションの長期修繕計画を作成する。 事前学修 1.0hr：建物各部位の数量積算をおこなう。 事後学修 3.0hr：修繕工事費を算出し、対象マンションの長期修繕計画を作成する。	27回	**授業テーマ：マンション管理改善計画 13（最終発表に向けた資料作成）** 授業内容：最終発表に向けて、これまでの検討を計画書にまとめる。 事前学修 1.0hr：共感が得られる企画・計画書の作成方法について調べておく。 事後学修 3.0hr：演習内容の復習をし、計画書の完成に向けて作業をおこなう。
13回	**授業テーマ：リノベーション基礎演習１（基礎知識の修得）** 授業内容：マンションにおける住戸内リノベーションに関わる基礎知識を学ぶ。 事前学修 1.0hr：マンションのリノベーション事例を調べる。 事後学修 3.0hr：リノベーションの計画手法を復習する。	28回	**授業テーマ：マンション管理改善計画 14（最終発表に向けた資料作成）** 授業内容：最終発表に向けて、これまでの検討をパワーポイントで計画書にまとめる。 事前学修 1.0hr：共感が得られる企画・計画書の作成方法について調べておく。 事後学修 3.0hr：演習内容の復習をし、計画書の完成に向けて作業をおこなう。
14回	**授業テーマ：リノベーション基礎演習２（コストの算出）** 授業内容：対象マンションの住戸内リノベーションにおける工事数量を整理、工事費を算出する。 事前学修 1.0hr：対象マンションのリノベーション工事数量を積算する。 事後学修 3.0hr：対象マンションのリノベーションコストを算出する。	29回	**授業テーマ：マンション管理改善計画の最終発表１** 授業内容：作成したマンション管理活性化計画を発表する。また、発表を踏まえて他の学生と議論する。 事前学修 3.0hr：最終発表の練習をする。 事後学修 1.0hr：自分や他の学生の発表内容について、評価点・改善点を抽出し整理する。
15回	**授業テーマ：マンション管理改善計画１（建物条件・立地条件の整理・問題点の把握）** 授業内容：建物条件、立地条件、これまでの修繕歴、総会議案書から読み取れる情報などに基づき、対象マンションの問題点を整理する。 事前学修 1.0hr：これまでの授業で得た情報を整理する。 事後学修 3.0hr：対象マンション・周辺地域の将来の可能性を整理する。	30回	**授業テーマ：マンション管理改善計画の最終発表２** 授業内容：作成したマンション管理活性化計画を発表する。また、発表を踏まえて他の学生と議論する。 事前学修 3.0hr：最終発表の練習をする。 事後学修 1.0hr：自分や他の学生の発表内容について、評価点・改善点を抽出し整理する。

都市開発と社会基盤

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

安藤　章（あんどう　あきら）

▌授業の概要

本講義では、農業革命以来誕生した古代都市から現代の巨大メトロポリスまで、人類の生活空間として創造された都市について時系列的に学修することで、人々の暮らしに欠かせない都市開発(宅地や建物の整備等)や基盤施設(交通施設や上下水道、オープンスペースなどの公的空間等)の役割、その進化について理解を深めることを目標とする。なお、具体的な都市を事例として挙げながら講義を進めることで、知識をより実践的なものとする。また、各都市のハードウェア的な都市や社会基盤の表面的な知識にとどまることなく、その内面の深いところに流れている人々の思い、思想、文化などを理解させようとしている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 2、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：古代から現代まで人々の暮らしの中の都市開発と社会基盤の役割について理解し、体得する。

個別目標：人類の発展の大きな土台となった都市の役割を説明できる。
時代や地域の多様なニーズに応えながら進化し続ける社会基盤施設の歴史を説明できる。
現在の暮らしの中の社会基盤の役割を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

テスト結果(70%)、課題提出物・授業態度及び参加度(30%)、到達目標の達成度などに基づき総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席や遅刻は減点とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業を行う。知識習得を授業外(事前学修)で済ませ、教室では知識の確認等を行う。また、既に学修した内容について学期の前半部と後半部に分けて小テストを行うことで自分の学修状況を確認させる。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しない。毎回の講義の前に講義用のレジュメなどを配布する。

▌参考書

講義の都度、適宜、参考文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義ガイダンス** 授業内容：講義の目標、講義の主な内容、教材、成績評価方法などについて説明する。 事前学修 2.0hr：本講義に関連のあるトピックについてネットなどで調べること。 事後学修 2.0hr：ガイダンスで説明された内容に関連のあるトピックについてネットなどで調べること。
2 回	**授業テーマ：都市とは** 授業内容：都市の定義、都市の特徴、都市のメリット・デメリットなどについて学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：都市とはの授業内容を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
3 回	**授業テーマ：都市の誕生** 授業内容：アフリカで誕生した現生人類が都市という生活空間を創造するまでの道程について学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：都市の誕生を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
4 回	**授業テーマ：古代メソポタミア地域の都市と社会基盤** 授業内容：人類が初めて建設した古代メソポタミア地域の都市と、当時の社会基盤について学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：古代メソポタミア地域の都市と社会基盤を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
5 回	**授業テーマ：古代黄河地域とインダス地域の都市と社会基盤** 授業内容：東アジアの古代黄河流域の都市と社会基盤、インダス川流域で誕生したインダス文明の都市と社会基盤について学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：古代黄河地域とインダス地域の都市と社会基盤を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
6 回	**授業テーマ：古代西アジア地域の都市と社会基盤** 授業内容：古代西アジア地域で活動したペルシャ帝国やイスラム帝国などの都市と社会基盤について学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：古代西アジア地域の都市と社会基盤を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
7 回	**授業テーマ：古代ローマの都市と社会基盤** 授業内容：古代ローマ帝国の都市と、それを支えた社会基盤、建築物などについて学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：古代ローマの都市と社会基盤を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
8 回	**授業テーマ：中間まとめ** 授業内容：7 回までの前半部で学修した内容のまとめを兼ねて、その内容について小テストを行う。 事前学修 2.0hr：学期開始から今まで学んだ内容を整理すること。 事後学修 2.0hr：授業中にチェックされた重要内容を総復習し、ノートに復習内容を記入すること。
9 回	**授業テーマ：東アジアの風水都市** 授業内容：古代東アジアのまちづくり理論である風水理論と、風水理論に基づいて建設した都市などについて学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：東アジアの風水都市を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
10 回	**授業テーマ：インカ文明地域の都市と社会基盤** 授業内容：他の地域と異なって、アンデスの標高 3000m 級の山上に都市を建設したインカの都市、それを支えた社会基盤について学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：インカ文明地域の都市と社会基盤を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。

11回	**授業テーマ：産業革命とヨーロッパの都市** 授業内容：産業革命の進展と共に変化したヨーロッパの都市状況、深刻化した当時の衛生問題などについて学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：産業革命とヨーロッパの都市を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
12回	**授業テーマ：都市と伝染病** 授業内容：人口密度の高い都市に必然的につきまとう伝染病の歴史と、その時の社会基盤について学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：都市と伝染病を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
13回	**授業テーマ：都市における道路の役割** 授業内容：都市における一番重要な基盤施設である道路の役割について学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：都市における道路の役割を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
14回	**授業テーマ：現代都市の進化と課題** 授業内容：最新の IT 技術、人口構造の変化、地球温暖化などによる現在進行中の都市の進化と、その課題について学修を行う。 事前学修 2.0hr：次回講義される内容について予習すること。 事後学修 2.0hr：現代都市の進化と課題を復習し、授業中に作成したノートに復習内容を記入すること。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：9 回から 15 回までの後半部で学修した内容のまとめを兼ねて、その内容について小テストを行う。 事前学修 2.0hr：学期開始から今まで学んだ内容を総整理すること。 事後学修 2.0hr：授業中にチェックされた重要内容を総復習し、試験の準備をすること。

都市環境と防災

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

西村　愛 (にしむら　あい)

▌授業の概要

環境配慮のまちづくりとは、持続可能な社会の実現に向けた、建築・都市計画における取組みをいう。具体的には、景観や防災機能への配慮、鉱物由来エネルギーからの脱却、建築物、地区エネルギー・資源の消費低減への取組みなどである。本講義では、環境配慮まちづくりを展望し、建築物の高層化、密集市街地の現状から、地震・火災などの自然災害リスクを配慮した建築物設計のあり方や緑地・空地などを生かした防災建築計画を検討する。併せて、また災害後の復興にも着目し、災害に強いまちづくりの方法や、都市構造の更新のメカニズムを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 2、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：災害のメカニズムと防災の方法、そして復興がどのように行われるかを理解する。

個別目標：災害が起こる要因、特に自然要因と人的要因を理解する。
防災がどのように行われるかを理解する。特に、物理的な方法と、避難ルートの確保などといったソフト面の方法を理解する。
復興のプロセスと、復興によって創られる都市構造と環境を理解する。

▌履修条件

都市計画、建築計画に関心があり、また、都市計画の歴史や防災、災害復興に興味がある。

▌評価基準・方法

各回の内容に対する小レポートと、中間、最終レポートで評価を行う。各回のレポートは 30 %、中間レポートは 30 %、最終レポートは 40 %で評価する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは各回に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

ガイダンスの際に指示する。

▌参考書

梶秀樹著「改訂版都市防災学：地震対策の理論と実践」学芸出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：日本の都市構造の変遷とこれからの都市の在り方について説明。農村社会から工業化への移行(19 世紀-20 世紀初頭)、戦後の都市再建と高度経済成長(1945 年-1960 年代)、郊外への拡大(1970 年代-2000 年代)、高齢化と少子化の影響(2000 年代以降)、未来の都市の在り方 事前学修 2.0hr：教科書全般の内容を把握し、講義で学ぶ内容を把握して講義に臨むこと。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容において、不明点を調べて理解をすること。
2回	**授業テーマ：都市型社会の到来** 授業内容：都市型社会の特徴と課題特徴:①高度な経済活動②多様性と文化③インフラとアクセス④教育と研究 課題:①過密と交通渋滞②住宅問題③環境負荷④社会的格差⑤自然災害のリスク 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市型社会の到来を再度教科書を読んで確認すること。
3回	**授業テーマ：ヒートアイランドと建築計画** 授業内容：ヒートアイランドの原理と結果、ヒートアイランドが起こる条件と対策を説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：ヒートアイランドと建築計画を再度教科書を読んで確認すること。
4回	**授業テーマ：都市気候シミュレーションと災害リスク** 授業内容：都市気候シミュレーションと災害リスクに関する説明、拡散方程式が示す意味と結果をもとに行う対策を説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市気候シミュレーションと災害リスクを再度教科書を読んで確認すること。
5回	**授業テーマ：都市熱環境の改善策** 授業内容：都市熱環境の改善策に関する説明、熱伝導のメカニズムを説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市熱環境の改善策を再度教科書を読んで確認すること。
6回	**授業テーマ：都市の大気環境と建築計画** 授業内容：都市の大気環境と建築計画に関する説明、また、世界的な大気汚染の現状と対策を説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市の大気環境と建築計画を再度教科書を読んで確認すること。
7回	**授業テーマ：都市環境計測による防災建築計画** 授業内容：都市環境計測による防災建築計画の説明、都市レベルの防災系計画と避難経路の計画を説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市環境計測による防災建築計画を再度教科書を読んで確認すること。
8回	**授業テーマ：都市災害と防災Ⅰ～密集市街地による災害危険性～** 授業内容：密集市街地による災害危険性に関する説明、火災、洪水、地震、津波などの災害への対策を説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：密集市街地による災害危険性を再度教科書を読んで確認すること。
9回	**授業テーマ：都市災害と防災Ⅱ～地震想定による地盤環境管理とその対処策～** 授業内容：地震想定による地盤環境管理とその対処策に関する説明、地盤条件と地震被害の関係を説明。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：地震想定による地盤環境管理とその対処策を再度教科書を読んで確認すること。
10回	**授業テーマ：都市のインフラストラクチャー整備** 授業内容：都市のインフラストラクチャー整備に関する説明、インフラの種類、建設過程、課題などを説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市のインフラストラクチャー整備を再度教科書を読んで確認すること。

11回	**授業テーマ：都市のエネルギー供給システム** 授業内容：都市のエネルギー供給システムに関する説明、発電方法、問題と課題について説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市のエネルギー供給システムを再度教科書を読んで確認すること。
12回	**授業テーマ：都市の水供給・廃棄物処理システム** 授業内容：都市の水供給・廃棄物処理システムに関する説明、またリサイクルと SDGs について説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市の水供給・廃棄物処理システムを再度教科書を読んで確認すること。
13回	**授業テーマ：都市環境計画と環境管理政策** 授業内容：都市環境計画と環境管理政策に関する説明、特に、住宅エネルギー性能評価など、近年の世界的な動きを説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：都市環境計画と環境管理政策を再度教科書を読んで確認すること。
14回	**授業テーマ：環境まちづくり事例** 授業内容：環境まちづくり事例に関する説明、世界的な事例を取り上げ、最先端な手法を説明する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：環境まちづくり事例を再度教科書を読んで確認すること。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：都市と災害、そして復興、さらに環境について、人類が歩んできた道を辿り、総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：授業を振り返りながら、最終レポートの執筆とその素材をまとめる。

デザインの基礎演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：前 2 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

塚原　光顕（つかはら　みつあき）・**秦　瑞希**（はだ　みずき）

▌授業の概要

建築物と都市のオープンスペースを、製図道具を用いて図面に表現する演習を行います。最初に基本的な製図の方法を学び、次に小規模な木造住宅の模写(トレース)をします。続いてニュータウンの街区を対象に調査(サーベイ)を行って、その結果を立体的な表現で図面に表現します。最後に小規模な建築物(構造種別は授業内で指定)を企画し設計する課題を行い「課題の整理-> 立案-> 図面化」という建築と都市のオープンデザインの一連の作業を学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：建築不動産の企画及び設計に必要となる基礎的技能を身につけ、小規模な建築物の設計を通して、居住空間をデザインする際のプロセスを理解する能力を身につける。

個別目標：設計に必要となる読図能力と作図能力を身につけ設計製図を行うことができる。
街区の調査(サーベイ)を行うことによりスケール感覚やプロポーション感覚を持つことができる。
建築設計の企画→立案→図面化という一連の作業ができる。

▌履修条件

製図室の作業スペースが全員分確保できない場合、デザインコースの学生を優先した選抜を行います。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
評価の割合は、作図ができる(40 %)+企画立案図面化の建築設計ができる(60 %)によって評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク・グループワーク・読図・企画立案・作図・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

建築デザイン製図(学芸出版社)

▌参考書

建築一般構造論で使用したテキスト、日本建築学会編「コンパクト設計資料集成　第 3 版」丸善

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：デザインの基礎となる設計製図の手法を説明し、建築不動産実務の基本について解説する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む	16回	**授業テーマ：都市のオープンスペース 1（2）<作図作業>** 授業内容：立体的な表現手法の演習を行う。 事前学修 2.0hr：調査地区の地図を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で建築物の形状の調査結果をまとめる。
2回	**授業テーマ：設計製図とは** 授業内容：製図用具の使い方を確認し、演習課題を行う。 事前学修 2.0hr：線の種類を予習する。 事後学修 2.0hr：線の練習を復習する。	17回	**授業テーマ：都市のオープンスペース2（1）<フィールドワーク・グループワーク>** 授業内容：コモンスペースの現地調査をグループごとに行い、情報を整理しまとめる。<建築物の形状> 事前学修 2.0hr：調査地区の地図を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で建築物の形状の調査結果をまとめる。
3回	**授業テーマ：線種と作図の練習(1)<課題説明>** 授業内容：製図に必要な線の種類の描き方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：線の種類を予習する。 事後学修 2.0hr：線の練習を復習する。	18回	**授業テーマ：都市のオープンスペース2（2）<作図作業>** 授業内容：建物の形状やコモンスペースのデザインなどについて、収集した情報を配置図に落とし込む。 事前学修 2.0hr：調査地区の地図を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で建築物の形状の調査結果をまとめる。
4回	**授業テーマ：線種と作図の練習（2）<作図演習>** 授業内容：線の太さと種類を描き分けて作図する演習を行う。 事前学修 2.0hr：線の種類を予習する。 事後学修 2.0hr：線の練習を復習する。	19回	**授業テーマ：都市のオープンスペース3（1）<作図作業>** 授業内容：建物の形状やコモンスペースのデザインなどについて、収集した情報を立体図に落とし込む。 事前学修 2.0hr：調査地区の地図を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で建築物の形状の調査結果をまとめる。
5回	**授業テーマ：正投影図による作図(1)<課題説明>** 授業内容：平面を立体に表現する図法の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：図法を予習する。 事後学修 2.0hr：製図室で正投影図の作図を復習する。	20回	**授業テーマ：都市のオープンスペース3（2）<作図作業>** 授業内容：建物の形状やコモンスペースのデザインなどについて、収集した情報を立体図に落とし込む。 事前学修 2.0hr：調査地区の地図を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で建築物の形状の調査結果をまとめる。
6回	**授業テーマ：正投影図による作図(2)<作図演習>** 授業内容：学習した図法をもとに正投影図の作図を行う。 事前学修 2.0hr：図法を予習する。 事後学修 2.0hr：製図室で正投影図の作図を復習する。	21回	**授業テーマ：休憩所の設計 1（1）　<課題説明>** 授業内容：休憩所の事例紹介をした後、約 30 m 2（約 9 坪)のスケールをつかむための演習課題を行う。 事前学修 2.0hr：設計課題を読む。 事後学修 2.0hr：製図室でエスキースをする。
7回	**授業テーマ：住宅の平面図の製図 1 (1)<課題説明>** 授業内容：建築家が設計の過程で考えたことを追体験し、図面表現の方法・技術を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題図面を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で平面図の製図を行う。	22回	**授業テーマ：休憩所の設計 1（2）<コンセプトの立案>** 授業内容：休憩所のエスキースを進め構想を練る。 事前学修 2.0hr：製図室でエスキースをする。 事後学修 2.0hr：製図室でエスキースをする。
8回	**授業テーマ：住宅の平面図の製図 1 (2)<作図演習>** 授業内容：1 階の住宅の平面図のトレースを行う。 事前学修 2.0hr：課題図面を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で平面図の製図を行う。	23回	**授業テーマ：休憩所の設計 2（1）<平面図のエスキース>** 授業内容：休憩所のエスキースを進め、複数案を考える。 事前学修 2.0hr：製図室で平面図のエスキースをする。 事後学修 2.0hr：製図室で平面図のエスキースをする。

9回	**授業テーマ：住宅の平面図の製図 2 (1)＜作図演習＞** 授業内容：2 階の住宅の平面図のトレースを行う。 事前学修 2.0hr：課題図面を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で平面図の製図を行う。	24回	**授業テーマ：休憩所の設計２(２)＜立断面図のエスキース＞** 授業内容：休憩所のエスキースを進め、複数案を考える。 事前学修 2.0hr：製図室で平面図のエスキースをする。 事後学修 2.0hr：製図室で平面図のエスキースをする。
10回	**授業テーマ：住宅の平面図の製図 2 (2)＜作図演習＞** 授業内容：住宅の平面図のトレースを完成させる。 事前学修 2.0hr：課題図面を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で平面図の製図を行う。	25回	**授業テーマ：休憩所の設計３(１)＜製図作業＞** 授業内容：製図作業＜平面図の製図＞ 事前学修 2.0hr：製図室で設計案の製図を行う。 事後学修 2.0hr：製図室で設計案の製図を行う。
11回	**授業テーマ：住宅の立断面図の製図 1 (1)＜課題説明＞** 授業内容：建築家が設計の過程で考えたことを追体験し、図面表現の方法・技術を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題図面を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で立断面図の製図を行う。	26回	**授業テーマ：休憩所の設計３(2)＜立断面図の製図＞** 授業内容：休憩所の設計３＜立断面図の製図＞ 事前学修 2.0hr：製図室で設計案の製図を行う。 事後学修 2.0hr：製図室で設計案の製図を行う。
12回	**授業テーマ：住宅の立断面図の製図 1 (2)＜作図演習＞** 授業内容：住宅の断面図のトレースを行う 事前学修 2.0hr：課題図面を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で立断面図の製図を行う。	27回	**授業テーマ：休憩所の設計４(１)＜講評＞** 授業内容：講評会にて各自発表し講評を受ける。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの方針を考える。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの反省をする。
13回	**授業テーマ：住宅の立断面図の製図 2 (1)＜作図演習＞** 授業内容：住宅の立面図のトレースを行う。 事前学修 2.0hr：課題図面を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で立断面図の製図を行う。	28回	**授業テーマ：休憩所の設計４(２)＜講評＞** 授業内容：講評会にて各自発表し講評を受ける。 事前学修 2.0hr：図面の修正の方針を考える。 事後学修 2.0hr：講評や指導に基づき図面を修正する。
14回	**授業テーマ：住宅の立断面図の製図 2 (2)＜作図演習＞** 授業内容：住宅の立断面図のトレースを完成させる。 事前学修 2.0hr：課題図面を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で立断面図の製図を行う。	29回	**授業テーマ：提出物の修正作業(１)** 授業内容：提出物の修正作業および未完成課題を完成させる。 事前学修 2.0hr：講評や指導に基づき図面を修正する。 事後学修 2.0hr：講評や指導に基づき図面を修正する。
15回	**授業テーマ：都市のオープンスペース 1 (1)＜課題説明＞** 授業内容：都市におけるオープンスペースの事例、および建物の立体的な表現による効果を確認する。 事前学修 2.0hr：調査地区の地図を読む。 事後学修 2.0hr：製図室で建築物の形状の調査結果をまとめる。	30回	**授業テーマ：提出物の修正作業(２)** 授業内容：提出物の修正作業および未完成課題を完成させる。 事前学修 2.0hr：講評や指導に基づき図面を修正する。 事後学修 2.0hr：講評や指導に基づき図面を修正する。

建築計画

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

藤木　亮介（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

建築物は人間が利用するために、利用の目的や用途に応じて建築される。建築物の各部や利用の目的や用途に応じて求められる性能を発揮するよう、計画され構築されている。この講義では、使いやすさや耐久性、安全性など、建築物に対する人・社会の要求を知り、それらが具体的にどのような空間の寸法、規模、配置、材料、構造、形態によって応えられているかを学ぶ。これらを踏まえ、建築計画を決めるプロセス、設計や設計図書作成に至るプロセスを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：この授業を履修することにより、人体の大きさや活動と建築物の空間構成や構造の関係を理解する事ができる。また土地の有効利用を実現する規模計画が可能となる。さらに、人間と建築の関係を理解することや、建築計画の良否を判断することができるようにする。

個別目標：人体の大きさや活動と建築物の間取りや構造の関係を説明できる。土地の最有効利用を実現する規模計画を作成できる。
建築計画の良否を判断できる。コストについて目安がつけられるようにする。

▌履修条件

住宅計画を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

レポートなどの平常点 50 %、期末試験 50 %で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション：指定する敷地の利用計画について、現状の問題点などを考察した上で、自分なりの考え方を提案する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の授業に PC を持参する必要は無いが、プレゼンテーション資料はパワーポイントで作成する。したがって、PC を所有していることを推奨する。）

▌教科書

特になし。

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業のすすめ方、授業の意義などについて確認する。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ建築に関する学習事項を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、ノートに復習内容を追記する。
2 回	**授業テーマ：寸法体系・モジュール** 授業内容：人体との関係や寸法のルール、流通している建材の規格、日本の建物の基準寸法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより寸法体系・モジュールについて復習する。資料が散逸しないよう整理する。
3 回	**授業テーマ：建築計画と構造計画－１(構造種別ごとの特性)** 授業内容：構造種別ごとの特性を学び、建物の構造を踏まえた計画手法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより構造種別と計画について復習する。資料が散逸しないよう整理する。
4 回	**授業テーマ：建築計画と構造計画－２(構造計画のルール)** 授業内容：構造計画のルールを踏まえ、構造計画が平面計画に及ぼす影響を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより建築物の各部名称・納まりや建材について復習する。資料が散逸しないよう整理する。
5 回	**授業テーマ：建築物の規模計画** 授業内容：建ぺい率・容積率について、複雑な敷地、ならびに複雑な建物の事例でも正確に算定できるようにする。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより建築物の規模計画について復習する。資料が散逸しないよう整理する。
6 回	**授業テーマ：建築物を構成する建材と各部の納まり** 授業内容：建築物を構成する材料の特徴、ならびに室内環境や内部結露を考慮した各部の構成・納まりを学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより建築物を構成する建材と各部の納まりについて復習する。資料が散逸しないよう整理する。
7 回	**授業テーマ：建築物の高さ方向の計画** 授業内容：建築物の屋根の構成や高さの算定のしかたを学ぶと共に、建築形態規制について学び、斜線制限から計画可能な高さ、それに基づく建物の位置を逆算できるようにする。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより建築物の高さ方向の計画について復習する。資料が散逸しないよう整理する。
8 回	**授業テーマ：住宅地計画** 授業内容：近隣住区理論、団地の住棟配置計画、戸建て住宅地計画の事例を学ぶ。またその上で、建物の日影を考慮した住宅地の計画手法を学ぶ。また、指定する敷地の利用計画について、現状の問題点などを考察した上で、自分なりの考え方を提案する。(プレゼンテーション) 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより住宅地計画について復習する。資料が散逸しないよう整理する。
9 回	**授業テーマ：中間まとめ** 授業内容：第 2 回授業から第 8 回授業までを範囲として、中間試験をおこなう。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習し、中間試験の対策をおこなう。 事後学修 2.0hr：中間試験の結果を踏まえ、理解が不十分な分野を復習する。
10 回	**授業テーマ：集合住宅の分類と計画** 授業内容：集合住宅の分類やアクセスタイプ、ならびにその特徴を理解し、住戸プランの計画手法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより集合住宅の分類と計画について復習する。資料が散逸しないよう整理する。

11回	**授業テーマ：集合住宅の事例と変遷** 授業内容：同潤会アパートや公営住宅、日本住宅公団など、日本における集合住宅の変遷やその背景について学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより集合住宅の事例と変遷について復習する。資料が散逸しないよう整理する。
12回	**授業テーマ：建築物の避難・消防計画** 授業内容：建築基準法に定められている防火・避難に関する規定、ならびに消防法に定められている消防用設備等の規定を踏まえ、安全に建築物を利用するための避難や消防設備計画について学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより建築物の避難・消防計画について復習する。資料が散逸しないよう整理する。
13回	**授業テーマ：建築費用の計画** 授業内容：工事内訳書の構成、工事項目、工事内容、それぞれの工事の工事費算出方法を理解し、建築費用を算出できるようにする。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより建築費用の計画について復習する。資料が散逸しないよう整理する。
14回	**授業テーマ：建築生産の主体と役割** 授業内容：建築主・建築士・施工者の役割分担と協働について学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより建築生産の主体と役割を復習する。資料が散逸しないよう整理する。
15回	**授業テーマ：建築物に関するインスペクション** 授業内容：インスペクションについて、その位置づけや資格者、調査内容などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するキーワード(事前に指定)について、その周辺知識を含めて調べる。 事後学修 2.0hr：資料・ノートにより建築物に関するインスペクションを復習する。資料が散逸しないよう整理する。

建築史

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

岸　佑（きし　ゆう）

▌授業の概要

建築を学ぶものにとって、その歴史に関する知識は欠かすことができない。特に近年では、伝統的な歴史的建築（伝統的な都市デザインを含む）への再評価が定着した一方で、近代建築の保存、活用も新たな課題になってきている。長い歴史の中で培われてきた建築デザインについての知識と教養に対する必要性がこれまで以上に高まってきている。本授業は、こうした建築デザインの世界的な潮流を踏まえて、歴史的な建築様式を正しく理解し見分けられるようになることに目標をおく。授業ではさまざまな建築物をスライド写真によって、具体的に示していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 6、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：建築はそれぞれの時代や地域における社会のあり方を示している。講義を通して建築がどのように発展、変容、多様化してきたかという歴史的変遷の流れを知ることで、人間社会の歩みを理解し、これからの建築や都市、社会のあり方を歴史的観点から考えるための基礎知識を習得する。

個別目標：西洋および日本の建築様式を理解し、見分けられるようになる。また、その成立についての社会・思想的背景についても理解することができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

授業中の課題（50%）と定期試験（50 %）をもとに、到達目標の達成度により評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （調べ物（建物詳細の古文書や写真等））

▌教科書

西田雅嗣・矢ヶ崎善太郎編『カラー版図説　建築の歴史　西洋・日本・近代』（学芸出版社、2013 年）, ISBN 9874761532079

▌参考書

鈴木博之　世界遺産をもっと楽しむための西洋建築入門　JTB パブリッシング、玉井哲雄　図説日本建築の歴史　河出書房新社、佐藤達生　図説西洋建築の歴史　河出書房新社、西洋建築史図集　彰国社、日本建築史図集　彰国社、太田博太郎監修　カラー版日本建築様式史　美術出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義概要、受講上の注意などについての説明** 授業内容：この講義の進行、ルールを説明する。また、授業目標のイメージ把握として授業に関連する近年の主だったトピックを確認する。 事前学修 0.5hr：シラバスをよく読んで授業の全体構成をイメージする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを思い起こして内容を復習し、ノートに復習内容を追記する
2 回	**授業テーマ：西洋建築史 1（古代ギリシャ）** 授業内容：古代ギリシャの建築様式について、パルテノン神殿等の代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：古代ギリシャの建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
3 回	**授業テーマ：西洋建築史 2（古代ローマ）** 授業内容：古代ローマの建築様式について、パンテオン等の代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：古代ローマの建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
4 回	**授業テーマ：西洋建築史 3（中世初期キリスト教・ビザンツ）** 授業内容：中世初期キリスト教・ビザンツの建築様式について、ハギアソフィア等の代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：中世初期キリスト教ビザンツの建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
5 回	**授業テーマ：西洋建築史 4（中世ロマネスク・ゴシック）** 授業内容：中世ロマネスク・ゴシックの建築様式について、代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：中世ロマネスク・ゴシックの建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
6 回	**授業テーマ：西洋建築史 5（ルネサンス）** 授業内容：ルネサンスの建築様式について、オスペダーレ・デリ・インノチェンティ等の代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：ルネサンスの建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
7 回	**授業テーマ：西洋建築史 6（バロック・古典主義）** 授業内容：バロック・古典主義の建築様式について、サン・カルロ・アッレ・クワトロ・フォンターネ聖堂等の代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：バロック・古典主義の建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
8 回	**授業テーマ：西洋建築史 7（新古典主義・歴史主義）** 授業内容：新古典主義・歴史主義の建築様式について、代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：新古典主義・歴史主義の建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
9 回	**授業テーマ：西洋建築史 8（２０世紀モダニズム）** 授業内容：２０世紀モダニズムの建築様式について、代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：20 世紀モダニズムの建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する

10回	**授業テーマ：日本建築史 1（古代 1-飛鳥、奈良）** 授業内容：飛鳥、奈良時代の建築様式について、法隆寺等の代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：飛鳥時代・奈良時代の建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
11回	**授業テーマ：日本建築史 2（古代2-平安）** 授業内容：平安時代の建築様式について、平等院鳳凰堂等の代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：平安時代の建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
12回	**授業テーマ：日本建築史 3（中世）** 授業内容：中世の建築様式について、代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：中世日本の建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
13回	**授業テーマ：日本建築史 4（近世）** 授業内容：近世の建築様式について、代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：近世日本の建築様式を復習し、ノートに復習内容を追記する
14回	**授業テーマ：日本建築史 5（近代・現代）** 授業内容：近代・現代の建築様式について、代表的な建築事例を確認し、その成立についての社会・思想的背景について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：近代・現代日本の建築事例を復習し、ノートに復習内容を追記する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義全体の振り返りを行い、総括する。 事前学修 2.0hr：教科書や事前に配布もしくは指定された資料等を読んで要点を整理する 事後学修 3.5hr：授業で学んだことを思い起こして内容を復習し、ノートに復習内容を追記する。また、授業全体を復習する。

設計製図 A

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

塚原　光顕（つかはら　みつあき）・**長川　哲**（ながかわ　さとし　）

▌授業の概要

中低層の集合住宅を題材に、建築不動産の企画において求められる今日的なテーマを探ります。前半に集合住宅の持つ今日的な課題全般を考察する演習を行います。後半は現実にある敷地を想定して低層の集合住宅を企画立案して設計を行います。設計プロセスの各段階では各自が提案の説明発表を行います。最終的にはフリーハンドのスケッチおよび定規(平行定規や三角定規や CAD)を用いて図面を作成してプレゼンテーションボードにまとめ、また模型による立体的な表現も行います。なお対象とする集合住宅は耐火建築物とし、構造種別は授業内で指導します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：集合住宅を題材にした２つの設計製図の課題をとおして、今日の建築不動産企画における提案能力とプレゼンテーション能力を身につける。
個別目標：集合住宅などを企画、設計することができる。
　　建築不動産の今日的な集合住宅について説明できる。
　　模型を作る技能を身につけ立体的な表現ができる。

▌履修条件

建築の設計に関する授業の履修経験、あるいは建築・製図法に関する基礎知識を有することが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
評価の割合は、今日的な集合住宅についての調査及び理解度(30 %)建築不動産企画における提案能力とプレゼンテーションの完成度(70 %)とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク・企画立案・作図・模型作成・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （図面作成に適宜 CAD を使用する）

▌教科書

建築デザイン製図(学芸出版社)

▌参考書

建築のテキスト編集委員会「初めて学ぶ建築製図」学芸出版社、日本建築学会編「コンパクト設計資料集成　第 3 版」丸善

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：都市住宅の変遷及び、今日的な住まいについて解説、シェアーハウスの事例を調べる。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。	16回	**授業テーマ：都市住宅の設計２(２)＜都市住宅の立案＞** 授業内容：都市住宅の立案・計画のチェック。 事前学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。
2回	**授業テーマ：小住宅のエスキース** 授業内容：今日的な住まいの考えをもとに、小住宅のエスキースを行う。 事前学修 0.5hr：課題を読んでくる。 事後学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。	17回	**授業テーマ：都市住宅の設計３(１)＜図面の下描き＞** 授業内容：コンセプトシートの作成、都市住宅の図面の下描きを行う。 事前学修 0.5hr：製図室で配置図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で配置図を製図する。
3回	**授業テーマ：演習１(１)＜課題説明・今日的な住まい＞** 授業内容：各自調べてきたシェアーハウスを発表する。 事前学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。	18回	**授業テーマ：都市住宅の設計３(２)＜図面の下描き＞** 授業内容：都市住宅の図面の下描きを行う。 事前学修 0.5hr：製図室で配置図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で配置図を製図する。
4回	**授業テーマ：演習１(２)＜コンセプトの立案＞** 授業内容：小住宅のコンセプトの立案・エスキースチェック・住宅の間取りを考える。 事前学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。	19回	**授業テーマ：都市住宅の設計４(１)＜製図の清書作業＞** 授業内容：各階平面図の清書作業。 事前学修 0.5hr：製図室で平面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で平面図を製図する。
5回	**授業テーマ：演習２(１)＜平面図のエスキース＞** 授業内容：小住宅のエスキースチェック。 事前学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。	20回	**授業テーマ：都市住宅の設計４(２)＜製図の清書作業＞** 授業内容：立面図、断面図の清書作業。 事前学修 0.5hr：製図室で平面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で平面図を製図する。
6回	**授業テーマ：演習２(２)＜立面図・断面図のエスキース＞** 授業内容：シェアーハウスの実例紹介。 事前学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。	21回	**授業テーマ：都市住宅の設計５(１) ＜製図完成＞** 授業内容：各階平面図を完成させる。 事前学修 0.5hr：製図室で立面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で立面図を製図する。
7回	**授業テーマ：演習３(１)＜図面の下描き＞** 授業内容：小住宅の図面作成、コンセプト・平面図・断面図・立面図など。 事前学修 0.5hr：製図室で設計案を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で設計案を製図する。	22回	**授業テーマ：都市住宅の設計５(２) ＜製図完成＞** 授業内容：立面図、断面図を完成させる。 事前学修 0.5hr：製図室で断面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で断面図を製図する。
8回	**授業テーマ：演習３(２)＜平面図・立面図・断面図の仕上げ＞** 授業内容：小住宅の図面作成、コンセプト・平面図・断面図・立面図など。 事前学修 0.5hr：製図室で設計案を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で設計案を製図する。	23回	**授業テーマ：都市住宅の設計６(１)＜模型製作の準備＞** 授業内容：模型の作成を行う。 事前学修 0.5hr：模型材料を揃える。 事後学修 0.5hr：製図室で模型の製作をする。
9回	**授業テーマ：演習４(１)＜プレゼンテーション＞** 授業内容：小住宅の図面完成、コンセプト・平面図・断面図・立面図など。 事前学修 0.5hr：製図室で設計案を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で設計案を製図する。	24回	**授業テーマ：都市住宅の設計６(２)＜模型製作の準備＞** 授業内容：模型の作成を行う。 事前学修 0.5hr：製図室で模型の製作をする。 事後学修 0.5hr：製図室で模型の製作をする。
10回	**授業テーマ：演習４(２)＜プレゼンテーション＞** 授業内容：小住宅の図面完成、コンセプト・平面図・断面図・立面図など。 事前学修 0.5hr：製図室で設計案を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で設計案を製図する。	25回	**授業テーマ：都市住宅の設計７(１)＜プレゼンテーション＞** 授業内容：模型製作・図面のプレゼンテーション作業を行う。 事前学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。 事後学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。

11回	**授業テーマ：演習５（１）＜講評会＞** 授業内容：小住宅の設計課題提出・講評会。 事前学修 0.5hr：課題を読んでくる。 事後学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。	26回	**授業テーマ：都市住宅の設計７（２）＜プレゼンテーション＞** 授業内容：模型製作・図面のプレゼンテーション作業を行う。 事前学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。 事後学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。
12回	**授業テーマ：演習５（２）＜講評会＞** 授業内容：小住宅の設計課題提出・講評会。 事前学修 0.5hr：課題を読んでくる。 事後学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。	27回	**授業テーマ：都市住宅の設計８（１）＜プレゼンテーション＞** 授業内容：プレゼンテーションのまとめを行う。 事前学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。 事後学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの反省をする。
13回	**授業テーマ：都市住宅の設計１（１）＜都市建築の実例見学：フィールドワーク＞** 授業内容：コモンスペースのある建築を見学。 事前学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。	28回	**授業テーマ：都市住宅の設計８（２）＜プレゼンテーション＞** 授業内容：プレゼンテーションのまとめを行う。 事前学修 0.5hr：図面等の修正の方針を考える。 事後学修 0.5hr：講評で指摘された点を修正する。
14回	**授業テーマ：都市住宅の設計１（２）＜都市建築の実例見学：フィールドワーク＞** 授業内容：コモンスペースのある建築を見学。 事前学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：集合住宅の事例を調べる。	29回	**授業テーマ：都市住宅の設計９（１）＜講評会＞** 授業内容：図面及び模型を講評会形式で説明。 事前学修 0.5hr：講評で指摘された点を修正する。 事後学修 0.5hr：講評で指摘された点を修正する。
15回	**授業テーマ：都市住宅の設計２（１）＜都市住宅の立案＞** 授業内容：見学レポートの発表、都市住宅の立案・計画のチェック。 事前学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。	30回	**授業テーマ：都市住宅の設計９（２）＜講評会＞** 授業内容：図面及び模型を講評会形式で説明。 事前学修 0.5hr：講評で指摘された点を修正する。 事後学修 0.5hr：講評で指摘された点を修正する。

建築ＣＡＤ演習

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

町田　敦（まちだ　あつし）

▌授業の概要

CAD(Computer Aided Design) とはコンピューターを用いた設計支援のことで、現代の建築や不動産の計画・設計においては、CAD ソフトを使用した製図や３次元モデリングが普及している。

本授業はコンピューターを用いて建築の図面を読む、描くための基礎知識を有する学生を対象に、建築 CAD ソフトを用いて建築図面・３次元モデリングを作成するプロセスを体験する。この演習を通して基本的な操作を習得し、各自の自由な構想を表現するスキルを身につけることを目的とする。製図課題では都市の集合住宅(鉄筋コンクリート造)を題材とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：近現代の建築作品を題材として部位の寸法や詳細を読み取り、作図する過程を経ることで設計内容を理解し、自ら構想する視点を身につける。また建築図面を作成するための CAD ソフト、3D ソフトの基本的な操作を理解し、作図に必要な能力を身につける。

個別目標：CAD ソフト、3D ソフトの基本的な操作を行うことができる。
平面図・立面図・断面図等を読み取り、CAD を用いた建築図面を作成できる。
各自の構想を 2D・3D で図面表現することができる。

▌履修条件

建築の設計に関する授業の履修経験、あるいは建築・製図法に関する基礎知識を有することが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。

製図課題(60%)・3D データ(30%)・演習課題(10%)の提出物で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回の授業時間のなかでパソコンおよび CAD ソフトを用いて受講生自ら図面を作成する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり（PC 教室で受講生全員が PC を用いて図面を作成する。また各自のパソコンに CAD ソフトをインストールして課題に取り組むことを推奨します。）

▌教科書

開講時に指示します。

▌参考書

開講時に指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的と進め方について説明し、使用する CAD ソフトを紹介する。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 3.5hr：教科書の指定された部分を読む。
2回	**授業テーマ：基礎練習　＜正確な製図、正確な印刷＞** 授業内容：CAD ソフトの画面構成や、基本的な操作方法を理解する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：正確な製図、印刷のコマンドを復習する。
3回	**授業テーマ：基礎練習　＜作図、編集、寸法線＞** 授業内容：CAD ソフトを用いて線をひく、複製する等、基本的な操作を学び、習得する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：作図、編集、寸法線のコマンドを復習する。
4回	**授業テーマ：基礎練習　＜図形の編集＞** 授業内容：CAD ソフトを用いた図形の編集方法を習得する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：図形の編集のコマンドを復習する。
5回	**授業テーマ：基礎練習　＜図形の変形＞** 授業内容：CAD ソフトを用いた図形の変形方法を習得する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：図形の変形のコマンドを復習する。
6回	**授業テーマ：基礎練習　＜レイヤー、線の種類＞** 授業内容：建築製図における基本的な約束事(レイヤー、線の種類、線の太さ等)を理解する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：レイヤー操作、線の種類の指定を復習する。
7回	**授業テーマ：製図課題　集合住宅　＜基準線、下書き線＞** 授業内容：RC 造の集合住宅の製図課題。図枠、通り芯、下書き線を作図する。 事前学修 2.0hr：課題図面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：集合住宅の基準線、下書き線を製図をする。
8回	**授業テーマ：製図課題　集合住宅　＜壁の作図＞** 授業内容：RC 造の集合住宅の製図課題。壁および開口部を作図する。 事前学修 2.0hr：課題図面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：集合住宅の建具の製図をする。
9回	**授業テーマ：製図課題　集合住宅　＜建具の作図＞** 授業内容：RC 造の集合住宅の製図課題。開口部、建具を作図する。 事前学修 2.0hr：課題図面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：集合住宅の建具の製図をする。
10回	**授業テーマ：製図課題　集合住宅　＜設備の作図＞** 授業内容：RC 造の集合住宅の製図課題。階段、キッチン、浴室、トイレなど細部を作図する。 事前学修 2.0hr：課題図面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：集合住宅の設備の製図をする。

11回	**授業テーマ：製図課題　集合住宅　＜寸法線、その他の作図＞** 授業内容：RC 造の集合住宅の製図課題。メゾネット住宅の上階を作図する。 事前学修 2.0hr：課題図面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：集合住宅の寸法線、その他の製図をする。
12回	**授業テーマ：３ D データ　＜図形の立ち上げ＞** 授業内容：CAD ソフトを用いた 3D モデリングについて理解し、操作方法を習得する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：図形の立ち上げのコマンドを復習する。
13回	**授業テーマ：３ D データ　＜視点の設定＞** 授業内容：既成の３ D モデルを用いて、視点の設定方法を習得する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：視点の設定のコマンドを復習する。
14回	**授業テーマ：３ D データ　＜レンダリング＞** 授業内容：鉄骨造の住宅の作図課題。柱、床、屋根、階段を作図する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：レンダリングのコマンドを復習する。
15回	**授業テーマ：３ D データ　＜点景の作図＞** 授業内容：鉄骨造の住宅の作図課題。設備コア、ガラス等を作図する。 事前学修 2.0hr：CAD のコマンドを調べる。 事後学修 2.0hr：点景の作図の復習する。

住宅計画

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

藤木　亮介（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

建築を計画することは、数々の条件を踏まえて、事業の企画や空間を構成する行為である。特に、住宅の計画は、さまざまな社会的・経済的・技術的・哲学的検討を要する場面があり、すべての建築の計画に共通する基本となる知識・計画能力を養うことになる。このため、建築の中でも最も身近な住宅を取り上げ、計画の基礎知識の習得を行うとともに、住宅の計画を進めるうえで重要となる、住まいをめぐる様々な住居観、住まい方および計画設計手法を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：住宅を設計するための寸法を理解して快適で安全な住宅を計画し、資産価値を失わない住宅を提案する能力を身に付ける。

個別目標：住宅の諸室の機能と寸法とともに相互のつながりを説明できる。
住宅の平面図、断面図、立面図を相互に検証して完成度の高い計画をつくることができる。
住宅を快適に使い続けるために必要な模様替えを提案することができる。

▌履修条件

住宅を観察することや暮らしやすい空間について興味を持ち、実際に計測することや図面で表現するなど、感性の向上と技能の上達に意欲があること。

▌評価基準・方法

課題などの平常点 50 %、期末試験 50 %で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （演習：授業内容を踏まえ、指定するテーマに沿った住宅計画を検討・立案する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本授業を学修するうえでの基本知識の確認を行い、到達目標を明確にする。 事前学修 2.0hr：すでに学んでいる、住宅、建築に関する学修事項を復習する。 事後学修 2.0hr：教科書、資料、ノートにより授業内容を復習するとともに、資料等が散逸しないように整理する。
2 回	**授業テーマ：住宅を構成する寸法体系** 授業内容：住宅の基本となる寸法体系を学び、部屋の大きさについて理解する。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：住宅の外構計画** 授業内容：建物の位置、玄関の位置、駐車場の位置、設備機器の位置、庭の機能などを踏まえ、住宅の外構について学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：住宅の動線計画とゾーニング** 授業内容：住宅における各部屋の機能に応じたゾーニング、ならびにそれらを繋ぐ動線計画を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：中間まとめと復習** 授業内容：第 2 回～第 4 回の授業を踏まえて、指定する敷地における住宅の配置計画、外構計画、ゾーニング・動線計画を検討・立案する。(演習) 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：各階の平面計画と階段の配置** 授業内容：2 階建て住宅の平面計画を学んだ上で、1 階と 2 階を繋ぐ階段の寸法、階段の配置計画、ならびに吹き抜けについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：住宅の建物形状とバルコニーの計画** 授業内容：建物の形状について、平面・断面を踏まえた立面計画手法を学ぶ。またバルコニーについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：環境への配慮と住宅の窓の計画** 授業内容：環境共生住宅を学ぶと共に、住宅の採光・換気の考え方や、窓の意味、使い方、配置の方法などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
9 回	**授業テーマ：住宅の規模計画-1（各種面積）** 授業内容：敷地面積・建築面積・延べ面積・建蔽率・容積率について、各種面積等の算出方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
10 回	**授業テーマ：住宅の規模計画-2（建物の高さ）** 授業内容：日影規制・斜線制限を踏まえて、建物の高さの設定方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
11 回	**授業テーマ：断面詳細計画** 授業内容：住宅の断面詳細について、その構成部材、寸法、各部材の意味を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。

12回	**授業テーマ：災害への配慮と住まい手の高齢化を見据えたストック型社会の住宅計画** 授業内容：災害への配慮と、高齢者に求められる住宅の機能を知り、世代の変化(ライフステージの変化)にフレキシブルに対応できる長期利用を見据えた住宅の計画手法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：平面計画のまとめ** 授業内容：これまでの授業を踏まえ、平面計画・断面計画を相互に検証し、精度の高い平面計画を立案する。(演習) 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
14回	**授業テーマ：立面・断面計画のまとめ** 授業内容：これまでの授業を踏まえ、平面計画・断面計画・立面計画を相互に検証し、精度の高い断面・立面計画を立案する。(演習) 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。
15回	**授業テーマ：公共住宅・集合住宅の計画と既存住宅の再生計画** 授業内容：公共住宅や集合住宅の計画手法を学ぶと共に、既存住宅を快適に使い続けるための改修計画手法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：当授業回の内容に関連するテーマ(事前に指定)について、その周辺知識を含めて自ら調べる。 事後学修 2.0hr：授業資料を復習すると共に、当授業回に関連する内容の指定課題を完成させる。

建築環境計画

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

斎藤　千尋（さいとう　ちひろ）

▌授業の概要

住まいや職場の快適さは、光、温度、湿度、空気、水、音等に大きく依存する。これらを人間にとって快適な状態に保つことが建築技術の重要な役割である。本講義ではこれらの環境要素の中で、温度、湿度、空気、日照、日射に関する基礎的な知識、さらに快適さを作り出す基本的な計画手法を紹介する。各要素について、用語、快適さの指標、快適にするための方法を解説し、演習問題を解くことでその意味を理解するよう進める。また、環境要素の特徴がよく現れている建築物をスライドで紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生社会デザイン専攻 4、不動産鑑定専攻 4 ◎、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：気候、気象が建築物に与える影響、室内気候が在室者に与える影響について理解し、快適な室内気候を形成する方法や、環境への負荷を低減する方法を考えることができるようになることを目標とする。

個別目標：温熱環境の指標により快適さについて説明できる。
室温に影響を与える要素を説明できる。
必要換気量、換気方式を説明できる。
日照と建物配置の関係、日射の効果を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

授業時の演習（40 %）と定期試験（60 %）により、４つの個別目標の達成度と一般目標で言及した「快適な室内気候を形成する方法や、環境への負荷を低減する方法」について論じる力により評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （演習問題に取り組む。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時に指示する。

▌参考書

建築のテキスト編集委員会「初めての建築環境」学芸出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス／建築と環境** 授業内容：本授業における環境という言葉を理解すること、建築環境計画の目的を理解する。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくること。 事後学修 3.5hr：教科書の指示された部分を読むこと。
2回	**授業テーマ：気候と建築 1 気象要素と外部気候** 授業内容：気候を形成する気象の要素を理解し、気候が建築物に与える影響を理解する。空気線図の演習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：気候に応じた建築様式を調べること。
3回	**授業テーマ：気候と建築 2 室内気候と温熱環境の指標** 授業内容：快適さとはどういうことかを理解し、室内環境の快適さに影響する温熱環境の要素について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：自宅の各室で室温を調べてみること。
4回	**授業テーマ：伝熱と結露 1 伝熱の仕組み** 授業内容：建物の内外の温度差によって生じる熱の流れの大きさを理解し、壁や窓のつくり方により熱の流れを抑える方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：室内の気温と室外の気温とその差を調べてみること。
5回	**授業テーマ：伝熱と結露 2 室温変動のコントロール** 授業内容：熱の流出入による室温変動と室温変動を緩和する熱容量について理解する。熱貫流率の演習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：熱貫流率の算定について復習すること。
6回	**授業テーマ：伝熱と結露 3 結露の仕組みと予防** 授業内容：建物外周部での温度変化と結露の関係、結露の予防策を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：空気線図を復習すること。
7回	**授業テーマ：換気と通風 1 汚染物質と必要換気量** 授業内容：清浄な空気と空気の汚染物質について理解する。許容濃度に基づく必要換気量の計算を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：在室者による必要換気量の計算を復習すること。
8回	**授業テーマ：換気と通風 2 換気の方式** 授業内容：換気を行うのに必要な動力、空気の捕集方法による換気の方式を理解する。必要換気量の演習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：自宅の換気設備を調べてみること。
9回	**授業テーマ：換気と通風 3 換気に関する規制、通風** 授業内容：換気に係る規制の基本的な原則を理解する。通風による涼感、通風の留意点を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：自宅の窓の面積と室面積の関係を確かめること。
10回	**授業テーマ：日照と日射 1 日照の効果と太陽の位置** 授業内容：太陽の見かけの位置、建物の日影の作図方法、日影時間図の作図を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：日影図の作図方法を復習すること。

11回	**授業テーマ：日照と日射 2 日照と建物配置** 授業内容：日照時間を確保した建物配置方法、建物配置に影響する日影規制について理解する。日影時間図の演習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：日常的に接する街並みの日あたり具合を観察すること。
12回	**授業テーマ：日照と日射 3 日射による熱取得と日射の遮蔽** 授業内容：日射の強さ、その季節変動、日射の建物内への流入の効果を理解する。日射の影響の軽減方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと 事後学修 2.0hr：建物方位別の日射の強さを復習すること。
13回	**授業テーマ：発展的話題：ソーラーハウス** 授業内容：室温計算と、日射の取得により達成できる室温を理解することから、パッシブソーラーハウスの原理を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：室温の計算を復習すること。
14回	**授業テーマ：発展的話題：建築物の環境性能** 授業内容：建築物の環境対策の法規制、環境負荷低減の取り組みを評価する指標や認証について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 2.0hr：居住する(近くの)自治体が公表する建築物の環境性能表示を調べてみること。
15回	**授業テーマ：総合演習とまとめ** 授業内容：各回の重要事項を復習し、建築環境計画で学んだことの生かし方、継続学修の必要性を理解する。 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読むこと。 事後学修 3.5hr：試験の準備をすること。

物権法

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

勅使河原　由紀（てしがはら　ゆき）

▌授業の概要

本講義では、民法第２編「物権」のうち、担保物権以外の部分（民法 175～294 条）を扱う。
民法は、私人間で生じる紛争を解決するために、様々な「道具」を用意している。本講義では、まず、「物」を巡って生じうる紛争を解決するために民法が用意した「道具」の使い方について解説する。その後、実際に生じた紛争事例（判例）を挙げ、誰と誰が何について争い、どのような結論を出したのか解説した上で、その結論が妥当なものであったのか検討する。
民法は暗記科目と言われることが多いが、暗記だけでは実務で応用できない。各種資格試験においても、現在、暗記だけでは合格できない方向に転換しているように思われる。本講義を通じて、実務に資する法的な問題解決能力を養うことができればと考えている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：物権法の規定について、その趣旨を理解した上で、実務で応用し妥当な結論を導き出す能力を養う。
個別目標：各種資格試験に対応できるようになる。
　　自らが紛争当事者になった場合に、その法的な対処法を考えて行動することができる。

▌履修条件

履修条件は特にないが、他の民法科目である財産法の基礎、債権法、担保物権法を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト（50 %）及び期末テスト（50 %）により評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし
但し、各自で自分に合う基本書を入手すること。

▌参考書

各種六法

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講義の進め方等について説明する。その後、民法の構成、法律関係モデルについて解説する。 事前学修 2.0hr：自分に合う六法及び基本書を探して入手する。 事後学修 2.0hr：入手した基本書を通読する。
2回	**授業テーマ：序論** 授業内容：物権の性質、種類、効力について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「物権の性質、種類、効力」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：物権の性質や種類、効力について、抽象的ではなく、身近な事例を思い浮かべながら、その内容を整理する。
3回	**授業テーマ：物権の取得原因** 授業内容：物権を取得する方法について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「物権の取得原因」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：日常的に必ずしも意識されていない物権の取得方法について、身近な事例でイメージする。
4回	**授業テーマ：物権の公示方法、契約による不動産の物権変動①** 授業内容：物権の公示方法、不動産の対抗要件、民法 177 条の第三者の範囲について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「物権の公示方法、不動産の対抗要件、民法 177 条の第三者の範囲」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：誤解の多い民法 177 条所定の「登記」の機能について、正しく理解する。
5回	**授業テーマ：契約による不動産の物権変動②** 授業内容：取消しと登記、解除と登記の関係について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「取消しと登記、解除と登記」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：物権変動について、登記の機能を踏まえて、登記が必要な場合と不要な場合について整理する。
6回	**授業テーマ：契約による不動産の物権変動③** 授業内容：相続と登記、取得時効と登記の関係について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「相続と登記、取得時効と登記」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：物権変動について、登記の機能を踏まえて、登記が必要な場合と不要な場合について整理する。
7回	**授業テーマ：動産の物権変動** 授業内容：動産の対抗要件、即時取得について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「動産の対抗要件、即時取得」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：登記制度のない動産の対抗要件、取引行為によって動産を入手した場合に取得する物権について理解する。
8回	**授業テーマ：まとめ①** 授業内容：前回までの授業内容について、補足で解説する。 事前学修 2.0hr：理解があやふやな部分を抽出する。 事後学修 2.0hr：理解があやふやな部分を確実にする。
9回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：前回までの授業内容について、理解しているか確認する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：間違えた解答を見直す。
10回	**授業テーマ：物権の消滅、占有権** 授業内容：物権の消滅、占有権の趣旨とその取得方法等について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「物権の消滅、占有権」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：物権が消滅する場合について整理する。占有権の取得方法や本権との関係等について、身近な事例でイメージする。

11回	**授業テーマ：共同所有関係** 授業内容：共有、建物の区分所有権について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「共有、建物の区分所有権」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：一物一権主義の例外である共有、実務の要請を受けて創設された区分所有権に関する規定について、典型的な事例を想定し、事例に当てはめて考える。
12回	**授業テーマ：所有権の限界** 授業内容：所有権の内容、土地所有権の範囲、相隣関係について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「所有権、相隣関係」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：隣接する土地所有者相互の利用を調整するために民法が定めた相隣関係の規定について、身近な事例でイメージする。
13回	**授業テーマ：用益物権①** 授業内容：地上権、永小作権について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「地上権、永小作権」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：他人の土地につき地上権、永小作権を持っている人は、その土地について何ができるのか、関連条文を読んで整理する。
14回	**授業テーマ：用益物権②** 授業内容：地役権、入会権について解説する。 事前学修 2.0hr：基本書の「地役権、入会権」に関する部分を精読する。 事後学修 2.0hr：他人の土地につき地役権、入会権を持っている人は、その土地について何ができるのか、関連条文を読んで整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ②** 授業内容：これまでの授業内容について、補足で解説する。 事前学修 2.0hr：中間テストの見直しを含め、理解があやふやな部分を抽出する。 事後学修 2.0hr：理解があやふやな部分を確実にする。

建築材料学

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

中里　侑司 (なかざと　ゆうじ)

▌授業の概要

構造材料の木材・鋼材・コンクリート(構成材料のセメント・細骨材・粗骨材・混和材料・水)および鉄筋コンクリートを主な学習対象として講義を行います。これら材料の歴史、要求性能・品質の概要、必要な力学的性質・物理的性質・化学的性質、使用方法等について学びます。また、建築物の仕上げ材料としての内装材料、外装材料についても、屋根、壁、床等の部位別に材料の使用目的、種類、使用方法と注意事項等を学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：構造材料、仕上げ材料の違いに基づく材料の特徴を理解する。

個別目標：構造材料の時代にともなう変化、要求性能や品質の概要、力学的・物理的・化学的性能、使用方法が説明できる。仕上げ材料は、部位別に使用目的、使用方法、注意点が説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

到達目標の達成度に対して、レポート 30 %、試験 70 %で評価する。

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業関連事項の建物事例、流通材等の検索）

▌教科書

授業開始時に指示する。

▌参考書

授業開始時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：建築材料概要：材料概要、建築材料の性質を表す用語　建築材料の歴史と分類：国内外の建材史、建材の分類** 授業内容：この講義の進行、ルールを説明する。また、建築材料の概要を講義する。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 0.5hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 3.5hr：建築材料の概要について再度教科書を読んで確認すること。
2回	**授業テーマ：建築材料の要求性能と品質** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、建築材料の各部位における各種要求性能と品質に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：建築材料の要求性能と品質について再度教科書を読んで確認すること。
3回	**授業テーマ：コンクリート構成材１(原材料)** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、セメントの種類と働き，骨材の性質と働き，混和材料の種類と働き，水の働きに関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：コンクリート構成材について再度教科書を読んで確認すること。
4回	**授業テーマ：コンクリート構成材２(調合)** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、コンクリートに要求される性質、水セメント比、調合に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：コンクリートの要求性能について再度教科書を読んで確認すること。
5回	**授業テーマ：コンクリート構成材３(鉄筋)** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、鉄筋の性質、耐久性に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：鉄筋コンクリートについて再度教科書を読んで確認すること。
6回	**授業テーマ：木構造に用いる材料１(製法)** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、木構造材料(素材、製法、接合)に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：木材および木質材料について再度教科書を読んで確認すること。
7回	**授業テーマ：木構造に用いる材料２(性質)** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、木構造材料(性質、耐久性)に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：木材の要求性能、耐久性について再度教科書を読んで確認すること。
8回	**授業テーマ：鋼構造に用いる材料** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、鋼材の種類，部材の接合，要求される性質，耐久性に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：鋼およびその要求性能について再度教科書を読んで確認すること。
9回	**授業テーマ：組積造に用いる材料** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、組積造の原理，材料の種類，組積方法，組積造の耐久性に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：組積造の材料について再度教科書を読んで確認すること。

10回	**授業テーマ：屋根に用いる材料** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、屋根材料に要求される性能、構成、種類と性質に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：屋根の材料について再度教科書を読んで確認すること。
11回	**授業テーマ：外装に用いる材料** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、外装材料に要求される性能、構成、種類と性質に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：外壁の材料について再度教科書を読んで確認すること。
12回	**授業テーマ：内装に用いる材料** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、内装材料(床・壁・天井)に要求される性能、構成、種類と性質に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：床・内壁材について再度教科書を読んで確認すること。
13回	**授業テーマ：開口部，接合部に用いる材料** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、開口部、接合部に要求される性能、構成、種類と性質に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：天井・開口部・接合材料について再度教科書を読んで確認すること。
14回	**授業テーマ：防火・耐火，断熱，吸音・遮音に用いる材料** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、防火・耐火，断熱，吸音・遮音の材料に要求される性能、使用部位、種類と特徴に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：防火耐火材・断熱材について再度教科書を読んで確認すること。
15回	**授業テーマ：建築材料のまとめ** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、この講義を総括する。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：わからない専門用語を調べ意味を理解し、教科書の該当箇所を読んでくること。 事後学修 2.0hr：講義全体をとおして学んだ内容を再度教科書を読んで確認すること。

建築構造計画

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

前島　彩子（まえしま　あやこ）

▌授業の概要

自重、地震力等の外力に対して、建物がどのように抵抗し、地盤に伝えるかについて、力のながれのイメージを身につける。
建物に働く力のコントロールという視点から構造計画を解説するとともに、模型を用いるなどにより主体的な理解を促す。
演習を通して、構造種別・構造形式による構造計画上の特徴について主体的に理解を深めるとともに、柱・梁・壁の配置や寸法感覚を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：構造種別・構造形式による構造計画上の特徴について理解を深める。
個別目標：建築物の計画に応じて適する構造種別・構造形式を選択することができる。
　　構造種別・構造形式を踏まえて建築物の計画ができる。

▌履修条件

「建築一般構造論」の単位取得済

▌評価基準・方法

演習課題（50%）、試験（50%）
演習課題を通して内容の理解および取組みを確認する。試験を通して知識の定着を確認する。
5 分の 4 以上の出席と、演習課題をすべて提出していることを評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （演習では、建物事例や地盤調査事例を用いて、各自で略算的な構造計画の提案および安全度の確認を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地盤調査結果に関する情報収集）

▌教科書

なし。資料を配布する。

▌参考書

建築構造システム研究会編「図説テキスト建築構造－構造システムを理解する－」（彰国社）
松村秀一編著「3D 図解による建築構法」（市ヶ谷出版社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、構造計画とは、構造種別と構造形式** 授業内容：この講義の進行、ルールを説明する。また、授業目標のイメージ把握として授業に関連する近年の主だったトピックを確認する。 事前学修 0.5hr：シラバスを読み、学修の全体像を確認しておく。 事後学修 3.5hr：講義資料・補足資料を読み理解を深める。
2 回	**授業テーマ：建築構造システム** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、力のコントロール、剛性とバランスに関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義資料・補足資料を読み理解を深める。
3 回	**授業テーマ：演習 1：構造計画概論** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、第１回、２回の内容について演習を通じて理解度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：これまでに学修内容を整理し、演習に取り組めるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業中の演習問題を復習する。
4 回	**授業テーマ：木造－在来軸組構法－** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、在来軸組構法の構造計画（部材の配置や断面仕様）に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容と照らし合わせて、在来軸組構法の住宅の特徴を観察する。
5 回	**授業テーマ：木造－枠組壁工法－** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、枠組壁工法の構造計画（壁の配置や開口部の大きさの規定）に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容と照らし合わせて、枠組壁工法の住宅の特徴を観察する。
6 回	**授業テーマ：演習２　木造・在来軸組構法の計画** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、在来軸組構法の内容について演習を通じて理解度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：これまでに学修内容を整理し、演習に取り組めるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業中の演習問題を復習する。
7 回	**授業テーマ：鉄筋コンクリート造－ラーメン構造－** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、RC 造ラーメン構造（部材の配置や断面寸法）に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容と照らし合わせて、鉄筋コンクリート造ラーメン構造の建築物の特徴を観察する。
8 回	**授業テーマ：鉄筋コンクリート造－壁式構造－** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、RC 造壁式構造（部材の配置や断面寸法）に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容と照らし合わせて、壁式鉄筋コンクリート造の建築物の特徴を観察する。
9 回	**授業テーマ：演習３　鉄筋コンクリート造・ラーメン構造および壁式構造の計画** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、RC 造の内容について演習を通じて理解度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：これまでに学修内容を整理し、演習に取り組めるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業中の演習問題を復習する。
10 回	**授業テーマ：鉄骨造－ブレース構造－、－ラーメン構造－** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、鉄骨造（部材の配置や断面寸法）に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容と照らし合わせて、鉄骨造の建築物の特徴を観察する。

11回	**授業テーマ：耐震・制振・免震構造** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、耐震・制振・免震構造(各装置の特徴、建物使用への影響)に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容と照らし合わせて、補足提示する不動産物件事例の状況を確認する。
12回	**授業テーマ：耐震診断・補強** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、耐震診断・補強(各種評価方法とその判断基準)に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容と照らし合わせて、補足提示する不動産物件事例の状況を確認する。
13回	**授業テーマ：地盤と基礎構造** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、地盤の安全性と地盤状況に応じた基礎計画に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：講義資料を読み、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容と照らし合わせて、補足提示する不動産物件事例の状況を確認する。
14回	**授業テーマ：演習４：基礎構造の計画** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、基礎構造の内容について演習を通じて理解度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：これまでに学修内容を整理し、演習に取り組めるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業中の演習問題を復習する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、講義を総括する。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義内容および演習内容を振り返り、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：講義内容および演習問題を復習し、疑問点の解消に取り組む。

住宅地計画実習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

塚原　光顕（つかはら　みつあき）・**前島　彩子**（まえしま　あやこ）

▌授業の概要

低層住宅地を対象に、人々が豊かに暮らすための住環境・景観のデザインとコミュニティを形成するための計画の手法を学びます。
前半は、住宅地を計画する上での今日的なテーマを考察するとともに、課題対象地に住宅地を企画・計画・立案を行い、共用空間「コモンスペース」コモンスペースを中心としたマスタープランを作成します。
後半は、住民のための共用空間「コモンスペース」と、コモンスペースを生かした住宅の設計を行い、図面と模型を用いて立体的に表現します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：景観やコミュニティの形成のしかたを、住宅地の計画とデザインを通して身につける。
個別目標：豊かに暮らすための住環境・景観のデザインとコミュニティを形成するための手法を使うことができる。
住宅地の企画・計画・立案を行ってマスタープランをつくることができる。
コモンスペースを活かした住宅の設計ができる。

▌履修条件

建築の設計に関する授業の履修経験、あるいは建築・製図法に関する基礎知識を有することが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
評価の割合は、魅力的な住宅地の企画、立案、計画（40 %）コモンスペースを活かした住宅の設計（60 %）とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、グループワーク、企画提案、作図、模型作成、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションまとめの時に PowerPoint を使用する　）

▌教科書

建築デザイン製図（学芸出版社）

▌参考書

齊藤広子・中城康彦「コモンでつくる住まい・まち・人」彰国社、住宅生産振興財団編（2001）「日本のコモンとボンエルフ」日経事業出版社、
住宅生産振興財団編（2010）「住まいのまちなみを創る」建築資料研究社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：コモンスペースを中心とした魅力のある街区及び住宅について解説。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 0.5hr：住宅地の事例を調べる。	16 回	**授業テーマ：住宅設計方針、配置計画のゾーニング（2）＜宅地内の計画＞** 授業内容：コンセプトを設定し、宅地内の住宅配置、外構をゾーンで計画する。 事前学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースのエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースのエスキースをする。
2 回	**授業テーマ：敷地見学** 授業内容：全体計画の対象敷地見学を行う。＜課題対象地の調査（サーベイ）＞ 事前学修 0.5hr：住宅地の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：住宅地の事例を調べる。	17 回	**授業テーマ：建物計画のゾーニング（1）＜住宅の設計＞** 授業内容：住宅内部をゾーンで計画する。 事前学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースのエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースのエスキースをする。
3 回	**授業テーマ：敷地分析** 授業内容：対象敷地を広域でとらえて、メリット、デメリットを整理する。 事前学修 0.5hr：課題敷地を調べる。 事後学修 0.5hr：課題敷地を調べる。	18 回	**授業テーマ：建物計画のゾーニング（2）＜住宅の作図＞** 授業内容：平面図と断面図をシングルラインで描く。 事前学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースのエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースのエスキースをする。
4 回	**授業テーマ：街区設計方針の確定** 授業内容：ターゲットとなる住民像を確定する。 事前学修 0.5hr：課題敷地の調査結果をまとめる。 事後学修 0.5hr：課題敷地の調査結果をまとめる。	19 回	**授業テーマ：平面図の下書き＜平面図の作図＞** 授業内容：平面図の下書きを行う。 事前学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースの案の製図をする。 事後学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースの案の製図をする。
5 回	**授業テーマ：街区の骨格と核（コモン）の計画（1）＜街区の骨格を考える＞** 授業内容：骨格：街区内の主要な道路経路の計画を行う。 事前学修 0.5hr：計画課題を読んでくる。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画のエスキースをする。	20 回	**授業テーマ：立面図・断面図の下書き＜立断面図の作図＞** 授業内容：立面図・断面図の下書きを行う。 事前学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースの案の製図をする。 事後学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースの案の製図をする。
6 回	**授業テーマ：街区の骨格と核（コモン）の計画（2）＜コモンスペースの検討＞** 授業内容：核（コモン）：ターゲット層に対応する、街区の中心になるものの検討 事前学修 0.5hr：コミュニティの形成に注目して住宅地の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画のエスキースをする。	21 回	**授業テーマ：平面図の修正** 授業内容：平面図の修正を行う。 事前学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースの案の製図をする。 事後学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースの案の製図をする。
7 回	**授業テーマ：宅地のつながり（クラスター）の計画＜クラスターの形成＞** 授業内容：５～８戸のまとまり（クラスター）をつなげて、宅地の配置、ネットワークを計画する。 事前学修 0.5hr：共用施設に注目して住宅地の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画のエスキースをする。	22 回	**授業テーマ：立面図・断面図の修正** 授業内容：立面図・断面図の修正を行う。 事前学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースの案の製図をする。 事後学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースの案の製図をする。
8 回	**授業テーマ：宅地のつながり（クラスター）の計画＜立体的な空間の検証＞** 授業内容：ボリューム模型で立体的な空間を確認する。 事前学修 0.5hr：周辺環境との連続性に注目して住宅地の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画のエスキースをする。	23 回	**授業テーマ：模型練習・図面清書** 授業内容：模型製作の練習をする。 事前学修 0.5hr：模型材料を揃える。 事後学修 0.5hr：製図室で模型を製作する。
9 回	**授業テーマ：街区計画の確定（1）＜共用スペースの検討＞** 授業内容：街区の宅地割図をまとめる（車道/歩道の区別や仕上げ方法、水場/緑地、駐車スペース計画などを明示） 事前学修 0.5hr：交通計画に注目して住宅地の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画のエスキースをする。	24 回	**授業テーマ：パネルレイアウト** 授業内容：A1 サイズ一枚に必要な情報をレイアウトする。 事前学修 0.5hr：製図室で模型を製作する。 事後学修 0.5hr：製図室で模型を製作する。

10回	**授業テーマ：街区計画の確定(2)＜住宅の共通ルール決め＞** 授業内容：街区の宅地割図をまとめる(住宅の配置、外構、屋根の形状、色など共通ルールの設定) 事前学修 0.5hr：敷地割に注目して住宅地の事例を調べる。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画のエスキースをする。	25回	**授業テーマ：模型(1)＜模型の準備＞** 授業内容：模型の作成 事前学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。 事後学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。
11回	**授業テーマ：パネルレイアウト(1)＜レイアウトの検討＞** 授業内容：A1 サイズ一枚に必要な情報をレイアウトする。 事前学修 0.5hr：製図室で全体計画の製図をする。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画の製図をする。	26回	**授業テーマ：模型(2)＜模型の完成＞** 授業内容：模型の作成 事前学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。 事後学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。
12回	**授業テーマ：パネルレイアウト(2)＜レイアウトの決定＞** 授業内容：A1 サイズ一枚に必要な情報をレイアウトする。 事前学修 0.5hr：製図室で全体計画の製図をする。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画の製図をする。	27回	**授業テーマ：仕上げ(1)＜プレゼンテーションの準備＞** 授業内容：図面の着彩、プレゼンテーションの練習 事前学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。 事後学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの反省をする。
13回	**授業テーマ：仕上げ、提出・発表(1)＜プレゼンテーションの準備＞** 授業内容：発表前にプレゼンテーションのまとめを行う。 事前学修 0.5hr：製図室で全体計画の製図をする。 事後学修 0.5hr：製図室で全体計画の製図をする。	28回	**授業テーマ：仕上げ(2)＜プレゼンテーションの完成＞** 授業内容：図面の着彩、プレゼンテーションの練習 事前学修 0.5hr：設計案の修正の方針を考える。 事後学修 0.5hr：講評に基づいて設計案を修正する。
14回	**授業テーマ：仕上げ、提出・発表(2)** 授業内容：発表および講評。 事前学修 0.5hr：製図室でプレゼンテーションの準備をする。 事後学修 0.5hr：講評に基づいて全体計画を修正する。	29回	**授業テーマ：発表・講評会(1)** 授業内容：提出物の発表及び講評会 事前学修 0.5hr：講評に基づいて設計案を修正する。 事後学修 0.5hr：講評に基づいて設計案を修正する。
15回	**授業テーマ：住宅設計方針、配置計画のゾーニング(1)＜居住者の確定＞** 授業内容：コモンと関係の深いクラスターを選択し、居住者を確定する。 事前学修 0.5hr：設計課題を読んでくる。 事後学修 0.5hr：製図室で住宅とコモンスペースのエスキースをする。	30回	**授業テーマ：発表・講評会(2)** 授業内容：提出物の発表及び講評会 事前学修 0.5hr：講評に基づいて設計案を修正する。 事後学修 0.5hr：講評に基づいて設計案を修正する。

インテリアデザイン演習

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

川島　真由美（かわしま　まゆみ）

▌授業の概要

建築物内を対象とした商業施設の企画・設計を行います。ネットでの気軽なショッピングやお取り寄せ、様々なサブスクリプションなどが存在する現在では、所有や体験の価値が多様化しており、商業施設の実店舗は新たな可能性を求められています。そこで、活用の余地のある利便性の高い空間として市街地鉄道高架下に着目し、より魅力的な空間とするために、新たな価値を創造し相応しい機能とデザインを兼ね備えた商業施設の提案を行います。演習では商業施設の店舗空間がどのように企画・計画されているかを学び、プレゼンテーションの技法を習得します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：建築物内における商業店舗の設計及びインテリアをデザインする能力を身につける。
個別目標：商業店舗の企画内容について説明できる。
　　デザインした空間を平面図、断面図、透視図で表現することができる。

▌履修条件

建築の設計に関する授業の履修経験、あるいは建築・製図法に関する基礎知識を有することが望ましい。

▌評価基準・方法

見学レポート、中間チェック、課題の提出物により、企画内容（40 %）、デザインされた空間とその表現（60 %）で、一般目標、個別目標の到達度で評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、企画提案、作図）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

デザインの基礎演習受講済みの学生は、デザインの基礎演習で用いたテキスト
日本建築学会編・「コンパクト建築設計資料集成」・(丸善)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：インテリアデザインの進め方** 授業内容：都市空間との関係性に着目し商業空間計画について解説する。また、商業店舗をデザインするのに必要な基礎的知識として、建築構造、設備計画、照明計画、サイン計画、家具デザイン、インテリアの寸法および設計要素について解説する。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 3.5hr：敷地を見学し見学レポートを作成。参考になる店舗を探す。
2回	**授業テーマ：デザイン演習（１）　店舗企画と平面計画** 授業内容：物販店舗か飲食店舗かを選択し、店舗の企画内容の詳細を検討し決定する。コンセプトに着目しながら平面計画を進める。 事前学修 2.0hr：店舗企画・平面計画を検討する。 事後学修 2.0hr：店舗企画・平面計画を修正する。
3回	**授業テーマ：デザイン演習（２）　平面計画と断面計画** 授業内容：動線や空間の構成に着目しながら平面計画と断面計画を進める。 事前学修 2.0hr：平面計画・断面計画を検討する。 事後学修 2.0hr：平面計画・断面計画を修正する。
4回	**授業テーマ：デザイン演習（３）　平面図の作図** 授業内容：寸法を確認しながら平面図の作図を進める。 事前学修 2.0hr：平面図を製図する。 事後学修 2.0hr：平面図を修正する。
5回	**授業テーマ：デザイン演習（４）　什器のプランニング** 授業内容：寸法を確認しながら什器のデザインおよび作図を進める。 事前学修 2.0hr：什器を製図する。 事後学修 2.0hr：平面図・断面図を修正する。
6回	**授業テーマ：デザイン演習（５）　断面図の作図** 授業内容：寸法を確認しながら断面図の作図を進める。 事前学修 2.0hr：断面図を製図する。 事後学修 2.0hr：断面図を修正する。
7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの技法** 授業内容：透視図表現の図法、着彩について解説する。また、商業店舗をデザインするのに必要な基礎的知識として、素材、テキスタイル、色彩計画について解説する。 事前学修 2.0hr：透視図法を予習する。 事後学修 2.0hr：透視図法を復習する。
8回	**授業テーマ：デザイン演習（６）　仕上げ計画** 授業内容：空間のイメージを確認しながら仕上げを決定し、平面図と断面図を完成させる。 事前学修 2.0hr：仕上げを検討する。 事後学修 2.0hr：平面図・断面図を完成させる。
9回	**授業テーマ：デザイン演習（７）　透視図の下絵を描く** 授業内容：技法を確認しながら透視図の作図を進める。 事前学修 2.0hr：透視図の下書きをする。 事後学修 2.0hr：透視図の下書きを修正する。
10回	**授業テーマ：デザイン演習（８）　透視図の陰線処理をする** 授業内容：寸法を確認しながら透視図の作図を進める。 事前学修 2.0hr：透視図を製図する。 事後学修 2.0hr：透視図を製図する。

11回	**授業テーマ：デザイン演習(９)　透視図に添景を表現する** 授業内容：コンセプトを確認しながら透視図の作図を進める。 事前学修 2.0hr：透視図を製図する。 事後学修 2.0hr：透視図を製図する。
12回	**授業テーマ：デザイン演習(１０)　透視図に質感・色彩を表現する** 授業内容：空間のイメージを確認しながら透視図の作図を進める。 事前学修 2.0hr：透視図を製図する。 事後学修 2.0hr：透視図を製図する。
13回	**授業テーマ：デザイン演習(１１)　透視図に陰影を表現する** 授業内容：空間のイメージを確認しながら透視図の作図を進め、完成させる。 事前学修 2.0hr：透視図を製図する。 事後学修 2.0hr：透視図を完成させる。
14回	**授業テーマ：デザイン演習(１２)　表紙の作成・完成** 授業内容：コンセプトおよび店舗ロゴを表現し、完成させる。 事前学修 2.0hr：表紙を完成させる。 事後学修 2.0hr：表紙を完成させる。
15回	**授業テーマ：講評会** 授業内容：図面を用いてプレゼンテーションを行い、教員が講評する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備をする。 事後学修 2.0hr：講評の結果を案に反映する。

建築環境デザイン

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

町田　敦（まちだ　あつし）

▌授業の概要

住まいや職場の快適さは、光、温度、湿度、空気、水、音等に大きく依存する。これら居住環境の安全性、快適性を左右する環境要素のうち、本講義では、光、音について、その物理的な性質、室内で求められる状態、それを達成するための基本的な設計手法を紹介し、演習によりその理解を深める。建築技術の変化とともにその姿を変えてきた都市の環境とその現在の課題を紹介する。これらを踏まえ、今後の環境政策が建築物に及ぼす影響、建築物に求められる環境性能や環境に配慮したデザインのメニューを論じる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：居住環境へ影響する室内環境要素としての光と音について、その計測単位や物理的な性質を知り、計測単位を用いた居住性能の評価方法を理解する。また環境に配慮した建築設計の必要性を知り、設計手法を理解する。

個別目標：身のまわりの光と音を測定し、体感と測定値を照らし合わせる。
建築物に求められる環境性能や省エネルギー化に配慮したデザインを理解できる。
光・音環境に関する専門用語を用いて具体的な設計事例を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

授業時の演習 40 %と定期試験 60 %により、一般目標、個別目標の到達度で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （与えられたテーマで建築の事例を調査し、発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業開始時に指示する。

▌参考書

建築のテキスト編集委員会「初めての建築環境」学芸出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション／室内の環境** 授業内容：現代の建築作品をとおして室内環境に配慮した設計事例を学ぶ。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 3.5hr：教科書の指示された部分を読む。
2回	**授業テーマ：採光と照明 1　測光量と見やすさ** 授業内容：光の測定方法と単位、人の感覚と測定値の関係について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：測光量の種類と定義を復習する。
3回	**授業テーマ：採光と照明 2　採光計画** 授業内容：窓からの採光計画および昼光率の計算方法について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。日常的に接する建築物の採光計画を観察する。
4回	**授業テーマ：採光と照明 3　照明計画** 授業内容：照明器具による照明計画および照度の計算方法について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。日常的に接する建築物の照明計画を観察する。
5回	**授業テーマ：色彩計画** 授業内容：光と色の関係について理解し、色の社会的な意味について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。日常的に接する建築物の色彩計画を観察する。
6回	**授業テーマ：インテリアスペースの環境デザイン** 授業内容：環境に配慮した設計手法について事例を調査し、発表する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。気に入っているインテリアスペースをスケッチしたり良さを言葉で説明してみる。
7回	**授業テーマ：遮音と吸音** 授業内容：音の測定方法と単位、人の感覚と測定値の関係について理解する。また遮音・吸音の評価方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。音圧レベル、音の強さの定義を復習する。
8回	**授業テーマ：騒音と防止計画** 授業内容：騒音の評価方法について学び、騒音防止の方法について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。日常的に接する建築物で聞こえる音をリストアップする。
9回	**授業テーマ：室内音響** 授業内容：残響時間について理解し、室内音響の設計手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。日常的に接する建築物の音響の違いを考察する。
10回	**授業テーマ：地域と環境デザインエコハウスの事例を通して** 授業内容：環境に配慮した設計手法について事例を調査し、発表する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。エコハウスの事例を自分で調べる。

11回	**授業テーマ：建築物の環境性能 1　住宅** 授業内容：建築物(住宅)の環境性能の評価手法について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。自治体が公表する住宅の環境性能の表示の事例を調べる。
12回	**授業テーマ：建築物の環境性能 2　非住宅** 授業内容：建築物(非住宅)の環境性能の評価手法について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。自治体が公表する非住宅建築物の環境性能の表示の事例を調べる。
13回	**授業テーマ：現代の都市環境と建築** 授業内容：ヒートアイランド、大気汚染など都市における環境問題について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習を復習する。日常的に接する建築物の都市環境を観察する。
14回	**授業テーマ：総合演習** 授業内容：環境に配慮した設計手法について事例を調査し、発表する。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：演習問題を復習する。
15回	**授業テーマ：発展的話題とまとめ** 授業内容：これまでの授業内容を振り返り、理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.0hr：不動産に関する話題を建築環境デザインの視点で考えてみる。

建築設備

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

斎藤　千尋（さいとう　ちひろ）

▌授業の概要

建築設備は、建物において、その用途と深く関わりを持ち、給排水設備、空調設備、電気設備、搬送設備、情報通信設備、防災設備の各システムから構成されています。わが国においては諸外国に比べ建物の使用年数が短いことが問題でしたが、近年では長期使用に転換する兆しが見られます。建物の長期使用の時代に入り、資産価値の維持向上の面でも建築設備は重要性が増しています。建築設備について、それらの体系、技術的背景、現状の課題と将来像について、講義と演習から学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：建築設備の体系、技術的背景を理解し、その課題や動向について論じることができるようになることを目標とする。
個別目標：給水方式の特徴、排水通気設備の働きを説明できる。
空調設備の各部の働き、空調方式の特徴を説明ができる。
電気設備、情報通信設備の各部の働きを説明できる。
防災設備の各部の働きを説明できる。
省エネルギー手法、ビルオートメーションの動向を論じることができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

授業時の演習 40 %と定期試験 60 %により一般目標、個別目標の到達度で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （理解度確認のための演習を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業開始時に指示する。

▌参考書

大塚雅之　「初学者の建築講座　建築設備(第四版)」　市ヶ谷出版社、石福昭編著　「大学課程　建築設備(第五版)」　オーム社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　建築設備の役割** 授業内容：建築設備の近代建築における発達を概観し、現代建築における建築設備の重要性を学ぶ。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 3.5hr：教科書の指示された部分を読む。
2回	**授業テーマ：給排水設備　給水設備** 授業内容：水道法上の位置づけ、上水の需要、上水の汚染防止の原則を踏まえ、給水方式、給水設備を構成する要素を学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：自宅の給排水設備を観察する。
3回	**授業テーマ：給排水設備　ガス設備　その他** 授業内容：湯の需要、給湯温度、レジオネラ症を踏まえ、給湯方式、ガス設備、その他の加熱装置、給湯配管について学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：日常的に接する建築物の給排水設備を観察する。
4回	**授業テーマ：給排水設備　排水・通気設備** 授業内容：排水の種類を踏まえ、トラップ、通気方式等の建物内の排水通気設備、敷地内の排水設備、また浄化槽について学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：広告や建築雑誌に紹介される建築物の給排水設備の計画を読み取る。
5回	**授業テーマ：空気調和設備　室内環境　空調方式** 授業内容：温熱環境の要素、暖房、冷房の空気線図上のプロセスを踏まえ、空調負荷に影響する要素、空調方式を学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：自宅の空調設備を観察する。
6回	**授業テーマ：空気調和設備　熱源方式　熱源装置** 授業内容：建物用途、規模に応じた空調方式、熱源の組み合わせ、熱源装置、熱源装置の効率について学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：日常的に接する建築物の空調設備を観察する。
7回	**授業テーマ：空気調和設備　空調機　搬送装置　換気設備　その他** 授業内容：空調機の方式、空気搬送装置、熱交換器、配管設備について学ぶ。必要換気量、換気方式について学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：広告や建築雑誌に紹介される建築物の空調設備の計画を読み取る。
8回	**授業テーマ：電気設備　受変電設備　電気配線** 授業内容：交流の電圧、位相を踏まえ、受変電設備、配電方式、幹線と分岐回路、配線方法、電気設備の安全性の原則を学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：自宅の家電製品の電力消費を調べる。
9回	**授業テーマ：電気設備　動力設備　照明設備** 授業内容：使用目的別の負荷容量、動力設備の構成、照明の要素、光源・照明器具、照明計算、スイッチとコンセントについて学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：日常的に接する建築物の照明器具を調べる。

10回	**授業テーマ：搬送設備　発電設備　蓄電池** 授業内容：搬送装置の分類、性能、法規制および搬送装置の事故の例を紹介する。主に非常用の発電設備、蓄電池の種類を学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：日常的に接する建築物の搬送設備の設置状況を調べる。
11回	**授業テーマ：情報通信設備　ビルオートメーション(BAS)　スマートハウス　スマートシティ** 授業内容：電話、LAN 等の通信設備、防犯設備について学ぶ。BAS、ホームオートメション、EMS を学ぶ。BAS、EMS の応用例を学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：広告や建築雑誌に紹介される建築物の情報設備の計画を読み取る。
12回	**授業テーマ：省エネルギー手法** 授業内容：建築物省エネ法の省エネ基準を踏まえ、空調、給湯、照明各設備の手法を学ぶ。太陽光発電システムについて学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：広告や建築雑誌に紹介される建築物の環境対策を読み取る。
13回	**授業テーマ：防災設備　消防設備火災報知設備　消火設備** 授業内容：火災の被害、火災の進行を踏まえ、警報設備、消火設備について学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：自宅の防災設備を調べる。
14回	**授業テーマ：防災設備　排煙設備　避難設備　その他** 授業内容：煙の危険性、煙の制御を踏まえ、防煙区画、排煙設備、加圧防煙設備を学ぶ。避難の設備、消防活動支援の設備について学ぶ。理解度確認の演習を行う。 事前学修 2.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 1.5hr：日常的に接する建築物の防災設備を調べる。
15回	**授業テーマ：建築設備の保全と管理** 授業内容：建築物のライフサイクルコスト、建築設備の保全、管理について学ぶ。改修による継続的な機能向上の例を紹介する。理解度確認の演習を行う。 事前学修 1.5hr：教科書の指示された部分を読む。 事後学修 2.5hr：試験の準備をする。

材料学実験

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

中里　侑司 (なかざと　ゆうじ)

▌授業の概要

建築材料は、一定の品質・性能が確保されていることが求められます。このため、JIS 規格(日本工業規格)を定めて共通の試験方法で品質確認が出来るようにしています。この授業では、まず適切な計測方法と記録方法を身につけ、JIS 規格に基づき各種の計測木材、鉄筋、コンクリートなどの破壊試験(圧縮強度試験、引張試験、材齢 7 日・18 日圧縮強度試験、中性化測定等)を体験してもらいます。また、実際に建っている建築物の耐久性を確認するために、非破壊試験(シュミットハンマーによる圧縮強度試験、超音波探傷試験等)も実施します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：構造材料、仕上げ材料に焦点を当て、試験体験を通してその性質を把握する。
個別目標：JIS 規格に定められた試験方法に則り、構造材料の品質確認を行う。
　　コンクリート試験体の作製を行い品質に影響を及ぼす要因を指摘できるようになる。
　　既存建築物の非破壊試験を行い耐久性の確認ができるようになる。

▌履修条件

建築材料学を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、レポートにより評価する。
(試験体験を通して把握した材料の性質を、図版や文章で適切に整理できているかを判断する)

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （試験体の作成、実験装置の操作、観察、測定結果の読取り、作図等、試験体験を通した学修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （実験レポート作成(データ整理、表計算、グラフ作成など)）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

授業開始時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：材料実験の目的** 授業内容：社会における規格の意義をふまえて、材料実験の目的について講義する。 事前学修 0.5hr：JIS 規格とは何か、調べて把握してくること。 事後学修 0.5hr：講義で学んだ内容で不明な箇所を再確認すること。	16 回	**授業テーマ：鉄筋の材質管理計測 2(かぶり厚さの整理)** 授業内容：計測結果に基づき、鉄筋のかぶり厚さの実験値を画像等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
2 回	**授業テーマ：材料実験の受講上の注意** 授業内容：材料実験の受講上の注意を説明する。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 0.5hr：木材、鉄筋、コンクリートのそれぞれの性質を調べてくること。 事後学修 0.5hr：実験手順の注意事項について、再度把握をすること。	17 回	**授業テーマ：コンクリートの物性試験 5(材齢 28 日圧縮強度の計測)** 授業内容：万能材料試験機を用いて、コンクリートの材齢 28 日圧縮強度試験に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
3 回	**授業テーマ：計測方法の基本 1(長さ・容積)** 授業内容：ノギス等を用いて、長さ、容積の計測に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	18 回	**授業テーマ：コンクリートの物性試験 6(材齢 28 日圧縮強度の整理)** 授業内容：計測結果に基づき、コンクリートの材齢 28 日圧縮強度試験を表計算等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
4 回	**授業テーマ：計測方法の基本 2(質量・密度)** 授業内容：計量機等を用いて、質量、密度の計測に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	19 回	**授業テーマ：コンクリートの物性試験 7(中性化測定)** 授業内容：ノギス等により、コンクリートの中性化の測定に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
5 回	**授業テーマ：実験値のまとめ方** 授業内容：計測結果の記録に基づき、実験値をまとめる方法について講義する。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 0.5hr：資料をよみ、実験値のまとめ方・報告書の書き方の全体像をイメージする。 事後学修 0.5hr：実験結果のまとめ方・報告書の書き方のルールを確認する。	20 回	**授業テーマ：コンクリートの物性試験 8(中性化測定の整理)** 授業内容：中性化測定の実験値をまとめ、画像、表計算等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
6 回	**授業テーマ：報告書の書き方** 授業内容：実験値のまとめに基づき、報告書を書く方法について講義する。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 0.5hr：資料をよみ、実験値のまとめ方・報告書の書き方の全体像をイメージする。 事後学修 0.5hr：実験結果のまとめ方・報告書の書き方のルールを確認する。	21 回	**授業テーマ：コンクリート非破壊試験 1(シュミットハンマー計測)** 授業内容：コンクリート非破壊試験としてシュミットハンマーを用いた圧縮強度測定に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
7 回	**授業テーマ：木材の物性試験 1(含水率)** 授業内容：木材の含水率の計測に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	22 回	**授業テーマ：コンクリート非破壊試験 2(シュミットハンマー計測の整理)** 授業内容：シュミットハンマーによる実験値をまとめ、画像、表計算等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
8 回	**授業テーマ：木材の物性試験 2(圧縮強度)** 授業内容：万能材料試験機を用いて、木材の圧縮強度の計測に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	23 回	**授業テーマ：コンクリート非破壊試験 3(超音波計測)** 授業内容：コンクリート非破壊試験としてコンクリート超音波試験機を用いたひび割れ等の測定に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。

9回	**授業テーマ：コンクリートの物性試験１(練り混ぜ)** 授業内容：調合計画に基づき、コンクリートの練混ぜに取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	24回	**授業テーマ：コンクリート非破壊試験４(超音波計測の整理)** 授業内容：コンクリート超音波試験機による実験値をまとめ、画像、表計算等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
10回	**授業テーマ：コンクリートの物性試験２(試験体作製)** 授業内容：練り混ぜたコンクリートをもちいて、試験体を作製に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	25回	**授業テーマ：仕上げ材の物性試験１(発音性試験、力学的試験)** 授業内容：仕上げ材の試験として、発音性試験、力学的試験(接着力試験の供試体の作製)に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
11回	**授業テーマ：コンクリートの物性試験３(材齢７日圧縮強度の計測)** 授業内容：万能材料試験機を用いて、コンクリート材齢 7 日圧縮強度試験の計測に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	26回	**授業テーマ：仕上げ材の物性試験２(発音性試験の整理)** 授業内容：仕上げ材に対する発音性試験の結果をまとめ、画像、表計算等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
12回	**授業テーマ：コンクリートの物性試験４(材齢７日圧縮強度の整理)** 授業内容：計測結果に基づき、コンクリート材齢 7 日圧縮強度試験の実験値を表計算等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	27回	**授業テーマ：仕上げ材の物性試験３(感覚量試験、力学的試験)** 授業内容：仕上げ材の試験として温冷感覚量試験、力学的試験(接着力試験)に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
13回	**授業テーマ：鉄筋の物性試験１(引張強度の計測)** 授業内容：万能材料試験機を用いて、鉄筋の引張試験の計測に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	28回	**授業テーマ：仕上げ材の物性試験４(感覚量試験、力学的試験の整理)** 授業内容：仕上げ材に対する感覚量試験、力学的試験の結果をまとめ、画像、表計算等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。
14回	**授業テーマ：鉄筋の物性試験２(引張強度の整理)** 授業内容：計測結果に基づき、鉄筋の引張試験の実験値を表計算等を用いて視覚的に整理し、文書化する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	29回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでに行った実験結果を整理し、レポートにまとめる。 事前学修 0.5hr：これまで行った実験結果を整理し、その特徴を把握してくること。 事後学修 0.5hr：実験結果と素材の特徴を整理すること。
15回	**授業テーマ：鉄筋の材質管理計測１(かぶり厚さの計測)** 授業内容：ノギス等を用いて、鉄筋のかぶり厚さの計測に取り組み、結果を記録し、考察する。 事前学修 0.5hr：実験で行う内容を理解し、実験結果を推測・想定してくること。 事後学修 0.5hr：行った実験結果から、その結果の理由を整理すること。	30回	**授業テーマ：レポート講評** 授業内容：提出されたレポートを講評する。相互に意見交換する。 事前学修 0.5hr：これまで行った実験結果を整理し、その特徴を把握してくること。 事後学修 0.5hr：実験結果と素材の特徴を整理すること。

構造力学 I

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

町田　敦（まちだ　あつし）

▌授業の概要

建築物または土木構築物にかかる荷重や温度変化によって、部材に応力や変形が生ずる。構造力学はこれらの関係式を誘導し、解析する学問である。本講義においては、静定の構造を対象とし、先ず、構造力学の基礎として、力のつり合い条件、荷重・反力・安定問題を解説する。次に静定トラスについて、部材応力を求める数式・図式解法を解説する。さらに、静定ばりの断面力に関して、荷重・せん断力・曲げモーメントの相互関係、重ね合わせの原理を解説する。また静定ラーメンについて概説する。材料力学に関しては、応力度とひずみの関係等、材料の力学的特性を解説する。各事項、演習により理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：構造物に作用する力を抽象的に把握して図式化し、また記号化することによって力のつり合い状態を記述できる。さらに部材内部に生じる応力について知り、これらを記号・数式・図を用いて記述することで、許容応力度設計の概要を理解する。

個別目標：構造物に作用する力を把握して図で表すことができる。
構造物に作用する力を記号化・数式化することができる。
構造物内部に生じる応力を計算によって求め、図で表現することができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

レポート、演習問題等の平常点 50 %、定期試験 50 %で、一般目標、個別目標の到達度で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回の授業で演習問題を行い、質疑応答をしながら解法を理解する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

初回の授業で指定する。

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義概要、評価、受講上の注意等について説明** 授業内容：構造物の事例を見ながら、構造物に作用する力をイメージする。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んで授業の全体構成をイメージする 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
2 回	**授業テーマ：力のつり合い、力の合成と分解** 授業内容：力の単位、力の記述法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：力のつり合い、合成分解を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
3 回	**授業テーマ：力のつり合いの条件、荷重と反力** 授業内容：力を図に表し、また数式を用いて記述する方法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：力のつり合いの条件、荷重と反力を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
4 回	**授業テーマ：部材の断面力、安定・不安定、静定・不静定** 授業内容：部材内部に生じる応力を記述する方法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：断面力、安定・不安定、静定・不静定を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
5 回	**授業テーマ：静定トラス** 授業内容：部材内部に生じる応力を(主に軸力について)記述し、計算する方法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：静定トラスを復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
6 回	**授業テーマ：トラスの数式解法** 授業内容：部材内部に生じる応力を記述し、未知の応力を計算によって求める。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：トラスの数式解法を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
7 回	**授業テーマ：トラスの図式解法** 授業内容：部材内部に生じる応力を図によって表し、未知の応力を作図によって求める。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：トラスの図式解法を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
8 回	**授業テーマ：静定ばりの断面力と応力** 授業内容：静定梁に生じる応力(主に曲げとせん断)を記述し、未知の応力を計算によって求める。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：静定ばりを復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
9 回	**授業テーマ：荷重・せん断力・曲げモーメントの相互関係と応力図** 授業内容：応力図(主に曲げとせん断)の記述方法を学び、荷重・せん断力・曲げモーメントの応力図の相互関係を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：荷重・せん断力・曲げモーメントを復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
10 回	**授業テーマ：重ね合わせの原理** 授業内容：応力図の重ね合わせによる解法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：重ね合わせの原理を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する

11回	**授業テーマ：静定ラーメン** 授業内容：静定ラーメンに生じる応力(軸力、曲げ、せん断)を記述し、未知の応力を計算によって求める。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：静定ラーメンを復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
12回	**授業テーマ：材料力学・応力度・ひずみ** 授業内容：軸力、曲げ、せん断の力によって変形する部材の特性をイメージし、記述する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：材料力学・応力度・ひずみを復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
13回	**授業テーマ：応力度とひずみの関係** 授業内容：軸力、曲げ、せん断の力によって変形する部材の特性を数式で理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：応力度とひずみを復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
14回	**授業テーマ：許容応力度・安全率** 授業内容：許容応力度計算の概要と安全率の考え方を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：斜め断面に生ずる応力度、材料の力学特性を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業内容を振り返り、理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：構造力学Ⅰで学んだ内容を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する

設計製図 B

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

塚原　光顕（つかはら　みつあき）

▌授業の概要

１：ホテル・オフィスを題材として「複合的な建築動線のつくり方」「異なる機能の組み合わせ」を習得します。
２：『今日的な都市型ホテル』をテーマにし、現代の都市に求められる環境を考察して、新しい企画を持った中高層の建築(鉄骨造)を設計します。
設計プロセスの各段階においては、各自の案の発表と意見交換(レビュー)を行います。
最終的に企画コンセプトから設計図面までを「デザインレポート」としてまとめます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：複合的な機能・用途を持つ都市建築を、図面を用いて解析したり構想する能力を身につける。
個別目標：複合ホテルの企画・立案ができる。
　　複合ホテルの異なる用途の組み合わせ及び複合的な動線計画が計画できる。
　　デザインレポートをまとめることができ、プレゼンテーション能力も身につけることができる。

▌履修条件

建築の製図に関する授業の履修経験、あるいは建築・製図法に関する基礎知識を有することが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
評価の割合は、今日的な都市型ホテルの計画の理解度(30 %)、複合ホテルの企画・立案・プレゼンテーション(70 %)とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、企画立案、作図、デザインレポート作成、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （立体イメージを作成するため、適宜 3D CAD を使用する）

▌教科書

建築デザイン製図(学芸出版社)

▌参考書

授業時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：今日的なホテルについて解説及び、実例紹介。 事前学修 0.5hr：シラバスを読んでくる。 事後学修 0.5hr：複合建築の事例を調べる。	16 回	**授業テーマ：ホテルの設計３＜平面図のエスキース＞** 授業内容：平面図のエスキースを行う。 事前学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。
2 回	**授業テーマ：ホテル建築の変遷** 授業内容：ホテル建築の変遷について解説。 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：複合建築の事例を調べる。	17 回	**授業テーマ：ホテルの設計４＜配置図の作成＞** 授業内容：利用者動線を考慮し、配置図を作成する。 事前学修 0.5hr：製図室で配置図の製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で配置図の製図する。
3 回	**授業テーマ：計画１＜今日的なホテルとは＞** 授業内容：「今日的な都市型ホテル」の事例レポート発表 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：複合建築の事例を調べる。	18 回	**授業テーマ：ホテルの設計４＜地上階平面図の作成＞** 授業内容：地上階平面図を作成する。 事前学修 0.5hr：製図室で地上階平面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で地上階平面図を製図する。
4 回	**授業テーマ：計画１＜複合した動線計画を理解する＞** 授業内容：複合した動線計画を理解する。 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：動線計画に注目し複合建築の事例を調べる。	19 回	**授業テーマ：ホテルの設計５＜中間階平面図の作成＞** 授業内容：中間階平面図を作成する。 事前学修 0.5hr：製図室で中間階平面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で中間階平面図を製図する。
5 回	**授業テーマ：計画２＜建物の形状・ヴォリューム構成を考える＞** 授業内容：ホテルとオフィスの異なる機能の組み合わせの事例紹介。小課題のコンセプトを考える。 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：建物の形状・ヴォリュームに注目し複合建築の事例を調べる。	20 回	**授業テーマ：ホテルの設計５＜上層階平面図の作成＞** 授業内容：上層階平面図を作成する。 事前学修 0.5hr：製図室で上層階平面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で上層階平面図を製図する。
6 回	**授業テーマ：計画２＜ホテルとオフィス・異なる機能の組み合わせ＞** 授業内容：小課題のホテルとオフィスの異なる機能の組み合わせを考える。 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：機能の組み合わせに注目し複合建築の事例を調べる。	21 回	**授業テーマ：ホテルの設計６＜立面図の作成＞** 授業内容：立面図の考え方の解説、立面図を検討、作成する。 事前学修 0.5hr：製図室で立面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で立面図を製図する。
7 回	**授業テーマ：計画３＜平面計画・動線コアとは＞** 授業内容：平面計画・動線コア・設備コアの解説 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：平面計画に注目し複合建築の事例を調べる。	22 回	**授業テーマ：ホテルの設計６＜断面図の作成＞** 授業内容：階高、外壁の説明。断面図を検討、作成する。 事前学修 0.5hr：製図室で断面図を製図する。 事後学修 0.5hr：製図室で断面図を製図する。
8 回	**授業テーマ：計画３＜小課題に対応した平面計画・設備コア＞** 授業内容：小課題の平面計画・動線コア・設備コアを考える。 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：平面計画に注目し複合建築の事例を調べる。	23 回	**授業テーマ：ホテルの設計７＜デザインレポート・図面整理＞** 授業内容：デザインリポートのまとめ方の説明、図面整理を行う。 事前学修 0.5hr：デザインレポートの目次を準備する。 事後学修 0.5hr：製図室でデザインレポートの制作を行う。
9 回	**授業テーマ：計画４＜断面構成・階高について＞** 授業内容：断面構成、階高を考える。 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：断面計画に注目し複合建築の事例を調べる。	24 回	**授業テーマ：ホテルの設計７＜デザインレポート・ページ割＞** 授業内容：デザインレポートの完成イメージを考え・ページ割を検討する。 事前学修 0.5hr：製図室でデザインレポートのページ割を準備する。 事後学修 0.5hr：製図室でデザインレポートの制作を行う。
10 回	**授業テーマ：計画４＜出店計画・事業に適した場所を選ぶ＞** 授業内容：ホテルの設計課題の発表、事業に適した場所を選ぶ。 事前学修 0.5hr：教科書の指示された部分を読んでくる。 事後学修 0.5hr：立地に注目し複合建築の事例を調べる。	25 回	**授業テーマ：ホテルの設計８＜デザインレポート・ドラフト作成＞** 授業内容：デザインレポートのドラフトの作成を行う。 事前学修 0.5hr：製図室でデザインレポートの制作を行う。 事後学修 0.5hr：製図室でデザインレポートの制作を行う。

11回	**授業テーマ：ホテルの設計１＜候補地調査 1（フィールドワーク）＞** 授業内容：候補地調査を行う。 事前学修 0.5hr：課題を読んでくる。 事後学修 0.5hr：課題敷地を調査する。	26回	**授業テーマ：ホテルの設計８＜デザインレポート・レビュー＞** 授業内容：デザインレポートのレビューを踏まえ、修正し完成させる。 事前学修 0.5hr：製図室でデザインレポートの制作を行う。 事後学修 0.5hr：製図室でデザインレポートの制作を行う。
12回	**授業テーマ：ホテルの設計１＜候補地調査 2（フィールドワーク）＞** 授業内容：候補地調査を行う。 事前学修 0.5hr：課題敷地を調査する。 事後学修 0.5hr：課題敷地を調査する。	27回	**授業テーマ：ホテルの設計９＜デザインレポート・完成＞** 授業内容：デザインレポートの完成。 事前学修 0.5hr：製図室でデザインレポートの制作を行う。 事後学修 0.5hr：製図室でデザインレポートの制作を行う。
13回	**授業テーマ：ホテルの設計２＜コンセプト＞** 授業内容：敷地調査レポートの発表。コンセプトを検討する。 事前学修 0.5hr：ホテルの事例を調べる。 事後学修 0.5hr：ホテルの事例を調べる。	28回	**授業テーマ：ホテルの設計９＜講評＞** 授業内容：デザインレポートの講評会。 事前学修 0.5hr：プレゼンテーションの準備をする。 事後学修 0.5hr：指摘事項に基づき図面、デザインレポートの修正を行う。
14回	**授業テーマ：ホテルの設計２＜計画の立案＞** 授業内容：コンセプト立案。計画案を検討する。 事前学修 0.5hr：ホテルの事例を調べる。 事後学修 0.5hr：コンセプトをまとめる。	29回	**授業テーマ：提出物の修正作業** 授業内容：指摘事項に基づき加筆、修正を行う。 事前学修 0.5hr：指摘事項に基づき図面、デザインレポートの修正を行う。 事後学修 0.5hr：指摘事項に基づき図面、デザインレポートの修正を行う。
15回	**授業テーマ：ホテルの設計３＜コンセプトレビュー＞** 授業内容：コンセプトを確認する。 事前学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。 事後学修 0.5hr：製図室でエスキースをする。	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：指摘事項に基づき加筆、修正を行う。 事前学修 0.5hr：指摘事項に基づき図面、デザインレポートの修正を行う。 事後学修 0.5hr：指摘事項に基づき図面、デザインレポートの修正を行う。

建築生産

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

前島　彩子（まえしま　あやこ）

▌授業の概要

建築生産とは、不動産(建物)の企画から維持管理、改修解体までに関わる活動であり、経済を支える産業分野のひとつである。不動産のモノとしての品質は建築生産プロセスとそこに参加する主体の影響を大きく受ける。

この講義では、生産プロセスと参加主体の関係(契約や法制度)を確認したうえで、不動産のライフサイクルにわたる工事方法・施工管理、品質確保のための検査について解説する。

実際の建築生産活動を具体的に理解するために現場視察を行い、視察内容を講義内容と照らし合わせて報告資料にまとめることにより主体的に学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生社会デザイン専攻 4、不動産鑑定専攻 4 ◎、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産のモノとしての品質がどのように実現されているのかを、社会背景と具体的な工事方法の面から理解する。

個別目標：建築生産プロセスと参加主体の関係を理解している。
各種工事の具体的な工事方法および施工管理のポイントを理解している。
参加主体の関係や施工管理が不動産の品質にもたらす影響を指摘できる。
不動産ビジネスの視点をもって、建設業の課題、新たなニーズを指摘できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

レポート課題(30%)確認テストおよび定期試験(70%)により、到達目標の達成度を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （建築生産現場の視察およびレポート作成）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （アプリを用いた不動産企画およびコスト試算）

▌教科書

日本建設業連合会：施工がわかるイラスト建築生産入門(彰国社)

▌参考書

松村秀一編著：建築生産(市ヶ谷出版社)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、概論** 授業内容：この講義の進行、ルールを説明する。また、授業目標のイメージ把握として授業に関連する近年の主だったトピックを確認する。 事前学修 0.5hr：シラバスを読み、講義の全体像をイメージし質問事項をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習を行い、疑問点を整理する。
2回	**授業テーマ：建築生産に関わる主体間の契約** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、建築生産プロセスと発注契約に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：建築生産プロセスに関わる主体間の関係を整理する。具体的な不動産物件の参加主体を調べる。
3回	**授業テーマ：建築生産に関わる法制度** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、建設業法や請負契約等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：建築生産に関わる法制度を整理する。具体的な不動産物件の参加主体の関係を調べる。
4回	**授業テーマ：住宅産業の特徴と近年の動向** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、住宅産業と建築生産の ICT 化に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：建築生産の ICT 化の動きを復習し、新聞やニュースから得られた情報を各自で補足する。
5回	**授業テーマ：施工管理、準備工事** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、施工管理の要点、工事の準備段階の協議・届出等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：施工管理要素に関して、実企業の取組みを各自で補足する。
6回	**授業テーマ：地盤に関わる工事** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、山留、杭、掘削の工事方法・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地盤に関わる工事の特性を復習し、疑問点を整理する。
7回	**授業テーマ：鉄筋コンクリート工事１：型枠工事** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、型枠の工事方法・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：型枠工事の復習を行い、疑問点を整理する。
8回	**授業テーマ：鉄筋コンクリート工事２：鉄筋工事、コンクリート工事** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、鉄筋の組立・検査、コンクリートの打設計画・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：鉄筋工事、コンクリート工事の復習を行い、疑問点を整理する。
9回	**授業テーマ：鉄骨工事１：工場製作** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、鉄骨の工場製作・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：工場製作の復習を行い、疑問点を整理する。
10回	**授業テーマ：鉄骨工事２：現場建方** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、鉄骨の現場建て方・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：現場建方の復習を行い、疑問点を整理する。

11回	**授業テーマ：木工事** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、在来軸組構法・ツーバイフォー工法の工事方法・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：木工事の復習を行い、疑問点を整理する。
12回	**授業テーマ：屋根・防水工事、外装工事** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、屋根、外装の工事方法・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：防水工事、外装工事の復習を行い、疑問点を整理する。
13回	**授業テーマ：内装工事** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、内装の工事方法・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：内装工事の復習を行い、疑問点を整理する。
14回	**授業テーマ：維持保全工事、改修解体工事** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、維持保全、改修解体の工事方法・検査等に関する講義を行う。関連する課題のポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の講義関連部分を読んでおく。 事後学修 2.0hr：維持保全工事、改修解体工事の復習を行い、疑問点を整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ、生産現場の視察** 授業内容：前回の課題解説、振り返りを行い、建築生産現場の視察から得られた実態と授業で得た知見を関連付けて整理する。 事前学修 2.0hr：講義の全体をふりかえり、疑問点を整理しておく。 事後学修 3.5hr：講義内容の復習を行い、試験に備える。

構造力学Ⅱ

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：建築士試験 指定科目

町田　敦（まちだ　あつし）

▌授業の概要

構造力学Ⅰの内容を発展させる。先ず部材の断面の特性として、図心と断面一次モーメント、断面二次モーメント、断面係数等を解説する。次に断面力と応力度に関しては、曲げモーメントと曲げ応力度、せん断力とせん断応力度、はりの主応力度等を解説する。はりの変形については、応力度とひずみ度について述べ、基本式の誘導、モールの定理、不静定ばりの解法を説明する。柱の設計に関しては、水平力の分担について述べ、長柱の座屈を解説する。ラーメンの力学に関しては、不静定ラーメンの解法として、たわみ角法と固定モーメント法を解説する。また塑性解析、全塑性モーメントについて概説する。各事項演習により理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生 4、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：部材内部に生じる応力について理解を深め、部材の断面特性値を習得して、許容応力度設計の枠組みを理解する。また部材に生じるたわみ、たわみ角を用いた応力計算の方法、長柱の座屈、柱と水平荷重、塑性解析の概要について知る。

個別目標：部材断面の特性値を理解し、応力とひずみの関係を理解する。
不静定構造物の応力図を描くことができる。
柱の座屈について理解する。
塑性解析の概要を知る。

▌履修条件

構造力学Ⅰを履修済みであること。

▌評価基準・方法

レポート、演習問題等の平常点 50 %、定期試験 50 %で、一般目標、個別目標の到達度で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回の授業で演習問題を行い、質疑応答をしながら解法を理解する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

初回の授業で指定する。

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義概要、評価、受講上の注意等について説明** 授業内容：構造物の事例を見ながら、構造物に作用する力をイメージする。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んで授業の全体構成をイメージする 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
2 回	**授業テーマ：断面と力学、図心と断面一次モーメント** 授業内容：部材の断面形状についての性質（図心と断面一次モーメント）を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：断面と力学など授業で学んだ内容を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
3 回	**授業テーマ：断面二次モーメント・断面係数、断面二次半径** 授業内容：部材の断面形状についての性質（断面二次モーメント等）を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：断面二次モーメントなど授業で学んだ内容を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
4 回	**授業テーマ：曲げモーメントと曲げ応力度** 授業内容：主に曲げを受けるはりの応力状態について理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：曲げモーメントと曲げ応力度を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
5 回	**授業テーマ：せん断力とせん断応力度** 授業内容：主にせん断を受けるはりの応力状態について理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：せん断力とせん断応力度を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
6 回	**授業テーマ：はりの主応力度、主応力線** 授業内容：曲げとせん断を受けるはりの応力状態について理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：はりの主応力度など授業で学んだ内容を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
7 回	**授業テーマ：はりの変形と基本式の誘導** 授業内容：たわみとたわみ角の基本式を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：はりの変形と基本式を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
8 回	**授業テーマ：モールの定理、不静定ばりの解法** 授業内容：モールの定理を用いた不静定ばりの解法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：モールの定理、不静定ばりの解法を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
9 回	**授業テーマ：はりの設計、曲げ材の断面算定** 授業内容：曲げとせん断を受けるはり断面の算定方法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：はりの設計、曲げ材の断面算定を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
10 回	**授業テーマ：柱の設計、長柱の座屈荷重** 授業内容：棒状部材の座屈現象について知り、圧縮部材の設計方法について理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：長柱の座屈荷重を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する

11回	**授業テーマ：ラーメンの力学、不静定ラーメン** 授業内容：部材角、節点回転角、材端モーメント等、ラーメン部材の変形状態を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：ラーメンの力学を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
12回	**授業テーマ：ラーメンの力学、たわみ角法** 授業内容：たわみ角法の基本公式を用いたラーメンの解法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：ラーメンの力学を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
13回	**授業テーマ：ラーメンの力学、固定モーメント法** 授業内容：固定モーメント法を用いたラーメンの解法を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：ラーメンの力学を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
14回	**授業テーマ：塑性解析、全塑性モーメント** 授業内容：弾性域と塑性域、塑性域における解析の一端を理解する。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：塑性解析、全塑性モーメントを復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する
15回	**授業テーマ：建築設計・建築確認と構造力学** 授業内容：これまでの授業内容を振り返り、構造力学への理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回までの学修内容を見直すとともに、教科書等の該当する部分を読んで要点を整理する 事後学修 2.0hr：構造力学 II で学んだ内容を復習し、計算例は再度演算して、その内容をノートに記録する

不動産と社会の課題演習Ⅰ a/不動産特別講義Ⅰ

開講学科等：不　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前　｜　備考：2025 年度以降入学生(2 年次開講)/2024 年度以前入学生(1 年次開講)

北原　淳（きたはら　じゅん）・**原野　啓**（はらの　けい）・**藤木　亮介**（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

本講義では、各地の地域課題を出発点に、「課題をどのように捉え、どう解決するか」を考えることを中心に学ぶ。
その解決策を企画として具体化し、実現可能な形へと落とし込むプロセスを実践的に学修する。
さらに、解決を一過性で終わらせず、継続的に社会へ価値を提供するために、事業として成立させる考え方にも触れる。
講義には、社会課題解決の現場で活躍する専門家を招いた事例紹介やフィールドワークも行い、将来の企画業務、起業、事業運営に活かせる実践的な思考力と判断力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生社会デザイン専攻 3 ◎/4/6、不動産鑑定専攻 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：地域課題を正しく捉え、その解決に向けた企画を構想し、実現可能な形へと具体化するための基本的な思考力と実践力を身につける。
あわせて、課題解決を継続的な価値提供へとつなげるための事業的視点を理解する。

個別目標：①地域課題の背景や構造を整理し、解決すべき本質的な課題を説明できる。
②課題解決のための企画を立案し、その目的・内容・効果を言語化できる。
③企画を実現するための手段・体制・制約条件を踏まえて検討できる。
④課題解決を継続させるために、事業化や運営の視点から企画を捉え直すことができる。
⑤専門家の事例やフィールドワークを通して得た知見を、自身の考えに反映させることができる

▌履修条件

原則として、後学期に開講される不動産特別講義Ⅱを履修することを前提に、不動産特別講義Ⅰを履修すること。
講義の性質上、多人数での講義が難しいため、履修希望者が多数の場合は、面接等により履修人数に制限を設けることがある。

▌評価基準・方法

課題などの平常点 40 %、最終成果物(企画書・発表) 60 %で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、基本的に翌週の授業で行う。必要に応じて学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主体性・対話性・実践性を意識し、グループディスカッション、ディベート、ケーススタディ、フィールドワーク、プレゼンテーションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （主にパワーポイントを利用した企画書を作成する）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容と構成・進め方、目標と特徴、評価、授業方法、教員紹介など 事前学修 2.0hr：授業概要を読み、「社会課題とは何か？」を知る 事後学修 2.0hr：資料、ノートにより授業内容を復習する
2回	**授業テーマ：ケーススタディ①和歌山県すさみ町** 授業内容：和歌山県すさみ町において、旧病院をアートホステルへと再生するなど、エリアリノベーションを実践している団体代表者を招聘し、地域が抱える課題とその解決策について、具体的な事例を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：和歌山県すさみ町の地域概要や人口動態、産業構造などを調査し、想定される地域課題を整理する。 事後学修 2.0hr：講義で紹介された事例や取り組み内容を整理し、地域課題の捉え方や 解決手法について自身の考察をまとめる。
3回	**授業テーマ：ワークショップ①** 授業内容：第 2 回講義の内容を踏まえた自身の考察をグループディスカッションで発表し、他者の視点や意見を共有することで、自身の考えを深化・ブラッシュアップする。 事前学修 2.0hr：第 2 回講義のテーマに関連する地域課題や事例について資料や公開情報を調査し、自身なりの課題認識や論点を整理したうえで、グループディスカッションで発表するための考察をまとめる。 事後学修 2.0hr：第 2 回講義およびグループディスカッションで得た他者の意見や視点 を踏まえ、自身の考察を再整理し、課題解決に向けた企画の方向性や改善点について文章としてまとめる。
4回	**授業テーマ：ケーススタディ②北海道上川町** 授業内容：北海道上川町役場のエリアリノベーション担当者を招聘し、地域ブランディング、まちづくり、空き家活用プロジェクトの先進事例について学ぶ。 事前学修 2.0hr：北海道上川町の地域概要や人口動態、産業構造などを調査し、想定される地域課題を整理する。 事後学修 2.0hr：講義で紹介された事例や取り組み内容を整理し、地域課題の捉え方や 解決手法について自身の考察をまとめる。
5回	**授業テーマ：ワークショップ②** 授業内容：第 4 回講義の内容を踏まえた自身の考察をグループディスカッションで発表し、他者の視点や意見を共有することで、自身の考えを深化・ブラッシュアップする 事前学修 2.0hr：第 4 回講義のテーマに関連する地域課題や事例について資料や公開情報を調査し、自身なりの課題認識や論点を整理したうえで、グループディスカッションで発表するための考察をまとめる。 事後学修 2.0hr：第 4 回講義およびグループディスカッションで得た他者の意見や視点 を踏まえ、自身の考察を再整理し、課題解決に向けた企画の方向性や改善点について文章としてまとめる。
6回	**授業テーマ：ケーススタディ③岩手県一戸町** 授業内容：岩手県一戸町の行政担当者を招聘し、人口減少や空き家問題などの地域課題に対して、行政がどのように関与し、大学や民間などと連携しながら解決に取り組んでいくのかについて、具体的なケーススタディを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：岩手県一戸町の地域概要や人口動態、産業構造などを調査し、想定される地域課題を整理する。 事後学修 2.0hr：講義で紹介された事例や取り組み内容を整理し、地域課題の捉え方や 解決手法について自身の考察をまとめる。

7回	**授業テーマ：ワークショップ③** 授業内容：第 6 回講義の内容を踏まえた自身の考察をグループディスカッションで発表し、他者の視点や意見を共有することで、自身の考えを深化・ブラッシュアップする。 事前学修 2.0hr：第 6 回講義のテーマに関連する地域課題や事例について資料や公開情 報を調査し、自身なりの課題認識や論点を整理したうえで、グルー プディスカッションで発表するための考察をまとめる。 事後学修 2.0hr：第 6 回講義およびグループディスカッションで得た他者の意見や視点 を踏まえ、自身の考察を再整理し、課題解決に向けた企画の方向性や改善点について文章としてまとめる。
8回	**授業テーマ：ケーススタディの振り返り** 授業内容：これまでの講義で扱ったケーススタディを踏まえ、各地域の課題や実践されている解決策を整理したうえで、自身が課題解決に取り組みたい地域を選定する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義で扱った各ケーススタディについて、地域の概要や課題、実践されている解決策を資料やノートを用いて整理し、比較の視点を持って読み返す。 事後学修 2.0hr：授業内で整理した内容を踏まえ、自身が課題解決に取り組みたい地域を選定し、その理由や関心を持った課題について文章としてまとめる。
9回	**授業テーマ：企画立案①課題の再定義** 授業内容：自身が選択した地域について、地域課題の背景や構造を整理し、解決すべき課題の本質を明確にする。 事前学修 2.0hr：選択した地域の概要や課題に関する資料を調査し、課題の背景や論点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業での検討内容を踏まえ、解決すべき課題と企画の方向性を文章としてまとめる。
10回	**授業テーマ：企画立案② 解決手法と実現プロセス** 授業内容：課題解決のための具体的な手法を検討し、実施体制や進行プロセスを含めて企画内容を具体化する。 事前学修 2.0hr：類似事例や関連する取り組みを調査し、企画に活かせそうな解決手法を整理する。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえ、解決手法や実現プロセスを整理し、企画案を具体化する。
11回	**授業テーマ：企画立案③ 継続性と事業化の検討** 授業内容：企画を継続的に実施するために必要な運営体制や事業的視点について検討する。 事前学修 2.0hr：事業化や運営に関する基礎的な事例や考え方を調査し、検討の視点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業での検討を踏まえ、継続性の観点から企画を見直し、改善点をまとめる。
12回	**授業テーマ：企画書作成① 構成設計** 授業内容：企画内容を第三者に伝えるため、企画書・発表資料の構成を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでに検討してきた企画内容を整理し、企画書・発表資料の構成案を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内での指摘を踏まえ、企画書・資料の構成を修正・整理する。
13回	**授業テーマ：企画書作成② 資料作成・ブラッシュアップ** 授業内容：パワーポイント等を用いて企画書・発表資料を作成し、内容をブラッシュアップする。 事前学修 2.0hr：企画書・発表資料の作成を進め、不足している情報や表現を整理する。 事後学修 2.0hr：授業内でのフィードバックを踏まえ、企画書・発表資料を改善する
14回	**授業テーマ：発表準備・リハーサル** 授業内容：最終発表に向けて、発表内容や伝え方を確認し、相互フィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：発表内容や構成を整理し、発表練習を行う。 事後学修 2.0hr：リハーサルでの指摘を踏まえ、発表内容や資料を最終調整する。
15回	**授業テーマ：最終発表(企画発表)** 授業内容：地域課題の解決に向けた企画を発表し、質疑応答を通して企画内容を深化させる。 事前学修 2.0hr：企画内容・資料・発表の流れを最終確認する。 事後学修 2.0hr：発表および質疑応答を振り返り、自身の企画の成果と課題について考察をまとめる。

不動産と社会の課題演習Ⅰ b/不動産特別講義Ⅱ

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2025 年度以降入学生(2 年次開講)/2024 年度以前入学生(1 年次開講)

北原　淳（きたはら　じゅん）・**原野　啓**（はらの　けい）・**藤木　亮介**（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

本講義は、不動産特別講義Ⅰで構想した地域課題解決の企画を出発点に、収支計画の作成や運営計画の立案を行い、実際に明海祭での出展・出店を通じて実践する。
特別講義Ⅰで培った課題設定力や企画力を、実装・運営という具体的な行動へと発展させ、計画と現実の差を体験的に学ぶ。
さらに、ビジネスプランニングの視点で実践結果を数値や運営プロセスの観点から検証し、課題や改善点を整理することで、企画を一過性で終わらせず、継続的な価値提供につなげるための実践的な思考力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2025 年度以降入学生社会デザイン専攻 3 ◎/4/6、不動産鑑定専攻 3、2024 年度以前入学生ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：特別講義Ⅰで構想した企画をもとに、収支計画および運営計画を立案し、実践を通して検証することで、企画を事業として成立させ、継続的な価値提供につなげるための実践的な思考力と判断力を身につける。
個別目標：① 企画を実施するために必要な収入・支出を整理し、根拠を持った収支計画を作成できる。
② 制約条件やリスクを踏まえ、実行可能な運営体制や運営プロセスを設計できる。
③ 実践結果を数値や運営プロセスの観点から振り返り、計画との差や課題を客観的に説明できる。
④ 検証結果を踏まえ、企画・収支・運営の改善案を検討し、継続的な実施を見据えた再設計ができる。
⑤ 実践と検証を通して得た学びを言語化し、第三者に分かりやすく伝えることができる

▌履修条件

原則として、不動産特別講義Ⅰを履修済み、または同等の内容を理解していることを前提とする。
特別講義Ⅱは、特別講義Ⅰで構想した企画をもとに、実装・運営・検証までを行う講義であるため、Ⅰと連動した履修を推奨する。
また、講義の性質上、グループでの実践的な活動や学外イベントへの参加が求められるため、履修希望者が多数の場合は、面接等により履修人数を制限することがある。

▌評価基準・方法

授業内での取り組み状況や課題提出などの平常点を 40 %、最終成果物(実践内容の整理、検証・改善案を含む発表・レポート)を 60 %として総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、基本的に翌週の授業で行う。必要に応じて学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主体性・対話性・実践性を意識し、グループディスカッション、ディベート、ケーススタディ、フィールドワーク、プレゼンテーションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （主にパワーポイントを利用した企画書を作成する）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：特別講義Ⅱの目的・全体構成・進め方、評価方法を説明する。 特別講義Ⅰとの連動関係を確認し、本講義が「企画の実装・運営・検証」を扱うことを共有する。 事前学修 2.0hr：特別講義Ⅰで作成した企画内容・企画書・資料を読み返し、自身の企画の要点と課題を整理する。 事後学修 2.0hr：本講義で求められる成果を踏まえ、自身が特に学びたい点や不安点を整理する。
2 回	**授業テーマ：実施内容の決定(何をするか？)** 授業内容：明海祭で実施する内容について検討する。 特別講義Ⅰで構想した企画をベースに、実現可能性・規模・制約条件を踏まえて具体化する。 事前学修 2.0hr：明海祭の出展・出店条件や過去事例を調査し、実施可能な内容の選択肢を整理する。 事後学修 2.0hr：検討結果を踏まえ、実施内容の方向性と理由を文章としてまとめる。
3 回	**授業テーマ：収支計画の立て方** 授業内容：収支計画の基本的な考え方(収入・支出・利益・リスク)を学び、 イベント運営における収支計画の重要性を理解する。 事前学修 2.0hr：簡単なイベントや出展・出店事例を調べ、どのような収入・支出が発生するかを整理する。 事後学修 2.0hr：自身の企画において想定される収入項目・支出項目を洗い出す。
4 回	**授業テーマ：収支計画作成(収入と支出)** 授業内容：洗い出した項目をもとに、具体的な金額を設定し、収支計画を作成する。 想定と現実のズレや不確実性についても検討する。 事前学修 2.0hr：価格設定や原価に関する情報を調査し、数値の根拠を整理する。 事後学修 2.0hr：授業内での指摘を踏まえ、収支計画を修正・更新する。
5 回	**授業テーマ：運営計画** 授業内容：当日の運営体制、役割分担、準備スケジュール、必要物品などを整理し、 実際に動かすための運営計画を作成する。 事前学修 2.0hr：過去のイベント運営事例を調査し、運営上の工夫やトラブル事例を整理する。 事後学修 2.0hr：自身の企画に必要な運営要素を整理し、運営計画案をまとめる
6 回	**授業テーマ：収支計画と運営計画のまとめ** 授業内容：収支計画と運営計画を統合し、実施可能な計画として最終確認を行う。 リスクや想定外への対応についても検討する。 事前学修 2.0hr：収支計画・運営計画を再確認し、懸念点や不安点を整理する。 事後学修 2.0hr：明海祭本番に向けて、準備事項・役割分担を最終整理する。
7 回	**授業テーマ：明海祭出展・出店(実践)** 授業内容：明海祭にて企画を実施し、実際の運営を行う。 事前学修 2.0hr：当日の動き、役割分担、準備物を最終確認する。 事後学修 2.0hr：実施内容・売上・課題・気づきをメモとして記録する。

8回	**授業テーマ：振り返り・検証** 授業内容：第 1 回～第 7 回までの取り組みを振り返り、実施結果を整理し、成功点・課題を共有する。 事前学修 2.0hr：売上・支出・当日の出来事を整理し、簡単な振り返り資料を作成する。 事後学修 2.0hr：他者の振り返りを踏まえ、自身の学びと課題を文章としてまとめる。
9回	**授業テーマ：検証① 結果の整理** 授業内容：収支結果を中心に、当初の計画との違いを分析する。 事前学修 2.0hr：収支結果を数値として整理し、計画との差を確認する。 事後学修 2.0hr：差が生じた要因について考察をまとめる。
10回	**授業テーマ：検証② 運営プロセスの評価** 授業内容：運営体制や当日の動きを振り返り、運営面での課題と改善点を整理する。 事前学修 2.0hr：当日の動きやトラブル対応を振り返り、論点を整理する。 事後学修 2.0hr：運営面での改善案を文章としてまとめる。
11回	**授業テーマ：検証③事業として見た課題整理** 授業内容：今回の取り組みを「継続的な事業」として捉えた場合の課題を検討する。 事前学修 2.0hr：継続運営や事業化に関する簡単な事例を調査する。 事後学修 2.0hr：事業として成立させるための条件や課題を整理する。
12回	**授業テーマ：改善案の検討・企画の再設計** 授業内容：検証結果を踏まえ、企画内容・収支・運営の改善案を検討する。 事前学修 2.0hr：改善の方向性について自身なりの案を整理する 事後学修 2.0hr：改善後の企画概要を文章としてまとめる。
13回	**授業テーマ：最終成果物作成①** 授業内容：実践・検証・改善をまとめた成果物(資料・レポート)を作成する。 事前学修 2.0hr：成果物の構成案を作成する。 事後学修 2.0hr：資料・文章の修正・加筆を行う。
14回	**授業テーマ：最終成果物作成②・発表準備** 授業内容：成果物をブラッシュアップし、発表準備を行う。 事前学修 2.0hr：発表内容・資料を整理し、発表練習を行う。 事後学修 2.0hr：フィードバックを踏まえて最終調整を行う。
15回	**授業テーマ：最終発表・総括** 授業内容：最終発表を行い、本講義全体を振り返る。 事前学修 2.0hr：発表資料・内容を最終確認する。 事後学修 2.0hr：本講義を通して得た学びと今後への課題をまとめる。

財産法の基礎

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：再履修クラス/2024 年度以前入学生

藤田　有紀（ふじた　ゆき）

▌授業の概要

本講義では、民法第一編に位置付けられる「民法総則」を学修の対象とし、不動産取引において必要となる財産法の知識を習得していく。具体的には、「誰が」不動産取引を行うことができるか（権利の主体、能力）、契約をするためには、取引の相手と何を話し、何を伝えなければならないか（意思表示）、自分の代わりに「他人」が契約をすることは可能か（代理）、契約の履行はいつまで求めることができるのか（時効）等について学修していく。また、本講義は必修科目であり、民法を中心とする不動産私法の導入科目であることから、私的自治の原則等の私法の基本的考え方（一般原則）についても学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：不動産取引における私法上の基本的な仕組みである民法の規律を理解し、契約の成立、契約の有効性、契約の主体、契約の種類、契約違反に対する救済、契約の効果が第三者に帰属する制度などについて理解・修得する。

個別目標：（1）日本の法体系における民法の位置付けを説明できる。
（2）民法財産法分野の基本的構造を理解できる。
（3）権利能力、意思能力、行為能力など契約の主体について説明できる。
（4）契約の成立要件、有効要件など契約の意義について説明できる。
（5）契約の種類、契約違反に対する救済、契約の効果の第三者への帰属について説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

小テスト（初回講義と最終講義を除く各回講義後に実施、全 13 回、各回 5 点、計 65 点）と定期テスト（35 点）で評価。
その他、授業内における参加姿勢等を加点評価事由として考慮。
5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内や授業前後の質疑応答、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （一部でディベートやケーススタディを取り入れる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

山田卓生ほか著『民法Ⅰ 総則 有斐閣 S シリーズ』〔第 4 版〕有斐閣（2020 年）、『六法』（ポケット六法等）

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：社会における法の位置づけや、法とは何かを確認する。 事前学修 2.0hr：必要なテキストや六法を購入し、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：六法において「民法」がどこに規定されているのかを確認し、「民法」の目次で民法の構成を捉えておく。
2回	**授業テーマ：民法とは何か？** 授業内容：民法の構造と基本原理を学ぶ。 事前学修 2.0hr：六法において「民法総則」がどこに規定されているのかを確認し、民法の目次で「民法総則」の構成を捉えておく。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
3回	**授業テーマ：私権の主体①** 授業内容：権利能力、意思能力、行為能力について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
4回	**授業テーマ：私権の主体②** 授業内容：制限行為能力者の類型とその行為能力の内容、制限行為能力者自身の保護制度、制限行為能力者の相手方の保護について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
5回	**授業テーマ：権利の客体／私権の変動①** 授業内容：「権利の客体」としての「物」について学ぶ。また、「私権の変動」に関する導入部分として、「法律行為」とは何か、「意思表示」とは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
6回	**授業テーマ：私権の変動②** 授業内容：意思表示の有効性に問題がある類型のうち、意思と表示の不一致が認められる「心裡留保」と「虚偽表示」について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
7回	**授業テーマ：私権の変動③** 授業内容：意思表示の有効性に問題がある類型のうち、意思と表示の不一致が認められる「錯誤」と、意思表示にキズが認められる「詐欺」「強迫」について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
8回	**授業テーマ：無効と取消／条件と期限／期間** 授業内容：法律行為の客観的有効要件、無効と取消の相違と各効果、法律行為に付与された条件や期限、期間の計算方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
9回	**授業テーマ：代理①** 授業内容：代理制度の基本を学修する。具体的には、代理の存在意義、代理の根拠、代理の類似概念、代理の種類、代理の要件、代理行為について学修していく。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。

10回	**授業テーマ：代理②** 授業内容：「無権代理」について学ぶ。特に、無権代理人が行った行為の効果は誰に及ぶのか、本人・無権代理人・相手方の関係はどうなるのかに注目し、それを解説する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
11回	**授業テーマ：代理③** 授業内容：「表見代理」について学ぶ。特に、表見代理の類型と類型ごとの成立要件、本人・表見代理人・相手方との関係がどうなるのかに注目し、それを解説する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
12回	**授業テーマ：時効①** 授業内容：時効制度の意義、時効の法的構成、時効の効果、時効の援用と放棄について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
13回	**授業テーマ：時効②** 授業内容：時効障害(時効の完成猶予と更新)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
14回	**授業テーマ：時効③** 授業内容：「取得時効」と「消滅時効」について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、六法で該当条文を確認する。 事後学修 2.0hr：配布した講義資料を確認しながら、小テストの問題を再度解き直す。
15回	**授業テーマ：「財産法の基礎」まとめ** 授業内容：各回講義時に実施した小テストの解説を中心に、民法総則全体への理解を深める。 事前学修 4.0hr：これまでのテキストや配布資料を読み返す。 事後学修 4.0hr：講義中に解説を受けた小テストを利用し、定期テストに向けて学習を進める。

ミクロ経済学

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：再履修クラス/2024 年度以前入学生

山本　卓（やまもと　たかし）

▌授業の概要

第 1 の目的は，経済学を初めて学ぶ不動産学部学生を対象に，経済活動を分析するツールとしての経済学を学修し，不動産市場に関する分析力を養うことである. 第 2 の目的は，経済学は資源配分の効率性という客観的な指標を用いて経済活動を分析・評価することが可能であり，その分析や評価には個人の価値観や主観が反映されないことを学修することである.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：不動産市場をはじめとした実際の市場について，ごく簡単な分析ができる．また，その分析結果は，資源配分の効率性という観点において普遍的な結果であることを理解できる.

個別目標：(1) 需要曲線，供給曲線の意味を理解できる.
(2) 市場均衡の変化を分析できる.
(3)「余剰」の意味を理解し，簡単な余剰分析ができる.

▌履修条件

再履修者を対象とする。初回の講義に必ず出席すること.

▌評価基準・方法

講義中に実施する演習・小テスト 40 %，期末試験 60 %で評価する．詳細は初回講義時に説明するので，必ず出席すること.

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、翌週の授業冒頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しない．各回レジュメ(講義ノート)を manaba 等で配布するので，各自ダウンロードして持参すること．レジュメを持参しない学生は出席を認めない.

▌参考書

『マンキュー経済学 I ミクロ編(第 4 版)』，2019，N・グレゴリー・マンキュー，東洋経済新報社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：この授業に関する「講義内容」「講義方法」「成績評価方法」「その他注意事項」について、説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み講義の受け方を確認する。レジュメを読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメ「2. 需要曲線」を復習し、個人の需要の決定要因について確認する。小テストに再度取り組み理解を深める
2回	**授業テーマ：需要の決定要因** 授業内容：需要がどのような要因で決定するのかを学修し、それに基づいて需要曲線を導出する。また、需要曲線がどのようなときに、どのように変化するのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「2. 需要曲線」から「需要量と需要表」「需要曲線のシフト」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「需要量と需要表」「需要曲線のシフト」について復習し、小テストに再度取り組み理解を深める
3回	**授業テーマ：需要曲線の性質** 授業内容：需要曲線について、個人の需要と市場の需要の違いを明確にし、市場の需要曲線について学修する。これにより、需要曲線の変化について、さらに学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「2. 需要曲線」から「個人の需要と市場の需要」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメ「個人の需要と市場の需要」について復習し、小テストと例題に再度取り組み理解を深める
4回	**授業テーマ：供給の決定要因** 授業内容：供給がどのような要因で決定するのかを学修し、それに基づいて供給曲線を導出する。また、供給曲線がどのようなときに、どのように変化するのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「3. 供給曲線」から「個別の供給量の決定」「市場の供給と個別の供給」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「個別の供給量の決定」「市場の供給と個別の供給」について復習し、小テストに再度取り組み理解を深める
5回	**授業テーマ：供給曲線の性質** 授業内容：供給曲線について、個別企業の供給と市場全体の供給の違いを明確にし、市場の供給曲線について学修する。これにより、供給曲線の変化について、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：レジュメ「3. 供給曲線」から「供給曲線のシフト」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「供給曲線のシフト」について復習し、小テストと例題に再度取り組み理解を深める
6回	**授業テーマ：家賃と賃貸物件数の決まり方－市場均衡とは何か** 授業内容：需要曲線と供給曲線を利用して、均衡について学修する。また、ある財の需給を決定する要因が変化した際に、均衡がどのように変化するのかを検討する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「4. 市場均衡」から、「市場均衡」「均衡の達成プロセス」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「市場均衡」を復習し、「超過供給」と「超過需要」および「均衡の達成プロセス」について復習する
7回	**授業テーマ：市場均衡の変化－三段階アプローチ** 授業内容：均衡の変化について、三段階アプローチを利用して学修する。さらに、これまでの議論を不動産市場に当てはめて検討し、需給曲線による分析の妥当性を確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「4. 市場均衡」から、「均衡の変化を分析する 3 段階アプローチ」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「均衡の変化を分析する 3 段階アプローチ」について復習し、市場均衡・価格・取引量の変化について復習する
8回	**授業テーマ：消費者余剰とは何か** 授業内容：需給曲線を用いて、市場の効率性を計測することが可能であることを学修する。まず、消費者(=需要側)の効率性の計測方法について学修しつつ、需要曲線の持つ意味を再確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「5. 余剰と市場の効率性」から、「消費者余剰」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「消費者余剰」について復習し、小テストに再度取り組み理解を深める
9回	**授業テーマ：生産者余剰とは何か** 授業内容：生産者(=供給側)の効率性の計測方法について学修し、生産者余剰とはどういったものであるかを理解する。さらに、供給曲線の持つ意味を再確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「5. 余剰と市場の効率性」から、「生産者余剰」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「生産者余剰」について復習し、小テストに再度取り組み理解を深める

10回	**授業テーマ：完全競争市場は何がよいか－市場の効率性** 授業内容：市場全体の効率性について、消費者余剰と生産者余剰を用いて検討する。さらに、総余剰が最大化するときに、資源配分が効率的であることについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「5. 余剰と市場の効率性」から、「総余剰と市場の効率性」について予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「総余剰と市場の効率性」について復習し、小テストと例題に再度取り組み理解を深める
11回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(家賃規制)** 授業内容：余剰分析を利用して、不動産関連の経済政策について分析を行い、効率性が失われる(=死荷重が発生する)ことについて学修する。ここでは、家賃規制について学修し、直感的には社会的弱者のために資するものであっても、必ずしもそのような結果をもたらさないことを示す。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「家賃統制」について予習する 事後学修 2.0hr：「家賃統制」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
12回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(建築規制)** 授業内容：建築規制として、高さや建築数を規制した場合、効率性が失われる(=死荷重が発生する)ことについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「マンションの建築規制」について予習する 事後学修 2.0hr：「マンションの建築規制」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
13回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(マンション税)** 授業内容：ワンルームマンション税を例にして、税制が市場におよぼす影響について学修する。ここでも、税制によって効率性が失われる(=死荷重が発生する)ことを明らかにする。ただし、社会インフラの整備には税金が必要不可欠であるため、それらのバランスをとることの重要性について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「ワンルームマンション税」について予習する 事後学修 2.0hr：「ワンルームマンション税」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
14回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(家賃補助)** 授業内容：家賃補助政策が、需給曲線にどのような影響を及ぼすのかについて学修し、市場全体の効率性が失われる(=死荷重が発生する)ことを明らかにする。 事前学修 2.0hr：レジュメ「6. 政策分析入門」から、「家賃補助」について予習する 事後学修 2.0hr：「家賃補助」が市場の効率性にどのような影響をあたえるのか、小テストに再度取り組み理解を深める
15回	**授業テーマ：不動産市場に関する政策の分析入門(まとめ)** 授業内容：ここまでの学修内容を整理し、個別の政策は資源配分を歪める可能性があり、市場全体を見渡して資源配分が効率的になるような政策実施が重要であることについて確認する。 事前学修 4.0hr：これまでの講義内容を復習し，分からないところを確認する 事後学修 4.0hr：質問して理解した点を踏まえて，これまでの全てのレジュメの例題や小テストに再度取り組み理解を深める

不動産学のための数学と統計

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：再履修クラス／ 2024 年度以前入学生

塩尻　康夫（しおじり　やすお）

▌授業の概要

不動産の学びを支える諸分野のうち「資産評価」「空間情報」「統計分析」の各分野から、有用で、幅広いことに応用される初歩の数学学修を選んでこの授業のテーマとし、講義と演習に取り組んで理解を進めます。
「資産評価」の分野から　テーマ「資産の現在価値を求めること」
「空間情報」の分野から　テーマ「空間におけるいろいろな計量」
「統計分析」の分野から　テーマ「データ分析と変量概念の利用」
毎回教室で、講義と演習に取り組みます。
講義に丁寧に取り組みましょう（ノートあるいはメモをとることを推奨します）。
講義で使用する講義資料は manaba に掲載します。各自の機器にダウンロードして読むようにしてください。スマホでも読めますが、できればノートＰＣまたはタブレット端末で読むことを推奨します（画面が大きくて読みやすいから）。
演習は、演習用紙に書かれたことを丁寧に読むことで、スムーズに取り組めるようになっています。
演習の時間では、教員が、各履修生の理解状況に応じてアシストします。
演習の答案を、授業中に教室内で、manaba レポートで提出してください。
定期試験では、演習をもとに作成された問題が出題されます（定期試験は資料の参照ができない試験です）。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：この授業で選ばれた３つのテーマ「資産の現在価値を求めること」「空間におけるいろいろな計量」「データ分析と変量概念の利用」のそれぞれについて、初歩的な理解に達すること。
個別目標：(1) 講義に丁寧に取り組み、それぞれのことがらの意味を理解すること。
(2) 演習に丁寧に取り組み、それぞれのことがらの意味を理解し、式、計算過程を書いて、計算できること。
(3) 演習をもとに作成された問題を、定期試験で出題します。そうした問題について、意味を理解して、答案を書けること（定期試験は、資料の参照ができない試験です）。

▌履修条件

第１回目の授業よりも前に、履修登録を済ませておきましょう。
教室での講義と演習に、丁寧に取り組むよう努めましょう。
教室授業は学生のみなさんの受講マナーに支えられています。

▌評価基準・方法

演習（全 15 回）のウエイトが 70%、定期試験のウエイトが 30%、すなわち、次の式で計算される総合点に基づき評価します。
総合点　＝　0.7 × 演習（各回 100 点満点）の得点の合計 × 1/15　＋　0.3 × 定期試験（100 点満点）の得点
履修の手引に書かれている出席要件を守りましょう。
（注意）履修の手引に書かれている授業欠席届が大学に受理されて公欠と認められる場合でなければ、公欠になりません。

▌フィードバック方法

演習の採点結果を manaba で通知します。
定期試験の採点結果を manaba で通知します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし （正式なアクティブ・ラーニングはありません。ですが、履修生が学修内容に興味を持ち理解したいと思うことは授業と学修を支えます。講義中、教員から履修生に、意見、感想などを質問する場合があると思います。講義中、履修生から遠慮なく質問してください。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （注意点①②があります。① manaba の講義資料を参照しながら授業を受けることができるよう情報通信機器（ノートＰＣまたはタブレット端末またはスマホ）を持参してください。スマホでも読めますが、できればノートＰＣまたはタブレット端末を推奨します（画面が大きくて読みやすいから）。②演習答案の manaba 提出、出欠 respon 応答のために、スマホは毎回使います。）

▌教科書

すべて manaba に掲載します。
【講義資料】各回の授業日の原則３日前から manaba に掲載します。
【演習】各回の授業中に紙で配ります。各回の授業後に manaba にも掲載します。
【演習の解答】各回の授業後に manaba に掲載します。

▌参考書

授業の中で必要があれば参考文献を示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：[資産の現在価値を求めること] 基本的な知識** 授業内容：資産の価値は、どの時点でみるかによって異なります。ある時点でみた価値を、別の時点でみた価値に直すことが必要になる場合があります。基本的な式を導きます。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.5hr：シラバスの確認。manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 2.5hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修（manaba の解答資料も利用できる）。
2回	**授業テーマ：[資産の現在価値を求めること] 基本的な問題例** 授業内容：前回導いた基本式を使って、資産の現在価値を求める基本的な問題例に取り組みます。問題の意味を理解すること、式の意味と書き方を理解すること、式を計算する手順と方法を理解すること、をできるだけ目指してください。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修（manaba の解答資料も利用できる）。
3回	**授業テーマ：[資産の現在価値を求めること] すこし応用的な問題例** 授業内容：引続き、資産の現在価値を求める問題例に取り組みます。今回は前回よりもすこし応用的な問題例です。引続き、問題の意味、式の意味と書き方、式を計算する手順と方法を理解することをできるだけ目指してください。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修（manaba の解答資料も利用できる）。

4回	**授業テーマ：[資産の現在価値を求めること] すこし発展的な問題例** 授業内容：前回までの考え方に基づきつつ、今回は少し発展的な問題例に取り組みます。資産の中には、きわめて長期にわたり収益が発生する資産があります。このような資産では、資産の現在価値を求める計算において、ある工夫が必要になります。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
5回	**授業テーマ：[空間におけるいろいろな計量] 基本的な知識** 授業内容：今回から学修する「空間におけるいろいろな計量」とは、かんたんに言いますと、位置、距離、面積などを求めることを指しています。これを行うために、これから使っていくたいへん有用なツールとなる三角関数の初歩を今回学びます。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
6回	**授業テーマ：[空間におけるいろいろな計量] 距離を求める** 授業内容：位置を特定するために使われる座標系の初歩を学びます。座標系においてよくつかわれる距離の公式を学びます。それらの知識を使って三角関数にかんする有用な公式を学びます。その公式がまた、距離を求めることに役立ちます。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
7回	**授業テーマ：[空間におけるいろいろな計量] 面積を求める** 授業内容：前回までの知識を使って、面積を求めるいくつかの有用な公式を学びます。状況に応じて合理的な方法を使うことが望まれます。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
8回	**授業テーマ：[空間におけるいろいろな計量] 方向と距離と位置** 授業内容：前回までに、座標系と三角関数の初歩を、それぞれ学びました。ところで、三角関数は、座標系の中でとらえなおすと、よりいっそう便利に利用できるものになります。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
9回	**授業テーマ：[データ分析と変量概念の利用] データの分布を記述する** 授業内容：「データの分布」を記述するとは、かんたんに言うと、データがどのあたりでよく集まっていて、どのあたりでまばらであるのかを記述することです。それを素朴な方法から考えていきます。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
10回	**授業テーマ：[データ分析と変量概念の利用] データの分布を利用する** 授業内容：データの「平均」の計算方法を確認します。データの散らばりの程度を表す「標準偏差」の計算方法を確認します。平均と標準偏差を使って「データの標準化」を行うことがあります。データの分布の記述を利用して、条件を満たす数値の個数割合を求めることがあります。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
11回	**授業テーマ：[データ分析と変量概念の利用] 変量の分布を記述する** 授業内容：変量とは、値が確定していなくて、様々な値をとる可能性がある数量のことです。変量の分布とは、変量のとりうる値の分布のことです。これを記述することを考えます。有用な例として、偶然の結果がたくさん積み重なることにより値が決まる変量を考え、その分布を記述してみます。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
12回	**授業テーマ：[データ分析と変量概念の利用] 変量の分布を利用する** 授業内容：変量の分布を利用して、変量が条件を満たす確率を求めることがあります。有用な例として、前回導いた、偶然の結果がたくさん積み重なることにより値が決まる変量の分布を利用して、変量が条件を満たす確率を求める問題を考えます。講義と演習を通じて理解を進めましょう。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料の下読みをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
13回	**授業テーマ：【ふりかえり】[資産の現在価値を求めること] から** 授業内容：学修したことをふりかえる演習に取り組みます。 事前学修 1.0hr：該当箇所の見直しをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
14回	**授業テーマ：【ふりかえり】[空間におけるいろいろな計量] から** 授業内容：学修したことをふりかえる演習に取り組みます。 事前学修 1.0hr：該当箇所の見直しをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。
15回	**授業テーマ：【ふりかえり】[データ分析と変量概念の利用] から** 授業内容：学修したことをふりかえる演習に取り組みます。 事前学修 1.0hr：該当箇所の見直しをして教室授業に備える。 事後学修 3.0hr：授業の教室で取り組んだ演習の見直し学修(manaba の解答資料も利用できる)。

不動産学卒業演習

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

不動産学部専任教員

▌授業の概要

本演習は、不動産学部を卒業するにあたって必要とされる不動産学のアカデミックスキルおよび不動産実務に関する知識、能力を修得しているか確認するために行う。前半は不動産学に関する基本的な考え方、考察や分析の手段、判断の基準が理解できているか、および、その論考に必要な知識を備えているか、単元ごとの演習課題による確認する。後半は不動産実務に関する基礎知識やその活用能力を一式の書類にまとめる形式により確認する。

履修者には、演習課題等を通じて、これらの知識の不足する部分を認識し、これまでに使用した教科書や参考文献、あるいはオフィスアワー等を利用した教員の直接指導などで復習に努めることが求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産学部を卒業するにあたって必要とされる不動産学および不動産実務に関する知識やその活用能力を身につけることを一般的な到達目標とする。

個別目標：不動産学に関する課題においては、アカデミックスキルの確認として、不動産学の基本的な考え方、考察や分析の手段、判断の基準がわかるとともに、その論考に必要な知識が身についていることを到達目標とする。
不動産実務に関する課題においては、重要事項の内容を理解・説明できること、不動産関連の税やローンの仕組みを説明できること、間取り図の作図・読図に関する基礎的技術が身についていること、を到達目標とする。

▌履修条件

・原則として、今年度中に卒業要件を満たすことが可能なこと。
・卒業必要単位であることを十分に認識し、初回ガイダンスに必ず出席の上、履修の仕方を十分に理解すること。
・宅建士試験に合格していない場合、本年度の本試験ほか別途指定する学内試験を受けて合格すること。

▌評価基準・方法

不動産学(45%)および不動産実務(55%)に関する課題の合格および宅建士試験を総合して評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba を通してまたは面談等で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word 等を搭載したノートパソコンを持参する。）

▌教科書

特になし。

▌参考書

演習中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス (前期)** 授業内容：卒業後を意識し、この科目の取組について確認する。 事前学修 0.5hr：事前準備 事後学修 3.5hr：対象科目の資料等を活用して予習する	16回	**授業テーマ：住宅ローンと税　講義・練習課題①** 授業内容：16-20 回のながれを確認する。住宅ローンの法律関係について学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。
2回	**授業テーマ：一般的資料の収集と読み取り①** 授業内容：①概論、体裁・ルール：練習課題を通じて、アカデミックスキルの確認を行う。 事前学修 2.0hr：演習課題に取り組むための学修計画等を準備する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	17回	**授業テーマ：住宅ローンと税　講義・練習課題②** 授業内容：ユーザーコストについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。
3回	**授業テーマ：一般的資料の収集と読み取り②** 授業内容：②判例：練習課題を通じて、アカデミックスキルの確認を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	18回	**授業テーマ：住宅ローンと税　講義・練習課題③** 授業内容：金利の性質と住宅ローンのしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。
4回	**授業テーマ：一般的資料の収集と読み取り③** 授業内容：③統計：練習課題を通じて、アカデミックスキルの確認を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	19回	**授業テーマ：住宅ローンと税　関連資料の収集作成①** 授業内容：分析対象の事例について、価格・費用に関する情報を収集整理する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。
5回	**授業テーマ：一般的資料の収集と読み取り④** 授業内容：④地図：練習課題を通じて、アカデミックスキルの確認を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	20回	**授業テーマ：住宅ローンと税　関連資料の収集作成②** 授業内容：分析対象の事例について、収集整理した情報をもとに、所有と賃貸の考察を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで資料収集を行う 事後学修 2.0hr：練習内容をまとめ、通年課題の作業を進める
6回	**授業テーマ：一般的資料の収集と読み取り⑤** 授業内容：⑤間取り図：練習課題を通じて、アカデミックスキルの確認を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	21回	**授業テーマ：面談等** 授業内容：担任との面談を通じて、この科目および卒業にむけた課題確認を行う。 事前学修 2.0hr：提出課題の不備修正に再度取り組む 事後学修 2.0hr：質問した内容に基づき、課題を修正し提出する
7回	**授業テーマ：一般的資料の収集と読み取り⑥** 授業内容：⑥登記事項証明書：練習課題を通じて、アカデミックスキルの確認を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	22回	**授業テーマ：間取り　講義・練習課題①** 授業内容：22-26 回のながれを確認する。住宅空間を組み立てるモジュールについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。
8回	**授業テーマ：面談等** 授業内容：担任との面談を通じて、この科目および卒業にむけた課題確認を行う。 事前学修 2.0hr：自身の学修状況を把握しておく 事後学修 2.0hr：面談で指摘を受けた課題を見直す	23回	**授業テーマ：間取り　講義・練習課題②** 授業内容：住宅の面積算定について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。
9回	**授業テーマ：分析対象事例の確定** 授業内容：通年を通じて分析対象とする事例の立地状況を確認する。 事前学修 2.0hr：通年課題の全体像を検討する。 事後学修 2.0hr：対象事例の特徴を整理する。	24回	**授業テーマ：間取り　講義・練習課題③** 授業内容：モジュールをもとに寸法を推定し、図面表現を用いて作図する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。

10回	**授業テーマ：重要事項説明　講義・練習課題①** 授業内容：10-14 回のながれを確認する。重要事項説明書作成に際して必要となる、材料の収集(物件調査)について学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	25回	**授業テーマ：間取り　関連資料の収集作成①** 授業内容：分析対象の事例について、作図に必要な情報を収集整理する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習内容をまとめ、通年課題の作業を進める
11回	**授業テーマ：重要事項説明　講義・練習課題②** 授業内容：重要事項説明に関わるトラブルについて学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	26回	**授業テーマ：間取り　関連資料の収集作成②** 授業内容：分析対象の事例について、収集整理した情報をもとに、作図する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで資料収集を行う 事後学修 2.0hr：練習内容をまとめ、通年課題の作業を進める
12回	**授業テーマ：重要事項説明　講義・練習課題③** 授業内容：重要事項説明書の内容を分かりやすく説明する要点について学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで予習する 事後学修 2.0hr：練習課題を振り返り修正点を確認する。	27回	**授業テーマ：通年課題仕上げ** 授業内容：通年課題を文書形式に整理して仕上げる。 事前学修 2.0hr：不備な資料を収集し整理する。 事後学修 2.0hr：質問した内容に基づき、課題点を修正し完成させる
13回	**授業テーマ：重要事項説明　関連資料の収集作成①** 授業内容：分析対象の事例について、権利関係と公的規制に関する情報を収集整理する。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで資料収集を行う 事後学修 2.0hr：練習内容をまとめ、通年課題の作業を進める	28回	**授業テーマ：通年課題提出** 授業内容：仕上げた通年課題を見直し、データ版と製本したものを提出する。 事前学修 2.0hr：通年課題の完成度を高める。 事後学修 2.0hr：指摘された課題点を見直す
14回	**授業テーマ：重要事項説明　関連資料の収集作成②** 授業内容：分析対象の事例について、収集整理した情報をもとに、重要事項説明書にまとめる。 事前学修 2.0hr：レジュメ等を事前に読んで資料収集を行う 事後学修 2.0hr：練習内容をまとめ、通年課題の作業を進める	29回	**授業テーマ：講評・総括** 授業内容：通年課題の成果物の講評会を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの演習内容を整理する 事後学修 2.0hr：参考になる取組についてふりかえる
15回	**授業テーマ：通年課題中間提出及び面談** 授業内容：通年課題の途中経過を文書形式に整理して提出する。 担任との面談を通じて、この科目および卒業にむけた課題確認を行い、夏季休暇の過ごし方を検討する。 事前学修 2.0hr：中間提出にむけて課題をまとめる 事後学修 2.0hr：前学期の取組みを振り返り、修正点を確認する。	30回	**授業テーマ：面談** 授業内容：担任との面談を通じて、この科目および卒業にむけた課題確認を行う。 事前学修 2.0hr：４年間のとりくみをふりかえり課題を整理する 事後学修 2.0hr：卒業後の実務を意識しつつ、不動産学の意義を整理する

不動産取引演習Ａ

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通　｜　備考：再履修クラス/2024 年度以前入学生

片川　卓也（かたかわ　たくや）

▌授業の概要

不動産取引演習 A の再履修生を対象に、不動産取引に関する基礎知識を講義する。具体的には、宅地建物取引業法、土地及び建物についての法令上の制限(都市計画法、建築基準法等)、宅地及び建物についての税に関する法令、宅地及び建物の価格の評価等について講義を行う。
なお以下 2 点に注意すること。
① 4 月下旬～10 月が開講期間。(「講義進行表」で確認のこと)。
②試験結果に応じて個別面談を行う可能性がある。具体的には不動産学部の掲示板で確認すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：法律に関する基礎的な用語の意味を理解することができる。
　　不動産取引の場面に応じてどのようなルールがあるかを理解することができるようになる。
個別目標：宅地建物取引士資格試験の問題を読んでその内容を理解することができ、問題が解けるようになる。

▌履修条件

再履修生の必修科目であるから、全員履修登録することが必要である。
また、単位取得に際しては宅地建物取引士資格試験を受験することが条件となる。

▌評価基準・方法

試験により評価する。フィードバック等は学修支援システム manaba を通じて行う。なお、全ての講義への出席が前提となる(学内で定める基準を満たす出席がないと不合格となる。やむを得ない欠席の場合は担当教員に申し出ること)。
S 評価を得るためには、宅建士試験に合格するとともに合格体験記を提出することが条件となる。単位を取得するためには、本年度の宅地建物取引士資格試験の受験をし、受験票(写し)及び自己の解答番号の提出をすることが必要となる。具体的には、講義中に指示する。

▌フィードバック方法

manaba 個別指導コレクションでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック①宅建業法
2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック③法令上の制限、税・その他
※必ず最新版を用意すること(法改正や出題傾向の変化に対応するため)

▌参考書

特に指定なし。指定されたテキストに集中することが、宅建本試験合格への最短コースになる。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

宅地建物取引士資格試験の合格に必要な知識を講義する。
具体的には、宅地建物取引業法、法令上の制限(都市計画法・建築基準法・国土利用計画法・農地法・盛土規制法・土地区画整理法等)、税・その他(不動産取得税・固定資産税・印紙税・不動産鑑定評価・不動産の表示に関する公正競争規約等)について、教科書やレジュメ等を使用して講義を行い、問題演習に取り組む。講義内容に応じて、適宜補助教材を配布すること予定している。
各回の講義内容については、配布される「講義進行表」を参照のこと。

授業内容

講義進行表に基づいて講義する。予習を前提に、学生諸君に質問していくことになる。授業内での問題演習も予定している。

事前学修

学修する内容が多岐にわたるため、事前の予習は不可欠である。
第 1 回目の講義で配布される「講義進行表」に基づき、指定された教科書の該当部分を熟読してくること。
各回の事前学修時間は 2 時間を目安とする。

事後学修

授業で学んだ内容について、テキストの該当箇所を再読するとともに、宅地建物取引士資格試験の過去出題された問題の演習を繰り返すことが効果的である。
また、スチューデントルーム等を利用し、疑問点の解消に努めること。
さらに、宅地建物取引士資格試験合格の為にもオープンカレッジを受講することを強く推奨する。
各回の事後学修時間は 2 時間を目安とする。

不動産取引演習Ｂ

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通　｜　備考：再履修クラス/2024 年度以前入学生

片川　卓也（かたかわ　たくや）・**島本　昌和**（しまもと　まさかず）

▌授業の概要

1 年次を対象に不動産取引に関する基礎知識を講義する。具体的には、土地および建物についての権利に関する法令(民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法)、法令上の制限(都市計画法、建築基準法等)、税に関する法令、価格の評定、および宅地建物取引業法について講義を行う。
なお、講義の理解度に応じて、学期中にクラス替えを行う可能性がある。manaba コースニュースに掲示される受講クラスを確認すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：宅地建物取引士資格試験(以下、宅建試験)の問題を読んでその内容を理解することができ、解けるようになる。
民法の全体像を意識し、その趣旨から法解釈する考え方(リーガルマインド)を修得する。
(不動産学部ディプロマ・ポリシー 2：不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力を身につけていると客観的に認めることができる)

個別目標：①権利関係(民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法)及び、不動産実務、土地・建物、税法等について、基礎的な用語を学び、その意味を理解することができる。
②実際の不動産取引の場面に応じてどのようなルールがあるかを理解することができる。
③具体的な事案から法令を、法令から具体的な事案を瞬時にイメールできるようになる。

▌履修条件

1 年次の必修科目であるから、全員履修登録することが必要である(宅建試験合格者は単位認定をうけること)。
全員、宅建試験を必ず受験すること。

▌評価基準・方法

単位取得の条件は以下の通り
①宅建試験を受験すること(受験票のコピーの提出がない者には単位を与えない)
②宅建試験の再現答案を提出すること(提出方法は別途指示する)
③宅建本試験に合格するか、学内試験において一定以上の成績を得ること
成績は、学内試験(70 %)と課題(30 %)とで評価する。

▌フィードバック方法

必要に応じて、manaba 個別指導コレクションでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック②権利関係

▌参考書

手を広げずに、指定された教科書、問題集に集中すること。
学修進度や理解度、宅建試験までの残りの時間等を考慮し、個別に適切な書籍や学習方法を提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

宅建試験に合格するために必要な法令知識等の基礎を講義する。
具体的には、権利関係(民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法)を中心に、不動産の表示に関する公正競争規約等、土地・建物の知識について、講義を行う。

授業内容

権利関係の民法については、総則・物権・債権・相続を中心に、それぞれの制度趣旨を理解し要件と効果を整理し、重要な最高裁判例を紹介し、法令が実際の事件でどのように適用され解決を図っているのかを理解することを目標に講義する。
借地借家法については、一般法である民法との違いを意識し、借家と借地を整理して、その要件と効果を図表を活用して講義する。
区分所有法については、民法の物権における共有との違いを意識し、規約、集会、共用部分、管理者を中心に講義する。
不動産登記法については、民法の物権における対抗要件との関係を踏まえ、表示の登記、権利の登記、所有権の登記を中心に講義する。
不動産の表示に関する公正競争規約等については、宅地建物取引業法における誇大広告等の禁止規定を踏まえて、規約内容について広告の実例写真等を用いて講義する。
土地・建物の知識については、宅建本試験の過去問を利用して、出題頻度の高いものに限定して、写真や図表を提示しつつ講義する。

事前学修

学修する内容が多岐にわたり、講義も早いスピードで進むため、事前の予習は不可欠である。必ず予習してから講義に臨むこと。
具体的には、別途配布される講義進行表に基づき、テキストを読み、わからない用語を調べておくこと。
難しく感じたところ、覚えなければいけないところは、ノートにまとめておくことを勧める。
自分一人ではテキストが理解できないという場合には、オープンカレッジ宅建講座などを利用し、理解を深めること。
(勉強が苦手、という学生は人一倍努力することが求められる)。
十分な予習をすることなく、漫然と講義を受けても、宅建試験合格に必要な力は身につかない。
各回の事前学修時間は 2 時間を目安とする。

事後学修

授業で学んだ内容について、過去問集を解くこと(合格者は皆、早い段階から過去問集に取り組んでいる)。
四択の各選択肢の一つひとつについて正誤を判定できるようになること(正解して終わりにしないこと)
宿題にもきちんと取り組むこと。
どうしてもわからない点は、一人で悩まずに、講師に質問する。
各回の事後学修時間は 2 時間を目安とする。

不動産取引演習C

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：再履修クラス/2024 年度以前入学生

片川　卓也（かたかわ　たくや）・田中　淳（たなか　あつし）

▌授業の概要

２年次を対象に不動産取引に関する基礎知識を講義する。具体的には、土地および建物についての権利に関する法令(民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法)、法令上の制限(都市計画法、建築基準法等)、税に関する法令、価格の評定、および宅地建物取引業法について講義を行う。なお以下 2 点に注意すること。

① 4 月から 10 月の宅建試験前までが開講期間(集中講義)。

②講義の理解度に応じて、学期中にクラス替えを行う可能性がある。manaba コースニュースに掲示されるので、受講クラスを確認すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：宅建試験の問題を読んでその内容を理解することができ、解けるようになる。
（不動産学部ディプロマ・ポリシー 2：不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力を身につけていると客観的に認めることができる）

個別目標：①宅地建物取引業法、都市計画法、建築基準法、権利関係(民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法)など不動産関連の法律に関する基礎的な用語を学び、その意味を理解することができる。
②実際の不動産取引の場面に応じてどのようなルールがあるかを理解することができる

▌履修条件

２年次の必修科目であるから、宅建試験未合格の学生は全員履修登録することが必要である(宅建試験合格者は単位認定をうけること)。

▌評価基準・方法

単位取得の条件は以下の通り

①宅建試験を受験すること(受験票のコピーの提出がない者には単位を与えない)

②宅建試験の再現答案を提出すること(提出方法は別途指示する)

③宅建試験に合格するか、学内試験において一定以上の成績を得ること

成績は、学内試験(4 回実施。計 120 点満点)と課題(10 点に換算)とで評価する(130 点満点)。

学内試験の成績、課題に対するフィードバックは manaba で行う。

なお、S 評価を得るためには、宅建士試験に合格するともに合格体験記を提出することが条件となる(宅建試験に合格できる知識だけでなく、自分の体験をわかりやすく伝える能力も求められる)。

▌フィードバック方法

実力テストの結果は、「個人別成績表」を配布する。

必要に応じて、manaba 個別指導コレクションでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック①宅建業法

2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック②権利関係

2026 年度版ゼロから宅建士ベーシックブック③法令上の制限、税・その他

※テキストが 1 年次に使用していたものと異なるので注意すること。

※問題集も最新版を用意すること。

▌参考書

特になし(手を広げずに、指定された教科書、問題集に集中すること)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

宅建試験の合格に必要な知識を講義する。

具体的には、宅地建物取引業法、法令上の制限(都市計画法・建築基準法・国土利用計画法・農地法・盛土規制法・土地区画整理法等)、権利関係(民法、借地借家法、区分所有法、不動産登記法)、税・その他(不動産取得税・固定資産税・印紙税・不動産鑑定評価・不動産の表示に関する公正競争規約等)について、講義を行う。

授業内容

講義進行表で指示した内容について、宅建本試験の問題演習を行う。

講義は以下の流れで行われる。

①個々の学生が自力で問題を解く(予習が必要となる)。

②グループ討議(正答とその理由の検討)。

③学生による発表、解説(他人に教える)

④教員による解説(他の法令との関連など)

事前学修

学修する内容が多岐にわたり、講義も早いスピードで進むため、事前の予習は不可欠である。必ず予習してから講義に臨むこと。

具体的には、別途配布される講義進行表に基づき、テキストを読み、わからない用語を調べておくこと。

難しく感じたところ、覚えなければいけないところは、ノートにまとめておくことを勧める。

自分一人ではテキストが理解できないという場合には、オープンカレッジ宅建講座などを利用し、理解を深めること。

(勉強が苦手、という学生は人一倍努力することが求められる)。

十分な予習をすることなく、漫然と講義を受けても、宅建本試験合格に必要な力は身につかない。

各回の事前学修時間は 2 時間を目安とする。

事後学修

授業で学んだ内容について、過去問集を解くこと(合格者は皆、早い段階から過去問集に取り組んでいる)。四択の各選択肢の一つひとつについて正誤

を判定できるようになること（正解して終わりにしないこと）「宿題」にもきちんと取り組むこと。
各回の事後学修時間は 2 時間を目安とする。

不動産法入門

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：再履修クラス/2024 年度以前入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）

▌授業の概要

不動産学を学ぶ上で必要な法律の知識を修得するにあたり、初歩的な法令の調べ方、司法制度などを理解する。併せて、不動産を知る上で重要な法概念を学ぶことにより、その後の法律系専門科目を理解する上での初歩的知識を修得することを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：法の構造、法令の調べ方、司法制度、などを理解する。
　　不動産法の基礎的概念を理解する。
個別目標：（1）法律の基礎的構造を説明できる。
　　（2）不動産に関わる法律の特徴、内容、構成などを説明できる。
　　（3）法律用語に慣れ、法的思考方法を身に付けることができる。
　　（4）毎回の確認テストと事前学修、事後学修を通じて、学修習慣を身に付ける。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

毎回の授業内テスト（初回を除く 14 回、各 3 点）、及び期末試験（58 点）の合計点で評価する。単位を修得するためには、必ず毎回、授業に出席することが必要である。病気などやむを得ない事情で欠席する場合は、事前あるいは事後に、履修の手引きに従い、所定の書類を提出すること。

なお、全授業回数の 5 分の 4 以上出席しないと、原則として単位は修得できない。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （一部反転学修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

「不動産法入門」オリジナルテキストを使用する。これまで使用してきたテキストを準備すること。

▌参考書

「不動産六法」あるいは「宅建六法」あるいはコンパクトサイズの六法があると望ましい。
その他、適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要、到達目標、履修条件、評価基準・方法、テキスト、参考書、講義内容について説明する。 事前学修 2.0hr：テキストを準備する。シラバスを熟読し、授業の概要、到達目標、評価基準と方法をよく理解する。 事後学修 2.0hr：テキストに記載されている講義の進め方をよく理解するとともに、テキスト全体に目を通す。
2 回	**授業テーマ：法源・法の分類・法の効力** 授業内容：法の機能、法源、法の分類、法の効力について解説する。 事前学修 2.0hr：法源・法の分類・法の効力に関するテキストの該当箇所に目を通した上で、分からない用語や概念を書き出す。 事後学修 2.0hr：法源、法の分類、法の効力について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
3 回	**授業テーマ：法の適用と解釈** 授業内容：法を事実に適用するために必要な技術を説明する。具体的には法的三段論法と法の解釈について、例をあげて当てはめるやり方を説明する。 事前学修 2.0hr：法の適用と解釈に関するテキストの該当箇所に目を通した上で、分からない用語や概念を書き出す。 事後学修 2.0hr：法の適用と解釈について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
4 回	**授業テーマ：法令の読み方** 授業内容：法律は非常に数多くあるので、まず法令の調べ方を説明し、実際の条文の読み方、用語等について解説する。 事前学修 2.0hr：法令で使われる条文の構造、主要な法律用語を、実際の法律で確認する。 事後学修 2.0hr：法令の読み方について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
5 回	**授業テーマ：憲法と財産権** 授業内容：不動産の所有権の内容とその制約について、憲法の役割、財産権の内容とその限界について説明する。 事前学修 2.0hr：憲法と財産権に関するテキストの該当箇所に目を通した上で、分からない用語や概念を書き出す。 事後学修 2.0hr：憲法と財産権について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
6 回	**授業テーマ：不動産の概念と所有権** 授業内容：不動産とは法的にどのように定義されるかを説明した上で、不動産の所有権の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：土地と建物の具体的形状を書き出し、不動産の所有者の権利内容を考える。 事後学修 2.0hr：不動産の概念と所有権について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
7 回	**授業テーマ：不動産の利用と契約総論** 授業内容：不動産を利用するための契約について、契約の分類、成立、効力について解説する。 事前学修 2.0hr：契約にはどのようなものがあるか書き出し、約束と契約の違いを考える。 事後学修 2.0hr：不動産の利用と契約について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
8 回	**授業テーマ：不動産取引** 授業内容：不動産の取引のうち、主に売買と賃貸借の内容と、それに関わる宅建士の役割について解説する。 事前学修 2.0hr：不動産取引の種類と特徴を書き出し、宅地建物取引業が不動産取引のどの部分で関わるか考える。 事後学修 2.0hr：不動産取引について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
9 回	**授業テーマ：マンション法** 授業内容：マンション法の歴史とその内容、マンション管理関連法について解説する。 事前学修 2.0hr：マンション法の役割と制度について考え、マンションと一戸建住宅とは権利関係にどのような違いがあるか考える。 事後学修 2.0hr：マンション法について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
10 回	**授業テーマ：借地借家法** 授業内容：民法の特別法としての借地借家法について概要を説明し、借地権、借家権、建物買取請求権、増作買取請求権、地代借賃増減額請求権、定期借地権・定期借家権について概要を説明する。 事前学修 2.0hr：民法と借地借家法はどう違うか、テキストやインターネット等で調べる。 事後学修 2.0hr：借地借家法について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。

11回	**授業テーマ：相続と信託** 授業内容：相続の定義、相続順位、法定相続分、遺留分、遺言について概要を説明する。また財産管理制度の概要と信託について解説する。 事前学修 2.0hr：相続と信託について、テキストやインターネット等で調べる。 事後学修 2.0hr：相続と信託について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
12回	**授業テーマ：裁判制度・裁判官、検察官、弁護士** 授業内容：裁判の意義、審級制度の概念、裁判所の種類と裁判所が扱う事件、裁判制度の関わる人々、ADR について説明する。 事前学修 2.0hr：裁判制度とそれに関わる裁判官、検察官、弁護士の役割を調べる。 事後学修 2.0hr：裁判制度、裁判官、検察官、弁護士について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
13回	**授業テーマ：不動産紛争と破産・競売のしくみ** 授業内容：民事裁判の概念、民事裁判の手続、民事執行、破産手続の概要について解説する。 事前学修 2.0hr：不動産紛争を解決するための基本的な考え方と手続きを考える. 事後学修 2.0hr：不動産紛争と破産・競売のしくみについて、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
14回	**授業テーマ：判例の調べ方・判例を読む** 授業内容：判例とは何かを説明した上で、判例の調べ方、判例の読み方を解説し、実際の裁判例を読み、その内容を解説する。 事前学修 2.0hr：ニュースで報道されている裁判の内容を調べ、専門用語や内容を書き出す。 事後学修 2.0hr：判例の調べ方と読み方について、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。
15回	**授業テーマ：まとめ・不動産法とは何か** 授業内容：講義全体を通して、不動産法とは何かを整理・復習する。 事前学修 2.0hr：本講義の全体に目を通し、不動産法とは何かを考える。 事後学修 2.0hr：不動産法とは何かについて、講義を踏まえ、学修チェックを確認・完成する。

不動産公法

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：再履修クラス/2024 年度以前入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）

▌授業の概要

本講義では、不動産に関わる様々な場面における、公法上のルールを学修し、それらのルールが良好な不動産を形成するために果たすべき役割を理解することを目的とします。なお、事前学修資料や講義資料等を manaba で公開するので、必ず毎回講義の事前・事後に、manaba にアクセスしてください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：不動産に関わる公法の基礎的知識を身につけることを一般的な到達目標とします。

個別目標：不動産公法の基礎的知識を簡潔に説明できること、関連する法律条文を読めるようになること、関連する判例文を理解できるようになることを、個別の到達目標とします。

▌履修条件

2024 年度以前の不動産学部 1 年生の必修科目です。2025 年度以降の入学生は受講できません。

▌評価基準・方法

定期試験（60 %）、定期的に課す課題（40 %）で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌週の授業内や manba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

manaba に講義資料等をアップします。また、授業で資料を配布します。

▌参考書

講義の中で、適宜、紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：公法とは何かを考える。** 授業内容：公法とはどういう法なのか、不動産に関連する公法にはどのようなものがあるのかなどを考察する。 事前学修 1.0hr：シラバスを読んだ上で、分からない用語等を整理しておくこと。 事後学修 3.0hr：講義の進め方をよく確認すること。公法の基本的考え方について、講義を踏まえ、復習すること。
2回	**授業テーマ：不動産に関わる法と行政の仕組みを考える。** 授業内容：公法は、行政（国家）と私人との関係を規律する法であることから、不動産政策における行政の働き、それを支える法制度の仕組みなどについて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、不動産に関連する法律、行政機関等を調べておくこと。また、分からない点を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：不動産に関わる法と行政の仕組みについて、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
3回	**授業テーマ：不動産を形作るための法(1)：まちづくりの法①(土地法、都市計画法)について考える。** 授業内容：土地基本法を中心とする土地法の体系などについて、学修する。加えて、都市整備の基本法である都市計画法の意義、特徴などについて、学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、土地法、都市計画法等の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：土地法、都市計画法について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
4回	**授業テーマ：不動産を形作るための法(2)：まちづくりの法②(土地区画整理法、都市再開発法)について考える。** 授業内容：市街地整備を進めていくために重要な土地区画整理事業、都市再開発事業、公有水面埋立事業などについて、その意義、特徴などを学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、土地区画整理法、都市再開発法等の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：土地区画整理法、都市再開発法について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
5回	**授業テーマ：不動産を形作るための法(3)：建築物に関する法(建築基準法)について考える。** 授業内容：建物を建てる上で重要となる建築基準法について、都市計画法との関連なども踏まえながら、その意義、特徴などを学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、建築基準法等の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：建物に関連する法について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
6回	**授業テーマ：不動産を形作るための法(4)：公物の管理、環境に関する法を考える。** 授業内容：道路や河川、公園などの公物の管理に関する法（公物法）について、その意義、特徴などを学修する。加えて、環境基本法や環境影響評価制度などの環境法の基本事項についても、学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、公物管理に関わる法、環境法等の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：公物の管理、環境関連法について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
7回	**授業テーマ：不動産を保全するための法：土壌汚染対策、空き家対策を考える。** 授業内容：不動産取引においても重要となる土壌汚染およびその対策について、学修する。加えて、近年、社会的にも大きな問題となっている空き家対策について、空家対策特措法を中心に学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、土壌汚染対策や空き家対策について、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：土壌汚染対策や空き家対策について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
8回	**授業テーマ：不動産を取引するための法(1)：不動産取引規制について考える。** 授業内容：不動産取引においては、さまざまな公法上の規制がある。取引規制に関連する宅建業法その他の法律の意義、特徴などについて、学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、不動産取引規制に関わる法の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：不動産取引規制について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。

9回	**授業テーマ：不動産を取引するための法(2)：消費者保護法制について考える。** 授業内容：不動産は高価であることから、消費者保護を進めることが重要である。消費者保護に関する法にはどのようなものがあるか、その特徴は何かなどについて、学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、不動産の消費者保護に関わる法の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：不動産の消費者保護法制について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
10回	**授業テーマ：不動産を評価するための法(1)：不動産登記法、不動産鑑定評価に関する法について考える。** 授業内容：相続登記の義務化など、不動産登記制度は大きく変化してきており、その意義、特徴などについて、学修する。加えて、不動産の経済的評価である不動産鑑定評価の概要についても、学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、不動産登記法、不動産鑑定評価に関わる法の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：不動産登記法、不動産鑑定評価について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
11回	**授業テーマ：不動産を評価するための法(2)：収用や補償のための法について考える。** 授業内容：社会的に重要なインフラ整備を円滑に進めていくために、土地収用や損失補償などの制度がある。これらについて、その意義、特徴などについて、学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、土地収用や補償に関わる法の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：土地収用や補償について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
12回	**授業テーマ：不動産業で働くための法(1)：不動産業法、資格制度について考える。** 授業内容：宅建業法をはじめとした不動産業に関わる法について、その意義、特徴などについて、学修する。加えて、不動産分野の専門資格についても、その概要について学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、不動産業法の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：不動産業法、資格制度について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
13回	**授業テーマ：不動産業で働くための法(2)：労働法について考える。** 授業内容：就職やアルバイトなど、働いていく上で重要となる労働法(労働基準法、労働契約法など)について、その意義、特徴を学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、労働法の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：労働法について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
14回	**授業テーマ：不動産を守るための法 (1)：刑事裁判と不動産刑法について考える。** 授業内容：前期の「不動産法入門」の裁判制度の概要を踏まえ、刑事裁判の意義、特徴などを学修するとともに、宅建業法違反など、不動産に関連した刑法の概要を学修する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、刑事訴訟法、刑法等の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 2.0hr：不動産に関わる訴訟と不動産刑法について、講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。
15回	**授業テーマ：不動産を守るための法(2)：行政争訟について考える。また、全体のまとめをおこなう。** 授業内容：行政処分に対する異議申し立て、権利回復のための手続きである行政争訟について、その意義、特徴などを学修する。また、講義全体をふりかえり、そのまとめをおこなう。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、事前学修内容に従い、行政事件訴訟法の関連条文を読み込んだ上で、分からない点等を整理しておくこと。 事後学修 4.0hr：講義を踏まえ、配付資料のポイントや学修チェックを確認・完成すること。第１回～第１５回までの内容を総復習すること。

Basic English for Real Estate Business

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）**・角野　公一郎**（すみの　こういちろう）**・バナジー　モウミタ**

▌授業の概要

グローバル化が進み、日本にも多くの外国人が居住し、また、日本に居ながら海外不動産を取得するといったことが頻繁になされるようになってきた。不動産関連分野で将来的に広く国際社会において活躍するためには、不動産ビジネスで通用する英語能力が要求される。本講義においては、中学英語・高校英語の基礎を復習しながら、不動産関連用語が英語でどのように表現されるのか、どのように英語で説明されるべきなのかといった点に重点を置き、基礎的英語能力向上を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：①法律、経済、都市計画に関連する基礎的な不動産関連英語が理解できる。
②法律、経済、都市計画に関連する基礎的な不動産関連用語を英語で説明できる。
個別目標：①不動産契約や日本経済、都市計画に関する基本的な内容を英語で説明できる程度の基礎的英語能力を身につける。
②中学英語・高校英語を応用して、ビジネス英語が使えるようになる。

▌履修条件

第 1 回授業のクラス分け試験に基づきクラスを編成するので必ずクラス分け試験を受けること。なお、再履修者は別途開講する再履修クラスで受講すること。

▌評価基準・方法

各回の確認テスト 3 点＊ 9 回　＝　計 27 点
中間テスト（1）（2）　10 点＊ 2 回　＝　計 20 点
期末試験 53 点

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは授業中に口頭で、もしくは学修支援システム manaba を通して適宜行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （英文の読み上げ（シャドウイング）、授業中のミニクイズなど。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。事前配布のスライドをもとに授業を進める。

▌参考書

初回授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・クラス分けテスト** 授業内容：授業全体のガイダンス及びクラス分けテストを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、不動産英語が使われる場面についてインターネット等で調べる 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
2 回	**授業テーマ：不動産英語の基礎知識（1）** 授業内容：「不動産の定義」に関する英語表現を確認する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
3 回	**授業テーマ：TOEIC リーディングの模擬試験** 授業内容：TOEIC リーディングの試験問題に挑戦する。 事前学修 2.0hr：TOEIC 事前資料の予習 事後学修 2.0hr：TOEIC 試験内容の復習
4 回	**授業テーマ：TOEIC リスニングの模擬試験** 授業内容：TOEIC リスニングの試験問題に挑戦する。 事前学修 2.0hr：TOEIC 事前資料の予習 事後学修 2.0hr：TOEIC 試験内容の復習
5 回	**授業テーマ：不動産英語の基礎知識（2）** 授業内容：不動産関連法令、売買契約、賃貸借契約に関する英語表現を確認する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
6 回	**授業テーマ：中間試験（1）** 授業内容：2～5 回の授業内容を復習するため中間試験を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の復習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
7 回	**授業テーマ：不動産経済に関する英語表現（1）** 授業内容：日本の不動産マーケット（物件の種類）に関して英語で学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
8 回	**授業テーマ：不動産経済に関する英語表現（2）** 授業内容：日本の不動産マーケット（投資と物件）に関して英語で学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
9 回	**授業テーマ：不動産経済に関する英語表現（3）** 授業内容：日本の不動産マーケット（開発者と利益）に関して英語で学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
10 回	**授業テーマ：不動産経済に関する英語表現（4）** 授業内容：日本の不動産マーケット（賃貸事業）に関して英語で学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習

11回	**授業テーマ：中間試験（2）** 授業内容：7〜10 回の授業内容を復習するため中間試験を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の復習 事後学修 2.0hr：試験内容の復習
12回	**授業テーマ：建築と都市計画に関係する基礎知識（1）** 授業内容：都市計画・建築に関する英会話表現を確認する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
13回	**授業テーマ：建築と都市計画に関係する基礎知識（2）** 授業内容：「建築基準法」に関する英語表現を確認する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
14回	**授業テーマ：建築と都市計画に関係する基礎知識（3）** 授業内容：「建築基準法」に関する英語表現を確認し（続き）、「外国人に対しての賃貸仲介・住宅の間取り」に関する英語表現を確認する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：前回課題の復習と配布資料の予習、これまでの復習と会話文 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：基本文法、英単語、不動産の定義、契約、経済、建築と都市計画などこれまで学んだことを振り返る。 事前学修 2.0hr：講義全体の復習・疑問点の発見 事後学修 2.0hr：講義全体の整理

Advanced English for Real Estate Business

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）**・角野　公一郎**（すみの　こういちろう）**・バナジー　モウミタ**

▌授業の概要

グローバル化が進む中、不動産関連分野で、将来的に、広く国際社会において活躍するためには、不動産ビジネスで通用する英語能力が要求される。本講義においては、Basic English for Real Estate Business で学んだ内容を前提に、より発展的な不動産関連用語の英語を説明し、その意味内容を理解した上で、実践に役立つ不動産ビジネス関連英語の習得を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：①不動産英語を用いて外国人に日本の経済や不動産について説明できる
②不動産英語を用いて外国人と取引ができる
個別目標：①中学英語・高校英語の知識を応用させて、ビジネスの英語を実践できる
②不動産に関する英語の知識とビジネス英語を組み合わせて、外国人と取引できるようになる

▌履修条件

第 1 回授業のクラス分けテストに基づきクラスを編成するので必ずクラス分け試験を受けること。再履修者は別途開講する再履修クラスで受講すること。

▌評価基準・方法

各回の確認テスト　3 点＊ 9 回　＝　計 27 点
中間テスト（1）（2）10 点＊ 2 回　＝　計 20 点
期末試験 53 点

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは授業中に口頭で、もしくは学修支援システム manaba を通して適宜行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （英文の読み上げ(シャドウイング)、授業中のミニクイズ。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。事前に配布するスライドをもとに授業を進行する。

▌参考書

必要に応じて授業中に適宜、指定する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガインダンス・クラス分けテスト** 授業内容：授業ガイダンスを実施し、クラス分けテストを実施する。 事前学修 2.0hr：前期 Basic English for Real Estate Business の復習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
2 回	**授業テーマ：TOEIC リーディングの問題に挑戦** 授業内容：TOEIC リーディングの模擬試験(部分)を受けてみる。 事前学修 2.0hr：TOEIC 事前資料の予習 事後学修 2.0hr：TOEIC 試験内容の復習
3 回	**授業テーマ：TOEIC リスニングの問題に挑戦** 授業内容：TOEIC リスニング模擬試験(部分)を受けてみる。 事前学修 2.0hr：TOEIC 事前資料の予習 事後学修 2.0hr：TOEIC 試験内容の復習
4 回	**授業テーマ：海外の不動産ビジネス(1)イギリスの不動産ビジネス** 授業内容：イギリスの不動産の歴史、現状、取引形態、法律などについて、学修する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
5 回	**授業テーマ：海外の不動産ビジネス(2)アメリカの不動産ビジネス** 授業内容：アメリカの不動産の歴史、現状、取引形態、法律などについて、学修する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
6 回	**授業テーマ：海外の不動産ビジネス(3)香港の不動産ビジネス** 授業内容：香港の不動産の歴史、現状、取引形態、法律などについて、学修する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
7 回	**授業テーマ：中間試験(1)** 授業内容：第 2 回～第 6 回までの講義内容に基づいて中間試験を実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の復習 事後学修 2.0hr：試験内容の復習
8 回	**授業テーマ：外国人との不動産取引(1)** 授業内容：日本銀行の役割について英語で学習し、外国人と英語で不動産取引する時の状況について学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 3.0hr：配布教材等の予習 事後学修 1.0hr：配布教材等の復習
9 回	**授業テーマ：外国人との不動産取引(2)** 授業内容：不動産ファンドについて英語で学習し、外国人との不動産取引時に注意事項などについて学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
10 回	**授業テーマ：外国人との不動産取引(3)** 授業内容：日本のマクロ経済について英語で学習し、外国人に対する不動産物件紹介について学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する 。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習

11回	**授業テーマ：外国人との不動産取引（4）** 授業内容：日本の経済史について英語で学習し、外国人に対する不動産物件紹介の事例について学ぶ。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
12回	**授業テーマ：中間試験（2）** 授業内容：第 8 回～第 11 回までの講義内容に基づいて中間試験を実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の復習 事後学修 2.0hr：試験内容の復習
13回	**授業テーマ：不動産に関するリスニング（1）** 授業内容：海外の住宅形態と不動産の歴史に関する英文の朗読を聞き、不動産に関する聞き取り能力の向上を図る。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
14回	**授業テーマ：賃貸契約書の基礎（1）** 授業内容：英語での賃貸契約書に必要な基礎知識を学び、賃貸契約書を実際に読んで内容を理解する。事前学修内容を小テスト実施で確認する。 事前学修 2.0hr：配布教材等の予習 事後学修 2.0hr：配布教材等の復習
15回	**授業テーマ：授業内容のまとめ** 授業内容：海外のビジネス、日本の経済や不動産業界の概要、契約書などこれまで 15 回で学んだ内容を総復習する。 事前学修 2.0hr：講義全体の復習・疑問点の発見 事後学修 2.0hr：講義全体の整理、自分の弱点の把握

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

安藤　章（あんどう　あきら）

▌授業の概要

不動産価値と「まちづくり」には密接な関係がある。本授業では、「まちづくり」について、主に都市・交通政策の視点から、国内の実都市で実施されている最新施策事例等を学習するとともに、学生らが" 自分なりの視点" でまちづくりが提案できる思考力、さらに、それを他者に伝える伝達能力（プレゼン能力）の習得を目的とする。また、授業内では、都市データの分析についても学習と演習を行い、学生が社会で活躍する時に必要なデータ分析能力の取得も目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産価値の向上に資するまちづくり手法について、主に都市・交通政策の視点での思考力を習得する。

個別目標：・都市・交通政策の現状と仕組みを理解する
・まちづくりに関する提案ができるスキルを取得する
・まちづくりの意義と効果を定量的に理解できる、データ分析スキルを習得する

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

受講態度（25 %）、毎回の提出レポート（25 %）、プレゼンテーション（25 %）、最終レポート（25 %）

▌フィードバック方法

各回の授業で教員と学生のディスカッションを行うが、そのなかでのフィードバックする。フィードバック事項については、毎回の提出レポートに反映する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ワークショップ方式での討議）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,Powerpoint の機能があるノートパソコンを持参すること）

▌教科書

なし（必要に応じて授業内で配布、指示）

▌参考書

なし（必要に応じて授業内で配布、指示）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方について教員が説明する 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の到達目標を理解する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	16 回	**授業テーマ：コミュニティ醸成とまちづくりに関する既往研究①** 授業内容：コミュニティ醸成とまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
2 回	**授業テーマ：不動産とまちづくりの関係** 授業内容：まちづくりで実施されている都市・交通政策の概要を説明、その後学生間で議論 事前学修 2.0hr：国土交通省のホームページで学習する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	17 回	**授業テーマ：コミュニティ醸成とまちづくりに関する既往研究②** 授業内容：コミュニティ醸成とまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
3 回	**授業テーマ：集約型都市構造と立地適正化計画** 授業内容：集約型都市交通と立地適正化計画について教員が解説後、学生間で議論 事前学修 2.0hr：集約型都市構造に関する事前学習（主にホームページ閲覧） 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	18 回	**授業テーマ：コミュニティ醸成とまちづくりに関する既往研究③** 授業内容：コミュニティ醸成とまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
4 回	**授業テーマ：都市交通政策** 授業内容：近年の都市交通政策について教員が解説後、学生間で議論 事前学修 2.0hr：都市交通政策に関する事前学習（主にホームページ閲覧） 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	19 回	**授業テーマ：まちづくりに活用できるオープンデータを知る** 授業内容：都市分析に活用できる各種データと適用例を教員が解説後、学生は実際にデータを活用した分析イメージを議論する 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
5 回	**授業テーマ：都市 DX とスマートシティ** 授業内容：都市 DX とスマートシティについて教員が解説後、学生間で議論 事前学修 2.0hr：都市 DX とスマートシティに関する事前学習（主にホームページ閲覧） 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	20 回	**授業テーマ：まちづくりに関するデータ分析演習①（都市特性の分析）** 授業内容：オープンデータを活用した都市分析演習 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
6 回	**授業テーマ：自動運転・MaaS を活用したまちづくり** 授業内容：自動運転・MaaS を活用したまちづくりについて教員が解説後、学生間で議論 事前学修 2.0hr：自動運転・MaaS を活用したまちづくりに関する事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	21 回	**授業テーマ：まちづくりに関するデータ分析演習②（将来予測のためのモデルの考え方）** 授業内容：オープンデータを活用した都市の将来を予測するモデル構築の考え方 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
7 回	**授業テーマ：パブリックスペースを活用した魅力的なまちづくり** 授業内容：道路空間や公園空間を活用した魅力的なまちづくり手法について解説後、学生間で議論 事前学修 2.0hr：パブリックスペースを活用したまちづくりについてホームページ等で学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	22 回	**授業テーマ：まちづくりに関するデータ分析演習③（将来のまちの姿を予想する技術）** 授業内容：オープンデータを活用した都市の交通需要分析とインフラ計画の考え方 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
8 回	**授業テーマ：都市・交通政策についての全般討議** 授業内容：今まで習った各政策についての理解度の確認と質疑、及び自身の考えを学生間で議論 事前学修 2.0hr：今までのレジュメと資料の見直し 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	23 回	**授業テーマ：市街地再開発事業等のまちづくり手法** 授業内容：市街地再開発事業等まちづくりの手法について教員から紹介し、これについて学生間で討議を行う。 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する

9回	**授業テーマ：モビリティとまちづくりに関する既往研究①** 授業内容：モビリティとまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	24回	**授業テーマ：官民連携によるまちづくり「エリアマネジメント」を考える** 授業内容：国内のエリアマネジメントの事例を教員が解説し、これについて学生間で討議を行う。 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
10回	**授業テーマ：モビリティとまちづくりに関する既往研究②** 授業内容：モビリティとまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	25回	**授業テーマ：まちづくりのケーススタディ研究** 授業内容：大都市都心部で進む都市開発の事例を教員が解説し、これについて学生間で討議を行う。 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
11回	**授業テーマ：モビリティとまちづくりに関する既往研究③** 授業内容：モビリティとまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	26回	**授業テーマ：まちづくり演習①(大都市をテーマ)** 授業内容：実際の都市を対象として現状の都市課題を踏まえたまちづくり計画に関するワークショップを実施。 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
12回	**授業テーマ：健康・幸福とまちづくりに関する既往研究①** 授業内容：健康・幸福とまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	27回	**授業テーマ：まちづくり演習②(中核都市をテーマ)** 授業内容：実際の都市を対象として現状都市課題を踏まえまちづくり計画に関するワークショップを実施。 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
13回	**授業テーマ：健康・幸福とまちづくりに関する既往研究②** 授業内容：健康・幸福とまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	28回	**授業テーマ：まちづくり演習③(住宅地をテーマ)** 授業内容：実際の都市を対象として現状都市課題を踏まえまちづくり計画に関するワークショップを実施。 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
14回	**授業テーマ：健康・幸福とまちづくりに関する既往研究③** 授業内容：健康・幸福とまちづくりに関する既往研究調査の読み合わせと理解、学生間の討議 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	29回	**授業テーマ：まちづくり演習④(定量的な評価を考える)** 授業内容：実際の都市を対象として現状都市課題を踏まえまちづくり政策に関するワークショップを実施。今回は主にデータに基づく効果分析方法について考える 事前学修 2.0hr：教員が提示する資料等の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
15回	**授業テーマ：前期講義内容のとりまとめ** 授業内容：今まで講義内容の振り返りと理解の確認 事前学修 2.0hr：教員が提示する論文・資料の事前学習 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：教員が全授業を通した不動産に対するまちづくりの意義をまとめ、学生と討議する。 事前学修 2.0hr：今までの講義内容の見返し 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）

▌授業の概要

現代の都市や街並み、景観の後ろには、必ずそれが形成されてきた歴史があり、そこに住んでいた人々が存在する。この授業（ゼミ）ではそうした都市や街並み、景観を歴史的に分析し、過去の人々の営みを想像し直す視点と方法の取得を目指す。

前期は文献購読を通じて、学術的な情報のインプットと整理、レジュメ作成と適切なディスカッションの訓練を行う。後期は自分の関心に従ってテーマを設定し、問い（リサーチクエスチョン）をたて、先行研究を整理し、情報やデータを集め、構造に従い組み立て、問いに対応した結論を出すという学術論文の方式に則ってゼミ論を書いていくための指導を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：①都市史や地域史に関する学術的な文献を読み、自分で追加情報を調べ、レジュメにまとめて報告する能力を身につける。
②自分の関心に沿ったテーマに従って文献を集めて分析し、問い・論証・結論の構成からなる 8000 字のゼミ論を完成させる。

個別目標：・学術書を読み、近代日本の都市史や地域史に関する知見を深める。
・歴史的な過程で出てきた問題を課題として整理し考察する力を養う。
・学術文献の内容をレジュメにまとめ、課題を提示し、ディスカッションする技術を身につける。
・学術的な論文の構成に従って文章をきちんと書くことができる。

▌履修条件

空間（都市や街並み）とともに時間（歴史）やそこに居住する人間の生活に関心のある方を求める。本を読み、日本語で文章を書くことが苦手ではない方が望ましい。

▌評価基準・方法

・報告レジュメの内容やディスカッションへの貢献度（40%）とゼミ論の内容（60%）などを総合的に評価する。
・ゼミ論の完成と提出が最終成績評価の最低条件となります。

▌フィードバック方法

各回、質問を受けつけ口頭または manaba で回答する。報告やゼミ論に対するコメントを口頭または添削という形で返却する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （後半のゼミ論に関する先行研究の調査や大学図書館のデータベース検索などで使用）

▌教科書

前期：検討中。①ゼミ初回で何冊か候補をあげ、その中から読むものを選ぶ、もしくは②中川理編『空想から計画へ：近代都市に埋もれた夢の発掘』思文閣、2021 年の中から論文を２～３本選んで、輪読する。（シラバスには便宜上、『空想から計画へ』から抜粋した論文を入れていますが、何を読むかは第１回目に話し合います）

後期：特になし。

▌参考書

特に指定せず、授業中に必要に応じて提示する。後期は各人のゼミ論テーマに沿った本を随時、紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：ゼミの運営方法の説明と報告の順番決定** 授業内容：自己紹介をし、ゼミの運営方法と前期の日程を確認する。輪読する書籍または論文を選美、レジュメの担当者と担当週を決定する。 事前学修 2.0hr：指定教科書の目次や内容から報告を希望する論文候補を複数、選定しておく 事後学修 2.0hr：担当論文を読み進める	16回	**授業テーマ：ゼミ論テーマ決定とスケジュール確認** 授業内容：前期で報告させたゼミ論のテーマ候補を確認し、ゼミ論提出までのスケジュールを確認する。 事前学修 2.0hr：自分が前期で挙げたゼミ論テーマ候補について先行研究を調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックを元に自分のテーマの調査を進める。
2回	**授業テーマ：序論：教科書は何を問題視しているのか** 授業内容：教科書の序章から、本書が編まれた目的と意図、学術的な意味を読み取り、議論する。 事前学修 2.0hr：序章を読み、筆者が何を問題視しているのかを考える 事後学修 2.0hr：近代以降の都市計画に関する基本的な歴史を調べる	17回	**授業テーマ：論文／レポートを書く意義と方法** 授業内容：論文／レポートを書く意義と方法に関して、ワークシート作業を通じて確認する。 事前学修 2.0hr：論文の書き方に関する事前資料を読む 事後学修 2.0hr：自分のゼミ論の意義と方法を考える
3回	**授業テーマ：第 1 章「大原孫三郎の田園都市構想と倉敷の都市計画」（中野茂夫）①** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：大原孫三郎と戦前の開発に関する基本的な社会背景を調べる	18回	**授業テーマ：映像資料視聴①** 授業内容：都市計画や都市史に関する映像資料を皆で視聴し、感想を共有する。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の準備を進める 事後学修 2.0hr：自分のゼミ論に対して映像資料からヒントが得られないか検討する
4回	**授業テーマ：第 1 章「大原孫三郎の田園都市構想と倉敷の都市計画」（中野茂夫）②** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：倉敷の開発に関する基本的な社会背景を調べる	19回	**授業テーマ：映像資料視聴②** 授業内容：都市計画や都市史に関する映像資料を皆で視聴し、感想を共有する。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の準備を進める 事後学修 2.0hr：自分のゼミ論に対して映像資料からヒントが得られないか検討する
5回	**授業テーマ：第 8 章「近代鎌倉の道路整備にみる「観光」と「住みよさ」の相克―日本自動車道路と新旧の住民」（赤松加寿江）①** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：鎌倉開発の開発に関する基本的な社会背景を調べる	20回	**授業テーマ：ゼミ論進捗報告①** 授業内容：ゼミ論の意義、問い、使用予定資料についてまとめ、進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の準備を進める 事後学修 2.0hr：自分のゼミ論に対して進捗報告から得られたヒントをまとめる
6回	**授業テーマ：第 8 章「近代鎌倉の道路整備にみる「観光」と「住みよさ」の相克―日本自動車道路と新旧の住民」（赤松加寿江）②** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：日本自動車道路の開発に関する基本的な社会背景を調べる	21回	**授業テーマ：ゼミ論進捗報告②** 授業内容：ゼミ論の意義、問い、使用予定資料についてまとめ、進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の準備を進める 事後学修 2.0hr：自分のゼミ論に対して進捗報告から得られたヒントをまとめる
7回	**授業テーマ：第 12 章「戦災都市における復興構想と神戸の都市計画」（村上しほり）①** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：神戸の開発に関する基本的な社会背景を調べる	22回	**授業テーマ：ゼミ論進捗報告③** 授業内容：ゼミ論の意義、問い、使用予定資料についてまとめ、進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の準備を進める 事後学修 2.0hr：自分のゼミ論に対して進捗報告から得られたヒントをまとめる

8回	**授業テーマ：第 12 章「戦災都市における復興構想と神戸の都市計画」(村上しほり)②** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：全国の都市の戦災と戦後復興に関する基本的な社会背景を調べる	23回	**授業テーマ：ゼミ論の中間報告** 授業内容：各自で調査を進めるゼミ論の概要と進捗、問題点について手短に報告する。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の概要と課題について五分程度にまとめる 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をゼミ論に反映させる
9回	**授業テーマ：前半の振り返りとディスカション** 授業内容：これまでの授業の中で特に深めたい論点を取り出し、皆でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前半のディスカッション内容を整理し、自分なりの意見を準備する 事後学修 2.0hr：他の参加者の意見と自分の意見を比較してみる	24回	**授業テーマ：ゼミ論進捗報告①** 授業内容：ゼミ論の各章の内容と使用予定資料、また執筆状況をまとめて進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の執筆を進める 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をゼミ論に反映させる
10回	**授業テーマ：第 14 章「戦後期横須賀における米軍属と地域住民―横須賀市秋谷地区を事例に」(木川剛志)①** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：戦後横須賀と米軍基地に関する基本的な社会背景を調べる	25回	**授業テーマ：ゼミ論進捗報告②** 授業内容：ゼミ論の各章の内容と使用予定資料、また執筆状況をまとめて進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の執筆を進める 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をゼミ論に反映させる
11回	**授業テーマ：第 14 章「戦後期横須賀における米軍属と地域住民―横須賀市秋谷地区を事例に」(木川剛志)②** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：米軍基地と地域住民の関係に関する他の事例を調べる	26回	**授業テーマ：ゼミ論進捗報告③** 授業内容：ゼミ論の各章の内容と使用予定資料、また執筆状況をまとめて進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の執筆を進める 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をゼミ論に反映させる
12回	**授業テーマ：第 21 章「戦後沖縄における〈空間計画〉の夢と現実―基地都市コザを事例に」(加藤政洋)①** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：戦後沖縄・コザと米軍基地に関する基本的な社会背景を調べる	27回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料** 授業内容：パワーポイントを使って報告資料を作る方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論をスライドにまとめる際のデータや画像を集める 事後学修 2.0hr：自分のゼミ論のスライド作成を進める
13回	**授業テーマ：第 21 章「戦後沖縄における〈空間計画〉の夢と現実―基地都市コザを事例に」(加藤政洋)②** 授業内容：論文に対する感想を述べ、報告者の論点に沿ってディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：報告対象箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修 2.0hr：空間計画と米軍基地の関係について他の事例を調べる。	28回	**授業テーマ：ゼミ論のプレ報告** 授業内容：各自で作成を進めるゼミ論の概要と進捗、問題点について手短に報告する。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の進捗と課題について五分程度にまとめる 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をゼミ論に反映させる
14回	**授業テーマ：輪読回の振り返りと論文の書き方** 授業内容：これまでの輪読とディスカッションの中から、自分の関心に重なる論点、新しい知見、新たな問いなどを参加者と共有する。 学術論文の意義、構成(問い・論証・結論)などについて確認する。 事前学修 2.0hr：輪読を終えて、自分の関心と重なった部分や新しい知見、新たな問いを文章化する 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックを元に自分のゼミ論テーマを練り直す	29回	**授業テーマ：ゼミ論最終調整** 授業内容：各自、ゼミ論の執筆を進める。問題点や困っている点について指導教員が個別に対応する。 事前学修 2.0hr：自分のゼミ論の作成を進める 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバック内容をゼミ論に反映させる
15回	**授業テーマ：ゼミ論テーマ案の報告** 授業内容：後期のゼミ論で扱いたいテーマ案と夏休み期間に進める調査について発表する。 事前学修 2.0hr：ゼミ論テーマの案を複数、準備する 事後学修 2.0hr：夏休みにやるべきことをリスト化する	30回	**授業テーマ：ゼミ論の原稿提出及びスライド発表** 授業内容：各自、ゼミ論の原稿を提出し、自分のゼミ論の内容をパワーポイントを使って報告する。 事前学修 2.0hr：ゼミ論のパワーポイントを完成させる 事後学修 2.0hr：ゼミ論の意義を確認する

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

片川　卓也（かたかわ　たくや）

▌授業の概要

本ゼミでは、不動産取引実務(売買・賃貸)および不動産ファイナンスの視点から、実務に直結する知識と技能を身につけることを目的とする。宅地建物取引士が行う重要事項説明、契約書作成、物件調査、資金計画(住宅ローン)、価格交渉、契約締結、引渡しまでの一連の仲介業務フローを、ロールプレイや演習を通じて体験的に学修する。

前期は、不動産取引の基礎知識、宅建業法、媒介契約、登記簿・公図・地積測量図・道路種別・用途地域・建築規制・インフラ状況・越境・境界確定など、実務で必須となる物件調査を重点的に扱う。

また、住宅ローンを中心とした資金計画(借入可能額、返済比率、金利タイプ、ローン特約、事前審査・本審査の流れ)、重要事項説明書・売買契約書の作成など、売買仲介に必要な基礎的スキルを体系的に習得する。

後期は、売主・買主・仲介業者の役割を設定したロールプレイを中心に、反響対応、資金計画の説明、物件調査結果の報告・リスク説明、案内、価格交渉、条件調整、契約書読み合わせ、決済・引渡しまでの実務フローを総合的に体験する。

これらの演習を踏まえ、各自が不動産取引に関するテーマを設定し、4,000 字以上のゼミ論としてまとめることで、実務理解と論理的思考力を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産取引および不動産ファイナンスの観点から、実務の流れと価格形成の仕組みを理解し、説明できるようになる。

個別目標：・宅建士としての基礎説明能力を身につける
・物件調査を自力で完結できるレベルに到達する
・資金計画(住宅ローン)を理解し説明できる
・売買仲介の実務フローをロールプレイ。で再現できる
・顧客対応力・コミュニケーション力を高める
・契約書・重説の作成と読み合わせができる
・ゼミ論として実務経験を言語化できる

▌履修条件

主体的に調査・分析・議論に取り組む姿勢を求める。

▌評価基準・方法

・前期：レジュメ・演習課題・議論への参加状況(50%)
・後期：ゼミ論・発表・調査の質(50%)
・無断欠席は減点対象とする。

▌フィードバック方法

ゼミ内での口頭フィードバックを中心に、必要に応じて個別指導を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(毎回、議論・演習・ロールプレイを実施)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （(レジュメ作成、調査、データ分析、契約書作成等で使用)）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

テーマに応じて適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：ゼミの目的・年間計画・評価方法の説明 売買仲介の全体像(媒介→調査→資金計画→案内→交渉→契約→引渡し) 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：仲介業務の再確認	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：ゼミ論テーマの方向性確認、ロールプレイの役割分担 到達点：研究計画の立案 事前学修 2.0hr：前期の学習内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
2回	**授業テーマ：売買仲介の全体像と役割理解** 授業内容：売主・買主・仲介業者の役割、仲介業務の「入口」と「出口」、宅建士の責任と説明義務 到達点：実務の構造理解 事前学修 2.0hr：仲介業務の全体を俯瞰する 事後学修 2.0hr：宅建士の責務の再確認	17回	**授業テーマ：ロールプレイ準備(物件設定)** 授業内容：想定物件の設定、売主・買主の背景設定 到達点：実務シミュレーションの準備 事前学修 2.0hr：売主、買主の背景を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
3回	**授業テーマ：宅建業法①(媒介・契約の法的基礎)** 授業内容：宅建業法の目的。媒介契約の法的根拠、契約不適合責任の基礎 到達点：法令遵守の基礎 事前学修 2.0hr：媒介契約の内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	18回	**授業テーマ：媒介契約ロールプレイ** 授業内容：売主との媒介契約締結、価格設定の相談 到達点：対人説明力 事前学修 2.0hr：媒介契約の締結の内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
4回	**授業テーマ：宅建業法②(重要事項説明の基礎)** 授業内容：重説の構造、説明義務の範囲、宅建士の責任 到達点：重説の全体像理解 事前学修 2.0hr：重要事項説明の内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	19回	**授業テーマ：反響対応ロールプレイ** 授業内容：問い合わせ対応、内見設定 到達点：顧客対応力 事前学修 2.0hr：現地案内時の内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
5回	**授業テーマ：媒介契約①(種類と特徴)** 授業内容：一般・専任・専属専任の違い、レインズ登録義務、媒介契約の実務的意義 到達点：媒介契約の選択理由を説明できる 事前学修 2.0hr：媒介契約の３類型を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	20回	**授業テーマ：資金計画ロールプレイ** 授業内容：借入額の調整、金利タイプの説明、ローン特約の説明 到達点：金融知識の実務応用 事前学修 2.0hr：購入者の資金計画を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
6回	**授業テーマ：媒介契約②(書類作成演習)** 授業内容：媒介契約書の作成、売主への説明ロールプレイ 到達点：媒介契約書の作成力 事前学修 2.0hr：媒介契約書面の記載事項を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	21回	**授業テーマ：案内ロールプレイ①(内見対応)** 授業内容：物件案内の流れ、説明ポイント(設備・周辺環境) 到達点：プレゼンテーション能力 事前学修 2.0hr：プレゼンの組み立てを考える 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う

7回	**授業テーマ：物件調査①(登記簿：権利関係)** 授業内容：甲区・乙区の読み方、抵当権・差押え・地役権、売買への影響 到達点：権利関係の理解 事前学修 2.0hr：表題部、権利部と不動産登記の内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	22回	**授業テーマ：案内ロールプレイ②(質問対応)** 授業内容：顧客の不安・疑問への対応、リスク説明(告知事項など) 到達点：説明責任の理解 事前学修 2.0hr：現地案内の注意点を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
8回	**授業テーマ：物件調査②(公図・地積測量図)** 授業内容：公図の読み方、地積測量図のポイント、面積の不一致・地積更正 到達点：土地調査の基礎 事前学修 2.0hr：公募書類の調査を事前確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	23回	**授業テーマ：交渉(価格交渉、条件交渉・瑕疵対応)** 授業内容：価格交渉の基本、売主・買主の心理 到達点：交渉力 事前学修 2.0hr：売主、買主の心理を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
9回	**授業テーマ：物件調査③(境界・越境)** 授業内容：境界確定の重要性、越境の種類(越境物・越境根・越境枝)、売買へのリスク 到達点：境界トラブルの理解 事前学修 2.0hr：境界のトラブル事例等を事前に確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	24回	**授業テーマ：重要事項説明の作成、説明** 授業内容：重要事項説明書の作成ができる。 到達点：重要事項説明が単独できる。 事前学修 2.0hr：重要事項説明の説明事項を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
10回	**授業テーマ：物件調査④(道路調査)** 授業内容：道路種別(42 条道路)、セットバック、接道義務 到達点：道路調査の実務理解 事前学修 2.0hr：道路関連の知識を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	25回	**授業テーマ：契約書作成** 授業内容：売買契約書の作成、条項の意味の理解 到達点：契約書読解力 事前学修 2.0hr：契約書の記載事項を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
11回	**授業テーマ：物件調査⑤(用途地域・建築規制)** 授業内容：用途地域、建ぺい率・容積率、防火地域・高度地区・地区計画 到達点：法令上の制限の理解 事前学修 2.0hr：法令上の制限の調査内容を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	26回	**授業テーマ：引渡し①(決済の流れ)** 授業内容：司法書士・金融機関との連携、残代金支払い・鍵渡し 到達点：実務の最終工程理解 事前学修 2.0hr：引渡し時の登記手続き、資金の流れを整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
12回	**授業テーマ：物件調査⑥(インフラ・設備・環境)** 授業内容：上下水道・ガス・電気、ハザードマップ、心理的瑕疵・告知事項 到達点：生活インフラとリスクの理解 事前学修 2.0hr：ライフライン関連の調査を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	27回	**授業テーマ：引渡し②(決済ロールプレイ)** 授業内容：決済当日の流れを再現、トラブル対応のシミュレーション 到達点：実務対応力 事前学修 2.0hr：引渡し、決済について、整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
13回	**授業テーマ：資金計画①(住宅購入、引渡しまでの流れ)** 授業内容：物件の選定、重説、契約、住宅ローン申し込み、金消契約、引渡し決済までの流れ 到達点：不動産購入の流れを俯瞰する。 事前学修 2.0hr：住宅購入の流れを整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	28回	**授業テーマ：ゼミ論発表会** 授業内容：ゼミ論のプレゼン、質疑応答 到達点：発表力・論理的思考 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
14回	**授業テーマ：資金計画②(住宅ローンの基礎)** 授業内容：借入可能額、返済比率、金利タイプ(固定・変動) 到達点：資金計画の基礎理解 事前学修 2.0hr：住宅ローン関連の知識を整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	29回	**授業テーマ：ゼミ論発表会** 授業内容：ゼミ論のプレゼン、質疑応答 到達点：発表力・論理的思考 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
15回	**授業テーマ：資金計画③(ローン特約・事前審査)** 授業内容：ローン特約の意味、事前審査・本審査の流れ、ローン否決時の対応 到達点：金融リスクの理解 事前学修 2.0hr：住宅ローン関連の審査について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	30回	**授業テーマ：総括** 授業内容：1 年間の振り返り、4 年生の卒論への接続 到達点：学修の統合 事前学修 2.0hr：全体を振り返り整理する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）

▌授業の概要

都市空間を形成する上で、法は様々な役割を果たしています。このような都市空間と法との関係を、実定法の解釈や判例研究とはやや異なる、社会学的観点からアレコレ悩みながら考えていくのが目的です。今年度は、住宅・土地政策をめぐる議論や都市論を主たる対象にして、研究を進めていく予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産学的観点から、都市空間と法との関係を理解し、説明することができることを目標とします。

個別目標：前期は、テキストの輪読を通じて、「要約(レジュメ)の書き方」「報告・議論の仕方」などを身に着けてもらいます。後期は、各自で研究テーマを設定した上で、文献調査や現地調査等を行い、各自 4,000 字以上のゼミ論を取りまとめます。また、年度末のゼミ発表会に向けて、発表パネル等のプレゼンテーション資料の作成にも取り組みます。

▌履修条件

受講生の主体的な取り組みが必要です。

▌評価基準・方法

ゼミへの取り組み具合、報告等のレベル、レジュメやゼミ論等の成果物等を総合的に評価します。なお、無断欠席は減点の対象とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、ゼミの時間内をはじめ、随時行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回、全員で議論します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表などで PC を使用することがあります。）

▌教科書

開講時に指示します。

▌参考書

適宜、紹介していきます。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：ゼミ生相互の紹介、前期の進め方の確認などをおこなう。 事前学修 1.0hr：事前準備 事後学修 3.0hr：文献収集	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期のゼミの進め方について、確認する。また、各自の研究テーマを報告する。 事前学修 1.0hr：事前準備 事後学修 2.0hr：調査・研究計画の作成
2回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	17回	**授業テーマ：調査・研究の準備** 授業内容：各自が作成した調査・研究計画を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 3.0hr：調査・研究計画の作成 事後学修 2.0hr：調査・研究計画の見直し
3回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	18回	**授業テーマ：調査・研究の準備** 授業内容：各自が作成した調査・研究計画を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 3.0hr：調査・研究計画の作成 事後学修 2.0hr：調査・研究計画の見直し
4回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	19回	**授業テーマ：調査・研究の準備** 授業内容：各自が作成した調査・研究計画を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 3.0hr：調査・研究計画の作成 事後学修 3.0hr：調査・研究計画の完成
5回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	20回	**授業テーマ：調査・研究** 授業内容：各自がそれぞれ進めている調査・研究の進捗状況を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 4.0hr：調査・研究の実施 事後学修 4.0hr：調査・研究の実施
6回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	21回	**授業テーマ：調査・研究** 授業内容：各自がそれぞれ進めている調査・研究の進捗状況を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 4.0hr：調査・研究の実施 事後学修 4.0hr：調査・研究の実施
7回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	22回	**授業テーマ：調査・研究** 授業内容：各自がそれぞれ進めている調査・研究の進捗状況を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 4.0hr：調査・研究の実施 事後学修 4.0hr：調査・研究の実施
8回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	23回	**授業テーマ：調査・研究** 授業内容：各自がそれぞれ進めている調査・研究の進捗状況を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 4.0hr：調査・研究の実施 事後学修 4.0hr：調査・研究の実施
9回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	24回	**授業テーマ：調査・研究** 授業内容：各自がそれぞれ進めている調査・研究の進捗状況を報告し、それに関し、質疑応答をおこなう。 事前学修 4.0hr：調査・研究の実施 事後学修 4.0hr：調査・研究の実施

10回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	25回	**授業テーマ：全体討議** 授業内容：ゼミ論の完成に向けて、各自の調査・研究内容について、全体で議論する。 事前学修 4.0hr：報告レジュメ等の作成 事後学修 4.0hr：ゼミ論等の作成
11回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	26回	**授業テーマ：全体討議** 授業内容：ゼミ論の完成に向けて、各自の調査・研究内容について、全体で議論する。 事前学修 4.0hr：報告レジュメ等の作成 事後学修 4.0hr：ゼミ論等の作成
12回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	27回	**授業テーマ：全体討議** 授業内容：ゼミ論の完成に向けて、各自の調査・研究内容について、全体で議論する。 事前学修 4.0hr：報告レジュメ等の作成 事後学修 4.0hr：ゼミ論等の作成
13回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	28回	**授業テーマ：発表報告会・発表パネル等の作成** 授業内容：完成したゼミ論を各自がプレゼンテーションし、全体で質疑応答を行う。また、発表パネルの作成にも取り組む。 事前学修 4.0hr：プレゼン資料の作成 事後学修 1.0hr：振り返り
14回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：報告者を決め、その報告者がレジュメを作成し、報告する。その報告に基づき、全員で議論する。 事前学修 3.0hr：文献の講読とレジュメの作成 事後学修 1.0hr：ポイントの復習	29回	**授業テーマ：発表報告会** 授業内容：完成したゼミ論を各自がプレゼンテーションし、全体で質疑応答を行う。また、発表パネルの作成にも取り組む。 事前学修 4.0hr：プレゼン資料の作成 事後学修 1.0hr：振り返り
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期全体のまとめをおこなう。加えて、後期のゼミ活動を計画する。 事前学修 2.0hr：疑問点・重要点等の整理 事後学修 2.0hr：ポイントの復習	30回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：一年間のゼミ活動全体をふりかえり、今後の学修につなげる。 事前学修 2.0hr：事前準備 事後学修 2.0hr：振り返り

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

金　東煥（きむ　どんふぁん）

▌授業の概要

社会人にとって、テーマを絞り、情報を効率的に収集して、必要とする重要情報を簡単明瞭にまとめ、効果的に情報発信することは重要である。本講義では、グローバル不動産市場で活躍する人材育成のため、世界の主要都市・地域の不動産市場動向レポートを作成し、情報発信する能力を身に着けることを目的とし、グローバル経済・不動産市場のテーマを決めて、情報収集、分析、整理、報告するスキルを学習する。

・各自対象テーマ(経済、海外不動産等)を選択し、市況レポート作成・発表・討論。
・統計ツールと発表ツールを学修する。
・経済・不動産市況レポート作成・発表する(前学期 1 回・後学期 1 回)。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：グローバル経済・不動産市場の情報を収集・整理・分析・発表することで、グローバル不動産分野での就職後に直面する難関を前もって経験しグローバル経済・不動産の市況知識と業務処理スキルを身につける。

個別目標：①グローバル経済・不動産市場の動向を把握・報告ができる。
②膨大な情報から必要情報をまとめて相手に効果的に伝えることができる。
③経済・不動産市況レポートに統計データを活用することで、効果的に情報発信ができる。
④ AI 時代に合わせて、R と PYTHON の基礎知識を学修する。
⑤無分別な AI 利用を控えて、AI を効率よく利用・活用することができる。

▌履修条件

・グローバル経済・不動産市場に興味を持つ学生。
・グローバル不動産市場を分析するために、可能であれば、英語の文章を読む基本的な能力を有することが好ましいが、英語を読むことが苦手な学生は、翻訳ソフトなどを活用しても良い。
・後学期レポートは、ポスターセッションで発表することが履修条件。

▌評価基準・方法

原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
成績評価の項目と割合は、以下のとおりである。
通年：文献の要約 20 %、討論 20 %、発表 20 %
前期：市況レポート作成・発表 20 %
後期：グローバル市況レポート作成・発表(PPT) 20 %
成績評価は、通年成績評価方法(文献要約・討論・発表)に、前期課題と後期課題(レポート作成・発表)の点数を加算して成績評価を行う。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。成績評価のフィードバックは成績確定後、個別要請に応じて対応する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各学生は、自ら作成した発表資料とレポートについて、グループディスカッションを実施する。また、各学生のレポートと発表は、学生同士の相互評価を引用して、最終的に成績反映する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （この講義では、PC スキールを身に付けることを目指して、毎回授業で、PC を使用する。特に、ワード、エクセル、パワーポイント作成は、詳しく学修する。）

▌教科書

特になし。必要に応じて資料配布(国土交通省レポート、JLL、CBRE、SAVILLS 等の市場レポート、日経新聞記事、英文書籍(Landed Japan, Landed Global)等)

▌参考書

テーマに応じて適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス(講義概要、運営方針及び成績評価説明、自己紹介等)** 授業内容：この講義の目標と授業内容について説明する。また、教員と学生は皆の前で自己紹介をすることで、ゼミのメンバーを把握する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで研究希望の研究対象リストを考える。自己紹介準備 事後学修 2.0hr：研究対象の経済・不動産市場と分析テーマを考える。	16 回	**授業テーマ：文献紹介 4（国際機構経済レポート)文献要約 4** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(国際機関の経済レポート)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献について、内容を要約して、課題提出する。 事前学修 2.0hr：国際機構の文献(経済市況レポート)読み込む。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：研究テーマ設定、研究テーマ設定の理由討論** 授業内容：学生のレポートテーマ設定を助けるため、グローバル経済や不動産市場などについて紹介・学修する。学生は、PC とインターネットを積極的に使って、自分のレポートテーマ設定を試みる。 事前学修 2.0hr：テーマについて深く検討し、市況レポート作成イメージを考える。 事後学修 2.0hr：市況レポート作成イメージを考える。	17 回	**授業テーマ：文献紹介 5（国内外予測レポート)文献要約 5** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(海外の経済予測レポート)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献について、内容を要約して、課題提出する。 事前学修 2.0hr：国内外の予測レポート読み込む。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：研究テーマ再検討、研究テーマ設定の理由討論** 授業内容：経済や不動産市場などについて紹介・学修する。学生は、PC とインターネットを積極的に使って、自分のレポートテーマ設定を試みる。 事前学修 2.0hr：テーマを再検討して、市況レポート作成イメージを考える。 事後学修 2.0hr：経済レポートの文献を調査する。	18 回	**授業テーマ：文献紹介 6（国内外不動産市況レポート)文献要約 6** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(グローバル不動産市況レポート)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献について、内容を要約して、課題提出する。 事前学修 2.0hr：国内外不動産市況レポート読み込む。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：文献紹介 1：各種レポート、文献要約 1** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(レポート)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献について、内容を要約して、課題提出する。 事前学修 2.0hr：指定の市況レポートを読み込む。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。	19 回	**授業テーマ：文献紹介 7（国内外不動産市況レポート)文献要約 7** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(グローバル不動産市況レポート)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献について、内容を要約して、課題提出する。 事前学修 2.0hr：不動産市況レポートのポイント(空室率、価格指数等)を把握する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。

5回	**授業テーマ：文献紹介 2：新聞、文献要約 2** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(新聞)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献について、内容を要約して、課題提出する。 事前学修 2.0hr：指定の市況レポートを読み込む。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。	20回	**授業テーマ：文献紹介 8（国内外不動産市況レポート 2)ウェビナー要約** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(グローバル不動産市況に関するウェビナ)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献・ウェビナについて、内容を要約して、課題提出する。 事前学修 2.0hr：ウェビナーを視聴して、概要を把握する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：文献紹介 3：外国語文献、文献要約 3** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(英語文献など)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献について、内容を要約して、課題提出する。 事前学修 2.0hr：指定の市況レポートを読み込む。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。	21回	**授業テーマ：文献紹介 9（国内外不動産市況レポート 3）** 授業内容：グローバル経済と不動産市場についての理解を深めるため、グローバル経済や不動産市場などについての文献(グローバル不動産市況に関するウェビナ)を紹介・学修する。学生は、紹介した文献・ウェビナについて、内容について、グループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：講義で扱うウェビナーと大手不動産サービス企業レポートの概要を把握する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：マクロ経済指標 1（国内外データベースのマクロデータ種類紹介）** 授業内容：国内外のデータベースにアクセスして、データをダウンロードし、マクロ経済の統計指標を学修し、理解する。国内外のデータベースから、データを抽出して、グラフ化及び文章化するなどの課題提出をする。 事前学修 2.0hr：国内外のマクロ経済データベースの経済指標を探す。 事後学修 2.0hr：国内外のマクロ経済データベースの経済指標を操作する。	22回	**授業テーマ：調査方法 1（海外開発事例レポート）** 授業内容：海外開発事例レポートについて紹介・学修する。学生は、興味を持っている海外の国や都市を選んで、国の情報をまとめる。 事前学修 2.0hr：海外開発事例レポートの概要を把握する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：マクロ経済指標 2（国内外データベース：各国）** 授業内容：各国のデータベースにアクセスして、データをダウンロードし、マクロ経済の統計指標を学修し、理解する。国内外のデータベースから、データを抽出して、グラフ化及び文章化するなどの課題提出をする。 事前学修 2.0hr：各国のマクロ経済データベースの経済指標を探す。 事後学修 2.0hr：各国のマクロ経済データベースの経済指標を操作する。	23回	**授業テーマ：調査方法 2（アンケート調査：国勢調査紹介）** 授業内容：アンケート調査について紹介・学修する。学生は、国勢調査について内容をまとめて、課題提出する。 事前学修 2.0hr：アンケート調査の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：マクロ経済指標 3（国内外データベース：国際機関）** 授業内容：国際機関(IMF など)のデータベースにアクセスして、データをダウンロードし、マクロ経済の統計指標を学修し、理解する。国内外のデータベースから、データを抽出して、グラフ化及び文章化するなどの課題提出をする。 事前学修 2.0hr：国際機関のデータベースを探して、把握する。 事後学修 2.0hr：国際機関のデータベースのデータを操作する。	24回	**授業テーマ：調査方法 3（統計ツール学習：回帰分析）** 授業内容：回帰分析について、学修する。学生は、サンプルデータを用いて回帰分析を実施する。 事前学修 2.0hr：回帰分析の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：エクセルで回帰分析を復習する。
10回	**授業テーマ：統計ツール学習 1：エクセル、データまとめ、グラフ化** 授業内容：エクセルを使って、データをまとめる。また、データをグラフ化する学修をする。 事前学修 2.0hr：エクセルの概要を把握する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。	25回	**授業テーマ：グローバル不動産市況レポート作成準備(テーマ特定、目次作成)** 授業内容：グローバル不動産市況レポート作成のテーマ設定をする。学生は、テーマ設定についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：不動産市況レポートのテーマを考える。 事後学修 2.0hr：不動産市況レポートの目次を深く検討する。
11回	**授業テーマ：統計ツール学習 2：エクセルデータ処理実習(図表、分散、抽出等)** 授業内容：エクセルの関数を使って、データを整理及び文章化する学修をする。基礎統計知識を身に付ける。 事前学修 2.0hr：エクセルのデータ処理方法を検討する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。	26回	**授業テーマ：グローバル不動産市況レポート作成 1（本文作成）** 授業内容：グローバル不動産市況レポートを作成する。学生は、作成中のグローバル不動産市況レポートについてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：不動産市況レポートの目次に含まれる内容を考える。 事後学修 2.0hr：不動産市況レポートの修正・補完箇所を検討する。
12回	**授業テーマ：市況レポート作成準備(各自テーマ報告)** 授業内容：前学期の市況レポート作成のテーマを設定する。テーマ設定内容をグループディスカッションで共有する。 事前学修 2.0hr：対象テーマと目次を準備する。 事後学修 2.0hr：市況レポートを作成する。	27回	**授業テーマ：グローバル不動産市況レポート作成 2（本文修正）** 授業内容：グローバル不動産市況レポートを作成する。学生は、作成中のグローバル不動産市況レポートについてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：不動産市況レポートの本文内容を検討する。 事後学修 2.0hr：不動産市況レポートの修正する。
13回	**授業テーマ：個人市況レポート作成 1：テーマ・本文検討** 授業内容：前学期の市況レポート作成する。学生は、作成中の市況レポートについて、グループディスカッションで共有する。 事前学修 2.0hr：市況レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：市況レポートを作成・修正する。	28回	**授業テーマ：グローバル不動産市況レポート作成 3（発表 PPT 作成）** 授業内容：グローバル不動産市況レポートの発表用パワーポイントを作成する。 事前学修 2.0hr：不動案市況レポートの発表資料作成を考える。 事後学修 2.0hr：不動案市況レポートの発表資料を修正する。
14回	**授業テーマ：個人市況レポート作成 2：まとめ検討** 授業内容：前学期の市況レポート作成・修正する。学生は、作成中の市況レポートについて、グループディスカッションで共有する。 事前学修 2.0hr：市況レポートのまとめを検討する。 事後学修 2.0hr：市況レポートを作成・修正・追加する。	29回	**授業テーマ：グローバル不動産市況レポート作成 4（最終修正）** 授業内容：グローバル不動産市況レポートと発表用パワーポイントの最終修正・検討をする。 事前学修 2.0hr：発表内容をまとめて発表練習をする。 事後学修 2.0hr：発表・討論内容を検討して、修正箇所を分析する。
15回	**授業テーマ：市況レポート報告・討論** 授業内容：前学期の市況レポートを発表する。 事前学修 2.0hr：市況レポートの報告を練習する。 事後学修 2.0hr：市況レポートの討論事項を検討する。	30回	**授業テーマ：総括(グローバル不動産市況レポート発表 2)** 授業内容：グローバル不動産市況レポートについて、発表用パワーポイントを用いて、発表する。学生は、発表について相互採点する。 事前学修 2.0hr：不動産市況レポート作成についてふり返る。 事後学修 2.0hr：不動産市況レポート作成についてふり返る。

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

小杉　学（こすぎ　まなぶ）

▌授業の概要

「都市再生フィールドワーク＆プレゼンテーション」
問題を抱える都市や不動産の中に、実際にあなた自身の身を投じ、現場の状況や関係者の思いを理解し、問題点を抽出し、改善策を提案する。フィールドワーク（現地調査）とプレゼンテーション（企画提案）という実践力のトレーニングを行う。アクティブラーニング（学生が主体的となり、教員や関係者との対話的で深い学修）を基本的な学修手法とする。フィールドワークは土日（毎週ではない）または夏期休業中に行い、担当教員もできる限り同行する。プレゼンテーションはパワーポイントで作成する。プレゼンと発表は丁寧に指導する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：・フィールドワークを通じて、都市や不動産が抱える問題を正確に把握する技術を修得する。
・現在行われている都市再生、不動産再生の再生技術について、知識レベルで修得する。（実務レベルでの修得は学生では困難）
・都市や不動産の再生提案を構想し、パワーポイントを用いて効果的に発表する技術を習得する。
個別目標：・フィールドワークを通じて、都市や不動産が抱える問題を正確に把握することができる。
・現在行われている都市再生、不動産再生の再生技術について、自ら文献やＷｅｂで調べることができる。
・都市や不動産の再生提案を構想し、パワーポイントを用いて効果的に発表することができる。

▌履修条件

・授業時間以外に、土日（毎週ではない）または夏休みに行われるフィールドワークに参加できること。
・授業以外の時間でも、必要に応じて適切に教員への連絡・報告・相談ができること。
・フィールドワークの対象となる都市や不動産の関係者、教員、ゼミの他のメンバーに対して誠実な対応ができること。

▌評価基準・方法

・取り組みへの積極性、誠実さ：40%、視察報告・企画提案の内容：40%　・プレゼンテーション 20%
・なお、不誠実な対応がある場合は、上記評価基準とは関係なく不合格とする場合がある。

▌フィードバック方法

・課題を出した場合のフィードバックは、ゼミの中で行います。定期試験はありません。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Powerpoint を搭載したノートパソコンを毎回持参すること。）

▌教科書

適宜授業内で指定します。

▌参考書

適宜授業内で指定します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ユーコート（京都市西京区）** 授業内容：ユーコートプロジェクトについて教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	16回	**授業テーマ：大丸有地区再開発（東京都千代田区）** 授業内容：大丸有地区再開発について教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
2回	**授業テーマ：コーポラティブ住宅・コミュニティ** 授業内容：コーポラティブ住宅・コミュニティについて、前回取り上げたユーコートを意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	17回	**授業テーマ：都市再生・エリアマネジメント** 授業内容：都市再生・エリアマネジメントについて、前回取り上げた大丸有地区再開発を意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
3回	**授業テーマ：乙川ワンリバープロジェクト（愛知県岡崎市）** 授業内容：乙川ワンリバープロジェクトについて教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	18回	**授業テーマ：コープ・ブロードウェイ・センター（東京都中野区）** 授業内容：コープ・ブロードウェイ・センターについて教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
4回	**授業テーマ：まちづくり・NPO・中間支援** 授業内容：まちづくり・NPO・中間支援について、前回取り上げた乙川ワンリバープロジェクトを意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	19回	**授業テーマ：等価交換事業・東京コープ** 授業内容：等価交換事業・東京コープについて、前回取り上げたコープ・ブロードウェイ・センターを意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
5回	**授業テーマ：黒壁スクエア（滋賀県長浜市）** 授業内容：黒壁スクエアについて教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	20回	**授業テーマ：ニューヨーク都市計画革命（映画）** 授業内容：映画「ニューヨーク都市計画革命」を視聴した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
6回	**授業テーマ：まちづくり会社** 授業内容：まちづくり会社について、前回取り上げた黒壁スクエアを意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	21回	**授業テーマ：ジェインジェイコブス・アメリカ大都市の死と生** 授業内容：ジェインジェイコブス・アメリカ大都市の死と生について、前回取り上げた映画「ニューヨーク都市計画革命」を意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
7回	**授業テーマ：沼垂テラス（新潟市中央区）** 授業内容：沼垂テラスについて教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	22回	**授業テーマ：横浜みなとみらい 21 地区（横浜市西区・中区）** 授業内容：横浜みなとみらい 21 地区について教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。

8回	**授業テーマ：シャッター街・商店街再生** 授業内容：シャッター街・商店街再生について、前回取り上げた沼垂テラスを意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	23回	**授業テーマ：都市デザイン** 授業内容：都市デザインについて、前回取り上げた横浜みなとみらい 21 地区を意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
9回	**授業テーマ：オガール(岩手県紫波町)** 授業内容：オガールついて教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	24回	**授業テーマ：堀江猫実土地区画整理事業(千葉県浦安市)** 授業内容：堀江猫実土地区画整理事業について教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
10回	**授業テーマ：PPP・公民連携** 授業内容：PPP・公民連携について、前回取り上げたオガールを意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	25回	**授業テーマ：減価補償地区** 授業内容：減価補償地区について、前回取り上げた堀江猫実土地区画整理事業を意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
11回	**授業テーマ：かみのやまランドバンク(山形県上山市)** 授業内容：かみのやまランドバンクについて教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	26回	**授業テーマ：就職セミナー(企業研究・エントリーシート)** 授業内容：ゼミ合同開催の就職セミナー(自己分析・業界研究)に参加する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
12回	**授業テーマ：ランドバンク・アーバニスト** 授業内容：ランドバンク・アーバニストについて、前回取り上げたかみのやまランドバンクを意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	27回	**授業テーマ：西京極大門ハイツ(京都市右京区)** 授業内容：西京極大門ハイツについて教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
13回	**授業テーマ：かみのやま温泉駅東開発(山形県上山市)** 授業内容：駅東開発について教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	28回	**授業テーマ：経営的管理** 授業内容：経営的管理について、前回取り上げた西京極大門ハイツを意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
14回	**授業テーマ：就職セミナー(自己分析・業界研究)** 授業内容：ゼミ合同開催の就職セミナー(自己分析・業界研究)に参加する。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	29回	**授業テーマ：西荻ニュースカイマンション再生(東京都杉並区)** 授業内容：西荻ニュースカイマンション再生について教員が解説した後、学生間でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。
15回	**授業テーマ：ワークショップ・基本構想** 授業内容：ワークショップ・基本構想について、前々回取り上げたかみのやま温泉駅東開発を意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。	30回	**授業テーマ：マンションの長寿命化** 授業内容：マンションの長寿命化について、前回取り上げた西荻ニュースカイマンション再生を意識した解説プレゼンテーションを学生が行い、教員から補足解説を行う。 事前学修 2.0hr：今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミの議事録を作成する。

不動産学研究

開講学科等：不　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通　｜　備考：2024 年度以前入学生

小松　広明（こまつ　ひろあき）

▌授業の概要

本ゼミでは、「パーソナリティ」「購買関与」「投資選好」をテーマに、不動産市場を分析し、新たな知見を得ることを目的とする。具体的には、市場参加者の意思決定過程について学び、①データ分析、②アンケート調査、③インタビュー調査への理解を深めつつ、不動産の価格形成要因と行動主体の意識構造とを関連付けて把握する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：①主な調査手法の特徴について説明できる。
②行動主体の意思決定過程について説明できる。
③不動産の価格形成要因について行動主体の意識に照らして説明できる。
個別目標：複数の調査結果や統計データをもとに、自己の考えを客観的に構築することができるようになる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

前期レポート 50 %、後期レポート 50 %として評価する。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、学修支援システム「manaba」を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークを通じてディスカッションを適宜実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを適宜配布する。

▌参考書

テーマに応じて適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（テーマの解説とグループ編成）** 授業内容：既存住宅再生事業を研究対象として、グループワークとプレゼンテーションを順次展開する。 事前学修 2.0hr：不動産学研究の募集要項を読む。 事後学修 2.0hr：グループ別に研究テーマについて意識の統一化を図る。	16回	**授業テーマ：ガイダンス（ＳＷＯＴ分析・事例-コード・マトリックス）** 授業内容：後学期のグループワークで取り組む SWOT 分析と事例-コード・マトリックスについて学修する。 事前学修 2.0hr：ＳＷＯＴ分析、事例-コード・マトリックスについて調べておく。 事後学修 2.0hr：ＳＷＯＴ分析、事例-コード・マトリックスについての自己の考えを整理する。
2回	**授業テーマ：研究テーマに関するブレーン・ストーミング（ＢＳ）** 授業内容：住宅価値の経年減価に関する個人発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究テーマに対する自己の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：グループで実施したＢＳの結果を踏まえて自己の考えを再整理する。	17回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析①（内部要因の検討）** 授業内容：住宅再生事業を対象として、既存住宅の「強み」と「弱み」についてグループで検討する。 事前学修 2.0hr：強み（Ｓ）と弱み（Ｗ）について自己の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
3回	**授業テーマ：研究テーマに関するＫＪ法①（１次コード化）** 授業内容：住宅価値の経年減価に関するＢＳを行う。 事前学修 2.0hr：ＢＳの結果を踏まえて、当該情報の１次コード化について検討する。 事後学修 2.0hr：グループで実施したＫＪ法（１次コード化）結果を整理する。	18回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析②（外部要因の検討）・論文要約 (9)** 授業内容：住宅再生事業を対象として、既存住宅の市場において「機会」と「脅威」についてグループで検討する。 事前学修 2.0hr：機会（Ｏ）と脅威（Ｔ）について自己の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
4回	**授業テーマ：研究テーマに関するＫＪ法②（２次コード化）・論文要約 (1)** 授業内容：グループワークにより、情報の１次・２次集約化を行う。 事前学修 2.0hr：２次コード化について検討する。また、論文要約を行う。 事後学修 2.0hr：グループで実施したＫＪ法（２次コード化）結果を整理する。	19回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析③（内部要因と外部要因の集約・発表）・論文要約 (10)** 授業内容：既存住宅の「強み」「弱み」と当該市場における「機会」「脅威」の検討結果をまとめ、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：調査対象に対するＳＷＯＴ分析の結果を整理する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
5回	**授業テーマ：ＫＪ法適用結果のグループ発表・論文要約 (2)** 授業内容：グループワークにより、情報の１次・２次集約化を行う。 事前学修 2.0hr：コードの相互関係について自己の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：各グループの検討結果を踏まえて自己の意見を再整理する。	20回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析のクロス分析①（積極戦略）・論文要約 (11)** 授業内容：既存住宅市場を取り巻く「機会」と既存住宅の「強み」がクロスするゾーンに着目して、既存住宅の販売を促進する「積極戦略」について検討する。 事前学修 2.0hr：積極戦略について自己の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
6回	**授業テーマ：ＫＪ法適用結果の仮説検証①（グループ別）・論文要約 (3)** 授業内容：統計資料に基づいた仮説検証を行う。 事前学修 2.0hr：統計資料を用いてコード間の関連性について精査する。 事後学修 2.0hr：仮説検証の結果を踏まえて、自己の意見を適宜修正する。	21回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析のクロス分析②（統計資料による仮説検証）・論文要約 (12)** 授業内容：住宅再生事業の「積極戦略」としての妥当性を統計資料に基づいて検証する。 事前学修 2.0hr：統計資料を用いて積極戦略について精査する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
7回	**授業テーマ：ＫＪ法適用結果の仮説検証②（全体集約）・論文要約 (4)** 授業内容：統計資料に基づいた仮説検証を行う。 事前学修 2.0hr：グループの検討結果を一つに集約し整理する。 事後学修 2.0hr：集約作業の結果を踏まえて、自己の意見を適宜修正する。	22回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析のクロス分析③（回避戦略）・論文要約 (13)** 授業内容：既存住宅市場の新築住宅市場と比較したときの「脅威」と既存住宅の「弱み」がクロスするゾーンに着目して、「回避戦略」について検討する。 事前学修 2.0hr：回避戦略について自己の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
8回	**授業テーマ：ラダリング法の演習①** 授業内容：手段目的連鎖モデル、ラダリング調査法について学修する。 事前学修 2.0hr：「手段目的連鎖モデル」について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：手段目的連鎖モデルについての自己の考えを整理する。	23回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析のクロス分析④（統計資料による仮説検証）・論文要約 (14)** 授業内容：住宅再生事業の「回避戦略」としての妥当性を統計資料に基づいて検証する。 事前学修 2.0hr：統計資料を用いて回避戦略について精査する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
9回	**授業テーマ：ラダリング法の演習②（ネガティブ評価）** 授業内容：住宅価値の経年減価に関するラダリングを実施する。ネガティブ評価に基づく自己ラダリングを行う。 事前学修 2.0hr：ネガティブ評価としての自己の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。	24回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析適用結果のグループ発表・論文要約 (15)** 授業内容：住宅再生事業の「積極戦略」と「回避戦略」の検証結果を統計資料に基づいてグループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：これまでの検討結果を整理しておく。 事後学修 2.0hr：グループの検討結果を踏まえて、自己の意見を醸成する。

10回	**授業テーマ：ラダリング法の演習③(ポジティブ評価)** 授業内容：住宅価値の経年減価に関するラダリングを実施する。ポジティブ評価に基づく自己ラダリングを行う。 事前学修 2.0hr：ポジティブ評価としての自己の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。	25回	**授業テーマ：ＳＷＯＴ分析適用結果の個人発表・論文要約 (16)** 授業内容：グループワークの結果を踏まえて、住宅再生事業のＳＷＯＴ分析の個人発表を行う。 事前学修 2.0hr：個人発表の準備を行う。また、論文要約を行う。 事後学修 2.0hr：自己の意見を整理しておく。
11回	**授業テーマ：ラダリング法の演習④(各評価結果の統合・発表)・論文要約 (5)** 授業内容：グループワークのもと階層的価値マップを作成する。 事前学修 2.0hr：各評価の検討結果について自己の意見を整理する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。	26回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの演習①(マトリックスの作成その１)** 授業内容：論文要約を前学期に８本、後学期に８本、合計 16 本の要約結果をもとに、グループワークによって１つのマトリックス(表)に情報を整理する。 事前学修 2.0hr：マトリックスとして整理する際のコードについて検討する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
12回	**授業テーマ：ラダリング法適用結果の仮説検証①(グループ別)・論文要約 (6)** 授業内容：グループワークによって統計資料をもとに階層的価値マップの妥当性の検証を行う。 事前学修 2.0hr：統計資料を用いて適用結果の妥当性について精査する。 事後学修 2.0hr：仮説検証の結果を踏まえて、自己の意見を適宜修正する。	27回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの演習②(マトリックスの作成その２)** 授業内容：論文要約を前学期に８本、後学期に８本、合計 16 本の要約結果をもとに、グループワークによって１つのマトリックス(表)に情報を整理する。 事前学修 2.0hr：マトリックスとして整理する際のコードについて検討する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
13回	**授業テーマ：ラダリング法適用結果の仮説検証②(全体集約)・論文要約 (7)** 授業内容：グループワークの結果を踏まえて、階層的価値マップの個人発表を行う。 事前学修 2.0hr：グループの検討結果を一つに集約する。 事後学修 2.0hr：集約作業の結果を踏まえて、自己の意見を適宜修正する。	28回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの演習③(コード化)** 授業内容：論文要約の情報を集約したマトリックス(表)をもとに、縦軸と横軸の２つの軸にコードを当てはめて 16 本の論文を整理する。 事前学修 2.0hr：２×２マトリックスの縦軸と横軸に該当するコードについて検討する。 事後学修 2.0hr：グループ全体としての意見を集約・精査する。
14回	**授業テーマ：一般財に関する品質評価・論文要約 (8)** 授業内容：住宅の品質評価(魅力品質、一元的品質、当たり前品質)の考え方について学修する。 事前学修 2.0hr：一般財に関する品質評価について調べておく。 事後学修 2.0hr：グループ全体の意見を集約・精査する。	29回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスのグループ発表** 授業内容：論文要約マトリックスをもとに、これまでどのような研究がなされてきたのかを説明できるように文章化を図る。また、これまでの研究の蓄積を踏まえたうえで、今後、どのような研究が必要と考えるかを示す。 事前学修 2.0hr：グループ別に発表の準備を行う。 事後学修 2.0hr：ゼミ全体で情報の共有化を図る。
15回	**授業テーマ：品質評価を考慮したラダリング適用結果の発表** 授業内容：階層的価値マップ及び住宅の品質評価をもとに、既存住宅の再生事業としての改善案を提示する。 事前学修 2.0hr：「魅力評価」「一元的評価」「当たり前評価」について検討しておく。 事後学修 2.0hr：BS・KJ 法・ラダリングの適用結果を踏まえて自己の意見を整理する。	30回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの個人発表・総括** 授業内容：「事例-コード・マトリックス」及び「論文要約マトリックス」を提示したうえで、「ストーリー化」の結果を発表する。 事前学修 2.0hr：グループ発表の結果をもとに個人としての見解を発表する。 事後学修 2.0hr：本ゼミにおいて学んだことを具体的に整理する。

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

斎藤　千尋（さいとう　ちひろ）

▌授業の概要

本授業では、グラフィックスプログラミング(コンピュータによる図形描画)を修得します。並行して、どこかの具体的な町並みを選び、その歴史や計画上の目標などを調べ、地図、統計情報の調査をすることから問題発見や魅力発見をします。前期は、プログラム言語を学修し、地図の描画を目標とします。また、題材とする町並みのある都市、地域を選択します。後期からは受講者で分担して町並みやその町並みのある自治体の分析をします。グループワークでは Gmail にも慣れてもらいます。進路の方向に関して相談します。また日程は未定ですが、ゼミを学部合同開催の進路セミナーに振り替える回があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：具体的な町並みから課題発見をしたり、現状に疑問をもったりして、それについて深く掘り下げて学び、考えること。
個別目標：(1) 自らの課題設定、その課題の解決の過程、結果を人に伝えられるようになること。
(2) 自らが関心を持つ課題、問題をデータから説明できること。
(3)Gmail や Office を使って、グループ作業が出来るようになること。
(4) プログラム言語の基本的な構文を用いてデータを処理するプログラムを書けるようになること。
(5) 進路関係の行事に参加すること。

▌履修条件

2025 年度中のゼミ所属の手続きに従っていること、あるいは 2026 年度のオリエンテーションでのゼミ所属の手続きに従っていること。
自分の課題だけでなく、ゼミの他のメンバーの課題にも関心を持ち、積極的に議論に参加する姿勢をもっていること。

▌評価基準・方法

最終レポートの達成度 60%、各回提出物の達成度で 20%、ゼミでの議論の参加で 20%。
レポートでは、背景や目的、分析方法を明確にして論理的な構成のレポートをまとめること、自分で作成したプログラムを活用していることやスプレッドシート等で作成した図表を用いていること重視する。また、ゼミでの議論に積極的に参加していることも重視する。

▌フィードバック方法

提出物へのフィードバックはゼミ中の議論で行うが、manaba により時間外の質疑応答も積極的に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、各自のプレゼンテーション、プログラミング実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プログラミングのために持ち込み可）

▌教科書

授業内で教材を配布する。

▌参考書

青木 樂・國見 幸加 (著), 田中 賢一郎 (監修) p5js で学ぶ JavaScript 入門 インプレス NextPublishing

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ゼミの運営のガイダンス** 授業内容：ゼミのねらい、自己紹介、年間スケジュールを確認する。 事前学修 1.0hr：Gmail アカウントの確認。 事後学修 3.0hr：興味のある町並みをリストアップする。	16回	**授業テーマ：見学、調査の結果の整理** 授業内容：夏季休暇中に行った、見学、調査で収集した資料を整理する。 事前学修 2.0hr：写真や収集した案内文書、地図等をまとめておく。 事後学修 2.0hr：各自のレポートの方針を文書化する。
2回	**授業テーマ：リストアップした町並みの魅力を考える(ディスカッション)** 授業内容：見学、調査対象とするまちなみのある自治体の調査、まちなみの魅力を調べ発表する。 事前学修 2.0hr：興味のある町並みをリストアップする。 事後学修 2.0hr：議論の結果を各自整理する。	17回	**授業テーマ：各自のレポートの目的の設定** 授業内容：各自のレポートで何を題材にして、何に取り組むかを決める。前学期で学修した地図の描画技術を使った課題に取り組むことを想定している。 事前学修 2.0hr：各自のレポートの目的の文書化。 事後学修 2.0hr：議論の結果をレポートの目的に反映する。
3回	**授業テーマ：題材とする町並みを決める(ディスカッション)** 授業内容：費用なども考慮して訪問するまちなみをゼミのメンバーで決定する。 事前学修 2.0hr：興味のある町並みへの交通手段を調べる。 事後学修 2.0hr：議論の結果を各自整理する。	18回	**授業テーマ：JavaScript 第１１回：基盤地図情報の３ D 表示 (プログラミング実習)** 授業内容：p5.js の押し出し成型モデルを使って、基盤地図情報の建物外周線レイヤのデータを 3 次元データとしてモデリングし、３ D 表示する。 事前学修 2.0hr：教材で予習すること。 事後学修 2.0hr：建物外周線以外のレイヤのデータの３ D 表示を試してみること。
4回	**授業テーマ：JavaScript 第１回：JavaScript によるプログラムの実行方法 (プログラミング実習)** 授業内容：Chrome ブラウザによるプログラムの実行について。HTML ファイルと Javascript ファイルの関係について。p5.js の役割について。 事前学修 2.0hr：教材で予習をすること。 事後学修 2.0hr：自宅、自分のパソコンでプログラムを実行してみること。	19回	**授業テーマ：各自の作業の方針を立てる：モデリングの方針 (プログラミング実習)** 授業内容：各自のテーマに沿った作業方針を立てる。例えば、モデリングのプログラム作成の方針を立案することなどを想定している。 事前学修 2.0hr：各自のデータの整理。 事後学修 2.0hr：議論の結果を踏まえて、各自の作業方針を修正する。
5回	**授業テーマ：JavaScript 第２回：変数と演算子 (プログラミング実習)** 授業内容：リテラルと変数について。数値、文字列、オブジェクトについて。ブラウザのコンソールについて。Visual Studio Code について。 事前学修 2.0hr：教材で予習をすること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、変数と演算子の復習をすること。	20回	**授業テーマ：各自の作業に取り組む(事例データの準備) (プログラミング実習)** 授業内容：事例とする建物、街区、あるいは通り、公園、広場などデータを基盤地図情報から抽出し、各自の方針に基づき、調査分析、あるいはモデリングの作業を行う。 事前学修 2.0hr：各自のデータの整理。 事後学修 2.0hr：議論の結果を踏まえて、各自のデータを修正する。
6回	**授業テーマ：授業テーマ：JavaScript 第３回：p5.js の関数、グラフィクスの知識 (プログラミング実習)** 授業内容：p5.js に固有の処理、グラフィックスの処理で重要な知識について。 事前学修 2.0hr：教材で予習すること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、図形の描画のプログラムの復習をすること。	21回	**授業テーマ：各自の作業に取り組む：事例データに基づく試行 (プログラミング実習)** 授業内容：事例のデータを使った調査分析、モデリングの作業を行う。例えば、各自のテーマに沿った空間モデリングを行い、その結果をレンダリングする(画像の出力)。 事前学修 2.0hr：調査分析、モデリングの作業。 事後学修 2.0hr：調査分析、モデリングの作業。
7回	**授業テーマ：授業テーマ：JavaScript 第４回：繰り返し処理、条件分岐 (プログラミング実習)** 授業内容：for 文による繰り返し処理について。if 文による条件分岐処理について。繰り返し処理による図形描画について。 事前学修 2.0hr：教材で予習すること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、繰り返し処理、条件分岐の復習をすること。	22回	**授業テーマ：各自の作業に取り組む：事例データ以外に対応できるように方法を汎用化する (プログラミング実習)** 授業内容：事例データで行った作業を、他のデータでも試し、作業方法を一般化する。例えば、地図データ全体にモデリングのプログラムを実行できるようにする。(合同ゼミが開催された場合は、この事項は時間外学修とする) 事前学修 2.0hr：調査分析、モデリングの作業。 事後学修 2.0hr：調査分析、モデリングの作業。

8回	**授業テーマ：授業テーマ：JavaScript 第５回：図形の移動、回転 (プログラミング実習)** 授業内容：図形の描画と移動、回転しての描画について。 事前学修 2.0hr：教材で予習すること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、図形の移動、回転の復習をすること。	23回	**授業テーマ：レポートの執筆　背景、目的、方法** 授業内容：各自の問題意識が伝わるよう、レポートの執筆を行う。 事前学修 2.0hr：調査分析、モデリングの作業。 事後学修 2.0hr：目次の作成。
9回	**授業テーマ：授業テーマ：JavaScript 第６回：データ構造：配列とオブジェクト (プログラミング実習)** 授業内容：たくさんあるデータを扱いやすくするデータのまとまりについて。 事前学修 2.0hr：教材で予習すること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、配列を使った処理を復習すること。	24回	**授業テーマ：レポートの執筆　分析調査、モデリング作業の結果のまとめ** 授業内容：集計結果、グラフ、主題図、レンダリングなどをもとに、レポートの執筆を行う。 事前学修 2.0hr：調査、分析の結果の読みとり、モデリングの結果の整理。 事後学修 2.0hr：目次の修正。
10回	**授業テーマ：授業テーマ：JavaScript 第７回：関数とクラス (プログラミング実習)** 授業内容：JavaScript の変数、処理をまとめる機能について(合同ゼミの場合はこの項は時間外学修とする)。 事前学修 2.0hr：教材で予習をすること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、関数、クラスの処理を復習すること。	25回	**授業テーマ：レポートの執筆　まとめ　参考文献** 授業内容：レポートの結論をまとめる。参考文献のリストを作成する。 事前学修 2.0hr：レポートの作成作業。 事後学修 2.0hr：レポートの仮原稿のまとめ。
11回	**授業テーマ：授業テーマ：JavaScript 第８回：データの読み込み、データの統計計算 (プログラミング実習)** 授業内容：座標データの読み込みと計算について。読み込んだデータに基づく描画について。描画範囲と描画サイズの調整について、地図の描画について。 事前学修 2.0hr：教材で予習すること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、データに基づく図形描画に慣れること。	26回	**授業テーマ：プレゼンテーションのスライド作成** 授業内容：仮作成したレポートに基づき、発表スライド、発表原稿を作成する。 事前学修 2.0hr：スライド化する図表等の選定。 事後学修 2.0hr：スライドの作成。
12回	**授業テーマ：授業テーマ：JavaScript 第９回：基盤地図情報、地図の座標 (プログラミング実習)** 授業内容：国土基盤情報について。国土基盤地図情報のダウンロードサイトへの登録について。XML ファイルについて。座標変換について。 事前学修 2.0hr：教材で予習すること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、地図データをダウンロード管理できるようにすること。	27回	**授業テーマ：レポート、プレゼンテーション資料の調整** 授業内容：プレゼンテーション資料をまとめる中で気づいた要修正点の対応を行う。 事前学修 2.0hr：レポートの見直し。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの練習。
13回	**授業テーマ：授業テーマ：JavaScript 第１０回：JavaScript による基盤地図情報データの表示・変換 (プログラミング実習)** 授業内容：基盤地図情報の XML データからの座標の読み出し、変換を行い、JavaScript で地図を描画する。 事前学修 2.0hr：教材で予習すること。 事後学修 2.0hr：演習問題に取り組み、自由に地図を選び、JavaScript で描画できるようにすること。	28回	**授業テーマ：発表会 (プレゼンテーション)** 授業内容：各自発表を行い、ゼミで意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：所定の時間でプレゼンテーションするよう練習。 事後学修 2.0hr：発表会での意見交換の整理。
14回	**授業テーマ：町並みの調査のテーマを決める (ディスカッション)** 授業内容：各自で、訪問先の町並み、地域で何を調査するのか、テーマを提案し、ゼミのメンバーと案について意見を交換する。 事前学修 2.0hr：各自町並みの調査のテーマを考え、関連する資料を収集する。 事後学修 2.0hr：意見交換の結果を各自整理の上、追加的な資料の収集を行う。	29回	**授業テーマ：報告書のとりまとめ** 授業内容：発表会での意見交換をレポートへ反映する。 事前学修 2.0hr：レポートの修正作業、レポートのファイルの結合。 事後学修 2.0hr：レポートの修正作業。
15回	**授業テーマ：町並み見学調査の計画をまとめる** 授業内容：夏季休暇中の町並み見学調査のスケジュールをまとめる。集合時間、見学先、見学調査の経路、解散時間について。 事前学修 2.0hr：見学調査当日のスケジュールを考えておく。 事後学修 2.0hr：決定事項を見学調査計画として文書にまとめる。	30回	**授業テーマ：総括** 授業内容：報告書の印刷　卒業論文等のテーマの相談 事前学修 2.0hr：レポートの修正作業。 事後学修 2.0hr：レポートの修正作業。

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要
人々の住まいや暮らしを支えるプロフェッショナルとして不動産学を「知る」ことで、自身のライフキャリアに何が必要であるかを「気づき・学び」、将来に「活かす」ことのできるマネジメント能力を高めていく。ナラティブ教育、セルフマネジメント教育およびコンパション教育を通じての創造学習（フィールドワークを含む）によって、不動産学リテラシー能力を獲得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）
一般目標：「不動産学が身近にある学問である」ことの認識を高めることができる。
個別目標：「不動産学とわたし」について、認識することができる。

▌履修条件
不動産学部の 3 年生以上

▌評価基準・方法
授業参加姿勢、課題に対する達成度、その他を総合的に判断する。

▌フィードバック方法
アクティブ・アプローチによる interactive な対話形式で行なう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （教科書・授業資料を活用した対話（アカディミックアプローチ））

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
「学生生活とライフマネジメント　体育・スポーツの研究と教育からのメッセージ　人生 100 年時代を生き抜くアクティブ・アプローチ」ライフ出版社　2500 円＋税

▌参考書
明海フロンティア No.13　「特集　オリンピックと不動産」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ
ナラティブ教育
教員の研究成果 (サイエンス×アート) と、そこに到達するまでのプロセス (生き方) を語る
セルフマネジメント教育
みずからの理想や将来のビジョンに焦点を当て、未熟な現状に向き合い、前向きに且つ主体的に挑戦を繰り返し、自らの強みや弱み活かし方を探る
コンパッション教育
自分や相手を深く理解し、誠実・思いやり (慈悲)・倫理観 (美意識) を涵養する
創造額学習（フィールドワークを含む）によって、将来の自分の目標や夢を叶えるためのヒントを見い出す

授業内容
ナラティブ教育
教員の研究成果 (サイエンス×アート) と、そこに到達するまでのプロセス (生き方) を語る
セルフマネジメント教育
みずからの理想や将来のビジョンに焦点を当て、未熟な現状に向き合い、前向きに且つ主体的に挑戦を繰り返し、自らの強みや弱み活かし方を探る
コンパッション教育
自分や相手を深く理解し、誠実・思いやり (慈悲)・倫理観 (美意識) を涵養する
創造額学習（フィールドワークを含む）によって、将来の自分の目標や夢を叶えるためのヒントを見い出す

事前学修
正解のない問いに、共に挑むことによって、これまでと違った「学ぶ」ことの楽しさを再発見する姿勢を理解する
目標や夢を実現させるための” 気づき” への一歩となるよう、自分自身を見つめ直す
将来に向けて、自分が何をすべきかを探る

事後学修
「主体的に学ぶ意味を自らに問う (力)」を身につける
”なりたい自分” を明確にして、着実に学びを進める「メタ思考 (自分を俯瞰的にみる力)」を身につける
共生・協働で問題を乗り越える心ある対話力を身につける
将来に「活かす」ことのできるマネジメント能力を高める

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

西村　愛 (にしむら　あい)

▌授業の概要

本授業では、都市・不動産の現状を把握し課題を導き出し、自分なりの観点で課題への対応策を検討する思考力と、それを他者に伝えるためのスキルを修得することを目的とする。授業内で扱うテーマは、都市・不動産における環境、社会、経済的な側面(脱炭素、少子高齢化対応、中心市街地活性化等)から抽出する。学生は教員やクラスメイトとグループワークやディスカッション等をすることで主体的に学ぶことが求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：都市・不動産に関する課題を認識し自分なりの解決策を提案する力を養う
個別目標：都市・不動産の現状を把握し課題を見つけることができる
　　課題への対応策を考察するために、自分なりの調査ができる
　　他者との議論を通じて自身の思考を深化させることができる

▌履修条件

・自分なりの問題意識を持って取り組む意欲のあること
・クラスメイトと互いに協力し合う姿勢をもつこと

▌評価基準・方法

グループワークへの参加態度(40 %)や発表内容(60 %)により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業内で行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,Powerpoint の機能のあるノートパソコンを持参すること)）

▌教科書

なし(必要に応じて授業内で配布、指示)

▌参考書

なし(必要に応じて授業内で配布、指示)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方について教員が説明する 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業の到達目標を理解する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	16 回	**授業テーマ：後学期ガイダンス** 授業内容：後学期の進め方について教員と学生で確認する 事前学修 2.0hr：現地調査先を検討してくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
2 回	**授業テーマ：論文の書き方** 授業内容：論文に必要な要素、論文の構成について教員が説明する 事前学修 2.0hr：論文とは何か調べておく 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	17 回	**授業テーマ：個人研究メモの校正と共有** 授業内容：前学期に作成した研究メモをブラッシュアップし、学生間で共有する 事前学修 2.0hr：研究メモを校正する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
3 回	**授業テーマ：文献検索の仕方** 授業内容：図書館での図書検索、CINII 等での論文検索方法等を教員が説明する 事前学修 2.0hr：文献を調べてみる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	18 回	**授業テーマ：事例研究におけるテーマの検討** 授業内容：事例研究での研究テーマを学生は検討する 事前学修 2.0hr：事例に関する情報を調べてくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
4 回	**授業テーマ：現地調査の仕方、研究テーマの検討** 授業内容：現地調査の方法や項目等を教員が説明する 事前学修 2.0hr：どのような研究テーマにするか検討する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	19 回	**授業テーマ：文献調査①** 授業内容：事例研究でのテーマに関連する書籍、論文等を学生は調べる 事前学修 2.0hr：文献調査をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
5 回	**授業テーマ：研究メモの作成** 授業内容：研究の動機、目的等についてメモを作成する 事前学修 2.0hr：研究の構成を文字化する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレュメを作成する	20 回	**授業テーマ：文献調査②** 授業内容：事例研究に関する文献調査を行う 事前学修 2.0hr：対象文献を準備してくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
6 回	**授業テーマ：まちづくりにおける環境課題の考察** 授業内容：気候変動などの環境課題に対する研究等の知見(省エネ、緑化、スマートシティの推進等)を教員が解説し、学生とディスカッションする。 事前学修 2.0hr：環境課題について考えてくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	21 回	**授業テーマ：質問項目の作成** 授業内容：研究対象事例に関する質問項目を作成する 事前学修 2.0hr：ヒアリング項目を検討してくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
7 回	**授業テーマ：まちづくりにおける社会課題の考察** 授業内容：少子高齢化などの社会課題に対する研究等の知見(多世代居住、子育て支援、空き家対策等)を教員が解説し、学生とディスカッションする。 事前学修 2.0hr：社会課題について考えてくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	22 回	**授業テーマ：事例研究メモの作成** 授業内容：事例研究の項目等に関する事前メモを作成する 事前学修 2.0hr：メモの作成準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
8 回	**授業テーマ：まちづくりにおける経済課題の考察** 授業内容：市街地の衰退などの経済課題に対する研究等の知見(地域資源の活用、公共交通の整備、コンパクトシティ等)を教員が解説し、学生とディスカッションする 事前学修 2.0hr：経済課題について考えてくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	23 回	**授業テーマ：事例研究の実践** 授業内容：事前メモに基づき、事例研究を実践する。 事前学修 2.0hr：事例研究の準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
9 回	**授業テーマ：既往研究の調査** 授業内容：研究テーマについて、既往研究を学生が調べる 事前学修 2.0hr：研究論文を収集する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	24 回	**授業テーマ：事例研究結果の整理** 授業内容：調査した内容を整理する。 事前学修 2.0hr：現地でなければ分からなかった気づき等についてメモを作成する 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
10 回	**授業テーマ：文献リスト、論文構成案の作成** 授業内容：研究テーマに関して、文献リスト、論文の構成案を学生が作成する 事前学修 2.0hr：既往文献の整理をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	25 回	**授業テーマ：発表資料の作成** 授業内容：研究成果を学生はパワーポイントにまとめる。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する

11回	**授業テーマ：発表資料の作成** 授業内容：前回までに検討した内容をパワーポイントで整理する 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	26回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション①** 授業内容：学生は研究成果を発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
12回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション①　（研究テーマ：環境課題）** 授業内容：学生は研究内容を発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	27回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション②** 授業内容：学生は研究成果を発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
13回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション②　（研究テーマ：社会課題）** 授業内容：学生は研究内容を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	28回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション③** 授業内容：学生は研究成果を発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
14回	**授業テーマ：発表＆ディスカッション③　（研究テーマ：経済課題）** 授業内容：学生は研究内容を発表し、ディスカッションする 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	29回	**授業テーマ：研究レポートの作成** 授業内容：研究成果について学生は文字化し、レポートを作成する 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
15回	**授業テーマ：前期の振り返り** 授業内容：前期の授業を振り返り、教員と学生間でディスカッションする 事前学修 2.0hr：前期授業で印象的だった学びを思い出しておく 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全授業を振り返り、教員と学生でディスカッションする 事前学修 2.0hr：後期授業で印象的だった学びをメモしてくる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

秦　瑞希（はだ　みずき）

▌授業の概要

「公共施設の整備・再編の現状を知り、課題を探る」ことを主なテーマとして研究に取り組む。学校や図書館といった公共施設は、まちに住む人の生活を支える基盤となる重要な施設である。それゆえに、都市のあるべき将来像に基づいた再編・再整備を行う必要がある。現在の日本の都市で公的な不動産の整備や再編がどのように行われているのか、整備・再編が必要とされる背景を含めた現状をリサーチし、課題を探り、自分なりの問いを立てることを目標とする。ゼミの進め方は、学生が主体となり、教員やゼミ生と議論を展開するスタイルを基本とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：公的な不動産の現状や課題について都市という広い視点から捉え、課題を考え、自分なりの問いを立て、論理的に伝える能力を身につける
個別目標：・社会的な背景を踏まえた公的な不動産の現状を調査して課題を整理できる
・これからの公共施設の再編や再整備に関する課題や問いを自分なりに考えることができる
・自分の考えについて、妥当性をもって他者に説明できる

▌履修条件

・事前学修に取り組み、ディカッションに向けた準備ができること
・他ゼミ生の発表や提案に対して発言ができること

▌評価基準・方法

ゼミに対する姿勢 60%／成果物 40%
なお、ゼミに対する姿勢は、資料の密度や工夫・わかりやすく他者に伝える工夫・発言の積極性などから総合的に評価する

▌フィードバック方法

・基本的にゼミのディスカッションの中で行う
・適宜、電子メールや manaba を使用する
・オフィスアワーの時間等を利用した個別対応も歓迎する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション／ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word ／ PowerPoint ／ Excel ／必要に応じて Illustrator、Photoshop、GIS など）

▌教科書

必要時に指示する

▌参考書

必要時に指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス／公共施設に関するレクチャー** 授業内容：・自己紹介、ゼミの内容の確認、年間スケジュールの確認を行う ・研究テーマを考えるきっかけとして、公共施設の基礎知識を学ぶ 事前学修 1.0hr：シラバスを読み、内容やスケジュールを確認する 事後学修 3.0hr：どの公共施設、どの都市を研究対象にするかを考える	16回	**授業テーマ：研究テーマ(案)の発表／研究テーマの決定** 授業内容：・第 12 回～第 15 回で考察した課題に基づいて考えた研究テーマについて発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：取り組みたい研究テーマを検討し、発表するための資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する
2回	**授業テーマ：研究対象の公共施設及び都市(案)の発表** 授業内容：・研究対象にしたい公共施設や都市についてまとめ、発表する ・発表者、他ゼミ生、教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 2.0hr：研究対象にしたい公共施設や都市を説明するための資料を作成する 事後学修 2.0hr：もらった質疑を踏まえてもう一度研究対象について考え、決定する	17回	**授業テーマ：研究テーマに関する調査結果の共有 -三大都市圏を対象に-** 授業内容：・研究テーマについて調査を行い、結果を発表する ・発表者(三大都市圏を研究対象とする学生)と他ゼミ生・教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 3.0hr：各自の研究テーマに基づいた調査を行い、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／調査し足りなかった箇所を補足する
3回	**授業テーマ：研究対象の公共施設及び都市の決定と共有／プレゼンテーションの方法のレクチャー** 授業内容：・研究対象の公共施設や都市を決定し、ゼミ生全員で共有する ・他人にものを伝える方法(特に PowerPoint の効果的な使用について)を学ぶ 事前学修 2.0hr：決めた研究テーマを説明するための資料を作成する 事後学修 2.0hr：他人にものを伝える方法として学んだことを整理し、自分の資料を修正する	18回	**授業テーマ：研究テーマに関する調査結果の共有 -政令指定都市を対象に-** 授業内容：・研究テーマについて調査を行い、結果を発表する ・発表者(政令指定都市を研究対象とする学生)と他ゼミ生・教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 3.0hr：各自の研究テーマに基づいた調査を行い、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／調査し足りなかった箇所を補足する
4回	**授業テーマ：公共施設を取り巻く社会的な背景のリサーチ -都市の人口動態に着目して-** 授業内容：・都市の人口動態の実態を調べ、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて調査し、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は調査結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	19回	**授業テーマ：研究テーマに関する調査結果の共有 -中小都市を対象に-** 授業内容：・研究テーマについて調査を行い、結果を発表する ・発表者(中小都市を研究対象とする学生)と他ゼミ生・教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 3.0hr：各自の研究テーマに基づいた調査を行い、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／調査し足りなかった箇所を補足する
5回	**授業テーマ：公共施設を取り巻く社会的な背景のリサーチ -都市の将来像の実現に向けた施策に着目して-** 授業内容：・都市の将来像の実現に向けた施策を調べ、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて調査し、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は調査結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	20回	**授業テーマ：研究テーマに関する調査結果の共有 -中山間地域を対象に-** 授業内容：・研究テーマについて調査を行い、結果を発表する ・発表者(中山間地域を研究対象とする学生)と他ゼミ生・教員間で質疑応答の時間を設ける 事前学修 3.0hr：各自の研究テーマに基づいた調査を行い、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／調査し足りなかった箇所を補足する

6回	**授業テーマ：都市に関する課題の考察 -三大都市圏を対象に-** 授業内容：・第 4 回、第 5 回で学んだ社会的な背景を踏まえた都市の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(三大都市圏を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	21回	**授業テーマ：公共施設の再編・再整備における課題の考察 -三大都市圏を対象に-** 授業内容：・調査の結果を踏まえて公共施設の再編・再整備における課題を考え、発表する ・発表者(三大都市圏を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：各自の研究テーマに関する考察を深め、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／議論の結果を勘案して考察を修正する
7回	**授業テーマ：都市に関する課題の考察 -政令指定都市を対象に-** 授業内容：・第 4 回、第 5 回で学んだ社会的な背景を踏まえた都市の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(政令指定都市を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	22回	**授業テーマ：公共施設の再編・再整備における課題の考察 -政令指定都市を対象に-** 授業内容：・調査の結果を踏まえて公共施設の再編・再整備における課題を考え、発表する ・発表者(政令指定都市を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：各自の研究テーマに関する考察を深め、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／議論の結果を勘案して考察を修正する
8回	**授業テーマ：都市に関する課題の考察 -中小都市を対象に-** 授業内容：・第 4 回、第 5 回で学んだ社会的な背景を踏まえた都市の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(中小都市を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	23回	**授業テーマ：公共施設の再編・再整備における課題の考察 -中小都市を対象に-** 授業内容：・調査の結果を踏まえて公共施設の再編・再整備における課題を考え、発表する ・発表者(中小都市を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：各自の研究テーマに関する考察を深め、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／議論の結果を勘案して考察を修正する
9回	**授業テーマ：都市に関する課題の考察 -中山間地域を対象に-** 授業内容：・第 4 回、第 5 回で学んだ社会的な背景を踏まえた都市の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(中山間地域を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	24回	**授業テーマ：公共施設の再編・再整備における課題の考察 -中山間地域を対象に-** 授業内容：・調査の結果を踏まえて公共施設の再編・再整備における課題を考え、発表する ・発表者(中山間地域を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：各自の研究テーマに関する考察を深め、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する／議論の結果を勘案して考察を修正する
10回	**授業テーマ：公共施設を取り巻く社会的な背景のリサーチ -公共施設数の推移に着目して-** 授業内容：・公共施設数の推移を調べ、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて調査し、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は調査結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	25回	**授業テーマ：公共施設の再整備・再編に関する問いの設定 -提案書の作成①-** 授業内容：・第 1 回～第 24 回で学んだり考えてきたことを集約し、提案書を作成する ・必要に応じてゼミ生と教員でディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：提案書作成のための資料整理を行う／提案書の目次を考える 事後学修 2.0hr：提案書の作成を進める／提案書を修正する
11回	**授業テーマ：公共施設を取り巻く社会的な背景のリサーチ -公共施設に関する施策に着目して-** 授業内容：・公共施設に関する施策を調べ、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて調査し、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は調査結果をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	26回	**授業テーマ：公共施設の再整備・再編に関する問いの設定 -提案書の作成②-** 授業内容：・第 1 回～第 24 回で学んだり考えてきたことを集約し、提案書を作成する ・必要に応じてゼミ生と教員でディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：提案書の作成を進める／提案書を修正する 事後学修 2.0hr：提案書の作成を進める／提案書を修正する
12回	**授業テーマ：都市における公共施設に関する課題の考察 -三大都市圏を対象に-** 授業内容：・第 6 回～第 9 回で考えた都市の課題と第 10 回、第 11 回で学んだ社会的な背景を踏まえた公共施設の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(三大都市圏を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	27回	**授業テーマ：公共施設の再整備・再編に関する問いの設定 -ディスカッション-** 授業内容：・作成した提案書を用いて、ゼミ生と教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：提案書の作成を進める／提案書を修正する／必要に応じて発表資料を作成する 事後学修 1.0hr：ディスカッションで出た意見を踏まえて提案書の修正箇所を考える
13回	**授業テーマ：都市における公共施設に関する課題の考察 -政令指定都市を対象に-** 授業内容：・第 6 回～第 9 回で考えた都市の課題と第 10 回、第 11 回で学んだ社会的な背景を踏まえた公共施設の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(政令指定都市を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	28回	**授業テーマ：公共施設の再整備・再編に関する問いの設定 -修正-** 授業内容：・第 27 回で出た意見を踏まえて提案書を修正する ・必要に応じてゼミ生と教員でディスカッションを行う 事前学修 1.0hr：ディスカッションで出た意見を踏まえて提案書の修正箇所を考える 事後学修 3.0hr：提案書を修正して完成させる／提案書の提出の準備
14回	**授業テーマ：都市における公共施設に関する課題の考察 -中小都市を対象に-** 授業内容：・第 6 回～第 9 回で考えた都市の課題と第 10 回、第 11 回で学んだ社会的な背景を踏まえた公共施設の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(中小都市を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	29回	**授業テーマ：公共施設の再整備・再編に関する問いの設定 -発表-** 授業内容：・作成した提案書の内容を伝える資料を準備し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、ゼミ生、教員でディスカッションや質疑応答を行う 事前学修 3.0hr：発表資料を作成し、発表練習をする 事後学修 1.0hr：発表者、他ゼミ生(聞き手)各々で得られた知見を整理する
15回	**授業テーマ：都市における公共施設に関する課題の考察 -中山間地域を対象に-** 授業内容：・第 6 回～第 9 回で考えた都市の課題と第 10 回、第 11 回で学んだ社会的な背景を踏まえた公共施設の課題を考察し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者(中山間地域を研究対象とする学生)、他ゼミ生、教員でディスカッションを行う 事前学修 3.0hr：授業テーマについて考え、発表担当者は発表資料、他ゼミ生は考察をまとめた資料を作成する 事後学修 1.0hr：ゼミの議事録を作成する	30回	**授業テーマ：公共施設の再整備・再編に関する問いの設定 -発表-／次年度のゼミに向けて** 授業内容：・作成した提案書の内容を伝える資料を準備し、発表者が各自の持ち時間で発表する ・発表者、ゼミ生、教員でディスカッションや質疑応答を行う ・次年度のゼミに向けた振り返りを行う 事前学修 3.0hr：発表資料を作成し、発表練習をする 事後学修 1.0hr：発表者、他ゼミ生(聞き手)各々で得られた知見を整理する／ 1 年間を通して収集・作成した資料等をすべて整理し、提出する

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

浜島　裕美（はまじま　ひろみ）

▌授業の概要

環境法とは、環境保全上の支障(公害や地域的規模あるいは地球的規模の環境破壊・悪化)を防止し、良好な環境の確保をはかることを目的とする法制度(憲法、条約、法律、条例など)の総称で、それぞれの対象や目的などは様々である。

本ゼミでは、環境法政策体系を網羅的に学ぶのではなく、受講生の興味・関心が最も高いものをいくつか選び、それらのテーマを深く掘り下げていく。

受講生は日頃から環境保全行動を意識して行い、環境への意識を高め、個人個人の活動だけでなく企業や団体、地方自治体や国家などがどのように環境保全に取り組んでいるのかを興味を持って観察してほしい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：環境問題の多様性と、それぞれに対する法律の対応の複雑さを理解する。また環境問題に対しては、法律だけではなく、他の多くの学問分野や利害関係者が絡んでおり、一様な価値観による解決が難しいことを理解する。

個別目標：(1)自分が選んだ環境法のテーマについて、法体系の位置付けを説明できる。
(2)自分が選んだ環境法のテーマについて、問題の所在、現在の法律の対応、条例の状況、残された課題を説明でき、将来の展望について提案できる。

▌履修条件

日頃から環境問題に強い関心があり、かつ法律にも興味があることが必要である。なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌評価基準・方法

レポートの内容、プレゼンテーション資料の評価、質疑応答の内容、授業参加姿勢などを総合的に判断する。テストは行わないが、積極的に討議に参加することが必要である

▌フィードバック方法

授業内の課題、レポート、ディベート、プレゼンテーション等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

決まったテーマではなく、受講者自ら関心のあるテーマを選び、類似テーマのチームで話し合い・レポート作成・発表・質疑応答を行う。
テーマ例
(1)地球環境問題
(2)気候変動
(3)ゴミ問題
(4)リサイクル
(5)都市景観
(6)生物多様性
など

授業内容

テーマにより異なるが、おおむね以下のような内容を行う。
(1)現状調査(統計資料や報道発表など)
(2)法律の対応(具体的法令名と条文、解釈、施行令、施行規則等)
(3)条例の状況(地方自治体の HP などでの調査)
(4)良い対応例(環境省の発表などでの調査)
(5)悪い対応例(環境団体などでの報告や行政罰、刑事罰の具体例など)
(6)現状の問題点の検討
(7)まとめ(レポート作成＆発表＆質疑応答)

事前学修

各回に応じて 3 ～ 5 h
授業内容によっては、あらかじめの現地調査なども必要になる。

事後学修

各回に応じて 3 ～ 5 h
全ての作業はまとめのレポート作成＆発表＆質疑応答に記録する。
授業中の質疑応答の内容も含めて、毎回必ずレポートを書き加えていくことが必要となる。

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

原野　啓（はらの　けい）

▌授業の概要

不動産市場の問題は、経済学的な観点から分析することで解決の糸口を見出すことが可能です。原野ゼミでは、不動産の問題に焦点を当て、経済学的な観点から調査・研究を行いつつ、報告資料にまとめることを目標に授業を行います。例えば、事故物件は周辺住宅価格にどのような影響をもたらす？ 新線の開通が沿線住宅市場に及ぼす影響は？ コロナは不動産市場にどのような影響をもたらしたか？ などが例として挙げられます。こうした何故？ を解き明かすために、先行研究の整理、資料やデータを収集、データの解析、報告資料の作成が必要です。原野ゼミでは、2 年かけて成果物の作成を目指します。なお、分析対象のテーマは、各自の興味関心にしたがって相談の上で決定しますので、調べてみたいテーマを事前にいくつか考えてみてください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：報告資料を作成するためには、資料の収集、文献の収集と読み込み、データの収集と加工、PPT の作成など多様なプロセスを経る必要があります。社会人になると、こうしたスキルが非常に重要になるので、こうしたスキルの修得を一つの目標とします。

個別目標：選んだテーマに対して、データに基づいた客観的な分析を行い、論理的に説明ができるようになること。新しい知識やデータの作成を目指しましょう。

▌履修条件

「ミクロ経済学」等の経済系科目を履修していることが望ましい。
特に 3 年生の前期に開講する「計量経済学」は必ず履修すること。

▌評価基準・方法

成績は、平常点（毎回出される分析作業等の課題の提出、授業参加、発表など）で 80 %、最終報告を 20 %を評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、翌週の授業冒頭で解説を行う.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （解析結果の解釈についてディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC(エクセル・Stata) を用いて計量分析の演習を行う）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス（講義内容、運営方針および成績評価の説明など）** 授業内容：この授業の進め方について説明する。また、自己紹介をしてもらう。 事前学修 1.0hr：講義概要を読み研究したいテーマを考えておく、自己紹介の準備 事後学修 3.0hr：研究したいテーマを検討し、関連資料を自分で探してみる	16 回	**授業テーマ：データ分析・計量分析の基礎** 授業内容：データを加工して変数を作成し、最小二乗法による回帰分析を行う。 事前学修 2.0hr：最小二乗法について予習する 事後学修 2.0hr：最小二乗法について復習する
2 回	**授業テーマ：先輩の研究成果を学修する** 授業内容：原野ゼミの過去の成果物を見て、先輩たちの研究テーマや研究内容を確認する 事前学修 2.0hr：過去の成果物を読んで、どの様なテーマが扱われているか確認する 事後学修 2.0hr：研究したいテーマを再度検討し、研究として成り立ちうるのか考えてみる	17 回	**授業テーマ：データ分析・計量分析の基礎** 授業内容：説明変数の追加・加工、モデルの拡張などを行い、回帰分析を行う。また、分析結果の解釈を行う。分析結果のロバストチェックを行う。 事前学修 2.0hr：最小二乗法の推計をしてみる 事後学修 2.0hr：分析結果を整理・解釈してみる
3 回	**授業テーマ：不動産問題と経済学について** 授業内容：空き家・空き地はどうして存在するのかを経済学的に考える 事前学修 2.0hr：課題図書の必要箇所を読み、質問を一つ以上考えておく 事後学修 2.0hr：空家・空き地が生じる原因を経済学的なロジックで再検討する	18 回	**授業テーマ：データ分析・計量分析の基礎** 授業内容：分析モデルを変更して、推計結果のロバストチェックを行い、仮説との整合性をチェックする。必要に応じて、分析モデルの修正や説明変数の追加・加工を行う。 事前学修 2.0hr：整理した分析結果を報告する 事後学修 2.0hr：「まとめ(案)」を書く
4 回	**授業テーマ：不動産問題と経済学について** 授業内容：どうして混雑が発生するのかを経済学的に考える 事前学修 2.0hr：課題図書の必要箇所を読み、質問を一つ以上考えておく 事後学修 2.0hr：混雑が発生する原因を経済学的なロジックで再検討する	19 回	**授業テーマ：先輩の研究成果を学修する** 授業内容：先輩(原野ゼミ)が作った過去の研究成果を見て、成果物を作成する際の構成を確認する 事前学修 2.0hr：過去の成果物を見て、実証論文の構成を確認しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を踏まえて、実証論文の構成を再確認する
5 回	**授業テーマ：不動産問題と経済学について** 授業内容：都市の構造はどのように決まるのか経済学的に考える 事前学修 2.0hr：課題図書の必要箇所を読み、質問を一つ以上考えておく 事後学修 2.0hr：都市構造を経済学的なロジックで再検討する	20 回	**授業テーマ：先輩の研究成果を学修する** 授業内容：先輩(原野ゼミ)が作った過去の研究成果を見て、分析モデルを確認する 事前学修 2.0hr：計量経済学の復習をして、実証モデルについて確認しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を踏まえて、実証モデルがどの様に定義されているのかを確認する
6 回	**授業テーマ：不動産問題と経済学について** 授業内容：コンパクトシティについて経済学的に考える 事前学修 2.0hr：課題図書の必要箇所を読み、質問を一つ以上考えておく 事後学修 2.0hr：コンパクトシティが必要となる原因を経済学的なロジックで再検討する	21 回	**授業テーマ：先輩の研究成果を学修する** 授業内容：先輩(原野ゼミ)が作った過去の研究成果を見て、分析結果を解釈する 事前学修 2.0hr：過去の成果物を見て、分析結果の解釈をしてみる 事後学修 2.0hr：講義内容を踏まえて、他の成果物における分析結果を解釈してみる
7 回	**授業テーマ：不動産問題と経済学について** 授業内容：税制と空き家問題の関係について経済学的に考える 事前学修 2.0hr：課題図書の必要箇所を読み、質問を一つ以上考えておく 事後学修 2.0hr：空き家問題と税制度を関連付けたうえで、経済学的なロジックで再検討する	22 回	**授業テーマ：仮説の設定・分析方針の整理** 授業内容：これまでの整理を踏まえて、自分の研究ではどのような観点から分析をするのか、仮説を再度設定し、分析方法を検討する 事前学修 2.0hr：研究目的を明確にし、仮説を設定・検討する 事後学修 2.0hr：仮説を検証するために必要な資料・データを検討する
8 回	**授業テーマ：不動産問題と経済学について** 授業内容：持家と借家はどちらが得なのか、経済学的に考える 事前学修 2.0hr：課題図書の必要箇所を読み、質問を一つ以上考えておく 事後学修 2.0hr：持家と借家のメリットとデメリットを経済学的に再検討する	23 回	**授業テーマ：制度の確認と整理** 授業内容：研究テーマに関する制度や政策にどのようなものがあるのかを確認・整理する 事前学修 1.0hr：整理するべき制度に関する資料がどこにあるのか検討する 事後学修 3.0hr：資料を整理する

9回	**授業テーマ：テーマ設定** 授業内容：ゼミで実施する研究テーマについて検討する。これまでの学修内容だけではなく、文献を参照し、不動産市場にどのような課題があるのかを検討する。 事前学修 2.0hr：分析してみたいテーマを事前に検討し、なぜそのテーマを選ぶのかを整理する 事後学修 2.0hr：選んだテーマをさらに深く検討し、そのテーマの課題を整理する	24回	**授業テーマ：制度の確認と整理** 授業内容：研究テーマに関する制度や政策にどのようなものがあるのかを確認・整理する 事前学修 2.0hr：資料を整理し、報告用の資料を作成する 事後学修 2.0hr：追加すべき資料を検討・整理する
10回	**授業テーマ：文献収集　新聞・書籍での扱い** 授業内容：選択したテーマが、これまでにどのような観点から議論されているのかを整理する。ここでは、新聞や書籍における扱について検討するが、特にそれらをどのように探すのかということを確認する。 事前学修 2.0hr：選んだテーマに関する記載されている新聞や書籍を探し、目を通しておく 事後学修 2.0hr：テーマに関する資料をさらに増やし、目を通す	25回	**授業テーマ：データ収集　ネットで探す** 授業内容：研究対象のデータにはどのようなものがあるのかを確認・整理する 事前学修 1.0hr：分析対象のデータがどこにあるのか検討する 事後学修 3.0hr：必要なデータを収集する
11回	**授業テーマ：文献収集　論文での扱い** 授業内容：選択したテーマが、これまでにどのような観点から議論されているのかを整理する。ここでは、論文における扱について検討するが、特にそれらをどのように探すのかということを確認する。 事前学修 2.0hr：選んだテーマに関する論文を探してみる 事後学修 2.0hr：探した論文に目を通してみる	26回	**授業テーマ：データ収集　図書館で探す** 授業内容：利用できるデータを入手するために、図書館の資料、統計局のサイト、内閣府のデータなどをチェックする 事前学修 2.0hr：必要なデータを収集し、報告用の資料を作成する 事後学修 2.0hr：追加すべき資料を検討・整理する
12回	**授業テーマ：文献(新聞・書籍)の読み込みと報告** 授業内容：選択したテーマが新聞や書籍においてどのように議論されているのかを整理し、発表してもらう。 事前学修 2.0hr：事前に集めた資料を読み込み整理する 事後学修 2.0hr：資料の読み込みと整理をさらに行う	27回	**授業テーマ：データの整理** 授業内容：利用できるデータを入手しつつ、データの整理を開始する 事前学修 2.0hr：収集したデータを整理する 事後学修 2.0hr：収集したデータを整理する
13回	**授業テーマ：文献(論文)の読み込みと報告** 授業内容：選択したテーマが、論文においてどのような観点で議論されているのかを整理し、発表してもらう。 事前学修 2.0hr：事前に集めた論文を読み込み整理する 事後学修 2.0hr：論文の読み込みと整理をさらに行う	28回	**授業テーマ：データの整理** 授業内容：利用できるデータを入手しつつ、データを整理する 事前学修 2.0hr：収集したデータを整理する 事後学修 2.0hr：収集したデータを整理し、来週の報告用資料を作成する
14回	**授業テーマ：文献(論文)の読み込みと報告** 授業内容：選択したテーマに関する論文を読み、内容や分析で分からない部分を整理し検討する 事前学修 2.0hr：事前に集めた論文の実証分析において内容が不明な個所を明らかにしておく 事後学修 2.0hr：分析結果の解釈を再度検討する	29回	**授業テーマ：データの整理** 授業内容：利用できるデータを加工して、分析可能なデータセットにする 事前学修 2.0hr：収集したデータを整理し、報告用資料を作成する 事後学修 2.0hr：分析可能なデータセットにする
15回	**授業テーマ：前期のまとめ、課題の整理** 授業内容：自分の研究テーマと仮説について整理をしてみて、発表する 事前学修 2.0hr：作業成果(研究目的、制度、仮説等)について整理・報告する 事後学修 2.0hr：制度、テーマ等について足りない資料を追加補強する	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：自身の研究テーマ、仮説、利用データ、分析方法について整理し、発表する。 事前学修 2.0hr：ここまでの作業成果について整理・報告 事後学修 2.0hr：授業での指摘を踏まえて今後の作業の方向性を確認する

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

藤木　亮介（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

建築物の再生・利活用、あるいは地域の活性化をテーマに授業を進める。
古くなった既存築建物の再生・利活用に関する提案資料、あるいは衰退した地域の活性化に関する提案資料を作成する。なお、対象とする建築物や地域（研究対象）は、各学生と教員とで協議して決定する。
まずは研究対象の現況を調査する。この調査結果に基づき、研究対象の課題を把握したうえで、研究対象が建築物の場合は再生・利活用の方法について、地域の場合は活性化を促す仕組みについて提案する。これらの内容は A1 判ポスターにまとめて発表する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：建築物の再生・利活用の方法、あるいは地域の活性化を促す仕組みを検討するうえで必要となる知識を修得する。
・建築物の劣化や地域の衰退の要因を判断するための基礎的知識を修得する。
・建築物の再生・利活用方法、るいは地域の活性化の仕組みを提案するための基礎的知識を修得する。
個別目標：建築物の再生・利活用の方法、あるいは地域の活性化を促す仕組みを提案書にまとめ、その内容を分かりやすく説明するためのスキルを養う。
・建築物の劣化、あるいは地域の衰退に関する要因を説明することができる。
・建築物の再生・利活用の方法、あるいは地域の活性化を促す仕組みを提案できる。
・自らが作成した提案書をわかりやすく説明できる。

▌履修条件

授業時間外でも必要に応じて教員に報告・連絡・相談ができること。
ワード、エクセル、パワーポイントが使えること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み姿勢・積極性：40 %、成果物（A1 判ポスター）の内容：40 %、発表：20 %の結果に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学生自らが調査・検討したことを教員や学生に発表し、ディスカッションをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントを用いて成果物（A1 判ポスター）を作成する。授業にはＰＣを持参すること。）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて適宜指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業のガイダンスとして、評価方法、出欠席の取り方、スケジュール、全体構成、授業方法等を説明する。 事前学修 2.0hr：建築物の劣化や地域の衰退について調べる。 事後学修 2.0hr：建築物の劣化や地域の衰退に関する情報を整理する。	16回	**授業テーマ：建築物に生じる劣化の理解** 授業内容：建築物に生じる物理的劣化・社会的劣化・経済的劣化の要因、ならびにその対応策を学ぶ。 事前学修 2.0hr：物理的劣化・社会的劣化・経済的劣化の概念を調べる。 事後学修 2.0hr：物理的劣化・社会的劣化・経済的劣化の対応策を整理する。
2回	**授業テーマ：建築物の劣化や地域の衰退に関する理解** 授業内容：建築物の劣化の要因や、地域の衰退の要因について学ぶ。 事前学修 2.0hr：建築物の劣化や、地域の衰退の要因について調べる。 事後学修 2.0hr：建築物の劣化や、地域の衰退への対策について、その情報を整理する。	17回	**授業テーマ：公民連携に関する理解-1** 授業内容：指定管理者制度の概要や仕組みについて、事例を交えて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定管理者制度について調べる。指定管理者制度を活用している事例を調べる。 事後学修 2.0hr：指定管理者制度を活用している事例について、その詳細情報を整理する。
3回	**授業テーマ：建築物の維持管理や地域の持続性に関する理解** 授業内容：建築物を健全に維持管理していく方法や、地域の持続性に関わる仕組みについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：建築物の維持管理や、地域に対する行政の取り組みについて調べる。 事後学修 2.0hr：維持管理の方法や行政の取り組みについて、その情報を整理する。	18回	**授業テーマ：公民連携に関する理解-2** 授業内容：PFI の概要や仕組みについて、事例を交えて学ぶ。 事前学修 2.0hr：PFI について調べる。PFI を活用している事例を調べる。 事後学修 2.0hr：PFI を活用している事例について、その詳細情報を整理する。
4回	**授業テーマ：建築物の再生事例・地域活性化（まちづくり）事例** 授業内容：具体的な建築物の再生事例、ならびに地域の活性化（まちづくり）事例からその手法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：建築物の再生事例・地域活性化（まちづくり）事例について調べる。 事後学修 2.0hr：学修した建築物の再生事例・地域活性化（まちづくり）事例の成功要因を整理する。	19回	**授業テーマ：研究対象の再生（建築物）・活性化（地域）にむけた基本方針の検討** 授業内容：研究対象とした建築物・地域の課題を踏まえ、再生（建築物）・活性化（地域）に向けた基本方針を検討する。 事前学修 2.0hr：研究対象の再生（建築物）・活性化（地域）の課題を整理する。 事後学修 2.0hr：今後の提案書作成に際して不足する情報を整理する。
5回	**授業テーマ：研究対象の基礎調査-1** 授業内容：研究対象の選定を行う。そのうえで、インターネットを使って研究対象の現況を調査する。都市計画上の位置付け、法規制などを調べると共に、研究対象にまつわる歴史や文化を調査する。 事前学修 2.0hr：興味がある研究対象について調べる。 事後学修 2.0hr：調査で得た情報を整理する。	20回	**授業テーマ：研究対象の追加調査実施要領の作成** 授業内容：前回の授業で検討した基本方針の内容を踏まえ、追加調査実施要領を作成する。 事前学修 2.0hr：必要となる調査項目を検討する。 事後学修 2.0hr：調査実施要領を修正する。
6回	**授業テーマ：研究対象の基礎調査-2** 授業内容：本調査に先立つ事前調査として、研究対象とする物件を実際に訪れ、周辺状況を含めて確認する。 事前学修 2.0hr：事前調査に向けた準備を行う。 事後学修 2.0hr：事前調査で得た情報を整理する。	21回	**授業テーマ：研究対象の追加調査** 授業内容：作成した調査実施要領を踏まえて、研究対象の追加調査を実施する。 事前学修 2.0hr：追加調査に向けた準備を行う。 事後学修 2.0hr：追加調査で得た情報を整理する。
7回	**授業テーマ：研究対象の調査実施要領作成** 授業内容：事前調査を踏まえ、どのような内容の調査をすべきか、どのようなことに注意して調査すべきか、どのような手順で調査すべきかを考え、調査実施要領を作成する。 事前学修 2.0hr：調査実施要領の素案を作成する。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて調査実施要領の修正をする。	22回	**授業テーマ：研究対象の再生（建築物）・活性化（地域）の検討-1** 授業内容：研究対象に付随する諸条件を考慮して、研究対象の再生（建築物）・活性化（地域）を検討する。また、必要に応じて図面作成などを行う。 事前学修 2.0hr：研究対象の再生（建築物）・活性化（地域）に必要となる情報を収集する。 事後学修 2.0hr：収集したデータや作成した図面の整理を行う。

8回	**授業テーマ：研究対象の本調査** 授業内容：作成した調査実施要領を踏まえて、研究対象の本調査を実施する。 事前学修 2.0hr：本調査に向けた準備を行う。 事後学修 2.0hr：本調査で得た情報を整理する。	23回	**授業テーマ：研究対象の再生(建築物)・活性化(地域)の検討-2** 授業内容：研究対象に付随する諸条件を考慮して、研究対象の再生(建築物)・活性化(地域)を検討する。また、必要に応じて図面作成などを行う。 事前学修 2.0hr：研究対象の再生(建築物)・活性化(地域)に必要となる情報を収集する。 事後学修 2.0hr：収集したデータや作成した図面の整理を行う。
9回	**授業テーマ：調査データの整理** 授業内容：本調査で得られた情報やデータを授業で報告する。また、その情報やデータの整理を行う。 事前学修 2.0hr：調査写真の整理など、授業での報告準備をする。 事後学修 2.0hr：本調査で得られた情報やデータを整理する。	24回	**授業テーマ：研究対象の再生(建築物)・活性化(地域)の検討-3** 授業内容：研究対象に付随する諸条件を考慮して、研究対象の再生(建築物)・活性化(地域)を検討する。また、必要に応じて図面作成などを行う。 事前学修 2.0hr：研究対象の再生(建築物)・活性化(地域)に必要となる情報を収集する。 事後学修 2.0hr：収集したデータや作成した図面の整理を行う。
10回	**授業テーマ：研究対象が抱える課題の把握** 授業内容：研究対象が抱える課題を授業で報告する。また、その報告内容についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：研究対象が抱える課題を整理する。 事後学修 2.0hr：授業でのディスカッションを踏まえて情報を整理する。	25回	**授業テーマ：研究対象の提案書(ポスター)の作成-1** 授業内容：研究対象の再生・利活用方法(建築物)・活性化の仕組み(地域)をまとめたポスター(A1 判)を作成する。 事前学修 2.0hr：提案書(ポスター)作成にむけた準備をする。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて提案書(ポスター)を修正・補強をする。
11回	**授業テーマ：調査報告資料のまとめ-1** 授業内容：これまでの授業を踏まえて、研究対象の現況をまとめる。また、その中間報告を行う。 事前学修 2.0hr：調査資料をまとめる。 事後学修 2.0hr：調査資料を修正する。	26回	**授業テーマ：研究対象の提案書(ポスター)の作成-2** 授業内容：研究対象の再生・利活用方法(建築物)・活性化の仕組み(地域)をまとめたポスター(A1 判)を作成する。 事前学修 2.0hr：提案書(ポスター)作成、発表原稿の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて提案書(ポスター)の修正・補強をする。
12回	**授業テーマ：調査報告資料のまとめ-2** 授業内容：これまでの授業を踏まえて、研究対象の現況をまとめる。また、その中間報告を行う。 事前学修 2.0hr：調査資料をまとめる。 事後学修 2.0hr：調査資料を修正する。	27回	**授業テーマ：中間報告・ディスカッション** 授業内容：ここまでの成果の中間発表を行う。また、その内容についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：事前に発表練習をする。 事後学修 2.0hr：ディスカッションを踏まえて提案書(ポスター)の修正・補強をする。
13回	**授業テーマ：調査報告資料の発表-1** 授業内容：調査報告資料を授業で発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：事前に発表練習をする。 事後学修 2.0hr：授業でのディスカッションを踏まえて調査資料の修正・補完をする。	28回	**授業テーマ：提案書(ポスター)の修正** 授業内容：中間発表を踏まえて修正した提案書(ポスター)を発表する。また、その内容についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：中間発表を踏まえて提案書(ポスター)を修正する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションを踏まえて提案書(ポスター)を修正・補完する。
14回	**授業テーマ：調査結果の発表-2** 授業内容：調査報告資料を授業で発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：事前に発表練習をする。 事後学修 2.0hr：授業でのディスカッションを踏まえて調査資料の修正・補完する。	29回	**授業テーマ：提案書(ポスター)の発表会-1** 授業内容：最終成果として、提案書(ポスター)を発表する。 事前学修 2.0hr：事前に発表練習をする。 事後学修 2.0hr：発表を踏まえて提案書(ポスター)を補完する。
15回	**授業テーマ：中間まとめ** 授業内容：前学期に行った調査を振り返りる。また、今後、建物の再生方法や、地域活性化の仕組みを検討する上で、不足する情報が無いかを検証する。 事前学修 2.0hr：これまでに得た情報を整理する。 事後学修 2.0hr：研究対象の現況について、不足する情報を検証する。	30回	**授業テーマ：提案書(ポスター)の発表会-2** 授業内容：最終成果として、提案書(ポスター)を発表する。 また、これまでを振り返り、得られた知識・経験を今後に生かすための方策を検討する。 事前学修 2.0hr：事前に発表練習をする。 事後学修 2.0hr：発表を踏まえて提案書(ポスター)を補完する。また、他の学生の発表から得られた知見を整理する。

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

麻　剣英（ま　けんえい）

▌授業の概要

本ゼミは、不動産 DX をテーマに、さまざまなオープンデータを活用して不動産実務の業務効率化を図るための基礎力を養うことが目的とする。価格、防災、都市計画など多様な情報を一元的に確認できる不動産情報ライブラリや、PLATEAU（3D 都市モデル）を用いたシミュレーション、QGIS による地理情報分析の基本操作を学ぶ。これらの理解を深めることで、実務に必要な情報収集力と分析力を体系的に身につける。3 年次は基礎編として操作方法を習得し、4 年次は応用編として市場分析に取り組み、自ら課題を発見し解決策を検討する力を育成する。また、実践的演習を通じてデータ活用への理解を深め、学びを定着させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：オープンデータを活用した不動産調査資料の作成方法を修得し、それを実務的に応用できる能力を養う。

個別目標：1．リサーチの能力を身につける。
2．各種オープンデータを適切に活用し、その利用方法を他者に分かりやすく説明できるようになる。
3．GIS を用いて、目的に応じた地図を作成できるようになる。
4．プレゼンテーションの能力を身につける。

▌履修条件

原則として全授業に出席し、積極的に授業に参加すること。

▌評価基準・方法

原則として、全授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業内における参加姿勢及び発言等 50 %、課題完成度 50 %。

▌フィードバック方法

フィードバックは、次回の講義の冒頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地理情報システムの操作、地図作成など。）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて、講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：趣旨説明、自己紹介。 事前学修 2.0hr：不動産 DX、オープンデータの活用についてどう思っているかを考える。 事後学修 2.0hr：講義中のディスカッションに基づいてオープンデータの活用について調べる。	16 回	**授業テーマ：人口動態を確認する** 授業内容：「jSTAT MAP（地図で見る統計）」の使い方を紹介する。 事前学修 2.0hr：「jSTAT MAP（地図で見る統計）」について調べる。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
2 回	**授業テーマ：3D 都市モデル「PLATEAU」の紹介** 授業内容：「PLATEAU」の概要と基本的な操作方法を扱う。 事前学修 2.0hr：PLATEAU について調べる。活用方法を考える。 事後学修 2.0hr：PLATEAU を使ってみる。	17 回	**授業テーマ：観光マップ・マーケティングマップ等を確認する** 授業内容：地域経済分析システム「RESAS」の使い方を紹介する。 事前学修 2.0hr：地域経済分析システム「RESAS」について調べる 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
3 回	**授業テーマ：3D 都市モデル「PLATEAU」の応用-1** 授業内容：日照環境・眺望状況の確認方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日照や眺望の確認方法を調べる。 事後学修 2.0hr：講義で紹介した方法を実践する。	18 回	**授業テーマ：点群データを用いて建物を計測する-1** 授業内容：東京都デジタルツイン 3D ビューア・点群処理ソフトウェア「CloudCompare」の使い方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
4 回	**授業テーマ：3D 都市モデル「PLATEAU」の応用-2** 授業内容：災害リスクの確認方法を解説する。 事前学修 2.0hr：災害リスクの確認方法を調べる。 事後学修 2.0hr：講義で紹介した方法を実践する。	19 回	**授業テーマ：点群データを用いて建物を計測する-2** 授業内容：東京都デジタルツイン 3D ビューア・点群処理ソフトウェア「CloudCompare」の使い方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
5 回	**授業テーマ：国土地理院地図の応用** 授業内容：最寄り駅までの経路は坂道であるかどうかの確認方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：国土地理院地図について調べる。 事後学修 2.0hr：講義で紹介した方法を実践する。	20 回	**授業テーマ：地番を確認する** 授業内容：QGIS の使い方を簡単に紹介し、地番の確認方法を解説する。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、QGIS をインストールする。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
6 回	**授業テーマ：「犯罪情報マップ」・「リアルタイム被害予測ウェブサイト」** 授業内容：地域の治安状況・災害によるリアルタイムの被害予測の確認方法を解説する。 事前学修 2.0hr：犯罪情報や災害の被害情報を確認する方法について調べる。 事後学修 2.0hr：講義で紹介した方法を実践する。	21 回	**授業テーマ：液状化危険度マップを作成する-1** 授業内容：QGIS を用いて地区の液状化危険度マップの作成方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
7 回	**授業テーマ：地理情報システムについて-1** 授業内容：都市計画区域、災害危険区域等の確認方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：自分が住んでいるまちの都市計画情報マップなどを調べる。 事後学修 2.0hr：物件情報サイトに募集している物件を事例として、講義で紹介した方法を実践する。	22 回	**授業テーマ：液状化危険度マップを作成する-2** 授業内容：QGIS を用いて地区の液状化危険度マップの作成方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
8 回	**授業テーマ：地理情報システムについて-2** 授業内容：防災街区整備地区計画の区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域等の確認方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：自分が住んでいるまちのハザードマップを調べる。 事後学修 2.0hr：物件情報サイトに募集している物件を事例として、講義で紹介した方法を実践する。	23 回	**授業テーマ：用途地域内の浸水想定区域マップを作成する-1** 授業内容：QGIS を用いて用途地域内の浸水想定区域の確認方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。

9回	**授業テーマ：環境アセスメントデータベース “EADAS” について-1** 授業内容：歴史的風土保存区域、景観地区、自然公園区域等の確認方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：環境アセスメントデータベース “EADAS” を調べる。どんなことができるかを考える。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。	24回	**授業テーマ：用途地域内の浸水想定区域マップを作成する-2** 授業内容：QGIS を用いて用途地域内の浸水想定区域の確認方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
10回	**授業テーマ：「環境アセスメントデータベース “EADAS” について-2** 授業内容：再生可能エネルギー情報、全国 CO2 推計量メッシュマップ等の確認方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：環境アセスメントデータベースでも防災関連情報を確認できるが、ハザードマップとの違いを調べる。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。	25回	**授業テーマ：通学・通勤情報マップを作成する-1** 授業内容：QGIS を用いて通学・通勤情報マップを作成する。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
11回	**授業テーマ：「東京ソーラー屋根台帳」と「再生可能能エネルギー情報提供システム」について** 授業内容：ポテンシャル情報の確認方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：ポテンシャル情報について調べる。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。	26回	**授業テーマ：通学・通勤情報マップを作成する-2** 授業内容：QGIS を用いて通学・通勤情報マップを作成する。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
12回	**授業テーマ：「不動産情報ライブラリ」の紹介** 授業内容：不動産情報ライブラリを活用して、物件調査資料を作成する。 事前学修 2.0hr：不動産情報ライブラリについて調べて、どんなことができるかを考える。 事後学修 2.0hr：物件情報サイトに募集している物件を事例として、講義で紹介した方法を実践する。	27回	**授業テーマ：人口構造マップの作成-1** 授業内容：QGIS を用いて将来推計人口・人口の年齢構成マップを作成する。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
13回	**授業テーマ：「不動産情報ライブラリ」の応用** 授業内容：不動産情報ライブラリのデータをダウンロードして、活用方法を例示する。 事前学修 2.0hr：不動産情報ライブラリからダウンロードできるデータを調べる。応用できる場面を考える。 事後学修 2.0hr：講義で例示した活用方法を実践する。	28回	**授業テーマ：人口構造マップの作成-2** 授業内容：QGIS を用いて将来推計人口・人口の年齢構成マップを作成する。 事前学修 2.0hr：参考資料を読み込んで、作業手順を把握する。 事後学修 2.0hr：講義中紹介した方法を実践する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション 1** 授業内容：お部屋探しのお客様が来店する場面を想定して、不動産業者の営業担当として、オープンデータを活用した営業のロールプレイングを行う。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備。 事後学修 2.0hr：講義中の議論を踏まえ、発表資料の見直しをする。	29回	**授業テーマ：プレゼンテーション 3** 授業内容：これまで学習した内容を用いて、物件調査資料を作成して、発表する。 事前学修 2.0hr：利用するデータを確認し、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：講義中の議論を踏まえ、発表資料の見直しをする。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション 2** 授業内容：お部屋探しのお客様が来店する場面を想定して、不動産業者の営業担当として、オープンデータを活用した営業のロールプレイングを行う。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備。 事後学修 2.0hr：講義中の議論を踏まえ、発表資料の見直しをする。	30回	**授業テーマ：プレゼンテーション 4** 授業内容：これまで学習した内容を用いて、物件調査資料を作成して、発表する。 事前学修 2.0hr：利用するデータを確認し、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：講義中の議論を踏まえ、発表資料の見直しをする。

不動産学研究

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

前島　彩子（まえしま　あやこ）

▌授業の概要

本ゼミでは、建築構法、建築生産の視点から、不動産の供給、維持、改修のあり方、その経済社会との関係性への理解を深める。
具体的には①構法模型の作成を通して、図面の読み取り、適切な部材検討に基づく作図、成果物の安定性の確認を経験的に理解する。ここで学修した内容は、各自で CG 等のビジュアルなプレゼン資料にまとめる。②原寸大の空間リフォームを通して、必要な寸法情報や部材の流通形態のあり方を学び、実測や部材の収め方、品質確保のポイントや空間の変化を経験的に学ぶ。
④エリアマネジメントの視察、ヒアリングにより、社会における実現のありかたに触れる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：建築物の実体とそれを下支えする技術や建築生産体制に着目して、特定の建物やエリアの特徴を分析する力を養う。
　　不動産の供給、維持、改修における、建築構法、建築生産の特性の違いを指摘できる力を養う。
個別目標：具体的な建物やエリアについて、建築技術および生産体制の特徴を指摘できる。
　　不動産の供給、維持、改修において、建築構法、生産体制の違いに応じた提案・取捨選択ができる。

▌履修条件

建物や都市空間に興味関心を持ち、その背景や課題について意識的に考え取り組むこと。

▌評価基準・方法

制作活動等の協力・貢献、向上心をもった取組、成果物を総合的に判断する。
無断での欠席、遅刻は厳禁。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、発表会、manaba、面談で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ学修、フィールドワーク、模型作成、DIY 工事体験）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word、図面作成ソフト等を搭載したノートパソコンを持参する。）

▌教科書

なし(必要に応じて資料を配布する)。

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の全体像を確認する 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習	16 回	**授業テーマ：不動産の生産トピックに関する意見交換＜ BIM/VR ＞** 授業内容：BIM や VR に関わる最近の取組について記事やニュースで情報収集し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：自分の意見をまとめておく 事後学修 2.0hr：他者の意見を考察する
2 回	**授業テーマ：構法模型の制作【縮尺、基準線】** 授業内容：縮尺や基準線について学修する 事前学修 2.0hr：対象建物について考える 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	17 回	**授業テーマ：構法模型のプレゼン【内容検討】** 授業内容：構法模型製作を通じて確認できた点を各自で整理し、効果的な伝え方を検討する。 事前学修 2.0hr：プレゼン内容を検討する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
3 回	**授業テーマ：構法模型の制作【読図】** 授業内容：伏図、軸組図の読み取り方を学修する 事前学修 2.0hr：図面の読み取り 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	18 回	**授業テーマ：構法模型のプレゼン【CG 等作成】** 授業内容：CG 作成、操作手法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：プレゼン資料を準備する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
4 回	**授業テーマ：構法模型の制作【作図】** 授業内容：不足している部分の図面を作成する。 事前学修 2.0hr：作図について検討する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	19 回	**授業テーマ：構法模型のプレゼン【CG 等作成】** 授業内容：CG 作成、操作手法を練習する。 事前学修 2.0hr：プレゼン資料を準備する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
5 回	**授業テーマ：不動産の生産トピックに関する意見交換＜建設現場＞** 授業内容：建築工事現場の視察 事前学修 2.0hr：自分の意見をまとめておく 事後学修 2.0hr：他者の意見を参考にして考察を深める	20 回	**授業テーマ：構法模型のプレゼン【発表】** 授業内容：構法模型製作を通じて確認できた点をプレゼン資料にまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：不足部分の修正
6 回	**授業テーマ：構法模型の制作【基礎】** 授業内容：基礎部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	21 回	**授業テーマ：不動産の生産トピックに関する意見交換＜エリアマネジメント・視察準備＞** 授業内容：エリア単位で、築古物件を改修してエリアの魅力向上につなげている事例の状況を調べる。 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：現地調査の準備
7 回	**授業テーマ：構法模型の制作【土台】** 授業内容：土台部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	22 回	**授業テーマ：不動産の生産トピックに関する意見交換＜エリアマネジメント・視察＞** 授業内容：現地視察により、築古物件の課題に対する対応策を建築生産の側面から理解する。 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：現地で得られた情報の整理
8 回	**授業テーマ：構法模型の製作【壁】** 授業内容：軸組部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	23 回	**授業テーマ：リフォーム【先行事例】** 授業内容：DIY による不動産価値向上の取組事例、先行研究をレビューする。 事前学修 2.0hr：先行事例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
9 回	**授業テーマ：構法模型の製作【壁】** 授業内容：軸組部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	24 回	**授業テーマ：リフォーム【下準備】** 授業内容：身の回りの空間から、空間改善が求められる場所を抽出し、条件等を整理する。 事前学修 2.0hr：リフォーム目的の抽出 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う

10回	**授業テーマ：構法模型の製作【壁】** 授業内容：軸組部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	25回	**授業テーマ：リフォーム【実測】** 授業内容：対象とする空間の計測を行う。 事前学修 2.0hr：必要な寸法情報の抽出 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
11回	**授業テーマ：構法模型の製作【壁】** 授業内容：軸組部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	26回	**授業テーマ：不動産の生産トピックに関する意見交換＜再開発＞** 授業内容：都心部の再開発事例を視察し、法制度、資金、設計技術等の各側面に近年の不動産トピックがどう適応されているかを学修する。 事前学修 2.0hr：視察事例について調べる。 事後学修 2.0hr：視察を振り返り、不動産業の多様な関わりを整理する。
12回	**授業テーマ：構法模型の製作【屋根】** 授業内容：小屋部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	27回	**授業テーマ：リフォーム【計画】** 授業内容：計測に基づき、目的・条件に適したリフォーム計画を検討する。 事前学修 2.0hr：目的・条件に適した計画をピックアップする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
13回	**授業テーマ：構法模型の製作【屋根】** 授業内容：小屋部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	28回	**授業テーマ：リフォーム【予算検討】** 授業内容：計画に合わせて、使用する機器・材料を整理し、入手経路や予算を確認する。 事前学修 2.0hr：使用材料、入手可能性の検討 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う
14回	**授業テーマ：構法模型の製作【屋根】** 授業内容：小屋部分の部材名称・働きを確認しながら、制作を行う 事前学修 2.0hr：必要材料・部材の確認 事後学修 2.0hr：構法模型の完成	29回	**授業テーマ：リフォーム【実施】** 授業内容：リフォーム作業を行う。 事前学修 2.0hr：作業の確認 事後学修 2.0hr：改善事項の検討
15回	**授業テーマ：前期ゼミのまとめ** 授業内容：模型を完成させ、成果物のプレゼン方法について検討する。 事前学修 2.0hr：授業中に指示する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り次回への準備を行う	30回	**授業テーマ：総括** 授業内容：ゼミ活動を振り返り、今後の学修・進路への展開について意見交換する。 事前学修 2.0hr：ゼミ活動を振り返る 事後学修 2.0hr：ゼミ活動の展開を検討する

不動産学研究

開講学科等：不　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通　｜　備考：2024 年度以前入学生

山本　卓（やまもと　たかし）

▌授業の概要

本ゼミでは、「不動産と会計・経営」をテーマにして、会社の経営や会計を中心に学ぶ。近年、不動産の会計は大きく変化しており、企業経営にも大きな影響を与えている。そこで、本ゼミでは、前期において財務諸表分析の標準的テキストを輪読する。さらに、後期では、参加者それぞれが自由に研究テーマを設定し、レポートの作成を行う。後期授業では、参加者の研究テーマに関するプレゼンと教員による不動産会計・経営に関する講義がミックスされる予定である。これらを通じて、近年重要性が高まっている企業不動産戦略 (CRE) に対する理解を深めるものとする。また、必要があれば不動産鑑定士試験 (鑑定理論、会計学) や大学院進学等のフォローも行いたいと考えている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産のビジネスにかかる不動産事業経営、不動産企業経営を適切に行うために必要となる知識と技能を身につける。
個別目標：本ゼミの個別目標は以下のとおりである。

- 会計・経営分析の基礎を確かなものにし、それを説明できる。
- 企業不動産戦略 (CRE) の理解を深め、それを説明できる。
- 専門テーマについて独力で情報や資料を調査し、それに基づき適切な内容のレポートを作成できる。
- 専門テーマについて、説得性の高いプレゼンができる。

▌履修条件

不動産と会計・経営に関連する問題意識を持っている人

▌評価基準・方法

課題 50%、レポート 50%として、到達目標の達成度に基づきを総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自分自身の研究テーマの発表、質疑応答が予定されている。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワード、パワーポイントを利用する。）

▌教科書

桜井久勝『財務諸表分析』中央経済社

▌参考書

山本卓『企業不動産読本』KEN 不動産研究　山本卓『不動産会計と経営行動』創成社　　山本卓『財務情報と企業不動産分析』創成社
山本卓『企業不動産の会計と環境』創成社　　山本卓『投資不動産会計と公正価値評価』創成社
山本卓編著『グローバル社会と不動産価値』創成社　山本卓『ストック型社会への企業不動産分析』創成社　徳賀芳弘『京都企業の分析』中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本ゼミの趣旨説明、参加者の自己紹介等を行う。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本ゼミに期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：レポートの研究テーマを考える。	16 回	**授業テーマ：レポートの書き方、プレゼンの行い方** 授業内容：教員がレポートの書き方、プレゼンの行い方の講義を行い、理解を確実にするため質疑応答を行う。 事前学修 2.0hr：レポートの大まかな下書きを準備する。 事後学修 2.0hr：レポート作成の具体的方向性を固める。
2 回	**授業テーマ：会計の制度** 授業内容：教員が資料を提示し、ゼミ活動を行う上で、基礎となる企業会計の概要を学ぶ。そのうえで、各自の問題意識と関連づけるよう指導する。 事前学修 2.0hr：ゼミの論点に対する考え方をまとめる。 事後学修 2.0hr：配布資料を再読する。	17 回	**授業テーマ：教員による講義「CRE とは」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「CRE とは」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
3 回	**授業テーマ：会計と経営** 授業内容：教員が資料を提示し、ゼミ活動を行う上で、基礎となる、会計制度と企業経営との関係性を学ぶ。そのうえで、各自の問題意識と関連づけるよう指導する。 事前学修 2.0hr：ゼミの論点に対する考え方をまとめる。 事後学修 2.0hr：配布資料を再読する。	18 回	**授業テーマ：教員による講義「固定資産再評価」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「固定資産再評価」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
4 回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 1 章及び第 2 章)** 授業内容：企業会計の経済社会における役立ちを学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	19 回	**授業テーマ：教員による講義「減損会計」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「減損会計」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
5 回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 3 章「貸借対照表の見方」)** 授業内容：貸借対照表の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	20 回	**授業テーマ：教員による講義「投資不動産会計」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「投資不動産会計」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
6 回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 4 章「損益計算書の見方」)** 授業内容：損益計算書の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	21 回	**授業テーマ：教員による講義「資産除去債務」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「資産除去債務」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
7 回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 5 章「キャッシュフロー計算書の見方」)** 授業内容：キャッシュフロー計算書の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	22 回	**授業テーマ：教員による講義「不動産評価の基礎」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「不動産評価の基礎」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
8 回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 6 章「会計方針の注記」)** 授業内容：会計方針の注記の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	23 回	**授業テーマ：教員による講義「不動産公正価値」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「不動産公正価値」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。

9回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 7 章「分析の視点と方法」)** 授業内容：会計情報の分析の視点と方法の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	24回	**授業テーマ：教員による講義「CRE 分析 (財務データ)」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「CRE 分析 (財務データ)」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
10回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 8 章「収益性の分析」)** 授業内容：収益性の分析の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	25回	**授業テーマ：教員による講義「CRE 分析(株価データ)」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「CRE 分析 (株価データ) 」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
11回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 9 章「生産性の分析」)** 授業内容：生産性の分析の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	26回	**授業テーマ：教員による講義「環境経営と企業不動産」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「環境経営と企業不動産」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
12回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 10 章「安全性の分析」)** 授業内容：安全性の分析の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	27回	**授業テーマ：教員による講義「M&A と企業不動産」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「M & A と企業不動産」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
13回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 11 章「不確実性によるリスクの分析」)** 授業内容：不確実性によるリスクの分析の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	28回	**授業テーマ：教員講義「コーポレート・ガバナンス」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「コーポレート・ガバナンス」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
14回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 12 章「成長性の分析」)** 授業内容：成長性の分析の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	29回	**授業テーマ：教員講義「ガバナンスと企業不動産効率性」、学生によるプレゼン** 授業内容：授業時間の前半は、教員が「ガバナンスと企業不動産効率性」についての講義を行い、後半はゼミ参加者による各自のレポート作成の進捗報告を行う。 事前学修 2.0hr：担当者はプレゼンの準備を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、レポート作成の参考とする。
15回	**授業テーマ：教科書の輪読(第 13 章「投資意思決定有用性」)** 授業内容：投資意思決定有用性の意義や役割を学び、基礎論点について議論する。 事前学修 2.0hr：担当者は、レジメの作成を行い、他の者は質問内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を熟読し、理解を確かなものとする。	30回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：1 年間の活動を締めくくり、ゼミ参加者全員が各自のレポートについてプレゼンを行う。 事前学修 2.0hr：今までのゼミを振り返り疑問点等を準備する。 事後学修 2.0hr：レポートの完成に向けて最終的な作業を行う。

担保物権法

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

勝田　信篤（かつた　のぶひろ）

▌授業の概要

民法は市民生活を規律する基本法であり、総則・物権・債権・親族・相続の 5 編からなる。この講義はその中でも物権法の一部分をなす担保物権を講義する。担保物権とは、一定の物を債権の担保に供することを目的とする物権であり、民法上規定される典型担保(留置権・先取特権・質権・抵当権)とそれ以外の担保としての非典型担保(譲渡担保・仮登記担保等)がある。しかし、その範囲も広いので重要なテーマを幾つかピックアップして、事例を交えながら解説する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：担保物権法の基本概念、考え方が理解できるようになり、民法全般の理解が深まる。
個別目標：宅地建物取引士資格試験など各種試験に対応できるようになる。

▌履修条件

財産法の基礎、物権法をすでに履修しているか、併せて履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

原則、期末試験(100 %)に基づき評価する。ただし、中間試験、平常点(10 %)を救済用に利用する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提とし、欠席や授業態度の悪い場合には減点する。

▌フィードバック方法

授業、manaba を通して、学生さんから質問を受け、問題点のキャッチボールを繰り返していく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

既に担保物権法のテキストを持っている人は、それを使ってください。
ない人は、参考書に挙げたテキストを入手してください。
六法(どの出版社のものでもよい。ただし、令和 8 年版。選択に悩む場合は、相談してください。)
授業時には、必ず持参のこと。
また、判例・解説・書き込みのある六法は試験時に持ち込めません。

▌参考書

淡路剛久・鎌田薫・原田純孝・生熊長幸『民法Ⅱ物権(第 5 版)』有斐閣 S シリーズ(2090 円)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：民法全体の中での担保物権法の位置づけ** 授業内容：民法全体の中での担保物権法の位置づけについて、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：民法全体の中での担保物権法の位置づけについて、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：民法全体の中での担保物権法の位置づけについて、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
2回	**授業テーマ：抵当権と質権の違い** 授業内容：抵当権と質権の違いについて、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：抵当権と質権の違いについて、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：抵当権と質権の違いについて、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
3回	**授業テーマ：留置権と先取特権** 授業内容：留置権と先取特権について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：留置権と先取特権について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：留置権と先取特権について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
4回	**授業テーマ：抵当権の特徴①～③** 授業内容：抵当権の特徴①～③について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：抵当権の特徴①～③について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：抵当権の特徴①～③について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
5回	**授業テーマ：抵当権の特徴④～⑦** 授業内容：抵当権の特徴④～⑦について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：抵当権の特徴④～⑦について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：抵当権の特徴④～⑦について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
6回	**授業テーマ：根抵当権** 授業内容：根抵当権について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：根抵当権について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：根抵当権について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
7回	**授業テーマ：抵当権の効力の及ぶ範囲①従物②付合物③分離物** 授業内容：抵当権の効力の及ぶ範囲①従物②付合物③分離物について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：抵当権の効力の及ぶ範囲①従物②付合物③分離物について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：抵当権の効力の及ぶ範囲①従物②付合物③分離物について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
8回	**授業テーマ：抵当権の効力の及ぶ範囲④従たる権利** 授業内容：抵当権の効力の及ぶ範囲④従たる権利について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：抵当権の効力の及ぶ範囲④従たる権利について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：抵当権の効力の及ぶ範囲④従たる権利について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。

9回	**授業テーマ：法定地上権** 授業内容：法定地上権について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：法定地上権について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：法定地上権について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
10回	**授業テーマ：抵当権消滅請求** 授業内容：抵当権消滅請求について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：抵当権消滅請求について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：抵当権消滅請求について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
11回	**授業テーマ：抵当権に基づく物権的請求権** 授業内容：抵当権に基づく物権的請求権について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：抵当権に基づく物権的請求権について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：抵当権に基づく物権的請求権について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
12回	**授業テーマ：不動産質権、動産質権** 授業内容：不動産質権、動産質権について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：不動産質権、動産質権について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：不動産質権、動産質権について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
13回	**授業テーマ：債権質** 授業内容：債権質について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：債権質について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：債権質について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
14回	**授業テーマ：譲渡担保** 授業内容：譲渡担保について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：譲渡担保について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：譲渡担保について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。
15回	**授業テーマ：所有権留保** 授業内容：所有権留保について、具体例を挙げて説明する。 事前学修 2.0hr：所有権留保について、テキストを読む。 事後学修 2.0hr：所有権留保について、ノートを見ながら、授業内容を再現する。疑問点があれば、まず、テキスト、参考書等で調べる。それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。

債権法

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：前 2 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

勅使河原　由紀（てしがはら　ゆき）・**藤田　有紀**（ふじた　ゆき）

▌授業の概要

債権は、特定の人(債権者)が、特定の人(債務者)に対して、一定の行為を求める民法上の権利である。本講義では、債権の内容や効力等を規定する「債権総論」と、債権の発生原因(契約、不当利得、事務管理、不法行為)を規定する「債権各論」によって構成される民法第三編の「債権法」について、不動産取引にとって重要となる部分に重きを置いて解説するとともに、契約や損害賠償等といった日常生活で何気なく利用されている身近な事由についても、債権法の観点から解説していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：債権の発生には何が必要か、生じた債権の具体的な内容と効力、そして、債権の発生から消滅までの流れ、を理解する。また、修得した基礎知識の下で、日常生活における契約等の債権発生事由やそこから生じる身近な問題を債権法の観点から捉え、その法的解決が自ら可能となるような法的判断力・思考力・表現力を修得する。

個別目標：(1)債権・債務がどのようなものかを正確に理解し、それを説明できる。
(2)契約に関する基礎知識を習得し、それを説明できる。
(3)債権法に係る問題が自分に生じた場合に、その法的解決の方向性を見出すことができる。
(4)不動産をめぐる債権法上の諸問題について、債権法の知識に裏付けられた自分の考えを述べることができる。

▌履修条件

財産法の基礎、物権法、担保物権法を履修済または履修中であることが望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト 3 回、定期テスト 1 回、合計 4 回のテストを実施。
各回 25 点、計 100 点満点として評価。
その他、授業内における参加姿勢等を加点評価事由として考慮。

▌フィードバック方法

授業内や授業前後の質疑応答、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （一部についてディベートやケーススタディを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

池田真朗著「スタートライン債権法」〔第 7 版〕日本評論社(2020 年)、『六法』(ポケット六法など)

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義の進め方、成績評価方法、単位修得条件、講義資料やテキストの利用方法等について説明する。 事前学修 2.0hr：必要なテキストや六法を購入し、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：六法において民法がどこに規定されているかを確認し、民法の目次で民法の構成を捉えておく。	16回	**授業テーマ：賃貸借契約①〔債権各論〕** 授業内容：賃貸借契約の意義、賃貸人と賃借人の義務、賃貸借契約の終了、契約当事者の変更について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 15 回・第 16 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
2回	**授業テーマ：債権法とは何か？** 授業内容：社会における法の位置づけを学び、法とは何か？ 民法とは何か？ 債権法とは何か？ を順に解説していく。 事前学修 2.0hr：六法において債権法が民法のどこに規定されているかを確認し、民法の目次で債権法の構成を捉えておく。 事後学修 2.0hr：第 1 回・第 2 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	17回	**授業テーマ：賃貸借契約②〔債権各論〕** 授業内容：賃貸借契約の意義、賃貸人と賃借人の義務、賃貸借契約の終了、契約当事者の変更について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 17 回・第 18 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
3回	**授業テーマ：債権・債務の分類①〔債権総論〕** 授業内容：債権・債務の定義を確実に覚え、債権の目的を学ぶ。 事前学修 0.5hr：自分が経験した債権・債務について考えてみる。 事後学修 2.0hr：第 3 回・第 4 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	18回	**授業テーマ：事務管理、不当利得、不法行為〔債権各論〕** 授業内容：事務管理と不当利得について概説した上で、一般的不法行為と特殊的不法行為について解説していく。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 4.0hr：第 17 回・第 18 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。第 2 回中間テストに向けてこれまでの総まとめをする。
4回	**授業テーマ：債権・債務の分類②〔債権総論〕** 授業内容：債権・債務の各分類について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 3 回・第 4 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	19回	**授業テーマ：債権の基本的効力と現実的履行の強制〔債権総論〕** 授業内容：債権が有する基本的効力とは何か、その効力の 1 つである強制履行とは何かについて解説する。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 19 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
5回	**授業テーマ：契約と約款①〔債権各論〕** 授業内容：契約の意義、契約の成立、約款について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 5 回・第 6 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	20回	**授業テーマ：第 2 回中間テスト** 授業内容：第 1 回から第 18 回までの講義内容について中間テストを実施する。 事前学修 4.0hr：第 1 回から第 18 回までの講義資料とテキストを読み返し、内容を理解する。 事後学修 2.0hr：第 2 回中間テストの問題を再度解き直してみる。
6回	**授業テーマ：契約と約款②〔債権各論〕** 授業内容：契約の意義、契約の成立、約款について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 5 回・第 6 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	21回	**授業テーマ：債務不履行と受領遅滞〔債権総論〕** 授業内容：債務不履行の態様、債務不履行に基づく損害賠償、受領遅滞について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 21 回・第 22 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
7回	**授業テーマ：契約の効力①〔債権各論〕** 授業内容：「同時履行の抗弁権」「危険負担」「第三者のためにする契約」について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 7 回・第 8 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	22回	**授業テーマ：債権の対外的効力①〔債権総論〕** 授業内容：「債権者代位権」とその転用について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 21 回・第 22 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。

8回	**授業テーマ：契約の効力②〔債権各論〕** 授業内容：「同時履行の抗弁権」「危険負担」「第三者のためにする契約」について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 7 回・第 8 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	23回	**授業テーマ：債権の対外的効力②〔債権総論〕** 授業内容：「詐害行為取消権」について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 23 回・第 24 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
9回	**授業テーマ：契約の解除①〔債権各論〕** 授業内容：解除の意義と種類、法定解除の発生要件、解除権の消滅、解除の効果について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 9 回・第 10 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	24回	**授業テーマ：多数当事者間の債権債務関係①〔債権総論〕** 授業内容：「分割債権」「分割債務」「不可分債権」「不可分債務」について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 4.0hr：第 23 回・第 24 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。第 3 回中間テストに向けてこれまでの総まとめをする。
10回	**授業テーマ：契約の解除②〔債権各論〕** 授業内容：解除の意義と種類、法定解除の発生要件、解除権の消滅、解除の効果について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 4.0hr：第 9 回・第 10 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。第 1 回中間テストに向けてこれまでの総まとめをする。	25回	**授業テーマ：多数当事者間の債権債務関係②〔債権総論〕** 授業内容：「連帯債権」「連帯債務」について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 25 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
11回	**授業テーマ：契約各論総説〔債権各論〕** 授業内容：典型契約の種類と各特徴、相違点について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 11 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	26回	**授業テーマ：第 3 回中間テスト** 授業内容：第 1 回から第 23 回までの講義内容について中間テストを実施する。 事前学修 4.0hr：第 1 回から第 23 回までの講義資料とテキストを読み返し、内容を理解する。 事後学修 2.0hr：第 3 回中間テストの問題を再度解き直してみる。
12回	**授業テーマ：第 1 回中間テスト** 授業内容：第 1 回から第 10 回までの講義内容について中間テストを実施する。 事前学修 4.0hr：第 1 回から第 10 回までの講義資料とテキストを読み返し、内容を理解する。 事後学修 2.0hr：第 1 回中間テストの問題を再度解き直してみる。	27回	**授業テーマ：多数当事者間の債権債務関係③〔債権総論〕** 授業内容：「保証債務」「不真正連帯債務」について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 27 回・第 28 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
13回	**授業テーマ：売買契約①〔債権各論〕** 授業内容：売買契約の意義、予約と手付、売主と買主の義務、売主の担保責任について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 13 回・第 14 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	28回	**授業テーマ：債権譲渡①〔債権総論〕** 授業内容：債権譲渡の意義・機能・法的性質、債権の譲渡性と制限、債権譲渡の対抗要件について学ぶ。また、「債務引受」「 履行引受」「契約引受」についても概説する。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 27 回・第 28 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
14回	**授業テーマ：売買契約②〔債権各論〕** 授業内容：売買契約の意義、予約と手付、売主と買主の義務、売主の担保責任について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 13 回・第 14 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	29回	**授業テーマ：債権譲渡②〔債権総論〕** 授業内容：債権譲渡の意義・機能・法的性質、債権の譲渡性と制限、債権譲渡の対抗要件について学ぶ。また、「債務引受」「履行引受」「契約引受」についても概説する。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 29 回・第 30 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。
15回	**授業テーマ：請負契約〔債権各論〕** 授業内容：請負契約の意義、請負人と注文者の義務、特殊な解除権について学ぶ。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 2.0hr：第 15 回・第 16 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。	30回	**授業テーマ：債権の消滅〔債権総論〕** 授業内容：債権の消滅原因について、その種類と各特徴を概説する。 事前学修 0.5hr：六法を確認し、該当条文を読んでくる。 事後学修 4.0hr：第 29 回・第 30 回で配布した講義資料とテキストの該当箇所を読み返す。定期テストに向けて総まとめをする。

土地と住宅の経済学

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

小俣　幸子（おまた　ゆきこ）

▌授業の概要

不動産学部での専門分野である都市・地域経済学の入門として，日本の土地住宅問題を概観し，土地・住宅市場と政策の関係をミクロ経済学を用いて検討する．本科目では土地・住宅市場の諸政策に関する余剰分析など不動産学部の経済系科目の基礎となる内容を学ぶため．1 年次の経済系必修科目を履修後．2，3年次に開講される他の経済系科目への導入的な位置づけの科目となる．

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：生涯で一番高い買い物の不動産(土地や住宅)の市場を経済学的に考え，土地・住宅政策がもたらす影響を考察できるようになること．
個別目標：(1) 土地・住宅政策の余剰分析ができるようになること．
(2) 不動産市場特有の外部性問題を説明できるようになること．

▌履修条件

本科目は，ミクロ経済学の知識を前提とした応用科目であるため，「ミクロ経済学」の単位を修得済みであることが望ましい．

▌評価基準・方法

講義中に実施する演習・小テスト 60 %，期末試験 40 %で評価する．詳細は初回講義時に説明するので，必ず出席すること．

▌フィードバック方法

フィードバックは、翌週の授業冒頭で行う．

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義内容を踏まえて、講義内でディスカッションをする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しない．レジュメ等を manaba で配布するので，各自ダウンロードして持参すること．レジュメを持参しない学生は出席を認めない．

▌参考書

山崎福寿・浅田義久,『都市経済学』，日本評論社，2008.
山崎福寿・中川雅之,『経済学で考える　人口減少時代の住宅土地問題』，東洋経済新報社，2020.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要、講義資料の提供、成績評価などの授業ガイダンスを実施する。1 年生時に履修したミクロ経済学の復習をする。 事前学修 4.0hr：過去のミクロ経済学のレジュメを読み返し，例題や小テストに再度取り組み復習する 事後学修 4.0hr：過去のミクロ経済学のレジュメを読み返し，例題や小テストに再度取り組み復習する
2回	**授業テーマ：不動産市場分析のためのミクロ経済基礎(需要と供給，市場均衡)** 授業内容：1 年生時に履修したミクロ経済学の復習(需要と供給、市場均衡)をする。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「需要と供給，市場均衡」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「需要と供給，市場均衡」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
3回	**授業テーマ：不動産市場分析のためのミクロ経済基礎(余剰分析の考え方)** 授業内容：1 年生時に履修したミクロ経済学の復習(余剰分析の考え方)をする。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「余剰分析の考え方」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「余剰分析の考え方」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
4回	**授業テーマ：不動産市場分析のためのミクロ経済基礎(政策分析の考え方)** 授業内容：1 年生時に履修したミクロ経済学の復習(政策分析の考え方)をする。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「政策分析の考え方」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「政策分析の考え方」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
5回	**授業テーマ：日本の都市問題－日本の都市で何が問題か** 授業内容：日本の都市問題について経済学的観点から考える。日本の住宅市場の特徴についてデータに基づいて学修する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「日本の都市で何が問題か」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「日本の都市で何が問題か」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
6回	**授業テーマ：住宅政策の経済学的分析 1（家賃補助政策）** 授業内容：政府が土地・住宅問題に介入する理由について考えた上に、家賃補助政策の余剰分析について学修する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「家賃補助政策」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「家賃補助政策」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
7回	**授業テーマ：住宅政策の経済学的分析 2（公共住宅供給政策）** 授業内容：日本の公共住宅供給政策の現状を把握し、公共住宅供給政策の余剰分析について学修する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「公共住宅供給政策」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「公共住宅供給政策」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
8回	**授業テーマ：住宅政策の経済学的分析 3（借地借家法）** 授業内容：日本の借地借家法の背景を把握し、借地借家法の余剰分析について学修する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「借地借家法」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「借地借家法」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
9回	**授業テーマ：住宅政策の経済学的分析 4（住宅のテニアチョイス）** 授業内容：住宅市場におけるプリンシパル・エージェント問題とエージェンシー・コストについて学修した上に、住宅を自分が使用するか他人に貸すかのテニュアチョイス問題について考える。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「住宅のテニアチョイス」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「住宅のテニアチョイス」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
10回	**授業テーマ：住宅政策の経済学的分析 5（住宅の品質確保；情報の非対称性）** 授業内容：住宅市場における情報の非対称性の問題について学修した上に、日本の住宅市場における品質確保について考える。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「住宅の品質確保」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「住宅の品質確保」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める

11回	**授業テーマ：土地政策の経済学的分析 1（土地課税）** 授業内容：日本の土地課税の種類について把握した上に、農地に適用される低減税率が土地市場に及ぼす影響について学修する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「土地課税」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「土地課税」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
12回	**授業テーマ：土地政策の経済学的分析 2（都市再開発法；規模の経済による市場の失敗）** 授業内容：都市開発における規模の経済と集積の経済による市場の失敗について学修する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「規模の経済による市場の失敗」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「規模の経済による市場の失敗」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
13回	**授業テーマ：土地政策の経済学的分析 3（都市構造の決定要因；人口減少社会と都市の拡大）** 授業内容：外部性による市場の失敗について把握した上に、外部不経済が市場に与える影響を余剰分析で学修する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「都市構造の決定要因；人口減少社会と都市の拡大」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「都市構造の決定要因；人口減少社会と都市の拡大」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
14回	**授業テーマ：土地政策の経済学的分析 4（コンパクトシティ；人口減少社会における地域社会の持続性）** 授業内容：外部性の施策としてのピグー税について余剰分析を兼ねて学修する。更に、不動産市場での外部不経済への施策について紹介する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。小テスト受験で事前学修内容及び講義内容について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「コンパクトシティ；人口減少社会における地域社会の持続性」部分を読んで予習する 事後学修 2.0hr：レジュメの「コンパクトシティ；人口減少社会における地域社会の持続性」の例題や小テストに再度取り組み理解を深める
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：土地と住宅の経済学で学修した内容を総括する。 事前学修 4.0hr：これまでの講義内容を復習し，分からないところを確認する. 事後学修 4.0hr：質問して理解した点を踏まえて，これまでの全てのレジュメの例題や小テストに再度取り組み理解を深める

会計学の基礎

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

八幡　浩伸（やはた　ひろのぶ）

▌授業の概要

本講義では、会計の基本を学ぶ。会社は経営成績を財務諸表によって公表することが義務づけられている。我々は、この財務諸表に基づき会社の経営実態を知ることがでる。しかし、それには会計の基礎的なルールや考え方を理解することが必要である。また、会計はすべてのビジネスパーソンに不可欠なツールであり、「ビジネスの共通言語」といわれる重要な知識でもある。後期の「経営分析」を同時に履修すると学習効果が高まるので、「可能な限り」履修することが望ましい。なお、授業では特定テーマにかかる学生のプレゼンの機会を設ける予定であるので、積極的なチャレンジが期待される。学年によって履修対象となる授業が異なることに留意してほしい。(2年生は山本クラス、3年生以上が八幡クラスとなる。)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：不動産のビジネスにかかる不動産事業経営、不動産企業経営を適切に行うための基礎的な知識と技能を身につける。
個別目標：本講義の個別目標は以下のとおりである。

- 会計の役割・意義と利用方法を身につける。
- 資産・負債・純資産・収益・費用の概念を理解し、それをわかりやすく説明できる。
- 財務諸表の基本的な解釈ができる。
- 入門的な財務諸表分析手法を習得し、それを応用できる。

▌履修条件

後期の「経営分析」を同時に履修すると学修効果が高まるので、「可能な限り」履修すること。

▌評価基準・方法

平常点 (毎回の小課題)60 点、中間試験 20 点、期末試験 20 点で、到達目標の達成度に基づき総合的に評価を行う。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。希望に応じて面談でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

manaba を通じて事前に授業資料を提示する。

▌参考書

大阪商工会議所編『ビジネス会計検定試験公式テキスト 3 級』中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、会計学を学ぶ意義** 授業内容：本授業の基本的な進め方やルールを周知する。ビジネス社会において会計学を学ぶ重要性を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。
2回	**授業テーマ：会計の役割と機能** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「会計の役割と機能」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(所有と経営の分離、貨幣的測定の公準) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、授業中に行われた問題演習の復習を行う。
3回	**授業テーマ：会計を取り巻く法律や規制** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「会計を取り巻く法律や規制」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(会社法、金融商品取引法) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 1 章「財務諸表とは」を熟読する。
4回	**授業テーマ：財務諸表の体系** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「財務諸表の体系」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(貸借対照表、損益計算書) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、授業中に行われた問題演習の復習を行う。
5回	**授業テーマ：資産の評価基準** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「資産の評価基準」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(取得原価、時価) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 2 章第 1 節「貸借対照表のしくみ」を熟読する。
6回	**授業テーマ：資産 (その 1)　流動資産** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「流動資産」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(棚卸資産、棚卸資産評価損) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 2 章第 1 節「貸借対照表のしくみ」を熟読する。
7回	**授業テーマ：資産 (その 2)　固定資産** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「固定資産」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(減価償却、減損処理) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 2 章第 2 節「資産とは」の前半部分を熟読する。
8回	**授業テーマ：中間試験とその解説** 授業内容：第 1 回から第 7 回に学んだことを範囲とする中間試験を行う。試験後に問題の解説をする。 事前学修 2.0hr：第 1 回から第 7 回までの講義配布資料を熟読し、理解を定着させる。 事後学修 2.0hr：中間試験で間違った問いを中心に復習し、理解を完全なものとする。

9回	**授業テーマ：負債・純資産** 授業内容：第 7 回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「負債・純資産」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(支払手形、買掛金) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、参考書第 2 章第 3 節「負債とは」及び第 4 節「純資産とは」を熟読する。
10回	**授業テーマ：損益計算書** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「損益計算書」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(販売費および一般管理費、発生主義) 事後学修 2.0hr：参考書第 3 章「損益計算書」を熟読する。
11回	**授業テーマ：キャッシュフロー計算書** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「キャッシュフロー計算書」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(利益とキャシュフロー、黒字倒産) 事後学修 2.0hr：参考書第 4 章「キャッシュフロー計算書」を熟読する。
12回	**授業テーマ：財務諸表分析 (その 1)　収益性分析・生産性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「収益性分析・安全性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(ROE、棚卸資産回転率) 事後学修 2.0hr：参考書第 5 章第 9 節「収益性の分析」を熟読する。
13回	**授業テーマ：財務諸表分析 (その 2)　安全性分析・成長性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「安全性分析・成長性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(自己資本比率、当座比率) 事後学修 2.0hr：参考書第 5 章第 8 節「安全性の分析」を熟読する。
14回	**授業テーマ：不動産会計** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「不動産会計」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項について考えをまとめておく。(減損会計、賃貸等不動産会計) 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、不動産と会計・経営との関係を自分なりにまとめる。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：第 1 回から第 14 回で学んだことの基礎論点を確認する。 事前学修 2.0hr：テキスト全体に目を通し、理解が不十分な点がないか確認する。 事後学修 2.0hr：テキストを再読するとともに、講義全体についての総復習を行う。

経営分析

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

八幡　浩伸（やはた　ひろのぶ）

▌授業の概要

本講義では、会社が公表している財務諸表等に基づき、会社の経営内容の現状や問題点、将来性などを分析し、把握する手法を身につけることを目的とする。経営分析の手法は、様々なビジネスの現場での適切な意思決定をサポートする有用性の高いツールでもある。最初に財務諸表の基本を理解したうえで、実際の会社の実例に基づき多面的な視点から分析手法を学ぶ。また同時に、分析した内容をわかりやすくレポートにまとめる訓練も行う。なお、学年によって履修対象となる授業が異なる点に留意してほしい。(2年生は山本クラス、3年生以上が八幡クラスになる。)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：不動産のビジネスにかかる不動産事業経営、不動産企業経営を適切に行うための基礎的な知識と技能を身につける。

個別目標：本講義の個別目標は次のとおりである。

- 経営分析の基礎的考え方を理解し、説明できる。
- 各種の経営分析技法を習得し、それらの違いを説明できる。
- 経営分析技法を個別企業に適用できる。
- 説得性の高い経営分析レポートを作成できる。

▌履修条件

前学期の「会計学の基礎」を同時に履修すると学習効果が高まるので、「可能な限り」履修されたい。

▌評価基準・方法

平常点 (毎回の小課題)70 点、期末試験 30 点で、到達目標の達成度に基づき総合的に評価を行う。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。希望に応じて面談でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

manaba を通じて事前に授業資料を提示する。

▌参考書

桜井久勝著『財務諸表分析』中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、経営分析の意義** 授業内容：本授業の基本的な進め方やルールを周知する。ビジネス社会において経営分析を学ぶ重要性を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を確認する。
2回	**授業テーマ：財務諸表 (貸借対照表) の仕組み** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「貸借対照表」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(資産、負債、純資産) 事後学修 2.0hr：参考書第 1 章「財務諸表の役割と仕組み」及び第 3 章「貸借対照表の見方」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
3回	**授業テーマ：財務諸表 (損益計算書) の仕組み** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「損益計算書」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：事前配布資料に目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(収益、費用、利益) 事後学修 2.0hr：参考書第 4 章「損益計算書の見方」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
4回	**授業テーマ：経営分析の視点と方法** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「経営分析の視点と方法」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(定量分析、定性分析) 事後学修 2.0hr：参考書第 7 章「分析の視点と方法」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
5回	**授業テーマ：収益性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「収益性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(ROE、売上高利益率) 事後学修 2.0hr：参考書第 8 章「収益性の分析」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
6回	**授業テーマ：生産性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「生産性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(付加価値) 事後学修 2.0hr：参考書第 9 章「生産性の分析」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
7回	**授業テーマ：安全性分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「安全性分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(当座比率、自己資本比率) 事後学修 2.0hr：参考書第 10 章「安全性の分析」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
8回	**授業テーマ：前半範囲の復習** 授業内容：第 1 回から第 7 回までの、基礎論点について再確認をする。十分理解できなっかた事項について質疑を行う。 事前学修 2.0hr：第 1 回から第 7 回までのテキストを熟読する。 事後学修 2.0hr：前半範囲で理解が不徹底な事項を中心に理解を完全なものにする。

9回	**授業テーマ：損益分岐点分析** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「損益分岐点分析」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(変動費、固定費) 事後学修 2.0hr：参考書第 11 章第 3 節「費用構造が利益変動に及ぼす影響」を熟読する。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
10回	**授業テーマ：業務的意思決定** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「業務的意思決定」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(関連原価、無関連原価) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
11回	**授業テーマ：設備投資の意思決定** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「設備投資の意思決定」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(時間価値、正味現在価値法) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
12回	**授業テーマ：原価計算の基礎知識** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「原価計算の基礎知識」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。希望者による任意レポートの発表と質疑を行う。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(製造原価、総合原価計算) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
13回	**授業テーマ：株式投資・不動産投資の基礎知識** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「株式投資・不動産投資の基礎知識」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。希望者による任意レポートの発表と質疑を行う。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(ポートフォリオ、リスク) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
14回	**授業テーマ：CRE 戦略** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「CRE 戦略」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。希望者による任意レポートの発表と質疑を行う。 事前学修 2.0hr：テキストに目を通し、指示事項 (基本用語の確認、指定の練習問題の試行) について準備をする。(減損会計、賃貸等不動産会計) 事後学修 2.0hr：テキストを再読し、理解を定着させる。授業中に行った課題についてもう一度行い理解を定着させる。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの、基礎論点について再確認をする。十分理解できなっかた事項について質疑を行う。 事前学修 2.0hr：第 1 回から第 14 回までのテキストに目を通し、理解が不十分な点がないか確認する。 事後学修 2.0hr：講義全体を通して理解が不十分であった点についてテキスト等の熟読により補強しておく。

測量と地図

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

安藤　章（あんどう　あきら）

▌授業の概要

測量と地図は、不動産の理解及び利活用のためには欠かせないモノであることは強調するまでもない。本講義では、伝統的な測量はもちろん、GPS、GIS などの最先端の測量技術の全般について学ぶことと同時に、その成果として作成される地図及びその利活用にも焦点を当て、講義を進めることにより、不動産学部学生としての素養を高める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：本講義で学んだ各種の測量方式と地図、地籍図に関する知識を卒業後の自分の仕事分野で活用できる。

個別目標：①測量に関わる全般知識を体得し自ら説明できる。
②地図や地籍図に関わる全般知識を体得し自ら説明できる。
③ GPS、GIS などの最先端測量技術の仕組みを理解し自ら説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

期末試験 50%、小テスト 20 %、授業態度・授業参加度・課題 30%、到達目標の達成度などに基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。
また、既に学修した内容について学期の前半部と後半部に分けて小テストを行うことで自分の学修状況を確認させる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内容の予習と復習、授業課題の調査）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事例整理や Excel での分析など）

▌教科書

特に指定しない。毎回の講義の前に講義用のレジュメなどを配布する。

▌参考書

講義の都度、適宜、参考文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義ガイダンス** 授業内容：講義の目標、講義の主な内容、教材、成績評価方法などについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、講義の目標、講義の主な内容、教材、成績評価方法などについて確認する。 事後学修 2.0hr：ガイダンスで説明した主なトピック(伝統的な測量方法、GPS、GIS、地図、地籍調査など)についてネットなどで調べる。
2回	**授業テーマ：測量の基礎Ⅰ(距離・水準・角測量)** 授業内容：測量の基礎である距離・水準・角測量について学ぶ。 事前学修 2.0hr：測量で使っている測量機器(トランシット、レベル、トータルステーション、超長基線電波干渉計(VLBI)など)及び尺貫法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：講義の内容を踏まえ用語や計測の考え方をネット等確認しながら理解を深める。
3回	**授業テーマ：測量の基礎Ⅱ(基準点・写真測量)** 授業内容：測量の基礎である基準点・写真測量について学ぶ。 事前学修 2.0hr：日本国内の測量基準点(日本経緯度原点、原方位角、水準原点、国家基準点、公共(都市)基準点、電子基準点)についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：国土地理院の基準点成果等閲覧サービスサイトを利用して自宅近所の基準点の位置と座標を調べる。
4回	**授業テーマ：測量の座標系** 授業内容：測量分野で使用している座標系について学ぶ。 事前学修 2.0hr：測量分野で使っている経緯度座標系や平面座標系についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：自宅と学校の経緯度及び平面座標値をネット上のグーグルマップなどで調べる。
5回	**授業テーマ：測量の誤差とその処理** 授業内容：測量の誤差とその処理について学ぶ。 事前学修 2.0hr：測量の際に発生する過失誤差、系統誤差、偶然誤差についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：敷地内で同じ距離を反復して測るたびに発生する偶然誤差を確認し、その平均と分散をエクセル上で計算する。
6回	**授業テーマ：地図の役割とその歴史** 授業内容：地図の役割と現在までの地図の歴史について学ぶ。 事前学修 2.0hr：地図の縮尺を利用して実際の距離や面積を求める方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：50m、250m、1km のメッシュは、正確な 50m、250m、1km ではなく、その実距離は地域によって異なっている。その理由についてまとめる。
7回	**授業テーマ：地図の種類とその利用** 授業内容：現在使われている地図の種類と特徴、その利用について学ぶ。 事前学修 2.0hr：現在不動産分野で使われている地図の種類とその利用についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：地積測量図についてまとめることと、地図から縮尺を利用して土地面積を計算する。
8回	**授業テーマ：中間まとめ(小テスト実施)** 授業内容：7 回までの前半部で学修した内容のまとめを兼ねて、その内容について小テストを行う。 事前学修 2.0hr：学期開始から今までもらったレジュメを整理し、その内容について確認する。 事後学修 2.0hr：小テスト問題を復習し、間違ったところを訂正・整理する。
9回	**授業テーマ：地籍調査の歴史** 授業内容：近代以前から戦前までの地籍調査の歴史について学ぶ。 事前学修 2.0hr：豊臣秀吉の太閤検地と江戸時代の八代将軍徳川吉宗の享保検地についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：自宅や周辺にある公園等の敷地境界の確認及び簡易測量を行い、自宅の敷地面積を計算する。
10回	**授業テーマ：戦後の地籍調査** 授業内容：戦後の地籍調査の変遷とその課題について学ぶ。 事前学修 2.0hr：住所、地番(土地の場合)、家屋番号(建物の場合)の違いについてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：第 14 条地図(第 14 条地図が備え付けられていない地域は「地図に準ずる図面」)についてネットで調べる。

11回	**授業テーマ：地籍図や国家基本図の作成** 授業内容：地籍図や国家基本図の作成方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：地籍図や国土基本図についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：自宅の登記簿と第 14 条地図（第 14 条地図が備え付けられていない地域は「地図に準ずる図面」）についてインターネット（オンライン）登記資料申請を行う。
12回	**授業テーマ：GPS(Geographic Information System) の原理や仕組み** 授業内容：GPS(Geographic Information System) の原理、仕組み、測量方法などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：カーナビに使われている GPS の方式と日本が打ち上げたみちびき衛星についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GPS の相対測位の精度向上に使う誤差補正方法についてまとめる。
13回	**授業テーマ：GPS(Geographic Information System) の利活用** 授業内容：最先端測量技術である GPS の利活用について学ぶ。 事前学修 2.0hr：地殻変動計測の基礎データを提供する GPS 用の電子基準点についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：国土地理院の GEONET（GPS 連続観測システム）と、気象庁の緊急地震速報の違いについてまとめる。
14回	**授業テーマ：GIS(Geographic Information System)** 授業内容：最先端測量技術である GIS(Geographic Information System) の原理、仕組み、データなどについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：国土地理院及び東京大学空間情報科学研究センターのホームページなどを訪問し、GIS の利活用の例を調べる。 事後学修 2.0hr：GIS を不動産分野で活かせるところを 1 つ提案する。
15回	**授業テーマ：まとめ（小テスト実施）** 授業内容：9 回から 15 回までの後半部で学修した内容のまとめを兼ねて、その内容について小テストを行う。 事前学修 2.0hr：学期開始から今までもらったレジュメを整理し、その内容について確認する。 事後学修 2.0hr：小テスト問題の間違ったところを訂正・整理し、試験準備を行う。

地籍と不動産登記

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

佐用　朋貴（さよう　ともたか）

▌授業の概要

人々の生活の場である土地や建物の調査記録である地籍と、不動産登記に関する知識は不動産学部の学生として欠かすことができない重要な課題である。本講義では土地の位置、用途や所有関係を表す地籍の歴史や各時代の特徴などを学ぶことで地籍に関する認識を深める。
また、現在の地籍制度の根幹である不動産登記については、不動産登記法の基礎的事項を実際の事例を挙げながら学ぶことで不動産の表示に関する登記の理解を図る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：地籍に関しては、その歴史と各時代の特徴及び現在の課題を理解すること。
　　不動産登記に関しては、不動産登記制度の目的や手続きの概要を理解すること。
個別目標：不動産を特定するための重要な資料である登記記録、地図、地積測量図等の果たす役割について説明できること。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

小テスト 30%、レポート及び授業時間の態度 30%、期末試験成績 40%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

小テスト及びレポートのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （街中にてフィールドワークを行い成果を manaba に提出。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

初回の授業で指示します。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義ガイダンス・地籍とは** 授業内容：本講義全体についての流れについて。地籍の基本的概念について。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：「地籍」及び「不動産登記」について、簡潔に説明できるよう調べておく。
2回	**授業テーマ：地籍の歴史(1)土地制度の背景** 授業内容：江戸時代までの日本の土地制度の変遷について。 事前学修 2.0hr：縄文時代から江戸時代までの日本の歴史について、調べておく。 事後学修 2.0hr：土地を所有することに関して時代ごとにどのように変化したのかを復習する。
3回	**授業テーマ：地籍の歴史(2)地租改正と不動産登記制度の成立** 授業内容：明治以降の日本の土地制度について。地租改正の時代背景と効果、登記制度の沿革。 事前学修 2.0hr：「地租改正」について、簡潔に説明できるよう調べておく。 事後学修 2.0hr：地租改正がなされた時代背景と地租改正の効果について復習する。
4回	**授業テーマ：不動産とは** 授業内容：不動産とは何なのかについて。 事前学修 2.0hr：１年次で学習した「財産法の基礎」「物権法」の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：権利の主体、客体、物権について復習する。
5回	**授業テーマ：不動産登記制度** 授業内容：日本の不動産登記制度について、その果たす役割。 事前学修 2.0hr：不動産登記の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：法務局に行き、不動産登記記録を調査する。
6回	**授業テーマ：土地とは** 授業内容：不動産登記法上の土地とはどういうものかについて。 事前学修 2.0hr：新聞や、不動産業者の店頭の土地の売り出し広告の内容を読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：近所の土地の境界標を探す。いろいろな土地を観察して土地の地目を考える。
7回	**授業テーマ：土地の登記** 授業内容：不動産のうち、土地の登記手続きについて。 事前学修 2.0hr：土地の登記における土地家屋調査士、司法書士の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：土地の登記申請書を作成する。
8回	**授業テーマ：土地の境界** 授業内容：土地の境界には「筆界」と「所有権界」があり、それぞれの特徴とその違いについて。アクティブ・ラーニングのフィールドワークの講評。 事前学修 2.0hr：国境や県境など、さまざまな土地の境界線を事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：筆界と所有権界の違いについて復習する。
9回	**授業テーマ：境界紛争** 授業内容：境界紛争の発生原因と解決方法について。 事前学修 2.0hr：境界紛争を予防するための手段を考えておく。 事後学修 2.0hr：境界紛争を解決する４つの機関について復習する。
10回	**授業テーマ：地籍調査・土地区画整理事業** 授業内容：地籍調査・土地区画整理事業、それぞれの事業の特徴と効果について。 事前学修 2.0hr：「地籍調査」「区画整理」について、簡潔に説明できるよう調べておく。 事後学修 2.0hr：地籍調査の進捗率を向上させる方策を考える。土地区画整理事業を実施することのメリットと問題点について復習する。
11回	**授業テーマ：建物とは** 授業内容：建物を特定するために必要な事項について。 事前学修 2.0hr：新聞や、不動産業者の店頭の建物の売り出し広告の内容を読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：近所の建物の種類、構造について調べる。

12回	**授業テーマ：建物の登記** 授業内容：建物の登記申請書と添付書類について。 事前学修 2.0hr：建物の登記における土地家屋調査士、司法書士の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：建物の登記申請書を作成する。
13回	**授業テーマ：区分建物** 授業内容：建物と区分建物の違いについて。 事前学修 2.0hr：分譲マンションと賃貸マンションの違いについて考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の中で取り上げた区分所有法の条文について復習する。
14回	**授業テーマ：所有者不明土地問題** 授業内容：不動産を取巻く現状と課題について。課題やその解決方法について対話型講義。 事前学修 2.0hr：不動産に関する現在存在している問題を調査する。 事後学修 2.0hr：講義の中で取り上げた問題について自分なりの解決方法を考える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義全体を振り返り、これからの土地制度のあるべき姿について考える。 事前学修 2.0hr：前回までの配布資料等を使って、総復習を行う。 事後学修 2.0hr：日本における地籍と不動産登記の関係性を理解し簡単に説明できるようにする。

不動産情報処理演習

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

古川　傑（ふるかわ　すぐる）

▌授業の概要

表計算ソフトウェア Excel を使い、ビジネス現場の業務データの計算および整理、グラフの作成、データの分析などのデータ利活用で必要となる基本的スキルを身につけることを目的としている。なお本科目は、学修の基礎Ⅲ-b で身につけた情報・データの利活用の能力を発展させ、他の専門科目や演習などで Excel を活用する際に必要な実践力を身につける場でもある。本科目では、Microsoft Office Excel を使用する。事前事後学修のため Microsoft Office Excel がインストールされた PC・タブレット等を用意しておくことが望ましい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：履修者自らで Excel の基本的な操作を行い、データの集計や整理、分析を行い、結果を表現することができるようになる。

個別目標：1. 四則演算および関数を用いた計算ができる。
2.Excel を用いた基本的なデータ処理方法を身に着ける。
3. さまざまなグラフが持つ意味を理解し、それに基づいたグラフが作成できる。
4. データから処理を行いレポートにできる。

▌履修条件

学修の基礎Ⅲ- b（情報リテラシー）の単位を修得済みであることを前提に授業を進めていく。
初回授業で本科目の履修登録について説明があるので出席すること。
なお、学部オリエンテーション時にクラス分けの説明があるので、履修希望者は必ず出席しその指示に従うこと。

▌評価基準・方法

課題、総合課題の合計点で評価する（評価基準は全クラス統一）。
なお評価割合は、課題 80%、総合課題 20%とする。
また、原則として 80%以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

各授業における課題のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報処理演習室で授業を行う）

▌教科書

技術評論社 例題 30+演習問題 70 でしっかり学ぶ Excel 標準テキスト 稲葉久雄著

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Excel の使い方** 授業内容：Microsoft Excel について概要、できることを示す。 Excel の起動・終了の方法、文字や計算式といったデータの入力方法等、基本的な操作方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書（Part1、Part2 Lesson1 ～ Lesson4）などを読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義概要および担当教員の指示内容を確認する。 PC・タブレット等を用いて、基本的な操作を復習する。
2回	**授業テーマ：表の作成** 授業内容：簡単な表を作成する手順、連続するデータの入力方法について学ぶ。 作成した表の保存・印刷の手順について学ぶ。 文字フォント、大きさの変更方法、スタイルを変更する方法を学ぶ。 行の高さ、列幅の変更方法を学ぶ。 表データに罫線を引く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書（Part2 Lesson5 ～ Lesson 7、Part4）などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (表の作成、保存、行の高さ、列幅の変更、罫線の利活用等) の復習を行う。
3回	**授業テーマ：関数の利用 (1)：合計、平均、データ件数、最大・最小** 授業内容：Excel 関数、計算式と関数の関係を学ぶ。 合計を求める SUM 関数、平均を求める AVERAGE 関数、データ件数を求める COUNT 関数、COUNTA 関数、最大値を求める MAX 関数、最小値を求める MIN 関数を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書（Part3 Lesson1 ～ Lesson4）などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (合計、平均、データ件数のカウント、最大・最小の関数の使用法) の復習を行う。
4回	**授業テーマ：関数の利用 (2)：データ判定、四捨五入と切上げ、切り捨てと整数化** 授業内容：データが条件に合うか判定する IF 関数、その際に用いる比較演算子の使用方法を学ぶ。 数値を四捨五入する ROUND 関数、切上げを行う ROUNDUP 関数、切り捨てを行う ROUNDDOWN 関数、整数化を行う INT 関数について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 (Part3 Lesson5 ～ Lesson7) などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (条件判定、四捨五入、切上げ、切り捨ての関数) の復習を行う。
5回	**授業テーマ：レポート作成 (1)：データの整理方法** 授業内容：これまでの講義で取り扱った Excel の関数を用いて、データからレポート形式にまとめる。 事前学修 3.0hr：これまでの復習を行い、授業で学修した関数を使用して、事前学修課題ファイルに取り組む。。 事後学修 1.0hr：担当教員から別途指示。
6回	**授業テーマ：グラフの作成 (1)：グラフの種類、棒グラフの作成** 授業内容：Excel で作成できるグラフの種類、棒グラフの作成法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 (Part5 Lesson1 ～ Lesson2) などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (作成できるグラフの種類、棒グラフの作成法) の復習を行う。
7回	**授業テーマ：グラフの作成 (2)：円グラフ、折れ線グラフの作成** 授業内容：Excel で円グラフ、折れ線グラフの作成法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 (Part5 Lesson3 ～ Lesson4) などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (円グラフ、折れ線グラフの作成法) の復習を行う。
8回	**授業テーマ：レポート作成 (2)：表とグラフの組み合わせ** 授業内容：これまでの講義で取り扱った Excel の関数、グラフ等を用いて、データからレポート形式にまとめる。 事前学修 3.0hr：これまでの復習を行い、授業で学んだ関数やグラフを使用して、事前学修課題ファイルに取り組む。。 事後学修 1.0hr：担当教員から別途指示。

9回	**授業テーマ：高度な関数と計算式 (1)：複数条件の指定、相対参照と絶対参照、データの順位付け** 授業内容：IF 関数で複数条件を指定する方法 (条件判定のネスト)、相対参照、絶対参照の違いを学ぶ。 条件にあうデータの個数を数える COUNTIF 関数、データの順位付けの RANK.EQ 関数を学ぶ。 計算式中のセル参照方法を切り替える方法、条件付書式を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 (Part6 Lesson1 ～ Lesson4) などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (条件判定のネスト、セルの参照方法の違い) の復習を行う。
10回	**授業テーマ：高度な関数と計算式 (2)：データの参照、セルの参照と複数条件の設定** 授業内容：表にあるデータから、列方向にデータを参照する VLOOKUP 関数、行方向にデータを参照する HLOOKUP 関数を学ぶ。 行と列からデータを参照する INDEX 関数を学ぶ。 複数の条件を設定する OR 関数、AND 関数を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 (Part6 Lesson5 ～ Lesson6) などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (関数によるセルの参照と複数条件の指定法) の復習を行う。
11回	**授業テーマ：レポート作成 (3)：関数を使ったデータ分析** 授業内容：これまでの講義で取り扱った Excel の関数、グラフ等を用いて、データからレポート形式にまとめる。 事前学修 3.0hr：これまでの復習を行い、授業で学んだ関数やグラフを使用して、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 1.0hr：担当教員から別途指示。
12回	**授業テーマ：データベース (1)：データベースの作成、ソート・抽出** 授業内容：Excel で取り扱うデータベースについての概要、データベースの作成について学ぶ。 Excel で作成したデータベースからデータのソート、抽出法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 (Part7 Lesson1 ～ Lesson4) などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (データベースの作成、データのソート、抽出法) の復習を行う。
13回	**授業テーマ：データベース (2)：集計、データベース関数** 授業内容：Excel のデータベースからデータの集計方法を学ぶ。 データベースで使用する、条件にあった合計、平均、最大、最小、件数の求め方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書 (Part7 Lesson5 ～ Lesson6) などを読み、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 2.0hr：PC・タブレット等を用いて、授業内容 (データの集計法) の復習を行う。
14回	**授業テーマ：レポート作成 (4)：Excel を用いたデータ分析** 授業内容：これまでの講義で取り扱った Excel の関数、グラフ等を用いて、データからレポート形式にまとめる。 事前学修 3.0hr：これまでの復習を行い、授業で学んだ関数やグラフを使用して、事前学修課題ファイルに取り組む。 事後学修 1.0hr：担当教員から別途指示。
15回	**授業テーマ：総合課題 (まとめ)** 授業内容：本講義で取り扱った関数やグラフを用いて、データの解析を行いレポート形式にまとめる。 事前学修 3.0hr：総合課題にそなえ、これまでの学修内容をよく確認しておく。 事後学修 1.0hr：担当教員から別途指示。

借地借家法・区分所有法

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

浜島　裕美（はまじま　ひろみ）

▌授業の概要

本講義では、民法の特別法である借地借家法と区分所有法を中心に扱う。前半の借地借家法は、民法の賃貸借契約の特別法で、立場の弱い賃借人を保護するために制定され、何度も改正されて現在に至っている。講義では、民法と借地借家法との違い、改正の経緯と内容、現行法の問題点等を解説する。後半の区分所有法は民法の共有の特別法で、区分所有と共同管理という枠組みを創設するものである。分譲マンションなどに適用され、管理や修繕、建て替えの際に区分所有者同士で話し合って決めていく必要があるため、近年ではさまざまな問題が生じている。本講義では、管理・修繕・建て替えの仕組みと問題点などについて解説する。なお、区分所有法は近々改正がされる予定になっていることから、改正内容についても講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：特別法と一般法の関係について理解するとともに、民法と借地借家法、民法と区分所有法の関係を理解できる。借地借家法と区分所有法の枠組みと内容を理解し、説明できる。区分所有法の改正内容を理解できる。

個別目標：（1）民法と借地借家法の違いが説明できる。
（2）民法と区分所有法の違いが説明できる。
（3）借地借家法と区分所有法の目的、特徴、関連法について理解する。

▌履修条件

民法の財産法分野（財産法の基礎、物権法、担保物権法、債権法）を既に履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎回の授業の事前学修（3 点× 13 回）、授業内テスト（1 点× 14 回）、中間テスト（24 点）、期末テスト（23 点）、および授業の取り組み状況等を総合的に判断して評価する。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、学修支援システム　manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前学修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しない。

▌参考書

借地借家法と区分所有法、および建て替え円滑化法等の関連法令が載っている六法
渡辺晋『借地借家法の解説 5 訂版』（住宅新報社、令和 6 年）
日本弁護士会連合会・司法制度調査会編『新旧対象でわかる改正区分所有法の要点』（新日本法規、令和 7 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・授業の進め方** 授業内容：この授業の進め方と評価方法、単位修得条件などについて説明し、参考書の使い方と特徴について解説する。 事前学修 2.0hr：この授業のシラバスをよく読んでおく。必要な資料を入手しておく。 事後学修 2.0hr：授業の進め方、評価方法、単位修得条件、スケジュール等をよく確認しておく。
2 回	**授業テーマ：借地借家法の全体像** 授業内容：借地借家法の全体像を解説する。借地権と借家権の保護の対象、保護の方法、過度の保護の見直し等を説明する。 事前学修 2.0hr：借地借家法の条文を読んで、章と節の目次を書き出す。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
3 回	**授業テーマ：借地権（1）　借地権の存続期間** 授業内容：定義規定、借地権の存続期間のルール、更新ルール、法定更新への異議、期間満了前に建物が滅失した場合について解説する。 事前学修 2.0hr：借地借家法 2 条～ 9 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
4 回	**授業テーマ：借地権（2）　借地権の効力** 授業内容：借地権の対抗要件、地代等増減請求、借地権設定者の先取特権、建物買取請求権、自己借地権について解説する。 事前学修 2.0hr：借地借家法 2 条～ 16 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
5 回	**授業テーマ：借地権（3）　定期借地権ほか** 授業内容：借地条件等の変更（借地条件等の許可、更新後の建物の再築の許可、土地賃借権の譲渡・転貸の許可など）、定期借地権について解説する。 事前学修 2.0hr：借地借家法 17 条～ 25 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
6 回	**授業テーマ：借家権（1）　対象・更新** 授業内容：借家権の対象（建物の定義、建物の一部である場合、争いになった事例など）、期間満了と更新（法定更新、更新拒絶の正当事由など）について解説する。 事前学修 2.0hr：借地借家法 26 条～ 30 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
7 回	**授業テーマ：借家権（2）　効力・定期借家** 授業内容：借家権の対抗力、借賃増減請求権、造作買取請求権、転借人・借地上建物の賃借人、居住用建物賃貸借承継人の保護、定期借家県について解説する。 事前学修 2.0hr：借地借家法 31 条～ 40 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
8 回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：これまでの借地借家法の講義内容についての中間テストを行う。 事前学修 4.0hr：ここまでの講義内容をもう一度よく確認し、条文をよく読み込んでおく。 事後学修 2.0hr：テストでわからなかったところを自分で確認しておく。
9 回	**授業テーマ：区分所有法の全体構成と改正の経緯・関連法制度** 授業内容：区分所有法の全体構成、民法との違い、用語の定義、改正の歴史、関連法制度について解説する。 事前学修 2.0hr：区分所有法の条文を読んで、章と節を書き出す。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。

10回	**授業テーマ：区分所有権の対象・定義・権利義務** 授業内容：専有部分、管理組合、共用部分、敷地、区分所有者の権利義務、管理費不払者に対する先取特権とその承継、区分所有建物の瑕疵に関する区分所有者の責任、敷地利用権を有しない区分所有者への売渡請求について解説する。 事前学修 2.0hr：区分所有法 1 条～ 10 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
11回	**授業テーマ：共用部分・敷地利用権** 授業内容：共用部分の共有、共用部分の持分割合、一部共用部分の管理、共用部分の変更、共用部分の管理・負担・利益収取、敷地利用権について解説する。 事前学修 2.0hr：区分所有法 11 条～ 24 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
12回	**授業テーマ：管理者・規約および集会・管理組合法人** 授業内容：管理者、規約(規約事項、規約の設定・変更・廃止など)、集会(招集、決議、会議の進め方等)、管理組合法人(管理組合と管理組合法人の違い、法人化の手続、組織、適用法など)、理事(職務、代表権、選任・解任など)、幹事、管理組合法人の債務と区分所有者の責任について解説する。 事前学修 2.0hr：区分所有法 25 条～ 46 条、47 条～ 56 条の 7 までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
13回	**授業テーマ：所有者不明専有部分管理命令・管理不全専有部分管理命令及び管理不全共用部分管理命令** 授業内容：令和 8 年 4 月 1 日から改正された所有者不明専有部分管理命令・管理不全専有部分管理命令及び管理不全共用部分管理命令について解説する。 事前学修 2.0hr：区分所有法 46 条の 2 条～ 46 条の 14 までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
14回	**授業テーマ：義務違反者に対する措置** 授業内容：義務違反者に対する民法上の措置と区分所有法条の措置、義務違反の類型、義務違反行為の差し止め請求、専有部分の使用禁止請求、区分所有権および敷地利用権の競売請求、義務違反行為を行う占有者に対する契約解除・引渡請求について解説する。 事前学修 2.0hr：区分所有法 57 条～ 60 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を自分の言葉でまとめる。
15回	**授業テーマ：復旧および建替え・団地・建物が滅失した場合の措置・所在等不明区分所有者等の除外等に関する裁判手続・罰則** 授業内容：建物の一部滅失による復旧(専有部分、共用部分、手続の流れなど)、建替え決議(手続の流れ、建替中の権利関係など)、所在等不明区分所有者がいた場合の裁判手続について解説する。 事前学修 2.0hr：区分所有法 61 条～ 92 条までの条文を読み、わからないところを書き出しておく。 事後学修 4.0hr：ここまでの区分所有法関連の講義内容をもう一度よく確認し、条文をよく読み込んでおく。

開発行政法

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）

▌授業の概要

土地は限りある資源です。最近では、土地をいかに開発するかという開発側の要請と、環境を保全しようとする住民側の要請とが、衝突するケースも少なくありません。こうした両者の利害を法的にいかに調整するかが課題となっています。

本講義では、具体的な法令の条文や裁判事例等も見ながら、開発行政法と制度の背後にある考え方について、学んでいきます。

なお、事前学修資料や講義資料等を manaba で公開するので、必ず毎回講義の事前・事後に、manaba にアクセスすること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：行政法の基本的な考え方、土地開発に関連する法令・制度の内容およびその背景を深く考察できるようになることを、本講義の一般的到達目標とします。

個別目標：行政法の基本的な事項を説明できること、土地開発に関わる諸制度の特徴や課題を説明できること、土地開発に関連する法令を正確に読み込めるようになることを、本講義の個別目標とします。

▌履修条件

「不動産公法」の単位を取得済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

期末試験 (60%) および定期的な課題等 (40%) によって総合的に評価します。なお、講義や課題等への積極的な取り組みはプラスに評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌週の授業内や manba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は特に用いません。manaba に事前学修資料や講義資料等をアップします。

▌参考書

適宜、紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講義の目的、概要、進め方などについて、確認する。 事前学修 1.5hr：事前準備として、シラバスに目を通した上で、疑問点等をメモすること。また、本シラバスを印刷し、講義に持参すること。 事後学修 2.5hr：講義を踏まえ、開発行政法の学修の目的・意義などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
2回	**授業テーマ：憲法と行政法：憲法の役割、行政法の意義などについて考える。** 授業内容：国家と私人との関係を規律するのが公法であり、その中核にあるのが憲法である。まず、憲法の意義、役割を考察したうえで、行政法の役割、意義などについて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、憲法の役割、行政法の意義などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、憲法の役割、行政法の意義などに関し、manba 等で提示された課題シート等を完成させること。
3回	**授業テーマ：行政法の特色：私法と異なる行政法の特色について考える。** 授業内容：行政と私人との関係を規律する行政法は、私法とは異なるさまざまな特色を有している。その特色について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、行政法の特色に関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、行政法の特色などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
4回	**授業テーマ：行政行為：行政行為の類型、その特殊な効力などについて考える。** 授業内容：行政と私人との相互作用(行政作用)のひとつとして、「行政行為」がある。行政行為にはいくつかの類型があるとともに、特殊な法的効力を備えているといわれる。それらのことについて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、行政行為の類型、その特殊な効力などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、行政行為の類型、その特殊な効力菜に関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
5回	**授業テーマ：開発許可制度：都市計画法の開発許可制度の意義、手続、法的性質などについて考える。** 授業内容：開発行為を行うためには、都市計画法に定められた開発許可手続が必要である。この開発許可制度について、その意義、手続、法的性質などを考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、開発許可制度の意義、手続、法的性質などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、開発行政法の意義、手法、法的性質などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
6回	**授業テーマ：建築確認制度：建築基準法の建築確認制度の仕組み、法的性質について考える。** 授業内容：建物を建てるためには、建築基準法に定められた建築確認手続が必要である。この建築確認制度について、その意義、仕組み、法的性質などを考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、建築確認制度の仕組み、法的性質などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、建築確認制度の仕組み、法的性質などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
7回	**授業テーマ：行政計画としての都市計画の特徴について考える。** 授業内容：現代の行政活動において、行政計画は重要な役割を果たしている。また、都市計画は行政計画の代表例である。行政計画という側面から、都市計画の特徴を考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、行政計画の内容、都市計画の内容などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、行政計画の内容、都市計画の内容などに関し、manba 等で提示された課題シート等を完成させること。
8回	**授業テーマ：土地区画整理事業をめぐる法的問題について考える。** 授業内容：市街地の面的整備において、土地区画整理事業は重要な役割を果たしてきている。換地処分、減歩などの土地区画整理事業の原理や法的性質について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、土地区画整理事業の概要、事業の原理などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、土地区画整理事業の概要、事業の原理などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。

9回	**授業テーマ：市街地再開発事業をめぐる法的問題について考える。** 授業内容：市街地整備において、市街地再開発事業は重要な役割を果たしてきている。第一種事業における権利変換などの市街地再開発事業の原理や法的性質について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、市街地再開発事業の概要、事業の原理などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、市街地再開発事業の概要、事業の原理などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
10回	**授業テーマ：道路整備等の都市計画事業に関わる法的問題について考える。** 授業内容：道路整備などの都市計画事業では、事業を円滑に進めるために、建築行為の制限などのさまざまな仕組みがある。都市計画事業の概要やさまざまな仕組みついて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、都市計画事業の概要、建築行為の制限などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、都市計画事業の概要、建築行為の制限などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
11回	**授業テーマ：開発行政における行政指導について考える。** 授業内容：開発指導や建築指導など、開発行政において、行政指導は重要な役割を果たしてきている。一方で、行政指導の任意性との兼ね合いも問題となっている。これらのことを中心に、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、行政指導の概要、類型などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、行政指導の概要、類型などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
12回	**授業テーマ：住宅やまちづくりに関わるルール(条例等)について考える。** 授業内容：まちづくりでは、法律だけではなく、各地の「まちづくり条例」など、条例も重要な役割を果たしている。法律と条例の関係、住宅やまちづくりに関わる条例の事例などを考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、住宅やまちづくりに関わるルールに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、住宅やまちづくりに関するルールに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
13回	**授業テーマ：良好な都市景観を形成するための法制について考える。** 授業内容：近年、景観行政の重要性が指摘されている。景観法を中核とした景観法制の意義、特徴などについて考察するとともに、景観まちづくりに力を入れている事例などを紹介する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、都市景観法制などに関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、都市景観法制などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
14回	**授業テーマ：都市縮退化時代における都市法の役割を考える。** 授業内容：日本全体が人口減少時代に突入する中、都市の縮退化現象を意識した法制度の構築が課題となっている。コンパクトシティへの誘導など、都市縮退化時代における都市法の役割を考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、都市縮退化などの問題に関し、指示された事項および関連条文を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、都市縮退化の問題などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
15回	**授業テーマ：講義全体のまとめをおこなう。** 授業内容：講義全体をふりかえるとともに、今後の開発行政法制のあり方を展望する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、講義全体の疑問点・重要点等を整理すること。 事後学修 2.0hr：講義全体を振り返り、各回のポイント及び本講義の意義・目的に関し、manaba 等で提示されたまとめシート等を完成させること。

会社法

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

原田　宜彦 (はらだ　よしひこ)

▌授業の概要

本講義では、実務を見据えて会社法の概要を解説する。
会社法上の概念や制度を単に知識として理解するだけでなく、経済活動を行う上で、当該知識を活用することができるよう具法的な事例等を交えつつ講義を行う予定である。
会社は現代社会において重要な役割を果たしており、これに関する制度や仕組みを理解することは、ビジネスパーソンにとって不可欠である。
学生たちが、会社法に関する知識を一通り身につけ、社会で活躍することができるよう本講義を通じてサポートしたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：実務を見据えて会社法に関する基本的な知識を習得する。
個別目標：1．就職活動を行う上で最低限知っておくべき会社法に関する知識を身につけることができる。
2．卒業後、経済活動を行う中で直面するであろう様々な事象を会社法の観点から把握し、これに対して的確に対応することができる。
3．ニュースになっているような社会経済上の問題を会社法の観点から深く理解することができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

平常点 40 %、期末試験 60 %

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。

▌参考書

髙橋美加・笠原武朗・久保大作・久保田安彦『会社法(第 4 版)』弘文堂

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義の進め方、会社法の概要を解説する。 事前学修 1.0hr：シラバスを通読しておく。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。
2回	**授業テーマ：会社とは何か** 授業内容：会社の定義や種類などについて解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
3回	**授業テーマ：会社を設立するとはどういうことか** 授業内容：会社の設立などについて解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
4回	**授業テーマ：株式とは何か** 授業内容：株式とは何かについて解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
5回	**授業テーマ：株式に関するルール** 授業内容：株主に関するルールについて解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
6回	**授業テーマ：会社の「機関」とは何か①～概論** 授業内容：会社を構成する「機関」の概要を解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
7回	**授業テーマ：会社の「機関」とは何か②～株主総会** 授業内容：株主総会について解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
8回	**授業テーマ：会社の「機関」とは何か③～取締役・取締役会** 授業内容：取締役・取締役会について解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
9回	**授業テーマ：会社の「機関」とは何か④～役員等の責任** 授業内容：役員等の責任について解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
10回	**授業テーマ：会社の「機関」とは何か⑤～その他** 授業内容：機関」に関するその他の事項について解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
11回	**授業テーマ：会社はどのようにしてお金を調達するのか** 授業内容：会社の資金調達方法について解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。

12回	**授業テーマ：会社の計算とは何か** 授業内容：会社の計算について解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
13回	**授業テーマ：会社の組織が変わるとはどういうことか** 授業内容：会社の組織変更等(合併、分割、事業譲渡等)について解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
14回	**授業テーマ：会社の終わり方や「倒産」について** 授業内容：会社の解散・清算や「倒産」(民事再生・会社更生・私的整理)などについて解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。
15回	**授業テーマ：コンプライアンスや企業統治とは何か** 授業内容：コンプライアンスや企業統治などについて解説する。 事前学修 1.0hr：講義内容を予習する(方法を問わない)。 事後学修 3.0hr：講義内容を復習する(方法を問わない)。本講義に関連する身近な話題を探す。

家族法

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

浜島　裕美（はまじま　ひろみ）・**藤田　有紀**（ふじた　ゆき）

▌授業の概要

民法の第四編と第五編に位置づけられる「家族法」は、婚姻、離婚、親子関係、相続、遺言等を扱うものであり、生活の中で身近に感じられる法律の 1 つである。生活の中で何となく耳にした用語や知識等も多いのではないか。本講義では、そうした知識を法律に裏付けられた確かなものとするため、基礎的な家族法の法制度について概説する。また、その過程においては、実務上で使用される「婚姻届」等の書面に触れたり、自分の家族関係を基にして家族法の法制度を理解する機会を設けたりする等し、より身近なものとして家族法を学ぶ。さらに、家族法をめぐる諸問題として、生殖医療、同性婚、夫婦別姓、不貞の慰謝料、DV と離婚等を取り上げ、家族法的観点から考えていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：家族に関する法制度を理解し、修得した基礎知識の下で、家族に関わる身近な社会問題を家族法の観点から捉える力を身につけるとともに、その法的解決を含む自分なりの考えを持つための法的判断力・思考力・表現力を修得する。

個別目標：（1）家族法における基礎知識を修得し、それを説明できる。
（2）家族法に係る問題が自分に生じた場合に、その法的解決の方向性を見出すことができる。
（3）近時の家族法をめぐる諸問題について自分の考えを説明できる。

▌履修条件

財産法の基礎、物権法、担保物権法、債権法を履修済または履修中であることが望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト 50 %、期末テスト 50 %として評価。
その他、授業内における参加姿勢や提出物、発言等を加点評価事由として考慮する。

▌フィードバック方法

授業内や授業前後の質疑応答、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （体験学習として家系図の作成等を行う予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 掲示の講義資料の参照）

▌教科書

青竹美佳・羽生香織・水野貴浩著『家族法』［第 5 版］日本評論社（2026 年）
『六法』（ポケット六法など）

▌参考書

大杉麻美『家族法』成文堂（2025 年）
大村敦志著『新基本民法７　家族編〔第 2 版〕女性と子どもの法』有斐閣（2025 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：家族法とは何か？** 授業内容：民法における家族法の位置づけを確認した上で、家族法とは何か、家族法の歴史、家族法に関係する調停・裁判手続について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の目次部分に目を通し、本講義が取り扱う内容について概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：家族制度の歴史と家庭裁判所の仕組みについて調査する。
2 回	**授業テーマ：親族法とは何か？** 授業内容：親族関係、氏名、戸籍について学び、自分の親族関係を家系図に表してみる。 事前学修 2.0hr：自分の親族関係や戸籍について調べてみる。 事後学修 2.0hr：氏名や戸籍に関する諸問題について自分の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：婚姻** 授業内容：婚姻の要件、婚姻の無効と取消、婚姻の効力について学ぶ。 事前学修 2.0hr：婚姻の形式要件である「婚姻届」をインターネット等で確認し、記入事項等を見ておく。 事後学修 2.0hr：婚姻をめぐる諸問題について自分の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：離婚** 授業内容：離婚の各方法について、その要件を把握した上で、離婚による効果を学ぶ。 事前学修 2.0hr：協議離婚の形式要件である「離婚届」をインターネット等で確認し、記入事項等を見ておく。 事後学修 2.0hr：離婚をめぐる諸問題について自分の考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：婚姻外の男女関係** 授業内容：婚姻外の男女関係について規律する枠組みとして、婚約、結納、内縁、事実婚について解説する。 事前学修 2.0hr：自分や周囲のカップルについて、その法的関係性について考えてみる。 事後学修 2.0hr：婚姻外の男女関係をめぐる諸問題について自分の考えをまとめておく。
6 回	**授業テーマ：親子関係①** 授業内容：親子法として、まず初めに「実子」を学び、嫡出子と非嫡出子の違いを理解した上で、生殖補助医療で出生した子の親子関係を考える。 事前学修 2.0hr：生殖補助医療の種類をインターネット等で調べ、それによって出生した子供がどのくらいいるのかを調査しておく。 事後学修 2.0hr：嫡出子・非嫡出子をめぐる諸問題について自分の考えをまとめておく。
7 回	**授業テーマ：親子関係②** 授業内容：親子法として、次に「養子」を学ぶ。養子制度の概観を見た上で、普通養子縁組、特別養子縁組の違いを理解する。 事前学修 2.0hr：養子縁組の利用実態についてインターネット等で調査しておく。 事後学修 2.0hr：養子をめぐる諸問題について自分の考えをまとめる。
8 回	**授業テーマ：親子関係③** 授業内容：親子法として、最後に「親権」を学び、親権の内容、親権に対する制限を確認する。 事前学修 2.0hr：成年後見制度の利用実態についてインターネット等で調査しておく。 事後学修 2.0hr：親権や扶養をめぐる諸問題について自分の考えをまとめる。
9 回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：第 1～8 回の「親族法」部分の理解度を確認するために中間テストを実施〔成績評価対象〕 事前学修 2.0hr：親族法部分について復習する。 事後学修 2.0hr：テスト問題を振り返る。

10回	**授業テーマ：相続法とは何か？** 授業内容：相続法とは何かを確認した上で、相続人となるのは誰か、その相続分はどのくらいなのか、相続の対象となるのは何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義前の知識下において、自分の相続人や相続分について考え、可能であれば家族と話し合ってみる。 事後学修 2.0hr：中間テストの誤答問題をやり直しておく。
11回	**授業テーマ：遺産の共有と分割** 授業内容：共同相続人がいる場合における「遺産の共有」と「遺産の分割」について学ぶ。 事前学修 2.0hr：「遺産分割協議書」と「遺産分割申立書」をインターネット等で確認し、記入事項等を見ておく。 事後学修 2.0hr：遺産分割をめぐる諸問題について自分の考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：相続の承認と放棄** 授業内容：相続人による相続効果の確定のための「承認」、否認のための「放棄」について学ぶとともに、相続人が不存在の場合はどうなるのかを解説する。 事前学修 2.0hr：「相続承認又は放棄の期間伸長の申立書」と「限定承認申述書」をインターネット等で確認し、記入事項等を見ておく。 事後学修 2.0hr：相続放棄や相続人の不存在をめぐる諸問題について自分の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：遺言①** 授業内容：遺言とはどのようなものか、その法的性質について学んだ上で、遺言の方式について確認し、自分の仮の遺言を作成してみる。 事前学修 2.0hr：遺言の利用実態をインターネット等で調査しておく。 事後学修 2.0hr：受講後の知識下において、自分であれば現時点でどのような遺言を書くか、その方式をどうするかを考えてみる。
14回	**授業テーマ：遺言②** 授業内容：遺言の執行、撤回を学んだ上で、「遺言」と「遺贈」の相違について解説する。 事前学修 2.0hr：遺言と遺贈の例をインターネット等で確認し、記入内容等を見て、その比較をしておく。 事後学修 2.0hr：遺言をめぐる近時の諸問題について自分の考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：遺留分、家族法をめぐる諸問題** 授業内容：遺留分制度について学び、遺留分や遺留分侵害額を事例に従って算定してみる。また、時間に余裕があれば、家族法をめぐる諸問題について、議論を交えながら考える。 事前学修 2.0hr：これまでの講義内容を復習し、各回講義の事後学修としていた諸問題に対する自分の考えを発表できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：家族法をめぐる諸問題の中から 1 つを選択し、自分の考えを簡潔にレポートにまとめる。

不動産トラブルと法

開講学科等：不　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2024 年度以前入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）

▌授業の概要

日常生活の中には、様々な不動産トラブルがあふれています。法に期待される重要な役割の一つとして、紛争解決機能がありますが、法は、様々な不動産トラブルの解決において、具体的にどのような役割・機能を果たしているのでしょうか。

本講義は、このような問題関心のもと、不動産トラブルの特徴と解決のための手続について考えていきます。まずは、民事訴訟制度と行政争訟制度をそれぞれ概観した上で、裁判事例等も踏まえながら、複数の紛争解決手続の特徴・課題等を考察していきます。

なお、事前学修資料や講義資料等を manaba で公開するので、必ず毎回講義の事前・事後に、manaba にアクセスしてください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産トラブルと紛争解決手続について、基本的事項を理解するとともに、自分なりの視点・考えを養うことを、本講義の一般的な到達目標とします。

個別目標：民事訴訟制度と行政争訟制度の基本的な事項を説明できること、不動産トラブルとその解決手続について特徴と課題を説明できること、判例を理解できるようになることを、本講義の個別目標とします。

▌履修条件

「開発行政法（前期開講）」を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

中間まとめ試験と期末試験（両者あわせて 60 %）、および定期的な課題（40 %）で、総合的に評価します。

なお、

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌週の授業内や manba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は特に使用しません。manaba に事前学修資料や講義資料等をアップします。

▌参考書

講義の中で、その都度、紹介していきます。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義全体の進め方、不動産トラブルと法を学修する意義などについて、確認する。 事前学修 1.5hr：事前準備として、シラバスに目を通した上で、疑問点等をメモすること。また、本シラバスを印刷し、講義に持参すること。 事後学修 2.5hr：講義を踏まえ、不動産トラブルと法を学修する意義・目的などに関し、提示された課題シート等を完成させること。
2 回	**授業テーマ：紛争解決と裁判：紛争解決における裁判の役割について考える。** 授業内容：法的に紛争を解決する手段として、裁判は重要な役割を果たしている。法律上の争訟に限られるとされる裁判の役割、民事訴訟と行政訴訟との違いなどについて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、民事訴訟と行政訴訟との違いなどに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、民事訴訟と行政訴訟との違いなどに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
3 回	**授業テーマ：民事訴訟の概要：民事訴訟のプロセス、民事訴訟の基本原則について考える。** 授業内容：私人間の紛争を法的に解決する民事訴訟は、訴訟を進めるにあたって当事者が重要な役割を果たす。民事訴訟法に即しながら、民事訴訟のプロセス、民事訴訟の基本原則について、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、民事訴訟のプロセス、民事訴訟の基本原則などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、民事訴訟のプロセス、民事訴訟の基本原則などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
4 回	**授業テーマ：民事執行の概要：民事執行の目的、内容、手続について考える。** 授業内容：判決が出されたといって、必ずしも義務履行がなされるわけではない。判決後の義務履行確保を見据えた民事執行制度について、その目的、内容、手続などを考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、民事執行の目的、内容、手続などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、民事執行の目的、内容、手続などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
5 回	**授業テーマ：民事保全の概要：民事保全の目的、内容、手続について考える。** 授業内容：民事保全制度は、民事訴訟（本案訴訟）の前哨戦として、位置づけられる。この民事保全制度について、その目的、内容、手続などを考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、民事保全の目的、内容、手続などに関し、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、民事保全の目的、内容、手続などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
6 回	**授業テーマ：不動産取引に関わるトラブルとその解決：重要事項説明およびその他の説明義務に関するトラブルについて考える。** 授業内容：不動産取引において最も多いトラブルが重要事項説明に関するものである。重要事項説明に関し、宅建業法上に列挙されている事項以外の説明義務、民事的な責任も含めて考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、重要事項説明およびその他の説明に関する不動産取引のトラブル事例等について、判例等にあたり、事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、重要事項説明に関するトラブルの判例を読み、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
7 回	**授業テーマ：中間まとめ試験** 授業内容：第２回から第６回までの講義内容を出題範囲とし、中間まとめ試験をおこなう。 事前学修 2.0hr：第６回までの学修内容をふりかえり、自分なりにまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：試験の結果、理解が不十分だった点について、再度、復習すること。
8 回	**授業テーマ：行政事件訴訟の概要：行政訴訟のタイプ、取消訴訟の要件について考える。** 授業内容：私人と行政との紛争を法的に解決し、私人の権利救済を図る手段が行政訴訟である。行政訴訟は、民事訴訟とは異なり、行政事件訴訟法で規律される。行政訴訟に関し、そのタイプ、取消訴訟の要件などを考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、行政訴訟のタイプ、取消訴訟の要件などについて、指示されたた事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、行政訴訟のタイプ、取消訴訟の要件などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。

9回	**授業テーマ：行政不服申立制度：行政機関に不服申立てを行う仕組みついて考える。** 授業内容：行政訴訟以外にも、私人の権利救済を図る仕組みとして、行政不服申立制度がある。行政訴訟との違い、行政不服申立ての審査プロセスなどについて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、行政不服申立ての審査プロセスなどについて、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、行政不服申立ての審査プロセスなどに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
10回	**授業テーマ：都市計画紛争と取消訴訟：土地利用規制に関する取消訴訟、および都市計画事業に関する取消訴訟について考える。** 授業内容：用途地域指定などの土地利用規制や土地区画整理事業などの都市計画事業に関する取消請求事件の判例を取り上げ、その法的論点、裁判所の考え方などを考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、土地利用規制、および都市計画事業に関する取消訴訟の事例について、判例等にあたり、事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、都市計画事業の取消訴訟の判例を読み、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
11回	**授業テーマ：建築に関わる取消訴訟：建築確認の取消訴訟に関し、原告適格や訴えの利益の問題について考える。** 授業内容：建築主以外の第三者(周辺住民など)が原告となった建築確認の取消請求事件の判例を取り上げ、その法的論点、裁判所の考え方などを考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、建築確認に関する取消訴訟の事例について、判例等にあたり、事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、建築確認に関する取消訴訟の判例を読み、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
12回	**授業テーマ：国家賠償(1)：国家賠償制度の概要、および国賠法 1 条の公権力の行使に関する賠償責任について考える。** 授業内容：違法な行政活動で被った損害を補償するものとして、国家賠償制度がある。国家賠償制度の概要を整理するとともに、国賠法１条の公務員の「公権力の行使」による損害賠償の裁判例を考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、国家賠償制度の概要、国賠法 1 条の法的性質などについて、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、国家賠償制度の概要、国賠法 1 条の法的性質などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
13回	**授業テーマ：国家賠償(2)：国賠法 2 条の公の営造物の設置・管理の瑕疵に関する賠償責任について考える。** 授業内容：国賠法 2 条による「公の営造物の設置・管理の瑕疵」に関する国家賠償責任について、裁判例を踏まえながら、その法的性質を考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、国賠法 2 条の法的性質などについて、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、国賠法 2 条の法的性質などに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
14回	**授業テーマ：ＡＤＲ：ＡＤＲの目的、ＡＤＲ法の概要、行政型ＡＤＲについて考える。** 授業内容：訴訟以外の紛争解決手段として、ＡＤＲ(裁判外紛争解決手続)がある。ＡＤＲと訴訟との違い、ＡＤＲ法の特徴、行政型ＡＤＲの特徴などについて、考察する。 事前学修 2.0hr：manaba にある事前学修資料を読み、ＡＤＲの目的、ＡＤＲ法、行政型ＡＤＲなどについて、指示された事項等を事前に調べておくこと。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえ、ＡＤＲの目的、ＡＤＲ法、行政型ＡＤＲなどに関し、manaba 等で提示された課題シート等を完成させること。
15回	**授業テーマ：講義全体(特に第８回～第１４回を中心)のまとめをおこなう。** 授業内容：第８回から第１４回を中心に、講義のまとめをおこなう。 事前学修 2.0hr：manaba にある講義資料を復習し、第８回～第１４回までの講義のポイントをまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：講義全体、特に第８回～第１４回を中心にふりかえり、各回のポイントに関し、manaba 等で提示されたまとめシート等を完成させること。

不動産金融法・不動産税法

開講学科等：不　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2024 年度以前入学生

片川　卓也（かたかわ　たくや）

▌授業の概要

前半で不動産に関する税法を、後半で不動産金融に関する法について学習する。前半の税法では、税法の基本的な考え方や仕組みを整理し、不動産の取得(購入)、保有、賃貸、譲渡といった場面でどのような税が課せられるのかについて学修する。各税法が適用される要件の基本事項を理解した後、税額の計算方法を解説し、計算問題を解きながら知識の確認を行う。
後半の不動産金融に関する法では、不動産ファンドの「仕組み」、代表的なスキームについて解説した後、各スキームを構成する法の基本的な内容を確認する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：(1)不動産に関する基本的な税の仕組みを理解する。
(2)不動産に関する基本的な税の計算を習得する。
(3)不動産金融の基本的な仕組みを理解する。
(4)不動産金融に対する法規制について理解する。
(5)不動産金融における代表的なスキームを理解し、留意すべき点について認識する。
個別目標：(1)不動産の取得(購入)、保有、賃貸、譲渡といった各場面でどのような税法が適用されるのか説明できる。
(2)不動産に関する基本的な税額が計算できる。
(3)不動産金融に対してどのような場面でどのような法が適用されるのか説明できる。
(4)不動産金融における代表的なスキームとそのスキームを構成する法との関係について説明できる。

▌履修条件

特にないが、不動産に関する税、不動産ファンドに関心があることが望ましい。

▌評価基準・方法

原則として 5 分の 4 以上の授業出席を前提とし、平常点 40 %(各講義課題の提出状況)、期末試験 60 %で、到達目標の達成度に基づき総合的に評価を行う。

▌フィードバック方法

各講義ごとの課題及び期末試験のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特定の教科書を使わず、PowerPoint 資料などの講義資料を用いて講義を行う。

▌参考書

授業のときに必要に応じて参考文献を指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本の税制の概要** 授業内容：授業運営の方法・評価方法について説明する。課税主体、課税物件、課税標準、租税法律主義、租税回避といった税制を学習する上で前提となる知識について学習する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。興味を持っている税制について国税庁のＨＰなどで調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習し、課税主体、課税物件、課税標準、租税法律主義、租税回避といった重要な用語の説明ができるようにするとともに課題を提出する。
2回	**授業テーマ：所得税の計算方法　住宅借入金等特別控除の適用要件と控除額の計算** 授業内容：所得税計算の流れについて図を用いて説明する。また、不動産(住宅)購入時に必要となる住宅借入金等特別控除について適用要件と控除額の計算及び控除限度額について学習する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。住宅借入金等特別控除の適用要件を国税庁のＨＰ(タックスアンサー)などで調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、所得税の計算方法を説明できるようにするとともに課題を提出する。
3回	**授業テーマ：不動産取得(購入)に関する税(不動産取得税、印紙税、登録免許税)** 授業内容：不動産取得税、印紙税、登録免許税の概要と課税標準及び税額の計算方法について学習する。印紙税については、課税文書、不動産取得税、登録免許税(住宅取得の場合)については軽減措置(特例)が重要なので、重点的に解説する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。不動産取得税、印紙税、登録免許税がどのような場合に課税されるのかを国税庁のＨＰなどで調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、印紙税については課税文書、不動産取得税・登録免許税については軽減措置(特例)について説明できるようにするとともに課題を提出する。
4回	**授業テーマ：不動産の保有に関する税(固定資産税・都市計画税)　マンション投資の節税効果の分析** 授業内容：固定資産税及び都市計画税について学習する。損益通算を利用したマンション投資の節税効果について計算例を用いて説明する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料をを読んでおく。固定資産税の特例について調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の計算例を見てマンション投資の節税効果について説明できるようにするとともに課題を提出する。
5回	**授業テーマ：譲渡所得に対する課税体系　長期譲渡所得と短期譲渡所得の税負担の違い** 授業内容：不動産を譲渡したときと、不動産以外を譲渡した場合の譲渡所得の違いについて学習する。譲渡所得について長短区分の方法、所得税及び住民税における税負担の違いについて学習する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。長期譲渡所得と短期譲渡所得の税率について調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、長期譲渡所得と短期譲渡所得の区分と税負担の違いについて説明できるようにするとともに課題を提出する。
6回	**授業テーマ：譲渡所得の特例の概要　計算方法** 授業内容：譲渡所得の特例の概要、併用の可否について学習する。計算方法については、計算例を図解する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。譲渡所得の特例にはどのようなものがあるのかについて調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料を見て授業で扱った譲渡所得の特例の概要と計算方法を説明できるようにするとともに課題を提出する。
7回	**授業テーマ：相続税の仕組み　簡単な計算例を使った相続税計算方法の解説** 授業内容：相続税の計算方法は複雑であるので、図を使って説明する。相続税計算の図を参照しながら簡単な計算例を用いて相続税計算方法を解説する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。国税庁ＨＰ「相続税のあらまし」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、相続税の仕組みと計算方法を説明できるようにするとともに課題を提出する。

8回	**授業テーマ：贈与税の仕組み　簡単な計算例を使った贈与税計算方法の解説** 授業内容：贈与税の概略、暦年贈与・相続時精算課税制度、住宅資金の贈与など贈与税の特例について学習する。制度を理解するために簡単な計算例を用いて説明する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。住宅資金の贈与について非課税となる要件及び非課税限度額について調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、贈与税の仕組みと計算方法を説明できるようにするとともに課題を提出する。
9回	**授業テーマ：不動産ファンドの「仕組み」について** 授業内容：不動産ファンドの仕組みについて学習するとともに、不動産証券化スキームを利用した不動産証券化の事例を紹介する。 二重課税回避と倒産隔離は不動産証券化スキームの大前提となるので重点的に解説する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。不動産証券化の仕組みと不動産証券化の事例を国土交通省のＨＰなどを使って調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、不動産証券化の仕組みを説明できるようにするとともに課題を提出する。
10回	**授業テーマ：信託法の概略　信託を利用した不動産証券化のスキームの解説と事例の検討** 授業内容：信託の仕組みについて図を用いて説明する。信託は様々な場面で活用されているが、何故信託を使うのか、信託を不動産証券化スキームのどこで使っているのかについて解説する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。信託協会のＨＰなどで信託制度がどのように利用されているのかについて調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、信託を利用した不動産証券化のスキームの説明ができるようにするとともに課題を提出する。
11回	**授業テーマ：匿名組合と合同会社を利用したスキームの解説と事例の紹介** 授業内容：匿名組合の仕組みを学習する。匿名組合と合同会社を利用したスキームの解説を行うとともに、何故株式会社ではなくて合同会社を用いるのかについて説明する。また、事例の紹介を行う。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。合同会社について会社法の本で調べてくる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、匿名組合と合同会社を利用したスキームの説明ができるようにするとともに課題を提出する。
12回	**授業テーマ：不動産特定共同事業法を利用したスキーム** 授業内容：不動産特定共同事業法が制定された理由と代表的な３つのスキームについて説明する。特例事業が大切なので、スキーム図を見ながら特例事業を行うための条件について確認する。また、理解を深めるため事例について紹介する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。第 9 回目のレジュメを復習する。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、不動産特定共同事業法を利用したスキームの説明ができるようにするとともに課題を提出する。
13回	**授業テーマ：投資信託制度・投資法人制度** 授業内容：投資信託制度及び投資法人制度についてスキーム図を使って説明する。投資法人の機関については、株式会社と比較してその特徴について解説する。REIT（不動産投資信託）についての理解を深めるために事例を紹介する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。REIT について調べてみる。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、REIT の仕組みについて説明できるようにするとともに課題を提出する。
14回	**授業テーマ：資産流動化法を利用したスキーム** 授業内容：資産流動化法に基づく特定目的会社制度及び特定目的信託制度についてスキーム図を用いて説明する。特定目的会社の設立手続等について株式会社と比較してその特徴について解説する。理解を深めるために事例を紹介する。 事前学修 2.0hr：manaba に掲載した事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義資料の復習をし、資産流動化法を利用したスキームの説明ができるようにするとともに課題を提出する。
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：各授業の提出課題を素材として最低限理解して欲しいポイントを確認する。苦手意識が強い計算問題を中心に解説する。 事前学修 2.0hr：今までの講義資料を見直す。 事後学修 3.0hr：manaba に掲載した総復習用の資料に基づいて復習する。

都市と環境の経済学

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生(2 年年次開講)/2020 年度以前入学生(3 年次開講)/2024 年度以前入学生

麻　剣英（ま　けんえい）

▌授業の概要

どこに居住するのか？ どのぐらいの大きさの住宅に住むのか？ 土地用途規制はなぜ存在するのか？ 不動産市場におけるこれらの現象は、都市の発展や形成と大きなかかわりを持っている。この授業では、ミクロ経済学を応用して、都市と住宅との関係について学び、住宅問題に対する理解を深めるものとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：①都市の形成メカニズムを理解できる。
②都市と不動産問題との関係を理解できる。
③都市と環境問題との関係を理解できる。
個別目標：不動産関連の政策(所得補助政策、家賃補助政策、用途地域規制など)が経済合理性を持っているのかどうか分析できる。

▌履修条件

「ミクロ経済学」、「土地と住宅の経済学」を履修済みであること。
また、「計量経済学」を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業各回で小テストを実施し、平均得点率を用いて 60 %分の評価とする。そして、期末試験を行い、この結果を 40 %分として評価する。
小テストは学生の理解度を確認することが目的なので、難しいものにはしない。なお、授業回数の 4/5 (＝ 12 回)以上に出席したものだけが評価対象になる。したがって、出席回数が 12 回に満たない場合、まとめ試験を受けたとしても単位取得ができないので、十分に注意すること。

▌フィードバック方法

フィードバックは、翌週の授業冒頭で行うので遅刻しないように。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （理論分析から得られる結果についてディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

各回レジュメ(講義ノート)を manaba に掲載する。各自ダウンロードなどして利用すること。

▌参考書

山崎 福寿/浅田 義久 著 『都市経済学』日本評論社
佐々木公明、文世一「都市経済学の基礎」有斐閣アルマ
佐藤泰裕「都市・地域経済学への招待状」有斐閣
N.G. マンキュー「マンキュー経済学(１)ミクロ編」東洋経済新報社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(講義内容、運営方針および成績評価の説明など)** 授業内容：授業の概要、成績評価方法などについてガイダンスを行う。さらに、導入として都市経済学とはどういったものであるのかを簡単に説明し、不動産とのつながりについて解説する。 事前学修 1.0hr：シラバスを読み、講義の受け方を確認する。 事後学修 3.0hr：レジュメの入手方法を確認し、ミクロ経済学の「余剰分析」を復習をする。
2回	**授業テーマ：都市経済学と住宅問題の関係** 授業内容：都市化の進捗と人口集積のプロセスが同時進行であることをデータで確認し、住宅問題と人口集積の関係は住宅問題と都市化の関係であることを学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「都市と住宅問題」の部分を読んで予習すること。 事後学修 2.0hr：「都市と住宅問題」について復習し、例題に取り組み理解を深める。
3回	**授業テーマ：都市はなぜ存在するのか？(都市の集積と比較優位)** 授業内容：都市における人口の集積がなぜ生じるのかを、比較優位という概念を通して学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「比較優位」の部分を読んで予習すること。 事後学修 2.0hr：「比較優位」について復習し、分業がなぜ生じるのか整理する。
4回	**授業テーマ：家計と住宅面積の関係(無差別曲線)** 授業内容：ミクロ経済学の重要な分析ツールである無差別曲線について学修し、家計がどのような大きさの住宅に居住するのかについて検討する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「無差別曲線」について予習する 事後学修 2.0hr：「無差別曲線」の概念について復習する。特に、無差別曲線の特徴について整理する。
5回	**授業テーマ：家計と住宅面積の関係(予算制約線)** 授業内容：無差別曲線と併せて予算制約線についても学修し、家計がどのような大きさの住宅に居住するのかについて検討する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「予算制約線」について予習する 事後学修 2.0hr：「予算制約線」について復習する。特に、予算制約線の導出について整理する。
6回	**授業テーマ：家計と住宅面積の関係(最適な消費)** 授業内容：無差別曲線と予算制約線を用いて、最適な消費(ここでは、最適な住宅面積サイズ)について学修する。 事前学修 2.0hr：「無差別曲線」と「予算制約線」について復習しておく。 事後学修 2.0hr：「家計の最適な消費」について復習し、例題を解いて計算問題の解き方を確認する。
7回	**授業テーマ：家計と住宅面積の関係(所得補助と家賃補助)** 授業内容：ここまでの学修内容を応用して、所得補助や家賃補助を行った場合に、最適な消費がどのように変化するのかについて検討する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「所得補助」と「家賃補助」について予習する。 事後学修 2.0hr：「所得補助」と「家賃補助」が「家計の最適な消費」に及ぼす影響について整理する。
8回	**授業テーマ：面積/地価/距離に関する土地の利用方法(家計の土地利用)** 授業内容：土地市場の均衡について検討し、消費する土地の面積、地価、中心からの距離がどのような関係になるのか学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「最適な消費と距離」について予習する。 事後学修 2.0hr：「家計の最適な消費」が「距離」によってどのように変化するのか整理する。
9回	**授業テーマ：面積/地価/距離に関する土地の利用方法(所得タイプ別にみる土地利用)** 授業内容：前回の議論をもとに所得の異なる家計を導入し、消費する土地の面積、地価、中心からの距離がどのように変化するのかを学修する。 事前学修 2.0hr：「家計の最適な消費」と「距離」の関係について復習する。 事後学修 2.0hr：「家計の最適な消費」が「所得」によってどのように変化するのか整理する。

10回	**授業テーマ：面積/地価/距離に関する土地の利用方法(土地利用と市場地代)** 授業内容：所得の異なる家計を導入した結果、都市における地代と土地利用者がどのように決定するのかを学修する。 事前学修 2.0hr：「所得」と「付値地代」について復習しておく。 事後学修 2.0hr：「付値地代」と「市場地代」の違いについて整理する。
11回	**授業テーマ：土地利用と外部不経済(社会的余剰による評価)** 授業内容：外部不経済が土地利用にどのような影響をもたらすのか、社会的余剰を用いて学修する。ミクロ経済学で学修した内容の復習になる。 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の「余剰分析」を復習しておく。 事後学修 2.0hr：外部不経済が「余剰」をどのように変化させるのか整理する。
12回	**授業テーマ：土地利用と外部不経済(指導監督政策による外部性への対応)** 授業内容：外部不経済を解決する方法の一つとして指導監督政策(数量規制)を導入した場合に、市場の効率性がどの程度改善するのかを学修する。また、指導監督政策の限界についても確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「指導監督政策」の部分を読んで予習する。 事後学修 2.0hr：「指導監督政策」が「余剰」をどのように変化させるのか整理する。
13回	**授業テーマ：土地利用と外部不経済(市場重視政策による外部性への対応)** 授業内容：外部不経済を解決する方法の一つとして市場重視政策(ピグー税)を導入した場合に、市場の効率性がどの程度改善するのかを学修する。また、市場重視政策の限界についても確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメの「市場重視政策」の部分を読んで予習する。 事後学修 2.0hr：「市場重視政策」が「余剰」をどのように変化させるのか整理する。
14回	**授業テーマ：土地利用と外部不経済(外部不経済と市場地代の分析)** 授業内容：外部不経済と都心との距離が相関する際、市場地代がどのように変化するのか検討し、それによって社会全体の便益がどのように変化するのかを学修する。 事前学修 2.0hr：「付値地代」「市場地代」「用途規制」について復習しておく。 事後学修 2.0hr：外部不経済が「付値地代」「市場地代」をどのように変化させるのか整理する。
15回	**授業テーマ：まとめ：住宅問題と都市の経済学的整理** 授業内容：これまでの学修内容を整理しつつ、都市部の不動産市場における問題には、国・地域・歴史などに規定された個別性があることを学修し、都市と不動産市場の課題について検討する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義内容を復習し、分からないところを確認する。 事後学修 2.0hr：これまでのレジュメ・例題・小テストに再度取り組み理解を深める。

計量経済学

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

小俣　幸子（おまた　ゆきこ）・**原野　啓**（はらの　けい）

▌授業の概要

本講義では，不動産市場分析に必要な計量分析の手法を身につけることを目的とし，Excel で重回帰分析を学ぶ．講義は，情報処理演習室でコンピュータを用いて行うので，ある程度コンピュータを使いこなせることが前提となる．また「不動産学のための数学と統計」「ミクロ経済学」「土地と住宅の経済学」の基礎的な考えを前提に講義を行うため，これらの科目を理解していることを前提として講義を進める．

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：　不動産市場のデータを使った実証分析ができるようになる．

個別目標：(1) 簡単なデータ分析ができる．
(2) データを整理・加工し，回帰分析ができる．
(3) 回帰分析の結果を読み取り，解釈を説明できる．

▌履修条件

本講義は講義 2 回目までに出席した学生を受講対象とする．本講義は毎回 Excel を用いて行うため，コンピュータ・スキルがあることを履修条件とする．また，授業には USB メモリを持参すること．

▌評価基準・方法

本講義はコンピューターを用いた演習形式であるため，期末試験の代わりに最終課題演習を実施する．成績は，講義毎に出題される課題演習（60%）と最終課題（40%）で評価する． 出席点はなく，コピペは認めない．
フィードバックは、翌週の授業冒頭で行う．

▌フィードバック方法

各授業回に課題を出すが、その解説を翌週の授業冒頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （解析結果の解釈についてディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC(特にエクセル) を用いて計量分析の演習を行う）

▌教科書

特に指定しない．レジュメを manaba 等で配布するので，各自ダウンロードして持参すること．レジュメを持参しない学生は出席を認めない．大学院進学を考えている学生は必要に応じて参考書を購入すること．

▌参考書

・隅田ほか，『Excel と R ではじめるやさしい経済データ分析入門』，オーム社，2020.
・田中隆一，『計量経済学の第一歩―実証分析のススメ』, 有斐閣, 2015.
・山本勲，『実証分析のための計量経済学』, 中央経済社, 2015.
・山本拓, 竹内明香，『入門計量経済学―Excel による実証分析へのガイド』, 新世社, 2013.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス－講義の進め方** 授業内容：この授業の進め方、成績評価などについて説明する。 事前学修 0.5hr：シラバスで講義の取り組み方を確認する 事後学修 4.0hr：Excel などの PC の使い方を復習する
2回	**授業テーマ：授業用 PC の使い方とデータの取り扱い方について** 授業内容：この授業で利用するファイル等の受け渡し方法の確認をしつつ、エクセルの基本操作の復習をする。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO2 の pp.1-3 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 4.0hr：授業用フォルダーの使い方，Excel などの PC の使い方を復習する
3回	**授業テーマ：データ収集と Excel による作図** 授業内容：エクセルの基本操作として、関数を利用した計算、図の作成について復習する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO2 の pp.4-9 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 4.0hr：Excel などの PC の使い方を復習する
4回	**授業テーマ：経済モデルと計量経済学の使い方** 授業内容：計量経済となどういったものなのかを直感的に理解する。また、データの散らばり具合を表す指標として、偏差平方和・分散・標準偏差をエクセルで計算する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO3 の pp.1-2 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 4.0hr：計量経済学の使い方，Excel などの PC の使い方を復習する
5回	**授業テーマ：様々な統計量** 授業内容：散布図を利用して、２変数の関係と相関係数について学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO3 の pp.3-4 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：偏差平方和，分散，標準偏差などについて確認し，演習内容を復習する
6回	**授業テーマ：２変数の関係（相関係数）** 授業内容：回帰分析とは何か、その分析を行う最小二乗法とは何かを学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO3 の pp.4-7 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：相関係数について確認し，演習内容を復習する
7回	**授業テーマ：単回帰分析（最小二乗法）** 授業内容：回帰分析を行って得られる分析内容について、推定結果の精度を計測する方法、および説明変数の採択を判断する方法について学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO4 の pp.1-3 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：回帰分析，最小二乗法について確認し，演習内容を復習する
8回	**授業テーマ：推定精度，説明変数の採択判断** 授業内容：回帰分析において利用する変数を複数にする重回帰分析について学修する。また、重回帰分析における推定結果の精度を計測する方法についても学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO4 の pp.4-6 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：決定係数，ｔ検定について確認し，演習内容を復習する
9回	**授業テーマ：回帰分析，推定結果の読み取り方** 授業内容：重回帰分析の結果得られる分析内容の解釈、読み方について学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO5 の pp.1-3 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：Excel 回帰分析ツールの使い方，推定結果の読み取り方について確認し，演習内容を復習する

10回	**授業テーマ：回帰分析の推定結果の使い方** 授業内容：実際のデータを用いて重回帰分析を行い、結果の解釈について再度確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO5 の pp.4-7 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：推定結果の解釈とその使い方について確認し，演習内容を復習する
11回	**授業テーマ：回帰分析による都市構造の分析(変数変換)** 授業内容：重回帰分析を応用して、不動産の地価がどのような関数形で表すことが出来るのかを学修する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO6 の pp.1-4 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：変数変換と地価データによる推定について確認し，演習内容を復習する
12回	**授業テーマ：回帰分析による都市構造の分析(定数項ダミー変数)** 授業内容：重回帰分析を行う際、数値ではないデータ(質的変数)を扱う方法としてダミー変数の概念を学修する。さらに、先週のデータを利用してダミー変数について演習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO6 の pp.5-8 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：定数項ダミーの使い方とその解釈について確認し，演習内容を復習する
13回	**授業テーマ：回帰分析による都市構造の分析(係数ダミー変数)** 授業内容：重回帰分析の分析において交差項(クロス項)を用いることの意義について学修する。また、データの作成、回帰分析を行い、その結果の解釈について確認する。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO6 の p.9 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 2.0hr：係数ダミーの使い方とその解釈について確認し，演習内容を復習する
14回	**授業テーマ：回帰分析による都市構造の分析(付け値地価関数の推定)** 授業内容：これまでに学修した内容を踏まえて、付け値地価関数の推計を行い、計算結果の解釈を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ NO6 の p.10 を読んで，作業内容を確認する 事後学修 4.0hr：まとめ・演習作業，及びこれまでの演習内容に再度取り組み，確認する
15回	**授業テーマ：最終課題演習** 授業内容：試験期間中ではなく、第 15 回の授業時間(90 分)を利用して、最終課題演習に取り組む。 事前学修 4.0hr：最終課題対策として，これまでの演習内容に再度取り組み，確認する 事後学修 0.5hr：まとめ

不動産金融論

開講学科等：不　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：前 2　｜　備考：2024 年度以前入学生

小松　広明（こまつ　ひろあき）

▌授業の概要

不動産は、当該収益性に照らせば、投資対象としての株式や債券といった伝統的金融資産と代替性を有する。近年では、不動産の生み出すキャッシュフローを投資家に配分することを約する不動産証券化が進展したことに伴い、金融市場と不動産市場との関連性が一層高まっている。
本講義では、ファイナンスの基礎理論と不動産の価格形成理論、さらには現実の市場で観測される現象に対してどのような要因が作用しているのか、当該メカニズムの把握に示唆を与える行動ファイナンスの知見を取り入れながら、これらを融合させ、不動産学の領域としてのファイナンス分野を体系立てて解説する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：①不動産の収益性に基づく価格形成理論を理解する。
②リスクとその計量化を理解する。
③不動産の証券化スキームを理解する。
④デリバティブの仕組みと当該価値評価の考え方を理解する。
個別目標：経済統計資料を観察し、不動産市場における現状と将来の見通しについて、自己の考えを客観的に構築することができる。

▌履修条件

特になし。ファイナンスコースの必修科目であることに留意を要する。

▌評価基準・方法

確認テスト 20 %、演習テスト 30 %、中間テスト 20 %、定期試験 30 %として評価する。

▌フィードバック方法

確認テスト、演習テスト、中間テストの各フィードバックについては、学修支援システム「manaba」を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主に演習テスト(課題)を通じてディスカッションを適宜実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを適宜配布する。

▌参考書

前川俊一『不動産投資のためのファイナンス入門』プログレス　　大村敬一『ファイナンス論』有斐閣ブックス
岩田規久男『金融』東洋経済新報社　　一般社団法人不動産証券化協会『不動産証券化ハンドブック』

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：不動産システムの市場構成①(負のフィードバック回路)** 授業内容：不動産システムを構成する①賃貸市場、②資産市場、③不動産開発業の相互の関連性について学修する。 事前学修 1.5hr：「負のフィードバック回路」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「負のフィードバック回路」の内容を整理する。	16 回	**授業テーマ：住宅ファイナンス②(RMBS、リバース・モーゲージ)** 授業内容：住宅ローン債権の証券化、優先劣後構造、リバース・モーゲージの仕組みについて学修する。 事前学修 1.5hr：「リバース・モーゲージ」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「リバース・モーゲージ」の内容を整理する。
2 回	**授業テーマ：不動産システムの市場構成②(オフィス賃貸市場)** 授業内容：オフィス賃料の都市比較、オフィスビルの規模別賃料水準、賃料変動率と空室率の時系列変化の特徴について学修する。 事前学修 1.5hr：「東京・大阪・名古屋におけるオフィスの賃料水準」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「オフィス賃料と空室率の時系列変化の特徴」を整理する。	17 回	**授業テーマ：不動産証券化①(証券化スキーム、オフバランス)** 授業内容：不動産投資市場の規模、証券化スキームのタイプ、不動産ファンドの仕組み、ＬＴＶコントロールについて学修する。 事前学修 1.5hr：「オフバランス」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「証券化スキーム」の内容を整理する。
3 回	**授業テーマ：貨幣と金利①(マネーストック、IS バランス、トービンの q 理論)** 授業内容：貨幣と銀行の役割、マネーストックの定義、マネーストックにみる銀行の業務について学修する。 事前学修 1.5hr：「マネーストック」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「IS バランス」の内容を整理する。	18 回	**授業テーマ：不動産証券化②(JREIT、私募 REIT、私募ファンド)** 授業内容：GK-TK,TMK,REIT のスキーム比較、不動産特定共同事業法の新スキームについて学修する。 事前学修 1.5hr：「JREIT」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「私募 REIT」の内容を整理する。
4 回	**授業テーマ：貨幣と金利②(実質金利、金利の期間構造、流動性選好理論、貸付資金説)** 授業内容：名目金利と実質金利の違い、名目金利を決める流動性選好理論、実質金利の算定の基礎となる貸付資金説について学修する。 事前学修 1.5hr：「流動性選好理論」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「流動性選好理論」の内容を整理する。	19 回	**授業テーマ：コーポレートファイナンス①(株価の理論、ＲＯＡ、ＲＯＥ)** 授業内容：株式市場の仕組み、配当割引モデル、サスティナブル成長率、株価に関連する投資指標について学修する。 事前学修 1.5hr：「ROE」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「株価の理論」の内容を整理する。
5 回	**授業テーマ：確実性下の投資理論①(割引率、現在価値、将来価値)** 授業内容：割引率の構成要因、割り引くことの経済的意義、単利と複利の違いについて学修する。 事前学修 1.5hr：「現在価値」「将来価値」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「現在価値」の内容を整理する。	20 回	**授業テーマ：コーポレートファイナンス②(MM定理、資本コスト、ペッキング・オーダー理論)** 授業内容：プロジェクトの採否判断基準となる資本コスト(WACC)の考え方とその算定方法について学修する。 事前学修 1.5hr：「資本コスト」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「資本コスト」の内容を整理する。
6 回	**授業テーマ：確実性下の投資理論②(NPV、IRR)** 授業内容：不動産投資における NPV と IRR の具体的な利用方法について学修する。 事前学修 1.5hr：「NPV」「IRR」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「NPV」「IRR」の内容を整理する。	21 回	**授業テーマ：債券価格の理論①(割引債、利付債、イールドカーブ)** 授業内容：債券の仕組み、債券の利回りと金融政策の関係について学修する。 事前学修 1.5hr：「イールドカーブ」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「イールドカーブ」の内容を整理する。
7 回	**授業テーマ：リスクとマネジメント①(リスク、リスク選好、リスクプレミアム)** 授業内容：大数の法則、中心極限定理、保険のしくみについて学修する。 事前学修 1.5hr：「リスクプレミアム」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「リスクプレミアム」の内容を整理する。	22 回	**授業テーマ：債券価格の理論②(デュレーション、コンベクシティ)** 授業内容：債券のリスク指標となるデュレーションとコンベクシティの性質について学修する。 事前学修 1.5hr：「デュレーション」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「コンベクシティ」の内容を整理する。
8 回	**授業テーマ：リスクとマネジメント②(ボラティリティ、バリュー・アット・リスク)** 授業内容：保険会社の経営指標となるソルベンシー・マージン比率、金融リスク指標となる VaR について学修する。 事前学修 1.5hr：「VaR」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「VaR」の内容を整理する。	23 回	**授業テーマ：中央銀行と金融政策①(信用創造メカニズム、ブルーデンス政策)** 授業内容：銀行の役割、日本銀行の金融政策(公開市場操作等)について学修する。 事前学修 1.5hr：「ブルーデンス政策」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「信用創造メカニズム」の内容を整理する。

9回	**授業テーマ：最適ポートフォリオ選択①(平均分散アプローチ、分散効果)** 授業内容：最適なポートフォリオの選択方法となる平均分散アプローチについて学修する。 事前学修 1.5hr：「平均分散アプローチ」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「平均分散アプローチ」の内容を整理する。	24回	**授業テーマ：中央銀行と金融政策②(IS-LM モデル、AS-AD モデル、マイナス金利政策)** 授業内容：金融政策の効果を捉える短期モデル(物価変動なし)と長期モデル(物価変動あり)について学修する。 事前学修 1.5hr：「IS-LM モデル」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「AS-AD モデル」の内容を整理する。
10回	**授業テーマ：最適ポートフォリオ選択②(最小分散ポートフォリオ、効率的フロンティア)** 授業内容：最小分散ポートフォリオのうち、リスク回避的投資家の投資機会集合となる効率的フロンティアについて学修する。 事前学修 1.5hr：「効率的フロンティア」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「効率的フロンティア」の内容を整理する。	25回	**授業テーマ：行動ファイナンス①(二重プロセス理論、貨幣錯覚)** 授業内容：人の情報処理システムの一つである二重プロセス理論をもとに、演習を交えながら貨幣錯覚について学修する。 事前学修 1.5hr：「貨幣錯覚」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「貨幣錯覚」の内容を整理する。
11回	**授業テーマ：市場の均衡価格①(資本市場線、分離定理)** 授業内容：無リスク資産がある場合におけるポートフォリオのリスクとリターンについて学修する。 事前学修 1.5hr：「資本市場線」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「資本市場線」の内容を整理する。	26回	**授業テーマ：行動ファイナンス②(上昇選好、双曲割引、共通差効果)** 授業内容：不動産鑑定評価手法の前提条件とは異なる現象(アノマリー)を取り上げ、実習を交えながら上昇選好等について学修する。 事前学修 1.5hr：「双曲割引」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「上昇選好」の内容を整理する。
12回	**授業テーマ：市場の均衡価格②(CAPM、証券市場線、パフォーマンス評価)** 授業内容：平均分散アプローチとの比較のもとに CAPM の導出とその意義について学修する。 事前学修 1.5hr：「CAPM」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「CAPM」の内容を整理する。	27回	**授業テーマ：国際金融(外国為替市場、為替レート理論)** 授業内容：スポット取引とフォワード取引、カバーなし金利裁定、カバー付き金利裁定、購買力平価について学修する。 事前学修 1.5hr：「購買力平価」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「カバー付き金利裁定」の内容を整理する。
13回	**授業テーマ：不動産価格の理論①(原価法、取引事例比較法、直接還元法)** 授業内容：不動産の費用性、市場性、収益性の３つの観点から評価手法の基礎を学修する。 事前学修 1.5hr：「収益還元法」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「収益還元法」の内容を整理する。	28回	**授業テーマ：デリバティブ①(先渡・先物取引、スワップ取引)** 授業内容：デリバティブの機能、金融先物・債券先物、金利スワップについて学修する。 事前学修 1.5hr：「金利スワップ」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「通貨スワップ」の内容を整理する。
14回	**授業テーマ：不動産価格の理論②(キャップ・レート、NOI、NCF、DCF)** 授業内容：証券化対象不動産の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.5hr：「DCF」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「DCF」の内容を整理する。	29回	**授業テーマ：デリバティブ②(コールオプション、プットオプション)** 授業内容：オプション取引を行う理由、オプション取引の４つの基本型、プットコールパリティについて学修する。 事前学修 1.5hr：「コールオプション」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「プットオプション」の内容を整理する。
15回	**授業テーマ：住宅ファイナンス①(住宅ローンの仕組み、アモチゼーション)** 授業内容：ローンのリスク、オフバランスとオンバランス、ローンの返済方法、固定金利と変動金利について学修する。 事前学修 1.5hr：「住宅ローン」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「住宅ローンの仕組み」の内容を整理する。	30回	**授業テーマ：デリバティブ③(ブラック・ショールズモデル、リアル・オプション)** 授業内容：オプションの価値評価、プレミアムの決定要因、リアル・オプションと金融オプションの相違点について学修する。 事前学修 1.5hr：「リアル・オプション」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考資料等を用いて「ブラック・ショールズモデル」の内容を整理する。

不動産鑑定評価論

開講学科等：不　｜　2 年次　｜　4 単位　｜　開講期：後 2　｜　備考：2021 年度以降入学生(2 年次開講)/2020 年度以前入学生(3 年次開講)/2024 年度以前入学生

花輪　志保（はなわ　しほ）

▌授業の概要

不動産の価格を客観的に評価するもっとも精緻な基準である不動産鑑定評価基準にもとづき、不動産の類型ごとに鑑定評価手法を理解する。価格論を学ぶことを通じて、土地と建物、価格と賃料、所有と利用、新築と既存、借地と借家、分譲と賃貸、長期と短期、リスクとリターン、法と経済など、不動産学部に学ぶすべての学生の重要なテーマについて、理解を深める。また、不動産鑑定士試験短答式試験を目指す学生の包括的理解力を養う。
なお、授業の内容は、①不動産鑑定評価に関わる法令上の制限と②不動産鑑定評価基準における考え方の２つに区分して展開する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産鑑定評価の枠組みを知り、価格の三面性と不動産鑑定評価の三手法の対応関係を把握して、不動産の種別と類型ごとの評価方法を理解する。価格については、さまざまな収益価格、建物の積算価格、および、開発法を用いて求める土地価格について具体的に評価する能力を養う。賃料については、継続賃料を評価する能力を養う。また、不動産の価格は、最有効使用を前提とした価格を標準とすることから、土地利用に関する行政的な規制の内容について理解する。

個別目標：1)土地と建物の価格を理論的に求めることができる。
2)収益価格を多面的に理解し収益価格を求めることができる。
3)借地権と借家権の価格を説明できる。
4)継続賃料の求め方を説明できる。
5) 土地利用に関する行政的規制の内容について説明できる。

▌履修条件

他に類似の授業がなく、用語や概念について初学となることより、当初より授業に出席することが重要である。事前学修、授業、事後学修で学んだことをノートにまとめて理解を深める。

▌評価基準・方法

定期試験 50 %、各授業で実施する確認テスト 50 %として成績評価を行う。

▌フィードバック方法

毎回の授業終了時に実施する確認テストにより、全体の理解度を確認し、必要に応じて再度の説明や説明方法の見直しを図る。また、個別には取り組み姿勢の確認や適性に応じた学修教材を提示して、学修成果を高める工夫をする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会『要説不動産鑑定評価基準と価格等調査ガイドライン』住宅新報社
上記の他は、適宜授業において指示する。

▌参考書

国土交通省のホームページより、不動産鑑定評価基準をダウンロードして毎回持参すること。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限①都市計画法(都市計画事業及び開発行為を除く)** 授業内容：都市計画法の趣旨を理解し、都市計画区域等の区域区分、用途地域、地域地区等を学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定士試験短答式試験における行政法規の試験科目について事前に調べておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容についてテキストを一読する。	16回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑧総論 7 章鑑定評価の方式(収益還元法・賃料の一般的留意事項、新規賃料)** 授業内容：価格を求める鑑定評価手法である収益還元法のうち、還元利回り、その他の手法について学修する。また、賃料評価の一般的留意事項、新規賃料手法について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 7 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 7 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
2回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方①総論第 1 章不動産の鑑定評価に関する基本的考察/総論第 2 章不動産の種別及び類型** 授業内容：鑑定評価基準の全体像と不動産の分類概念について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 1 章と 2 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 1 章と 2 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	17回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑨不動産の鑑定評価に関する法律、宅地造成及び特定盛土等規制法** 授業内容：不動産の鑑定評価に関する法律、宅地造成及び特定盛土等規制法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて各法律の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：不動産の鑑定評価に関する法律、宅地造成及び特定盛土等規制法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する
3回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限②都市計画法(都市計画事業及び開発行為)** 授業内容：都市計画事業、開発行為等について学修する。 事前学修 1.0hr：1 回目の講義で取り上げたテキストを一読し、都市計画法のイメージを整理しておく。 事後学修 3.0hr：都市計画法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	18回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑨総論 7 章鑑定評価の方式(新規賃料、継続賃料)** 授業内容：新規賃料手法、継続賃料手法について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 7 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 7 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
4回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方②総論 3 章不動産の価格を形成する要因/総論 4 章不動産の価格に関する諸原則(最有効使用の原則等)** 授業内容：不動産の価格を形成する要因、不動産の価格形成過程に認められる法則性について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 3 章と 4 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 3 章と 4 章に該当する過去問題集を解いて復習する。	19回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑩都市再開発法** 授業内容：都市再開発法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて都市再開発法の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：都市再開発法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
5回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限③建築基準法(単体規定)** 授業内容：建築確認、単体規定等について学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて建築基準法の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容についてテキストを一読しておく。	20回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑩総論 8 章鑑定評価の手順/総論 9 章鑑定評価報告書** 授業内容：鑑定評価の手順、鑑定評価報告書について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 8 章と 9 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 8 章と 9 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。

6回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方③総論 4 章不動産の価格に関する諸原則(最有効使用に関連するその他の原則)/総論 5 章鑑定評価の基本的事項(対象不動産の確定)** 授業内容：不動産の価格に関する諸原則、基本的事項として対象確定条件について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 4 章と 5 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 4 章と 5 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	21回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑪マンションの建替え等の円滑化に関する法律、土壌汚染対策法** 授業内容：マンションの建替え等の円滑化に関する法律、土壌汚染対策法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて各法律の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：マンションの建替え等の円滑化に関する法律、土壌汚染対策法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
7回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限④建築基準法(集団規定その１)** 授業内容：建築基準法上の道路、用途制限、建蔽率、容積率等について学修する。 事前学修 1.0hr：５回目の講義で取り上げたテキストを一読し、建築基準法のイメージを整理しておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容についてテキストを一読しておく。	22回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑪各論 1 章価格に関する鑑定評価(更地、建付地)** 授業内容：更地、建付地の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：各論 1 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：各論 1 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
8回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方④総論 5 章鑑定評価の基本的事項(価格時点の確定・価格又は賃料の種類の確定)** 授業内容：基本的事項として価格時点、価格又は賃料の種類について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 5 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 5 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	23回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑫土地収用法** 授業内容：土地収用法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて土地収用法の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：土地収用法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
9回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑤建築基準法(集団規定その２)** 授業内容：その他の集団規定、建築協定等について学修する。 事前学修 1.0hr：３回目・５回目で取り上げたテキストを一読し、建築基準法のイメージを整理しておく。 事後学修 3.0hr：建築基準法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	24回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑫各論 1 章価格に関する鑑定評価(借地権、底地)** 授業内容：借地権、底地の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：各論 1 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：各論 1 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
10回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑤総論 6 章地域分析及び個別分析** 授業内容：地域分析、個別分析、市場分析について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 6 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 6 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	25回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑬税法** 授業内容：税法の各法律について内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて税法の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：税法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
11回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑥国土利用計画法、農地法** 授業内容：国土利用計画法、農地法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて各法律の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：国土利用計画法、農地法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	26回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑬各論 1 章価格に関する鑑定評価(宅地見込地、建物及びその敷地)** 授業内容：宅地見込地、建物及びその敷地の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：各論 1 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：各論 1 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
12回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑥総論 7 章鑑定評価の方式(一般的留意事項、原価法、取引事例比較法)** 授業内容：価格を求める鑑定評価手法において共通して留意すべき事項、価格を求める鑑定評価手法である原価法、取引事例比較法について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 7 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 7 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	27回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑭文化財保護法、住宅の品質確保の促進等に関する法律、河川法、道路法** 授業内容：文化財保護法、住宅の品質確保の促進等に関する法律、河川法、道路法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて各法律の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：文化財保護法、住宅の品質確保の促進等に関する法律、河川法、道路法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
13回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑦土地区画整理法** 授業内容：土地区画整理法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて土地区画整理法の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：土地区画整理法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	28回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑭各論 1 章価格に関する鑑定評価(建物)/各論 2 章賃料に関する鑑定評価** 授業内容：建物の鑑定評価手法、地代・家賃の鑑定評価方法について学修する。 事前学修 1.0hr：各論 1 章と 2 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：各論 1 章と 2 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
14回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑦総論 7 章鑑定評価の方式(収益還元法)** 授業内容：価格を求める鑑定評価手法である収益還元法のうち、純収益について学修する。 事前学修 1.0hr：総論 7 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：総論 7 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	29回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑮国有財産法、景観法、高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律、証券化関連法** 授業内容：国有財産法、景観法、高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律、証券化関連法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて各法律の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：国有財産法、景観法、高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律、証券化関連法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。
15回	**授業テーマ：不動産鑑定評価に関わる法令上の制限⑧不動産登記法、土地基本法、地価公示法** 授業内容：不動産登記法、土地基本法、地価公示法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：テキストをみて各法律の全体像を把握しておく。 事後学修 3.0hr：不動産登記法、土地基本法、地価公示法の過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。	30回	**授業テーマ：不動産鑑定評価基準における考え方⑮各論 3 章証券化対象不動産の価格に関する鑑定評価** 授業内容：証券化対象不動産の鑑定評価について学修する。 事前学修 1.0hr：各論 3 章の不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：各論 3 章に該当する過去問題集(不動産鑑定士試験短答式試験)を解いて復習する。

不動産会計財務論

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

山本　卓（やまもと　たかし）

▌授業の概要

企業経営は、保有されている不動産のあり方によって左右される傾向が強まっている。その背景には、不動産に関連する会計制度が整備されてきていることや財務のグローバル化の進展がある。本授業では、企業と不動産との関係を、会計制度や企業財務の視点から理解を深めるものとする。さらに、企業関係者をゲストとして呼び、ビジネスの現場の課題の理解を深めることも予定している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産のビジネスにかかる不動産事業経営、不動産企業経営を適切に行うために必要となる会計や財務管理に関係する知識と技能を身につける。

個別目標：本授業の個別目標は下記のとおりである。

(1) 不動産会計制度の歴史的展開や内容を理解し、説明できる。　(2) 企業不動産を財務管理の視点から理解し、企業不動産管理に適用できる技能を身につける。　(3) 企業経営における不動産のあり方を、会計と財務管理の面から統合的に考察・分析できる。　(4) 企業不動産に関係する会計・財務管理のテーマについて独力で調査し、考察結果を適切なレポートとして表現できる。

▌履修条件

「会計学の基礎」または「経営分析」を履修済みであること。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の授業出席を前提とし、毎回の小課題 (70%)、定期試験 (30%) で、到達目標の達成度に基づき総合的に評価を行う。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。希望に応じて面談でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

manaba を通じて事前に授業資料を提示する。

▌参考書

山本卓 (2025)『企業不動産読本』KEN 不動産研究、山本卓編著 (2021)『ストック型社会への企業不動産分析』創成社、山本卓編著 (2017)『グローバル社会と不動産価値』創成社、　山本卓 (2015)『投資不動産会計と公正価値評価』創成社、　山本卓 (2013)『不動産会計と経営行動』創成社、　山本卓 (2011)『企業不動産の会計と環境』創成社、　山本卓 (2009)『財務情報と企業不動産分析』創成社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本授業の基本的な進め方やルールを周知する。ビジネス社会において不動産に関係する会計制度や財務管理を学ぶ重要性を確認する。 事前学修 2.0hr：「会計学の基礎」、「経営分析」の復習をする。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、「会計学の基礎」及び「経営分析」にかかる参考書の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員を訪ね質問を行う。
2 回	**授業テーマ：財務会計の機能** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「財務会計の機能」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(所有と経営の分離、財務会計) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「所有と経営の分離」を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
3 回	**授業テーマ：企業のガバナンス** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「企業のガバナンス」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(会社法、株式所有構造) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「株式所有構造」を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
4 回	**授業テーマ：不動産会計の概要** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「不動産会計の概要」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(国際財務報告基準) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「不動産会計」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
5 回	**授業テーマ：固定資産再評価** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「固定資産再評価」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(有形固定資産の再評価、土地再評価法) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「固定資産再評価」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
6 回	**授業テーマ：減損会計** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「減損会計」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(IAS36 号、特別損失) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「減損会計」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
7 回	**授業テーマ：投資不動産会計** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「投資不動産会計」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(IAS40 号、賃貸等不動産会計) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「IAS40 号」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。

8回	**授業テーマ：ESG 経営と企業不動産** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「ESG 経営と企業不動産」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(環境経営、環境会計) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「ESG」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
9回	**授業テーマ：環境ファクターと不動産価値** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「環境ファクターと不動産価値」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(環境影響施設、CO2 の排出) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「環境影響施設」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
10回	**授業テーマ：環境不動産** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「環境不動産」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(グリーンビル) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「グリーンビル」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
11回	**授業テーマ：貸しビル事業の収支** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「貸しビル事業の収支」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(予算管理) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「貸しビル事業の予算管理」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
12回	**授業テーマ：貸しビル事業の経営戦略** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「貸しビル事業の経営戦略」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(リノベーション、建て替え) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「リノベーション」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
13回	**授業テーマ：固定資産税評価の課題** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「固定資産税評価の課題」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(路線価評価法、情報開示) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「固定資産税の路線価評価法」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
14回	**授業テーマ：企業不動産の売却と財務** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「企業不動産の売却と財務」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(遊休不動産、事業不動産) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「企業不動産の売却」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。
15回	**授業テーマ：不動産業における事業承継問題** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「不動産業における事業承継問題」についての基礎を講義する。第 1 回から第 14 回までの基礎論点の再確認をする。 事前学修 2.0hr：授業資料に事前に目を通す。(相続税制、M&A) 事後学修 2.0hr：授業資料を読み返し、本回の授業にかかる特に「事業承継の課題」の該当部分を確認する。疑問点がある場合には、担当教員に質問を行う。

不動産ファイナンス

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：後 2 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

小松　広明（こまつ　ひろあき）

▌授業の概要

不動産を投資対象として収益獲得の一つの手段と捉えるならば、当該価格は、株式や債券など他の代替財と相互に関連して形成されることになる。

本講義では、現代ファイナンス理論を計算機(PC)を用いた実習を通じて学び、不動産価格に対する理解を深めることを目的とする。実習では、各自の情報処理能力及び説明能力を高めるため、個人演習を行ったうえで、各自が発表用の演習課題に取り組み、当該結果について発表を行う。学生のプレゼンテーション能力の向上にも努めている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：①不動産の収益価格が算定できる。
②リスクを計量化できる。
③資本コストを算定できる。
④ヘドニック地価関数を用いて要因格差を推計できる。

個別目標：データ分析を通じて、実証的根拠に基づいた合理的な意思決定ができるようになる。

▌履修条件

Excel の基礎的操作ができること。また、「不動産金融論」を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

確認テスト 20 %、演習テスト 30 %、中間テスト 20 %、定期試験 30 %として評価する。

▌フィードバック方法

確認テスト、演習テスト、中間テストの各フィードバックについては、学修支援システム「manaba」を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表用演習課題(演習テスト含む)のプレゼンテーションを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報処理演習室の PC を利用）

▌教科書

特になし。プリントを適宜配布する。

▌参考書

前川俊一『不動産投資のためのファイナンス入門』プログレス

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション(ＮＰＶとＩＲＲ①)** 授業内容：現在価値と将来価値の関係を踏まえた上で、投資判断指標(NPV と IRR)とそのルールについて学修する。 事前学修 1.5hr：「ＮＰＶ」「ＩＲＲ」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「NPV」の内容を整理する。	16回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑧(VaR の算定)** 授業内容：第 15 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。
2回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表①(ＮＰＶとＩＲＲの算定①)** 授業内容：第 1 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。	17回	**授業テーマ：平均分散アプローチ** 授業内容：ポートフォリオ(複数の資産の組合せ)のリスクとリターンの捉え方について学修する。 事前学修 1.5hr：「平均分散アプローチ」の考え方について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「平均分散アプローチ」の内容を整理する。
3回	**授業テーマ：ＮＰＶとＩＲＲ②** 授業内容：不動産投資における NPV と IRR の捉え方について学修する。 事前学修 1.5hr：割引率との関係について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「IRR」の内容を整理する。	18回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑨(効率的フロンティアの算定)** 授業内容：第 17 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。
4回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表②(ＮＰＶとＩＲＲの算定②)** 授業内容：第 3 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。	19回	**授業テーマ：資本市場線(ＣＭＬ)** 授業内容：投資家に共通するリスクとリターンとのトレードオフ関係を示す資本市場線について学修する。 事前学修 1.5hr：「資本市場線」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「資本市場線」の内容を整理する。
5回	**授業テーマ：プロジェクト評価(等価年間費用の算定)** 授業内容：プロジェクトの期間が異なる場合における投資判断指標について学修する。 事前学修 1.5hr：「等価年間費用」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「等価年間費用」の内容を整理する。	20回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑩(ＣＭＬの算定)** 授業内容：第 19 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。
6回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表③(等価年間費用の算定)** 授業内容：第 5 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。	21回	**授業テーマ：シングルファクター・モデル** 授業内容：マーケットに依存しないリターンの期待値を示すアルファとマーケットの収益率に対する感応度を示すベータの性質について学修する。 事前学修 1.5hr：「シングルファクター・モデル」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「シングルファクター・モデル」の内容を整理する。
7回	**授業テーマ：J-REIT 物件の視察(新浦安駅周辺における物件の実査)** 授業内容：プラムタワー新浦安と浦安ブライトンビルの視察を行う。 事前学修 1.5hr：「J-REIT」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「J-REIT」の内容を整理する。	22回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑪(アルファ・ベータの算定)** 授業内容：第 21 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。
8回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表④(J-REIT 物件の分析)** 授業内容：第 7 回の授業(視察)を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。	23回	**授業テーマ：証券市場線(ＳＭＬ)** 授業内容：平均分散アプローチとの比較のもとに、ＣＡＰＭについて学修する。 事前学修 1.5hr：「証券市場線」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「証券市場線」の内容を整理する。
9回	**授業テーマ：収益還元法による不動産の評価 (直接還元法)** 授業内容：投資用不動産の評価手法の一つである直接還元法の考え方について学修する。 事前学修 1.5hr：「直接還元法」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「直接還元法」の内容を整理する。	24回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑫(ＳＭＬの算定)** 授業内容：第 23 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。

10回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑤(不動産の収益価格の算定①)** 授業内容：第 9 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。	25回	**授業テーマ：資本コスト(ＷＡＣＣ)** 授業内容：新規投資のハードルレート(投資家から資金を集める際のコスト)を示す加重平均資本コストについて学修する。 事前学修 1.5hr：「資本コスト」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「資本コスト」の内容を整理する。
11回	**授業テーマ：収益還元法による不動産の評価(ＤＣＦ法)** 授業内容：証券化対象不動産の評価手法であるＤＣＦ法の考え方について学修する。 事前学修 1.5hr：「ＤＣＦ法」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「ＤＣＦ法」の内容を整理する。	26回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑬(ＷＡＣＣの算定)** 授業内容：第 25 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。
12回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑥(不動産の収益価格の算定②)** 授業内容：第 11 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。	27回	**授業テーマ：ヘドニック地価関数の推定①(線形関数)** 授業内容：回帰分析としての最小２乗法、決定係数、変数の選択、ダミー変数について学修する。 事前学修 1.5hr：「回帰分析」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「回帰分析」の内容を整理する。
13回	**授業テーマ：１資産におけるリスクとリターンの関係** 授業内容：１資産を投資対象とした場合におけるリスクとリターンについて学修する。 事前学修 1.5hr：「リスク」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「リスク」の内容を整理する。	28回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑭(回帰分析①)** 授業内容：第 27 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。
14回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑦(リスクとリターンの算定)** 授業内容：第 13 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。	29回	**授業テーマ：ヘドニック地価関数の推定②(対数関数)** 授業内容：関数型の選択、対数関数について学修する。 事前学修 1.5hr：「対数関数」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「対数関数」の内容を整理する。
15回	**授業テーマ：VaR とモンテカルロ・シミュレーション** 授業内容：不動産投資における最大予想損失額を把握するために、金融リスク指標である VaR の考え方について学修する。 事前学修 1.5hr：「VaR」について調べておく。 事後学修 2.5hr：参考書等を用いて「VaR」の内容を整理する。	30回	**授業テーマ：Excel 演習・課題発表⑮(回帰分析②)** 授業内容：第 29 回の授業を踏まえ、PC を利用して Excel を用いた演習を行う。 事前学修 1.5hr：前回講義の内容を復習して、Excel 演習に備える。 事後学修 2.5hr：Excel を用いて演習課題を復習する。

法と政策の経済学

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

原野　啓 (はらの　けい)

▌授業の概要

不動産やその市場には様々な法律が関わっている。本科目では、法律のあり方が生産者や消費者にどのような影響を及ぼすかについて検討し、市場メカニズムに任せる解決方法と法規制による解決方法を比較・検討する。なお、これまでに学修した「ミクロ経済学」と「土地と住宅の経済学」の内容を踏まえつつ、「企業行動」や「一般均衡分析」の概念についても学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：法律が不動産市場に及ぼす影響を考えることができるようになる。

個別目標：(1) 法が不動産市場の資源配分に及ぼす影響について、経済学的な観点から議論できるようになる。

(2) 法がなかったら、社会 (不動産市場、消費者や生産者の意思決定) がどのようになるかについて議論できるようになる。

▌履修条件

本科目は、ミクロ経済学の知識を前提とした応用ミクロ経済学の科目であるため、「ミクロ経済学」(1 年後期) 及び「土地と住宅の経済学」(2 年前期) を履修済みであることが前提となる。

▌評価基準・方法

講義中に毎回実施する演習・小テストで評価する。詳細は初回講義時に説明するので，必ず出席すること。

▌フィードバック方法

フィードバックは、翌週の授業冒頭で行う.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義内容を踏まえて、講義内でディスカッションをする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定はしない。

必要に応じて、レジュメ等を配布する。

▌参考書

八田達夫(2008)『ミクロ経済学 I（市場の失敗と政府の失敗への対策)』東洋経済新報社、があると理解が深まる。

その他は、適宜紹介をする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、市場と政府の役割分担** 授業内容：この授業に関する「講義内容」「講義方法」「成績評価方法」「その他注意事項」について、説明する。 事前学修 2.0hr：これまでに学修したミクロ経済学のレジュメを読み返し、例題や小テストに再度取り組み復習する 事後学修 2.0hr：これまでに学修したミクロ経済学のレジュメを読み返し、例題や小テストに再度取り組み復習する
2 回	**授業テーマ：供給：生産・費用・利潤** 授業内容：「ミクロ経済学」で扱った供給曲線について、より正確な定義とを学修する。ここでは、生産者が利潤最大化を目指すとき、価格が限界費用と等しくなることを理解する。 事前学修 2.0hr：「ミクロ経済学」で学修した需要・供給・市場均衡について復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、数学的な理解を深める
3 回	**授業テーマ：供給：供給曲線** 授業内容：「ミクロ経済学」で扱った供給曲線について、より正確な定義とを学修する。第 2 回授業で学修した内容を踏まえて、供給曲線の導出について学修する。 事前学修 2.0hr：前回授業でで学修した価格と限界費用の関係について復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
4 回	**授業テーマ：余剰と参入規制** 授業内容：「ミクロ経済学」で学修した数量規制をさらに一歩進めて、生産者が市場に参加することを規制した場合、市場にどのような歪みが発生するのかを検討する。 事前学修 2.0hr：「ミクロ経済学」で学修した消費者余剰を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
5 回	**授業テーマ：余剰と価格規制** 授業内容：「ミクロ経済学」で学修した価格規制の議論は、実は不十分であり、消費者余剰はさらに小さくなりうることを確認する。 事前学修 2.0hr：「ミクロ経済学」で学修した課税と補助金、および規制について復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
6 回	**授業テーマ：弾力性** 授業内容：弾力性の概念を用いて、所得別の課税を行うことの意味とその効果について検討する 事前学修 2.0hr：「土地と住宅の経済学」で学修した価格弾力性について復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
7 回	**授業テーマ：フローとストック** 授業内容：持家と賃貸住宅の間にはどのような関係があるのか。二つの市場をつなぐ「価格」として、利子率と現在価値の関係について検討する 事前学修 2.0hr：レジュメ「フローとストック」について予習をしておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
8 回	**授業テーマ：混雑 1：外部経済と外部不経済** 授業内容：供給曲線の議論をベースにして、道路利用用が無料の場合にどのような交通量が均衡として成立するかを検討する 事前学修 2.0hr：「ミクロ経済学」で学修した外部不経済・ピグー税について復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
9 回	**授業テーマ：混雑 2：混雑料金制度の導入** 授業内容：ピグー税を応用し、混雑料金制度を導入することで、社会的に望ましい交通水準が達成されることを検討する 事前学修 2.0hr：「ミクロ経済学」で学修した外部不経済・ピグー税について復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
10 回	**授業テーマ：土地工作物責任の問題点について** 授業内容：法律の授業で学修する「土地工作物責任」について、経済学の概念で整理し、問題の所在と解決方法について検討する。教員・学生とのディスカッションをメインに講義を展開する。 事前学修 2.0hr：第 9 回の「外部経済と外部不経済」の内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める

11回	**授業テーマ：契約後の瑕疵の問題について** 授業内容：法律の授業で学修する「瑕疵」の問題点について、経済学の概念で整理し、問題の所在と解決方法について検討する。教員・学生とのディスカッションをメインに講義を展開する。 事前学修 2.0hr：「土地と住宅の経済学」で学修した情報の非対称性について復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
12回	**授業テーマ：定期借家の問題点について** 授業内容：法律の授業で学修する「定期借家」について、経済学の概念で整理し、問題の所在と解決方法について検討する。教員・学生とのディスカッションをメインに講義を展開する。 事前学修 2.0hr：「土地と住宅の経済学」で学修した定期借家制度につて復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
13回	**授業テーマ：造作物買取請求権の問題点について** 授業内容：法律の授業で学修する「造作物買取請求権」について、経済学の概念で整理し、問題の所在と解決方法について検討する。教員・学生とのディスカッションをメインに講義を展開する。 事前学修 2.0hr：「ミクロ経済学」で学修した供給曲線の導出方法と定義について復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
14回	**授業テーマ：大家・入居者の問題点について** 授業内容：法律の授業で学修する「大家・入居者」について、経済学の概念で整理し、問題の所在と解決方法について検討する。教員・学生とのディスカッションをメインに講義を展開する。 事前学修 2.0hr：「土地と住宅の経済学」で学修したテニュア・チョイスについて復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で用いた例題や小テストに取り組み、同分野の数学的な理解を深める
15回	**授業テーマ：法による経済政策(まとめ)** 授業内容：これまでの講義内容を整理し、経済政策が持つ意義と限界、法律に求められる経済学的な視点について確認する。 事前学修 2.0hr：これまでに学修した内容を復習し、分からない場所を確認し、最終授業で質問できるように準備しておく 事後学修 2.0hr：質問して理解した点を踏まえて、これまでの小テストや例題に再度取り組み理解を深める

不動産経営戦略

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

山本　卓（やまもと　たかし）

▌授業の概要

最近、企業不動産戦略 (CRE) の重要性が浸透し、ビジネス社会においても無視できない状況となってきている。この背景には、不動産会計制度が国際的に進展していることが指摘できる。本授業では、このような時代的要請を踏まえ、会計・経営的視点から CRE に関係する各種テーマの理解を深める。なお、企業関係者をゲストとして呼び、ビジネスの現場の課題の理解を深めることも予定している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産のビジネスにかかる不動産事業経営、不動産企業経営を適切に行うために必要となる知識と技能を身につける。

個別目標：本授業の個別目標は下記のとおりとなる。

(1) 企業と不動産との関わりの概観や歴史的展開を理解し、説明できる。 (2) 企業不動産と会計・経営の基礎理論との関係を理解し、説明できる。 (3) 適切な CRE を実現させるための各種の方法論を理解し、それをツールとして個別企業に適用できる。 (4)CRE に関係する事項を調査し、説得性の高いレポートに表現できる。

▌履修条件

特にないが、会計・経営領域に関心があることが望ましい。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の授業出席を前提とし、毎回の確認課題の提出 (70%)、定期試験 (30%) で、到達目標の達成度に基づき総合的に評価を行う。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。希望に応じて面談でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （希望者に任意のテーマでレポートを作成し、プレゼンを行い質疑応答をする予定である。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

manaba を通じて事前に授業資料を提示する。

▌参考書

山本卓 (2025)『企業不動産読本』KEN 不動産研究、山本卓編著 (2021)『ストック型社会への企業不動産分析』創成社、山本卓編著 (2017)『グローバル社会と不動産価値』創成社、山本卓 (2015)『投資不動産会計と公正価値評価』創成社、山本卓 (2013)『不動産会計と経営行動』創成社、山本卓 (2011)『企業不動産の会計と環境』創成社、山本卓 (2009)『財務情報と企業不動産分析』創成社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　CRE とは何か？** 授業内容：本授業の基本的な進め方やルールを周知する。ビジネス社会において企業不動産に関係する経営管理を学ぶ重要性を確認する。 事前学修 2.0hr：CRE の新聞記事を検索し目を通す。この場合図書館の新聞記事検索システムを活用する。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、CRE にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
2 回	**授業テーマ：不動産制度の史的展開と CRE の基礎** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「不動産制度の史的展開と CRE の基礎」について講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートのテーマを摸索する。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、不動産制度の史的展開と CRE の基礎にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
3 回	**授業テーマ：CRE と会計** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「CRE と会計」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートのテーマを決定する。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、CRE と会計にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
4 回	**授業テーマ：CRE と企業価値** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「CRE と企業価値」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートの構成を考える。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、CRE と企業価値にかかる参考書の該当部分を確認する。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
5 回	**授業テーマ：CRE と不動産会計 (公正価値問題)** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「CRE と不動産会計（公正価値問題）」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポート作成のための新聞記事を収集する。この場合図書館の新聞記事検索システムを活用する。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、公正価値問題にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
6 回	**授業テーマ：CRE と不動産会計 (減損会計、投資不動産会計)** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「減損会計、投資不動産会計」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポート作成のための専門雑誌論文を収集する。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、減損会計、投資不動産会計にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
7 回	**授業テーマ：CRE とコーポレートガバナンス** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「CRE とコーポレートガバナンス」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートの骨子を考える。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、CRE とコーポレートガバナンスにかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
8 回	**授業テーマ：企業不動産と環境** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「企業不動産と環境」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートの下書きをする。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、企業不動産と環境にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。

9回	**授業テーマ：企業不動産の購入・売却、証券化の財務的効果** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「企業不動産の購入・売却等の財務的効果」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートの文章を書きあげる。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、企業不動産の購入・売却、証券化の財務的効果にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
10回	**授業テーマ：不動産賃貸事業と AM、PM** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「不動産賃貸事業とＡＭ・ＰＭ」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートの見直しをする。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、不動産賃貸事業と AM、PM にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
11回	**授業テーマ：不動産価値の把握方法** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「不動産価値の把握方法」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートの修正を行う。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、不動産価値の把握方法にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
12回	**授業テーマ：事業化手法の紹介 (市街地再開発、共同ビル)** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「市街地再開発・共同ビル」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートのプレゼンの骨子を考える。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、市街地再開発等にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
13回	**授業テーマ：事業化手法の紹介 (定期借地権、建設協力金方式、リースバック方式)** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、「定期借地権、建設協力金方式等」についての基礎を講義する。それを踏まえたうえで、取り組んでもらう課題のポイントを示す。 事前学修 2.0hr：レポートの発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、定期借地権等にかかる参考書該当部分を確認。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
14回	**授業テーマ：レポートの報告** 授業内容：前回の課題の解説や振り返りを行ったうえで、任意レポートの発表と質疑を行う。 事前学修 2.0hr：レポートの発表の練習をする。 事後学修 2.0hr：他の学生の発表を聞き、不明点を調べる。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの基礎論点の振り返りを行い、理解を確実なものとする。 事前学修 2.0hr：レポートの最終チェックをする。 事後学修 2.0hr：配布資料を見直して、企業不動産戦略全般の理解を確かなものとする。疑問点は担当教員に質問し、理解を完全なものにする。

不動産数理

開講学科等：不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

塩尻　康夫（しおじり　やすお）

▌授業の概要

不動産に関する学びにおいて、数的・論理的な理解・思考が役立つことがあります。本学部生にとって、実用的な数学学修を通じて、理解力・思考力を培うことは、望ましいことです。

この科目では、実用的な数学学修として、２つのテーマ(最適化数学の初歩、数え上げ数学の初歩)をとりあげ、必要な基盤学習(集合に関すること、ベクトルに関すること)をも含めて、学修内容を構成します。

各テーマを一言ずつに凝縮して述べますと、「最適化数学の初歩」は、制約のもとで最適な状態を合理的に見つけることに関する数学学修です。「数え上げ数学の初歩」は、条件を満たす方法の数を合理的に求めることに関する数学学修です。これらは、日常我々が経験する多種多様な思考の中の、きわめて限られた一側面だけに焦点をあて、それを数的・論理的に厳密に考察しようとするものとも言えます。

この科目では、本学部生の学修のために編んだ教材を使用します。事前・事後学修時、授業時に、教材を読んで、教材に書かれたことを理解することを目指していただきます。このような理解を促す課題を毎回出題します。定期試験では、教材の例題をもとに作成された問題が出題されます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：最適化数学の初歩、数え上げ数学の初歩、必要な基盤学習について、教材の例題をもとに作成された問題の答案を、意味と理由を理解して、書けるようになること。

個別目標：(1) 必要な基盤学習について、教材の例題をもとに作成された問題の答案を、意味と理由を理解して、書けるようになること。
(2) 最適化数学の初歩について、教材の例題をもとに作成された問題の答案を、意味と理由を理解して、書けるようになること。
(3) 数え上げ数学の初歩について、教材の例題をもとに作成された問題の答案を、意味と理由を理解して、書けるようになること。

▌履修条件

原則として、誰でも履修できます。ただし、次のことに、ご注意ください。

課題の答案は、紙に直接自分で手書きして作成する必要があります。

課題の答案は、自分以外の人や AI が書いたものを写して作成することは禁止されています。

▌評価基準・方法

履修の手引に書かれている出席要件を満たさない履修生は、原則として評価対象外です。

［注意］履修の手引に書かれている授業欠席届が大学に受理されて公欠と認められる場合でなければ、公欠になりません。

課題(全 15 回出題)の評価ウエイトが 40%、定期試験の評価ウエイトが 60%、すなわち、次の式で計算される総合点に基づいて、評価します。

総合点　＝　0.4 × 課題(各回 100 点満点)の得点の合計 × 1/15　＋　0.6 × 定期試験(100 点満点)の得点

定期試験を受験していない履修生は、評価対象外です。

定期試験は、資料(教材、課題、ノート、メモ類、書籍など)の参照ができない試験です。

▌フィードバック方法

課題の得点・講評を manaba で通知します。定期試験の得点も manaba で通知します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし （しかし、主体的に理解しようと努める経験の積み重ねがこの科目の目標に向けてきわめて大切です。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （しかし、次のことに、ご留意ください。この授業では、履修生は、manaba で配付される教材のファイルをダウンロードして、それを読みながら授業を受けることが必要です。それができるような情報通信機器(ノートＰＣまたはタブレット端末またはスマホ)を、授業時に持参していただくことが必要です。教材は、スマホのような小さな画面の機器で読む場合のことを考えて、Ａ４のページに１６ポイントという比較的大きめの文字で書かれています。しかし、もし、ノートＰＣの持参が可能であるならば、一般的には、そのほうが、より読みやすいと思います。）

▌教科書

教材、課題のファイルを manaba で配付します。各自の情報通信機器(ＰＣまたはタブレット端末またはスマホ)にダウンロードして、事前・事後学修時、授業時に、読んでください。

【教材について】

教材の公開は、原則として、授業日の 3 日前です。

教材の例題には解答例も掲載されています。

【課題について】

課題の公開は授業日で、答案の提出期限は授業日の翌々日 18:00 です(最後の回だけは、これと異なるスケジュールです)。

課題の答案が提出期限に遅れてしまいますと、残念ですが、採点されません。

課題の答案を作成する時には、教材を読みながら、答案の構成や考察内容を検討し、課題の問いに対して的確な記述を目指しましょう。

課題の答案の得点は、課題の問いに対する記述の的確さなどに応じてつけられます。

課題の答案に対する講評は、各履修生が提出した答案の記述に応じて行われます。各履修生の答案の記述によって、講評の内容、量等は異なります。

課題の解答例は配付されません。なぜなら、この課題は、教材に書かれたことの理解を促すために行われるものだからです。

●●［注意］●●

課題の答案の作成・提出方法は、次の通りです。

ノートブック等の紙に、直接、自分で手書きして作成し、それを撮影した画像を manaba レポートで提出してください。

（これ以外の作成・提出方法では採点されません。ご注意ください。）

▌参考書

授業の中で必要があれば参考文献を示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：[基盤学習] 集合** 授業内容：集合には、集合に属する元の個数を数え上げることができる集合と、数え上げることができない集合とがある。これから第 9 回までに出てくる集合は、主として、元の個数を数え上げることができない集合である。集合の概念と表現。空集合。集合と集合の共通部分。など。 事前学修 1.5hr：シラバスの確認。教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 2.5hr：教材を読みながら、課題(集合と集合の共通部分。空集合。などについて)学修。
2 回	**授業テーマ：[基盤学習] ベクトル(１)** 授業内容：ベクトルについて。集合をベクトルの式で表現すること(次回に続く)。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(集合をベクトルの式で表現すること。などについて)学修。

3回	**授業テーマ：[基盤学習] ベクトル(2)** 授業内容：(前回から続く)集合をベクトルの式で表現すること。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(集合をベクトルの式で表現すること。などについて)学修。
4回	**授業テーマ：[最適化数学] 最適化問題への導入** 授業内容：この科目で使われる最適化問題。最適化問題における制約の意味。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(最適化問題の考え方。制約の意味。などについて)学修。
5回	**授業テーマ：[最適化数学] 最適化問題の表現** 授業内容：最適化問題のいろいろな表現形式を相互に書き換えること。最適な状態において最適点とそのまわりがどうなっているか。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(最適点における変数の値を求める方法。などについて)学修。
6回	**授業テーマ：[最適化数学] 最適化問題を図示により解く(1)：準備。** 授業内容：最適化問題を図示により解くための準備学習。図を適切に描くための注意点。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(図を適切に描くための注意点。などについて)学修。
7回	**授業テーマ：[最適化数学] 最適化問題を図示により解く(2)** 授業内容：最適化問題を図示により解く方法。最適点の状態による、変数の値の求め方の違い。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(最適点における変数の値を求める方法。などについて)学修。
8回	**授業テーマ：[最適化数学] 最適化問題を連立方程式の性質を利用して解く(1)：準備。** 授業内容：最適化問題を連立方程式の性質を利用して解くための準備学習。連立方程式の操作。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(連立方程式の操作。などについて)学修。
9回	**授業テーマ：[最適化数学] 最適化問題を連立方程式の性質を利用して解く(2)** 授業内容：最適化問題を連立方程式の性質を利用して解く方法。最適点である可能性が高いと思われるケースから順に試していく。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(最適化問題を連立方程式の性質を利用して解く方法。などについて)学修。
10回	**授業テーマ：[数え上げ数学] 配列する方法の数** 授業内容：今回からテーマ「数え上げ数学の初歩」に入る。配列する方法の数。これからよく使う記号や式。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(配列する方法の数。などについて)学修。
11回	**授業テーマ：[数え上げ数学] 配列する方法の数の考察の応用** 授業内容：配列する方法の数の考察を応用する。グループに分ける方法の数。選出方法の数。道のたどり方(経路)の数。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(配列する方法の数の考察の応用。などについて)学修。
12回	**授業テーマ：[数え上げ数学] 集合と数え上げ(1)：数え上げの知識を使って、集合について考察する。** 授業内容：集合には、集合に属する元の個数を数え上げることができる集合と、数え上げることができない集合とがある。これから第 14 回までに出てくる集合は、主として、元の個数を数え上げることができる集合である。集合の部分集合。集合の共通部分と和の関係。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(集合の部分集合。などについて)学修。
13回	**授業テーマ：[数え上げ数学] 集合と数え上げ(2)：集合の知識を使って、数え上げを行うことを考察する。** 授業内容：集合の共通部分と和の関係を利用して、数え上げを行うこと。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(集合の共通部分と和の関係を利用して、数え上げを行うこと。などについて)学修。
14回	**授業テーマ：[数え上げ数学] 確率の計算：集合の知識と数え上げの知識を使って、確率を計算することを考察する。** 授業内容：ものごとの可能性(確からしさ)の程度を評価する数値として「確率」を導入する。集合の直積について。確率の計算方法の考察。など。 事前学修 1.0hr：教材の下読みをして授業に備える。 事後学修 3.0hr：教材を読みながら、課題(確率を計算すること。などについて)学修。
15回	**授業テーマ：ふりかえり** 授業内容：今回の課題(今回は、ふりかえり)は、授業日より早い時点で公開(答案の提出期限は授業日 18:00)。授業ではこの課題を素材に講義。 事前学修 2.0hr：各自の状況に応じた時間をかける。課題(今回は、ふりかえり)学修。 事後学修 2.0hr：各自の状況に応じた時間をかける。各自の状況に応じた学修。

地理情報システム

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：後 2 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

安藤　章（あんどう　あきら）

▌授業の概要

不動産学の研究や実務において有用な GIS（地理情報システム）について学ぶ。GIS とは、各種の地理情報を整理、統合、可視化、分析、共有するツール、もしくはそのための科学的方法論であり、情報化の進展が著しく、各種地理情報を扱うことの多い不動産学の分野にあって、これを学ぶことの意義は大きい。この科目は、GIS に関する全般知識やその仕組み、GIS をコンピュータ上で操作するのに不可欠な基礎知識を習得するとともに、GIS ソフトウェアの基礎操作を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：本講義で学んだ GIS に関する全般知識を習得し卒業後の自分の仕事分野で活用できる。

個別目標：① GIS に関わる全般知識を体得し自ら説明できる。
② GIS のソフトウェアを使用して、テーマに沿った地図の作成や簡単な空間解析を行うことができる。
③空間的思考により諸事象を捉え、地理的問題解決のアプローチにより、現実の問題解決に臨むことができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

期末試験 30%、小テスト 20 %（講義小テスト 10 %、演習小テスト 10 %）、GIS 演習成果物 25%、授業態度・授業参加度・課題 25%、 到達目標の達成度などに基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。
また、既に学修した内容について学期の前半部と後半部に分けて小テストを行うことで自分の学修状況を確認させる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業（授業内容の予習と復習）、授業中の演習と授業前後の課題調査）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （自身のパソコンを利用（主に QGIS ソフトを使用した地理情報分析））

▌教科書

特に指定しない。毎回の講義の際にレジュメを配布する。

▌参考書

講義の都度適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義ガイダンス（講義）** 授業内容：講義の目標、講義の主な内容、教材、成績評価方法などについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、講義の目標、講義の主な内容、教材、成績評価方法などについて確認する。 事後学修 2.0hr：ガイダンスで説明した主なトピック（GIS 用のデータ、GIS データの視覚化、GIS を用いた空間分析、GIS の応用）についてネットなどで調べる。	16 回	**授業テーマ：GIS 用データの視覚化（講義）** 授業内容：GIS 用データの視覚化方法の種類とその特徴について学修を行う。 事前学修 2.0hr：GIS 用データの視覚化方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS 用データの視覚化方法の各特徴についてまとめる。
2 回	**授業テーマ：演習ガイダンス（演習）** 授業内容：授業時間中の演習で使う GIS ソフト、QGIS の基礎的な内容について説明する。 事前学修 2.0hr：現在市販されている GIS ソフトについてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：QGIS の主な機能についてまとめる。	17 回	**授業テーマ：空間データの地図表現（演習）** 授業内容：GIS による空間データの地図表現方法について演習を行う。 事前学修 2.0hr：GIS による地図表現方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS による地図表現の演習結果についてまとめる。
3 回	**授業テーマ：GIS とは（講義）** 授業内容：GIS(Geographic Information System) の基礎的な内容について学修を行う。 事前学修 2.0hr：GIS と GPS の違いについてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：既存の紙ベースの作業に比べ、GIS のメリットについてまとめる。	18 回	**授業テーマ：GIS 用座標系（講義：緯度経度座標系と平面直角座標系）** 授業内容：GIS 用座標系として使用している緯度経度座標系及び平面直角座標系について学修を行う。 事前学修 2.0hr：座標系の種類とその仕組みについてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：自宅と学校の経緯度及び平面座標をネット上のグーグルマップなどで調べる。
4 回	**授業テーマ：GIS ソフトの基本操作 I（演習：QGIS の起動及び既存データのアップロードなど）** 授業内容：QGIS の基本操作である起動及び既存データのアップロードについて演習を行う。 事前学修 2.0hr：QGIS というソフトについてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：現在国土地理院で販売している各デジタルマップの特徴についてまとめる。	19 回	**授業テーマ：空間分析 I（演習：バッファ操作とボロノイ分割）** 授業内容：GIS によるバッファ操作とボロノイ分割方法について演習を行う。 事前学修 2.0hr：GIS によるバッファ操作とボロノイ分割方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS によるバッファ操作とボロノイ分割の演習結果についてまとめる。
5 回	**授業テーマ：GIS 用データ I（講義：属性データとラスターデータ）** 授業内容：GIS 用属性データとラスターデータについて学修を行う。 事前学修 2.0hr：GIS 用ラスターデータの種類とその特徴についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：ラスターの特徴とその利用例についてまとめる。	20 回	**授業テーマ：GIS の応用** 授業内容：GIS の応用、特に不動産分野における GIS の応用例とその活用について学修を行う。 事前学修 2.0hr：国土地理院と東京大学空間情報科学研究センターのホームページなどを訪問し、GIS の応用例を調べる。 事後学修 2.0hr：GIS を不動産分野の中で活かせるところを 1 つ提案する。
6 回	**授業テーマ：GIS ソフトの基本操作 II（演習：データ間のリンクと表示）** 授業内容：GIS の基本操作であるデータ間のリンクと表示について演習を行う。 事前学修 2.0hr：GIS のデータ間のリンク方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS のデータ間のリンクの演習結果についてまとめる。	21 回	**授業テーマ：GIS による空間分析 II（講義：オーバーレイと総合分析）** 授業内容：GIS による空間分析方法であるオーバーレイと総合分析について学修を行う。 事前学修 2.0hr：GIS によるオーバーレイと総合分析方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：多数のレイヤーのオーバーレイによる総合分析のメリットについてまとめる。
7 回	**授業テーマ：GIS 用データ II（講義：ベクターデータ）** 授業内容：GIS 用ベクターデータについて学修を行う。 事前学修 2.0hr：GIS 用ベクターデータの種類とその特徴についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：ベクターの特徴とその利用分野についてまとめる。	22 回	**授業テーマ：総合演習 I -①（中央線沿線地域のデータ整理）** 授業内容：GIS 上で、東京都内の公示地価の中から中央本線沿線地域以外の地価データを属性検索やフィーチャ検索を通じて削除する。 事前学修 2.0hr：中央本線の公示地価についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS 上での中央本線沿線地域の地価データの活用案を 1 つ提案する。

8回	**授業テーマ：GIS 用属性データの作成(演習)** 授業内容：GIS による GIS 用属性データの作成方法について演習を行う。 事前学修 2.0hr：GIS 用属性データについてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS による GIS 用属性データの演習結果についてまとめる。	23回	**授業テーマ：総合演習Ⅰ-②(中央線沿線地域のデータ整理)** 授業内容：GIS 上で、東京都内の鉄道路線の中から中央本線の高尾駅以内の都心部の鉄道路線を属性検索やフィーチャ検索を通じて残す。 事前学修 2.0hr：中央本線の駅や沿線地域についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS 上での中央本線の駅データの活用案を 1 つ提案する。
9回	**授業テーマ：GIS 用データⅢ(講義：トポロジーデータ)** 授業内容：GIS 用トポロジーデータについて学修を行う。 事前学修 2.0hr：GIS 用トポロジーデータについてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS 用トポロジーデータの構造とその利用例についてまとめる。	24回	**授業テーマ：総合演習Ⅱ-①(GIS を活用して引っ越し先を見つける)** 授業内容：GIS 上で、便利な地域(駅から 1000m 以内地域＆コンビニから 500m 以内の地域)を選ぶ。 事前学修 2.0hr：利な地域の定義についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS 上での選ばれた便利な地域の活用案を 1 つ提案する。
10回	**授業テーマ：属性データの編集(演習)** 授業内容：GIS による属性データの編集方法について演習を行う。 事前学修 2.0hr：GIS での属性データの編集方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS の属性データの編集の演習結果についてまとめる。	25回	**授業テーマ：総合演習Ⅱ-②(GIS を活用して引っ越し先を見つける)** 授業内容：GIS 上で、快適な地域(騒音がひどい幹線道路から 100m 以上離れた地域＆日当たりの良い東南・南・南西の地域)を選ぶ。 事前学修 2.0hr：快適な地域の定義についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS 上での選ばれた快適な地域の活用案を 1 つ提案する。
11回	**授業テーマ：GIS 用データ作成Ⅰ(講義：測量及び既存の紙地図データから作成)** 授業内容：GIS 用データ作成方法の一つである、測量及び既存の紙地図データから GIS 用データ作成方法について学修を行う。 事前学修 2.0hr：測量及び既存の紙地図データから GIS 用データを作成方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：既存の紙地図データから GIS 用データを作成した場合の長所と短所についてまとめる。	26回	**授業テーマ：総合演習Ⅲ-①(回帰分析と GIS の統合)** 授業内容：エクセル上で地価データを整理し回帰分析を行う。 事前学修 2.0hr：回帰分析について調べる。 事後学修 2.0hr：回帰分析結果についてまとめる。
12回	**授業テーマ：属性データ間の結合と分析(演習)** 授業内容：GIS による属性データ間の結合と分析方法について演習を行う。 事前学修 2.0hr：GIS による属性データ間の結合についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS による属性データ間の結合の演習結果についてまとめる。	27回	**授業テーマ：総合演習Ⅲ-②(回帰分析と GIS の統合)** 授業内容：GIS 上で回帰分析結果を統合し、その結果を表示する。 事前学修 2.0hr：GIS と回帰分析を統合した既存事例や文献などを調べる。 事後学修 2.0hr：GIS 上での回帰分析結果の空間的な分布についてまとめる。
13回	**授業テーマ：GIS 用データ作成Ⅱ(講義：RS(Remote Sensing) データから作成)** 授業内容：GIS 用データ作成方法の一つである、RS(Remote Sensing) データから GIS 用データの作成方法に学修を行う。 事前学修 2.0hr：RS(Remote Sensing) データの種類と特徴についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：RS(Remote Sensing) データを作成するプラットフォームの種類とその特徴についてまとめる。	28回	**授業テーマ：講義のまとめ(小テスト実施)** 授業内容：27 回までの後半部で学修した講義内容のまとめを兼ねて、その内容について小テストを行う。 事前学修 2.0hr：学期開始から今までもらったレジュメを整理し、その内容について確認する。 事後学修 2.0hr：小テスト問題の間違ったところを訂正・整理し、試験準備を行う。
14回	**授業テーマ：データの検索と集計(演習：ベクターデータの検索と集計)** 授業内容：GIS によるベクターデータの検索及び集計方法について演習を行う。 事前学修 2.0hr：GIS によるベクターデータの検索及び集計方法についてネットなどで調べる。 事後学修 2.0hr：GIS によるベクターデータの検索及び集計の演習結果についてまとめる。	29回	**授業テーマ：GIS を活用した都市分析の実務講演** 授業内容：GIS を活用した都市分析の実務者に実際の活用事例を講演してもらう。 事前学修 2.0hr：講演者の取組についてはウェブで調べる。 事後学修 2.0hr：講演者の内容をレジュメにまとめる。
15回	**授業テーマ：講義の中間まとめ(小テスト実施)** 授業内容：14 回までの前半部で学修した講義内容のまとめを兼ねて、その内容について小テストを行う。 事前学修 2.0hr：学期開始から今までもらったレジュメを整理し、その内容について確認する。 事後学修 2.0hr：小テスト問題を復習し、間違ったところを訂正・整理する。	30回	**授業テーマ：演習のまとめ(小テスト実施)** 授業内容：後半部で学修した演習内容のまとめを兼ねて、その内容について小テストを行う。 事前学修 2.0hr：学期開始から今までもらったレジュメを整理し、その内容について確認する。 事後学修 2.0hr：小テスト演習問題の間違ったところを訂正・整理し、試験準備を行う。

不動産キャリアデザイン

開講学科等：不　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2024 年度以前入学生

後藤　智（ごとう　さとし）・**山本　卓**（やまもと　たかし）

▌授業の概要

不動産業界における流通・管理・鑑定・開発・投資・証券化アセットマネジメント等の各分野の業界分析や、業務内容を業界に携わっている実務者から学ぶ。業界分析や実務内容を理解した上でキャリアプランを計画し、自己実現を図るための具体的進路の可能性を高める。また、学部の「学問」・資格の「知識」・そして本講座で学ぶ「実務」を融合し、多様な場での役割を発揮していく能力を高める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産業界の分析・各分野の具体的な実務内容を理解したうえで、業界を俯瞰的に見ることができるようになる。社会人に必要な「学ぶ姿勢」や「思考」を身につけ、キャリアプランと併せて生涯学習計画を策定する。

個別目標：・不動産業界でのビジネスの基礎能力を高め、プレゼンテーションが出来るようになる。
・不動産業界の分析を実施し、各分野の業界動向や業務内容を説明できるようになる。
・不動産取引の売買・賃貸の実務概要を理解し、全体の流れを説明出来るようになる。
・業界で抱える課題に対し、自立的、主体的に分析、考察を提言することができるようになるための手がかりを得ること。

▌履修条件

不動産学部の基本科目を修得済みの学生が対象となる。講義中に示される具体的な課題について、自らの意見を発信する等の積極的な受講態度が望まれる。

▌評価基準・方法

原則として５分の４以上の出席を前提として、課題 (メインの課題を３件程度予定) の提出状況に基づき、到達目標の達成度に基づき総合的に評価を行う。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。希望に応じて面談でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題等について発表してもらい、教員・学生間で質疑応答を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

manaba を通じて事前に授業資料を提示する。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(就職活動・業界分析・キャリアプラン・同窓会)** 授業内容：本授業の趣旨や、成績評価のルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：不動産業界について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「不動産業界」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
2回	**授業テーマ：不動産流通① 住まいと不動産会社（家を買う・売る、家を借りる・貸す）** 授業内容：不動産流通とは何かという入門的な説明を行い、基礎を理解してもらう。 事前学修 2.0hr：宅地建物取引業法を復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「不動産流通」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
3回	**授業テーマ：不動産流通② 不動産流通業界分析・業務概要、物件調査の基本不動産資格と職業** 授業内容：不動産流通に関する業界動向や業務に不可欠となる物件調査の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：宅建の知識全般。特に不動産登記・宅建の宅建業法・法令上の制限について復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「物件調査」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
4回	**授業テーマ：不動産流通③　不動産査定業務、デューデリジェンス業務、不動産鑑定業界** 授業内容：不動産流通に不可欠となる物件調査について、応用的な実務について学ぶ。 事前学修 2.0hr：3 回目の授業の復習、不動産の評価方法ついて調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「不動産査定業務」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
5回	**授業テーマ：不動産流通④　売買業務(自用物件)　賃貸業務** 授業内容：不動産流通の対象となる物件が、自用物件のケースに焦点を定めた解説を行う。 事前学修 2.0hr：宅建業法や不動産売買実務の流れについて調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「自用物件の売買業務」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
6回	**授業テーマ：不動産流通⑤ 売買業務（収益物件）・不動産流通業界纏め** 授業内容：不動産流通の対象となる物件が、収益物件のケースに焦点を定めた解説を行う。 事前学修 2.0hr：収益還元法、収益価格について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「収益物件の売買業務」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
7回	**授業テーマ：リクシルリアルティ講演** 授業内容：リクシルリアルティの経営幹部が来学し、リクシルリアルティグループの経営戦略について説明する。 事前学修 2.0hr：リクシルリアルティ社の企業分析をしておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「不動産企業の経営戦略」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
8回	**授業テーマ：会社・組織・リーダーシップ論・起業** 授業内容：企業のコーポレートガバナンスや起業に焦点を定めた解説を行う。 事前学修 2.0hr：会社の理念や経営戦略とは何かについて調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「コーポレートガバナンス」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
9回	**授業テーマ：不動産金融業務(融資、財務・事業分析、抵当権)** 授業内容：不動産を担保とした融資に焦点を定めた、各種関連事項にかかる説明を行う。 事前学修 2.0hr：金融業界や貸借対照表・損益計算書、抵当権を調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「不動産金融業務」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
10回	**授業テーマ：不動産管理業務(卒業生による講演)** 授業内容：不動産学部の卒業生が来学し、不動産の管理業務についての実務的解説を行う。 事前学修 2.0hr：管理業界や不動産管理に必要な知識について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「不動産管理業界」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。

11回	**授業テーマ：不動産開発・建築業務** 授業内容：マンション分譲や戸建て分譲等に焦点を定めたデベロッパー業務についての解説を行う。 事前学修 2.0hr：開発業界や法令上の制限・建物の構造等について予習しておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「マンション開発」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
12回	**授業テーマ：不動産投資業務** 授業内容：事務所ビル等の商業系不動産投資に焦点を定めた業務の解説を行う。 事前学修 2.0hr：第３回・４回・６回・11 回目の授業を復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「貸しビル事業」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
13回	**授業テーマ：不動産の証券化・アセットマネジメント業務** 授業内容：不動産の証券化とは何かについてスキームの基本的仕組みを解説する。証券化業務に付随して不可欠なアセットマネジメント業務の内容と証券化業務との関連性も学ぶ。 事前学修 2.0hr：不動産の証券化について調べておくとこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「不動産証券化業務」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
14回	**授業テーマ：不動産投資商品と大家業** 授業内容：2000 年以降拡大してきている不動産証券化によって新しい不動産投資商品が生み出されている。これらに焦点を定めた解説を行う。 事前学修 2.0hr：J リート、区分所有マンションの投資等不動産にはどのような投資商品があるかを調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「不動産投資商品」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。
15回	**授業テーマ：キャリアプランと具体的進路についての考察** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの授業を踏まえ、各自のキャリアを考え、教員・学生間で意見交換を行う。それを踏まえて、各自が納得がいく将来のキャリアを提示できるようにする。 事前学修 2.0hr：将来のキャリアについて考えてくること。 事後学修 2.0hr：授業で提示された「キャリアプラン」に関する資料や図書館での文献調査を行い、提示された課題に取組む。

海外不動産事情

開講学科等：不 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

金　東煥（きむ　どんふぁん）・曹　雲珍（そう　うんちん）

▌授業の概要

欧米・大洋州諸国(特に米国、英国、オーストラリアなど)とアジア諸国(特に、韓国、中国、台湾)の不動産の態様、市場、制度、プロフェッションについて理解し、英国や韓国・中国での海外研修のために必要な知識を修得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：日本と比較した諸外国の不動産に関する制度、市場、産業の現状を理解し、日本の不動産ビジネスの国際的位置づけを知り、その相対化ができ、その重要性を認識する能力を身につける。

個別目標：①諸外国の不動産制度について日本と比較しつつ説明することができる。
②諸外国の不動産市場の特徴について説明することができる。
③諸外国の不動産業や不動産企業の特徴について説明することができる。

▌履修条件

海外研修への参加を希望している学生は必ず、また日本国内であっても国際的な不動産ビジネスを展開したい学生も履修すること。

▌評価基準・方法

講義中の課題(調査課題提出・発表・討論・レポートなど)：40 %、定期試験：60 %で評価する。
原則として、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

毎回課題のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。定期試験のフィードバックは成績確定後、個別要請に応じて対応する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各学生は、諸外国と日本の不動産制度、特徴の比較などについて、グループディスカッションする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を用いて、諸外国の不動産情報を検索、調査するため、PC を持参すること）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

授業において適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義目標、講義方法、成績評価などについて、ガイダンスを実施する。PC を用いて、海外不動産の特徴などを調査して、グループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：新聞、インターネットなどにより海外不動産に関する課題や話題を探し出し、読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業の学修内容を整理し、自分の理解度を確認した上で、自分の考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：中国の基礎知識(地理、社会、経済、政治、文化、流行など)について学ぶ。** 授業内容：中国の基礎知識について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前に配布された資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する予備知識を整理する。 事後学修 2.0hr：資料を再読して、授業内容を再確認し、中国と日本の不動産事情に関する共通点と相違点を整理しておく。
3回	**授業テーマ：中国の土地制度と住宅制度の特徴について学ぶ。** 授業内容：中国の土地制度と住宅制度の特徴について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んだうえで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料を再読して、授業内容を再確認し、中国と日本の不動産事情の異同について自分の考えをまとめる。
4回	**授業テーマ：韓国の基礎知識(地理、社会、経済、政治、文化、流行など)について学ぶ。** 授業内容：韓国の基礎知識について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んだうえで、、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料を再読して、授業内容を再確認し、韓国と日本の不動産事情に関する共通点と相違点を整理しておく。
5回	**授業テーマ：韓国の土地制度と住宅制度の特徴について学ぶ。** 授業内容：韓国の土地制度と住宅制度の特徴について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んだうえで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料を再読して、授業内容を再確認し、韓国と日本の不動産事情の異同について自分の考えをまとめる。
6回	**授業テーマ：台湾の基礎知識(地理、社会、経済、政治、文化、流行など)について学ぶ。** 授業内容：台湾の基礎知識について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料を再読して、授業内容を再確認し、台湾と日本の不動産事情に関する共通点と相違点を整理しておく。
7回	**授業テーマ：台湾の土地制度と住宅制度の特徴について学ぶ。** 授業内容：台湾の土地制度と住宅制度の特徴について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料を再読して、授業内容を再確認し、台湾と日本の不動産事情の異同について自分の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：香港の基本知識、土地制度と住宅制度の特徴について学ぶ。** 授業内容：香港の基礎知識と土地制度、住宅制度について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前布資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料を再読して、授業内容を再確認し、香港と日本の不動産事情に関する共通点と相違点を整理しておく。
9回	**授業テーマ：米国の不動産市場の現状と特徴について学ぶ。** 授業内容：米国の不動産市場の現状と特徴について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を再読して、授業内容を再確認し、米国と日本の不動産市場の異同を理解し、自分の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：米国の不動産制度の内容と特徴、課題について学ぶ。** 授業内容：米国の不動産制度の内容、特徴、抱えている課題について学修する。学生は、PC を用いて、米国の不動産市場のデータベースを活用する方法を学修する。 事前学修 2.0hr：事前に配布された資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を再読して、授業内容を再確認し、米国と日本の不動産制度の異同を整理する。

11回	**授業テーマ：英国の不動産市場の歴史と現状、特徴について学ぶ。** 授業内容：英国の不動産市場の歴史と現状、特徴について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んだうえで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：資料を再読して、授業内容を再確認し、英国と日本の不動産市場の異同や特徴を理解する。
12回	**授業テーマ：英国の不動産制度の歴史と現状、課題について学ぶ。** 授業内容：英国の不動産制度の歴史と現状、抱えている課題について学修する。学生は、PC を用いて、英国の不動産市場のデータベースを活用する方法を学修する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を再読して、授業内容を再確認し、英国と日本の不動産制度の異同や特徴について再確認しておく。
13回	**授業テーマ：オーストラリアの不動産市場の歴史と現状、特徴について学ぶ。** 授業内容：オーストラリアの不動産市場の歴史と現状、特徴について学修する。学修内容についてグループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を再読して、授業内容を再確認し、オーストラリアの不動産市場と日本の不動産市場の異同や特徴を再確認しておく。
14回	**授業テーマ：オーストラリアの不動産制度の歴史と現状、課題について学ぶ。** 授業内容：オーストラリアの不動産制度の歴史と現状、抱えている課題について学修する。学生は、PC を用いて、英国の不動産市場のデータベースを活用する方法を学修する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を再読して、授業内容を再確認し、オーストラリアの不動産制度の日本の不動産制度の比較、特徴について整理しておく。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：この講義で学修した国(中国、韓国、台湾、香港、米国、英国、オーストラリア)の不動産について総括し、グループディスカッションする。 事前学修 2.0hr：これまでの配布資料を読んで、新聞、インターネットなどにより授業内容に関連する知識と疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を再読して、授業内容を再確認し、海外と日本の不動産市場・不動産制度の異同や特徴を整理する。

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

上地　聡子（うえち　さとこ）

▌授業の概要

3 年間で学んだ内容の総まとめとして、不動産学・都市史・地域開発に関連するテーマに沿った「問い」を設定し、研究と調査を進め、卒業論文を完成させるまでの指導を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：　卒業論文執筆を通じて、必要な文献や情報の収集方法、情報の整理、引用の作法、論文の構造、序章・本文・終章の書き方まで一連の技術を身につける。こうした作業を通じて、不動産と都市史に関する総合的な知見を得て、それを適切にアウトプットする方法を身につける。

個別目標：・学術的に意味のある「問い」を見つけることができる。
・「問い」を解くための文献やデータを収集・分析・まとめることができる。
・問いの「答え」(＝結論)を導くための論証を適切にすることができる。
・学術論文の作法を身につける。

▌履修条件

・卒業の集大成として、卒業論文を完成させる意志を持っていること。
・個人の研究と執筆に十分な時間を確保できること。

▌評価基準・方法

論文作成過程における姿勢(授業中の報告・質疑応答・コメント)と卒業論文の内容を対象に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

各回、成果物に対して対面でコメントをする。必要に応じてメールで補足する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （指導教員とのディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （明海大学図書館のオンラインデータベースの検索などに利用）

▌教科書

共通のものは特に指定しない。

▌参考書

共通のものは特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：現在の自分の関心に基づいて、ゼミ論のテーマ候補を上げるためのブレインストーミングを行う。 事前学修 3.0hr：シラバスの内容をしっかり読み、自分の研究関心について考える。 事後学修 4.0hr：自分の関心あるテーマを複数あげて、情報収集する。	16回	**授業テーマ：研究・調査の中間報告** 授業内容：夏休み中に取り組んだ作業の成果を報告し、秋以降の調査予定を立てる。 事前学修 3.0hr：夏季休業中の研究・調査結果をまとめる。 事後学修 4.0hr：報告のフィードバックを研究・調査結果に反映する。
2回	**授業テーマ：問題関心の整理①** 授業内容：自分の研究関心について整理し、課題だと考えている点を明らかにする。 事前学修 3.0hr：自分の関心領域と疑問点を整理する。 事後学修 4.0hr：問題関心の領域について、先行研究を調べてみる。	17回	**授業テーマ：論文構成の検討** 授業内容：序論と各章の大まかな内容をまとめ、論理展開などを確認する。 事前学修 3.0hr：学術論文の構成に従い論文の見取り図を作成する。 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを見取り図に反映させる。
3回	**授業テーマ：テーマと問いの検討①** 授業内容：テーマを2、3項目に絞り、どのような課題があり、どのような問いが可能かについて議論する。 事前学修 3.0hr：問題関心に沿ったテーマを 2 つ程度に絞る。 事後学修 4.0hr：テーマに沿ってそれぞれ「問い」を考える。	18回	**授業テーマ：論文執筆の進め方①** 授業内容：各章で使う資料やデータをまとめ、論文の中でどのように使っていくかを確認する。 事前学修 3.0hr：使用予定の資料やデータを各章ごとまとめメモを作成する。 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを各章のメモに反映させる。
4回	**授業テーマ：学術論文の作法①　問い・仮説・結論** 授業内容：自分がこれまで書いてきた文章を振り返り、論文として求められている文章との違いを意識化する。 事前学修 3.0hr：これまで書いたレポートや小論文の問いと結論を整理する。 事後学修 4.0hr：これまで書いたレポートや文章を「問い・仮説・結論」の点から見直す。	19回	**授業テーマ：序章の作成①** 授業内容：これまで調べてきた内容を念頭に、序章に記載する意義と目的について確認する。 事前学修 3.0hr：見取り図に従い、序章のドラフト(意義・目的)を書いてみる。 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを序章ドラフトに反映させる。
5回	**授業テーマ：学術論文の作法②　論証** 授業内容：自分がこれまで書いてきた文章を振り返り、論証とはどういう作業なのかを意識化する。 事前学修 3.0hr：これまで書いたレポートや小論文の「論証」部分を探す。 事後学修 4.0hr：これまで書いたレポートや小論文を「論証」の点から見直す。	20回	**授業テーマ：序章の作成②** 授業内容：これまで調べてきた内容を念頭に、序章に記載する方法論と論文構成について確認する。 事前学修 3.0hr：見取り図に従い、序章のドラフト(方法・構成)を書いてみる。 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを序章ドラフトに反映させる。
6回	**授業テーマ：先行研究・資料調査について(書籍)** 授業内容：テーマ候補についてどのような先行研究が書籍として出版されているのかを、大学図書館やオンライン検索などを使って整理する。 事前学修 3.0hr：テーマに関する先行研究(書籍)を検索してみる。 事後学修 4.0hr：テーマに関する先行研究(書籍)のリストを整理する。	21回	**授業テーマ：論文執筆の進め方②** 授業内容：使用する資料の種類と引用方法、文献リストの作成などについてもう一度確認する。第一章の執筆を始める。 事前学修 3.0hr：本文中での資料引用方法を予習する。 事後学修 4.0hr：本文中での資料引用方法を序章ドラフトに反映させる。
7回	**授業テーマ：先行研究・資料調査について(ジャーナル)** 授業内容：テーマ候補についてどのような先行研究が論文として出版されているのかを、CiNii や J-Stage などのオンライン検索などを使って整理する。 事前学修 3.0hr：テーマに関する先行研究(学術ジャーナル)を検索してみる。 事後学修 4.0hr：テーマに関する先行研究(学術ジャーナル)のリストを整理する。	22回	**授業テーマ：執筆中間報告①** 授業内容：第一章のドラフトを検討し、文章や論理的なつながり、読みやすさをチェックする。 事前学修 3.0hr：本文のドラフトを作成する。(第一章) 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを第一章ドラフトに反映させる。
8回	**授業テーマ：文献・資料調査について(新聞・雑誌)** 授業内容：テーマ候補についてどのような情報がこれまで報道されているのかを、大手新聞のオンライン検索データベースを使って整理する。 事前学修 3.0hr：テーマに関する資料(新聞・雑誌)を検索してみる。 事後学修 4.0hr：テーマに関する資料(新聞・雑誌)のリストを整理する。	23回	**授業テーマ：執筆中間報告②** 授業内容：第二章のドラフトを検討し、文章や論理的なつながり、読みやすさをチェックする。 事前学修 3.0hr：本文のドラフトを作成する。(第二章) 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを第二章ドラフトに反映させる。

9回	**授業テーマ：文献・資料調査について(公文書館・フィールドワーク)** 授業内容：テーマ候補についてどのような一次資料がどこに保管されているのかを、各資料館の資料検索機能を使って整理する。フィールドワークの必要性と候補地について検討する。 事前学修 3.0hr：テーマに関する一次資料を検索する。フィールドワークが必要か検討する。 事後学修 4.0hr：テーマに関する資料(公文書、一次資料)のリストを整理し、フィールドワークの候補地を検討する。	24回	**授業テーマ：執筆上の問題点** 授業内容：章の執筆を続ける上で問題点などがあった場合、その解決策を議論する。 事前学修 3.0hr：執筆途中で困っていることと対応策を整理する。 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックをもとに解決策を検討し、実行する。
10回	**授業テーマ：学術論文の作法③　引用の技法** 授業内容：学術論文の引用方法について、ワークシートを元に復習する。これまで集めてきた先行文献をリストごとに整理する。 事前学修 3.0hr：学術レポートの引用作法について予習する。 事後学修 4.0hr：引用作法に従って、参考文献リストを作成してみる。	25回	**授業テーマ：執筆中間報告③** 授業内容：第三章のドラフトを検討し、文章や論理的なつながり、読みやすさをチェックする。 事前学修 3.0hr：本文のドラフトを作成する。(第三章) 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを第三章ドラフトに反映させる。
11回	**授業テーマ：テーマ・問い・仮説・結論設定について** 授業内容：卒論テーマを1～2つに絞り、問いと仮説(現時点で予想される結論)をまとめる。 事前学修 3.0hr：検討中のテーマの問い・仮説・結論を整理してみる。 事後学修 4.0hr：問い・仮説・結論を再検討する。	26回	**授業テーマ：終章の作成①** 授業内容：終章のドラフトを検討し、文章や論理的なつながり、読みやすさをチェックする。 事前学修 3.0hr：終章のドラフトを作成する。 事後学修 4.0hr：終章ドラフトの仮説・論証・結論を確認し、書き直す。
12回	**授業テーマ：テーマと問いの検討② 中間報告** 授業内容：卒論テーマの①問題の所在、②背景、③問い、④仮説、⑤使用予定資料について整理する。 事前学修 3.0hr：検討中のテーマの概要について報告準備をする。 事後学修 4.0hr：報告のフィードバックを概要に反映する。	27回	**授業テーマ：終章の作成②** 授業内容：終章のドラフトを検討し、それまでの章との論理的なつながりや、問いと結論の整合性をチェックする。 事前学修 3.0hr：終章のドラフトを完成する。 事後学修 4.0hr：終章ドラフトの仮説・論証・結論を最終確認する。
13回	**授業テーマ：仮説と論証の確認** 授業内容：問いと仮説、使用する資料やデータについて整理する。 事前学修 3.0hr：検討中のテーマの仮説と論証方法について案を作成する。 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを仮説と論証方法の案に反映させる。	28回	**授業テーマ：序章の書き直し** 授業内容：書き直した序章を検討し、各章との対応関係をチェックする。 事前学修 3.0hr：書き上げた本文をもとに序章を書き直す。 事後学修 4.0hr：授業のフィードバックを序章ドラフトに反映させ完成させる。
14回	**授業テーマ：テーマ・問い・仮説の確定** 授業内容：卒論テーマと問い、仮説を最終的に確定させ、卒論全体の構想ドラフトを作成する。 事前学修 3.0hr：これまで検討してきたテーマの問いと仮説を整理する。 事後学修 4.0hr：これまで検討してきたテーマを 1 つに絞る。	29回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表** 授業内容：卒業論文の完成版と報告用パワーポイントを確認し、分かりやすさや資料の補足などをチェックする。 事前学修 3.0hr：発表資料(パワーポイント or レジュメ)を作成する。 事後学修 4.0hr：コメントに応じて原稿の修正・加筆を行う。
15回	**授業テーマ：文献・資料・データの整理** 授業内容：これまで調査してきた文献リストを整理し、夏休み中に取り組むべき作業をまとめる。 事前学修 3.0hr：これまでの文献リスト等を整理し夏季休業中の研究計画案を立てる。 事後学修 4.0hr：夏季休業中の研究計画の最終案を作成する。	30回	**授業テーマ：卒業論文の仕上げ** 授業内容：卒業論文の完成版と報告用パワーポイントを最終確認し、卒論報告会の予行演習を行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文の原稿を完成させる。 事後学修 4.0hr：卒業論文の原稿の体裁を整え最終チェックをする。

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

兼重　賢太郎（かねしげ　けんたろう）

▌授業の概要

3 年次までに学修した知識やアカデミックスキル等を活かしながら、受講生自らがの各自の関心に応じてテーマを設定し、卒業論文を執筆します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：自ら「問い」を設定し、その「問い」に応えるべく研究する態度・方法を身につけるとともに、論理的な文章を構成する能力の涵養を目指します。

個別目標：卒業論文を完成すること、および、教員等の前で論文の内容をプレゼンテーションすることを、到達目標とします。

▌履修条件

開講時限以外の時間を十分に論文作成にあてること。論文を完成させるための強い意志をもつこと。なお、開講時限だけではなく、随時、相談・添削等に対応します。

▌評価基準・方法

卒業論文への取り組み具合、論文内容、最終発表への取り組み具合で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、演習の時間内をはじめ、随時行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回、教員を交えて議論します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （報告・発表のために PC を利用します。）

▌教科書

特になし。

▌参考書

必要に応じて、適宜、紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業論文作成までのスケジュールなどについて、確認する。 事前学修 1.0hr：事前準備 事後学修 3.0hr：ポイントの振り返り	16 回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：ここまでの研究成果について報告し、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：報告レジュメの作成 事後学修 4.0hr：指摘事項への対応
2 回	**授業テーマ：テーマ設定** 授業内容：卒業論文のテーマについて、既往の研究・調査などを踏まえ、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：文献等の収集・講読 事後学修 2.0hr：テーマの精査	17 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
3 回	**授業テーマ：テーマの設定** 授業内容：卒業論文のテーマについて、既往の研究・調査などを踏まえ、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：文献等の収集・講読 事後学修 2.0hr：テーマの精査	18 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
4 回	**授業テーマ：テーマの設定** 授業内容：卒業論文のテーマについて、既往の研究・調査などを踏まえ、教員と議論し、研究テーマを設定する。 事前学修 3.0hr：文献等の収集・講読 事後学修 2.0hr：テーマの精査	19 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
5 回	**授業テーマ：研究計画** 授業内容：設定した研究テーマに即した研究計画について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：研究計画の作成 事後学修 3.0hr：研究計画の見直し	20 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
6 回	**授業テーマ：研究計画** 授業内容：設定した研究テーマに即した研究計画について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：研究計画の作成 事後学修 3.0hr：研究計画の見直し	21 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
7 回	**授業テーマ：研究計画** 授業内容：設定した研究テーマに即した研究計画について、教員と議論し、完成させる。 事前学修 3.0hr：研究計画の作成 事後学修 3.0hr：研究計画の見直し	22 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
8 回	**授業テーマ：資料収集・調査** 授業内容：研究テーマと研究計画に即し、研究に必要な資料や調査について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：資料収集・調査 事後学修 3.0hr：資料収集・調査	23 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
9 回	**授業テーマ：資料収集・調査** 授業内容：研究テーマと研究計画に即し、研究に必要な資料や調査について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：資料収集・調査 事後学修 3.0hr：資料収集・調査	24 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
10 回	**授業テーマ：資料収集・調査** 授業内容：研究テーマと研究計画に即し、研究に必要な資料や調査について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：資料収集・調査 事後学修 3.0hr：資料収集・調査	25 回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆

11回	**授業テーマ：資料収集・調査** 授業内容：研究テーマと研究計画に即し、研究に必要な資料や調査について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：資料収集・調査 事後学修 3.0hr：資料収集・調査	26回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
12回	**授業テーマ：資料収集・調査** 授業内容：研究テーマと研究計画に即し、研究に必要な資料や調査について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：資料収集・調査 事後学修 3.0hr：資料収集・調査	27回	**授業テーマ：論文の作成** 授業内容：作成した論文の一部について、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文執筆
13回	**授業テーマ：資料収集・調査** 授業内容：研究テーマと研究計画に即し、研究に必要な資料や調査について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：資料収集・調査 事後学修 3.0hr：資料収集・調査	28回	**授業テーマ：論文発表の準備** 授業内容：論文発表のための資料を作成し、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：発表資料等の作成 事後学修 4.0hr：指摘事項等への対応
14回	**授業テーマ：資料収集・調査** 授業内容：研究テーマと研究計画に即し、研究に必要な資料や調査について、教員と議論する。 事前学修 3.0hr：資料収集・調査 事後学修 3.0hr：資料収集・調査	29回	**授業テーマ：論文発表の準備** 授業内容：論文発表のための資料を作成し、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：発表資料等の作成 事後学修 4.0hr：指摘事項等への対応
15回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：ここまでの研究成果について報告し、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：報告レジュメの作成 事後学修 4.0hr：指摘事項等への対応	30回	**授業テーマ：論文発表** 授業内容：論文を発表し、教員と議論する。 事前学修 4.0hr：発表資料等の作成 事後学修 4.0hr：指摘事項等への対応

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

金　東煥（きむ　どんふぁん）

▌授業の概要

本講義では、グローバル不動産市場において、学生が興味を持つ特定のテーマを選んで、3 年間学習した不動産学・経済学等の観点で、当該テーマの原理や課題を明確にする卒業論文を執筆する。卒業論文には、特定テーマの問題意識、先行研究調査、分析結果(仮説検証、資料分析やデータによる実証分析)、結論や提言が論理的に含まれる必要があり、本講義では、学生とのコミュニケーションを通して、各論文構成に必要な部分を満たしていきたいと思う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：学生は、選んだグローバル不動産市場を含む特定テーマに対して、研究論文執筆及び発表するスキルを身につける。

個別目標：①学術論文の執筆ができる。
②特定グローバル不動産市場の動向を説明できる。
③データに基づく実証分析を実施できる。
④論文の要約・発表ができる。

▌履修条件

経済学、不動産学研究の基礎を習得して、グローバル不動産市場に興味を持っていること。

▌評価基準・方法

原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
成績評価項目と割合は以下のとおりである。
毎回授業の論文調査・発表 30 %、卒業論文 40 %、卒業発表 30 %で成績評価をする。

▌フィードバック方法

毎回授業における課題のフィードバックは、翌週講義中に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各学生は、毎回自分の研究について中間報告するとともに、グループディスカッションを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンは毎回の講義で使用する。パソコンでの文書作成、発表、エクセルを主に使用する。）

▌教科書

特になし。必要に応じて提示。

▌参考書

特になし。必要に応じて提示。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・論文テーマの検討** 授業内容：卒業論文科目のガイダンスを説明する。卒業論文のテーマを検察する。テーマについてグループディスカッションする。 事前学修 3.0hr：論文テーマを考える。 事後学修 3.0hr：論文テーマを深く検討する。	16回	**授業テーマ：研究方法検討 2　研究方法発表(候補リスト作成)・データ分析方法の復習(データ図化)** 授業内容：研究テーマに対して、どのような研究方法を用いるかについて資料調査をする。データの分析方法について復習する。 事前学修 3.0hr：使用する研究方法リスト・分析方法リストを検討する。 事後学修 3.0hr：研究方法・分析方法を深く検討する。
2回	**授業テーマ：文献調査 1　研究テーマ関連の文献調査・発表** 授業内容：学生の卒業論文のテーマ設定を助けるため、グローバル経済などについて紹介・学修する。学生は、PC とインターネットを積極的に使って、自分の卒業論文テーマ設定を実施する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約 事後学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約	17回	**授業テーマ：研究方法検討 3　研究方法発表(方法 1~2 抽出)・データ分析方法の復習(データ分析法検討)** 授業内容：研究テーマに対して用いる研究方法をグループディスカッションする。グループディスカッションから得た情報に基づき、研究方法を修正・追加する。 事前学修 3.0hr：使用する研究方法・分析方法を検討する。 事後学修 3.0hr：研究方法・分析方法を更に検討する。
3回	**授業テーマ：文献調査 2　研究テーマ関連の文献調査・発表** 授業内容：学生の卒業論文のテーマ設定を助けるため、グローバル不動産市場などについて紹介・学修する。学生は、PC とインターネットを積極的に使って、自分の卒業論文テーマ設定を実施し、発表する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約 事後学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・検討	18回	**授業テーマ：研究方法検討 4　研究方法発表(方法採用)・データ分析方法(適当であるかを検討)** 授業内容：研究方法についてグループディスカッションし、更に研究方法を修正・追加する。 事前学修 3.0hr：使用する研究方法・分析方法を検討する。 事後学修 3.0hr：研究方法・分析方法を検討する。
4回	**授業テーマ：文献調査 3　研究テーマ関連の文献調査・発表** 授業内容：学生の卒業論文のテーマ設定を助けるため、不動産関連論文などについて紹介・学修する。学生は、PC とインターネットを積極的に使って、自分の卒業論文テーマ設定を実施し、発表する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約 事後学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・検討	19回	**授業テーマ：分析データ収集・分析実施 1　データ収集・報告** 授業内容：研究テーマと研究方法に基づいて、必要なデータを収集する。収集データをグラフ化して、グループディスカッションする。グループディスカッションで得た情報に基づき、データ収集を修正・追加する。 事前学修 3.0hr：分析データを考える。 事後学修 3.0hr：分析データの課題を検討・修正する。
5回	**授業テーマ：文献調査 4　研究テーマ関連の文献調査・発表** 授業内容：学生の卒業論文のテーマ設定を助けるため、不動産レポートなどについて紹介・学修する。学生は、PC とインターネットを積極的に使って、自分の卒業論文テーマ設定を実施し、発表する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約 事後学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・検討	20回	**授業テーマ：分析データ収集・分析実施 2　データ分析実施・報告** 授業内容：研究テーマと研究方法に基づいて、必要な資料を収集してグループディスカッションする。グループディスカッションで得た情報に基づき、資料収集を追加する。 事前学修 3.0hr：分析実施内容を整理 事後学修 3.0hr：分析実施の討論内容を検討する。
6回	**授業テーマ：文献調査 5　研究テーマ関連の文献調査・発表** 授業内容：学生の卒業論文のテーマ設定を助けるため、国内外の新聞などを用いて、国内外の不動産開発事例について紹介・学修する。学生は、PC とインターネットを積極的に使って、自分の卒業論文テーマ設定を実施し、発表する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約 事後学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・検討	21回	**授業テーマ：分析データ収集・分析実施 3　データ分析結果整理・報告** 授業内容：収集データ及び収集資料についてグループディスカッションし、再度研究テーマと研究方法との一致関係及び達成可能性について、再考する。 事前学修 3.0hr：分析結果を整理 事後学修 3.0hr：分析結果の討論内容を検討する。
7回	**授業テーマ：文献調査 6　研究テーマ関連の文献調査・発表** 授業内容：学生は、明海大学不動産学部の学生が提出した「卒業論文」を読んで、卒業論文のフォーマットについて学修する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約 事後学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・検討	22回	**授業テーマ：卒業論文作成 1　目次作成** 授業内容：卒業論文の目次を作成する。学生は、設定した研究方法に基づいて、コアになる分析を実施する。 事前学修 3.0hr：論文目次を作成 事後学修 3.0hr：論文目次を検討・修正

8回	**授業テーマ：文献調査 7　研究テーマ関連の文献調査・発表** 授業内容：学生は、明海大学不動産学部の学生が提出した「卒業論文」を読んで、卒業論文のフォーマットを自分で作成する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約 事後学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・検討	23回	**授業テーマ：卒業論文作成 2　各章執筆(個別指導)** 授業内容：卒業論文の目次に従って、各章を執筆する。学生は、設定した研究方法に基づいて、コアになる分析を継続的に実施する。 事前学修 3.0hr：論文を執筆する。 事後学修 3.0hr：論文を加筆・修正する。
9回	**授業テーマ：文献調査 8　研究テーマ関連の文献調査・発表** 授業内容：学生は、明海大学浦安キャンパス図書館の検索 WEB を活用して、国内外の論文データベースを利用して、研究テーマの設定を実施する。また、研究テーマについて発表する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連文献収集・要約、文献調査 1～7 までを要約 事後学修 3.0hr：文献調査 1～8 を要約し、研究テーマを検討	24回	**授業テーマ：卒業論文作成 3　各章執筆(個別指導)** 授業内容：学生は、卒業論文の目次に従って、各章を継続的に執筆する。教員は、学生が執筆する各章についてコメントする。 事前学修 3.0hr：論文を執筆する。 事後学修 3.0hr：論文を加筆・修正する。
10回	**授業テーマ：研究テーマ抽出及び研究計画書作成 1　研究テーマ候補リスト作成** 授業内容：卒業論文の作成方法について講義する。講義中に設定した研究テーマと既存に提出した研究計画書を比較して研究計画書の修正を実施する。 事前学修 3.0hr：研究テーマリストを挙げて、研究計画書を考える。 事後学修 3.0hr：研究テーマと研究計画書を検討する。	25回	**授業テーマ：卒業論文作成 4　各章執筆(個別指導)** 授業内容：学生は、卒業論文の目次に従って、各章を継続的に執筆する。教員は、学生が執筆する各章についてコメントするとともに、コメント箇所の修正を確認する。 事前学修 3.0hr：論文を執筆する。 事後学修 3.0hr：論文を加筆・修正する。
11回	**授業テーマ：研究テーマ抽出及び研究計画書作成 2　研究テーマリストを絞る。** 授業内容：卒業論文の作成方法とフォーマットなどについて講義する。講義中に設定した研究テーマと既存に提出した研究計画書を比較して研究計画書の修正を実施する。 事前学修 3.0hr：研究テーマを絞って、研究計画書を考える。 事後学修 3.0hr：研究テーマと研究計画書を検討する。	26回	**授業テーマ：卒業論文作成 5　各章執筆(個別指導)** 授業内容：学生は、卒業論文の目次に従って、各章を継続的に執筆する。教員は、学生が執筆する各章についてコメントするとともに、コメント箇所の修正を継続的に確認する。 事前学修 3.0hr：論文を執筆する。 事後学修 3.0hr：論文を加筆・修正する。
12回	**授業テーマ：研究テーマ抽出及び研究計画書作成 3　研究テーマを採用** 授業内容：卒業論文執筆のための研究テーマを設定し、それに伴う研究計画書を作成する。 事前学修 3.0hr：研究テーマと研究計画書を検討する。 事後学修 3.0hr：研究テーマと研究計画書を修正する。	27回	**授業テーマ：卒業論文作成 6　序論執筆・タイトルリスト準備** 授業内容：学生は、序論とタイトルを執筆する。教員は、学生の執筆についてコメントするとともに、コメント箇所の修正を継続的に確認する。 事前学修 3.0hr：論文を執筆する。 事後学修 3.0hr：論文を加筆・修正する。
13回	**授業テーマ：研究方法検討 1　使用研究方法発表(リスト作成)・データ分析方法の復習(データ収集)** 授業内容：データベースを活用して、データを抽出及びデータ分析手法を学修する。 事前学修 3.0hr：使用する研究方法・分析方法を考える。 事後学修 3.0hr：研究方法・分析方法を検討する。	28回	**授業テーマ：発表資料作成 1（個別指導）** 授業内容：学生は、卒業論文に合わせて、パワーポイントの発表資料を作成する。教員は、学生の作成資料についてコメントする。 事前学修 3.0hr：発表資料(PPT)を作成する。 事後学修 3.0hr：発表資料(PPT)を修正する。
14回	**授業テーマ：中間報告(PPT)作成　研究方法と分析方法の中間まとめ** 授業内容：学生は、設定した研究テーマと先行研究、研究方向性について内容をまとめて、パワーポイントで発表資料を作成する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ・研究方法について中間報告資料作成を考える。 事後学修 3.0hr：中間報告資料作成を検討する。	29回	**授業テーマ：発表資料作成 2（個別指導）** 授業内容：学生は、卒業論文に合わせて、パワーポイントの発表資料を継続的に作成する。教員は、学生の作成資料について継続的にコメントし、修正箇所を確認する。 事前学修 3.0hr：発表資料(PPT)を練習する。 事後学修 3.0hr：発表資料(PPT)を練習する。
15回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：学生は、設定した研究テーマと先行研究、研究方向性などの卒業論文の執筆について、パワーポイントを用いて発表する。 事前学修 3.0hr：研究テーマ・研究方法について中間報告資料を検討する。 事後学修 3.0hr：中間報告における課題整理	30回	**授業テーマ：卒業論文の完成・提出** 授業内容：学生は、卒業論文発表会の準備として、卒業論文について、発表用パワーポイント資料を用いて発表する。発表でのコメントに基づいて、発表用パワーポイントを修正して最終提出する。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げる。 事後学修 3.0hr：卒業論文を提出する。

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

小杉　学 (こすぎ　まなぶ)

▌授業の概要

都市計画、マンション管理に関する調査研究を行います。アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学習)を基本とします。テーマ設定は、学生本人の関心事を尊重しながら、その学生にとって無理なく進められるものを教員と議論した上で設定します。研究方法は、フィールドワーク(現地での聞き取り調査・観察調査)やアクションリサーチ(住民活動や計画策定に参画し住民と共に地域問題を解決する)など、現場へ実際に足を運ぶ方法を推奨します。最終的には、研究論文にまとめることはもちろん、それを一般住民にも分かりやすく説明するためのパワーポイントでの発表方法についても丁寧に指導します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：・少子高齢・人口減少社会における都市計画やマンション管理に関する問題や課題、それらに対する新たな社会的試みを正確かつ詳細に認識する。
・不動産の資産価値の創造にかかる都市計画やマンション管理分野における不動産企画、空間デザイン、図面作成、調査診断、改善提案、不動産情報処理を適切に行うための必要な知識と技能を身につける。

個別目標：・設定した研究目的に対応した結論を導くことができる。
・研究対象事例固有の問題点や課題について、表面的な発見や理解に留まらず掘り下げた考察ができる。
・調査研究の重要な点について、適切な図や表を用いて分かりやすく説明することができる。

▌履修条件

・調査研究や論文執筆に十分な時間を確保できること。
・調査研究を進める上での関係者や教員に対して誠実な対応ができること。

▌評価基準・方法

・調査研究の過程、卒業論文の最終的な内容、発表会でのプレゼンテーションと質疑応答などを総合的に判断します。
・再三の指摘にも関わらず不誠実な態度に改善が見られない場合、適切な連絡・報告・相談ができない場合は大幅に減点します。
・いわゆる筆記試験のような定期試験はありません。論文審査が定期試験の代わりとなります。

▌フィードバック方法

・課題を出した場合のフィードバックは、指導の中で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Powerpoint を搭載したノートパソコンを毎回持参すること。）

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

・高橋佑磨・片山なつ『伝わるデザインの基本 よい資料を作るためのレイアウトのルール』技術評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本演習の進め方について説明を行う。都市計画やマンション管理に関連する関心事や問題意識について検討する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 1.0hr：都市計画やマンション管理に関連する関心事や問題意識について、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 1.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後のゼミ報告や研究に反映できるようにまとめておく。	16回	**授業テーマ：調査の方向性** 授業内容：調査の方向性について検討する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：予備調査の方向性について構想し、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
2回	**授業テーマ：情報収集の方向性検討** 授業内容：情報収集の方向性について検討する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後のゼミ報告や研究に反映できるようにまとめておく。	17回	**授業テーマ：調査の仮企画** 授業内容：調査の仮企画を検討する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
3回	**授業テーマ：収集した情報の検討** 授業内容：収集した情報の内容について検討する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	18回	**授業テーマ：調査の企画** 授業内容：仮企画修正し、企画を決定する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
4回	**授業テーマ：収集した情報の整理** 授業内容：整理した情報の活用方法について検討する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	19回	**授業テーマ：アンケートシート・ヒアリングシートの作成** 授業内容：アンケートシート、ヒアリングシートを作成する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
5回	**授業テーマ：既往研究の調査と抽出** 授業内容：既往研究の調査方法について説明し、実際にインターネットで調査と抽出を行う。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	20回	**授業テーマ：アンケートシート・ヒアリングシートの修正** 授業内容：アンケートシート、ヒアリングシートを修正する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。

6回	**授業テーマ：既往研究の検討** 授業内容：抽出した既往研究の内容について検討を行う。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	21回	**授業テーマ：対象者リスト、調査費用の検討** 授業内容：対象者リスト、調査費用について検討する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
7回	**授業テーマ：既往研究の整理** 授業内容：抽出した既往研究の整理を行う。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	22回	**授業テーマ：調査の実施** 授業内容：調査を実施する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
8回	**授業テーマ：既往研究の位置づけ** 授業内容：整理した既往研究の位置づけを行う。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 2.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。。	23回	**授業テーマ：データの整理** 授業内容：得られたデータを整理する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
9回	**授業テーマ：テーマの仮設定** 授業内容：都市計画やマンション管理に関連する関心事や問題意識、収集した情報、抽出した既往研究などから、研究テーマを仮設定する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。る。 事後学修 3.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	24回	**授業テーマ：データの分析** 授業内容：整理されたデータを分析する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
10回	**授業テーマ：テーマの設定** 授業内容：仮設定したテーマから、研究の目的や方法、意義・位置づけを検討し、それらをもとに研究テーマを設定する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 3.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	25回	**授業テーマ：得られた知見の考察** 授業内容：分析から得られた知見を考察する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
11回	**授業テーマ：研究の意義の執筆** 授業内容：前これまでに検討してきたことを踏まえて、研究の意義を執筆する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 3.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	26回	**授業テーマ：調査報告書の執筆** 授業内容：得られた知見と考察結果を報告書として執筆する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
12回	**授業テーマ：研究の位置づけの執筆** 授業内容：これまでに検討してきたことを踏まえて、研究の位置づけを執筆する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 3.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	27回	**授業テーマ：調査報告書の修正** 授業内容：執筆した調査報告書を修正する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
13回	**授業テーマ：研究の目的の執筆** 授業内容：これまでに検討してきたことを踏まえて、研究の目的を執筆する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。	28回	**授業テーマ：調査結果のプレゼンテーション作成** 授業内容：調査結果報告書をもとにパワーポイントでプレゼンテーションを作成する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、今回のゼミ報告に必要な資料を作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、今後の報告や研究に反映できるようにまとめておく。
14回	**授業テーマ：研究の方法の執筆** 授業内容：これまでに検討してきたことを踏まえて、研究の方法を執筆する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、プレゼンテーションを作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、プレゼンテーションに反映できるようにまとめておく。	29回	**授業テーマ：調査結果のプレゼンテーション修正** 授業内容：作成したプレゼンテーションを修正する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、プレゼンテーションを作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、プレゼンテーションに反映できるようにまとめておく。
15回	**授業テーマ：研究テーマに関するプレゼンテーション作成** 授業内容：設定したテーマ、執筆した研究の意義、位置づけ、目的、方法を踏まえて、研究テーマに関するプレゼンテーションを作成する。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、プレゼンテーションを作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、プレゼンテーションに反映させる。	30回	**授業テーマ：発表練習** 授業内容：完成したプレゼンテーションの発表練習を行う。スピーチの速度、音量、パワーポイントのタイミング、予想される質疑応答など。事前学修で作成した資料のプレゼンテーション、およびその内容についてのディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：前回のゼミで指摘された事項を踏まえて、プレゼンテーションを作成する。 事後学修 4.0hr：今回のゼミで指摘されたことを整理し、プレゼンテーションに反映させる。

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

小松　広明（こまつ　ひろあき）

▌授業の概要

本講義では、現実に観測された市場データをもとに、不動産の価格形成に関する実証分析を行う。具体的には、統計モデルを用いて解析を行い、そのうえで、当該解析結果から得られた知見を整理し、不動産ビジネスや政策に対する示唆の抽出を行う。つまり、不動産の市場データを読み解く総合的な分析能力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：①研究の取り組み方を理解する。
②データの分析手法を修得する。
③卒業論文を書き上げる。

個別目標：観測された現象を、理論と客観的なデータに基づいて合理的に説明することができるようになる。

▌履修条件

「不動産学研究」を受講していること。

▌評価基準・方法

サーベイレポート 30 %、プレゼンテーション 30 %、卒業論文 40 %として評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム「manaba」を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションを適宜実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：研究計画の策定** 授業内容：研究論文の主題とテーマについて検討する。 事前学修 2.0hr：研究計画の骨子について検討する。 事後学修 2.0hr：研究計画書を作成する。	16回	**授業テーマ：仮説の設定** 授業内容：先行研究のサーベイレポート、文献をもとに標準的な理論に基づいて仮説を検討する。 事前学修 2.0hr：サーベイレポート・文献をもとに仮説を検討する。 事後学修 2.0hr：仮説を設定する。
2回	**授業テーマ：先行研究のサーベイ方法** 授業内容：先行研究を参照することによって、①仮説設定、②使用データ、③分析手法の道筋をたてる。 事前学修 2.0hr：取り組むべき研究課題に関連するキーワードを抽出する。 事後学修 2.0hr：サーベイ範囲を定める。	17回	**授業テーマ：データの収集・検討** 授業内容：仮説検証に使用すべきデータについて検討する。 事前学修 2.0hr：使用可能データについて検討する。 事後学修 2.0hr：データを収集する。
3回	**授業テーマ：先行研究のサーベイ発表・検討①** 授業内容：先行研究論文の要約内容を発表する。その上で、研究の①目的、②仮説、③使用データ、④分析方法、⑤結果についてディスカッションする。 事前学修 4.0hr：先行研究を調査して当該内容を要約する。 事後学修 4.0hr：調査した先行研究の内容のコード化を行う。	18回	**授業テーマ：データ分析①** 授業内容：データを収集・整理し、記述統計(平均値、標準偏差等)を吟味する。 事前学修 4.0hr：使用データの記述統計を吟味する。 事後学修 4.0hr：データの作成過程を確認する。
4回	**授業テーマ：先行研究のサーベイ発表・検討②** 授業内容：先行研究論文の要約内容を発表する。その上で、研究の①目的、②仮説、③使用データ、④分析方法、⑤結果についてディスカッションする。 事前学修 4.0hr：先行研究を調査して当該内容を要約する。 事後学修 4.0hr：調査した先行研究の内容のコード化を行う。	19回	**授業テーマ：データ分析②** 授業内容：設定した仮説を検証するための統計手法について検討し、具体的にデータを用いて分析を行う。当該分析結果についてディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：統計手法を用いてデータを分析する。 事後学修 4.0hr：改善に向けた検討を行う。
5回	**授業テーマ：先行研究のサーベイ発表・検討③** 授業内容：先行研究論文の要約内容を発表する。その上で、研究の①目的、②仮説、③使用データ、④分析方法、⑤結果についてディスカッションする。 事前学修 4.0hr：先行研究を調査して当該内容を要約する。 事後学修 4.0hr：調査した先行研究の内容のコード化を行う。	20回	**授業テーマ：データ分析③** 授業内容：設定した仮説を検証するための統計手法について検討し、具体的にデータを用いて分析を行う。当該分析結果についてディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：統計手法を用いてデータを分析する。 事後学修 4.0hr：改善に向けた検討を行う。
6回	**授業テーマ：先行研究のサーベイ発表・検討④** 授業内容：先行研究論文の要約内容を発表する。その上で、研究の①目的、②仮説、③使用データ、④分析方法、⑤結果についてディスカッションする。 事前学修 4.0hr：先行研究を調査して当該内容を要約する。 事後学修 4.0hr：調査した先行研究の内容のコード化を行う。	21回	**授業テーマ：データ分析④** 授業内容：設定した仮説を検証するための統計手法について検討し、具体的にデータを用いて分析を行う。当該分析結果についてディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：統計手法を用いてデータを分析する。 事後学修 4.0hr：改善に向けた検討を行う。
7回	**授業テーマ：先行研究のサーベイ発表・検討⑤** 授業内容：先行研究論文の要約内容を発表する。その上で、研究の①目的、②仮説、③使用データ、④分析方法、⑤結果についてディスカッションする。 事前学修 4.0hr：先行研究を調査して当該内容を要約する。 事後学修 4.0hr：調査した先行研究の内容のコード化を行う。	22回	**授業テーマ：データ分析⑤** 授業内容：設定した仮説を検証するための統計手法について検討し、具体的にデータを用いて分析を行う。当該分析結果についてディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：統計手法を用いてデータを分析する。 事後学修 4.0hr：改善に向けた検討を行う。
8回	**授業テーマ：先行研究のサーベイ発表・検討⑥** 授業内容：先行研究論文の要約内容を発表する。その上で、研究の①目的、②仮説、③使用データ、④分析方法、⑤結果についてディスカッションする。 事前学修 4.0hr：先行研究を調査して当該内容を要約する。 事後学修 4.0hr：調査した先行研究の内容のコード化を行う。	23回	**授業テーマ：分析結果の検証①** 授業内容：データ分析の結果を踏まえて、改善すべき点について追加的な分析を行う。 事前学修 4.0hr：分析結果について経済的解釈を行う。 事後学修 4.0hr：分析結果をサポートする先行研究についてサーベイを行う。
9回	**授業テーマ：先行研究のサーベイ発表・検討⑦** 授業内容：先行研究論文の要約内容を発表する。その上で、研究の①目的、②仮説、③使用データ、④分析方法、⑤結果についてディスカッションする。 事前学修 4.0hr：先行研究を調査して当該内容を要約する。 事後学修 4.0hr：調査した先行研究の内容のコード化を行う。	24回	**授業テーマ：分析結果の検証②** 授業内容：データ分析の結果を踏まえて、改善すべき点について追加的な分析を行う。 事前学修 4.0hr：分析結果について経済的解釈を行う。 事後学修 4.0hr：分析結果をサポートする先行研究についてサーベイを行う。

10回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの作成①** 授業内容：先行研究の要約した結果(テキストデータ)を事例-コード・マトリックス(表)に整理する。 事前学修 4.0hr：事例-コード・マトリックスを作成する。 事後学修 4.0hr：事例-コード・マトリックスの加筆及び修正を行う。	25回	**授業テーマ：分析結果の検証③** 授業内容：データ分析の結果を踏まえて、改善すべき点について追加的な分析を行う。 事前学修 4.0hr：分析結果について経済的解釈を行う。 事後学修 4.0hr：分析結果をサポートする先行研究についてサーベイを行う。
11回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスの作成②** 授業内容：先行研究の要約した結果(テキストデータ)を事例-コード・マトリックス(表)に整理する。 事前学修 4.0hr：事例-コード・マトリックスを作成する。 事後学修 4.0hr：事例-コード・マトリックスの加筆及び修正を行う。	26回	**授業テーマ：研究論文の作成①** 授業内容：研究結果を論文としてまとめ、経済的解釈のもとに仮説への適合性を検討する。その上で、ディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：研究論文の骨子を作成する。 事後学修 4.0hr：研究論文を作成する。
12回	**授業テーマ：事例-コード・マトリックスに基づくストーリー化** 授業内容：事例-コード・マトリックスを用いて取り組むべき研究の方向性について検討する。 事前学修 4.0hr：事例-コード・マトリックスをもとにストーリーを検討する。 事後学修 4.0hr：取り組むべき研究の方向性を定める。	27回	**授業テーマ：研究論文の作成②** 授業内容：研究結果を論文としてまとめ、経済的解釈のもとに仮説への適合性を検討する。その上で、ディスカッションを行う。 事前学修 4.0hr：研究論文を作成する。 事後学修 4.0hr：研究論文の加筆及び修正を行う。
13回	**授業テーマ：先行研究のサーベイレポート作成①** 授業内容：先行研究のサーベイ結果をもとに、これまでに明らかにされてきた研究結果についてのストーリーを検討する。 事前学修 4.0hr：事例-コード・マトリックスをもとにストーリーを検討する。 事後学修 4.0hr：先行研究のサーベイレポートの作成に取り掛かる。	28回	**授業テーマ：発表資料の作成①** 授業内容：プレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 4.0hr：発表用スライドを作成する。 事後学修 4.0hr：発表用スライドを適宜修正する。
14回	**授業テーマ：先行研究のサーベイレポート作成②** 授業内容：事例-コード・マトリックスをもとに、先行研究のサーベイレポートを作成する。 事前学修 4.0hr：先行研究のサーベイレポートを作成する。 事後学修 4.0hr：先行研究のサーベイレポートの加筆及び修正を行う。	29回	**授業テーマ：発表資料の作成②** 授業内容：プレゼンテーション資料を作成する。その上で、発表練習を行う。 事前学修 4.0hr：発表用スライドを用いて発表の練習を行う。 事後学修 4.0hr：発表の練習を行う。
15回	**授業テーマ：取り組むべき研究テーマの選定** 授業内容：先行研究のサーベイレポートにおいて、取り組むべき研究テーマの新規性について検討する。 事前学修 4.0hr：サーベイレポートをもとに研究の新規性について検討する。 事後学修 4.0hr：研究の新規性を明確にする。	30回	**授業テーマ：研究論文の完成** 授業内容：①研究の背景・目的、②仮説の設定、③使用データ、④分析方法、⑤結果の流れに即して、研究論文を完成させる。 事前学修 4.0hr：研究論文を仕上げる。 事後学修 4.0hr：研究論文を提出する。

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

斎藤　千尋（さいとう　ちひろ）

▌授業の概要

卒業論文では、これまでに学び、体験してきた中で疑問に思ったことを出発点として、各自のテーマに取り組みます。研究論文では、先行研究を読むことで、自らが新たに何を示そうとするかを明確にしてもらいます。その上で、資料を収集したり、調査を行うことで、可能な限り、定量的な分析を行うことで、仮説を検証します。そしてそれらの一連の作業を論文にします。設計提案では、現在の社会に必要と思われる建築物の新たな役割、現在適切な利用がなされていない土地、などを題材として不動産学部で学んだ企画、設計、表現の技術を総合的に発揮して新たな生活空間像を提案します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：先行研究を整理し、新たな事実を資料や調査から発見し、それを他の人でも再現可能なかたちで論理的に構成、記述し論文をまとめ上げること。現在の建築物の役割や建築技術を批判的にとらえ、場所に応じて、あるいは社会的な役割に応じて、また、新しい技術の可能性を生かして、新しい建築物の姿を設計提案として視覚的に表現すること。

個別目標：アイデアを提案すること。テーマに関する先行研究や調査を適切に整理すること。
論理的な構成をもった論文をまとめること。論文の内容を、図表、図面等で適切にプレゼンテーションすること。

▌履修条件

不動産学研究でレポートなどの成果物をまとめた経験をもつこと。
自分の課題だけでなく、ゼミの他のメンバーの課題にも関心を持ち、積極的に討論に参加すること。

▌評価基準・方法

論文、設計提案の提出物の達成度。卒業論文発表会において発表を行うこと。
論文においては、新しい内容を含んでいるか、論文の体裁が整っているかを重視する。
設計提案では、説得力のある生活空間像を提示しているか、基本的な製図ができているかを重視する。

▌フィードバック方法

ゼミ中のフィードバックが中心になるが、時間外、メール、manaba による質疑応答も積極的に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データ整理、分析、CAD 利用、論文執筆等）

▌教科書

なし

▌参考書

必要時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ゼミの運営のガイダンス（ディスカッション）** 授業内容：年間スケジュールの説明。取り組むテーマを相談する。 事前学修 3.0hr：講義概要を読んでくる 事後学修 4.0hr：関心のあるテーマについて考えてみる	16回	**授業テーマ：資料、調査結果の分析／断面計画のエスキース（ディスカッション）** 授業内容：収集した資料の分析を報告する。卒業設計の場合は、断面計画を報告する。それらについて議論する。 事前学修 3.5hr：分析作業／エスキース 事後学修 3.5hr：分析作業／エスキース
2回	**授業テーマ：卒論のテーマ（ディスカッション）** 授業内容：研究、卒業設計テーマの決め方を例示する。それに基づき、受講者のテーマを議論する。 事前学修 3.5hr：関心のあるテーマについてまとめてくる 事後学修 3.5hr：テーマに関連する文献、事例を探す	17回	**授業テーマ：資料、調査結果の分析のまとめ／立面計画のエスキース（ディスカッション）** 授業内容：前回の報告への指摘を反映した分析結果を報告する。卒業設計の場合は、立面計画を報告する。それらについて議論する。 事前学修 3.5hr：分析作業／エスキース 事後学修 3.5hr：分析作業／エスキース
3回	**授業テーマ：仮テーマの検討（ディスカッション）** 授業内容：研究テーマ、卒業設計テーマについて、新規性があるか、実現性があるかを討論する。 事前学修 3.5hr：研究テーマの候補をまとめる 事後学修 3.5hr：討論の結果を研究ノートにまとめ、さらに文献、事例を探す	18回	**授業テーマ：分析結果の検討／平面図の下書き** 授業内容：研究目的に照らして、分析結果の妥当性について報告する。卒業設計の場合は、平面図の作図に着手する。 事前学修 3.5hr：分析作業／製図 事後学修 3.5hr：分析作業／エスキース
4回	**授業テーマ：研究テーマ、卒業設計テーマの仮決定（ディスカッション）** 授業内容：その時点で、受講者のテーマが、取り組む価値があるかどうか、実行性があるかどうかを討論する。 事前学修 3.5hr：テーマの修正提案をまとめてくる 事後学修 3.5hr：仮決定したテーマに基づいて、研究計画、作業計画を考える。	19回	**授業テーマ：再分析作業／平面図の製図** 授業内容：前回の妥当性の検討結果に基づき新しい方針の分析結果を行う。卒業設計の場合は平面図を完成させる。 事前学修 3.5hr：分析作業／製図 事後学修 3.5hr：分析作業／製図
5回	**授業テーマ：研究計画、作業計画の確認** 授業内容：前学期終了時点、後学期開始時点を区切りとして、作業のスケジュールの案を検討する。 事前学修 3.5hr：研究計画、作業計画をまとめる 事後学修 3.5hr：既往文献の収集、読み込み／事例の収集、見学	20回	**授業テーマ：再分析結果の検討／断面図の下書き** 授業内容：新しい方針に基づく分析結果を報告する。卒業設計の場合は断面図の作図に着手する。 事前学修 3.5hr：分析作業／製図 事後学修 3.5hr：分析作業／製図
6回	**授業テーマ：研究方法の討論** 授業内容：適切な資料や分析方法を検討する。卒業設計の場合は、敷地の選定やビルディングタイプの検討を行う。 事前学修 3.5hr：既往研究の収集、読み込み／事例の収集、見学 事後学修 3.5hr：既往研究の収集、読み込み／事例の収集、見学	21回	**授業テーマ：研究結果のまとめ／断面図の製図** 授業内容：分析を終える。卒業設計の場合は、断面図を完成させる。 事前学修 3.5hr：分析作業／製図 事後学修 3.5hr：分析作業／製図
7回	**授業テーマ：分析方法の学習** 授業内容：研究に必要な分析方法の学修、分析ツールの学修に着手する。卒業設計の場合は、敷地の選定やビルディングタイプを検討する。 事前学修 3.5hr：既往研究の収集、読み込み／事例の収集、見学 事後学修 3.5hr：既往研究の収集、読み込み／事例の収集、見学	22回	**授業テーマ：論文目次の作成／立面図の下書き** 授業内容：論文の執筆に着手する。卒業設計の場合は、立面図の作図に着手する。 事前学修 3.5hr：論文執筆作業／製図 事後学修 3.5hr：論文執筆作業／製図
8回	**授業テーマ：分析方法の試行（ディスカッション）** 授業内容：テスト用の調査データを用意し、分析方法の学修成果を試行した結果を議論する。卒業設計の場合は、敷地に係る土地利用計画を調査した結果を議論する。 事前学修 3.5hr：資料の収集、試験的な調査／敷地の調査 事後学修 3.5hr：資料の収集、試験的な調査／敷地の調査	23回	**授業テーマ：論文下書き　研究の背景、研究の目的　研究方法／立面図の製図** 授業内容：研究の動機、目的、研究の方法の章をまとめる。卒業設計の場合は、立面図を完成させる。 事前学修 3.5hr：論文執筆作業／製図 事後学修 3.5hr：論文執筆作業／製図

9回	**授業テーマ：分析方法の試行のまとめ、研究の目的と研究方法の決定** 授業内容：分析方法の適切かどうかを判断する。卒業設計の場合は、どのような建築規制があるのかを調査する。 事前学修 3.5hr：資料の収集、試験的な調査／敷地の調査 事後学修 3.5hr：資料の収集、試験的な調査／敷地の調査	24回	**授業テーマ：論文の下書き　資料、調査結果と分析結果／透視図下書き** 授業内容：分析作業、分析結果、分析結果の考察の章をまとめる。透視図や CG などのレンダリングに着手する。 事前学修 3.5hr：論文執筆作業／製図 事後学修 3.5hr：論文執筆作業／製図
10回	**授業テーマ：分析方法の再検討／規模の計画（ディスカッション）** 授業内容：テストデータの分析を踏まえて、分析方法の調整について議論する。 事前学修 3.5hr：資料の収集、試験的な調査／敷地の調査 事後学修 3.5hr：資料の収集、試験的な調査／敷地の調査	25回	**授業テーマ：論文の下書き　結論　参考文献／透視図の製図** 授業内容：論文の結論をまとめる。卒業設計の場合は、透視図や CG などのレンダリングを完成させる。 事前学修 3.5hr：論文執筆作業／製図 事後学修 3.5hr：論文執筆作業／製図
11回	**授業テーマ：分析資料の収集、調査作業準備／ボリュームチェック（ディスカッション）** 授業内容：分析のための資料収集の経過を報告する。卒業設計の場合は、実現できる床面積の検討結果を報告する。それらの結果を議論する。 事前学修 3.0hr：調査作業／エスキース 事後学修 3.0hr：調査作業／エスキース	26回	**授業テーマ：論文の清書／模型の製作　材料切り出し** 授業内容：論文の全体の調整を行う。卒業設計の場合は、模型製作に着手する。 事前学修 3.5hr：論文執筆作業／模型製作 事後学修 3.5hr：論文執筆作業／模型製作
12回	**授業テーマ：資料の収集、調査作業の中間チェック／ボリュームチェックの再検討（ディスカッション）** 授業内容：前回の報告への指示を踏まえて、新たな方針を報告する。その結果を議論する。 事前学修 3.5hr：調査作業／エスキース 事後学修 3.5hr：調査作業／エスキース	27回	**授業テーマ：論文校正／模型の製作　組み立て　添景** 授業内容：論文の校正を行う。卒業論文の場合は、模型を完成させる。 事前学修 3.5hr：論文執筆作業／模型製作　写真撮影 事後学修 3.5hr：論文執筆作業／提案書の執筆作業
13回	**授業テーマ：資料の収集、調査作業の修正／配置計画のエスキース（ディスカッション）** 授業内容：前回の報告を踏まえて、新たな方針に基づく資料収集の報告、卒業設計の場合は、配置計画の報告を行い、それについて議論する。 事前学修 3.5hr：調査作業／エスキース 事後学修 3.5hr：調査作業／エスキース	28回	**授業テーマ：論文校正の確認／提案書の執筆** 授業内容：校正した論文の確認。卒業設計の場合は、図面に添える提案書を執筆する。 事前学修 3.5hr：論文執筆作業／提案書執筆作業 事後学修 3.5hr：論文執筆作業／提案書の執筆作業
14回	**授業テーマ：資料の収集、調査作業のまとめ／平面計画のエスキース** 授業内容：収集した資料の分析に着手する。卒業設計の場合は、平面計画に着手する。 事前学修 3.0hr：調査作業／エスキース 事後学修 3.0hr：調査作業／エスキース	29回	**授業テーマ：プレゼンテーションスライドの作成** 授業内容：論文の要点をスライドにまとめる。 事前学修 3.5hr：スライド化する図版の選定 事後学修 3.5hr：スライドの作成
15回	**授業テーマ：前学期のまとめ** 授業内容：前学期の成果をまとめ、夏季休暇中の作業、後学期の作業の計画を見直す。 事前学修 3.5hr：調査作業／エスキース 事後学修 3.5hr：調査作業／エスキース	30回	**授業テーマ：プレゼンテーションの練習（プレゼンテーション）** 授業内容：プレゼンテーションの発表練習を行い、伝わる発表になるように準備する。 事前学修 3.5hr：発表原稿の準備 事後学修 3.5hr：プレゼンテーションの練習

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

西村　愛 (にしむら　あい)

▌授業の概要

本授業では、都市・不動産に関する研究テーマを設定し、論文を作成することを目的とする。研究テーマは都市・不動産における環境、社会、経済面における現状の課題(低炭素、少子高齢化、経済活性化等)から学生が主体的に設定し、適宜、教員と相談を行うものとする。
前期は研究テーマの設定、既往文献の調査、仮設の設定、研究方法の設定を行った上で調査研究を開始する。後期は調査研究を踏まえ論文の構成を決め、執筆を行い、完成を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：都市・不動産に関する課題を自分なりの視点で捉え、仮説を検証することを通じて論理的な思考力を養う
個別目標：既往文献を調査し、研究テーマに対しどこまで研究がなされているか説明できる
自分なりの仮説を立て、既往研究に対する自身の研究の新規性を明らかにできる
課題把握、仮説設定、調査研究、結果考察の一連作業を計画的に行える

▌履修条件

・不動産研究を履修していること
・調査研究、論文執筆に十分な時間を確保できること
・自分なりの問題意識を持って取り組む意欲のあること

▌評価基準・方法

卒業論文の作成過程(40 %)と最終的な論文内容(60 %)で総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （論文作成を計画的に進めるために、毎回の授業で学生から教員に進捗状況等の報告をし、学生と教員のディスカッションを繰り返す）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,Powerpoint の機能のあるノートパソコンを持参すること）

▌教科書

なし(研究テーマ、研究方法に沿ったものを必要に応じて、適宜紹介)

▌参考書

なし(研究テーマ、研究方法に沿ったものを必要に応じて、適宜紹介)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業論文作成の作業事項、スケジュールを教員が説明し、学生と議論 事前学修 3.0hr：他の論文を読む等して卒業論文の作成をイメージする 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	16回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：学生が研究の進捗を報告し、教員と議論して研究計画の見直しを行う 事前学修 3.0hr：研究計画と進捗状況について整理する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
2回	**授業テーマ：問題意識の検討** 授業内容：学生が問題意識を説明し、教員とその内容を具体化する 事前学修 3.0hr：問題意識をまとめたメモを作成する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	17回	**授業テーマ：追加の調査研究の実施(１)インタビューや現地再調査等** 授業内容：学生が調査研究の追加調査案を提案し、教員と議論し方向性を決める 事前学修 3.0hr：必要な追加調査を行う 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
3回	**授業テーマ：研究テーマの検討** 授業内容：学生が問題意識を基に研究テーマ案を提示し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：研究テーマ(背景と調べたいこと)を作成する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	18回	**授業テーマ：追加の調査研究の実施(２)インタビューや現地再調査等のまとめ** 授業内容：学生が追加調査分析結果を報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：追加調査の分析を行う 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
4回	**授業テーマ：既往研究の調査(１)キーワード１** 授業内容：学生が調査した既往研究を報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：研究テーマ(キーワード１)に関する既往研究を整理してくる 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	19回	**授業テーマ：調査研究結果と仮説の関係の整理** 授業内容：学生が調査研究と仮説の関係を報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：調査研究結果と仮説の関係を整理する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
5回	**授業テーマ：既往研究の調査(２)キーワード２** 授業内容：学生が調査した既往研究を報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：研究テーマ(キーワード２)に関する既往研究を整理してくる 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	20回	**授業テーマ：論文骨子の検討** 授業内容：学生が調査研究を踏まえて論文骨子を報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：論文の骨子を作成する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
6回	**授業テーマ：仮説の設定** 授業内容：学生が研究の目的を報告し、教員と議論して仮説を立てる 事前学修 3.0hr：研究テーマを基に何を明らかにしたいのか目的をメモしてくる 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	21回	**授業テーマ：論文の執筆１(問題提起)** 授業内容：該当部分について学生が報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：原稿案を準備する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
7回	**授業テーマ：研究方法の設定** 授業内容：学生が研究の方法を提案し、教員と議論して具体的な方法を設定する 事前学修 3.0hr：どのような調査をしたら研究目的を達成できるかメモしてくる 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	22回	**授業テーマ：論文の執筆２(既往研究の整理)** 授業内容：該当部分について学生が報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：原稿案を準備する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
8回	**授業テーマ：研究計画の設定** 授業内容：学生が研究の計画を提案し、教員と議論して計画を推敲する 事前学修 3.0hr：具体的にどのように研究を進めていくか計画を作成する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	23回	**授業テーマ：論文の執筆３(仮説及び研究方法の設定)** 授業内容：該当部分について学生が報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：原稿案を準備する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
9回	**授業テーマ：調査研究の実施(１)文献調査** 授業内容：学生が調査したことを報告し、教員と議論して次の調査を検討する 事前学修 3.0hr：調査を行う(主に文献調査) 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	24回	**授業テーマ：論文の執筆４(調査内容の記載)** 授業内容：該当部分について学生が報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：原稿案を準備する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
10回	**授業テーマ：調査研究の実施(２)アンケート作成や現地調査等** 授業内容：学生が調査したことを報告し、教員と議論して次の調査を検討する 事前学修 3.0hr：調査を行う(文献等調査を踏まえてアンケート項目作成・現地調査等) 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	25回	**授業テーマ：論文の執筆５(調査結果の記載)** 授業内容：該当部分について学生が報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：原稿案を準備する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する

11回	**授業テーマ：調査研究の実施（3）アンケート配布や現地調査等** 授業内容：学生が調査したことを報告し、教員と議論して次の調査を検討する 事前学修 3.0hr：調査を行う（文献等調査を踏まえてアンケート項目作成・配布等） 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	26回	**授業テーマ：論文の執筆6（調査結果の分析）** 授業内容：該当部分について学生が報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：原稿案を準備する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
12回	**授業テーマ：調査研究の実施（4）アンケート回収や現地調査のまとめ** 授業内容：学生が調査したことを報告し、教員と議論して次の調査を検討する 事前学修 3.0hr：調査を行う（アンケートを回収する等） 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	27回	**授業テーマ：論文の執筆7（結論・考察の作成）** 授業内容：該当部分について学生が報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：原稿案を準備する 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
13回	**授業テーマ：調査研究を踏まえた分析（1）調査結果整理表作成** 授業内容：学生が分析したことを報告し、教員と議論して次の調査を検討する 事前学修 3.0hr：文献やアンケート調査を踏まえた分析を行う 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	28回	**授業テーマ：問題提起と結論の論理性の確認** 授業内容：学生が研究目的と結論の関係を報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：研究の目的と結果との関係を考察してくる 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
14回	**授業テーマ：調査研究を踏まえた分析（2）調査結果整理表からの読み取り** 授業内容：学生が分析したことを報告し、教員と議論して次の調査を検討する 事前学修 3.0hr：文献やアンケート調査を踏まえた分析を行う 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	29回	**授業テーマ：発表資料・論文の作成** 授業内容：学生が発表資料に基づき報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：目的と結果（考察）の必要な見直しをし、発表資料を作成 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する
15回	**授業テーマ：分析結果と仮説の関係整理** 授業内容：学生が分析結果と仮説の関係を報告し、教員と議論する 事前学修 3.0hr：分析結果と仮説の関係を整理してくる 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する	30回	**授業テーマ：論文発表と最終確認** 授業内容：学生が最終成果を発表する 事前学修 3.0hr：論文を完成させる 事後学修 4.0hr：授業で学んだことを文字化してレジュメを作成する

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

秦　瑞希（はだ　みずき）

▌授業の概要

都市と不動産に関する研究として調査や分析を行い、論文としてまとめる。具体的な研究テーマとしては、公共施設の再編と都市構造形成や地域づくりとの関連などが考えられるが、学生の意見を尊重して決定する。研究テーマの着想に至った経緯を整理して背景・目的・研究の位置付けを明らかにした上で、実態調査や分析等から最終的な結論・考察を導く。進め方は、事前学修及び事後学修に真摯に取り組むことを前提として、授業の時間は学生と教員のマンツーマンの議論の時間とする。また、研究内容を有意義な知見として他者に伝えるために最終プレゼンテーションの場を設ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産の現状について都市という広い視点から捉え、自分なりの問題意識を持ち、論理的に考察し、有意義な知見を導く

個別目標：・社会的な背景を踏まえた不動産や都市の現状を調査して自分なりに課題を考えることができる
・研究テーマに応じた適切な調査の方法を検討して実行できる
・調査結果を使って論理的に考察することができる
・妥当性をもって知見をまとめ、他者に伝えることができる

▌履修条件

・事前に研究テーマについて相談すること
・論文完成まで研究及び指導教員に向き合う決意があること

▌評価基準・方法

研究に対する姿勢 30%／論文 50%／プレゼンテーション 20%
なお、研究に対する姿勢は、普段使用する資料の密度や工夫、わかりやすく教員に伝える工夫などから総合的に評価する

▌フィードバック方法

・基本的にディスカッションの中で行う
・適宜、電子メールや manaba を使用する
・オフィスアワーの時間等を利用した個別対応も歓迎する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション／プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word ／ PowerPoint ／ Excel ／必要に応じて Illustrator、Photoshop、GIS など）

▌教科書

必要時に指示する

▌参考書

必要時に指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：・研究計画書を元に研究テーマ案や概要の確認、年間スケジュールの確認を行う 事前学修 3.0hr：シラバスを読み、内容やスケジュールを確認する／研究計画書を作成する 事後学修 2.0hr：研究計画書を修正する	16回	**授業テーマ：アンケート結果の整理** 授業内容：・アンケート結果をデータベースにまとめる ・結果を用いた分析の方向性を検討し、議論する 事前学修 3.0hr：アンケート結果を整理するためのデータベースを作成する 事後学修 3.0hr：引き続きアンケート結果をデータベースにまとめる／結果を用いた分析の方向性を検討する
2回	**授業テーマ：研究テーマの決定／目的意識の確認** 授業内容：・研究テーマを決定し、研究の背景と目的の整合性を確認する 事前学修 3.0hr：研究テーマを再考し、研究の背景と目的を整理する 事後学修 3.0hr：ゼミの議事録を作成する／必要に応じて背景と目的を修正する	17回	**授業テーマ：アンケート結果を用いた分析／分析結果による考察** 授業内容：・結果を用いた分析を実施し、結果を整理する ・分析結果による考察をまとめる 事前学修 2.0hr：結果を用いた分析の方向性を検討する 事後学修 4.0hr：引き続き分析を実施し、結果を整理する／考察をまとめる
3回	**授業テーマ：既往研究の調査方法のレクチャー／既往研究の調査** 授業内容：・既往研究を調査する方法と整理する方法を学ぶ ・研究テーマに関連する既往研究を調査する 事前学修 3.0hr：既往研究を調査するためのキーワードを検討する 事後学修 3.0hr：既往研究の論文をプリントアウトして目を通す	18回	**授業テーマ：現地調査の検討／現地調査に向けた準備** 授業内容：・現地調査の実施について検討する ・現地調査に向けた事前調査を実施する ・必要に応じて行政にヒアリングのアポイントメントをとる 事前学修 2.0hr：アンケート結果から現地調査の対象地を検討する 事後学修 4.0hr：引き続き現地調査に向けた事前調査を実施する／現地調査のスケジュールを検討する
4回	**授業テーマ：既往研究の調査** 授業内容：・研究テーマに関連する既往研究を調査する 事前学修 3.0hr：既往研究を調査するためのキーワードを検討する 事後学修 3.0hr：既往研究の論文をプリントアウトして目を通す	19回	**授業テーマ：現地調査の実施** 授業内容：・対象地に出向き、現地調査を実施する ・必要に応じて行政や地域住民にヒアリングを行う 事前学修 2.0hr：現地調査のポイントを整理する／地図やカメラ等の準備 事後学修 4.0hr：現地調査の結果を整理する
5回	**授業テーマ：既往研究の整理／研究の位置付けの確認** 授業内容：・既往研究の概要をデータベースに整理する ・既往研究を踏まえて自分の研究の位置付けを明らかにする 事前学修 4.0hr：既往研究を整理するためのデータベースを作成する 事後学修 2.0hr：ゼミの議事録を作成する	20回	**授業テーマ：現地調査の結果の整理／現地調査の結果による考察** 授業内容：・現地調査の結果をデータ化して整理する ・結果による考察をまとめる 事前学修 2.0hr：現地調査の結果を整理する 事後学修 4.0hr：引き続き現地調査の結果をデータ化して整理する／考察をまとめる
6回	**授業テーマ：研究方法の検討** 授業内容：・研究方法を提案し、具体的な方法を検討して決定する 事前学修 3.0hr：研究テーマに合った研究方法を検討する 事後学修 2.0hr：ゼミの議事録を作成する	21回	**授業テーマ：アンケート及び現地調査の結果を踏まえた分析と考察 -クロス集計など-** 授業内容：・アンケート結果及び現地調査の結果等を用いて分析を行う ・分析結果による考察をまとめる 事前学修 2.0hr：アンケート結果及び現地調査の結果から必要な分析の方法や展開を検討する 事後学修 4.0hr：引き続きアンケート及び現地調査の結果を踏まえた分析を行う／考察をまとめる

7回	**授業テーマ：報告 1 ／スケジュールの確認** 授業内容：・第 1 回～第 6 回の内容と進捗を整理し、プレゼンテーションを行う ・進捗を踏まえて第 7 回以降のスケジュールを調整する 事前学修 4.0hr：報告のプレゼンテーションを作成する 事後学修 2.0hr：ゼミの議事録を作成する	22回	**授業テーマ：アンケート及び現地調査の結果を踏まえた分析と考察 -クラスター分析など-** 授業内容：・アンケート結果及び現地調査の結果等を用いて分析を行う ・分析結果による考察をまとめる 事前学修 2.0hr：アンケート結果及び現地調査の結果から必要な分析の方法や展開を検討する 事後学修 4.0hr：引き続きアンケート及び現地調査の結果を踏まえた分析を行う／考察をまとめる
8回	**授業テーマ：研究対象都市に関する調査** 授業内容：・研究対象都市を決定し、関連する調査を実施する 事前学修 2.0hr：研究対象都市を検討する／調査の方向性を検討する 事後学修 4.0hr：調査結果を整理する	23回	**授業テーマ：報告 3 ／スケジュールの確認** 授業内容：・第 16 回～第 22 回の内容と進捗を整理し、プレゼンテーションを行う ・進捗を踏まえて第 23 回以降のスケジュールを調整する 事前学修 4.0hr：報告のプレゼンテーションを作成する 事後学修 2.0hr：ゼミの議事録を作成する／論文の目次を作成する
9回	**授業テーマ：研究対象不動産に関する調査** 授業内容：・研究対象不動産を決定し、関連する調査を実施する 事前学修 2.0hr：研究対象不動産を検討する／調査の方向性を検討する 事後学修 4.0hr：調査結果を整理する	24回	**授業テーマ：論文の執筆 -序論-** 授業内容：・論文の目次について議論し、検討する ・論文の執筆(研究の背景、研究の目的、既往研究の整理、研究の位置付け、研究方法など)を進める 事前学修 3.0hr：論文の目次を作成する 事後学修 4.0hr：論文の執筆を進める
10回	**授業テーマ：研究対象不動産と周辺地域に関する調査** 授業内容：・研究対象不動産の周辺地域に関する調査を行う 事前学修 3.0hr：調査対象の地域の範囲を検討する／調査の方向性を検討する 事後学修 4.0hr：調査結果を整理する	25回	**授業テーマ：論文の執筆 -本論／アンケート調査に関連して-** 授業内容：・論文の執筆(アンケート調査の概要、アンケート調査の内容、アンケート調査の結果、分析、考察等)を進める 事前学修 4.0hr：論文の執筆を進める 事後学修 4.0hr：論文の執筆を進める
11回	**授業テーマ：研究テーマに沿った情報収集** 授業内容：・研究テーマに相応しい方法で関連情報を収集する 事前学修 2.0hr：情報収集の方向性を検討する 事後学修 4.0hr：収集結果を整理する	26回	**授業テーマ：論文の執筆 -本論／現地調査に関連して-** 授業内容：・論文の執筆(現地調査の概要、現地調査の内容、現地調査の結果、分析、考察等)を進める 事前学修 4.0hr：論文の執筆を進める 事後学修 4.0hr：論文の執筆を進める
12回	**授業テーマ：研究テーマに沿った調査** 授業内容：・研究テーマに相応しい方法で調査を実施する 事前学修 2.0hr：調査の方向性を検討する 事後学修 4.0hr：調査結果を整理する	27回	**授業テーマ：論文の執筆 -結論-** 授業内容：・論文の執筆(各章のまとめ、論文全体のまとめ、考察、今後の課題や展望等)を進める 事前学修 4.0hr：論文の執筆を進める 事後学修 4.0hr：論文の執筆を進める
13回	**授業テーマ：アンケート調査の検討** 授業内容：・アンケート調査の実施と内容について検討する 事前学修 2.0hr：アンケート調査の必要性を検討する／内容に関する案について箇条書きでまとめる 事後学修 4.0hr：アンケート調査の内容に関する案について調査票のテンプレートに基づいて形にする	28回	**授業テーマ：論文の内容の確認／論文の修正** 授業内容：・論文の内容を確認し、修正箇所について議論する 事前学修 4.0hr：論文の執筆を進める 事後学修 4.0hr：論文を修正し、完成させる／完成した論文の内容に基づき、最終プレゼンテーションのための発表資料を作成する
14回	**授業テーマ：アンケート調査の準備** 授業内容：・アンケート調査の内容に関する案を修正して、調査票・鏡文・宛名ラベル等を作成する 事前学修 3.0hr：アンケート調査の対象都市をリスト化する 事後学修 4.0hr：調査票・鏡文・宛名ラベルの準備の進捗を確認する／送付用封筒を準備する	29回	**授業テーマ：発表資料の確認と通し練習／発表資料の修正** 授業内容：・最終プレゼンテーションの練習を行う ・発表資料の修正箇所を議論する 事前学修 4.0hr：完成した論文の内容に基づき、最終プレゼンテーションのための発表資料を作成する 事後学修 4.0hr：発表資料を修正する／プレゼンテーションの練習を行う
15回	**授業テーマ：報告 2 ／スケジュールの確認／アンケート調査の実施** 授業内容：・第 8 回～第 14 回の内容と進捗を整理し、プレゼンテーションを行う ・進捗を踏まえて第 15 回以降(特に夏季休暇中)のスケジュールを調整する ・アンケート調査票を送付する 事前学修 4.0hr：報告のプレゼンテーションを作成する 事後学修 2.0hr：ゼミの議事録を作成する	30回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション** 授業内容：・最終プレゼンテーションを行う ・質疑応答を行う 事前学修 4.0hr：発表資料を修正する／プレゼンテーションの練習を行う 事後学修 4.0hr：質疑応答の内容を踏まえて論文を修正し、完成させる／ 1 年間を通して収集・作成した資料等をすべて整理し、提出する

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

浜島　裕美（はまじま　ひろみ）

▌授業の概要

不動産に関わる法律のうち、各自が興味を持ったテーマについて研究し、論文を作成し、発表する。テーマの発見、視点の設定、調査・研究・検討、文章の構成と発表のマナーなどを、総合的に学び、企画力、プレゼンテーション力、コミュニケーション能力などを養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：自ら問題を発見する能力を身につける。特に法律の場合は、個別の法律自体の目的、意義、定義や枠組み、適用範囲などを前提とした上で、問題点を発見する必要があるので、論理的思考が重要である。また、図表などの資料の他は、文章で表現する必要があるため、文章力が求められる。そして、法律は、広く一般に適用されるので、ディベート力も必要である。

個別目標：（1）不動産に関連する法制度の大枠を把握できる。
（2）法的問題について、ディベートができる。
（3）不動産に関連する法的問題について、論文の作法を身につけることができる。

▌履修条件

民法（財産法の基礎、物権法、担保物権法、債権法、家族法）と他の法律系科目（借地借家法・区分所有法、会社法など）を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題への取り組み（情報収集と分析、中間報告書、プレゼンテーション）と、その成果（論文と発表）によって評価する。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

各自のテーマに合わせて指示する。

▌参考書

各自のテーマに合わせて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業論文執筆のスケジュール、履修条件、単位修得条件などについての説明・確認 事前学修 3.0hr：テーマの発見（1） 事後学修 3.0hr：テーマの検討（1）	16回	**授業テーマ：論文の章立てと全体の構造の検討（1）論文の大まかな流れの検討** 授業内容：論文執筆作業開始・枠組みの検討 事前学修 3.0hr：論文の章立て 事後学修 3.0hr：論文の章立ての修正
2回	**授業テーマ：テーマの検討（1）不動産私法** 授業内容：テーマ選定・ブラッシュアップ作業・不動産私法分野 事前学修 3.0hr：テーマの発見（1） 事後学修 3.0hr：テーマの検討（1）	17回	**授業テーマ：論文の章立てと全体の構造の検討（2）論文の章立ての検討** 授業内容：論文の章立ての検討 事前学修 3.0hr：論文の大まかな流れ 事後学修 3.0hr：序論と結論
3回	**授業テーマ：テーマの検討（2）不動産公法** 授業内容：テーマ選定・ブラッシュアップ作業・不動産公法分野 事前学修 3.0hr：テーマの発見（2） 事後学修 3.0hr：テーマの検討（2）	18回	**授業テーマ：論文の章立てと全体の構造の検討（3）論文の執筆スケジュールの確認** 授業内容：論文執筆スケジュールの確認・検討・修正 事前学修 3.0hr：資料の厳選 事後学修 3.0hr：１章執筆
4回	**授業テーマ：収集資料の検討（1）関連論文の収集** 授業内容：関連文献の調査・収集 事前学修 3.0hr：資料収集（1） 事後学修 3.0hr：収集資料の整理	19回	**授業テーマ：１章講評・再提出** 授業内容：第 1 章の執筆と講評 事前学修 3.0hr：１章執筆 事後学修 3.0hr：１章修正
5回	**授業テーマ：収集資料の検討（2）関連論文の分析** 授業内容：関連文献の精査・分析 事前学修 3.0hr：資料収集の検討（2） 事後学修 3.0hr：分析結果の整理	20回	**授業テーマ：２章講評・再提出** 授業内容：第 2 章の執筆と講評 事前学修 3.0hr：２章執筆 事後学修 3.0hr：２章修正
6回	**授業テーマ：収集資料の検討（3）関連判例の収集** 授業内容：関連判例の調査・収集 事前学修 3.0hr：資料収集（3） 事後学修 3.0hr：収集判例の整理	21回	**授業テーマ：３章講評・再提出** 授業内容：第 3 章の執筆と講評 事前学修 3.0hr：３章執筆 事後学修 3.0hr：３章修正
7回	**授業テーマ：分析結果検討（1）収集論文の分析** 授業内容：収集文献の分析 事前学修 3.0hr：収集論文分析 事後学修 3.0hr：分析結果の整理	22回	**授業テーマ：４章講評・再提出** 授業内容：第 4 章の執筆と講評 事前学修 3.0hr：４章執筆 事後学修 3.0hr：４章修正
8回	**授業テーマ：分析結果検討（2）収集判例の分析** 授業内容：収集判例の分析 事前学修 3.0hr：収集判例分析 事後学修 3.0hr：分析結果の整理	23回	**授業テーマ：５章講評・再提出** 授業内容：第 5 章（結論部分）の執筆と講評 事前学修 3.0hr：５章執筆 事後学修 3.0hr：５章修正
9回	**授業テーマ：分析結果検討（3）関連論文・判例の分析** 授業内容：関連論文・関連判例の調査・分析 事前学修 3.0hr：関連論文・判例の調査・収集 事後学修 3.0hr：これまでの分析・整理結果のまとめ	24回	**授業テーマ：発表用レジュメ・プレゼン資料提出・講評** 授業内容：発表の準備・レジュメ・プレゼン資料作成・講評 事前学修 3.0hr：発表用レジュメ・プレゼン資料作成 事後学修 3.0hr：発表用レジュメ・プレゼン資料作成修正
10回	**授業テーマ：中間報告書発表・検討** 授業内容：ここまでの作業・成果のまとめ・発表 事前学修 3.0hr：中間報告書作成 事後学修 3.0hr：中間報告書修正	25回	**授業テーマ：発表用レジュメ・プレゼン資料再提出・講評** 授業内容：発表の準備・レジュメ・プレゼン資料修正・検討・講評 事前学修 3.0hr：発表用レジュメ・プレゼン資料再作成 事後学修 3.0hr：発表用レジュメ・プレゼン資料再修正
11回	**授業テーマ：修正中間報告書発表・検討** 授業内容：中間報告書の検討・修正 事前学修 3.0hr：中間報告書の修正・まとめ 事後学修 3.0hr：追加資料収集・分析	26回	**授業テーマ：論文提出・講評** 授業内容：論文完成・講評 事前学修 3.0hr：論文執筆 事後学修 3.0hr：論文修正

12回	**授業テーマ：追加資料検討（1）収集論文に漏れがないか検討** 授業内容：追加論文の収集 事前学修 3.0hr：追加論文収集 事後学修 3.0hr：追加論文分析	27回	**授業テーマ：論文再提出・講評** 授業内容：論文修正・講評 事前学修 3.0hr：論文再提出 事後学修 3.0hr：論文再修正
13回	**授業テーマ：追加資料検討（2）収集判例に漏れがないか検討** 授業内容：追加判例の収集 事前学修 3.0hr：追加判例収集 事後学修 3.0hr：追加判例分析	28回	**授業テーマ：論文・発表用レジュメ・プレゼン資料提出** 授業内容：論文発表用資料完成・講評 事前学修 3.0hr：論文・発表用レジュメ・プレゼン資料作成 事後学修 3.0hr：論文・発表用レジュメ・プレゼン資料修正
14回	**授業テーマ：追加資料検討（3）法改正動向の確認・検討** 授業内容：法改正の動向調査・確認・検討 事前学修 3.0hr：追加情報収集・分析 事後学修 3.0hr：追加論文・判例・情報の整理	29回	**授業テーマ：発表練習・講評** 授業内容：論文発表会用練習・講評 事前学修 3.0hr：論文発表練習 事後学修 3.0hr：論文発表練習
15回	**授業テーマ：前学期作業のまとめと講評** 授業内容：ここまでの作業・分析・検討結果のまとめ 事前学修 3.0hr：前学期作業のまとめ 事後学修 3.0hr：前学期作業のまとめの修正	30回	**授業テーマ：卒業論文発表会** 授業内容：卒業論文発表会にて発表 事前学修 3.0hr：発表練習、論文、発表用レジュメ・プレゼン資料確認 事後学修 3.0hr：コメント箇所修正・論文提出

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

原野　啓 (はらの　けい)

▌授業の概要

日本の不動産市場における特定の問題について、経済学的な観点から調査・研究を行い論文を作成する。教員の役割は、卒業論文・卒業発表に伴う技術的なアドバイス・指導である。研究対象の選定、先行研究の整理、データの収集、データの分析、報告書・PPT の作成、卒論発表会と、学生が取り組む課題は多様であるため、学生の主体的・積極的な参加が必要不可欠である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：卒業発表・卒業論文執筆を通して、社会人に必要な報告書作成のスキルを身につける。

①データ収集とデータ分析
②卒業論文(≒報告書)の執筆
③プレゼン資料(＝ PPT)の作成

個別目標：研究対象とする不動産市場の問題に対して、経済学的な観点から客観的な意見を述べられるようになること。

▌履修条件

経済学系科目の単位を事前に取得していること。特に、「計量経済学」の単位は、事前に取得していることを必要条件とする。なお、履修登録前に研究テーマについて必ず相談すること。

▌評価基準・方法

授業各回の課題提出・進捗、および卒業論文 70 %、卒業発表 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、翌週の授業冒頭で行う.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （解析結果の解釈についてディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC(特にエクセル) を用いて計量分析の演習を行う）

▌教科書

指定しない。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・論文テーマの決定** 授業内容：授業のガイダンスを行い、論文テーマについて検討する。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマについて検討 事後学修 4.0hr：研究計画書の作成	16 回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：夏休みの課題になっているデータ解析の結果について報告をする。 事前学修 3.0hr：PPT を用いて中間報告資料を作成 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善
2 回	**授業テーマ：計画書の発表・文献収集での扱い** 授業内容：研究計画書の内容を確認し、先行研究の調べ方を学びつつ、文献を探す。 事前学修 3.0hr：計画書の作成と関連する文献の検索 事後学修 4.0hr：関連する文献の検索	17 回	**授業テーマ：計量経済学を用いたデータ分析②** 授業内容：中間報告の結果として明らかになった課題を踏まえて、実証分析を行う。 事前学修 3.0hr：データ分析と結果の解釈 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善
3 回	**授業テーマ：文献の読み込み・報告①** 授業内容：選んだ文献の要約を作成し報告する。 事前学修 3.0hr：参考文献の検索と要約 事後学修 4.0hr：参考文献の検索と要約	18 回	**授業テーマ：データの追加収集** 授業内容：中間報告の結果として明らかになった課題を踏まえて、データの追加収集と実証分析を継続する。 事前学修 3.0hr：必要な変数を作成するためにデータを追加収集 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善
4 回	**授業テーマ：文献の読み込み・報告②** 授業内容：選んだ文献の要約を作成し報告する。 事前学修 3.0hr：参考文献の検索と要約 事後学修 4.0hr：参考文献の整理	19 回	**授業テーマ：データの入力** 授業内容：中間報告の結果として明らかになった課題を踏まえて、データの追加収集と実証分析を継続する。 事前学修 3.0hr：追加したデータの入力 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善
5 回	**授業テーマ：データの収集①** 授業内容：先行研究を踏まえて、自信の研究に必要なデータを検討し、Estat 等を用いてデータの収集を行う。 事前学修 3.0hr：必要なデータの収集 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	20 回	**授業テーマ：計量経済学を用いたデータ分析③** 授業内容：中間報告の結果として明らかになった課題を踏まえて、データの追加収集と実証分析を継続する。 事前学修 3.0hr：分析と推計結果の整理 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善
6 回	**授業テーマ：データの収集②** 授業内容：先行研究を踏まえて、自信の研究に必要なデータを検討し、Estat 等を用いてデータの収集を行う。 事前学修 3.0hr：必要なデータの収集 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	21 回	**授業テーマ：計量経済学を用いたデータ分析④** 授業内容：中間報告の結果として明らかになった課題を踏まえて、データの追加収集と実証分析を継続する。 事前学修 3.0hr：分析と推計結果の整理 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえて課題の改善
7 回	**授業テーマ：データの整理** 授業内容：収集したデータを分析可能な形まで整理する。 事前学修 3.0hr：データの入力と整理 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	22 回	**授業テーマ：計量経済学を用いたデータ分析⑤** 授業内容：中間報告の結果として明らかになった課題を踏まえて、データの追加収集と実証分析を継続する。 事前学修 3.0hr：分析と推計結果の整理 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえて課題の改善
8 回	**授業テーマ：記述統計の検討** 授業内容：整理が終わり次第、データの中身の確認する。まずは、記述統計を確認。異常値・文字情報・カテゴリーデータなどは必要に応じて、分析可能な状態までデータをクリーニングする。 事前学修 3.0hr：記述統計の作成とデータ分析 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	23 回	**授業テーマ：分析結果のまとめと仮説の検討** 授業内容：分析結果を整理し、仮説の検証を行う。 事前学修 3.0hr：分析結果の整理とまとめ 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえて課題を改善

9回	**授業テーマ：記述統計を図表にする** 授業内容：記述統計が作成できたら、それらを図表にし、必要に応じて散布図などを作成する。 事前学修 3.0hr：記述統計を図表に表す 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	24回	**授業テーマ：研究論文の作成①** 授業内容：データの解析作業が終了後、論文執筆を始める。 はじめに、分析モデル、データ、推計結果、まとめ、図表、参考文献、と複数の作業を行う。 事前学修 3.0hr：論文の骨子を作成 事後学修 4.0hr：論文執筆
10回	**授業テーマ：仮説を考える** 授業内容：当初予定していた研究方針を踏まえて、どのような仮説が成立するのか、しないのかを確認する。 事前学修 3.0hr：問題意識と記述統計を踏まえて仮説を検討する 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	25回	**授業テーマ：研究論文の作成②** 授業内容：データの解析作業が終了後、論文執筆を始める。 はじめに、分析モデル、データ、推計結果、まとめ、図表、参考文献、と複数の作業を行う。 事前学修 3.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文の加筆修正
11回	**授業テーマ：計量経済学の復習　OLS について** 授業内容：計量経済学の復習を行う。特に、最小二乗法について理論的な部分で復習しておく。 事前学修 3.0hr：計量経済学の復習 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	26回	**授業テーマ：研究論文の作成③** 授業内容：データの解析作業が終了後、論文執筆を始める。 はじめに、分析モデル、データ、推計結果、まとめ、図表、参考文献、と複数の作業を行う。 事前学修 3.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文の加筆修正
12回	**授業テーマ：計量経済学の復習　エクセルを利用した回帰分析①** 授業内容：エクセルを利用して、OLS の推計方法とその解釈について復習する。 事前学修 3.0hr：計量経済学の復習 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	27回	**授業テーマ：研究論文の作成④** 授業内容：データの解析作業が終了後、論文執筆を始める。 はじめに、分析モデル、データ、推計結果、まとめ、図表、参考文献、と複数の作業を行う。 事前学修 3.0hr：論文執筆 事後学修 4.0hr：論文の加筆修正
13回	**授業テーマ：計量経済学の復習　エクセルを利用した回帰分析②** 授業内容：エクセルを利用して、OLS の推計方法とその解釈について復習する。 事前学修 3.0hr：計量経済学の復習 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	28回	**授業テーマ：発表資料の作成①** 授業内容：論文執筆が終了後、卒業論文発表会用の PPT の作成を行う。 事前学修 3.0hr：発表用の PPT の作成 事後学修 4.0hr：発表用の PPT の修正
14回	**授業テーマ：計量経済学を用いたデータ分析①** 授業内容：自信の研究に用いるデータの解析を行う。 事前学修 3.0hr：データ分析 事後学修 4.0hr：授業内容を踏まえた課題の改善	29回	**授業テーマ：発表資料の作成②** 授業内容：論文執筆が終了後、卒業論文発表会用の PPT の作成を行う。また、発表の練習も行う。 事前学修 3.0hr：発表用の PPT を用いて発表の練習 事後学修 4.0hr：発表の練習を行う
15回	**授業テーマ：ここまでの分析結果のまとめ** 授業内容：前期に行った内容の整理をし、研究テーマ・仮説・データ・一次推計の結果を確認する。 事前学修 3.0hr：データ分析の結果を解釈し整理する 事後学修 4.0hr：課題を整理	30回	**授業テーマ：卒業論文の完成** 授業内容：論文、PPT、発表の完成度を高める。 事前学修 3.0hr：研究論文を仕上げる 事後学修 4.0hr：研究論文を提出する

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

藤木　亮介（ふじき　りょうすけ）

▌授業の概要

建築物の長期耐用性(劣化・修繕・改良・再生・維持保全・管理)に関する調査・研究を行う。
研究テーマ・研究対象は、各学生の自主的な発案を軸に教員と協議して決定する。その上で、研究テーマに関わる基礎知識・周辺知識の修得、既往研究の整理、調査、分析、考察などを行い、卒業論文を完成させる。また、研究内容をわかりやすく伝えるためのパワーポイント資料・発表原稿を作成し、卒業論文発表会にて発表する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：・既存建築物(ストック)の維持管理に関わる諸問題を認識する。
・既存建築物(ストック)を健全に維持していくための手法を理解する。
・既存建築物(ストック)に新たな価値を見出す方法について、その知識と技能を身に付ける。
個別目標：・研究テーマに関わる課題を認識し、その解決に向けて考察することができる。
・課題に対する調査・分析・考察を論文としてまとめることができる。
・研究成果を端的にわかりやすく説明できる。

▌履修条件

研究対象とする建築物の所有者、教員、その他関係者に対して、誠実な対応がとれること。
授業前・授業後に、調査・論文作成に必要な時間が十分確保できること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み姿勢・積極性：30 %、途中経過報告・最終成果物：50 %、最終プレゼンテーション 20 %の結果に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは翌週の授業で行う。必要に応じて学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各授業において、学生自らが調査・検討したことを教員に報告し、教員とディスカッションをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （エクセルを用いてデータを整理する。ワードを用いて論文を執筆する。パワーポイントを用いてプレゼン資料を作成する。）

▌教科書

指定なし

▌参考書

必要に応じて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業のガイダンスとして、評価方法、出欠席の取り方、スケジュール、全体構成、授業方法等を説明する。 事前学修 1.0hr：講義概要を読みスケジュールの確認をする。 事後学修 1.0hr：既存建築物(ストック)に対する社会的課題の情報収集をする。	16回	**授業テーマ：研究スケジュールの確認** 授業内容：前学期を踏まえ、後学期の研究スケジュール確認し、教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：研究スケジュールを確認し、必要に応じて修正する。 事後学修 3.0hr：ディスカッションを踏まえて追加調査内容を検討する。
2回	**授業テーマ：研究テーマの仮決定** 授業内容：研究テーマとしたい内容について、その選定理由、テーマの概要を教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：研究テーマの仮決定にむけて興味ある事柄の情報収集をする。 事後学修 3.0hr：ディスカッションを踏まえ、仮決定したテーマについて追加の情報収集をする。	17回	**授業テーマ：追加調査実施要領の作成** 授業内容：追加調査の目的とその実施要領について教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：不足する情報の整理をおこない、追加調査要領を作成する。 事後学修 4.0hr：追加調査を実施する。
3回	**授業テーマ：研究テーマの決定** 授業内容：前回授業を踏まえて、再度、研究テーマとしたい内容について教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：研究テーマ決定に向けて、テーマに関わる情報収集をする。 事後学修 3.0hr：研究の全体像を整理する。	18回	**授業テーマ：追加調査の実施** 授業内容：追加調査実施要領に基づき、調査を実施する。 事前学修 4.0hr：実地調査、あるいはアンケート調査やヒアリング調査の準備をする。 事後学修 4.0hr：追加調査結果の情報を整理する。
4回	**授業テーマ：研究テーマの社会的背景の把握** 授業内容：研究テーマに関わる社会的背景や歴史などを調べ、教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：研究テーマの社会的背景を調査する。 事後学修 3.0hr：ディスカッションを踏まえて調べた資料の補強をする。	19回	**授業テーマ：目次の作成** 授業内容：論文の目次を教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：論文の目次を作成する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて目次を修正する。
5回	**授業テーマ：既往研究の調査** 授業内容：研究テーマに関連する既往研究をまとめ、教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：研究テーマに関連する既往研究を調査し、まとめる。 事後学修 3.0hr：ディスカッションを踏まえて既往研究の追加調査をする。	20回	**授業テーマ：序論の執筆-1** 授業内容：序論の内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：序論を執筆し、事前に教員に提示する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて序論を修正する。
6回	**授業テーマ：文献・参考資料のデータ収集** 授業内容：研究を進める上で必要となる文献・参考資料を収集し、その概要を教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：研究テーマに関連する文献・参考資料を調査し、まとめる。 事後学修 3.0hr：ディスカッションを踏まえて文献・参考資料の追加調査をする。	21回	**授業テーマ：序論の執筆-2** 授業内容：序論の内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：序論を執筆し、事前に教員に提示する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて序論を修正する。
7回	**授業テーマ：研究の構成** 授業内容：研究の全体像と、期待される成果について教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：研究の全体像を構想する。 事後学修 3.0hr：ディスカッションを踏まえて研究の構成を整理しなおす。	22回	**授業テーマ：本論の執筆-1** 授業内容：本論の内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：本論を執筆し、事前に教員に提示する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて本論を修正する。
8回	**授業テーマ：研究スケジュールの策定** 授業内容：年間研究スケジュールを立案し、教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：研究スケジュールを検討する。 事後学修 3.0hr：ディスカッションを踏まえて研究スケジュールの修正をする。	23回	**授業テーマ：本論の執筆-2** 授業内容：本論の内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：本論を執筆し、事前に教員に提示する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて本論を修正する。

9回	**授業テーマ：調査対象・調査方法の検討** 授業内容：調査方法・調査対象を教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：調査方法を検討すると共に、それに応じた調査対象を選定する。 事後学修 3.0hr：研究対象の事前情報収集をする。	24回	**授業テーマ：本論の執筆-3** 授業内容：本論の内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：本論を執筆し、事前に教員に提示する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて本論を修正する。
10回	**授業テーマ：調査実施要領の作成** 授業内容：調査実施要領を作成し、教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：実地調査の場合は調査の段取りを、アンケート調査やヒアリング調査の場合はその内容を検討する。 事後学修 3.0hr：調査実施要領の修正をする。	25回	**授業テーマ：結論の執筆-1** 授業内容：結論の内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：結論を執筆し、事前に教員に提示する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて結論を修正する。
11回	**授業テーマ：調査の実施** 授業内容：調査実施要領に基づき、調査を実施する。 事前学修 3.0hr：実地調査、あるいはアンケート調査やヒアリング調査の準備をする。 事後学修 3.0hr：調査結果の情報を整理する。	26回	**授業テーマ：結論の執筆-2** 授業内容：結論の内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：結論を執筆し、事前に教員に提示する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて結論を修正する。
12回	**授業テーマ：調査結果の整理・分析** 授業内容：調査結果のデータを整理・分析し、教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 3.0hr：調査結果のデータを整理・分析する。 事後学修 3.0hr：ディスカッションを踏まえて分析結果を修正する。	27回	**授業テーマ：発表資料の作成-1** 授業内容：作成した発表資料を用いて教員に発表する。また、発表内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：発表用のパワーポイント資料・発表原稿を作成する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて発表資料を修正する。
13回	**授業テーマ：中間報告-1** 授業内容：中間報告として、前学期に実施したことを報告書にまとめ、教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：中間報告書を作成し、教員に向けた報告準備をする。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて中間報告書の修正する。	28回	**授業テーマ：発表資料の作成-2** 授業内容：作成した発表資料を用いて教員に発表する。また、発表内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：発表用のパワーポイント資料・発表原稿を修正する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて発表資料を修正する。
14回	**授業テーマ：中間報告-2** 授業内容：前回授業を踏まえて報告書を修正し、教員に報告する。また、その報告内容について教員とディスカッションをする。 事前学修 4.0hr：中間報告書を修正し、教員に向けた報告準備をする。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを踏まえて中間報告書を補完する。	29回	**授業テーマ：発表練習** 授業内容：最終の卒業論文発表会を想定して発表練習を行う。また、質疑応答のシミュレーションする。 事前学修 4.0hr：論文発表の準備をする。 事後学修 4.0hr：発表練習を踏まえて発表資料・発表原稿を修正する
15回	**授業テーマ：前学期の振り返り** 授業内容：前学期を振り返り、後学期の研究方針や後学期にやるべきことの整理を行う。 事前学修 4.0hr：中間報告を踏まえて、不足する情報を検証する。 事後学修 4.0hr：ここまでの授業全体を振り返る。	30回	**授業テーマ：論文発表** 授業内容：論文を発表する。 事前学修 4.0hr：論文発表の準備をする。 事後学修 4.0hr：発表を踏まえて論文を補完する。

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

麻　剣英（ま　けんえい）

▌授業の概要

本講義では、不動産学という学際的な学問を基に、学生自身が興味を持つテーマ、感じる社会問題に関しての分析、解決策の提案を卒業論文という形でまとめてもらう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：PPDAC サイクルの考え方を基に、不動産データ分析の能力を身につける。PPDAC とは、次の単語の頭文字をつなげたものである。P(problem、問題)・P(plan、計画)・D(data、データ収集)・A(analysis、分析)・C(conclusion、結論)

個別目標：不動産学的な考え方を理解し、不動産学とはどのような学問なのかを説明することができる。
社会課題解決するために、不動産学の立場から適切な立案をすることができる。
理論分析・実証分析することができる。
プロジェクトを企画し実行する力を養う。

▌履修条件

論文を書く時間が確実にとれること。

▌評価基準・方法

授業への参画度：50 %、論文の完成度：50 %

▌フィードバック方法

毎回の授業中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （利用する各種ソフトの使い方の指導）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：卒業論文の書き方** 授業内容：PPDAC サイクルについて紹介する。 事前学修 3.0hr：本講義を履修することにより、到達する目標を考える。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、研究計画書を作成する。	16 回	**授業テーマ：データ分析-3** 授業内容：分析結果の改善に向けた分析を行う。 事前学修 3.0hr：データ分析を行う。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、改善方法の検討。
2 回	**授業テーマ：研究テーマの検討【P(problem、問題)】・研究計画書の作成【P(plan、計画)】** 授業内容：卒業論文のテーマに関する検討・研究テーマに関する指導。 事前学修 3.0hr：研究テーマ関連する資料を調べる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、研究計画書を修正する。	17 回	**授業テーマ：データ分析-4** 授業内容：分析結果の改善に向けた分析を行う。 事前学修 3.0hr：データ分析を行う。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、改善方法の検討。
3 回	**授業テーマ：既往研究のサーベイ-1** 授業内容：調べた既往研究について発表する。 事前学修 3.0hr：既往研究を調べて要約を作成する。 事後学修 4.0hr：既往研究の整理を行う。	18 回	**授業テーマ：データ分析-5** 授業内容：分析結果の改善に向けた分析を行う。 事前学修 3.0hr：データ分析を行う。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、改善方法の検討。
4 回	**授業テーマ：既往研究のサーベイ-2** 授業内容：既往研究の発表、研究背景・目的の指導。 事前学修 3.0hr：既往研究を調べて要約を作成する。 事後学修 4.0hr：既往研究の整理を行う。	19 回	**授業テーマ：分析結果の検証-1【C(conclusion、結論)】** 授業内容：研究仮説が検証されたかの検討。 事前学修 3.0hr：分析結果の整合性を検討する。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。
5 回	**授業テーマ：既往研究のサーベイ-3** 授業内容：既往研究の発表、研究仮説・研究方法の検討。 事前学修 3.0hr：既往研究を調べて要約を作成する。 事後学修 4.0hr：既往研究の整理を行う。	20 回	**授業テーマ：分析結果の検証-2** 授業内容：分析結果の整合性を検討する。 事前学修 3.0hr：分析結果の解釈を行う。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。
6 回	**授業テーマ：既往研究のサーベイ-4** 授業内容：既往研究の発表、研究の新規性を検討する。 事前学修 3.0hr：既往研究を調べて要約を作成する。 事後学修 4.0hr：既往研究の整理を行う。	21 回	**授業テーマ：分析結果の検証-3** 授業内容：分析結果の整合性を検討する。PPDAC サイクルの繰り返し。 事前学修 3.0hr：分析結果の解釈を行う。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。
7 回	**授業テーマ：データ収集・処理-1【D(data、データ収集)】** 授業内容：利用するデータの検討。 事前学修 3.0hr：関連データを調べる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、データ収集する。	22 回	**授業テーマ：分析結果の検証-4** 授業内容：分析結果の整合性を検討する。 事前学修 3.0hr：分析結果の解釈を行う。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。
8 回	**授業テーマ：データ収集・処理-2** 授業内容：利用するデータの検討。 事前学修 3.0hr：関連データを調べる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、データ収集する。	23 回	**授業テーマ：卒業論文の執筆-1** 授業内容：卒業論文のテーマに沿って、序章の指導。 事前学修 3.0hr：研究背景・目的、既往研究のサーベイ、新規性をまとめる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。
9 回	**授業テーマ：データ収集・処理-3** 授業内容：利用するデータの検討。 事前学修 3.0hr：関連データを調べる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、データ収集する。	24 回	**授業テーマ：卒業論文の執筆-2** 授業内容：卒業論文のテーマに沿って、序章の指導。 事前学修 3.0hr：研究仮説、研究方法をまとめる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。
10 回	**授業テーマ：データ収集・処理-4** 授業内容：データ処理ソフトの指導（Excel、R、KH Coder、MeCab など）。 事前学修 3.0hr：データ処理手法を調べる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、データ処理を行う。	25 回	**授業テーマ：卒業論文の執筆-3** 授業内容：理論分析・実証分析の章の指導。 事前学修 3.0hr：データ処理・データ分析の文章をまとめる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。
11 回	**授業テーマ：データ収集・処理-5** 授業内容：データ処理を行う。 事前学修 3.0hr：データの統計処理を行う。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、データ処理を行う。	26 回	**授業テーマ：卒業論文の執筆-4** 授業内容：分析結果の章の指導。 事前学修 3.0hr：分析結果の解釈をまとめる。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。

12回	**授業テーマ：データ分析-1【A(analysis、分析)】** 授業内容：データ分析手法の指導。 事前学修 3.0hr：統計分析について調べる。記述統計量の意味を理解する。 事後学修 4.0hr：分析結果の検討。	27回	**授業テーマ：卒業論文の執筆-5** 授業内容：最終章の指導。 事前学修 3.0hr：卒業論文の結論、まとめの章を作成する。 事後学修 4.0hr：講義での議論を踏まえ、修正を行う。
13回	**授業テーマ：データ分析-2** 授業内容：分析結果についてディスカッションする。 事前学修 3.0hr：データ分析を行う。 事後学修 4.0hr：分析結果の検討・改善。	28回	**授業テーマ：卒業論文の執筆-6** 授業内容：文書編集ソフト「Microsoft Word」の使い方の指導。 事前学修 3.0hr：卒業論文の誤字脱字等のチェック。 事後学修 4.0hr：講義での指導を踏まえ、卒業論文の体裁を整える。
14回	**授業テーマ：中間とりまとめ** 授業内容：発表資料作成の指導（PowerPoint の使い方）。 事前学修 3.0hr：発表資料の準備。 事後学修 4.0hr：講義中の議論を踏まえ、発表資料の見直しをする。	29回	**授業テーマ：発表資料の準備** 授業内容：最終発表の指導。 事前学修 3.0hr：発表資料の作成。 事後学修 4.0hr：講義中の議論を踏まえ、発表資料の見直しをする。
15回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：これまでの研究成果を発表する。 事前学修 3.0hr：発表資料の準備。 事後学修 4.0hr：講義中の議論を踏まえ、今後の研究計画について検討する。	30回	**授業テーマ：卒業論文の完成** 授業内容：卒業論文の最終修正を指導する。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げる。 事後学修 4.0hr：講義中の議論を踏まえ、修正後の卒業論文を指定期日までに提出する。

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

前島　彩子（まえしま　あやこ）

▌授業の概要

不動産の供給、維持、改修に関わるテーマから、建築構法、建築生産を切り口にして、設計提案または論文をまとめる。
（テーマおよび分析方法は、以上に限定するものではない）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：研究テーマを設定し、これに応じた調査活動を行い、結論を導き出す技術、プレゼンテーション技術を習得する。
個別目標：研究テーマに応じた調査活動を計画・実行できる。
　　調査結果に基づき、結論を導きだせる。
　　結論を的確な手法で伝えることができる。

▌履修条件

不動産学研究を単位取得済であること。
履修に先立ち研究計画(A4・1 枚)を提出すること。

▌評価基準・方法

取組状況、論文内容、発表内容を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、manaba を通して行う、または面談で伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調査立案、調査実施、図版作成、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word、図面作成ソフト等を搭載したノートパソコンを持参する。）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業設計・卒業論文の取組事例を確認し、１年の計画を検討する。 事前学修 1.0hr：講義概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：関心のあるテーマについて情報収集する。	16回	**授業テーマ：設計提案、論文執筆のスケジュール確認** 授業内容：事前調査、追加収集した資料に基づき、全体構成の調整を行う。 事前学修 4.0hr：論文構成の確認、関連資料の収集 事後学修 4.0hr：本調査の検討
2回	**授業テーマ：設計、論文のまとめ方** 授業内容：過年度の設計提案・論文の成果物を参照し、調査・検討の過程を把握する。 事前学修 2.0hr：関心のあるテーマについて情報収集する。 事後学修 2.0hr：関心のあるテーマについて情報収集する。	17回	**授業テーマ：本調査の準備** 授業内容：調整した全体構成に応じて、本調査(敷地調査)の方法を検討する。 事前学修 4.0hr：本調査の検討 事後学修 4.0hr：本調査の実施準備
3回	**授業テーマ：文献、資料の収集方法** 授業内容：文献調査、資料収集の方法について学修する。 事前学修 2.0hr：関心のあるテーマについて情報収集する。 事後学修 2.0hr：関連論文の収集	18回	**授業テーマ：本調査の実施準備** 授業内容：本調査(敷地調査)の具体的な方法、想定される結果を確認する。 事前学修 4.0hr：本調査の実施準備 事後学修 4.0hr：調査の実施
4回	**授業テーマ：関連研究の報告** 授業内容：関連する設計提案や論文をレビューする。 事前学修 2.0hr：関連論文の収集 事後学修 2.0hr：関連論文の収集	19回	**授業テーマ：本調査の結果の報告、ディスカッション** 授業内容：本調査(敷地調査)の結果を報告し、想定した結果との相違点について確認する。 事前学修 4.0hr：調査結果の整理 事後学修 4.0hr：調査結果のビジュアライズ
5回	**授業テーマ：関連研究の調査** 授業内容：関連する設計提案や論文をレビューする。 事前学修 2.0hr：関連論文の収集 事後学修 2.0hr：関連論文の収集	20回	**授業テーマ：本調査の結果のビジュアライズ** 授業内容：調査で把握されたことの適切な表示方法を検討する。 事前学修 4.0hr：調査結果の整理のビジュアライズ 事後学修 4.0hr：調査結果の示し方再検討
6回	**授業テーマ：テーマの選定** 授業内容：これまでの設計提案や論文をレビューをもとに、自分が取り組むテーマを仮定する。 事前学修 3.0hr：研究テーマについて検討する。 事後学修 3.0hr：研究テーマについて検討する。	21回	**授業テーマ：本調査の結果のビジュアライズ** 授業内容：調査結果を適切な表示にまとめる。 事前学修 4.0hr：調査結果の示し方再検討 事後学修 4.0hr：調査結果の整理、研究構成の作成
7回	**授業テーマ：テーマの選定** 授業内容：仮定したテーマに関連する情報を加えて、自分が取り組むテーマを再検討する。 事前学修 3.0hr：研究テーマについて検討する。 事後学修 3.0hr：研究テーマについて検討する。	22回	**授業テーマ：調査結果、研究構成の確認** 授業内容：調査結果と全体構成の関係を再度確認し、設計または論文執筆のすすめ方を確認する。 事前学修 4.0hr：調査結果の整理、研究構成の作成 事後学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆
8回	**授業テーマ：テーマの決定** 授業内容：仮定したテーマに関連する情報を加えて、自分が取り組むテーマを絞り込む。 事前学修 3.0hr：研究テーマについて検討する。 事後学修 3.0hr：論文構成について検討する。	23回	**授業テーマ：設計図面・論文の進捗確認とディスカッション** 授業内容：進捗状況に合わせて、追加修正を確認する。 事前学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆 事後学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆
9回	**授業テーマ：論文構成の検討** 授業内容：テーマ設定に基づき、アウトプットの方向性、必要な情報を検討する。 事前学修 3.0hr：論文構成について検討する。 事後学修 3.0hr：論文構成について検討する。	24回	**授業テーマ：設計図面・論文の進捗確認とディスカッション** 授業内容：進捗状況に合わせて、追加修正を確認する。 事前学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆 事後学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆
10回	**授業テーマ：論文構成の検討** 授業内容：必要な情報、そのための調査を再検討する。 事前学修 3.0hr：論文構成について検討する。 事後学修 3.0hr：論文構成について検討する。	25回	**授業テーマ：設計図面・論文の進捗確認とディスカッション** 授業内容：進捗状況に合わせて、追加修正を確認する。 事前学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆 事後学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆

11回	**授業テーマ：論文構成の検討** 授業内容：アウトプットの方向性に適応した全体構成を仮定する。 事前学修 3.0hr：論文構成について検討する。 事後学修 3.0hr：事前調査について検討する。	26回	**授業テーマ：設計図面・論文の進捗確認とディスカッション** 授業内容：進捗状況に合わせて、追加修正を確認する。 事前学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆 事後学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆
12回	**授業テーマ：事前調査の検討** 授業内容：本調査で得られるであろう結果を仮定し、事前に簡潔に把握できる内容を整理する。 事前学修 3.0hr：事前調査について検討する。 事後学修 3.0hr：事前調査について検討する。	27回	**授業テーマ：設計図面・論文の進捗確認とディスカッション** 授業内容：完成にむけた、追加修正を確認する。 事前学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆 事後学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆
13回	**授業テーマ：事前調査の検討** 授業内容：事前調査の実施方法を検討する。 事前学修 3.0hr：事前調査について検討する。 事後学修 4.0hr：事前調査の実施	28回	**授業テーマ：完成した設計図面・論文に関するディスカッション** 授業内容：完成図面・論文にもとづき、発表方法を検討する。 事前学修 4.0hr：設計図面作成、論文執筆 事後学修 4.0hr：発表準備
14回	**授業テーマ：事前調査の報告、ディスカッション** 授業内容：事前調査の結果を報告し、当初想定した結果との相違点について確認する。 事前学修 4.0hr：事前調査の実施 事後学修 4.0hr：事前調査のまとめ	29回	**授業テーマ：発表練習** 授業内容：発表会と同様の形式で発表を行い、全体的な調整を行う。 事前学修 4.0hr：発表準備 事後学修 4.0hr：発表準備・図面論文修正
15回	**授業テーマ：事前調査の発表、ディスカッション** 授業内容：事前調査の結果を適切に伝える方法に基づき発表資料にまとめる。 事前学修 4.0hr：事前調査の発表準備 事後学修 4.0hr：論文構成の確認、関連資料の収集	30回	**授業テーマ：発表練習・全体確認** 授業内容：図面・論文を最終調整し、それに基づく発表内容にまとめる。 事前学修 4.0hr：発表準備・図面論文修正 事後学修 4.0hr：発表会の意見を参考にして最終的な仕上げを行う。

卒業論文

開講学科等：不 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

山本　卓（やまもと　たかし）

▌授業の概要

本授業は、１年間をかけて卒業論文を作成することを目的とする。論文のテーマは、不動産と経営・会計に関係するものであれば自由に設定して構わない。前期は、主に研究計画を策定し、既存文献やデータの収集分析に力を入れる。後期は、前期の作業成果に基づき、論文の執筆とその完成を目標とする。また、あわせて研究成果のプレゼンテーション技法も習得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産のビジネスにかかる不動産事業経営、不動産企業経営を適切に行うために必要となる発展的な知識と技能を身につける。
個別目標：卒業論文の作成を通じて、以下の能力を獲得することを個別目標とする。

- 調査研究をスケジュール管理する能力
- 仮説を構築する能力
- 文献やデータを収集・分析する能力
- 学術論文の形式に基づき論文を作成する能力
- 研究結果をわかりやすく他人に伝達するプレゼン能力

▌履修条件

経営や会計の基礎的知識があり、研究上の問題意識が明確であり、論文作成に十分な時間を確保できることが望ましい。

▌評価基準・方法

卒業論文の作成過程と最終的な論文内容で評価する。

▌フィードバック方法

面談でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学生の方で卒業論文作成のための準備作業毎回行い、それを報告してもらい、質疑応答を通じてブラッシュアップを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （論文作成に向けて、ワード、エクセル、パワーポイントの基礎的スキルは必須であり、毎回自分の PC を持参してもらう。）

▌教科書

研究テーマや研究手法に応じて適宜紹介する。

▌参考書

山本卓 (2025)『企業不動産読本』KEN 不動産研究
山本卓編著 (2021)『ストック型社会への企業不動産分析』創成社
山本卓編著 (2017)『グローバル社会と不動産価値』創成社
山本卓 (2015)『投資不動産会計と公正価値評価』創成社
山本卓 (2013)『不動産会計と経営行動』創成社
山本卓 (2011)『企業不動産の会計と環境』創成社
山本卓 (2009)『財務情報と企業不動産分析』創成社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業論文作成に向けた、基本的作業事項、スケジュールを教員が示し、教員、学生の双方が課題意識を共有する。 事前学修 2.0hr：卒論のイメージをまとめておく。 事後学修 2.0hr：研究の方向性を整理する。	16 回	**授業テーマ：財務データ等の分析準備** 授業内容：固められた分析モデルに使用すべき具体的データを準備してもらう。このデータに基づき、再検討を行い、分析準備の最終化をする。 事前学修 4.0hr：財務データ等の分析方法を考える。 事後学修 4.0hr：財務データ等の分析方法を固める。
2 回	**授業テーマ：問題意識の検討** 授業内容：学生側から、論文として具現化したい問題意識を準備し、教員・学生が基本論点について議論を行い、問題意識の文書化を図る。 事前学修 2.0hr：研究にかかる問題意識を洗い出す。 事後学修 2.0hr：研究にかかる問題意識を整理する。	17 回	**授業テーマ：財務データ等の分析** 授業内容：第１６回授業で固められた方針にて、データの分析を行う。 事前学修 4.0hr：財務データ等の分析作業を行う。 事後学修 4.0hr：財務データ等の分析結果を導出する。
3 回	**授業テーマ：研究テーマの検討** 授業内容：文書化された問題意識を前提とした研究テーマ案を報告してもらい、教員・学生が議論し、研究テーマの絞り込みを行う。 事前学修 3.0hr：研究テーマ案を考える。 事後学修 3.0hr：研究テーマを決定する。	18 回	**授業テーマ：財務データ等の分析結果の解釈** 授業内容：第１７回授業において、導き出された分析結果の解釈案を準備してもらう。これに基づき、教員・学生が議論を行い、解釈案の最終化を行う。 事前学修 4.0hr：財務データ等の分析結果の解釈を試みる。 事後学修 4.0hr：財務データ等の分析結果の解釈を固める。
4 回	**授業テーマ：研究計画の検討** 授業内容：ある程度固められた問題意識、研究テーマを前提に、研究計画案を準備してもらう。当該研究計画案について、教員・学生が議論し、研究計画案の骨子を形づくる。 事前学修 3.0hr：研究に必要な作業内容を洗い出す。 事後学修 3.0hr：研究に必要な作業内容を整理する。	19 回	**授業テーマ：仮説の検証** 授業内容：第１８回授業での分析結果により、仮説が検証できているのか、教員・学生が議論を行い、方向性を確定させる。 事前学修 4.0hr：分析結果と仮説との関係を考察する。 事後学修 4.0hr：分析結果と仮説との関係の考察を固める。
5 回	**授業テーマ：研究計画の策定** 授業内容：第４回授業である程度議論された研究計画案について、教員・学生が再検証を行い、最終的な研究計画を策定する。 事前学修 3.0hr：必要な研究作業を実施するためのスケジュール案を考える。 事後学修 3.0hr：研究計画を固める。	20 回	**授業テーマ：調査分析結果の中間整理** 授業内容：第１回から第１９回までの授業内容の論点を準備してもらい、教員・学生が議論を行い、論点整理を行う。 事前学修 4.0hr：上記の一連の研究作業の要点を整理する。 事後学修 4.0hr：いままでの研究作業の要点を文書化する。
6 回	**授業テーマ：文献・資料の調査(専門図書)の検討** 授業内容：学生の方で、先行研究のサーベイを行う。その結果としての文献リスト(専門図書) を作成し、授業において教員・学生が議論し、文献リストを策定する。それに基づき、文献の読み込みと要点の文書化へと導く。 事前学修 4.0hr：どのような文献資料を調査すべきかのリストを作成する。 事後学修 4.0hr：文献調査を行い、要点を文書化する。	21 回	**授業テーマ：中間報告準備** 授業内容：第２０回授業を踏まえ、パワーポイントに基づいたスライドを準備する。授業では、それに基づき準備状況を説明してもらう。その後、教員・学生が議論を行い、スライドの内容をブラシュアップする。 事前学修 4.0hr：中間報告に向けた報告内容を検討する。 事後学修 4.0hr：中間報告の内容を固める。

7回	**授業テーマ：文献・資料の調査(雑誌記事)の検討** 授業内容：学生の方で、先行研究のサーベイを行う。その結果としての文献リスト(雑誌記事) を作成し、授業において教員・学生が議論し、文献リストを策定する。それに基づき、文献の読み込みと要点の文書化へと導く。 事前学修 4.0hr：どのような文献資料を調査すべきかのリストを作成する。 事後学修 4.0hr：文献調査を行い、要点を文書化する。	22回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：第２１回の授業を受けて、パワーポイントに基づき、研究状況の中間報告を行う。その後、それに基づき、教員・学生が議論を行い、重要な研究論点が欠如していないかどうかの確認を行う。 事前学修 4.0hr：中間報告用のスライドを準備する。 事後学修 4.0hr：中間報告での指摘事項を整理する。
8回	**授業テーマ：文献・資料の調査(新聞記事)の検討** 授業内容：学生の方で、先行研究のサーベイを行う。その結果としての文献リスト(新聞記事) を作成し、授業において教員・学生が議論し、文献リストを策定する。それに基づき、文献の読み込みと要点の文書化へと導く。 事前学修 4.0hr：どのような文献資料を調査すべきかのリストを作成する。 事後学修 4.0hr：文献調査を行い、要点を文書化する。	23回	**授業テーマ：論文の骨子の検討** 授業内容：第２２回の中間報告に基づき、卒業論文の章立てを準備する。その後、それに基づき、教員・学生が議論を行い、論文骨子の最終化を行う。 事前学修 4.0hr：卒論全体の骨子案を考える。 事後学修 4.0hr：卒論全体の骨子を固める。
9回	**授業テーマ：文献・資料の調査(企業開示情報)の検討** 授業内容：学生の方で、先行研究のサーベイを行う。その結果としての文献リスト(企業開示情報) を作成し、授業において教員・学生が議論し、文献リストを策定する。それに基づき、文献の読み込みと要点の文書化へと導く。 事前学修 4.0hr：どのような文献資料を調査すべきかのリストを作成する。 事後学修 4.0hr：文献調査を行い、要点を文書化する。	24回	**授業テーマ：論文の作成 (問題提起)** 授業内容：第２３回授業を受けて、「問題提起」の章の文案を準備する。その後、それに基づき、教員・学生が議論を行い、文案の最終化を行う。 事前学修 4.0hr：当該部分の原稿案を準備する。 事後学修 4.0hr：当該部分の原稿案を固める。
10回	**授業テーマ：究明課題の検討** 授業内容：研究において、何を明らかにしたいのかという究明論点を準備してもらう。授業では当該究明論点に基づき教員・学生が議論を行い、意識の共有化を図る。 事前学修 4.0hr：何を明らかにしたいかという究明課題を考える。 事後学修 4.0hr：究明課題の整理を行う。	25回	**授業テーマ：論文の作成 (既存文献の調査)** 授業内容：「既存文献の調査」の章の文案を準備する。その後、それに基づき、教員・学生が議論を行い、文案の最終化を行う。 事前学修 4.0hr：当該部分の原稿案を準備する。 事後学修 4.0hr：当該部分の原稿案を固める。
11回	**授業テーマ：究明課題の確定** 授業内容：第１０回授業で検討された究明事項について、さらなる検討を行い、最終化する。 事前学修 4.0hr：究明課題の具体案を準備する。 事後学修 4.0hr：究明課題を固める。	26回	**授業テーマ：論文の作成 (仮説設定)** 授業内容：「仮説設定」の章の文案を準備する。その後、それに基づき、教員・学生が議論を行い、文案の最終化を行う。 事前学修 4.0hr：当該部分の原稿案を準備する。 事後学修 4.0hr：当該部分の原稿案を固める。
12回	**授業テーマ：仮説の検討** 授業内容：究明課題を検証するための、仮説案を準備してもらう。それに基づき、教員・学生が議論し、ブラシュアップを図る。 事前学修 4.0hr：仮説構築の方向性を考える。 事後学修 4.0hr：仮説構築の基本的方向性の整理を行う。	27回	**授業テーマ：論文の作成 (データ分析結果とまとめ)** 授業内容：「データ分析結果とまとめ」の章の文案を準備する。その後、それに基づき、教員・学生が議論を行い、文案の最終化を行う。 事前学修 4.0hr：当該部分の原稿案を準備する。 事後学修 4.0hr：当該部分の原稿案を固める。
13回	**授業テーマ：仮説の確定** 授業内容：第１２回授業での仮説案を、再検討し、仮説として最終化する。 事前学修 4.0hr：具体の仮説案を準備する。 事後学修 4.0hr：仮説を固める。	28回	**授業テーマ：論文発表会の準備** 授業内容：卒業論文の草稿を踏まえ、パワーポイントに基づいたスライドを準備する。授業では、それに基づき準備状況を説明してもらう。その後、教員・学生が議論を行い、スライドの内容をブラシュアップする。 事前学修 4.0hr：発表資料の素案を作成をする。 事後学修 4.0hr：発表資料を固める。
14回	**授業テーマ：財務データ等の収集準備** 授業内容：仮説を検証するために必要な分析手法や使用データについて案を準備してもらう。これに基づき、教員・学生が議論を行い、基本的方向性を固める。 事前学修 4.0hr：分析に使用する財務データ等の内容を考える。 事後学修 4.0hr：収集整理する財務データ等の内容を固める。	29回	**授業テーマ：論文発表を行う。** 授業内容：第２８回授業を踏まえ、パワーポイントを用いた論文発表を行う。教員・学生間の質疑応答を踏まえ、論文の改善点を整理する。 事前学修 4.0hr：発表資料を作成する。 事後学修 4.0hr：指摘事項への対応を行う。
15回	**授業テーマ：財務データ等の収集整理** 授業内容：第１４回授業で固められた方針に基づき、財務データを準備してもらう。このデータに基づき、再検討を行い、財務データの最終化を行う。 事前学修 4.0hr：財務データ等の収集作業を行う。 事後学修 4.0hr：収集された財務データ等をチェックのうえ確定させる。	30回	**授業テーマ：卒業論文の最終化** 授業内容：第２９回の論文発表を行うことによって得た望まれる改善点を踏まえ、卒業論文最終化に向けた教員・学生間の打ち合わせを行う。 事前学修 4.0hr：卒業論文の最終原稿を準備する。 事後学修 4.0hr：卒業論文を最終化する・

不動産特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

単位認定科目

▌授業の概要

各種資格取得等の成果を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する科目である。この単位認定制度は、より実践的な技術・技能を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件を満たすこと。
個別目標：単位認定科目のため特になし。

▌履修条件

単位認定科目のため特になし。

▌評価基準・方法

単位の認定には、申請手続きが必要となる。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

不動産特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
単位認定制度及び単位認定を受けることのできる技術審査・各種資格等の詳細については、履修の手引を参照すること。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。

不動産特別実習

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　備考：2024 年度以前入学生

単位認定科目

▌授業の概要

不動産に関する実務的能力をより一層深めることを目的とし、海外での研修を取り入れることにより、その成果を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する科目である。研修は、担当教員の指導のもとに行われるほか、研修機関の指導を受けることになるので、不動産に関する基礎知識を深めるとともに、学外で研修するに当たっての自覚と責任を求められることになる。
単位認定制度の詳細については、履修の手引を参照すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。
個別目標：詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌履修条件

GPA 及び修得単位等による出願資格を設ける。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌評価基準・方法

所定研修期間を修了することにより単位認定する。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

派遣大学等で別途指示する。

▌参考書

派遣大学等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

不動産特別実習

授業内容

研修先、研修内容、研修期間（最低 30 時間の学修を要する）、費用等の詳細については、別途掲示等で指示する。

事前学修

事前学修の内容はオリエンテーション等で指示する（最低 30 時間の事前学修を要する）。

事後学修

事後学修の内容は、研修修了後、別途指示する（最低 30 時間の事後学修を要する）。

不動産実務演習 I

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2024 年度以前入学生

花輪　志保（はなわ　しほ）

▌授業の概要

本講義は、不動産鑑定士試験の短答式の合格を目標に行う。本講義を通じて「鑑定理論」に関する体系的な理解を身に付けるとともに、短答試験に向けた実践力を養うことを目的とする。

具体的には、テキストや展開するプリントを使用して、問題の解き方や理解を深めていく。さらに、復習では実際に過去問題集及び授業内で展開したプリントを繰り返し解くことで本試験の実践感覚を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産鑑定士短答式の合格を目標とする。

個別目標：本講義を通じて、短答式試験に向けた鑑定理論や問題に対する理解力を養うことを目標とする。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、5 分の 4 以上の出席、授業参加姿勢を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

講義内で実施予定

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指定する。

▌参考書

開講時に指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：総論 1 章　不動産の鑑定評価に関する基本的考察　　総論 2 章　不動産の種別及び類型　　総論 3 章　不動産の価格を形成する要因** 授業内容：鑑定評価基準の全体像、不動産の分類概念、不動産の価格を形成する要因について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
2 回	**授業テーマ：総論 4 章　不動産の価格に関する諸原則　　総論 5 章　鑑定評価の基本的事項（対象不動産の確定）** 授業内容：不動産の価格に関する諸原則、基本的事項として対象確定条件について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
3 回	**授業テーマ：総論 5 章　鑑定評価の基本的事項（価格時点の確定・価格又は賃料の種類の確定）** 授業内容：基本的事項として価格時点、価格又は賃料の種類について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
4 回	**授業テーマ：総論 6 章　地域分析及び個別分析** 授業内容：地域分析、個別分析、市場分析について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
5 回	**授業テーマ：総論 7 章　鑑定評価の方式（一般的留意事項、原価法、取引事例比較法）** 授業内容：価格を求める鑑定評価手法において共通して留意すべき事項、価格を求める鑑定評価手法である原価法、取引事例比較法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
6 回	**授業テーマ：総論 7 章　鑑定評価の方式（収益還元法）** 授業内容：価格を求める鑑定評価手法である収益還元法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
7 回	**授業テーマ：総論 7 章　鑑定評価の方式（新規賃料）** 授業内容：新規賃料手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
8 回	**授業テーマ：総論 7 章　鑑定評価の方式（継続賃料）** 授業内容：継続賃料手法について学修する 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
9 回	**授業テーマ：総論 8 章　鑑定評価の手順　　総論 9 章　鑑定評価報告書** 授業内容：鑑定評価の手順、鑑定評価報告書について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
10 回	**授業テーマ：各論 1 章　価格に関する鑑定評価（更地、建付地）** 授業内容：更地、建付地の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
11 回	**授業テーマ：各論 1 章　価格に関する鑑定評価（借地権、底地）** 授業内容：借地権、底地の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。

12回	**授業テーマ：各論 1 章　価格に関する鑑定評価（宅地見込地等）** 授業内容：宅地見込み地等の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
13回	**授業テーマ：各論 1 章　価格に関する鑑定評価（建物及びその敷地、建物）** 授業内容：建物及びその敷地、建物の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
14回	**授業テーマ：各論 2 章　賃料に関する鑑定評価** 授業内容：地代・家賃の鑑定評価手法について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。
15回	**授業テーマ：各論 3 章　証券化対象不動産の価格に関する鑑定評価** 授業内容：証券化対象不動産の鑑定評価について学修する。 事前学修 1.0hr：不動産鑑定評価基準を読む。 事後学修 3.0hr：過去問題集と展開プリントを解いて復習する。

不動産実務演習 I

開講学科等：不 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2024 年度以前入学生

八幡　浩伸（やはた　ひろのぶ）

▌授業の概要

本講義は、ライフプランニングと資金計画、リスク管理、金融資産運用、タックスプランニング、不動産、相続・事業承継の 6 項目から、FP 技能士 2 級の合格を目標に行う。講義内容は、テキスト解説と問題演習で構成される。テキスト解説は、試験問題を意識して重要なポイントに絞ってわかりやすく解説する。問題演習は、講義内容についての知識の定着と理解を深めるために実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：FP 技能士 2 級の合格を目標とする。

個別目標：本講義内容を学習することで、金融機関・不動産業界、企業の人事・労務部門などで活躍するための基本的な知識を幅広く習得することができるようになる。

▌履修条件

原則として、既に FP 技能士 3 級に合格しており、FP 技能士 2 級を受験する者。

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、毎回の授業内で行う問題演習 30%に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

講義内で実施予定。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指定する。

▌参考書

開講時に指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：不動産　「不動産の基礎」** 授業内容：不動産登記制度、土地の評価方法などについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「不動産の基礎」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「不動産の基礎」について参考書(問題集)にて復習する。
2 回	**授業テーマ：不動産　「不動産に関する法律」** 授業内容：借地借家法、都市計画法、建築基準法について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「不動産に関する法律」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「不動産に関する法律」について参考書(問題集)にて復習する。
3 回	**授業テーマ：不動産　「不動産に関する税金」** 授業内容：不動産の取得時、保有時、売却時の税金について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「不動産に関する税金」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「不動産に関する税金」について参考書(問題集)にて復習する。
4 回	**授業テーマ：相続・事業承継　「贈与税の計算」** 授業内容：贈与について民法と税法の取り扱いについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「贈与税の計算」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「贈与税の計算」について参考書(問題集)にて復習する。
5 回	**授業テーマ：相続・事業承継　「相続税の基礎」** 授業内容：相続について民法上の取り扱いについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「相続税の基礎」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「相続税の基礎」について参考書(問題集)にて復習する。
6 回	**授業テーマ：相続・事業承継　「相続税の計算と相続財産の評価」** 授業内容：相続について税法上の取り扱いについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「相続税の計算と相続財産の評価」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「相続税の計算と相続財産の評価」について参考書(問題集)にて復習する。
7 回	**授業テーマ：タックスプランニング　「所得税の基礎」** 授業内容：所得税の計算の概要について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「所得税の基礎」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「所得税の基礎」について参考書(問題集)にて復習する。
8 回	**授業テーマ：タックスプランニング　「所得税の計算」** 授業内容：所得税の所得控除、税額控除について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「所得税の計算」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「所得税の計算」について参考書(問題集)にて復習する。
9 回	**授業テーマ：金融資産運用　「経済・金融の基礎、債券」** 授業内容：基本的な経済用語、債券の仕組みについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「経済・金融の基礎、債券」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「経済・金融の基礎、債券」について参考書(問題集)にて復習する。
10 回	**授業テーマ：金融資産運用　「株式、投資信託、外貨建て金融商品」** 授業内容：株式、投資信託などの仕組みについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「株式、投資信託、外貨建て金融商品」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「株式、投資信託、外貨建て金融商品」について参考書(問題集)にて復習する。
11 回	**授業テーマ：ライフプランニングと資金計画　「社会保険制度の概要」** 授業内容：社会保険制度の概要について学習します、 事前学修 1.0hr：授業で学習する「社会保険制度の概要」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「社会保険制度の概要」について参考書(問題集)にて復習する。

12回	**授業テーマ：ライフプランニングと資金計画　「公的年金制度の概要」** 授業内容：公的年金制度について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「公的年金制度の概要」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「公的年金制度の概要」について参考書(問題集)にて復習する。
13回	**授業テーマ：リスク管理　「生命保険の概要」** 授業内容：生命保険の概要について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「生命保険の概要」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「生命保険の概要」について参考書(問題集)にて復習する。
14回	**授業テーマ：リスク管理　「生命保険の税金」** 授業内容：生命保険の税金について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「生命保険の税金」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「生命保険の税金」について参考書(問題集)にて復習する。
15回	**授業テーマ：リスク管理　「損害保険・第三分野の保険」** 授業内容：損害保険と第三分野の保険について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「損害保険・第三分野の保険」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「損害保険・第三分野の保険」について参考書(問題集)にて復習する。

不動産実務演習Ⅱ

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2024 年度以前入学生

花輪　志保（はなわ　しほ）

▌授業の概要

本講義は、不動産鑑定士試験の短答式の合格を目標に行う。行政法規の試験は 37 の法律が対象であるが、特に重要な法令を中心に学習する。本講義では、各法律の趣旨やよく出題されるポイントを掴むことで、実践感覚を養うことを目的とする。さらに、復習では実際に過去問題集や展開するプリントを繰り返し解くことで本試験の実践感覚を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：不動産鑑定士短答式の合格を目標とする
個別目標：本講義を通じて、法律の趣旨、そのイメージを明確にして、重要ポイントを理解して、問題が解けるようになることを目標とする。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、5 分の 4 以上の出席、授業参加姿勢を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

講義内で実施予定

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指定する。

▌参考書

開講時に指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：都市計画法** 授業内容：都市計画法の趣旨を理解し、都市計画区域等の区域区分、用途地域、地域地区、都市計画事業、開発行為等を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
2 回	**授業テーマ：建築基準法(単体規定)** 授業内容：建築確認、単体規定等について学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
3 回	**授業テーマ：建築基準法(集団規定)** 授業内容：建築基準法上の道路、用途制限、建蔽率、容積率等について学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
4 回	**授業テーマ：国土利用計画法、農地法** 授業内容：国土利用計画法、農地法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
5 回	**授業テーマ：土地区画整理法** 授業内容：土地区画整理法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
6 回	**授業テーマ：不動産登記法、土地基本法、地価公示法** 授業内容：不動産登記法、土地基本法、地価公示法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
7 回	**授業テーマ：不動産の鑑定評価に関する法律、宅地造成及び特定盛土等規制法** 授業内容：不動産の鑑定評価に関する法律、宅地造成及び特定盛土等規制法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
8 回	**授業テーマ：都市再開発法、マンションの建替え等の円滑化に関する法律** 授業内容：都市再開発法、マンションの建替え等の円滑化に関する法律の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
9 回	**授業テーマ：土壌汚染対策法** 授業内容：土壌汚染対策法の制度趣旨、内容 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
10 回	**授業テーマ：土地収用法** 授業内容：土地収用法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
11 回	**授業テーマ：税法** 授業内容：税法の各法律について内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
12 回	**授業テーマ：文化財保護法、住宅の品質確保の促進等に関する法律** 授業内容：文化財保護法、住宅の品質確保の促進等に関する法律の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。

13回	**授業テーマ：河川法、道路法** 授業内容：河川法、道路法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
14回	**授業テーマ：国有財産法、景観法** 授業内容：国有財産法、景観法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。
15回	**授業テーマ：高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律、証券化関連法** 授業内容：高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律、証券化関連法の制度趣旨、内容を学修する。 事前学修 1.0hr：過去問題を解いておく。 事後学修 3.0hr：講義で取り上げた内容について過去問及び展開したプリントを解く。

不動産実務演習Ⅱ

開講学科等：不　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2024 年度以前入学生

八幡　浩伸（やはた　ひろのぶ）

▌授業の概要

本講義は、ライフプランニングと資金計画、リスク管理、金融資産運用、タックスプランニング、不動産、相続・事業承継の 6 項目から、FP 技能士 3 級の合格を目標に行う。講義内容は、テキスト解説と問題演習で構成される。テキスト解説は、試験問題を意識して重要なポイントに絞ってわかりやすく解説する。問題演習は、講義内容についての知識の定着と理解を深めるために実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3 ①、ファイナンスコース 3 ②、デザインコース 3 ③）

一般目標：FP 技能士 3 級の合格を目標とする。

個別目標：本講義内容を学習することで、金融機関・不動産業界、企業の人事・労務部門などで活躍するための基本的な知識を幅広く習得することができるようになる。

▌履修条件

FP 技能士 3 級を受験する者。受験意思のない者の履修は認めない。

▌評価基準・方法

①毎回の授業内で行う問題演習（28 点：2 点× 14 回）

②定期試験（72 点）の合計 100 点

▌フィードバック方法

講義内で実施予定。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指定する。

▌参考書

開講時に指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：不動産　「不動産の基礎」** 授業内容：不動産登記制度、土地の評価方法について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「不動産の基礎」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「不動産の基礎」について参考書（問題集）にて復習する。
2 回	**授業テーマ：不動産「不動産に関する法律」** 授業内容：借地借家法、都市計画法、建築基準法について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「不動産に関する法律」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「不動産に関する法律」について参考書（問題集）にて復習する。
3 回	**授業テーマ：不動産「不動産の税金」** 授業内容：不動産の取得時、保有時、売却時の税金について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「不動産の税金」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「不動産の税金」について参考書（問題集）にて復習する。
4 回	**授業テーマ：相続・事業承継「贈与税」** 授業内容：贈与について民法と税法の取り扱いについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「贈与税」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「贈与税」について参考書（問題集）にて復習する。
5 回	**授業テーマ：相続・事業承継「相続の基礎」** 授業内容：相続について民法上の取り扱いについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「相続税の基礎」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「相続税の基礎」について参考書（問題集）にて復習する。
6 回	**授業テーマ：相続・事業承継「相続税の仕組み」「相続財産の評価」** 授業内容：相続について税法上の取り扱いについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「相続税の仕組み」「相続財産の評価」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「相続税の仕組み」「相続財産の評価」について参考書（問題集）にて復習する。
7 回	**授業テーマ：タックスプランニング「所得税の基礎」** 授業内容：所得税の計算の概要について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「所得税の基礎」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「所得税の基礎」について参考書（問題集）にて復習する。
8 回	**授業テーマ：タックスプランニング「所得控除と税額控除」** 授業内容：所得税の所得控除、税額控除について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「所得控除と税額控除」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「所得控除と税額控除」について参考書（問題集）にて復習する。
9 回	**授業テーマ：金融資産運用「経済・金融の基礎」「債券」** 授業内容：基本的な経済用語、債券の仕組みについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「経済・金融の基礎」「債券」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「経済・金融の基礎」「債券」について参考書（問題集）にて復習する。
10 回	**授業テーマ：金融資産運用「株式」「投資信託」「外貨建て金融商品」** 授業内容：株式、投資信託などの仕組みについて学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「株式」「投資信託」「外貨建て金融商品」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「株式」「投資信託」「外貨建て金融商品」について参考書（問題集）にて復習する。
11 回	**授業テーマ：ライフプランニングと資金計画「FP の基礎と関連法規」「ライフプランと資金計画」「社会保険制度」** 授業内容：社会保険制度の概要について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「ライフプランと資金計画」「社会保険制度」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「ライフプランと資金計画」「社会保険制度」について参考書（問題集）にて復習する。

12回	**授業テーマ：ライフプランニングと資金計画「公的年金制度」「国民年金と厚生年金の老齢給付」「障害年金と遺族年金」** 授業内容：公的年金制度について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「公的年金制度」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「公的年金制度」について参考書(問題集)にて復習する。
13回	**授業テーマ：リスク管理「生命保険の概要」** 授業内容：生命保険の概要について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「生命保険の概要」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「生命保険の概要」について参考書(問題集)にて復習する。
14回	**授業テーマ：リスク管理「生命保険の税金」** 授業内容：生命保険の税金について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「生命保険の税金」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「生命保険の税金」について参考書(問題集)にて復習する。
15回	**授業テーマ：リスク管理「損害保険」「第三分野の保険」** 授業内容：損害保険と第三分野の保険について学習します。 事前学修 1.0hr：授業で学習する「損害保険」「第三分野の保険」について、事前に教科書を一読しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学習した「損害保険」「第三分野の保険」について参考書(問題集)にて復習する。

MEIKAI UNIVERSITY

https://www.meikai.ac.jp